岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第320集

峠山牧場Ⅰ遺跡B地区発掘調査報告書

東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査

(財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第320集
峠山牧場Ⅰ遺跡B地区発掘調査報告書　正誤表

頁	行（位置）	誤	正
2	14行	主要な交通の要所で、	主要な交通の要衝で、
2	17行	東西を結ぶ交通の要所である。	東西を結ぶ交通の要衝である。
5	17行	古くから交通の要所に位置し、	古くから交通の要衝に位置し、
22	23行	石屑	屑片
23	7行	石屑	屑片
24	第11図　凡例	▫石削	▫屑片
25	第12図　凡例	▫石削	▫屑片
26	第13図　凡例	▫石削	▫屑片
117	第63図	RD11の平・断面図中の縦線▥は植物遺体（ドングリ）の出土した範囲を示す。	
190	4行	石器大コンテナ20箱（重量171.2476kg）	石器大コンテナ20箱（重量1712.476kg）
283	2行	大コンテナ20箱（総重量171.2476kg）	大コンテナ20箱（総重量1712.476kg）
423	23行	大コンテナで20箱（総重量171.2467kg）	大コンテナ20箱（総重量1712.476kg）
443	写真図版３	右３段目の写真（旧石器出土状況）は天地逆。	

※巻頭カラー２の１段目の写真（旧石器出土状況）と同一。

峠山牧場Ⅰ遺跡B地区発掘調査報告書

とうげ　やま　ぼく　じょう

東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査

遺跡遠景

大形住居跡群

巻頭カラー1：縄文時代

旧石器出土状況

旧石器

巻頭カラー2：旧石器時代

序

本県には、縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地があり、平成11年3月現在10,000箇所以上に及ぶ遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実も重要な一施策であります。特にも高速道路網の整備は産業経済開発の大動脈として多方面から期待されるところであります。

このような埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和も今日的な課題であり、岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、東北横断自動車道秋田線建設事業に関連して、平成8年度に発掘調査を行った峠山牧場Ⅰ遺跡B地区の調査結果をまとめたものであります。峠山牧場Ⅰ遺跡B地区は、和賀川右岸の南本内川との合流点付近の河岸段丘上に立地し、調査の結果、旧石器時代と縄文時代前期の複合遺跡であることが明らかになり、多数の遺構、多量の遺物が発見され、貴重な資料を提供することができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご援助・ご協力を賜りました日本道路公団東北支社・湯田町教育委員会をはじめとする関係者各位に衷心より謝意を表します。

平成12年2月

財団法人　岩手県文化振興事業団
理事長　船　越　昭　治

例　言

1．本報告書は岩手県和賀郡湯田町第46地割125-25ほか、に所在する峠山牧場Ⅰ遺跡B地区の発掘調査の結果を収録したものである。

2．本遺跡の調査は、東北横断自動車道秋田線建設事業に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会文化課と日本道路公団東北支社との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。

3．本遺跡の調査成果は、先に現地説明会資料（平成８年９月７日）と『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成８年度分）』（岩埋文第266集）に発表しているが、本書の内容が優先するものである。

4．岩手県遺跡台帳に登録される遺跡番号と遺跡略号は次のとおりである。

　　遺跡番号　ＭＥ06―0106、遺跡略号　ＴＹＩＢ―96

5．本調査に先だって、平成６年度に範囲確認調査が行われている。使用した遺跡略号は「ＴＹＩＢ―94」であり、調査成果については『峠山牧場Ⅰ遺跡B地区範囲確認調査報告書』（岩埋文第233集）（1996）として、既に刊行されている。

6．発掘調査面積・調査期間と担当者は、以下のとおりである。

　　発掘調査面積：6,120㎡。

　　発掘調査期間：平成８年６月３日～10月22日、担当者：阿部勝則・鈴木聡・川向聖子。

7．整理期間と担当者は、以下のとおりである。

　　整理期間：平成８年11月１日～平成９年３月31日、担当者：阿部勝則・鈴木聡・川向聖子。

　　平成10年４月１日～平成11年３月31日、担当者：阿部勝則。

8．本報告書の執筆・編集・校正は阿部勝則が担当した。

9．土層の観察にあたっては『新版標準土色帖』1990年版（1990 小山正忠・竹原秀雄編・著）を参考にした。

10．遺物の鑑定に当たっては次の方々に依頼した。

　　石材鑑定：花崗岩研究会（代表矢内桂三）　炭化材樹種鑑定：早坂松次郎（岩手県木炭協会）

　　植物遺体鑑定：渡辺誠（名古屋大学）　　^{14}C 年代測定：パリノ・サーヴェイ株式会社

11．基準点測量は、株式会社ハイマーテックに委託した。

12．空中写真撮影は、株式会社ハイマーチック、東邦航空株式会社に委託した。

13．石器の実測・トレースの一部は、エーティック環境文化研究所、株式会社アルカに委託した。

14．発掘・整理・執筆にあたっては次の方々に御協力、御指導をいただいた（順不同・敬称略）。

　　高橋信雄　佐々木勝　佐藤嘉広（岩手県教育委員会文化課）、日下和寿（岩手県立博物館）、中村良幸（大迫町教育委員会）、佐藤浩彦（遠野市教育委員会）、稲野裕介・小田嶋知世（北上市教育委員会）、本堂寿一（北上市立博物館）、稲野彰子（いろは写房）、梁木誠（宇都宮市教育委員会）、菊地強一（県立伊保内高等学校）、湯田町教育委員会。

15．本遺跡の調査で得られた一切の資料は岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。

16．本書で使用した地形図は以下のとおりである。

　a．建設省国土地理院発行の５万分の１地形図「川尻」、同２万５千分の１地形図「陸中川尻」。

　b．日本道路公団作成の1000分１地形図。

目　　次

本 文 目 次

序
例言
Ⅰ．調査に至る経過……1
Ⅱ．遺跡の位置と立地……2
　1．遺跡の位置および地理的環境……2
　2．遺跡の立地および周辺の地形・地質……2
　3．基本土層……3
　4．周辺の遺跡……4
Ⅲ．調査・整理の方法……15
　1．範囲確認調査について……15
　2．野外調査……15
　3．室内整理……18
　4．掲載図版等について……19
Ⅳ．旧石器時代……22
Ⅴ．縄文時代―検出遺構―……35
　1．竪穴住居跡……35
　2．土坑……92
　3．墓壙……112
　4．陥し穴状遺構……113
　5．焼土遺構……129
　6．集石遺構……133
　7．土器埋設遺構……134
　8．柱穴群……143
　9．遺物包含層……146
Ⅵ．縄文時代―出土遺物―……190
　1．縄文土器……190
　2．土製品……282
　3．石器……283
　4．石製品……377
Ⅶ．考察とまとめ……423
　1．遺跡の性格―調査成果の概要―……423
　2．旧石器時代……425
　3．縄文時代……426
　4．総括……431
Ⅷ．分析・鑑定……433
　1．^{14}C 年代測定……433
　2．植物遺体……434
報告書抄録……632

表　目　次

第１表　周辺の遺跡……12
第２表　旧石器観察表……34
第３表　住居跡観察表……91
第４表　グリッド別出土遺物一覧……147
第５表　土製品観察表……282
第６表　土器観察表……385
第７表　石器観察表……406
第８表　石製品観察表……422

図 版 目 次

第１図　岩手県全図……6
第２図　遺跡位置図……7
第３図　遺跡地形図・調査区位置図……8
第４図　地形分類図……9
第５図　基本土層模式図……10
第６図　湯田町境界と周辺の遺跡図幅位置図……11
第７図　周辺の遺跡(1)川尻以東……12
第８図　周辺の遺跡(2)川尻以北……13
第９図　周辺の遺跡(3)川尻以西……14
第10図　グリッド配置図……21
第11図　石器水平垂直分布図第１・第２集中区……24
第12図　器種別分布図第１集中区……25
第13図　器種別分布図第２集中区……26
第14図　旧石器(1)……27
第15図　旧石器(2)……28
第16図　旧石器(3)……29
第17図　旧石器(4)……30
第18図　旧石器(5)……31
第19図　旧石器(6)……32
第20図　旧石器(7)……33
第21図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置全体図……36
第22図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置部分図
　　Ａ・Ｂ区……37
第23図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置部分図
　　Ｃ区……38
第24図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置部分図
　　Ｄ区……39
第25図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置部分図
　　Ｅ区……40
第26図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置部分図
　　Ｆ・Ｇ・Ｈ区……41
第27図　RA01・03住居跡……58
第28図　RA02住居跡……59
第29図　RA04住居跡(1)……60
第30図　RA04住居跡(2)……61
第31図　RA05・06住居跡(1)……62
第32図　RA05・06住居跡(2)……63
第33図　RA07住居跡(1)……64
第34図　RA07住居跡(2)……65
第35図　RA08住居跡(1)……66
第36図　RA08住居跡(2)……67
第37図　RA09住居跡(1)……68
第38図　RA09住居跡(2)……69
第39図　RA10住居跡……70
第40図　RA11住居跡……71
第41図　RA12・16住居跡……72
第42図　RA13住居跡……73
第43図　RA14住居跡……74
第44図　RA15住居跡(1)……75
第45図　RA15住居跡(2)……76
第46図　RA17住居跡……77
第47図　RA18住居跡……78
第48図　RA19住居跡……79
第49図　RA20住居跡……80
第50図　RA21住居跡……81
第51図　RA22住居跡……82
第52図　RA23住居跡……83
第53図　RA24住居跡(1)……84
第54図　RA24住居跡(2)……85
第55図　RA25住居跡……86
第56図　RA26住居跡……87
第57図　RA27・29住居跡……88
第58図　RA28住居跡……89
第59図　RA30・31住居跡……90

第60図 RD01・02・03 土坑 ……114
第61図 RD04・05・06 土坑 ……115
第62図 RD07・08・09 土坑 ……116
第63図 RD10・11・12 土坑 ……117
第64図 RD13・14・15・16 土坑 ……118
第65図 RD17・18・19・20 土坑 ……119
第66図 RD21・22・23・24・25 土坑 ……120
第67図 RD26・27・29・30 土坑 ……121
第68図 RD31・32・33 土坑 ……122
第69図 RD34・35 土坑 ……123
第70図 RD36・37・38・39 土坑 ……124
第71図 RD40・41・42・43 土坑 ……125
第72図 RD44・45・46・47 土坑 ……126
第73図 RD48・49・50 土坑 ……127
第74図 RD51・52 土坑・RD28・53 陥し穴状遺構…128
第75図 RF01・02・03・05 焼土遺構 ……131
第76図 RF04 焼土遺構 ……132
第77図 RH01 集石遺構 ……133
第78図 RZ01・02・03・04・05 土器埋設遺構 ……140
第79図 RZ06・07・08・09・10・11
土器埋設遺構 ……141
第80図 RZ12・13・14・15・16 土器埋設遺構 ……142
第81図 柱穴群(1) ……144
第82図 柱穴群(2) ……145
第83図 縄文土器出土重量分布図 ……148
第84図 石器出土重量分布図 ……149
第85図 遺物包含層(B IV w1)遺物出土状況 ……150
第86図 遺物包含層(B IV w2)遺物出土状況 ……151
第87図 遺物包含層(B IV w3)遺物出土状況 ……152
第88図 遺物包含層(B IV x6)遺物出土状況……153
第89図 遺物包含層(B IV x7)遺物出土状況……154
第90図 遺物包含層(B IV x8)遺物出土状況……155
第91図 RA07 住居跡遺物出土状況 ……156
第92図 RD04・06・11 土坑遺物出土状況 ……157
第93図 RA01・02・03・04(1)出土遺物 ……158
第94図 RA04(2)出土遺物 ……159
第95図 RA04(3)・05(1)出土遺物 ……160
第96図 RA05(2)出土遺物 ……161
第97図 RA05(3)出土遺物 ……162
第98図 RA06・07(1)出土遺物 ……163
第99図 RA07(2)出土遺物 ……164
第100図 RA07(3)出土遺物 ……165
第101図 RA07(4)出土遺物 ……166
第102図 RA07(5)出土遺物 ……167
第103図 RA08(1)出土遺物 ……168
第104図 RA08(2)・09(1)出土遺物 ……169
第105図 RA09(2)出土遺物 ……170
第106図 RA09(3)出土遺物 ……171
第107図 RA09(4)出土遺物 ……172
第108図 RA09(5)出土遺物 ……173
第109図 RA10・11(1)出土遺物 ……174
第110図 RA11(2)・12(1)出土遺物 ……175
第111図 RA12(2)・13(1)出土遺物 ……176
第112図 RA13(2)・14 出土遺物 ……177
第113図 RA15(1)出土遺物 ……178
第114図 RA15(2)・16・17 出土遺物 ……179
第115図 RA18・19(1)出土遺物 ……180
第116図 RA19(2)・20・21(1)出土遺物 ……181
第117図 RA21(2)・22・23(1)出土遺物 ……182
第118図 RA23(2)出土遺物 ……183
第119図 RA23(3)出土遺物 ……184
第120図 RA23(4)出土遺物 ……185
第121図 RA23(5)・24(1)出土遺物 ……186
第122図 RA24(2)・26・27・28・29・31
出土遺物 ……187
第123図 RD04・06(1)出土遺物 ……188
第124図 RD06(2)・07・12 出土遺物 ……189
第125図 土器(1):RA04・05(1) ……194
第126図 土器(2):RA05(2)・06 ……195
第127図 土器(3):RA07(1) ……196
第128図 土器(4):RA07(2) ……197
第129図 土器(5):RA07(3) ……198
第130図 土器(6):RA07(4)・08(1) ……199
第131図 土器(7):RA08(2)・09(1) ……200
第132図 土器(8):RA11・12 ……201
第133図 土器(9):RA13・15 ……202
第134図 土器(10):RA17・18・19・20・21・22 ……203
第135図 土器(11):RA23(1) ……204
第136図 土器(12):RA23(2) ……205
第137図 土器(13):RA23(3) ……206
第138図 土器(14):RA23(4) ……207
第139図 土器(15):RA24・26・28 ……208
第140図 土器(16):RA29 ……209
第141図 土器(17):RD04 ……210
第142図 土器(18):RD05・06 ……211
第143図 土器(19):RD07(1) ……212
第144図 土器(20):RD07(2)・08・09・12 ……213
第145図 土器(21):RD16・17・19・34・36 ……214

第146図 土器(27)：RD37・40、RZ01・07・08 ……215
第147図 土器(28)：RZ05・06・09・10 ……216
第148図 土器(29)：RZ12・13・14・15・16、
B IV q22-PP1 ……217
第149図 土器(30)：B III t23、u23、B IV u2、
v1・v3 ……218
第150図 土器(31)：B IV v10 (1) ……219
第151図 土器(32)：B IV v10 (2) ……220
第152図 土器(33)：B IV v11、w1 ……221
第153図 土器(34)：B IV w2 (1) ……222
第154図 土器(35)：B IV w2 (2)・w3 (1) ……223
第155図 土器(36)：B IV w3 (2) ……224
第156図 土器(37)：B IV w3 (3)・w4 (1) ……225
第157図 土器(38)：B IV w4 (2)・w5 (1) ……226
第158図 土器(39)：B IV w5 (2) ……227
第159図 土器(40)：B IV w5 (3)・w6・w7 ……228
第160図 土器(41)：B IV w8・w10・w11 ……229
第161図 土器(42)：B IV x4・x5 ……230
第162図 土器(43)：B IV x6 (1) ……231
第163図 土器(44)：B IV x6 (2) ……232
第164図 土器(45)：B IV x7 ……233
第165図 土器(46)：B IV x8・x11 (1) ……234
第166図 土器(47)：B IV x11 (2)・x12、y8・y11 ……235
第167図 土器(48)：B IV y12、C IV a12、q14、
B IV q6、s8、D IV r6 ……236
第168図 土器(49)：RA01・02・03・04 (1) ……237
第169図 土器(50)：RA04 (2)・05 (1) ……238
第170図 土器(51)：RA05 (2)・06 (1) ……239
第171図 土器(52)：RA06 (2)・07 (1) ……240
第172図 土器(53)：RA07 (2) ……241
第173図 土器(54)：RA07 (3)・08 (1) ……242
第174図 土器(55)：RA08 (2) ……243
第175図 土器(56)：RA09 (1) ……244
第176図 土器(57)：RA09 (2)・10 ……245
第177図 土器(58)：RA11 ……246
第178図 土器(59)：RA12・13 (1) ……247
第179図 土器(60)：RA13 (2)・14・15 ……248
第180図 土器(61)：RA16・17・18・19・
20・21 (1) ……249
第181図 土器(62)：RA21 (2)・22・23 (1) ……250
第182図 土器(63)：RA23 (2) ……251
第183図 土器(64)：RA23 (3) ……252
第184図 土器(65)：RA24・26・29・31 ……253
第185図 土器(66)：RD01・02・03・04・05 ……254
第186図 土器(67)：RD06・08・09 ……255
第187図 土器(68)：RD10・11・12・14・15 ……256
第188図 土器(69)：RD16・17・18・19 (1) ……257
第189図 土器(70)：RD19 (2)・22・23・24・
25・27 ……258
第190図 土器(71)：RD28・29・30・31・32・
33・34 ……259
第191図 土器(72)：RD35・36・37 (1) ……260
第192図 土器(73)：RD37 (2)・38・39・40・
41・42・43・44・45・46・47・
50・51・52 ……261
第193図 土器(74)：RF01・04、RZ02・03・
04・05・07・09・10・11、
B III m14-PP2、B III n15-PP1、
B IV q22-PP2、B IV r23-PP4 ……262
第194図 土器(75)：B III t23、u22・u23・
u24・u25 (1) ……263
第195図 土器(76)：B III u25 (2)、w25、
B IV u2・u11、v1 (1) ……264
第196図 土器(77)：B IV v1 (2)・v2 (1) ……265
第197図 土器(78)：B IV v2 (2)・v3 ……266
第198図 土器(79)：B IV v4・v10 (1) ……267
第199図 土器(80)：B IV v10 (2)・v11、w1 (1) ……268
第200図 土器(81)：B IV w1 (2)・w2 (1) ……269
第201図 土器(82)：B IV w2 (2)・w3 (1) ……270
第202図 土器(83)：B IV w3 (2) ……271
第203図 土器(84)：B IV w4・w5 ……272
第204図 土器(85)：B IV w6・w7・w10 (1) ……273
第205図 土器(86)：B IV w10 (2)・w11・w12、x4 (1) ……274
第206図 土器(87)：B IV x4 (2)・x5 (1) ……275
第207図 土器(88)：B IV x5 (2)・x6 ……276
第208図 土器(89)：B IV x7 ……277
第209図 土器(90)：B IV x8・x11 (1) ……278
第210図 土器(91)：B IV x11 (2)・x12、y8 (1) ……279
第211図 土器(92)：B IV y8 (2)・y10・y11・y12 ……280
第212図 土器(93)：C IV a10・a11・a12、
c12、d12、g14、h15 ……281
第213図 土製品 ……282
第214図 石器(1) ……287
第215図 石器(2) ……288
第216図 石器(3) ……289
第217図 石器(4) ……290
第218図 石器(5) ……291
第219図 石器(6) ……292

第220図 石器(7) ……293
第221図 石器(8) ……294
第222図 石器(9) ……295
第223図 石器(10) ……296
第224図 石器(11) ……297
第225図 石器(12) ……298
第226図 石器(13) ……299
第227図 石器(14) ……300
第228図 石器(15) ……301
第229図 石器(16) ……302
第230図 石器(17) ……303
第231図 石器(18) ……304
第232図 石器(19) ……305
第233図 石器(20) ……306
第234図 石器(21) ……307
第235図 石器(22) ……308
第236図 石器(23) ……309
第237図 石器(24) ……310
第238図 石器(25) ……311
第239図 石器(26) ……312
第240図 石器(27) ……313
第241図 石器(28) ……314
第242図 石器(29) ……315
第243図 石器(30) ……316
第244図 石器(31) ……317
第245図 石器(32) ……318
第246図 石器(33) ……319
第247図 石器(34) ……320
第248図 石器(35) ……321
第249図 石器(36) ……322
第250図 石器(37) ……323
第251図 石器(38) ……324
第252図 石器(39) ……325
第253図 石器(40) ……326
第254図 石器(41) ……327
第255図 石器(42) ……328
第256図 石器(43) ……329
第257図 石器(44) ……330
第258図 石器(45) ……331
第259図 石器(46) ……332
第260図 石器(47) ……333
第261図 石器(48) ……334
第262図 石器(49) ……335
第263図 石器(50) ……336
第264図 石器(51) ……337
第265図 石器(52) ……338
第266図 石器(53) ……339
第267図 石器(54) ……340
第268図 石器(55) ……341
第269図 石器(56) ……342
第270図 石器(57) ……343
第271図 石器(58) ……344
第272図 石器(59) ……345
第273図 石器(60) ……346
第274図 石器(61) ……347
第275図 石器(62) ……348
第276図 石器(63) ……349
第277図 石器(64) ……350
第278図 石器(65) ……351
第279図 石器(66) ……352
第280図 石器(67) ……353
第281図 石器(68) ……354
第282図 石器(69) ……355
第283図 石器(70) ……356
第284図 石器(71) ……357
第285図 石器(72) ……358
第286図 石器(73) ……359
第287図 石器(74) ……360
第288図 石器(75) ……361
第289図 石器(76) ……362
第290図 石器(77) ……363
第291図 石器(78) ……364
第292図 石器(79) ……365
第293図 石器(80) ……366
第294図 石器(81) ……367
第295図 石器(82) ……368
第296図 石器(83) ……369
第297図 石器(84) ……370
第298図 石器(85) ……371
第299図 石器(86) ……372
第300図 石器(87) ……373
第301図 石器(88) ……374
第302図 石器(89) ……375
第303図 石器(90) ……376
第304図 石製品(1) ……379
第305図 石製品(2) ……380
第306図 石製品(3) ……381
第307図 石製品(4) ……382

第308図 石製品(5) ……383
第309図 石製品(6) ……384
第310図 峠山牧場Ⅰ遺跡B地区遺構配置図 ……424
第311図 峠山牧場Ⅰ遺跡B地区
縄文時代集落概念図 ……428
第312図 峠山牧場Ⅰ遺跡B地区
遺構配置図(拡大) ……429

写 真 図 版

巻頭カラー1：縄文時代
巻頭カラー2：旧石器時代
写真図版1 遺跡全景 ……441
写真図版2 調査前風景・基本土層 ……442
写真図版3 旧石器出土状況 ……443
写真図版4 旧石器(1) ……444
写真図版5 旧石器(2) ……445
写真図版6 旧石器(3) ……446
写真図版7 旧石器(4) ……447
写真図版8 BⅣ区全景・大形住居跡群 ……448
写真図版9 RA01・03住居跡 ……449
写真図版10 RA02・04住居跡 ……450
写真図版11 RA05・06住居跡 ……451
写真図版12 RA07住居跡(1) ……452
写真図版13 RA07住居跡(2) ……453
写真図版14 RA08住居跡 ……454
写真図版15 RA09住居跡 ……455
写真図版16 RA10・11住居跡、RD07土坑 ……456
写真図版17 RA13住居跡 ……457
写真図版18 RA14住居跡 ……458
写真図版19 RA15・17住居跡 ……459
写真図版20 RA12・16住居跡 ……460
写真図版21 RA18住居跡 ……461
写真図版22 RA19住居跡 ……462
写真図版23 RA20住居跡 ……463
写真図版24 RA22住居跡 ……464
写真図版25 RA26住居跡 ……465
写真図版26 RA27住居跡 ……466
写真図版27 RA28住居跡 ……467
写真図版28 RA29住居跡 ……468
写真図版29 RA24・30住居跡 ……469
写真図版30 RA21・23・31住居跡 ……470
写真図版31 RD01～04土坑 ……471
写真図版32 RD05・06・08・09土坑 ……472
写真図版33 RD10～13土坑 ……473
写真図版34 RD14～16・18土坑 ……474
写真図版35 RD17・19～23土坑 ……475
写真図版36 RD24～27・29土坑 ……476
写真図版37 RD30～33土坑 ……477
写真図版38 RD34～37土坑 ……478
写真図版39 RD38～42土坑 ……479
写真図版40 RD43～46土坑 ……480
写真図版41 RD47～50土坑 ……481
写真図版42 RD51・52土坑、RD28・53陥し穴 ……482
写真図版43 RF01～03・05焼土遺構 ……483
写真図版44 RF04焼土遺構、RH01集石遺構 ……484
写真図版45 RZ01～05土器埋設遺構 ……485
写真図版46 RZ06～12土器埋設遺構 ……486
写真図版47 RZ13～16土器埋設遺構 ……487
写真図版48 遺物包含層 ……488
写真図版49 土器(1) ……489
写真図版50 土器(2) ……490
写真図版51 土器(3) ……491
写真図版52 土器(4) ……492
写真図版53 土器(5) ……493
写真図版54 土器(6) ……494
写真図版55 土器(7) ……495
写真図版56 土器(8) ……496
写真図版57 土器(9) ……497
写真図版58 土器(10) ……498
写真図版59 土器(11) ……499
写真図版60 土器(12) ……500
写真図版61 土器(13) ……501
写真図版62 土器(14) ……502
写真図版63 土器(15) ……503
写真図版64 土器(16) ……504
写真図版65 土器(17) ……505
写真図版66 土器(18) ……506
写真図版67 土器(19) ……507
写真図版68 土器(20) ……508
写真図版69 土器(21) ……509
写真図版70 土器(22) ……510
写真図版71 土器(23) ……511
写真図版72 土器(24) ……512
写真図版73 土器(25) ……513

写真図版74　土器(26) ……514
写真図版75　土器(27) ……515
写真図版76　土器(28) ……516
写真図版77　土器(29) ……517
写真図版78　土器(30) ……518
写真図版79　土器(31) ……519
写真図版80　土器(32) ……520
写真図版81　土器(33) ……521
写真図版82　土器(34) ……522
写真図版83　土器(35) ……523
写真図版84　土器(36) ……524
写真図版85　土器(37) ……525
写真図版86　土器(38) ……526
写真図版87　土器(39) ……527
写真図版88　土器(40) ……528
写真図版89　土器(41) ……529
写真図版90　土器(42) ……530
写真図版91　土器(43) ……531
写真図版92　土器(44) ……532
写真図版93　土器(45) ……533
写真図版94　土器(46) ……534
写真図版95　土器(47) ……535
写真図版96　土器(48) ……536
写真図版97　土器(49) ……537
写真図版98　土器(50) ……538
写真図版99　土器(51) ……539
写真図版100　土器(52) ……540
写真図版101　土器(53) ……541
写真図版102　土器(54) ……542
写真図版103　土器(55) ……543
写真図版104　土器(56) ……544
写真図版105　土器(57) ……545
写真図版106　土器(58) ……546
写真図版107　土器(59) ……547
写真図版108　土器(60) ……548
写真図版109　土器(61) ……549
写真図版110　土器(62) ……550
写真図版111　土器(63) ……551
写真図版112　土器(64) ……552
写真図版113　土器(65) ……553
写真図版114　土器(66) ……554
写真図版115　土器(67) ……555
写真図版116　土器(68) ……556
写真図版117　土器(69) ……557
写真図版118　土器(70) ……558
写真図版119　土器(71) ……559
写真図版120　土器(72) ……560
写真図版121　土器(73) ……561
写真図版122　土器(74) ……562
写真図版123　土製品 ……563
写真図版124　石器(1) ……564
写真図版125　石器(2) ……565
写真図版126　石器(3) ……566
写真図版127　石器(4) ……567
写真図版128　石器(5) ……568
写真図版129　石器(6) ……569
写真図版130　石器(7) ……570
写真図版131　石器(8) ……571
写真図版132　石器(9) ……572
写真図版133　石器(10) ……573
写真図版134　石器(11) ……574
写真図版135　石器(12) ……575
写真図版136　石器(13) ……576
写真図版137　石器(14) ……577
写真図版138　石器(15) ……578
写真図版139　石器(16) ……579
写真図版140　石器(17) ……580
写真図版141　石器(18) ……581
写真図版142　石器(19) ……582
写真図版143　石器(20) ……583
写真図版144　石器(21) ……584
写真図版145　石器(22) ……585
写真図版146　石器(23) ……586
写真図版147　石器(24) ……587
写真図版148　石器(25) ……588
写真図版149　石器(26) ……589
写真図版150　石器(27) ……590
写真図版151　石器(28) ……591
写真図版152　石器(29) ……592
写真図版153　石器(30) ……593
写真図版154　石器(31) ……594
写真図版155　石器(32) ……595
写真図版156　石器(33) ……596
写真図版157　石器(34) ……597
写真図版158　石器(35) ……598
写真図版159　石器(36) ……599
写真図版160　石器(37) ……600
写真図版161　石器(38) ……601

写真図版162 石器(38) ……602
写真図版163 石器(40) ……603
写真図版164 石器(41) ……604
写真図版165 石器(42) ……605
写真図版166 石器(43) ……606
写真図版167 石器(44) ……607
写真図版168 石器(45) ……608
写真図版169 石器(46) ……609
写真図版170 石器(47) ……610
写真図版171 石器(48) ……611
写真図版172 石器(49) ……612
写真図版173 石器(50) ……613
写真図版174 石器(51) ……614
写真図版175 石器(52) ……615
写真図版176 石器(53) ……616
写真図版177 石器(54) ……617
写真図版178 石器(55) ……618
写真図版179 石器(56) ……619
写真図版180 石器(57) ……620
写真図版181 石器(58) ……621
写真図版182 石器(59) ……622
写真図版183 石器(60) ……623
写真図版184 石器(61) ……624
写真図版185 石器(62) ……625
写真図版186 石器(63) ……626
写真図版187 石器(64) ……627
写真図版188 石製品(1) ……628
写真図版189 石製品(2) ……629
写真図版190 石製品(3) ……630
写真図版191 石製品(4) ……631

Ⅰ．調査に至る経過

東北地方を縦に貫く大動脈「東北縦貫自動車道」に対し、これと交差し、あるいはこれを起点に横に延びる「東北横断自動車道」のひとつである秋田自動車道は、岩手県北上市で東北縦貫自動車道より分岐し、秋田県横手市を経て秋田市に至る延長123kmの高速道路である。昭和61年と昭和63年に施行命令が出された第9次、第10次区間のうち、北上ジャンクションから秋田県境までは延長33.9kmである。

この区間の埋蔵文化財包蔵地については、岩手県教育委員会が昭和63年から分布調査を行い、昭和62年4月13日付「仙建北工第35号」による依頼を受けて、同年5月25日付「教文第117号」により日本道路公団仙台建設局に結果を回答している。それにもとづいて両者が協議を行い、やむを得ず消滅する遺跡については事前に発掘調査を実施することとし、㈶岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受諾事業とすることとした。

それを受けて、昭和63年以降、岩手県教育委員会が日本道路公団仙台建設局に発掘調査事業について照合して回答を得たのち、日本道路公団仙台建設局と岩手県教育委員会・㈶岩手県文化振興事業団の3者が協議を行い、当埋蔵文化財センターが発掘調査を実施してきた。

峠山牧場Ⅰ遺跡の調査は、平成5年3月1日付「教文第1169号」による岩手県教育委員会からの通知を受けて、平成5年度埋蔵文化財調査事業として着手されることになった。発掘調査対象面積は43,000㎡である。当埋蔵文化財センターは平成5年4月1日付で委託契約を結んで同年4月20日から発掘調査に着手し、10月29日に終了したが、予想された旧石器が広範囲に分布することから、22,000㎡を終了面積とし、残り21,000㎡は翌平成6年度に調査することとした。

平成6年度は、平成6年2月21日付「教文第944号」による平成6年度埋蔵文化財調査事業についての通知を受けた。峠山牧場Ⅰ遺跡に造られる錦秋湖サービスエリア予定地は約150,000㎡に及ぶ。当初予定の43,000㎡の緊急発掘調査のほかに、平成6年度は、残り約107,000㎡を対象にした範囲確認調査および部分調査も埋蔵文化財調査事業として通知された。このため地区を分割して、前者を峠山牧場Ⅰ遺跡A地区、後者を峠山牧場Ⅰ遺跡B地区と呼称することとした。同年4月1日付委託契約にもとづいて、同年4月12日に両地区同時に調査を開始した。

平成8年度は、峠山牧場Ⅰ遺跡B地区内に、錦秋湖サービスエリアに付属する遊歩道を建設することとなった。そのため範囲確認調査の成果を受けて建設に先だち、同年4月1日付の委託契約にもとづいて、遊歩道建設部分6,120㎡について同年6月3日から調査を開始した。

II．遺跡の位置と立地

1．遺跡の位置および地理的環境（第１・２図）

峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区の所在する湯田町は、岩手県央の西端（秋田県境）に位置し、岩手県内では、北は沢内村、東は北上市、南は胆沢町に接し、秋田県側では、北は仙北郡千畑町、仙北郡六郷町、西は平鹿郡山内村、南は雄勝郡東成瀬村と接している。町域東境に兎森山(1054.3m)、鷲ケ森山(1207.4m)、牛形山(1339.8m）の山々、西側には、奥羽山脈との分水嶺をなす三森山（1102.2m)、蟻巣山（1162m)、三界山（1381m）などの山々が連なる。和賀岳（1,440m）を源流とする和賀川（全長75.3km）は、同町を北から南流し、川尻付近で東流して、北上川と合流する。町域は、多くが山林で、奥羽山脈のかつての地殻運動により枝脈が分かれ、地形は複雑である。銅鉱床などで地下資源、温泉の湧出も多く、湯本温泉や湯川温泉などが観光地のひとつとなっている。面積304.69km²、人口4,316人である（註１)。年平均気温は9.0℃、年間降水量は2,000mmを超え、平均積雪が２ｍを超える豪雪地帯で、寒さの厳しい日本海岸式気候の特徴を示している。

湯田町の歴史について簡単に触れる。近世には盛岡藩領で沢内通に属した。沢内通と旧秀衡街道は盛岡藩と秋田藩とを結ぶ主要な交通の要所で、街道沿いにはいくつかの一里塚が遺されている。その後、明治20年（1887）に平和街道（秋田横手―川尻間）が開通し、北上和賀一山内村・横手（現107号線）は、東北北部において、安代―鹿角（現282号線)、盛岡・雫石―田沢湖町（現46号線）とともに、北上川中流域と秋田県内陸地方を結ぶ道路として重要で、東日本旅客鉄道北上線とともに奥羽山脈の東西を結ぶ交通の要所である。

湯田町の成立について簡単に触れる。明治22年(1889)の町村制の施行時に湯田村になり、昭和39年(1964)に町制を施行して湯田町となり、現在に至る。その後、町に大きな影響を与えた事業に湯田ダム建設がある。湯田ダムは治水・発電を目的として昭和23年（1948）に着工し、昭和39年、北上川水系最大のダムとして建設され、人造湖は錦秋湖と名付けられる。同地は昭和36年(1961)、付近の峡谷や錦秋湖を含めて湯田温泉峡県立自然公園に指定された。しかし同ダム建設に伴う国鉄北上線延べ15kmの水没、約565世帯の周辺地域(現北上市）への移転や昭和51年（1976）の鉱山閉山など町に与えた影響は大きく、総じて過疎化が進んでいる。

一方、東北横断自動車道秋田線の湯田―北上西間が平成９年（1997）７月に開通し、峠山地区に温泉施設「オアシス館」を備えたサービスエリアが開設され、新たな観光スポットを形成した。高冷地の気象条件を活かした蔬菜類やリンドウ栽培（西和賀リンドウ）などと併せて、新たな展開が期待される。

峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区は、和賀郡湯田町第46地割125-25ほかに所在し、東日本旅客鉄道北上線ゆだ錦秋湖駅の北東約１km付近、北緯39度17分51秒、東経140度50分56秒付近に位置し、国土地理院発行の５万分の１地形図「川尻」(NJ-54-20-1）および２万５千分の１地形図「陸中川尻」(NJ-54-20-1-3）の図幅に含まれる。

2．遺跡の立地および周辺の地形・地質（第３・４図）

（1）遺跡の立地と周辺の地形

湯田町は和賀川の上流、奥羽山脈とその山あいに開けた沢内盆地の南端に位置する。町域のほとんどが山地丘陵に属し、町面積の90％が山林で占められる。町の中央を和賀川が北から南に南流し、川尻付近で東流する。支流には下前川・左草川・湯之沢川・鬼ケ瀬川・小鬼ケ瀬川・砒戸川・南本内川があり、周辺山地から和賀川に注ぐこれらの沢沿いに段丘面（沖積層）が形成され、人々の居住域・耕地となっている。

遺跡周辺の和賀川流域の地形は、峠山牧場高位面・峠山牧場低位面・大荒沢面・大台野面・小繋沢面の５つに区分が可能である。峠山牧場高位面・峠山牧場低位面は、南北にほぼ直線状の段丘崖をもって並行し、

その高さはそれぞれ370m・340mである。大荒沢面は峠山北麓から旧本内の東にかけて発達し、耳取の西側にも部分的に残存し、高さは320～280mである（註２）。大台野面は耳取付近を中心に分布し、高さは約240mで大荒沢面との比高は約40mある。小繁沢面は和賀川上流域のほぼ全域に分布し、高さは約220mである。

上記の地形区分で、峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区は、和賀川右岸の標高285m～293mを示す大荒沢面に立地している。本内川との比高は約60m で、南から北に極めて緩く傾斜する。遺跡の現況の土地利用は山林で、約800本の栗の木が数 m 間隔で規則的に植えられている。遺跡の北西側（錦秋湖寄りの北側半分）は幅約50mにわたり最大１m の深さで土取りされ、褐色土上に若い松が生育している。

（２）周辺の地質

湯田町付近の地質分布は、背斜部は主に第三系中新統下部、大荒沢層、大石層、小繁沢層などのグリーンタフ系の凝灰岩により構成される。向斜部、平鹿盆地には、前記グリーンタフ系の凝灰質岩を基盤として、砂岩を主とする中新統上部の黒沢層、同じく砂岩を主とする中新統上部～鮮新統の花山層が堆積する。これらを不整合に被い、未固結の砂礫・粘土を主とする亜炭化した泥炭層を伴う第四系の花山層が堆積する芳沢層は、扇状地堆積物の層相を呈する。

川尻付近の地質は、下位から先第三系基盤岩・新第三系中新統（大荒沢層・川尻層・小繁沢層・山内層・黒沢層）・鮮新統の花山層・第四系の芳沢層・三森安山岩・沖積層に区分される。そのうち大荒沢層は、変質した安山岩溶岩・同質火砕岩からなり、礫岩・砂岩・シルト岩を伴う。大石層は、泥岩・凝灰岩・安山岩・玄武岩・火砕岩からなる。本遺跡が位置する南本内川周辺には、大石層に属する泥岩が広く分布する。

３．基本土層（第５図）

基本土層は基本的に範囲確認調査で把握されたものに準じているが、実際の調査にあたり一部認識を異にしたところがある。層位の名称は、大別層はⅠ・Ⅱ・Ⅲ…のローマ数字で表わし、細別層についてはａ・ｂ・ｃ…のアルファベット小文字を付して表わした。本調査では、はじめに試掘調査の際に確認されたＣⅢm14地点で土層の確認を行い、以後調査区内において各地点ごとに基本土層の確認を行った。土層は大きくⅠ・Ⅱ・Ⅲ層に大別される。Ⅰ層は黒色土を主体とする腐植土層でⅠａ～Ⅰｅ層に細分される。Ⅱ層はⅠ層とⅢ層の漸移層で、Ⅲ層以下は基盤となる層でⅥ層の礫層まで細分される。各層の特徴は以下のとおりである。

Ⅰａ層	10YR1.7/1	黒　色	０～30cm、現表土層：攪乱層で動いている。
Ⅰｂ層	10YR2/2	黒褐色	０～10cm、遺物量は僅少。
Ⅰｃ層	10YR2/3	黒褐色	０～20cm、遺跡全体に広がる。遺物量は僅少。
Ⅰｄ層	10YR3/2	黒褐色	０～30cm、縄文時代の遺物包含層。炭化物・焼土が混入する。
Ⅰｅ層	10YR3/1	黒褐色	０～10cm、Ⅰｄ層の下位の土層でⅠｃ層より黒みが強い。遺物量は僅少。
Ⅱ　層	10YR3/4	暗褐色	０～30cm、Ⅰ層とⅢ層の漸移層。
Ⅲａ層	10YR4/6	褐　色	０～20cm、旧石器時代の遺物包含層。
Ⅲｂ層	10YR5/6	黄褐色	０～30cm、締まり中。
Ⅳ　層	7.5YR5/6	明褐色	20～30cm、締まり密。
Ⅴａ層	10YR5/6	黄褐色	10cm、発泡の悪い軽石を含み、白みがかってみえる。
Ⅴｂ層	7.5YR5/6	明褐色	15cm、褐鉄鉱の集積層を含む。
Ⅴｃ層	10YR5/6	黄褐色	30cm、締まり中。
Ⅵ　層	礫層		

次に、各グリッドで確認した土層について述べ、調査区における土層の様相について概観する。

BⅣx７グリッド：縄文時代の遺物集中区内に位置する。基本層位Ⅰａ・Ⅰｂ・Ⅰｃ・Ⅰｄ・Ⅰｅ・Ⅱ・Ⅲａ・Ⅲｂ・Ⅳ層を検出した。Ⅰｂ層は場所により不鮮明になる。

CⅣb11グリッド：BⅣｘ７グリッドより20m東側に位置する。基本層位Ⅰａ・Ⅰｂ・Ⅰｃ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ層を検出した。Ⅱ層～Ⅲ層上位を中心に旧石器時代の遺物が出土する。

CⅣ114グリッド：東側は沢跡にむかって斜面になっている。基本層位Ⅰａ・Ⅰｂ・Ⅰｃ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅵ層を検出した。

DⅣp５グリッド：基本層位Ⅰａ・Ⅰｂ・Ⅰｃ・Ⅱ・Ⅲ層を検出した。周辺では場所によりⅢ層上位まで撹乱を受けている。

DⅡn４グリッド：基本層位Ⅰａ・Ⅰｃ・Ⅱ・Ⅲ層を検出した。

CⅡy11グリッド：基本層位Ⅰａ・Ⅰｂ・Ⅰｃ・Ⅱ・Ⅲ層を検出した。

CⅡo７グリッド：基本層位Ⅰａ・Ⅱ・Ⅲ層を検出した。

以上の各地点における土層の観察から、調査区内の土層は概ね以下のように把握された。BⅢ区は土取りされ、50cm～１m以上削られ、Ⅳ層が露出している。南側はⅠａ～Ⅰｃ・Ⅱ・Ⅲ層が確認されたが、Ⅰｄ層は確認できず、本来的に形成されていないものと判断された。縄文時代の遺構・遺物は確認されていない。BⅣ区ではⅠｄ層の広がりが確認されたが、東区のBⅣｒ９グリッド以北と以西、CⅣb11グリッド以南と以東では確認されていない。

４．周辺の遺跡（第６・７・８・９図）

現在、湯田町内では78遺跡が確認されている（註３）。町内の遺跡を概観すると、時代は旧石器時代～近世まであり、遺跡の立地は和賀川およびその支流域の段丘・沖積地にほぼ限定される。湯田町における遺跡の調査は、昭和45～57年の大台野遺跡の調査が有名で、その後は平成３年～８年の東北横断自動車道秋田線建設事業に関連して、16遺跡が岩手県埋蔵文化財センターにより調査が行われて現在にいたる。湯田町内の遺跡や調査の概要は『峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区範囲確認調査報告書』（岩埋文233集）、『本内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』（岩埋文271集に詳しいので、参照していただき、ここでは峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区に関連して、（１）旧石器時代の遺跡、（２）縄文時代前期の遺跡、（３）鄂秋湖周辺の遺跡について概観し、本報告の参考としたい。

（１）旧石器時代の遺跡

大台野遺跡は、昭和45年（1970）～57年（1982）で９次の調査が行われた。調査では、５層の文化層が確認され、主要文化層からナイフ形石器・彫刻刀形石器・掻器・楔形石器など約１万点の遺物が出土している。

1990年代になって東北横断自動車道建設事業に関連して、大渡Ⅱ遺跡、峠山牧場Ⅰ遺跡Ａ地区・Ｂ地区、耳取Ⅰ遺跡Ａ地区・Ｂ地区の調査で、旧石器時代の遺物が出土している。大渡Ⅱ遺跡は、平成３～５年度に調査が行われ、年代測定の鍵層となるAT火山灰の堆積が泥炭層内で検出され、注目された。遺物集中区18箇所とともに旧石器・加工痕のある木製品・自然遺物・昆虫遺体などが出土している。峠山牧場遺跡は、平成５・６年度に調査が行われ、Ａ地区では20箇所の旧石器集中区が検出され、細石刃と舟形石核、柳葉形のナイフ形石器・尖頭器・彫刻刀形石器が出土している。Ｂ地区では集中区５ヶ所が検出されている。Ｃ地区は平成６年に町教育委員会で調査が行われている。耳取Ⅰ遺跡は平成５・６年度に調査が行われ、遺物集中区および周辺のローム層から5,000点を超える旧石器が出土している。

（２）縄文時代前期の遺跡

過去に調査された16遺跡では、土坑類・陥し穴類が検出された遺跡が多く、縄文時代の集落跡の調査事例としては本内Ⅱ遺跡が挙げられるに留まる。過去の調査で、前期の遺構・遺物が検出された遺跡には、耳取Ⅰ遺跡で竪穴住居跡5棟が検出され、塚野Ⅱ遺跡・白木野Ⅰ遺跡・越中畑Ⅴ遺跡・大渡Ⅱ遺跡などで前期の遺物が少量出土している。この他『湯田町史』には、前期の遺物が出土した遺跡として清水ケ野遺跡が記載されている。湯本温泉峡の約2㎞北側に位置し、南流する和賀川右岸の段丘に立地する同遺跡は、遺跡の立地からみて大規模な集落跡である可能性が高い。

（3）錦秋湖周辺の遺跡

錦秋湖周辺に分布する遺跡は20遺跡で、分布する遺跡の立地をみると、和賀川に注ぎ込む支流域と密接に関わって立地していることが解る。とくに鬼ケ瀬川・鷲之巣川・南本内川など大きな支流が南側から和賀川に注ぎ込む合流点が比較的開けており、多くの遺跡が立地する。そのなかで調査された遺跡は、南本内川下流域では峠山牧場Ⅰ遺跡、本内Ⅰ・Ⅱ遺跡、耳取Ⅰ遺跡があり、鬼ケ瀬川流域では上野々遺跡がある。

遺跡の時代に視点を据えると、縄文時代では前・中期の遺跡が多く、後・晩期の遺跡が少ないことが指摘できる。『湯田町史』には湯田ダムの完成時に湖底（錦秋湖）で出土したとされる早期の遺物が掲載され、『遺跡台帳』には後・晩期の遺跡として杉名畑遺跡（水没）の記載がある。現在の遺跡群は比較的高い面に立地しており、錦秋湖周辺の遺跡にみられる時期の偏りは、湯田ダム完成時に水没した遺跡群と係わる問題かもしれない。時代は異なるが、中世では沢の下流域で舌状に張り出す地点に城館が分布している。また湯田町は古くから交通の要所に位置し、かつては和賀川の南側が街道として利用されていた。近世には街道沿いに一里塚が築かれ、峠山牧場周辺では峠山一里塚が残っており、町の文化財に指定されている。

註

(1) 岩手日報社　1998。

(2) 大荒沢面は、北上低地内で区分された中位面である堀切段丘か、それ以前の古期の段丘に対比が可能であることが指摘されている（岩埋文233集）。

(3) 岩手県教育委員会　1998『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』。

参考文献

『岩手県の地名』『日本歴史地名大系』第3巻　1990　平凡社。

岩手県教育委員会　1998『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』。

岩手日報社　1998『岩手年鑑』1999年版。

大沢眞、舟山裕士・北村　信、1971『川尻地域の地質』地質調査所。

大台野研究グループ　1975『大台野遺跡』湯田町教育委員会。

菊池強一　1975『大台野遺跡』『日本の旧石器文化』2　湯田町教育委員会。

(財)岩埋文　1993『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成4年度分）』岩埋文第195集。

(財)岩埋文　1993『塚野Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第199集。

(財)岩埋文　1994『白木野Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第200集。

(財)岩埋文　1994『越中畑Ⅳ・Ⅴ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第201集。

(財)岩埋文　1994『本内Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第211集。

(財)岩埋文　1994『上野々遺跡発掘調査報告書』岩埋文第212集。

(財)岩埋文　1994『大渡Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第215集。

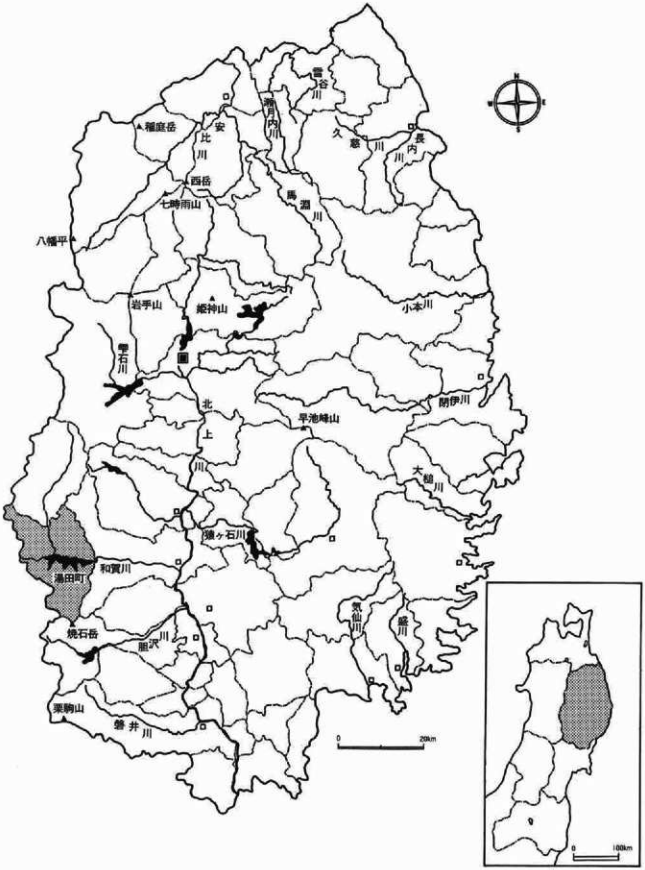
(財)岩埋文　1995『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成6年度分）』岩埋文第229集。

(財)岩埋文　1996『耳取Ⅰ遺跡A地区発掘調査報告書』岩埋文第232集。

(財)岩埋文　1996『峠山牧場Ⅰ遺跡B地区範囲確認調査報告書』岩埋文第233集。

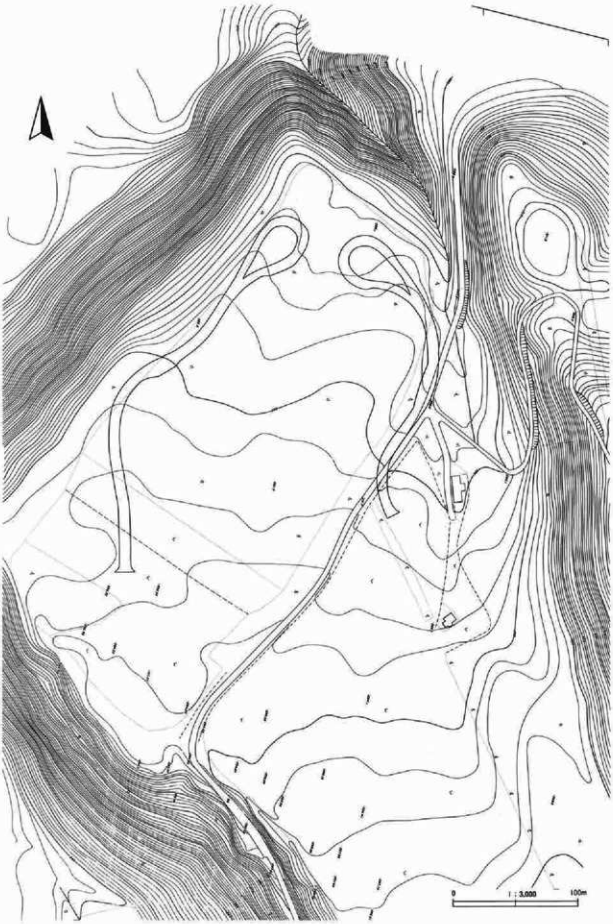
(財)岩埋文　1997『本内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第271集。

湯田町史編纂委員会　1979『湯田町史』湯田町教育委員会。

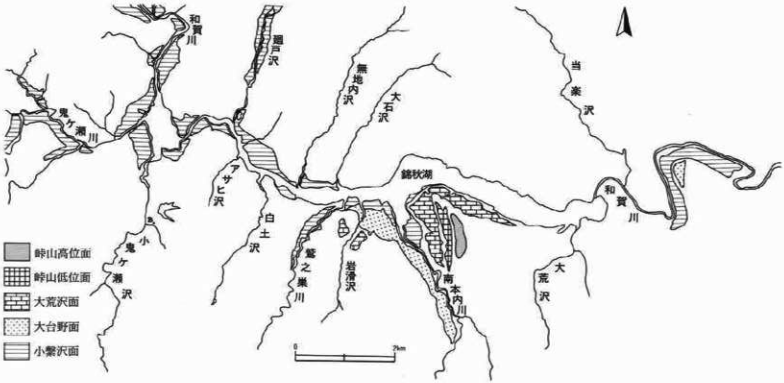

雪谷川
月内川
福庭岳
安比川
久慈川
長内川
西岳
七時雨山
馬淵川
八幡平
岩手山
姫神山
小本川
甲石川
閉伊川
北上川
早池峰山
大槌川
雫石川
和賀川
湯田町
焼石岳
胆沢川
気仙川
栗駒山
磐井川
0
20km
0
100km

第１図　岩手県全図

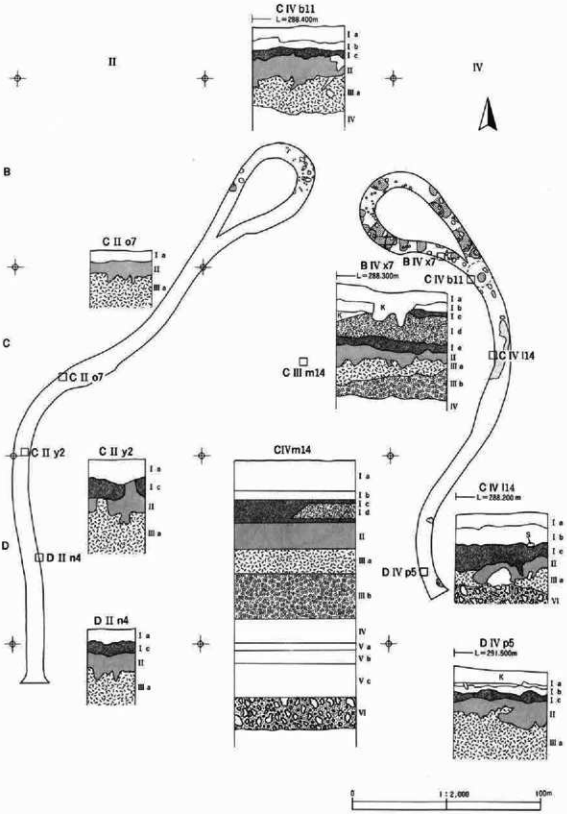
第2図　遺跡位置図



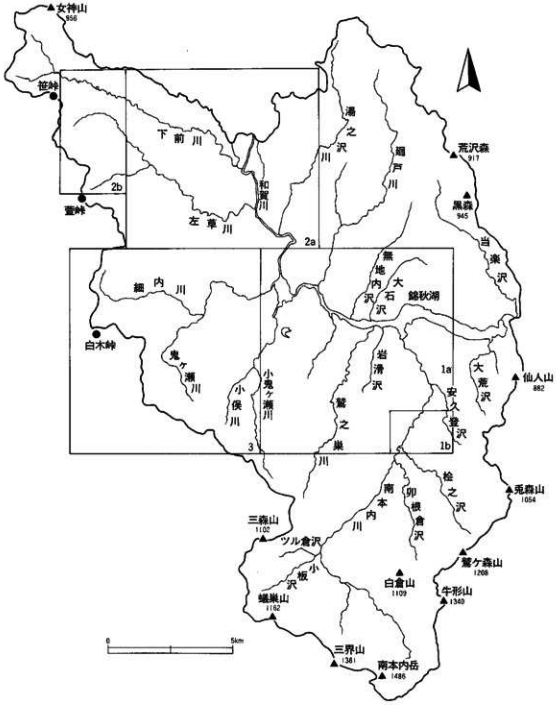
第3図　遺跡の地形図・調査区位置図


和賀川
鬼ケ瀬川
小鬼ケ瀬沢
アサヒ沢
白土沢
鷲之巣川
岩清沢
無地内沢
大石沢
錦秋湖
南本内川
当楽沢
和賀川
大荒沢
峠山高位面
峠山低位面
大荒沢面
大台野面
小鷲沢面
0
2
3km

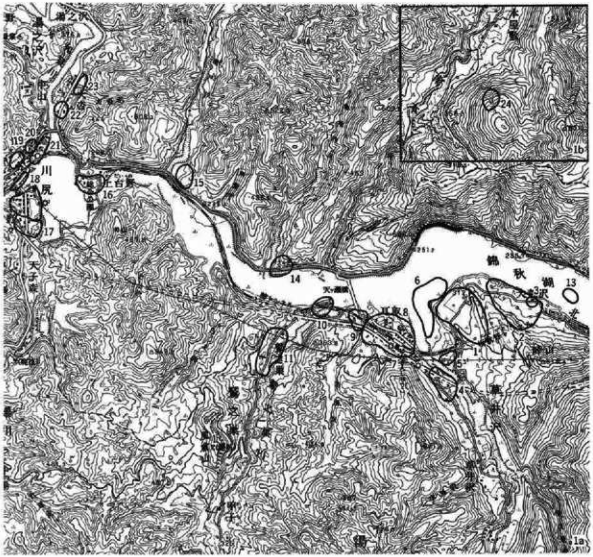
第４図　地形分類図


C IV b11
L=288.400m
I a
I b
I c
II
III a
IV
II
IV
B
C II o7
I a
II
III a
C
C II o7
C II y2
C II y2
I a
I c
II
III a
D
D II n4
D II n4
I a
I c
II
III a
B IV x7
B IV x7
L=288.300m
C IV b11
I a
I b
I c
I d
I e
II
III a
III b
IV
C III m14
C IV l14
CIVm14
I a
I b
I c
I d
II
III a
III b
IV
V a
V b
V c
VI
C IV l14
L=288.200m
I a
I b
I c
II
III a
VI
D IV p5
D IV p5
L=291.500m
I a
I b
I c
II
III a
0
1:2,000
100m

第5図　基本土層模式図



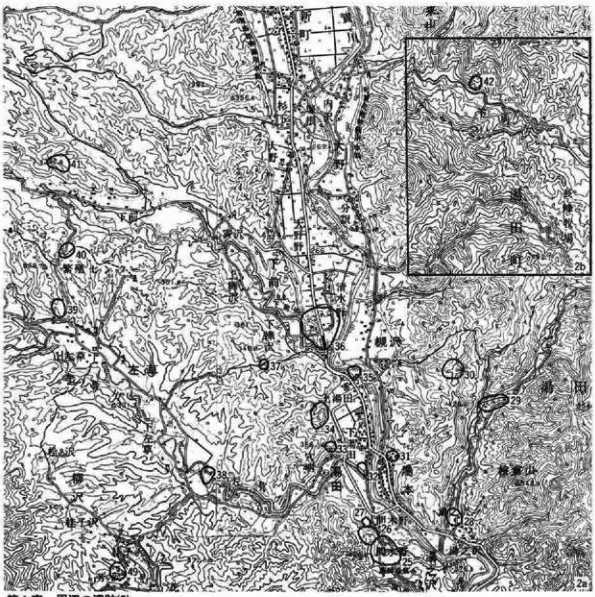
第６図　湯田町境界と周辺の遺跡図幅位置図



第１表　周辺の遺跡(1)

No.	遺跡名	種別	時代	所在地（温田町）	備考	調査・報告
1	岬山牧場Ⅰ	集落跡	旧石器・縄文（前・中）	第46地割	A・B・C区に分割	H５・６・８調査：岩第233集
2	岬山牧場Ⅱ	散布地	縄文	第45地割（岬山牧場内）		
3	岬山一里塚	塚	近世	第45地割（岬山牧場内）	町指定史跡	
4	本内Ⅰ	散布地	縄文・近世	第46地割125番		H５調査：岩第212集
5	本内Ⅱ	集落跡	縄文（草・中～晩）・弥生	第47地割		H５・６調査：岩第271集
6	本内Ⅲ	散布地	縄文	第46地割		
7	耳取Ⅰ	集落跡	旧石器・縄文（前・中）	第49地割２番	A・B区に分割	H５・６調査：岩第232集
8	耳取Ⅱ	散布地	縄文	第49地割		
9	耳取Ⅲ	散布地	縄文	第49地割		
10	八幡館	城館跡	中世	第41地割		
11	雲之巣	散布地	縄文（中）	第50地割101番		
12	草弁沢	散布地	縄文	第45地割１番	水役	
13	杉名畑	散布地	縄文（中・後）	第44地割	水役	
14	安倍館	城館跡	中世	－	伝承地	
15	橋戸	散布地	縄文（中・後）	第42地割２番	H２調査	
16	川尻中学校	散布地	縄文（中）	第41地割59番	損壊	
17	上野々	散布地	縄文・近世	第39地割149番		H５調査：岩第211集
18	川尻Ⅰ	散布地	縄文	野中川尻駅周辺		
19	川尻Ⅱ	－	－	川尻小学校周辺	98遺跡台帳記載なし	
20	川尻館	城館跡	中世	第40地割149番		
21	館	集落跡	縄文（前・中）	第40地割166番	損壊	
22	大巻Ⅰ	散布地	縄文（中）	第36地割63番		
23	大巻Ⅱ	散布地	縄文	第36地割27番		
24	藤倉館	城館跡	中世	大字本屋敷		S58調査

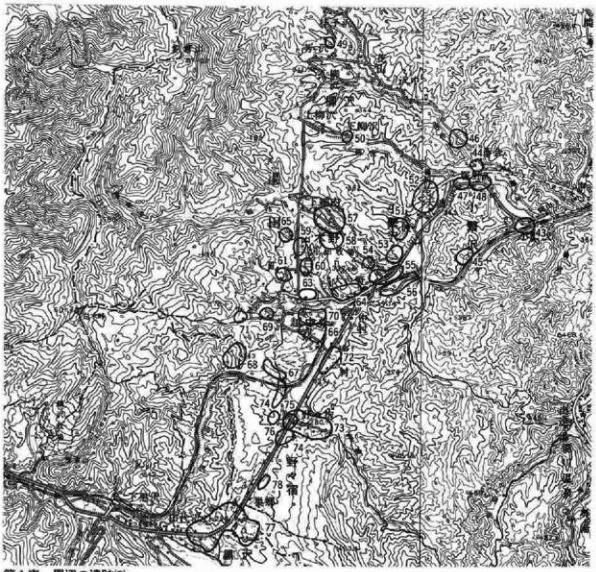
第７図　周辺の遺跡(1)川尻以東



第1表　周辺の遺跡(2)

No.	遺跡名	種別	時代	所在地（湯田町）	備考	調査：報告
25	岡木野I	散布地	旧石器	第30地割24番	S59調査	
26	岡木野II	散布地	旧石器	第30地割24番	S59調査	
27	岡木野III	散布地	縄文	第24地割136番		
28	湯ノ沢	散布地	縄文	湯之沢		
29	大水上	散布地	縄文	大水上		
30	とんねじろ	城館跡	中世	梅沢館		
31	藤本温泉	散布地	縄文（中・晩期）	第30地割39番		
32	虎部館	城館跡	中世	第21地割205番		
33	西山	祭祀跡	平安	湯田		
34	中館	城館跡	中世	上湯田		
35	上湯田	集落跡	古代	湯田		
36	豊ヶ沢一里塚	塚跡	近世	豊沢		
37	清水ヶ野	集落跡	縄文（前期）	第18地割122番		
38	火石長根	散布地	縄文	第79地割69番		
39	左草館	城館跡	中世	上左草		
40	長峰	散布地	旧石器	第2地割146番	H2調査	
41	虎館	城館跡	中世	下前		
42	下前	散布地	縄文	高山国有林138林班	H2調査	
43	合野々	散布地	縄文	第55地割84番		
44	小繁沢I	散布地	縄文	小繁沢		
45	小繁沢II	散布地	縄文	第55地割84番		
46	落合	集落跡	縄文	第56地割15番		
47	塚野I	散布地	縄文（前・中・後）	第55地割145番		H4調査：岩第199集
48	塚野II	散布地	縄文（前・後）	第55地割157番		H4調査：岩第199集
49	芳ヶ沢一里塚	塚跡	近世	第72地割51番		

第8図　周辺の遺跡(2)川尻以北



第１表　周辺の遺跡(3)

No.	遺跡名	種別	時代	所在地（番田町）	備考	調査：報告
50	柳沢Ⅰ	散布地	縄文	下柳沢70-80-1		
51	大裏Ⅰ	散布地	縄文	第57地割37番		Ｈ４調査：岩第195集
52	大裏Ⅱ	ｷｬﾝﾌﾟ跡	旧石器・縄文（前～後）	第57地割12番		Ｈ３・４・５調査：岩第215集
53	大裏Ⅲ	ｷｬﾝﾌﾟ跡	旧石器	第57地割40番		
54	大裏Ⅳ	集落跡	縄文	第57地割		
55	大台野	集落跡	旧石器・縄文・弥生	第66地割253番		Ｓ45～67調査
56	大台野Ⅱ	集落跡	縄文	第68地割		
57	細内Ⅰ	散布地	旧石器	第69地割66番		
58	細内Ⅱ	ｷｬﾝﾌﾟ跡	旧石器	第69地割		
59	白木野Ⅰ	散布地	縄文（前・中）	第68地割265番		Ｈ４調査：岩第200集
60	白木野Ⅱ	散布地	近世	第67地割150番		Ｈ４調査：岩第200集
61	白木野Ⅲ	散布地	近世	第67地割６番		Ｈ４調査：岩第200集
62	白木野Ⅳ	散布地	縄文	第67地割166番	98遺跡台帳に不掲載	
63	白木野Ⅴ	散布地	縄文	第67地割262番		
64	白木野Ⅵ	散布地	旧石器	第67地割315番		
65	白木野Ⅶ	ｷｬﾝﾌﾟ跡	旧石器	第67地割		
66	越中畑Ⅰ	散布地	縄文	第64地割		
67	越中畑Ⅱ	散布地	旧石器	第64地割		
68	越中畑Ⅲ	散布地	縄文	第64地割		
69	越中畑Ⅳ	散布地	縄文・近世	第64地割		Ｈ４調査：岩第201集
70	越中畑Ⅴ	散布地	縄文	第64地割		Ｈ３・４調査：岩第201集
71	越中原墓所跡	墓所跡	近世	第64地割100番		
72	中村	散布地	旧石器	第59地割52番		
73	野々宿Ⅰ	集落跡	縄文	第64地割50番		
74	野々宿Ⅱ	散布地	旧石器	第62地割90番		
75	野々宿Ⅲ	ｷｬﾝﾌﾟ跡	旧石器	第62地割77番		
76	野々宿北	散布地	旧石器	第62地割77番		
77	島郷Ⅰ	散布地	縄文	第63地割		
78	島郷Ⅱ	散布地	旧石器	第63地割10番		

第９図　周辺の遺跡(3)川尻以西

Ⅲ．調査・整理の方法

1．範囲確認調査について

（1）範囲確認調査の概要

本調査に先だって平成6年度に範囲確認調査が行われており、その成果については既に報告されている（岩埋文233集）。ここでは本報告に関わることについて簡単に触れておきたい。

試掘調査は4m四方のグリッドを単位として約13,800m²（Ⅰ遺跡B地区全体の面積45,000m²の約3割）について調査が行われた。具体的には遺物集中区を除いてⅢ層まで掘り下げ、遺物集中区については数カ所をⅢ層まで掘り下げて遺物の出土状況を精査し、その他は遺物包含層（Ⅰd層）を検出した段階で試掘を止めている。ただし狭い試掘範囲のなかで、遺物包含層と同一の土層からなる遺構内埋土を、それと識別できずにⅢ層まで精査したグリッドが数カ所ある。

試掘の結果、遺跡の南西側で旧石器集中区5箇所、北東側で縄文時代の遺物集中区（遺物包含層）の存在を確認し、いくつかの遺構について精査をおこなっている。

縄文時代の遺物集中区の広がりは、おもに遺物包含層（Ⅰd層）の広がりと遺構の範囲から把握されたものである。包含層の厚さは20cm～40cmで縄文時代前期末葉を主体とする遺物を包含することが明らかにされたが、その形成過程や遺構との関わりおよび個々の遺構の内容を把握するまでには至っていない。

本調査においては、とくに遺物包含層（Ⅰd層）の範囲とその性格、個々の遺構の内容把握が調査課題として設定された。

旧石器時代については、5ヶ所の遺物集中区が確認されている。位置はいずれも遺跡の南側でⅠA地区に近い。今回は限定された調査範囲であるが、集中区の分布の北側への広がりの有無が調査課題のひとつとなった。

（2）峠山牧場Ⅰ遺跡の地区割について

峠山牧場Ⅰ遺跡は、総面積約150,000m²に及ぶ遺跡である。遺跡としては一括されるが実際の調査にあたっては、便宜的に調査地別の地区割が行われている。県埋蔵文化財センターで調査した2地点については、遺跡南側をA地区、北側をB地区と呼び、遺跡の東側で湯田町教育委員会で調査した地点をC地区と呼んでいる。

2．野外調査

（1）調査区の設定と遺構の命名

野外調査の方法については、基本的には平成6年度に行われた範囲確認調査の際に設定されたものを踏襲したが、一部変更したところもある。具体的には以下のとおりである。

a．基準点の設置

三等三角点八幡館と四等三角点峠山牧場を使用し、以下の基準点・補点を設定した。基準点1・2と補点1～6は範囲確認調査の際に設定された既点で、それ以外は新設した点である。

基準点1　X＝－78,000.000m　Y＝＋1,200.000m、H＝290.292m（既点）

基準点2　X＝－78,000.000m　Y＝＋1,300.000m、H＝290.549m（既点）

補　点1　X＝－77,900.000m　Y＝＋1,200.000m（既点）

補　点2　X＝－77,900.000m　Y＝＋1,300.000m（既点）

補　点3　X＝−77,960.000m　Y＝+1,300.000m（既点）
補　点4　X＝−78,000.000m　Y＝+1,100.000m（既点）
補　点5　X＝−78,100.000m　Y＝+1,100.000m（既点）
補　点6　X＝−78,100.000m　Y＝+1,200.000m（既点）
補　点7　X＝−78,050.000m　Y＝+1,100.000m（新点）
補　点8　X＝−78,000.000m　Y＝+1,150.000m（新点）
補　点9　X＝−77,950.000m　Y＝+1,150.000m（新点）
補　点10　X＝−77,850.000m　Y＝+1,220.000m（新点）
補　点11　X＝−77,870.000m　Y＝+1,250.000m（新点）
補　点12　X＝−77,850.000m　Y＝+1,250.000m（新点）
補　点13　X＝−77,850.000m　Y＝+1,300.000m（新点）
補　点14　X＝−77,890.000m　Y＝+1,300.000m（新点）
補　点15　X＝−77,890.000m　Y＝+1,320.000m（新点）
補　点16　X＝−77,900.000m　Y＝+1,350.000m（新点）
補　点17　X＝−78,000.000m　Y＝+1,350.000m（新点）
補　点18　X＝−78,050.000m　Y＝+1,320.000m（新点）

b．グリッドの設定（第10図）

調査区の地区割りにあたっては、遺跡全体をカバーするように碁盤状の格子を組むグリッド方式を用い、平成6年度の試掘調査の際に設定されたグリッドを踏襲した。具体的には上記基準点と補点をもとに平面直角座標の第X系の公共座標軸にのる100m四方の大グリッドを組み、更に4 m四方の小グリッドを設定した。グリッドの名称は、大グリッドは北から南にむかってA・B・C…（アルファベット大文字）、西から東にむかってⅠ・Ⅱ・Ⅲ…（ローマ数字）を用い、その組み合わせでＡⅠ区・AⅡ区などと呼び、小グリッドは北から南にむかってa〜y（アルファベット小文字）、西から東にむかって1〜25（算用数字）にそれぞれ25等分した。区画左上（北西隅）の杭をもってグリッドの名称を表し、遺構の位置や遺物の取り上げは大小グリッドの組み合わせて、DⅣa10グリッドなどと表わした。

c．調査区

調査面積は6,120m²である。調査区は錦秋湖サービスエリアに付設される栗林内の遊歩道部分で大きく西側（3,360m²）と東側（2,760m²）の2箇所に分かれる。それぞれ幅8 m〜10mで、西側は長さ420m、東側は長さ330mである。西区、東区と仮称した。

d．遺構の命名

遺構の命名にあたっては次の略号を用いて検出順に行った。基本的に平成6年度調査と同一略号を用いているが、一部変更したものもある。

RA：竪穴住居跡、RE：竪穴状遺構、RB：掘立柱建物跡、RD：土坑、RF：焼土遺構

RH：集石遺構、　RZ：土器埋設遺構

e．検出された遺構数

検出された遺構の名称（数）は以下のとおりである。遺構数は各遺構とも本調査について付したNO.（1〜）であり、平成6年度調査で命名・報告されたものとの整合性はない。

竪穴住居跡：RA01〜31（31）、土坑類（墓壙・陥し穴含）：RD01〜53（53）、

焼土遺構：RF01～05（5）、集石遺構：RH01（1）、土器埋設遺構：RZ01～16（16）、
柱穴状土坑51基、遺物包含層1箇所、
旧石器集中区2箇所

（2）調査の経過

調査は、当初、6月～9月（4ケ月）の予定であったが、遺構・遺物が予想以上に出土したことから、10月22日まで延長して行われた。作業員の登録員数は、当初33名で、7月に11名増員して、以降44名である。平均の稼働人数は32名ほどであった。以下に、調査経過を簡単に記す。

6月3日（月）　午前10時、資材搬入・調査開始、作業員登録33名。
6月5日（水）　阿部・鈴木異動、本調査に入る。
7月16日（火）　川向異動、調査に入る（調査員3人体制）。
7月22日（月）　作業員登録44名（11名増員）。
9月5日（木）　空中写真撮影（全体）。
9月7日（土）　午後1時30分～3時、現地説明会。参加者90人。
9月9日（月）　午後3時、部分終了確認（西区：3,360㎡）。
9月30日（月）　川向異動（調査員2人体制）。
10月8日（火）　空中写真撮影（東区）。
10月11日（金）　午後2時、終了確認（東区：2,760㎡）。
10月22日（水）　調査終了、撤収。

（3）粗掘り、精査

当初、2m幅のトレンチを任意に地形に応じて入れ、遺跡の状況把握につとめた。その結果、表土の厚さは10cm～15cmであり、削られているところ、遺物包含層の有無など地点により層位・層厚の違いが把握された。基本的には表土部分を重機を用いて剝ぎ、それ以下の層位は人力で精査を行なった。各区域における遺構検出・遺構精査の状況は、以下のとおりである。

西区：北側は50cm～100cmほど土取りされ、III層～IV層面まで削平されていた。南側では遺物包含層が無いことを確認し、重機により表土を除去した後、試掘調査を行こなった。その結果、西区の北側で縄文時代の土坑群がまとまって検出されたが、南側では遺構・遺物は確認されなかった。

東区：北側で遺物包含層が確認されたため、表土を重機で除去した後、遺物包含層の広がりを検出し、以下人力で精査を行った。南側では遺物包含層は無く、南端においてはIII層まで削られていたことから重機で表土を除去した後、試掘調査を行い、遺構・遺物の精査を行こなった。

旧石器については、4m×4mのグリッドを基本として全域にわたり試掘調査を行った。集中区を確認できたところは、東区北側の地点のみである。

検出された遺構は、原則として住居跡の場合は4分法、土坑類は2分法を行ったが、必要に応じてその他の方法も併用した。精査の各段階において必要図面の作成や写真撮影を適宜行った。

遺構内出土の遺物は、埋土では分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。その他にも適時写真撮影・図面作成をして取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則として小グリッドごとに出土した層位を記して取り上げ、適時写真撮影・図面作成をしている。

（4）実測・写真撮影

平面実測は、グリッドに合わせた1mメッシュを基本とした。住居跡・土坑類は平面図・断面図とも1／20

の縮尺を基本とした。遺構の埋土が単層である場合は、その状態を Field Card に記し、土層断面図の作成は省略した。レベルは、基準点をもとに絶対高で測った。

旧石器の遺物集中区の図化・遺物の取り上げについては、トータルステーションを使用した。

写真撮影は35mmモノクロームとカラースライド各1台、モノクローム6×9㎝判1台を使用した。撮影にあたっては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを利用した。実際の撮影は、各種の埋土堆積状況や、遺物の出土状況、完掘状況、全景などについて行い、調査の終了段階で空中写真撮影を行っている。

3．室内整理

室内整理の期間は、平成8年11月～平成9年3月（5ケ月間：整理員7名）、平成10年4月～平成11年3月（12ケ月）である。平成8年度整理では、遺物の水洗、仕分け・登録、遺構図面の点検・合成、遺構トレースなどの作業を行った。平成10年度整理においては、4月～10月（7ケ月：室内整理員16名）に、注記、土器の接合・復元、実測、拓影、遺物写真撮影を行い、11月～同11年3月（5ケ月：室内整理員8名）に、遺物トレース・図版作成を行った。調査員は、全体計画の進行管理・各作業の指示・点検と原稿執筆を行った。

野外調査で得られた遺物、実測図、写真などの各種資料は、室内整理の段階で次のように処理し、整理し、報告書作成とともに資料化を行った。

（1）遺構に係わる記録

各実測図面ごとに分類し、図面点検のうえ、必要なものについては第二原図を作成し、トレースを行った。撮影されたフィルムは、ネガアルバムに密着写真と一組にして収納した。カラースライドフィルムはスライドファイルに撮影順に収納した。

（2）遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、細片は別として、遺跡略号・出土地点・層位を全破片について注記を行った。その後、遺構ごと、遺物包含層に付いては、グリッド・層位ごとに接合・復元を行った。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮尺して図化した。炭化物・植物遺存体・石材の分析は、外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影は、センターの専門技師二人が撮影を行った。遺物の整理・報告に当たって作業・記録作成は以下の方針で進めた。

（3）遺物の選別基準

報告書に掲載された遺物は出土した遺物の全てではなく、整理の中で設定された基準をもとに選別された一部の資料である。ここでは掲載資料の選別基準を明示することで、掲載資料のもつ意味が相対的に高まるものと考え、以下に資料の選別基準を明示する。また、資料化は図化・写真がすべてではない。不掲載資料であっても可能な限り数的処理を行い、出土資料全体の傾向を把握するためのデータとした。

a．土器

土器の注記と並行して重量の計測を行い、出土した土器の量的な把握を試みた。土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合された土器については、原則として計測値（器高・口径・底径）2点以上、計測可能なもの（器形が把握できるもの）を立体土器として登録し、図化を進めた。実際の作業にあたっては、接合率が低かったため、遺構内出土については上記の基準を満たさないものでも一部、登録・図化し、掲載している

破片資料については、口縁部破片は径5㎝以上の大きさを破片とした。ただし遺構内出土遺物については、上記基準を満たさないものでも一部、図化している。その他の口縁部破片については、該当すると思われる

土器の型式名を記録し数的処理を行った。

胴部破片は、原則として不掲載としたが、輪積痕・補修孔など特異な文様など実見に際して必要と思われた破片について選別し、図化した。

底部破片については、全破片について、4分1未満、4分1以上～2分1未満、2分の1以上、完形品の基準を設けて残存率の数的処理を行った。そのうち完形品、破片でも底部圧痕、施文などが認められる破片や、特異な形状をしている破片は、選別し、図化した。

b. 石器

石器は、個々に仕分けを行い、製品については登録・計測・分類を行った。未製品については重量計測のみ行った。時間の制約上、全点掲載は叶わないため、図化・掲載したのは一部の資料である。他に出土遺物全体の傾向が把握できるように可能なかぎり数的処理に努めた。基本的に遺構内出土の石器を優先して図化した。包含層及び遺構外の石器については特異な器種についてのみ図化・掲載を行った。器種別には、以下の基準による。

剥片石器は、遺構内出土の石器は原則として全点掲載した。不定形石器については類似資料をできるだけ除き、可能なかぎり選別し、特徴的な石器のみ図化している。

礫石器は、遺構内出土の石器を優先し、著しく欠損しているものを除いて図化した。

旧石器は、集中区およびそれ以外の出土地点の製品・素材を図化し、掲載した。剥片類は図化していない。

c. 土製品

出土地点を問わず、全点図化し、掲載した。

d. 石製品

全体として未製品（素材）が多いため、著しく欠損しているものを除いて、製品については原則として全点図化し、掲載した。素材については、特徴的なもののみ図化した。

（4）出土した土器の型式と対応する時期の本文記載および分類について

出土した土器には前期・中期・後期に属するものがある。遺構の時期判定については出土した土器型式の比定に拠ることから、Ⅰ群：前期、Ⅱ群：中期、Ⅲ群：後期と大別し、出土量の多い前期・中期については対応する土器型式により細分類し、時期の本文記載を行った。土器型式と本文記載の時期および分類の対応関係は以下のとおりである。個々の土器の比定される土器型式については観察表の分類項目で記したが、細分の叶わない土器については大別のみを記している。

土器型式（分類）：時期の本文記載

上川名Ⅱ式（Ⅰ群1類）：前期初頭、大木1～2ａ式（－）：前期前葉、大木2ｂ式（Ⅰ群2類）、大木3式（－）：前期中葉、大木4式（Ⅰ群3類）・大木5式（Ⅰ群4類）：前期後葉、大木6式（Ⅰ群5類）：前期末葉、大木7ａ式（Ⅱ群1類）：中期初頭、大木7ｂ式（Ⅱ群2類）：中期前葉、大木8ａ・8ｂ式（－）：中期中葉、大木9式（－）：中期後葉、大木10式（Ⅱ群3類）中期末葉。

4．掲載図版等について

（1）掲載図版の構成

掲載図版は、遺構図版と遺物図版に分けている。遺構図版は、遺構の種別ごとに掲載した。遺物図版は、土器・土製品・石器・石製品などの種類ごとに、遺構内・遺構外の順に掲載した。各遺物図版のなかでは、遺構毎・出土地点、層位を基準として掲載することにした。石器については、器種ごとに分類したなかで、

遺構毎・出土地点・層位を基準として、掲載した。遺物の種類ごとに分けることにより、遺跡全体の出土遺物全体の傾向を把握し易くすることを意図している。一方で各遺構毎の出土遺物の傾向を把握し易くすることを意図して、遺構毎の出土遺物の集成図を遺構の図版の後に付して利用の便を図った。ただし、住居跡については出土遺物の多寡に係わらず、すべての住居跡について作成したが、他の遺構については、まとまった出土遺物がみられた遺構（土坑）についてのみ作成した。

掲載遺物には観察表を付した。観察表の（　）内数値は残存値である。遺物の図版掲載番号は各種遺物ごとに各遺構・出土地点ごとに連番を付し、写真番号も同一のものとした。

（2）図版の縮尺

掲載した遺構・遺物の図版の縮尺は次のとおりである。

a．遺構図版

各遺構の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。

住居跡の平・断面図1／60、炉の断面図1／60、土坑の平・断面図1／40、集石遺構・土器埋設遺構1／40。

b．遺物図版

各遺物の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。

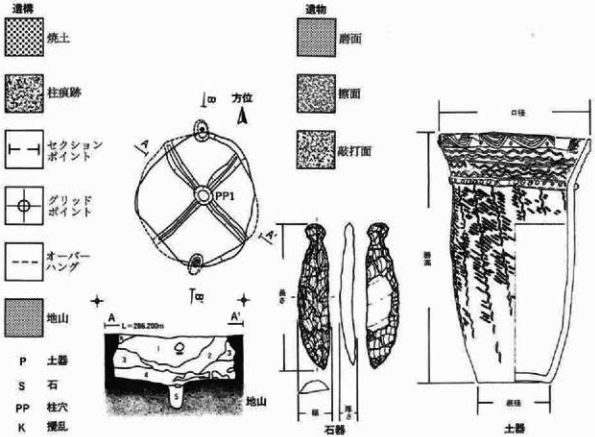
旧石器2／3、立体土器1／3、破片土器1／3、土製品1／2、剝片石器1／2、礫石器1／3、石製品1／2。

c．写真図版

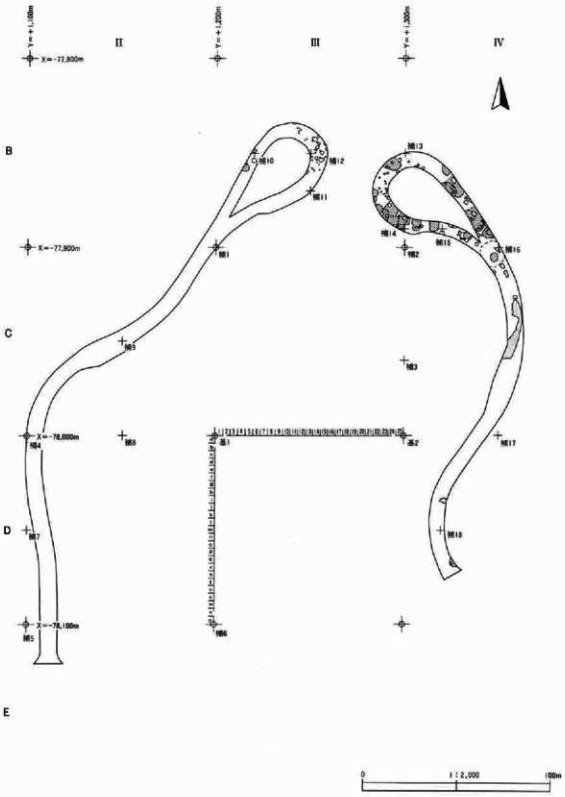
遺構の写真図版は縮尺不定である。遺物の写真図版については、各図に縮尺を付した。

（3）図版の凡例

図中に使用した記号とスクリーン・トーンの凡例は次のとおりである。



凡　例



第10図　グリッド配置図

Ⅳ．旧石器時代

今回の調査で旧石器が出土している。出土地点は調査区北側で、BⅣy10～y12グリッドからCⅣd12グリッドでまとまって出土し、BⅣy12グリッド付近とCⅣa10～a11グリッド付近の2カ所が集中区と判断された。他に縄文時代の遺構埋土など元位置を留めていない旧石器も少量出土している。

集中区で出土した石器の総点数は300点、炭は200点である。以下に概要を記す。なお炭化物については、^{14}C年代測定で鑑定したところ、縄文時代前期との鑑定が出ている（No.2・3）。周辺や後世の土壌汚染が考えれる結果であり、出土した資料の実年代を類推するには至らなかった。

第1集中区

遺構（第11・12図、写真図版3）

〈位置・検出状況〉BⅣy12グリッド。遺跡内で確認された集中区としては最北端に位置する。段丘縁からは50m南側に位置する。南西側5mの地点には第2集中区が位置する。縄文時代の遺構のRH01集石遺構の精査中、断面裁ち割りの段階で、集石の下位の土層に彫刻刀形石器（No.1）を確認し、その後、集石の除去後に彫刻刀形石器(2)・掻器(7)の2点が発見され、計3点がまとまって出土したことから集中区と判断した。

〈重複〉集中区の上位に縄文時代の遺構であるRH01集石遺構が位置する。

〈規模・平面形〉径3m前後と推定されるが、詳細は不明である。石器の周辺には炭も分布している。

〈遺物の出土層位〉Ⅱ層（漸移層）。

〈遺物の出土レベル〉表土から最終検出面までの深さは72.8cmである。出土遺物の最高位は287.681m（No.8）、最低位は287.576m（No.10）で、遺物の出土地点の高低差は10.5cmの間に収まる。

遺物（第14・15図、写真図版4・5）

〈出土状況〉Ⅱ層の漸移層から径3m前後の範囲で出土している。

〈石器〉彫刻刀形石器6点、掻器1点、石刃7点、剥片10点、石屑30点、総計74点が出土している。石材は頁岩が卓越する。産地は和賀川流域である。ここでは彫刻刀形石器6点、掻器1点、石刃7点を掲載した。

1～6は彫刻刀形石器である。小形～大形の縦長の剥片（石刃）を素材とし、腹面の末端の左側縁の上端に細部加工を施して打面の調整を施したのちに、背面の右上方から一撃を加えて彫刀面を作り出している。1は腹面に彫刀面が作り出されている。2は、素材（石刃）の基部（打面）側を石器の先端部として使用している。腹面に打面調整を施した後に背面右上方から一撃を加えて彫刀面を作り出している。もう一方の先端にも類似の調整がある。5・6は彫刻刀として使用されたか、もしくは未製品の可能性がある。彫刻刀面は判然としないが、腹面の上端左側縁に細部加工を施す技法は他の彫刻刀形石器に分類したものと同様である。7は掻器である。表皮の残る縦長剥片（石刃）の末端の背面に刃部が作り出されている。使用時に破損したと思われる欠損が刃部に見られる。8～14は石刃で、12の腹面の右の側縁には微細な剥離が見られる。

第2集中区

遺構（第11・13図、写真図版3）

〈位置・検出状況〉CⅣa10～a11グリッド。遺跡内で確認された集中区としては第一集中区とともに最北端に位置する。段丘縁からは50m南側に位置する。北東側5mの地点に第1集中区が位置する。

〈重複〉なし。

〈規模・平面形〉径3m前後で、円形基調と推定されるが、詳細は不明である。

〈遺物の出土層位〉Ⅱ層（漸位層）～Ⅲa層（ローム）。

〈遺物の出土レベル〉表土から最終検出面までの深さは73cmである。最高位は287.804m（No.24）、最低位は287.593m（No.32）で、遺物の出土地点の高低差は21.0cmの間に収まる。

遺物（第16～19図、写真図版5・6・7）

〈出土状況〉Ⅱ層の漸位層からⅢa層。

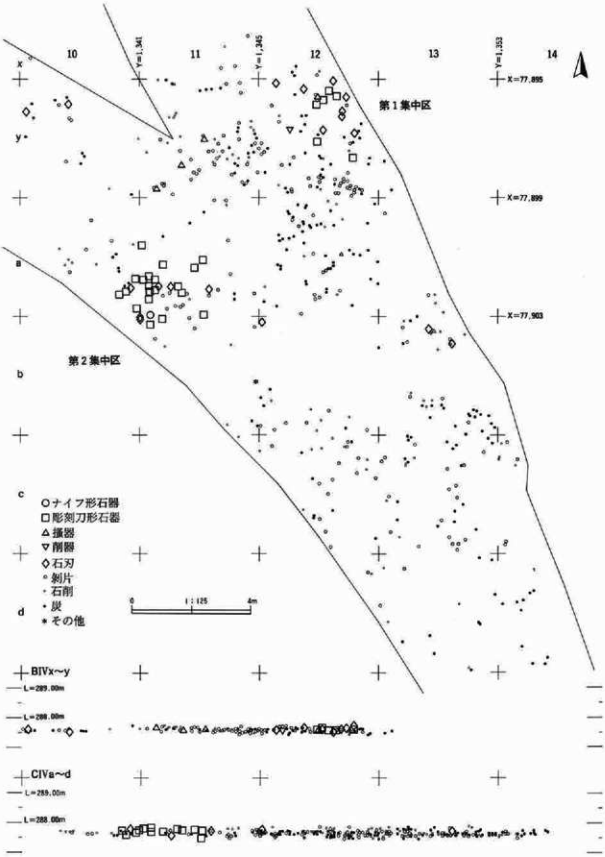
〈石器〉ナイフ形石器1点、彫刻刀形石器18点、削器1点、石刃6点、剥片30点、石屑50点、削片1点、合計107点が出土している。石材は頁岩が卓越し、珪質頁岩や流紋岩が少量ある。産地は和賀川流域である。このうちナイフ形石器1点、彫刻刀形石器18点、削器1点、石刃6点を掲載した。

15はナイフ形石器で、上半分を欠損している。腹面の両側縁に調整が加えられている。16はナイフ形石器を彫刻刀形石器に転用したものと考えられる。基部は両側縁に調整を施し、打面を取り除いている。先端部は無加工のようである。背面の左側縁に3回の彫刀面の作り出しがみられる。17～36は彫刻刀形石器あるいはそれに類似する調整が見られるものを挙げた。未製品が含まれているかもしれない。いずれも中形～小形の石刃を用いて、腹面の左側縁の上端に調整を加え、打面調整を行った後に背面の右上端から左下に向けて一撃を加えて彫刀面を作り出している。20は2回、21は交差するように彫刀面が作り出されている。20・22は素材である大形の縦長剥片を折半しているようで、彫刻刀としての長さを調整した可能性がある。現状の長さは他の彫刻刀とほぼ同じである。24は腹面に付着物がみられる。これらと比較して、29～35は明瞭な彫刀面が確認できないが、腹面の左側縁上端に施される調整は類似する。未製品の可能性もあるかもしれない。37は彫刻刀の削片の可能性のあるものとして図示したものである。石材（色調）からすると26と同一であるが接合はしない。32aと32bは同一個体で1.4m離れた地点で出土している。43aと43bの出土地点はほぼ同一地点であり、欠損したものと思われる。38は縦長剥片の背面の右側縁に調整が施されている削器である。40～44は、以上の素材となった石刃と比較して、小形の薄い石刃である。

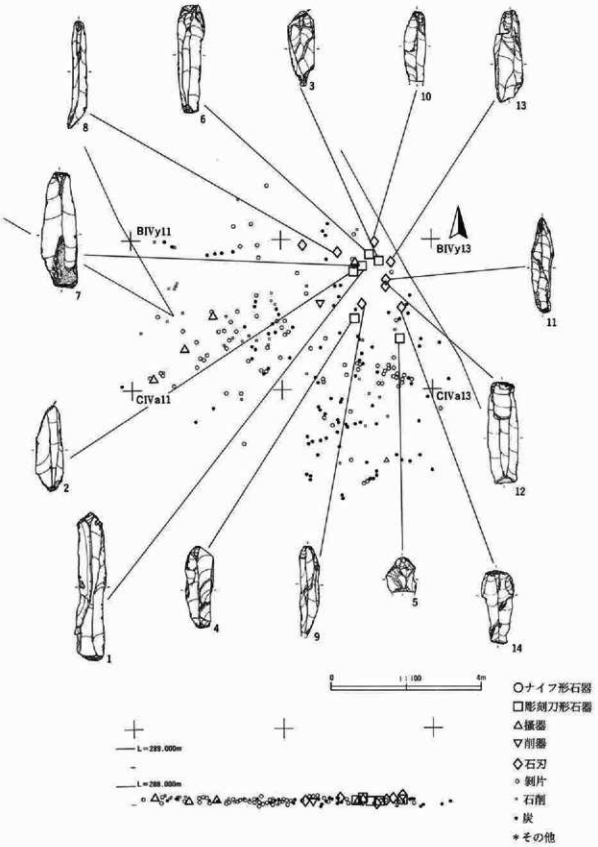
集中区外出土の旧石器（第20図、写真図版7）

集中区以外からも旧石器が出土している。遺物包含層中と竪穴住居跡の埋土から出土している。出土地点に特にまとまりはみられない。ナイフ形石器4点、彫刻刀形石器3点、石刃2点、細石刃1点の計10点を掲載した。石材はいずれも頁岩で、産地は和賀川流域である。

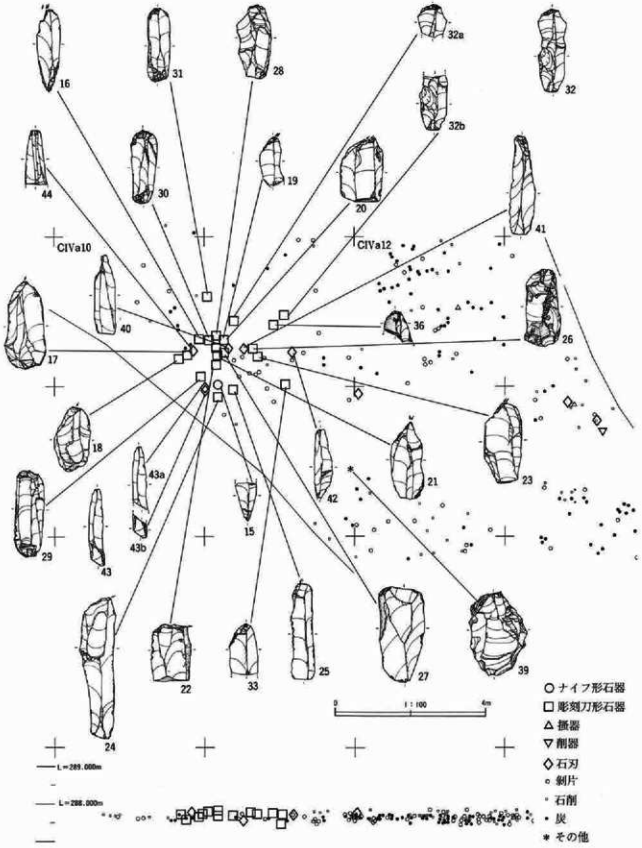
45～47はナイフ形石器で、上端部を欠損する。端部の両側縁に調整を加え、打面を除去している。48はナイフ形石器であるが、両側縁に微細な調整が加えられている。打面は除去されていない。49は彫刻刀形石器で、基部は両面調整ですぼまった形に仕上げられている。腹面の左上端に微細な加工が加えられ、打面調整を施した後に、背面の右上方から一撃で彫刀面を1回作り出している。色調がにぶい橙色を示し、他の石器と異なる。ナイフ形石器からの転用か。50・51は彫刻刀形石器で、50は2回、51は3回の彫刀面が作り出されている。いずれも腹面の端部左側縁に打面調整を施した後に、背面右上から左下に一撃で彫刀面がつくられている。51は、背面の末端に掻器様の刃部を合わせもつ複合石器である。52は小形の石刃で、腹面の左側縁の上端部に調整が入る。53は石刃の欠損品と思われる。詳細は不明だが、腹面の左側縁に調整が入る。彫刀面を作り出すための打面調整の可能性がある。54は細石刃で上部を欠損している。背面の右側縁に微細な剥離がみられる。



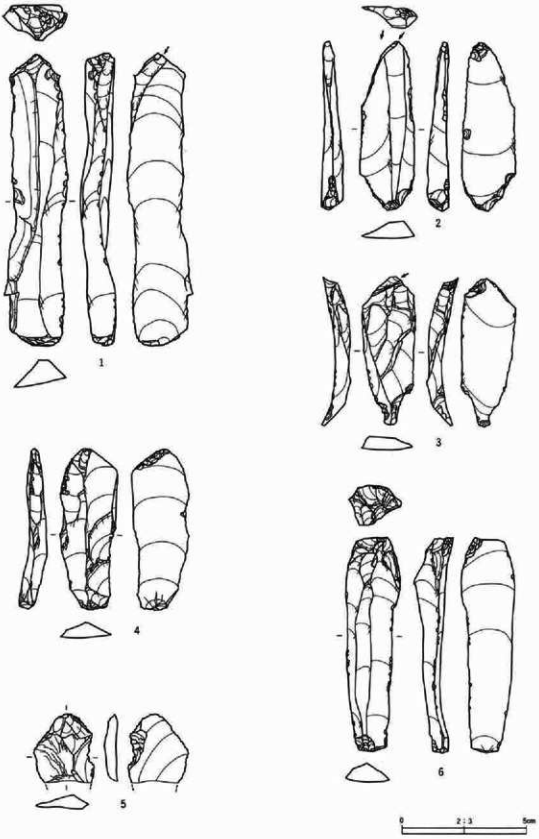
第11図　石器水平垂直分布図（第１・２遺物集中区）



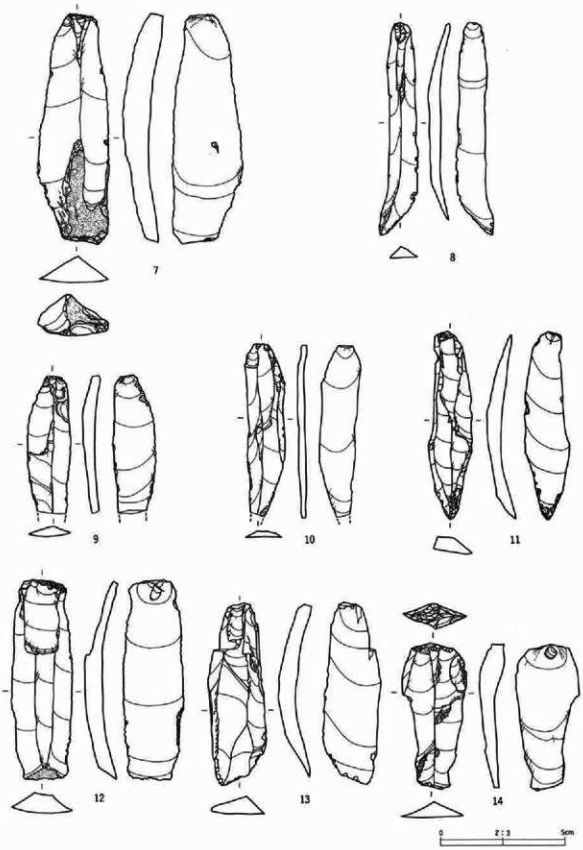
第12図　器種別石器分布図（第１集中区）



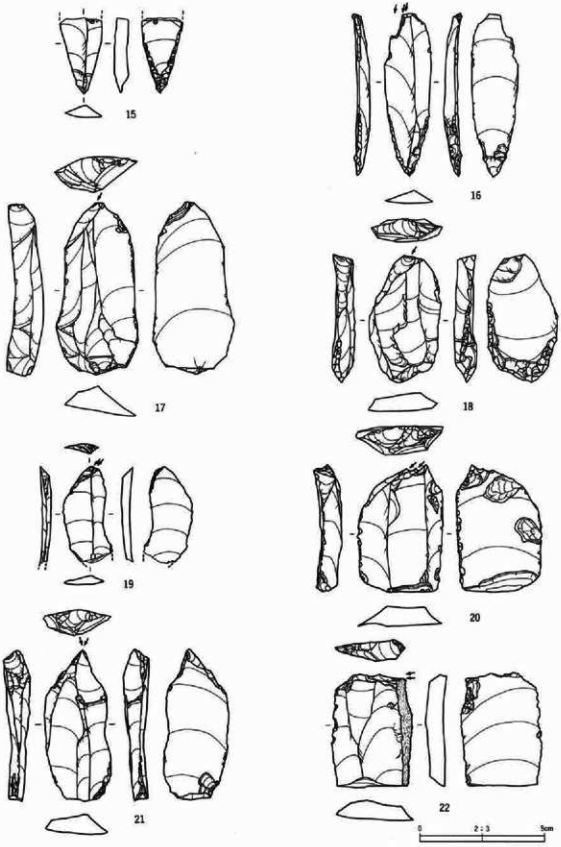
第13図　器種別石器分布図（第２集中区）



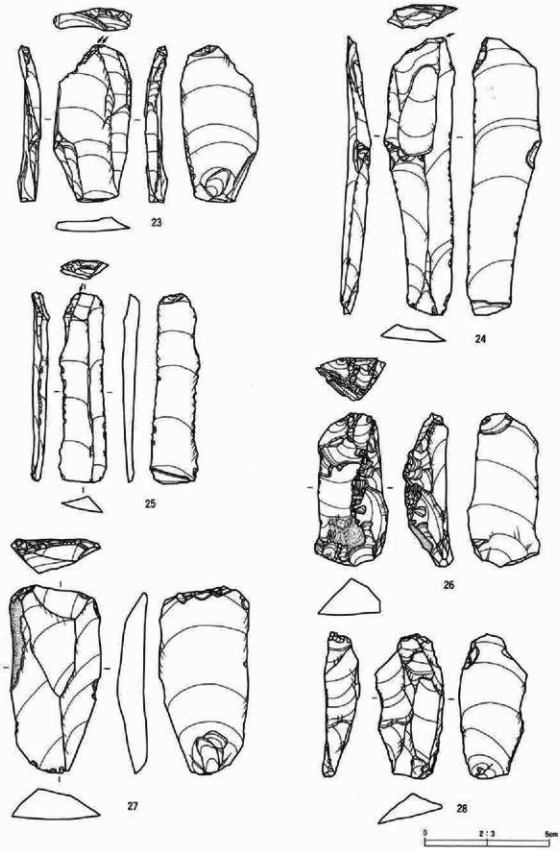
第14図　旧石器(1)



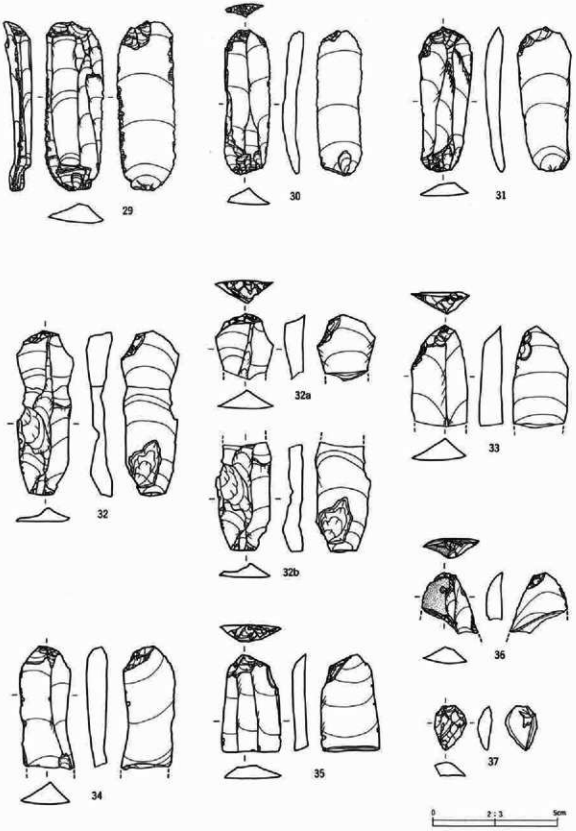
第15図　旧石器(2)



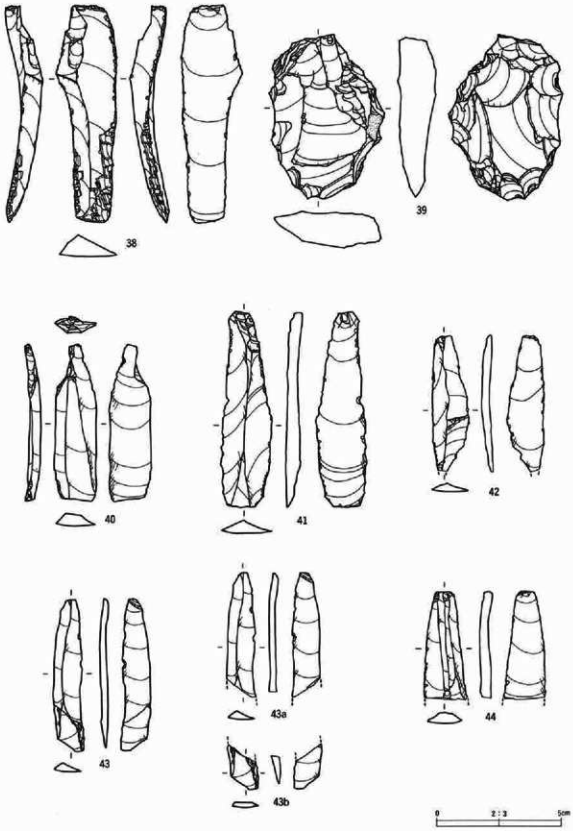
第16図　旧石器(3)



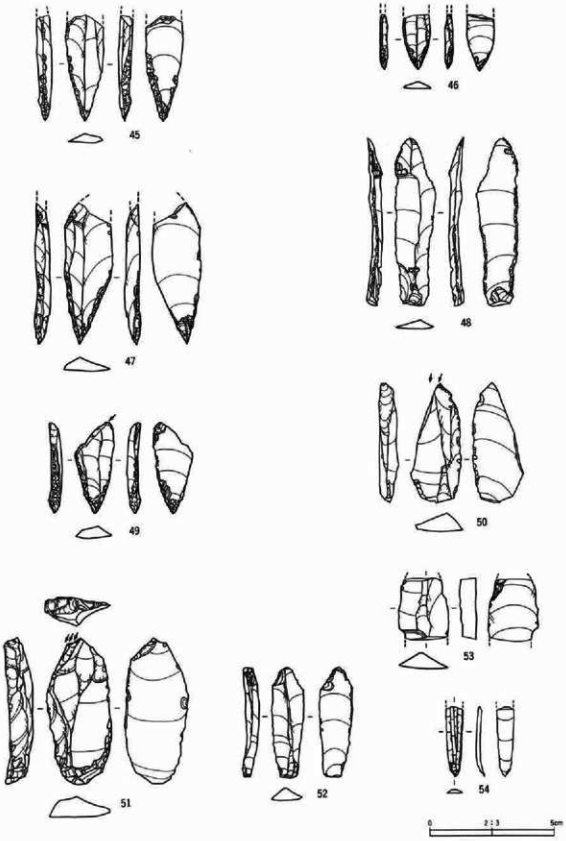
第17図　旧石器(4)



第18図　旧石器(5)



第19図　旧石器(6)



第20図　旧石器(7)

第２表　旧石器観察表

図版No.	掲載No.	器種	出土地点	層位	標高(m)	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	石材	産地
14	1	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.600	11.8	2.5	1.4	31.7	A	W
14	2	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.602	6.8	2.1	0.9	11.8	A	W
14	3	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.617	6.0	2.1	1.1	8.6	A	W
14	4	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.601	6.5	2.3	1.1	9.8	A	W
14	5	彫刻刀形石器	B IV y12	I	287.677	(2.8)	2.4	0.6	3.06	A	W
14	6	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.589	8.6	2.1	1.3	17.1	A	W
15	7	掻器	B IV y12	II	287.758	9.3	2.8	1.7	23.6	A	W
15	8	石刃	B IV y12	I	287.681	8.5	1.5	0.9	4.9	A	W
15	9	石刃	B IV y12	II	287.596	(6.9)	1.6	0.4	3.5	A	W
15	10	石刃	B IV y12	II	287.576	(5.5)	1.7	0.7	4.22	A	W
15	11	石刃	B IV y12	II	287.618	7.6	1.8	1.2	8.5	A	W
15	12	石刃	B IV y12	II	287.617	6.0	2.1	1.1	8.6	A	W
15	13	石刃	B IV y12	II	287.650	7.3	2.4	1.4	9.16	A	W
15	14	石刃	B IV y12	II	287.672	5.9	2.6	1.0	13.2	A	W
16	15	ナイフ形石器	C IV a11	III a	287.680	3.0	1.7	0.5	2.2	A	W
16	16	彫刻刀形石器	C IV a10	III a	287.666	(6.5)	1.9	0.7	6.2	A	W
16	17	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.677	6.9	3.3	1.4	25.8	A	W
16	18	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.778	5.1	2.7	0.9	12.7	A	W
16	19	彫刻刀形石器？	C IV a11	III a	287.682	3.9	2.0	0.5	2.1	A	W
16	20	彫刻刀形石器	C IV a11	III a	287.643	5.1	3.4	1.1	8.2	A	W
16	21	彫刻刀形石器	C IV a11	III a	287.619	6.1	2.7	1.1	13.2	A	W
16	22	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.710	4.7	2.0	0.7	5.8	A	W
17	23	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.762	6.4	3.1	0.9	14.7	A	W
17	24	彫刻刀形石器	C IV b11	II	287.804	11.2	2.8	1.1	18.7	A	W
17	25	彫刻刀形石器	C IV b11	II-20cm	—	7.7	2.0	0.7	8.4	A	W
17	26	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.766	6.2	2.9	2.0	27.5	I	W
17	27	彫刻刀形石器？	C IV a11	III a	287.631	7.5	3.1	1.4	32.2	A	W
17	28	彫刻刀形石器？	C IV a11	II	287.765	5.8	2.8	1.4	15.9	B	W
18	29	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.758	6.8	2.4	1.1	13.8	A	W
18	30	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.775	5.8	2.1	0.7	20.3	A	W
18	31	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.773	5.9	1.8	0.8	5.7	L	W
18	32	彫刻刀形石器？	C IV a10	II	287.593	6.6	2.3	1.0	9.7	A	W
18	33	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.717	4.1	2.2	0.9	7.5	A	W
18	34	彫刻刀形石器？	C IV a11	II	—	(5.0)	2.2	0.9	7.6	A	W
18	35	彫刻刀形石器？	C IV a11	II	—	4.9	2.3	0.6	5.2	A	W
18	36	彫刻刀形石器？	C IV a10	II	287.720	(2.4)	2.3	0.7	2.9	A	W
18	37	削片	C IV a10	III a	287.636	1.8	1.3	0.6	1.05	I	W
19	38	削器	C IV a10	I	—	8.8	2.4	1.6	15.1	A	W
19	39	鋸歯縁石器？	C IV b11	II	287.696	6.7	4.7	1.6	44.3	I	W
19	40	石刃	C IV a11	III a	287.654	6.3	1.7	0.6	5.1	A	W
19	41	石刃	C IV a11	III a	287.699	7.9	2.0	0.7	7.5	A	W
19	42	石刃	C IV a11	III	287.605	(5.5)	1.5	0.4	2.3	A	W
19	43	石刃	C IV a10	II	287.738	(6.1)	2.2	0.4	2.2	A	W
19	44	石刃	C IV a10	I c	287.796	(4.3)	1.7	0.5	2.7	A	W
20	45	ナイフ形石器	RA24	埋土	—	(4.3)	1.5	0.6	2.9	A	W
20	46	ナイフ形石器	RA05	床直	—	(2.2)	1.1	0.3	0.7	A	W
20	47	ナイフ形石器	RA10	埋土	—	(5.7)	1.9	0.7	6.1	A	W
20	48	ナイフ形石器	B IV w11	I d-10cm	—	6.8	1.7	0.6	4.5	A	W
20	49	彫刻刀形石器	RA08	南半埋土	—	3.7	1.6	0.6	1.8	A	W
20	50	彫刻刀形石器	B IV w25	II-20cm	—	4.7	2.0	0.7	5.8	A	W
20	51	彫刻刀形石器	RA23	埋土	—	5.8	2.6	1.1	13.8	A	W
20	52	石刃？	C IV b12	III a	287.717	4.4	1.4	0.7	2.8	A	W
20	53	石刃？	C IV b13	II	287.633	(2.5)	2.0	0.6	3.6	A	W
20	54	細石刃	RA17	埋土	—	12.8	0.7	0.4	0.4	A	W

※石材・産地の略号は石器観察表を参照のこと。

Ⅴ．縄文時代―検出遺構―

1．竪穴住居跡（第27～59図、写真図版９～30）

竪穴住居跡は31棟を検出した。調査区の制約と北側の遺存状態が悪かったため不明な部分が多く、全体を把握しえた住居跡は少ないが、平面形は円形と方形を基調とするものがあり、炉は地床炉が主体をなし、住居の配置に規則性が窺えるなどの特徴が挙げられる。時期は縄文時代前期後葉～末葉を主体とする。

ＲＡ01住居跡

遺構（第27図、写真図版９）

〈位置・検出状況〉ＢⅢr21～ＢⅣS22グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は植樹痕による攪乱を受け、西側は調査区域外にかかる。

〈重複〉南側でRA03住居跡と重複し、RA01住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉(3.5)×(2.45)m以上・円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉上位の黒褐色土と下位の暗褐色土からなる。自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれており、壁高は10cmで、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉東壁側に５本検出された。規模は径20～43cm、深さ28～58cmである。埋土は黒褐色土の単層である。配置は不明である。

〈炉〉地床炉が１基検出された。径85×(15)cmの不整な形状である。焼土の厚さは最大14cmである。

〈その他の付属施設〉検出されていない。

遺物（第93・168・214・245・284図、写真図版90・124・144・172）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（340）。

〈石器〉石鏃（1301・1302）、石錘（1725）、敲磨器Ｂ類（2047）。

時期　縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＡ02住居跡

遺構（第28図、写真図版10）

〈位置・検出状況〉ＢⅢt22～u22グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側は調査区域外にかかる。

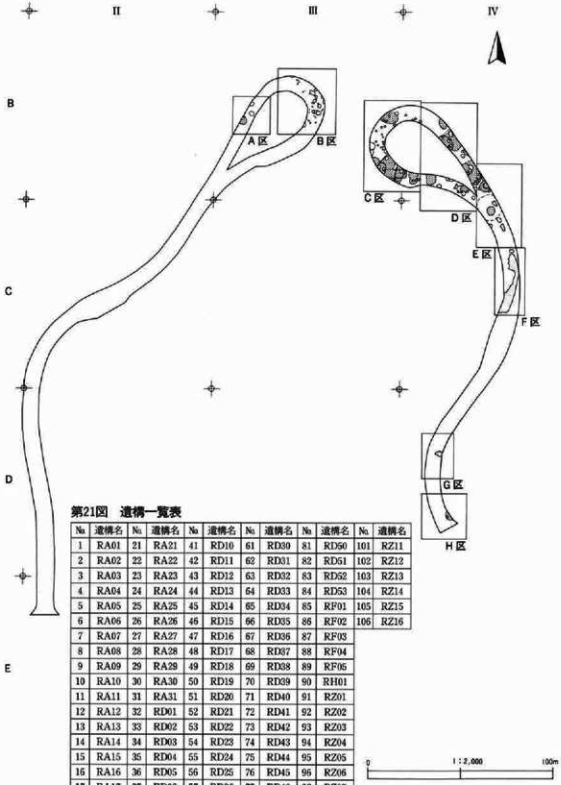
〈重複〉東側で、RA05・06住居跡と重複し、RA02住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(5.0)×(2.8)m以上、検出した範囲では円形基調と推定されるが、大形住居跡の端部の可能性がある。その場合、長軸方向は、N―15°―Eである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土からなる。焼土と炭化材が埋土の下位～床上で面的に広がっていた。焼失住居の可能性がある。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は５cmほどで外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられている。概ね平坦だが、西側に周囲より一段低くなる部分がある。東側の一部に周溝が廻る。

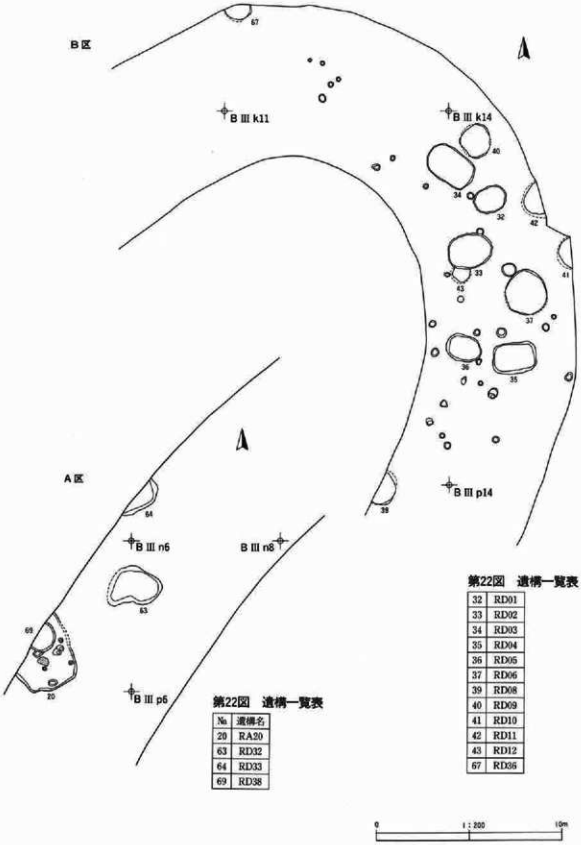
〈柱穴・配置〉PP１～PP20が検出されている。規模は径20～50cm、深さ16～58cmで、埋土は黒褐色土で、



第21図　遺構一覧表

№	遺構名	№	遺構名	№	遺構名	№	遺構名	№	遺構名	№	遺構名
1	RA01	21	RA21	41	RD10	61	RD30	81	RD60	101	RZ11
2	RA02	22	RA22	42	RD11	62	RD31	82	RD61	102	RZ12
3	RA03	23	RA23	43	RD12	63	RD32	83	RD62	103	RZ13
4	RA04	24	RA24	44	RD13	64	RD33	84	RD53	104	RZ14
5	RA05	25	RA25	45	RD14	65	RD34	85	RF01	105	RZ15
6	RA06	26	RA26	46	RD15	66	RD35	86	RF02	106	RZ16
7	RA07	27	RA27	47	RD16	67	RD36	87	RF03		
8	RA08	28	RA28	48	RD17	68	RD37	88	RF04		
9	RA09	29	RA29	49	RD18	69	RD38	89	RF05		
10	RA10	30	RA30	50	RD19	70	RD39	90	RH01		
11	RA11	31	RA31	51	RD20	71	RD40	91	RZ01		
12	RA12	32	RD01	52	RD21	72	RD41	92	RZ02		
13	RA13	33	RD02	53	RD22	73	RD42	93	RZ03		
14	RA14	34	RD03	54	RD23	74	RD43	94	RZ04		
15	RA15	35	RD04	55	RD24	75	RD44	95	RZ05		
16	RA16	36	RD05	56	RD25	76	RD45	96	RZ06		
17	RA17	37	RD06	57	RD26	77	RD46	97	RZ07		
18	RA18	38	RD07	58	RD27	78	RD47	98	RZ08		
19	RA19	39	RD08	59	RD28	79	RD48	99	RZ09		
20	RA20	40	RD09	60	RD29	80	RD49	100	RZ10		

第21図　峠山牧場Ⅰ遺跡B地区遺構配置全体図



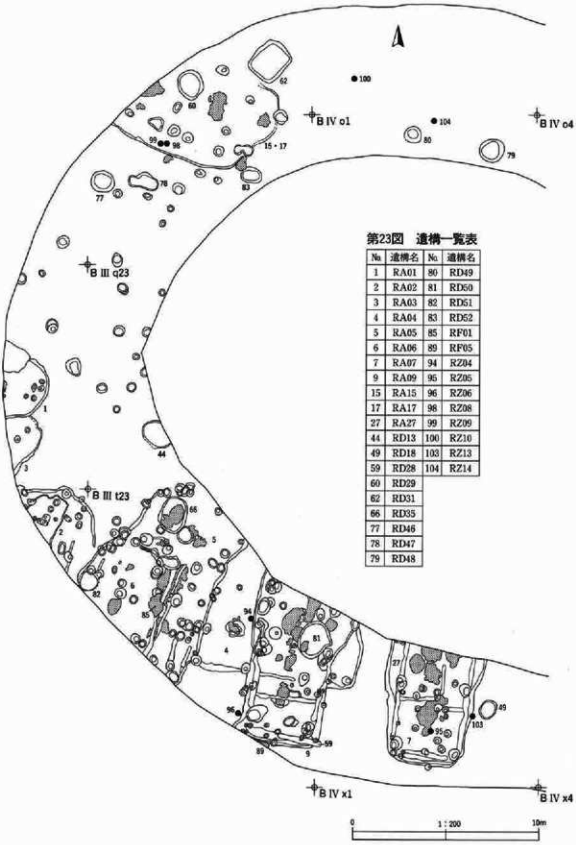
第22図　遺構一覧表

32	RD01
33	RD02
34	RD03
35	RD04
36	RD05
37	RD06
39	RD08
40	RD09
41	RD10
42	RD11
43	RD12
67	RD36

第22図　遺構一覧表

№	遺構名
20	RA20
63	RD32
64	RD33
69	RD38

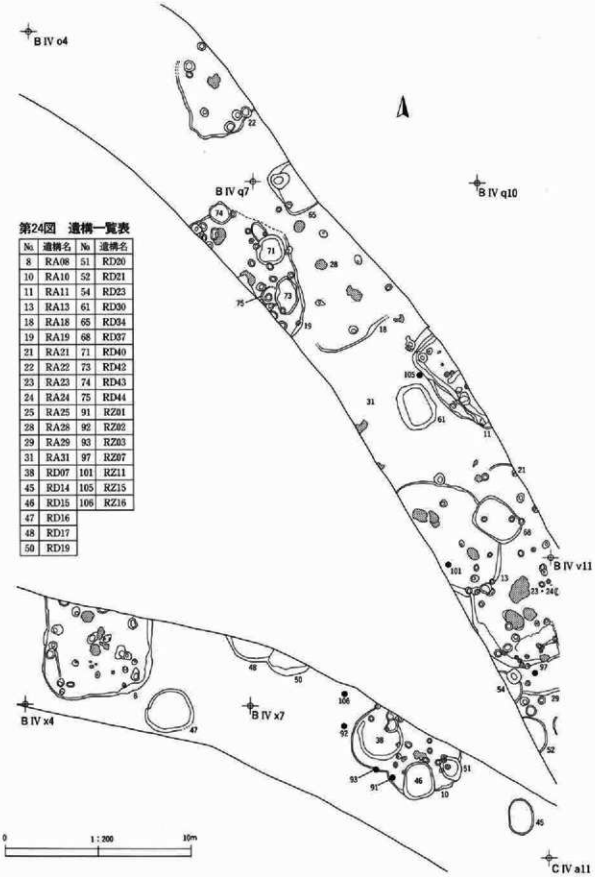
第22図　峠山牧場Ⅰ遺跡B地区遺構配置部分図A・B区



第23図　遺構一覧表

No	遺構名	No	遺構名
1	RA01	80	RD49
2	RA02	81	RD50
3	RA03	82	RD51
4	RA04	83	RD52
5	RA05	85	RF01
6	RA06	89	RF05
7	RA07	94	RZ04
9	RA09	95	RZ05
15	RA15	96	RZ06
17	RA17	98	RZ08
27	RA27	99	RZ09
44	RD13	100	RZ10
49	RD18	103	RZ13
59	RD28	104	RZ14
60	RD29		
62	RD31		
66	RD35		
77	RD46		
78	RD47		
79	RD48		

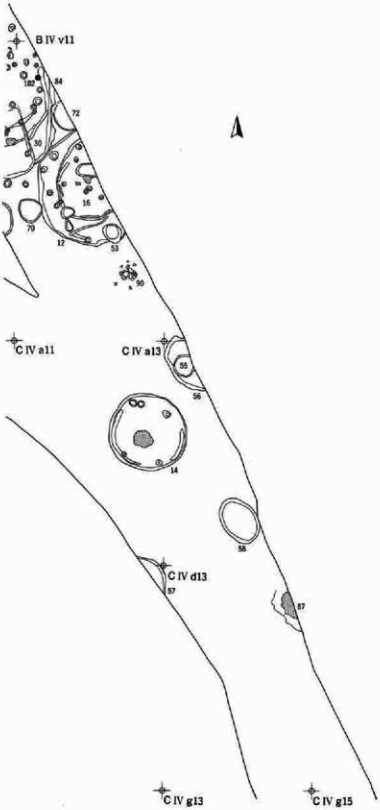
第23図　峠山牧場Ⅰ遺跡B地区遺構配置部分図C区



第24図　遺構一覧表

No.	遺構名	No	遺構名
8	RA08	51	RD20
10	RA10	52	RD21
11	RA11	54	RD23
13	RA13	61	RD30
18	RA18	65	RD34
19	RA19	68	RD37
21	RA21	71	RD40
22	RA22	73	RD42
23	RA23	74	RD43
24	RA24	75	RD44
25	RA25	91	RZ01
28	RA28	92	RZ02
29	RA29	93	RZ03
31	RA31	97	RZ07
38	RD07	101	RZ11
45	RD14	105	RZ15
46	RD15	106	RZ16
47	RD16		
48	RD17		
50	RD19		

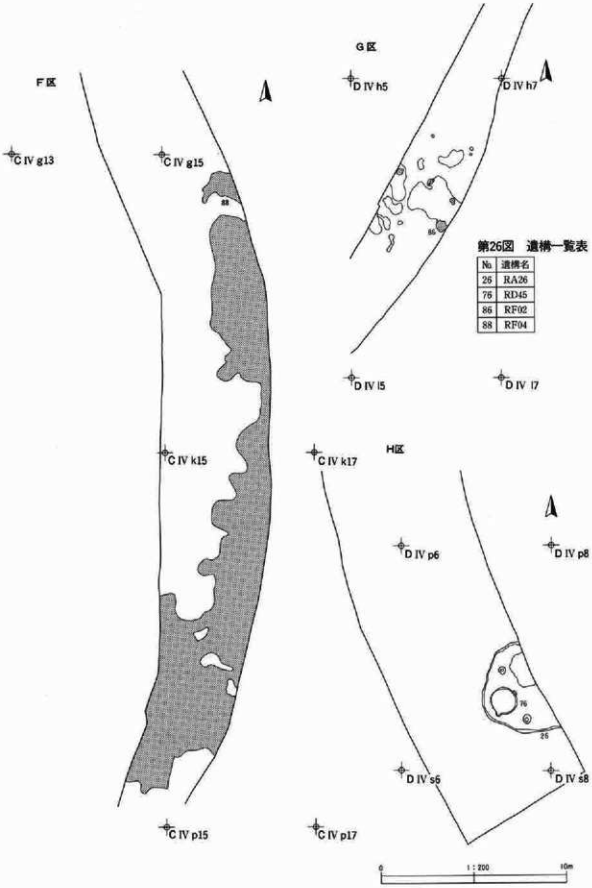
第24図　峠山牧場Ⅰ遺跡B地区遺構配置部分図D区



第25図　遺構一覧表

№	遺構名
12	RA12
14	RA14
16	RA16
30	RA30
53	RD22
55	RD24
56	RD25
57	RD26
58	RD27
70	RD39
72	RD41
84	RD53
87	RF03
90	RH01
102	RZ12

第25図　峠山牧場Ⅰ遺跡B地区遺構配置部分図E区



第26図　遺構一覧表

No.	遺構名
25	RA26
76	RD45
86	RF02
88	RF04

第26図　峠山牧場Ⅰ遺跡B地区遺構配置部分図F・G・H区

当たりと掘り方を確認できた柱穴もある。PP 7 -PP 2 -PP10-PP19が主柱穴を構成すると思われる。柱間は150～200cmである。

〈炉〉検出されていない。

〈その他の付属施設〉東側の一部に幅12cm、深さ5cmの周溝が廻る。

遺物（第93・168・214・245・270図、写真図版90・124・144・162）

〈出土状況〉土器（Pot 1）が、埋土中で焼土・炭化材（クリ）が広がる面よりやや低い位置で出土している。

〈土器〉破片（341～348）。

〈石器〉石鏃（1303～1305）、石錘（1726）、敲磨器 Ac 類（1955）。

時期　縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＡ03住居跡

遺構（第27図、写真図版９）

〈位置・検出状況〉ＢⅢs21グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかる。

〈重複〉北側でRA01住居跡と重複し、RA03住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(3.0)×(1.8)m 以上で、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土であり、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれており、壁高は南壁で10cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、中央付近に向かい緩く傾斜する。

〈柱穴・配置〉３基検出された。径38×26cm、深さ34～76cmで、埋土は黒褐色土の単層で、配置は不明。

〈炉〉不明。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第93・168・214・303・306図、写真図版90・124・187・189）

〈出土状況〉PP 2 の北側の床面から石皿（2160）が、PP 3 の埋土から剥片232.37g が出土している。

〈土器〉破片（349・350）。

〈石器〉石鏃（1306・1307）、石皿（2160）。

〈石製品〉線刻礫（2174）。

時期　縄文時代前期と思われる。

ＲＡ04住居跡

遺構（第29・30図、写真図版10）

〈位置・検出状況〉ＢⅢu23～ＢⅣｖⅠグリッド。Ⅰｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉西側でRA05・06住居跡、東側でRA09住居跡と重複し、いずれもRA04住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉(14.0) 以上×(4.7)m で、隅丸長方形と推定されるが、精査時の不手際で掘り下げた部分があり、西側の先端部分が不明である。長軸方向はＮ－80°－Ｗである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅠｃ層から掘り込まれている。壁高は南壁で18cmあり、外傾して立ち上がる。北側は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、南側から北側に緩く傾斜する。

〈柱穴・配置〉PP 1 ～PP16が検出された。径92～20cm、深さ22～89cmで、埋土は黒褐色土からなる。PP 1 -

PP2-PP3-PP4-PP5-PP6-PP11-PP12-PP14-PP16の10本が、主柱穴を構成する可能性があるものと判断した。壁際に対になるように5本の柱穴が並ぶ配置である。柱間は250～300cmである。

〈炉〉地床炉が1基検出された。住居跡の長軸中心線上に位置する。65×35cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大10cmである。

〈その他の付属施設〉南壁際の一部に幅30cm、深さ20cmの周溝が廻る。

遺物（第93・94・95・125・168・169・213・214・222・231・234・243・244・245・270・271・284図、写真図版49・90・123・124・129・135・137・143・144・162・163・172）

〈出土状況〉床面上からPot 1（103）・2（104・368）・3（369・370）が出土している。

〈土器〉立体（101～104）、破片（351～370）。

〈土製品〉土偶（1253）。

〈石器〉石鏃（1308～1319）、石匙（1524～1529）、石篦（1630）、不定形石器（1652～1656）、打製石斧（1709・1710）、磨製石斧（1715）、石錘（1727～1733）、敲磨器Ac類（1956～1963）・B類（2048～2050）。

時期　縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＡ05住居跡

遺構（第31・32図、写真図版11）

〈位置・検出状況〉ＢⅢt23～v24グリッド。Ⅰｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側と南側が調査区域外にかかる。

〈重複〉南側でRA06住居跡、東側でRA04住居跡と重複する。新旧関係は、RA05住居跡→RA06住居跡→RA04住居跡である。

〈規模・平面形〉（8.7）以上×5.4m、長方形か長楕円形と推定される。長軸方向はN—25°—Eである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅠｃ層から掘り込まれている。壁高は東壁で20cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP56（RA05・06含）の柱穴が検出された。他の遺構に伴うものも含まれている可能性はある。径68～17cm、深さ76～8cmで、埋土は黒褐色土である。本住居跡の柱配置は、PP1・PP3-PP5-PP13-PP39-PP11-PP43-PP6、PP25-PP40-PP10-PP46-PP53で、主柱穴を構成するものと思われ、壁際に対になるような柱配置を示す。柱間は300cmである。

〈炉〉住居跡の中軸線上に地床炉が3基検出された。炉1・2はRA06住居跡の周溝に切られている。もっとも大きな炉2は、径95×65cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大10cmである。

〈その他の付属施設〉東壁際に周溝が廻る。2時期以上の建替が考えられる。

遺物（第95・96・97・125・126・169・170・214・221～223・231・234・244～246・268・269・271・272・284～286・299・307・309図、写真図版49・50・91・124・128・129・135・137・143・144・161・163・172～174・184・190・191）

〈出土状況〉土器（Pot 1：107）が、炉3の南側の床上から横転した状態で出土している。

〈土器〉立体（105～110）、破片（371～386）。

〈石器〉石鏃（1320～1329）、光頭器（1511）、石匙（1530～1535）、石篦（1631・1632）、不定形石器（1657）磨製石斧(1716)、石鑿(1723)、石錘(1734～1737)、敲磨器Aa類(1942)・Ab類(1948)・Ac類(1964～1970)、

B類（2051～2063、2142）。

〈石製品〉玦状耳飾り（2178）、石製模造品（2205）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＡ06住居跡

遺構（第31・32図、写真図版11）

〈位置・検出状況〉ＢⅢt23～v24グリッド。Ｉｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉北側で、RA05住居跡、西側でRA02住居跡と重複し、いずれもRA06住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉（5.2）以上×（5.2）mで、長楕円形と推定される。長軸方向はＮ－35°－Ｅである。検出されたのは住居跡の北端部分のようである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はＩｃ層から掘り込まれている。壁高は西壁で12cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉ＰＰ１～ＰＰ56（RA05・06含）の柱穴が検出された。径68～17cm、深さ76～8cmで、埋土は黒褐色土である。他の遺構に伴うものも含まれている可能性がある。PP21-PP55-PP24-PP29-PP41-PP42、PP35、PP37が主柱穴を構成するものと思われる。柱間は200cmであり、壁際に対になるように柱配置を示す。

〈炉〉住居跡の中軸線上に地床炉が２基検出された。炉１は、95×65cmの不整な楕円形で、焼土の厚さは最大６cmである。

〈その他の付属施設〉東側と北側、西側の一部に周溝が廻る。周溝の最大幅は20cm、深さ20cmである。東側と北側に廻る周溝は一部重複するものの２本あり、建て替えがあったことを示している。

遺物（第98・126・170・171・213・214・215・221・223・234・244・246・272・286図、写真図版50・91・92・123・124・128・129・137・143・145・163・164・174）

〈出土状況〉埋土から土器・土製品・石器が出土している。炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉立体（111・112）、破片（387～398）。

〈土製品〉土玉（1256）。

〈石器〉石鏃（1330～1336）、石錐（1515）、石匙（1536・1537）、不定形石器（1658）、磨製石斧（1717）、石錘（1739～1741）、敲磨器Ac類（1971～1973）・Ｂ類（2064）。

時期　縄文時代前期後期～末葉と思われる。

ＲＡ07住居跡

遺構（第33・34・91図、写真図版12・13）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｖ２グリッド。Ｉｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA27住居跡と重複する。RA07住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉（6.2）以上×4.6mで、隅丸長方形と推定される。長軸方向はＮ－80°－Ｗである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土であり、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はＩｃ層から掘り込まれている。壁高は南壁で30cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴〉ＰＰ１～ＰＰ31を検出した。埋土はおもに黒褐色土である。PP１-PP２-PP３-PP４が主柱穴を構成するもの

と思われる。壁際に対になる配置を示す。これらの規模は、径74～54cm、深さ62～82cm、柱間は350cmである。それぞれ、２～３回の建替えの痕跡を遺している。

〈炉〉住居跡の中軸線上に地床炉を４基を確認した。もっとも大きい炉１は、235×105cmの不整な長方形で、焼土の厚さは最大８cmである。

〈その他の付属施設〉幅30cm、深さ20cmの周溝が廻る。南壁側では二重になる。炉１に切られる周溝もある。

拡張・建て替えが考えられる。

遺物（第98・99・100・101・102・127～130・171～173・215・216・223・224・231・234・235・243・246～248・269・273・287・299・302・305・307～309図、写真図版51～54・92・93・124・125・129・130・135・137・138・143・145・146・161・164・174・175・184・187・189・190・191）

〈出土状況〉覆土下位～床上で炭化材（クリ）、土器・石器、琥珀片が出土している（第91図）。

〈土器〉立体（113～131）、破片（399～450）。

〈石器〉石鏃(1337～1364)、石匙(1538～1551)、石箆(1633・1634)、不定形石器(1659～1666)、打製石斧(1711)、石錘(1742～1757)、敲磨器 Ab 類(1949・1950)、Ac 類(1974～1979)・B 類(2065～2071・2143)、台石(2158)。

〈石製品〉石剣（2167）、玦状耳飾り（2179）、石製模造品（2201・2206・2208・2213）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＡ08住居跡

遺構（第35・36図、写真図版14）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｗ４～Ｗ５グリッド。Ｉｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈規模・平面形〉(4.8)×5.65m、隅丸長方形と推定される。長軸方向はＮ－５°－Ｗである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土であり、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はＩｃ層から掘り込まれている。壁高は南壁で15cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP１～PP21が検出された。埋土は黒褐色土である。PP２-PP５-PP８-PP10、PP４-PP９の組み合わせによる壁際に対になる配置を示す。軸線を移動しての建て替えが考えられる。柱間は280cmである。

〈炉〉住居跡の中軸線上で地床炉が４基検出された。径65～50cmの不整な円形を示す、焼土の厚さは、最大５cmである。

〈その他の付属施設〉南壁際で埋設土器が検出された。深鉢の底部付近で、正立で埋設されていた。東側の一部に幅10cm、深さ13cmの周溝が廻る。

遺物（第103・104・130・131・173・174・216・221・224・231・235・236・243・248・249・274・288・307・308図、写真図版54・55・93・94・125・128・130・135・138・143・146・147・164・175・190）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉立体（132～135）、破片（451～470）。

〈石器〉石鏃（1365～1379）、尖頭器（1513）、石匙（1552～1558）、石箆（1635）、不定形石器（1667～1669）、打製石斧（1712）、石錘（1758～1766）、敲磨器 Ac 類（1980～1983）・Ｂ類（2072）。

〈石製品〉玦状耳飾り（2180）、垂飾り（2191）、石製模造品（2197）。

時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＡ09住居跡

遺構（第37・38図、写真図版15）

〈位置・検出状況〉ＢⅢu25～ＢⅣｗ１グリッド。Ⅰｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA04住居跡・RD50土坑・RD28陥し穴と重複する RD50・RD28→ RA09→ RA04の関係がある。

〈規模・平面形〉(8.8)以上×4.6m、隅丸長方形と推定される。長軸方向はＮ－６°－Ｅである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅠｃ層から掘り込まれている。壁高は南壁で30cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP１～PP42が検出された。埋土はおもに黒褐色土であるが、柱当たりの痕跡を遺すものもある。PP１-PP２-PP３-PP４-PP５-PP６が主柱穴を構成するものと思われる。壁際に対に並ぶ配置である。これらの規模は径117～35cm、深さ44～85cmで、柱間は350cmである。柱穴は２～３度の使用の痕跡がみられることから、２～３回の建て替えが考えられる。

〈炉〉住居跡の中軸線上で地床炉が５基検出された。炉１は径120×65cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大16cmである。

〈その他の付属施設〉北側で埋設土器が検出された。深鉢の底部が正立で埋設されていた。住居跡の南側に幅30cm、深さ15cmの周溝が廻る。図上で炉１を切る周溝は、周溝が旧いようである。

遺物（第104・105・106・107・108・131・175・176・216・217・221・224・225・236・239・244・249～251・269・274～276・288～290・299・304・307・308図、写真図版55・94・95・125・128・130・131・135・138・139・140・143・147・148・161・165・166・175～177・184・188・190・191）

〈出土状況〉埋土から出土している。PP10埋土から植物遺体（ドングリ）が出土している。

〈土器〉立体（136～139）、破片（471～503）。

〈石器〉石鏃（1380～1394）、石錐（1516）、石匙（1559～1571）、石篦（1636）、不定形石器（1670～1673）、異形石器（1697）、石鑿（1724）、石錘（1767～1787）、敲磨器 Ab 類（1951・1952）・Ac 類（1984～1998）・B 類（2073～2091・2144～2146）。

〈石製品〉石棒（2162）、玦状耳飾り（2181・2182）、石製模造品（2195・2202）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＡ10住居跡

遺構（第39図、写真図版16）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｘ８～ｙ９グリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は調査区域外にかかる。

〈重複〉RD15・20土坑と重複する。新旧関係は不明である。

〈規模・平面形〉(4.0)×(3.9)m、円形を基調とするものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は南壁で10cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を

掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1～PP24が検出された。径65～15cm、深さ51～12cmでバラツキがある。埋土はおもに黒褐色からなる。炉の周囲に柱穴が廻るようであるが、配置は不明である。

〈炉〉地床炉が1基検出された。径70×40cmの不整形を呈する。焼土の厚さは最大6cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第109・176・217・221・225・226・251・252・277図、写真図版95・96・125・126・128・131・148・149・166・167）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（504～511）。

〈石器〉石鏃（1395～1398）、石錐（1517）、石匙（1572・1573）、石錘（1788～1793）、敲磨器Ac類（1999・2000）。

時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＡ11住居跡

遺構（第40図、写真図版16）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｓ9～t20グリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA25住居跡と重複し、RA11住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉(5.8)×(1.7)m以上、方形を基調とするものと推定される。長軸はN…45°…Wである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は北壁で65cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅣ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1～PP 8が検出された。埋土は黒褐色土である。PP 1 -PP 5が主柱穴を構成するものと思われる。規模は、径66～45cm、深さ73～61cmで、柱間は315cmである。

〈炉〉不明である。

〈その他の付属施設〉幅30cm　深さ20cmの周溝が廻る。

遺物（第109・110・132・177・217・226・252・269・277・291・300・304・307図、写真図版55・96・126・131・149・162・167・178・185・188・190）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・土製品・炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉立体（140）・破片（512～531）。

〈石器〉石鏃（1399・1400）、石匙（1574）、石錐（1794～1799）、敲磨器Ab類（1953・1954）・Ac類（2001・2002）・Ｂ類（2092～2097・2147・2148）。

〈石製品〉石棒（2163）、玦状耳飾り（2183）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＡ12住居跡

遺構（第41図、写真図版20）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｗ11～x12グリッド。Ⅰｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域

外にかかる。

〈重複〉RA16住居跡と重複する。RA12住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉6.4×(3.5)m以上、円形を基調とするものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅠc層から掘り込まれている。壁高は南壁で25cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅣ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP9が検出された。径73～19cm、深さ16～54cmである。埋土は黒褐色土である。いずれも壁寄りに位置する。

〈炉〉不明である。

〈その他の付属施設〉南側の一部に幅10cm、深さ6cmの周溝が廻る。

遺物（第110・111・132・178・217・226・231・236・243・244・253・254・277・292・304図、写真図版55・56・96・97・126・131・135・139・143・149・150・167・178・188）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉立体（141～146）・破片（532～548）。

〈石器〉石鏃（1401・1402）、石匙（1575～1577）、石筌（1637）、不定形石器（1674）、打製石斧（1713）、磨製石斧（1718）、石錘（1800～1810）、敲磨器Ac類（2003・2004）・B類（2098・2099）。

〈石製品〉石棒（2164）。

時期　縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＡ13住居跡

遺構（第42図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉BⅣu9～V20グリッド。Ⅰc層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RD30土坑・RZ11土器埋設遺構と重複する。いずれもRA13住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉7.5×(3.5)m以上、円形を基調とする（楕円形？）ものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅠc層から掘り込まれている。壁高は南壁で30cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP4が検出された。径36～23cm、深さ11～77cmである。埋土は黒褐色土からなる。

〈炉〉地床炉1基が検出されている。径75×50cmの楕円形で、焼土の厚さは最大12cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第111・112・133・178・179・217・220・221・226・237・254・277・292・300・307・308図、写真図版56・57・97・126・128・132・139・150・167・179・185・190・191）

〈出土状況〉埋土中、底面より10cm上から土器（Pot1～7）が出土している。炭化材（ナラ）が出土している。

〈土器〉立体（147～149）・破片（549～558）。

〈石器〉石鏃（1403～1414）、尖頭状石器（1507）、石錐（1518・1519）、石匙（1578～1580）、不定形石器（1675・1676）、石錘（1811）、敲磨器Ac類（2005・2006）・B類（2100・2101・2149）。

〈石製品〉玦状耳飾り（2184）・石製模造品（2203）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＡ14住居跡

遺構（第43図、写真図版18）

〈位置・検出状況〉ＣⅣb12～b13グリッド。Ⅱ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈規模・平面形〉4.15×4.1m、円形。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は南壁で20cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP１～PP５が検出された。径46～25cm、深さ17～33cmで、柱間は200～250cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は４本の配置と思われる。

〈炉〉地床炉１基が住居跡の中央よりやや南側で検出されている。径100×90cmの円形で、焼土の厚さは最　大6cmである。

〈その他の付属施設〉東壁と西壁際に幅18cm、深さ10cmの周溝が廻る。

遺物（第112・179・217・220・237・254・278・292図、写真図版97・98・126・128・139・150・167・179）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（559～568）。

〈石器〉石鏃（1415～1419）、尖頭状石器（1508）、不定形石器（1677・1678）、石錘（1812・1813）、敲磨器Ac類（2007・2008）・Ｂ類（2102・2103・2104）。

時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＡ15住居跡

遺構（第44・45図、写真図版19）

〈位置・検出状況〉ＢⅢn23～o25グリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA17住居跡と重複し、RA15住居跡が新しい。RZ08・09土器埋設遺構と重複し、RA15住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(8.6)以上×(5.0)m、長楕円形を呈するものと推定される。長軸はN－65°－Eである。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土と黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は南壁で10cmあり、外傾して立ち上がる。北側の壁は不明瞭である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP１～PP10が検出された。PP１-PP３-PP４-PP５-PP７が主柱穴を構成するものと思われる。径47～59cm、深さ38～69cmである。埋土は黒褐色土である。

〈炉〉地床炉が住居跡の中軸線上で３基検出されている。炉２は径150×70cmの不整な楕円形で、焼土の厚さは最大12cmである。

〈その他の付属施設〉PP３の西側に埋設土器がある。掘り方の規模は径24cm、深さ20cmの掘り方に土器が正立で埋設されている。

遺物（第113・114・133・179・217・218・221・232・237・254～256・278・293・300・301・309図、写真

図版57・98・126・128・135・139・150～152・168・179・185・186・191)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・土製品・植物遺体（オニグルミ）が出土している。

〈土器〉立体（150～152)、破片（569～574)。

〈石器〉石鏃（1420～1424)、尖頭器（1512)、石錐（1638)、不定形石器（1679)、石錘（1814～1831)、敲磨器 Ac 類（2009～2011)・B 類（2105～2107・2150～2153)。

〈石製品〉石製模造品（2207)。

時期　縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＡ16住居跡

遺構（第41図、写真図版20)

〈位置・検出状況〉B Ⅳ w11～x12グリッド。RA12住居跡の精査中に黒褐色土の広がりとして検出した。東側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA12住居跡と重複する。RA16住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉4.4×(2.5)m 以上、円形基調と思われる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれている。壁高は南壁で20cmあり、外傾して立ち上がる。床面はⅣ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1 ～PP12が検出された。径13～35cm、深さ14～63cmである。埋土は黒褐色土である。壁際に位置する柱穴と、炉の周囲に位置する柱穴があるが、柱配置は不明である。

〈炉〉地床炉が 1 基検出されている。径50×40cmの三角形で、焼土の厚さは最大 4 cmである。

〈その他の付属施設〉壁際に部分的に周溝が廻る。幅12cm、深さ 8 cmである。住居中央に110×70cmの楕円形、深さ10cmの落ち込みがある。

遺物（第114・180・218・238・256・278図、写真図版98・126・139・152・168)

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（575～578)。

〈石器〉石鏃（1425)、不定形石器（1680)、石錐（1832・1833)、敲磨器 Ac 類（2012)。

時期　縄文時代前期と思われる。

ＲＡ17住居跡

遺構（第46図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉B Ⅲ o23～p24グリッド。RA15住居跡の精査中に炉跡を検出した。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA15住居跡と重複し、RA17住居跡が旧い。RZ08・09土器埋設遺構と重複し、RA17住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(8.0)×(4.0)m 以上、平面形は不明である。長軸方向は N—90°—W と推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土と思われる。不明。

〈壁・床面〉壁の状態は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられている。

〈柱穴・配置〉PP 1 ～PP10が検出された。PP 1 -PP 3 -PP 4 -PP 6 -PP10が主柱穴を構成するものと思われる。径34～66cm、深さ32～58cmである。埋土は黒褐色土である。

〈炉〉住居跡の中軸線上に地床炉が2基検出されている。炉1の径80×60cm、焼土の厚さは最大8cmである。
〈その他の付属施設〉なし。
遺物（第114・134・180・256・279図、写真図版57・98・152・168）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉立体（153）、破片（579・580）。
〈石器〉石錘（1834～1836）、敲磨器Ac類（2013）。
時期　縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＡ18住居跡

遺構（第47図、写真図版21）
〈位置・検出状況〉ＢⅢｒ7～ｒ8グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。
〈重複〉RA19・28住居跡と重複する。いずれもRA18住居跡が新しい。
〈規模・平面形〉(5.3)×(3.9)m以上、平面形は不明である。長軸方向はN－40°－Wである。
〈埋土・堆積状況〉不明。
〈壁・床面〉南壁の一部が遺る。壁高は7cmで外傾する。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、南側から北側に緩く傾斜する。
〈柱穴・配置〉PP1～PP4が検出された。径31～52cm、深さ59～75cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は炉の周囲に4本が配置される。
〈炉〉石囲炉が1基検出されている。径100×50cmの焼土の両側縁に石組みがある。焼土の厚さは最大10cmである。炉石の石材は安山岩で、1点は石皿を転用している。石組が焼土と遊離しており、地床炉を再利用した石囲炉の可能性がある。
〈その他の付属施設〉なし。
遺物（第115・134・180・218・221・226・244・256・279・302～305・307図、写真図版58・98・126・128・132・143・152・168・187～189・190）
〈出土状況〉埋土から出土している。石皿（2161）は、石囲炉の組石に転用されている。
〈土器〉立体（154）、破片（581～583）。
〈石器〉石鏃（1426）、石錐（1520）、石匙（1581）、磨製石斧（1719・1720）、石錘（1837・1838）、敲磨器Ac類（2014）、台石（2159）、石皿（2161）。
〈石製品〉石棒（2165）、石剣（2168）・玦状耳飾り（2185）。
時期　縄文時代中期初頭と推定される。

ＲＡ19住居跡

遺構（第48図、写真図版22）
〈位置・検出状況〉ＢⅣｑ6～ｒ7グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。
〈重複〉RD40・42・43・44土坑、RA18住居跡と重複する。RA19住居跡は土坑群より新しく、RA18住居跡より旧い。

〈規模・平面形〉8.1×(3.4)m 以上、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉壁高は16cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1 ～PP28が検出された。これらの規模は径17～65cm、深さ11～65cmで、バラツキがある。埋土は黒褐色土である。柱配置は不明である。

〈炉〉地床炉を 2 基検出した。径90×45cmで、焼土の厚さは最大18cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第115・116・134・180・218・226・232・238・258・268・279・293・301・308図、写真図版58・98・126・132・135・139・140・152・153・161・168・180・186・191）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品、炉 2 から炭化材（ナラ）が出土している。

〈土器〉立体（155・156）、破片（584～589）。

〈石器〉石鏃（1427～1431）、石匙（1582）、石篦（1639）、不定形石器（1681・1682）、石錐（1839～1848）、敲磨器 Aa 類（1943）・Ac 類（2015・2016）・B 類（2108～2110・2154）。

〈石製品〉石製模造品（2198・2199）。

時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＡ20住居跡

遺構（第49図、写真図版23）

〈位置・検出状況〉ＢⅢ o4～o5グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。北東側の一部が攪乱を受けている。

〈重複〉RD38土坑と重複する。RA20住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(2.8)×3.8m 以上、方形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉壁はⅡ層から掘り込まれており、壁高は南壁で24cmである。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1 ～PP 6 が検出された。規模は径46～20cm、深さ 9 ～39cmである。埋土は黒褐色土である。PP 1 -PP 2 ・ 3 が主柱穴を構成するものと思われる。

〈炉〉地床炉が 1 基検出されている。径60×40cmで、焼土の厚さは最大 5 cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第116・134・180・226・279・294図、写真図版58・98・132・168・180）

〈出土状況〉埋土から土器・石器、PP 3 北側の床上より土器（Pot：157）が出土している。

〈土器〉立体（157）、破片（590）。

〈石器〉石匙（1583・1584）、敲磨器 Ac 類（2017）・B 類（2111・2112）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＡ21住居跡

遺構（第50図、写真図版30）

〈位置・検出状況〉ＢⅢ u20～v10グリッド。Ⅲ層で炉と柱穴を検出した。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RD38と重複する。RA21住居跡が旧い。
〈規模・平面形〉(7.0)×(4.6)m以上、円形基調と推定される。
〈埋土・堆積状況〉不明である。
〈壁・床面〉北側で僅かに立ち上がりが確認された。
〈柱穴・配置〉PP 1～PP 4が検出された。規模は径20～92cm、深さ22～89cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は不明である。
〈炉〉地床炉2基が検出されている。規模は径40cmで、焼土の厚さは最大2.5cmである。
〈その他の付属施設〉なし。
遺物（第116・117・134・180・181・218・227・258・259・279・294図、写真図版58・98・99・126・132・153・154・168・169・180）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉立体（158・159）、破片（591～599）。
〈石器〉石鏃(1432・1433)、石匙(1585)、石錘(1849～1861)、敲磨器Ac類(2018・2019)・B類(2113・2114)。
時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＡ22住居跡

遺構（第51図、写真図版24）
〈位置・検出状況〉BⅣo6～p 6グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北東側が調査区域外にかかる。
〈重複〉なし。
〈規模・平面形〉(5.0)×(3.45)m以上、円形基調と推定される。
〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり、自然堆積である。
〈壁・床面〉壁高は5cmである。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。
〈柱穴・配置〉PP 1～PP 6が検出された。規模は径20～46cm、深さ9～39cmである。埋土は黒褐色土で、炉の周囲で壁寄りに廻る配置と思われる。建て替えもあった可能性がある。
〈炉〉地床炉1基が検出されている。径70×65cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大15cmである。
〈その他の付属施設〉なし。
遺物（第117・134・181・244・280・294図、写真図版58・99・143・169・180）
〈出土状況〉土器（pot：160）が、PP 4の東側の床上から横転した状態で出土している。
〈土器〉立体（160）、破片（600）。
〈石器〉磨製石斧（1721）、敲磨器Ac類（2020）・B類（2115）。
時期　縄文時代前期と思われる。

ＲＡ23住居跡

遺構（第52図、写真図版30）
〈位置・検出状況〉BⅣv10～w10グリッド。Ⅰc層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉RA29住居跡と重複する。RA23住居跡が旧い。
〈規模・平面形〉6.0×4.0m以上、不明である。長軸方向はN－20°－Wと推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり自然堆積である。
〈壁・床面〉不明。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。
〈柱穴・配置〉不明。
〈炉〉地床炉３基を検出した。径60×40cmの不整形で、焼土の厚さは最大15cmである。
〈その他の付属施設〉なし。
遺物（第117・118・119・120・121・135～138・181～183・218～220・227・232・238・243・259～262・280・281・294・295・301・307・308図、写真図版59～67・99～101・126～128・132・135・140・143・154～156・169・180・181・186・190・191）
〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材（クリ）が出土している。
〈土器〉立体（161～177）、破片（601～643）。
〈石器〉石鏃（1434～1458）、尖頭状石器（1509）、石匙（1586～1596）、石篦（1640・1641）、不定形石器（1683）、打製石斧（1714）、石錘（1862～1887）、敲磨器Ac類（2021～2028）・B類（2116～2122・2155）
〈石製品〉玦状耳飾り（2186）、石製模造品（2204）。
時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＡ24住居跡

遺構（第53・54図、写真図版29）
〈位置・検出状況〉ＢⅣv10～w10グリッド。Ｉｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉RA29住居跡と重複する。RA23住居跡が旧い。
〈規模・平面形〉11.0×6.0m以上、不明である。長軸方向はＮ－20°－Ｗと推定される。
〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり自然堆積である。
〈壁・床面〉壁は25cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。
〈柱穴・配置〉PP１～PP40が検出された。規模は径20～92cm、深さ22～89cmである。埋土は黒褐色土で、柱当たりの痕跡を遺すものもある。PP5-PP6-PP7、PP31-PP1-PP37-PP11-PP22が、対に配置される可能性がある。
〈炉〉地床炉が３基検出されている。径115×65cm、焼土の厚さは最大15cmである。
〈その他の付属施設〉なし。
遺物（第121・122・139・184・219・221・227・232・239・262・263・281・296・301・305図、写真図版62・63・101・127・128・133・136・140・156・157・170・181・186・189）
〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材（ナラ）が出土している。
〈土器〉立体（178～182）、破片（644～658）。
〈石器〉石鏃（1459～1463）、石錐（1521・1522）、石匙（1597）、石篦（1642）、両極石器（1693）、石錘（1888～1896）、敲磨器Ac類（2029）・B類（2123・2124・2156）。
〈石製品〉燕尾形石製品（2171）。
時期　縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＡ25住居跡

遺構（第55図、写真図版一）
〈位置・検出状況〉ＢⅣｓ９～t10グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外

にかかる。

〈重複〉RA11住居跡と重複する。RA25住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(8.2)×(1.7)m、不明である。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈壁・床面〉壁はⅢ層から掘り込まれており、壁高は西壁で25cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉不明。

〈炉〉不明。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第-図、写真図版-）

出土していない。

時期　出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代前期と推定される。

ＲＡ26住居跡

遺構（第56図、写真図版25）

〈位置・検出状況〉ＤⅣｑ7～ｒ7グリッド。Ｉｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかり、一部攪乱を受けている。

〈重複〉なし。

〈規模・平面形〉5.2×(3.2)m以上、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり、自然堆積と思われるが、不明瞭である。

〈壁・床面〉壁は15cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP１～PP３が検出された。規模は径47～30cm、深さ42～44cmである。埋土は黒褐色土である。PP１-PP２が主柱を構成するものと思われる。PP３は炉跡に近く、建て替えがあった可能性もある。

〈炉〉地床炉が１基検出された。径135×95cmの不整な形状で、焼土の厚さは最大10cmである。焼土中から土器が出土している。破砕していたが土器埋設炉であった可能性がある。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第122・139・184・221図、写真図版63・101・128）

〈出土状況〉炉の焼土中から土器（183）・炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉立体（183）、破片（659）

〈石器〉尖頭状石器（1510）。

時期　縄文時代中期末葉以降と思われる。

ＲＡ27住居跡

遺構（第57図、写真図版26）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｖ2グリッド。RA07住居跡の精査中に検出した。北側は調査区域外にかかる。

〈重複〉RA07住居跡と重複する。RA27住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(3.0)以上×(3.15)m、方形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈壁・床面〉不明。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP１～PP11が検出された。径44～14cm、深さ22～68cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は、壁際に廻る配置のようである。

〈炉〉地床炉が１基検出されている。径105×80cmの楕円形で、焼土の厚さは最大８cmである。

〈その他の付属施設〉南側と東側に周溝が廻る。幅22cm、深さ８cmである。

遺物（第122・219・227・308図、写真図版127・133・191）

〈出土状況〉埋土から石器・石製品が出土している。

〈石器〉石鏃（1464～1467）、石匙（1598）。

〈石製品〉石製模造品（2200）。

時期　時期決定の遺物を欠くが、縄文時代前期と推定される。

ＲＡ28住居跡

遺構（第58図、写真図版27）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｑ７～ｑ８グリッド。RA18住居跡の下位で検出した。南北が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA18住居跡と重複する。RA28住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(11.0)×(4.0)m、不明である。長軸方向はＮ－50°－Ｗと推定される。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈壁・床面〉壁は不明である。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、南側から北側に緩く傾斜する。精査時（記録作成時）に柱穴の検出が容易でなく、床面を５～10cmほど下げている。

〈柱穴・配置〉PP１～PP８が検出された。規模は径27～59cm、深さ30～81cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は、炉を中心に対になるように３基の柱穴が配置され、炉の並ぶ線上の両端に柱穴が位置する。

〈炉〉地床炉が４基検出されている。４基の軸線は若干のズレがある。炉２の規模は、径95×65cmの楕円形で、焼土の厚さは最大16cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第122・139・263・296図、写真図版63・157・182）

〈出土状況〉床上から出土している。

〈土器〉立体（184）。

〈石器〉石錘（1897）、敲磨器Ｂ類（2125）。

時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＡ29住居跡

遺構（第57図、写真図版28）

〈位置・検出状況〉ＢⅣw10～w11グリッド。RA23住居跡の精査中に検出した。

〈重複〉RA23住居跡・RD23土坑と重複する。RA23住居跡→RA29住居跡→RD23土坑の関係がある。

〈規模・平面形〉(3.5)×(3.5)m以上、不明である。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉壁はＩｄ層を掘り込み、壁高は南壁で12cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。RA23住居跡と重複する部分には、RA23住居跡埋土の上に貼床を施している。

〈柱穴・配置〉PP 1～PP 3が検出された。PP 1 -PP 2が主柱穴と思われる。径30～26cm、深さ22～29cmである。埋土は黒褐色土である。

〈炉〉地床炉が1基検出されている。径50×40cmの楕円形で、焼土の厚さは最大5cmである。

〈その他の付属施設〉東壁際に幅16cm、深さ9cmの周溝が廻る。

遺物（第122・140・184・263・296図、写真図版63・101・157・182）

〈出土状況〉PP 3の埋土から土器（Pot：185）と床上から土器（Pot：186）が出土している。

〈土器〉立体（185・186）、破片（660～663）。

〈石器〉石錘（1898）、敲磨器B類（2126）。

時期　縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＡ30住居跡

遺構（第59図、写真図版29）

〈位置・検出状況〉BⅣw11グリッド。RA29住居跡の精査中に検出した。

〈重複〉RA29住居跡と重複する。RA30住居跡が旧い。

〈規模・平面形〉(1.65)×(1.05)m以上、不明である。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈壁・床面〉壁はⅢ層を掘り込み、壁高は17cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉不明。

〈炉〉不明。

〈その他の付属施設〉幅25cm、深さ11cmの周溝が廻る。

遺物（第-図、写真図版-）

出土していない。

時期　出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代前期と推定される。

ＲＡ31住居跡

遺構（第59図、写真図版30）

〈位置・検出状況〉BⅣt8グリッド。Ⅲ層で炉跡を検出した。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈規模・平面形〉6m以上と推定される。不明である。長軸方向はN－35°－Wと推定される。

〈埋土・堆積状況〉暗褐色土で、自然堆積と推定される。

〈壁・床面〉壁は不明である。床はⅢ層を掘り込んでつくられており、炉の周辺は平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1が検出された。規模は径58～55cm、深さ64cm、埋土は黒褐色土である。配置は不明である。

〈炉〉地床炉2基が検出されている。炉1の規模は（70）×50cm、焼土の厚さは最大5cmである。

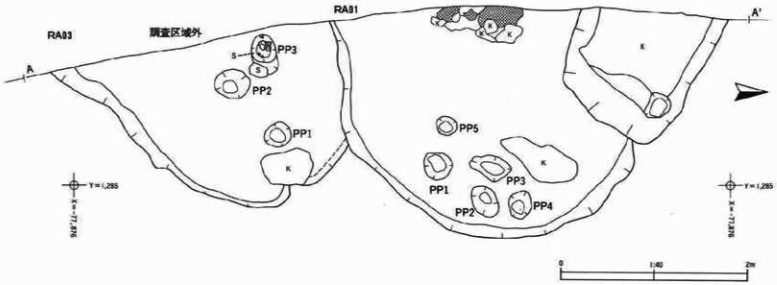
〈その他の付属施設〉なし。

遺物（第122・184図、写真図版101）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（664）。

時期　縄文時代前期後葉と思われる。



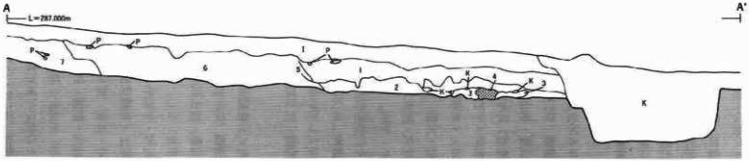
RA01・03 A-A'
解説　　色調　　土性
1　10YR2/3　黒褐色　締まりや、炭化粒1％混入。
2　10YR3/3　暗褐色　締まりや、焼土粒混入。
3　10YR3/3　暗褐色　締まりや弱。
4　5YR1/6　暗赤褐色　締まりや、炭化材10％混入、焼土。
5　10YR4/6　褐色　締まりや。
6　10YR2/3　黒褐色　締まりや。
7　10YR2/3　黒褐色　締まりや。

RA03

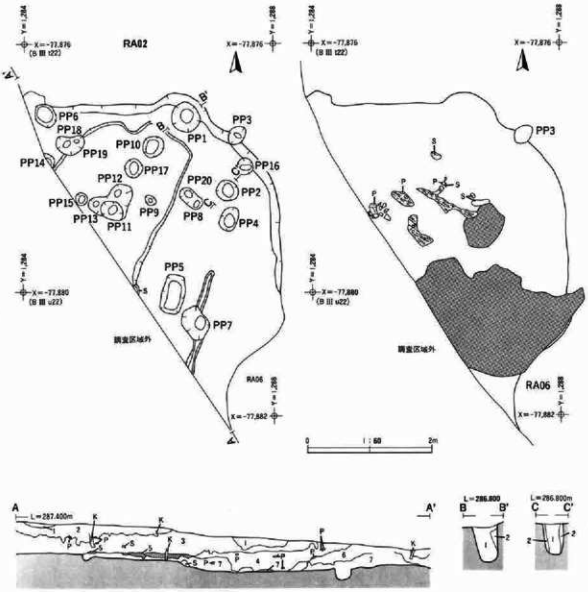
№	PP 1	PP 2	PP 3
径(cm)	30×25	38×30	31×26
深さ(cm)	57	75	34

RA01

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径(cm)	31×29	37×26	43×25	31×25	23×20
深さ(cm)	54	58	38	37	28



第27図　RA01・03住居跡



RA02

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	56×45	35×35	35×26	40×28	63×37	48×32	55×42
深さ(cm)	58	60	23	34	16	21	48

№	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径(cm)	22×16	28×17	37×33	45×30	60×35	40×26	27×(12)
深さ(cm)	43	25	39	40	30	19	17

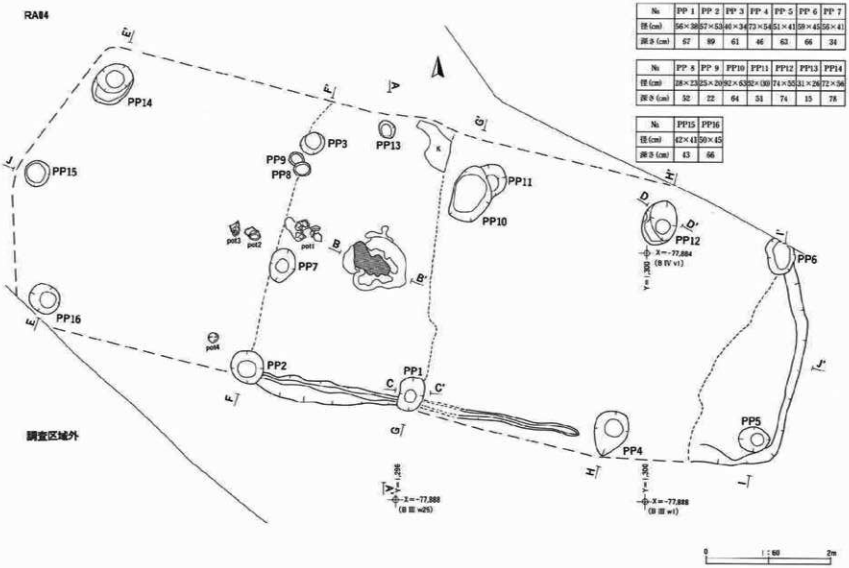
№	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20
径(cm)	21×21	28×27	32×29	45×38	25×(25)	33×22
深さ(cm)	16	29	60	34	20	33

RA02 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR1.7/1　黒色　締まり無。
2　10YR2/2　黒褐色　締まり中。
3　10YR3/2　黒褐色　締まり中。
4　10YR3/4　暗褐色　締まり中。炭化物1%・焼土ブロック混入。
5　5YR3/6　暗赤褐色　締まり中。焼土。
6　10YR3/4　暗褐色　締まり中。
7　10YR3/2　黒褐色　締まり中。

RA02-PP1 B-B'
層位　色調　土性
1　10YR2/3　黒褐色　締まり中。炭化物1%混入。
2　10YR3/4　暗褐色　締まり中。炭化物1%混入。

RA02-PP2 C-C'
層位　色調　土性
1　10YR2/3　黒褐色　締まり中。炭化物1%混入。
2　10YR4/6　褐色　締まり中。

第28図　RA02住居跡

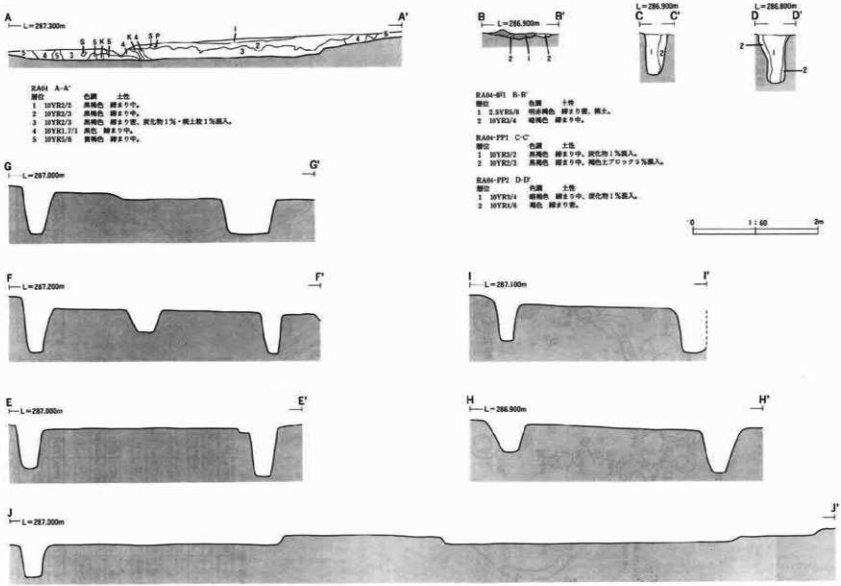


No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	56×38	57×53	46×34	73×54	51×41	58×45	56×41
深さ(cm)	67	89	61	46	63	66	34

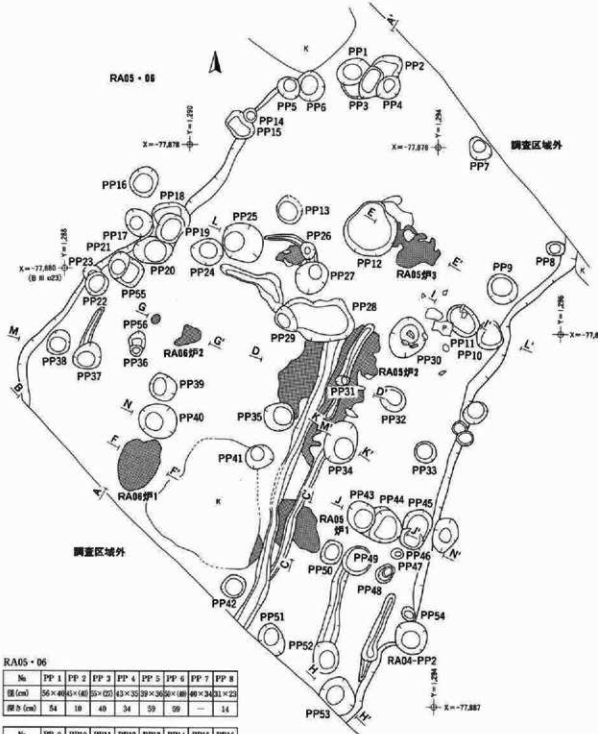
No	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径(cm)	28×23	25×20	92×63	32×30	74×55	31×26	72×56
深さ(cm)	52	22	64	31	74	15	78

No	PP15	PP16
径(cm)	42×41	50×45
深さ(cm)	43	66

第29図　RA04住居跡(1)



第30図 RA04住居跡(2)



RA05・06

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8
径(cm)	56×40	45×(40)	55×(32)	43×35	39×36	30×(40)	40×34	31×23
深さ(cm)	54	18	49	34	59	99	—	14

No	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16
径(cm)	49×40	47×41	59×44	87×86	42×(39)	23×22	48×30	39×(40)
深さ(cm)	21	34	65	10	14	12	8	64

No	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21	PP22	PP23	PP24
径(cm)	47×41	60×(32)	49×39	63×44	46×36	39×37	29×(18)	53×44
深さ(cm)	71	35	68	88	52	44	30	65

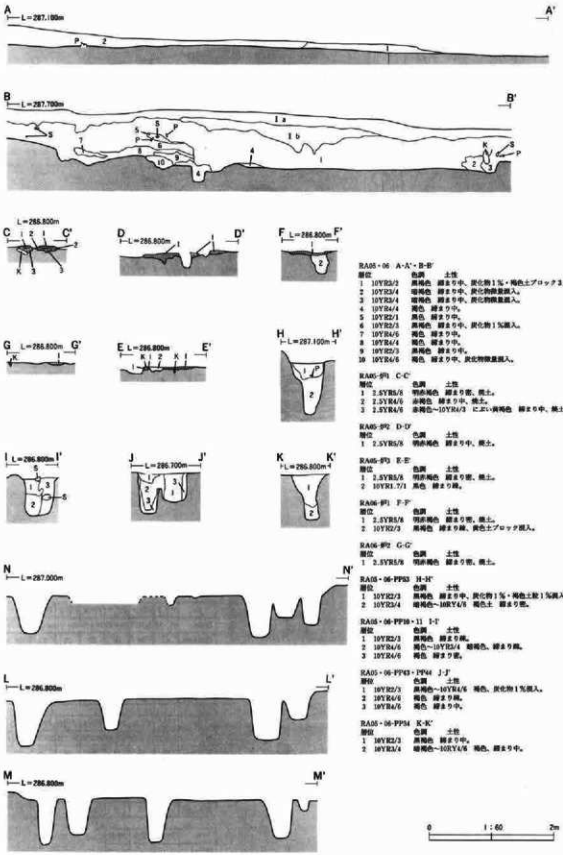
No	PP25	PP26	PP27	PP28	PP29	PP30	PP31	PP32
径(cm)	65×61	28×25	56×49	(92)×48	45×32	67×58	23×16	45×38
深さ(cm)	68	22	50	27	59	67	28	17

No	PP33	PP34	PP35	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40
径(cm)	36×36	68×59	49×47	20×14	48×41	43×37	44×42	62×55
深さ(cm)	15	76	60	33	85	76	66	59

No	PP41	PP42	PP43	PP44	PP45	PP46	PP47	PP48
径(cm)	43×38	41×38	52×46	56×50	43×(36)	37×33	21×17	34×27
深さ(cm)	69	14	67	51	30	47	15	39

No	PP49	PP50	PP51	PP52	PP53	PP54	PP55	PP56
径(cm)	56×44	28×32	23×(19)	52×42	73×(48)	25×21	45×(38)	38×(22)
深さ(cm)	24	15	33	66	84	14	40	15

第31図　RA05・06住居跡(1)



RA05・06 A-A'・B-B'

層位	色調	土性
1	10YR3/3	黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック3%混入。
2	10YR3/4	暗褐色 締まり中、炭化物微量混入。
3	10YR3/4	暗褐色 締まり中、炭化物微量混入。
4	10YR4/4	褐色 締まり中。
5	10YR2/1	黒色 締まり中。
6	10YR2/3	黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
7	10YR4/6	褐色 締まり中。
8	10YR4/4	褐色 締まり中。
9	10YR2/3	黒褐色 締まり中。
10	10YR4/6	褐色 締まり中、炭化物微量混入。

RA05-P3 C-C'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色 締まり密、焼土。
2	2.5YR4/6	赤褐色 締まり中、焼土。
3	2.5YR4/6	赤褐色～10YR4/3 にぶい黄褐色 締まり中、焼土。

RA05-P2 D-D'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色 締まり中、焼土。

RA05-P3 E-E'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色 締まり密、焼土。
2	10YR1.7/1	黒色 締まり緩。

RA06-P1 F-F'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色 締まり密、焼土。
2	10YR2/3	黒褐色 締まり緩、褐色土ブロック混入。

RA06-P2 G-G'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色 締まり密、焼土。

RA05・06-PP23 H-H'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土粒1%混入。
2	10YR3/4	暗褐色～10BY4/8 褐色土 締まり密。

RA05・06-PP18・11 I-I'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色 締まり緩。
2	10YR4/6	褐色～10YR3/4 暗褐色、締まり緩。
3	10YR4/6	褐色 締まり密。

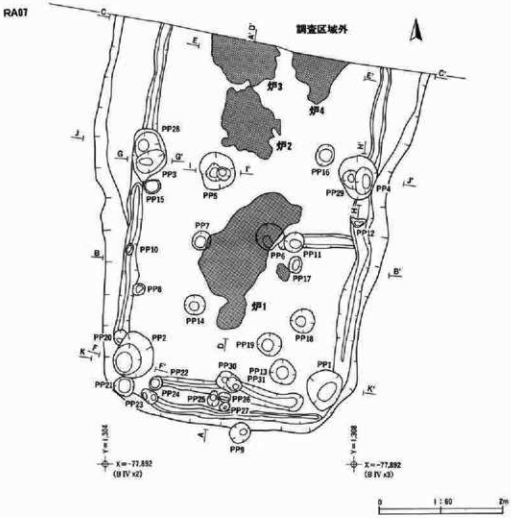
RA05・06-PP13・PP14 J-J'

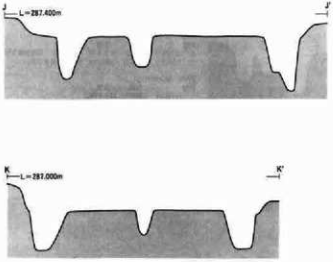
層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色～10YR4/6 褐色、炭化物1%混入。
2	10YR4/6	褐色 締まり緩。
3	10YR4/6	褐色 締まり中。

RA05・06-PP24 K-K'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色 締まり中。
2	10YR3/4	暗褐色～10BY4/8 褐色、締まり中。

第32図　RA05・06住居跡(2)





RA07

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	62×56	74×67	60×55	78×60	60×54	44×38	31×29
深さ(cm)	62	64	69	82	79	22	20

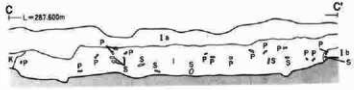
No.	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径(cm)	20×18	35×30	18×12	34×31	27×13	43×38	34×32
深さ(cm)	19	41	35	41	67	45	17

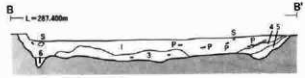
No.	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径(cm)	28×21	46×33	27×22	39×38	30×36	25×30	33×31
深さ(cm)	60	64	11	33	22	12	20

No.	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28
径(cm)	23×20	28×19	29×19	24×18	20×12	18×13	46×46
深さ(cm)	41	23	23	23	21	9	67

No.	PP29	PP30	PP31
径(cm)	70×60	42×30	25×20
深さ(cm)	54	32	59

第33図　RA07住居跡(1)





RA07 A-A'・B-B'・C-C'

層位	色調	土性
1	10YR3/2	黒褐色	締まり中。炭化物10%・焼土粒1%・土器片混入。
2	10YR3/3	暗褐色	締まり中。
3	10YR3/2	黒褐色	締まり中。炭化物多量に混入。
4	10YR3/4	暗褐色	締まり中。
5	10YR2/1	黒色	締まり中。
6	10YR3/4	暗褐色～10RY4/6	褐色	締まり中。

RA07-P1・2・3 D-D'

層位	色調	土性
1	2.5YR3/6	明赤褐色	焼土中。

RA07-P3・4 E-E'

層位	色調	土性
1	10YR5/8	明赤褐色	締まり中。焼土。
2	10YR3/2	黒褐色	締まり中。

RA07-PP2 F-F'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中。土器片・焼土粒・炭化物多量混入。
2	10YR3/4	暗褐色～10RY4/6	褐色	締まり中。炭化物1%混入。

RA07-PP3 G-G'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり強。褐色土ブロック5%・炭化物1%混入。
2	10YR4/6	褐色	締まり中。炭化物1%混入。

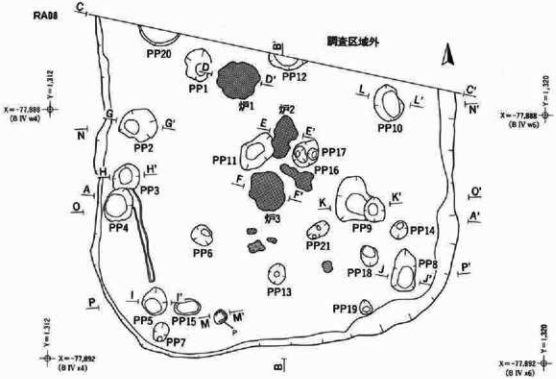
RA07-PP4 H-H'

層位	色調	土性
1	10YR4/6	褐色	締まり弱。
3	10YR2/3	黒褐色	締まり強。褐色土混入。
3	10YR2/3	黒褐色	締まり強。褐色土混入。

RA07-PP5 I-I'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中。
2	10YR3/3	黒褐色	締まり強。褐色土5%混入。
3	10YR2/3	黒褐色	締まり中。褐色土1%混入。

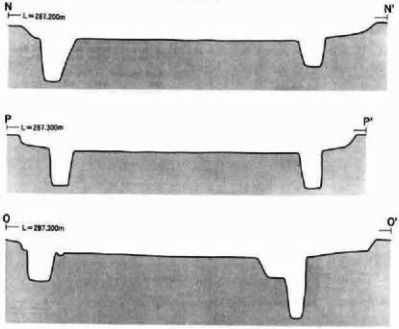
第34図　RA07住居跡(2)



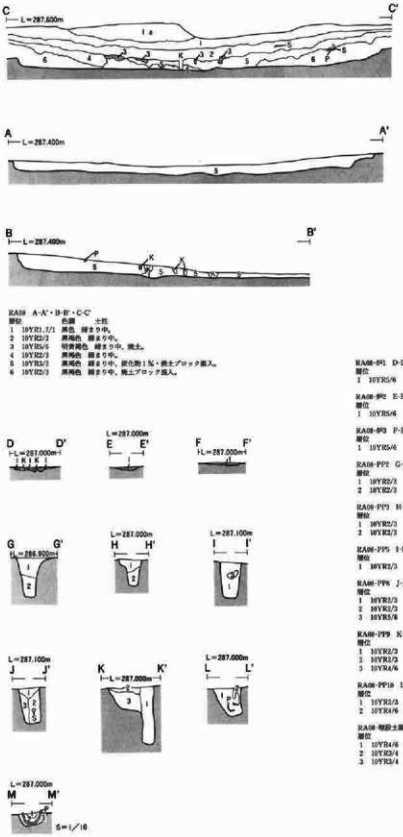
RA08

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8	PP 9	PP10	PP11
径(cm)	53×43	60×52	49×40	52×44	45×39	35×30	32×24	68×35	68×73	57×43	68×40
深さ(cm)	55	63	44	48	58	75	37	60	93	44	27

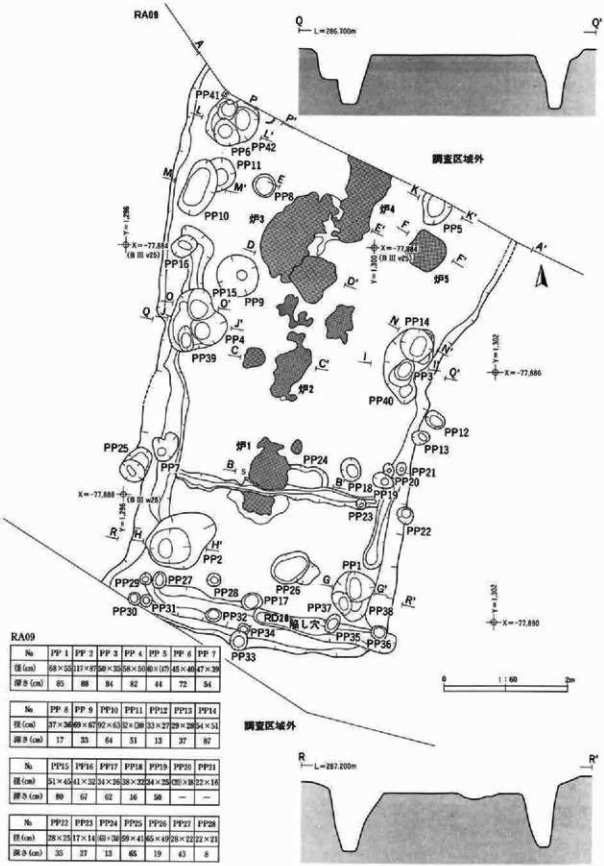
No.	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径(cm)	82×(22)	33×28	30×28	43×27	49×24	35×18	34×27	24×19	60×(22)	40×21
深さ(cm)	22	30	47	11	45	34	20	20	18	30



第35図　RA08住居跡(1)



第36図 RA08住居跡(2)



RA09

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	68×52	117×87	50×35	58×50	60×57	45×40	47×39
深さ(cm)	85	88	84	82	44	72	54

No	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径(cm)	37×36	69×67	92×63	32×28	33×27	29×28	54×51
深さ(cm)	17	33	64	51	13	37	87

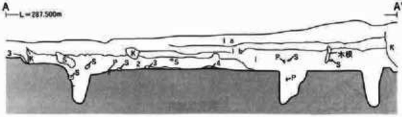
No	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径(cm)	51×45	41×32	34×26	38×32	34×25	(28)×18	22×16
深さ(cm)	80	67	62	16	58	—	—

No	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28
径(cm)	28×25	17×14	(43)×38	59×41	65×49	28×22	22×21
深さ(cm)	35	27	13	65	19	43	8

No	PP29	PP30	PP31	PP32	PP33	PP34	PP35
径(cm)	20×19	20×19	20×19	26×21	32×27	(18×(17)	21×21
深さ(cm)	32	19	24	11	55	10	54

No	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40	PP41	PP42
径(cm)	26×23	40×30	50×(33)	40×27	(38)×34	39×28	60×50
深さ(cm)	47	65	53	68	49	93	68

第37図　RA09住居跡(1)



RA09　A-A'

層位		色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中、炭化物1%混入。
2	10YR3/2	黒褐色	締まり中、炭化物3%・褐色土ブロック1%・土器片混入。
3	10YR3/4	暗褐色	締まり中。
4	2.5YR5/6	明赤褐色	締まり中、焼土。

RA09-炉1・2　B-B'・C-C'

層位		色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色	締まり密、焼土。
2	10YR3/4	暗褐色	締まり密、炭化物1%混入。

RA09-炉3　D-D'

層位		色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色	締まり密、焼土。
2	2.5YR5/6	明赤褐色	締まり密、焼土。

RA09-炉4　E-E'

層位		色調	土性
1	2.5YR5/6	明赤褐色	締まり密、焼土。
2	2.5YR5/6	明赤褐色	締まりやや疎、炭化物1%混入。

RA09-炉5　F-F'

層位		色調	土性
1	2.5YR5/6	明赤褐色	締まり密、焼土。
2	2.5YR5/6	明赤褐色	締まりやや疎、炭化物1%混入。

RA09-PP1　G-G'

層位		色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中、炭化物10%・褐色土ブロック1%・土器片混入。
2	10YR3/4	暗褐色土	締まり中、褐色土ブロック混入。
3	10YR4/6	褐色	締まり密。

RA09-PP2　H-H'

層位		色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まりやや疎、炭化物1%混入。
2	10YR4/6	褐色	締まり密。

RA09-PP3　I-I'

層位		色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中、炭化物3%混入。
2	10YR3/3	黒褐色	締まり中、焼土ブロック30%混入。
3	10YR2/3	黒褐色	締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック混入。

RA09-PP4　J-J'

層位		色調	土性
1	10YR3/4	暗褐色	締まり中、炭化物1%混入。
2	10YR4/6	褐色	締まり密。

RA09-PP5　K-K'

層位		色調	土性
1	10YR1.7/1	黒色	締まり中。
2	10YR3/4	暗褐色	締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック混入。
3	10YR3/4	暗褐色	締まり中、炭化物1%・土器片混入。

RA09-PP6　L-L'

層位		色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中、炭化物1%混入。

RA09-PP10　M-M'

層位		色調	土性
1	10YR3/2	黒褐色	締まり中、炭化物1%混入。
2	10YR2/3	黒褐色	締まり中、炭化物・堅果類多量混入。
3	10YR5/6	黄褐色	締まり中。

RA09-PP14　N-N'

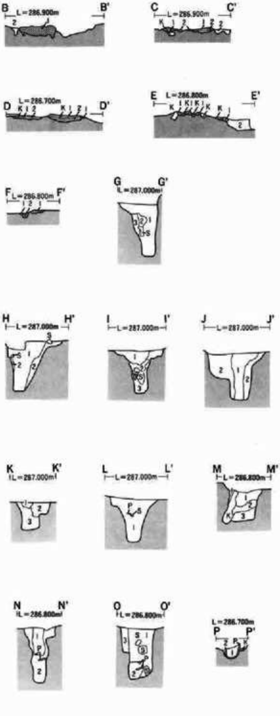
層位		色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中。
2	10YR2/3	黒褐色	締まり疎、黄褐色土混入。

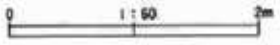
RA09-PP15　O-O'

層位		色調	土性
1	10YR3/4	暗褐色	締まり密、炭化物1%混入。
2	10YR3/4	暗褐色~10YR2/3　黒褐色、	締まり中、炭化物3%混入。
3	10YR5/6	黄褐色	締まり密。

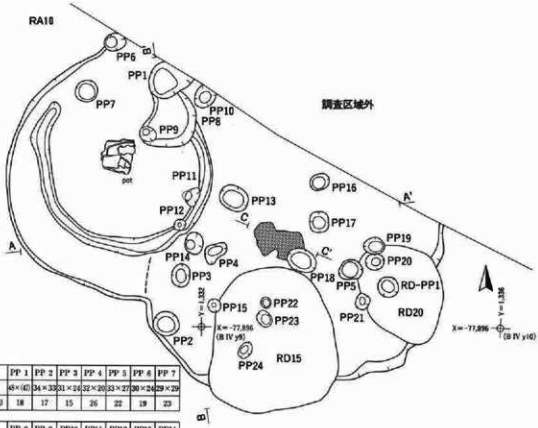
RA09-埋設土器　P-P'

層位		色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり中、炭化物1%・焼土粒混入。
2	10YR3/2	黒褐色	締まり中。





第38図　RA09住居跡(2)



RA10

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	45×(42)	34×33	31×24	32×20	33×27	30×24	29×29
深さ(cm)	18	17	15	26	22	19	23

No.	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径(cm)	(62)×38	23×19	(28)×25	26×18	16×15	40×32	30×25
深さ(cm)	12	51	45	39	30	13	45

No.	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径(cm)	18×17	26×21	28×25	41×31	28×22	24×20	20×18
深さ(cm)	13	39	26	15	38	22	19

No.	PP22	PP23	PP24
径(cm)	14×12	22×18	22×16
深さ(cm)	25	35	26

RA10 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり中、炭化物1%・褐色土粒1%・土器片混入。
2	10YR3/2 黒褐色	締まり中、炭化物1%混入。

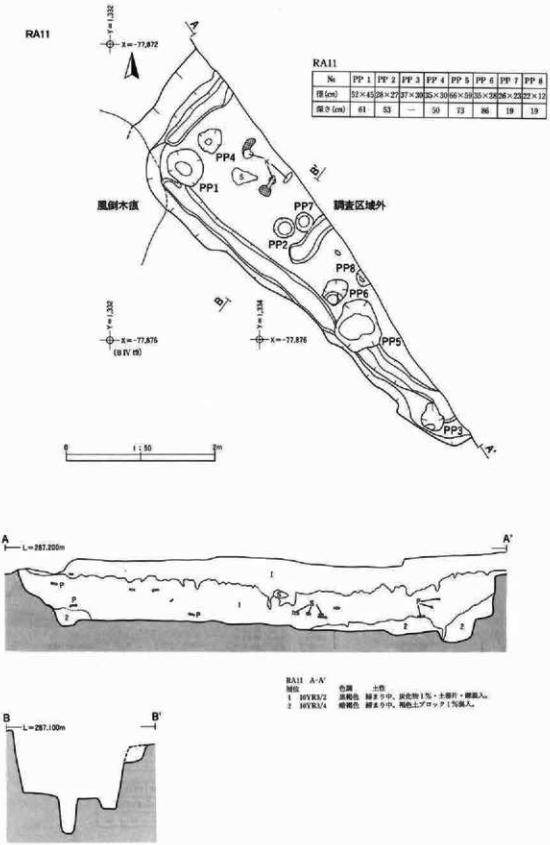
RA10 B-B'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり中、炭化物1%・褐色土粒1%混入。

RA10-B' C-C'

層位	色調	土性
1	5YR5/8 明赤褐色	締まり中、粗土。
2	10YR2/3 黒褐色	締まり弱。

第39図　RA10住居跡



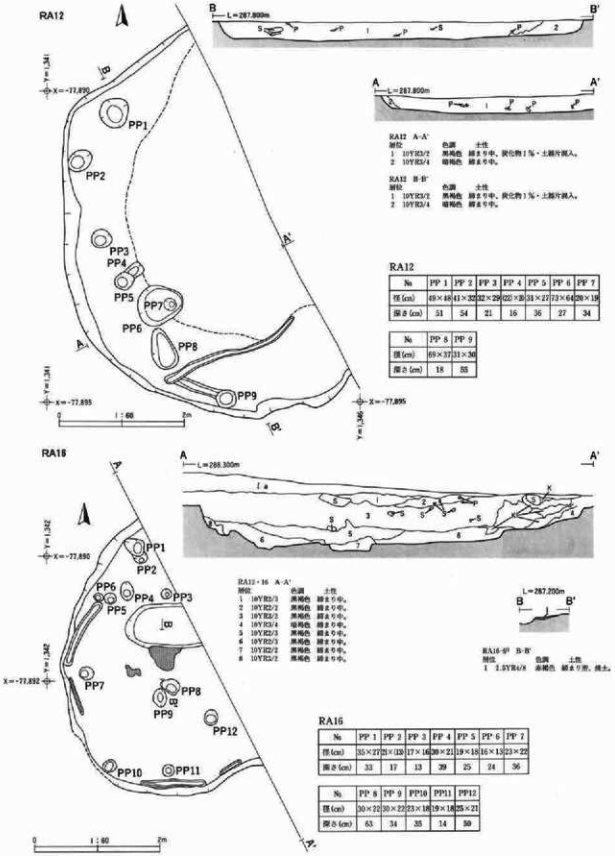
RA11

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8
径(cm)	52×45	28×27	37×30	35×30	66×59	35×28	26×23	22×12
深さ(cm)	61	53	—	50	73	86	19	19

RA11 A-A'

層位	色調	土色
1	10YR3/2 黒褐色	締まり中。炭化物1%・土器片・礫混入。
2	10YR3/4 暗褐色	締まり中。褐色土ブロック1%混入。

第40図　RA11住居跡



RA12

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	49×48	41×32	32×29	22×20	31×27	23×64	29×19
深さ(cm)	51	54	21	16	36	27	34

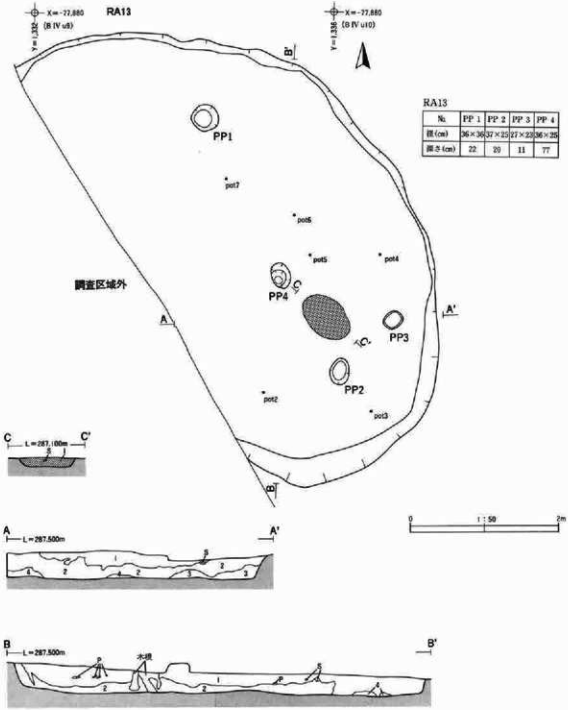
No	PP 8	PP 9
径(cm)	69×37	31×30
深さ(cm)	18	55

RA16

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	35×27	21×(13)	17×16	20×21	19×18	16×13	23×22
深さ(cm)	33	17	13	39	25	24	36

No	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12
径(cm)	30×22	30×22	23×18	19×18	25×21
深さ(cm)	63	34	35	14	50

第41図　RA12・16住居跡



RA13

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径(cm)	36×36	37×29	27×23	36×25
深さ(cm)	22	20	11	77

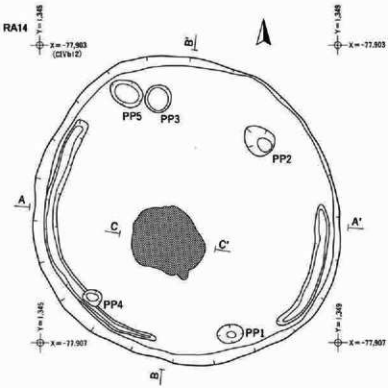
RA13 A-A'・B-B'

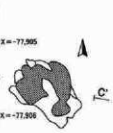
層位	色調	土性
1	10YR3/2	黒褐色　締まり中、炭化物1%混入。
2	10YR3/2	黒褐色　締まり中、炭化物1%・褐色土1%混入。
3	10YR3/3	暗褐色　締まり中、炭化物5%混入。
4	10YR4/6	褐色　締まり中、炭化物1%混入。

RA13-B' C-C'

層位	色調	土性
1	10YR4/6	褐色　締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック混入、焼土。

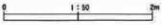
第42図　RA13住居跡





RA14

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径(cm)	35×25	45×36	32×35	25×21	46×35
深さ(cm)	17	12	21	33	29



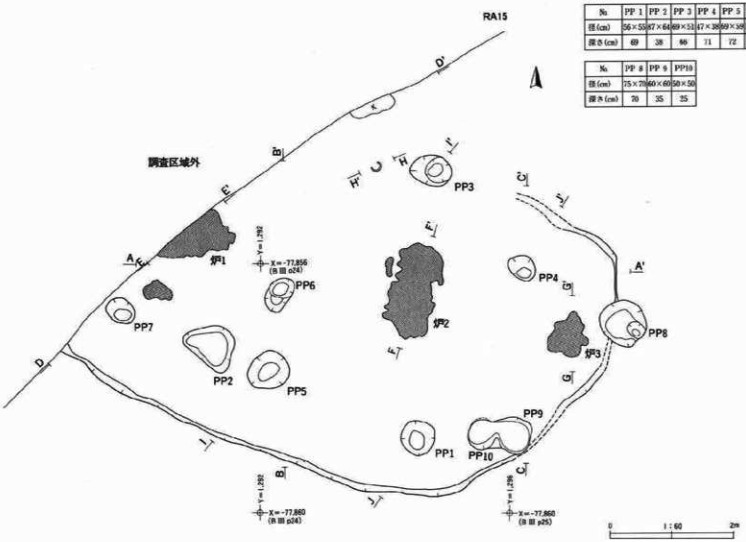
RA14 A-A'・B-B'

層位	色調	土性
1	10YR3/4 暗褐色	締まり中。
2	10YR4/6 褐色	締まり中。

RA14-P1 C-C'

層位	色調	土性
1	5YR4/8 赤褐色	締まり弱。粘土。
2	10YR2/3 黒褐色	締まり弱。
3	10YR3/4 暗褐色	締まり弱。

第43図　RA14住居跡

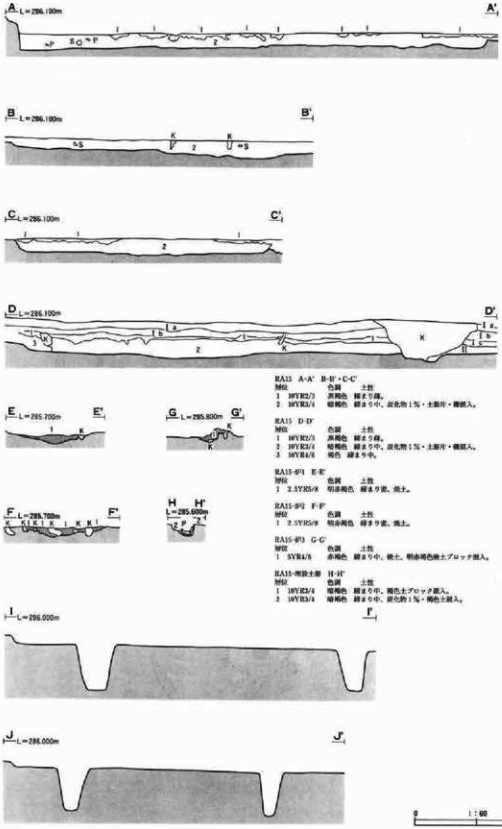


RA15

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	56×55	67×64	49×51	47×38	59×38	59×37	49×38
深さ(cm)	69	38	86	11	72	44.68	38

№	PP 8	PP 9	PP10
径(cm)	75×70	60×50	50×50
深さ(cm)	70	35	25

第44図　RA15住居跡(1)



RA15 A-A' B-B'・C-C'

MG	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり弱。
2	10YR3/4	暗褐色	締まり中。炭化物1%・土器片・礫混入。

RA15 D-D'

MG	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色	締まり弱。
2	10YR3/4	暗褐色	締まり中。炭化物1%・土器片・礫混入。
3	10YR4/6	褐色	締まり中。

RA15-SF1 E-E'

MG	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色	締まり密。焼土。

RA15-SF2 F-F'

MG	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色	締まり密。焼土。

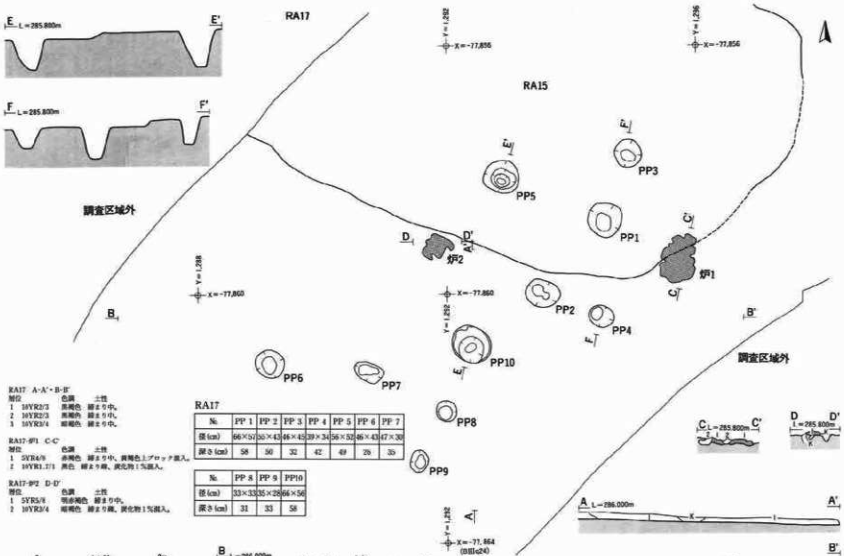
RA15-SF3 G-G'

MG	色調	土性
1	5YR4/8	赤褐色	締まり中。焼土。明赤褐色焼土ブロック混入。

RA15-掘込土層 H-H'

MG	色調	土性
1	10YR2/4	暗褐色	締まり中。褐色土ブロック混入。
2	10YR3/4	暗褐色	締まり中。炭化物1%・褐色土混入。

第45図　RA15住居跡(2)



RA17 A-A'・B-B'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色 締まり中。
2	10YR2/3	黒褐色 締まり中。
3	10YR3/4	暗褐色 締まり中。

RA17-炉1 C-C'

層位	色調	土性
1	5YR4/8	赤褐色 締まり中、黄褐色土ブロック混入。
2	10YR1.2/1	黒色 締まり弱、炭化物1%混入。

RA17-PP2 D-D'

層位	色調	土性
1	5YR5/8	明赤褐色 締まり中。
2	10YR3/4	暗褐色 締まり弱、炭化物1%混入。

RA17

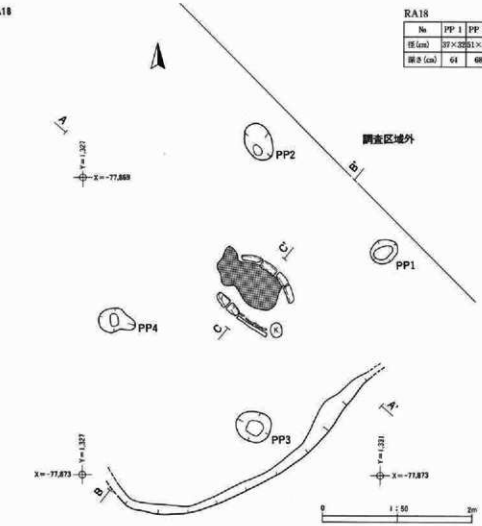
No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	66×57	30×43	46×45	39×34	56×52	46×43	47×39
深さ(cm)	58	50	32	42	49	28	35

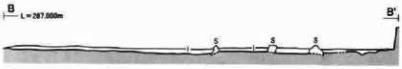
No.	PP 8	PP 9	PP10
径(cm)	33×33	35×28	66×56
深さ(cm)	31	33	58

第46図　RA17住居跡

RA18

RA18				
No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径(cm)	37×32	51×36	47×41	50×32
深さ(cm)	64	68	75	59





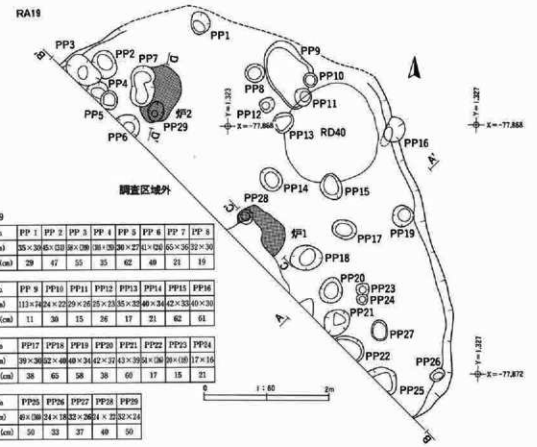
RA18 A-A'・B-B'

層位	色調	土性
1	10YR3/4	暗褐色 締まりや。

RA18-PP C-C'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色 締まりや中。焼土。
2	10YR4/6	褐色 締まり強。焼土ブロック混入。
3	10YR1.7/1	黒色 締まり強。
4	10YR3/4	暗褐色 締まりや強。

第47図　RA18住居跡



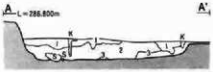
RA19

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8
径(cm)	35×30	45×(32)	36×(28)	38×(29)	30×27	41×(26)	65×36	32×30
深さ(cm)	29	47	55	35	62	49	21	19

No	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16
径(cm)	113×74	24×22	29×26	25×23	35×32	40×34	42×33	40×30
深さ(cm)	11	30	15	26	17	21	62	61

No	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21	PP22	PP23	PP24
径(cm)	29×26	32×40	40×34	42×32	43×39	34×(26)	26×(18)	17×16
深さ(cm)	38	65	58	38	60	17	15	21

No	PP25	PP26	PP27	PP28	PP29
径(cm)	49×(36)	24×18	32×26	24×22	32×24
深さ(cm)	50	33	37	49	50



RA19 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色 締まり中。
2	10YR3/2	黒褐色 締まり中。
3	10YR3/4	暗褐色 締まり中。

RA19 A-A'・B-B'

層位	色調	土性
1	10YR2/2	黒褐色 締まり中。
2	10YR2/3	黒褐色 締まり中。
3	10YR2/3	黒褐色 締まり中。
4	10YR3/2	黒褐色 締まり中。
5	10YR3/4	暗褐色 締まり中。

RA19-炉1 C-C'

層位	色調	土性
1	10YR3/4	暗褐色 締まり中、焼土粒混入。
2	10YR4/3	にぶい黄褐色 締まり中。

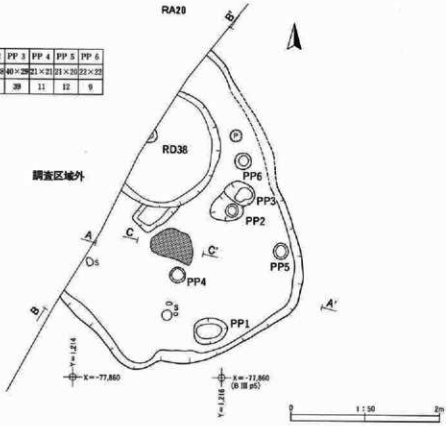
RA19-炉2 D-D'

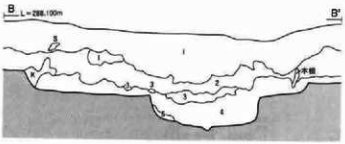
層位	色調	土性
1	10YR3/4	暗褐色 締まり中、炭化物1%・焼土ブロック1%混入。
2	10YR2/3	黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%混入。
3	10YR4/4	褐色 締まり中、炭化物1%混入。

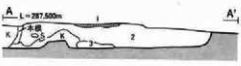
第48図　RA19住居跡

RA20

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
径(cm)	46×35	45×38	40×29	21×21	21×20	22×22
深さ(cm)	22	35	39	11	12	9







RA20 A-A'

層位	色調	土性
1	5YR3/4 暗赤褐色	締まりやや弱。埴土。
2	10YR3/4 暗褐色	締まりやや密。褐色土ブロック1%・炭化物微量混入。
3	10YR4/6 褐色	締まり密。埴土ブロック混入。

RA20 B-B'

層位	色調	土性
1	10YR3/4 暗褐色	締まり弱。
2	10YR2/3 黒褐色	締まりやや密。
3	10YR2/2 黒褐色	締まりや、炭化物1%混入。
4	10YR3/4 暗褐色	締まりやや密。褐色土ブロック10%混入。
5	10YR2/1 黒色	締まり中、褐色土ブロック5%混入。

RA20-B' C-C'

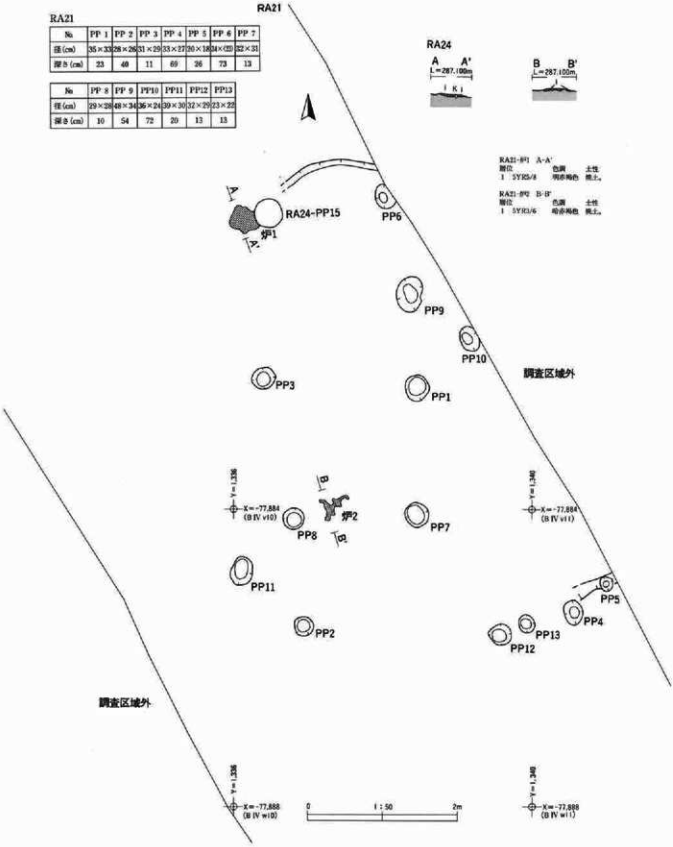
層位	色調	土性
1	7.5YR5/8 明褐色	締まり中、埴土。

第49図　RA20住居跡

RA21

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	35×33	28×26	31×29	33×37	30×18	34×(23)	32×31
深さ(cm)	23	40	11	69	26	73	13

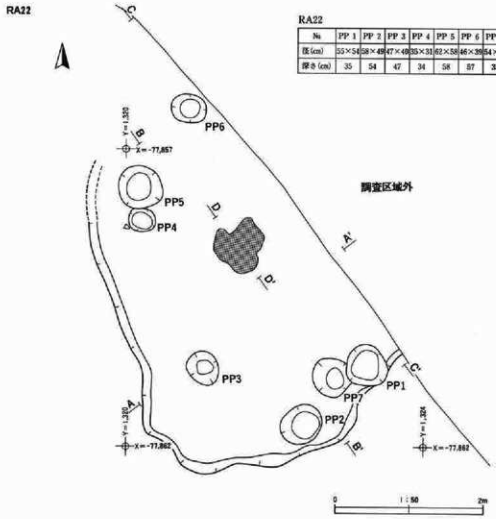
No	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13
径(cm)	29×28	48×34	36×24	30×30	32×29	23×22
深さ(cm)	10	54	72	20	13	13

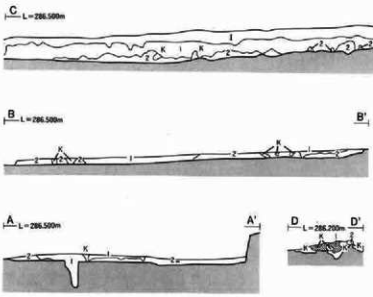


第50図　RA21住居跡

RA22

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	55×54	58×49	47×40	35×31	62×58	46×39	54×51
深さ(cm)	35	54	47	34	58	57	35





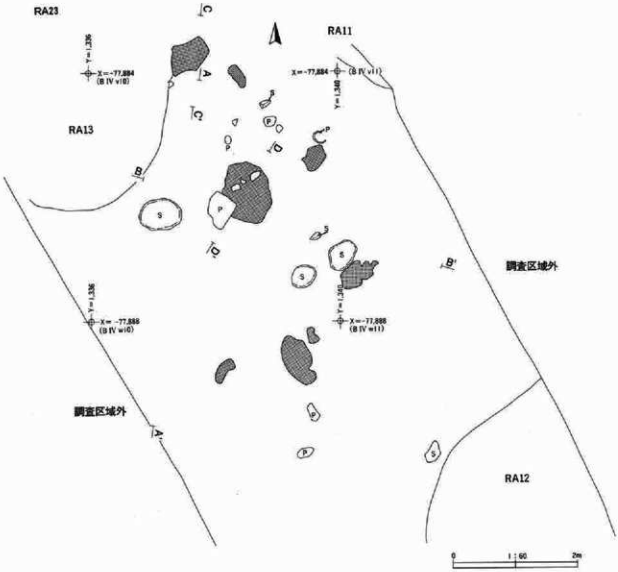
RA22 A-A'・B-B'・C-C'

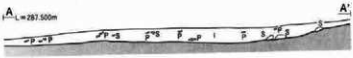
層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	締まり中。炭化物1%混入。
2	10YR3/4 暗褐色	締まり中。炭化物1%混入。

RA22-炉 D-D'

層位	色調	土性
1	5YR3/8 明赤褐色	締まり中。明赤褐土ブロック混入。焼土。
2	10YR3/6 黄褐色	締まり中。

第51図　RA22住居跡





RA23 A-A'・B-B'

層位	色調	土性
1	10YR4/6	褐色 暗まり強、炭化物1%・焼土粒1%混入。

RA23-SP3 C-C'

層位	色調	土性
1	5YR5/6	明赤褐色 暗まり中、焼土。
2	10YR3/3	黒褐色 暗まり中、炭化物1%混入。
3	10YR3/4	暗褐色 暗まり中、炭化物1%混入。

RA23-SP2 D-D'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/8	明赤褐色 暗まり中、焼土。

第52図　RA23住居跡

RA24

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径(cm)	32×30	33×30	30×22	23×19	39×36	28×38	31×28
深さ(cm)	63	30	42	17	24	30	24

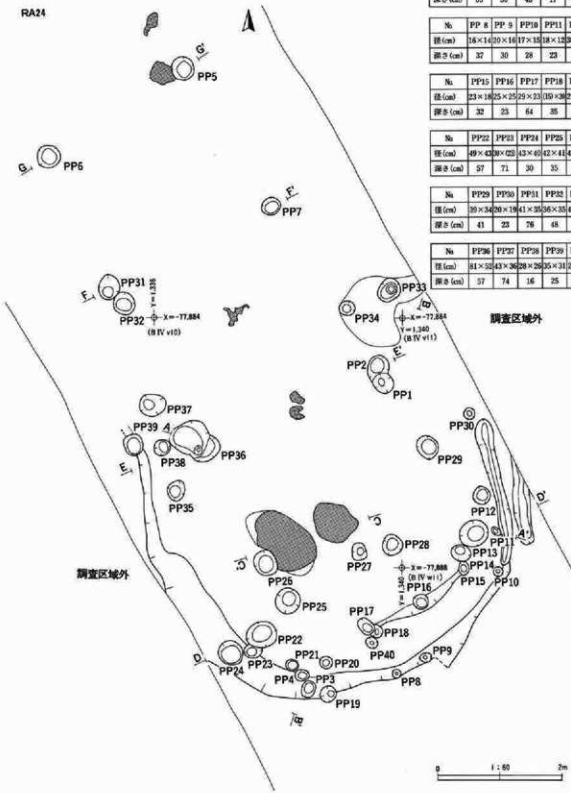
№	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径(cm)	16×14	20×16	17×15	18×12	30×29	48×42	34×27
深さ(cm)	37	30	28	23	20	52	78

№	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径(cm)	23×18	25×25	29×23	(15)×30	27×26	22×20	21×19
深さ(cm)	32	23	64	35	45	29	30

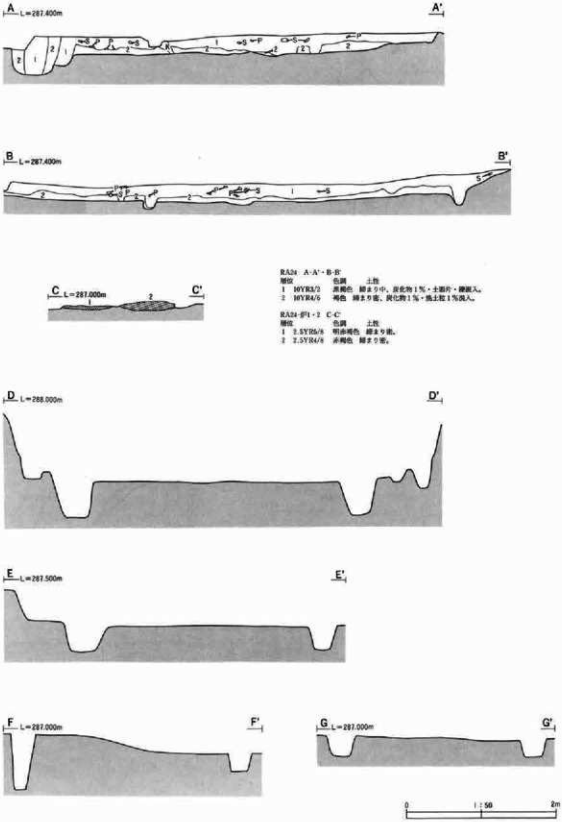
№	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28
径(cm)	49×42	30×(22)	43×40	42×41	42×36	28×24	35×33
深さ(cm)	57	71	30	35	33	28	20

№	PP29	PP30	PP31	PP32	PP33	PP34	PP35
径(cm)	39×34	20×19	41×35	36×35	41×34	25×24	35×30
深さ(cm)	41	23	76	48	37	30	6

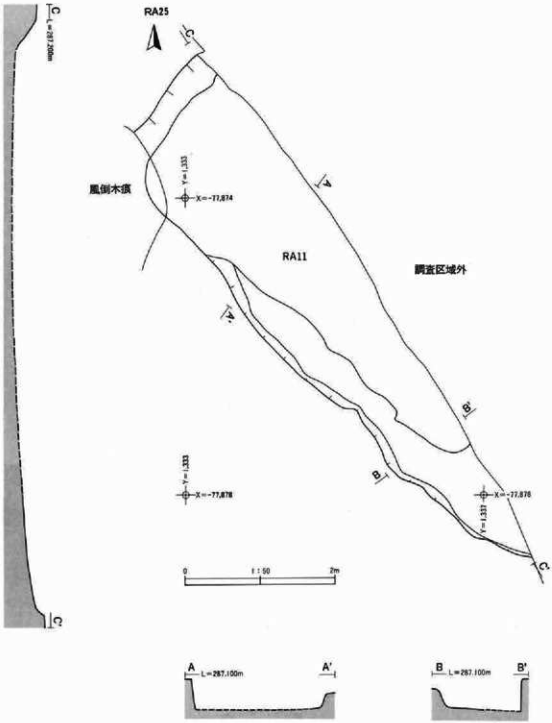
№	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40
径(cm)	31×32	43×36	28×26	35×31	21×18
深さ(cm)	37	74	16	25	25



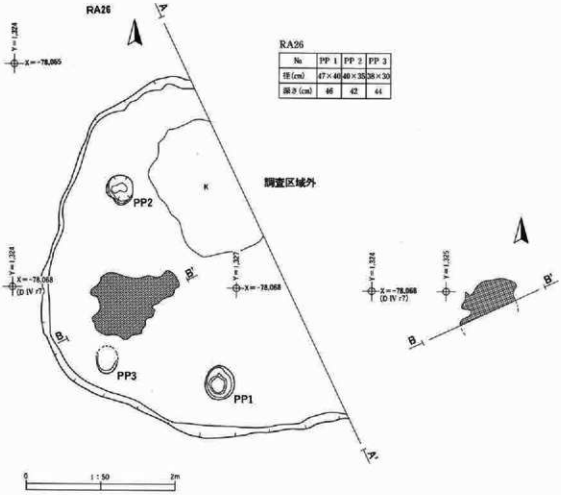
第53図　RA24住居跡(1)



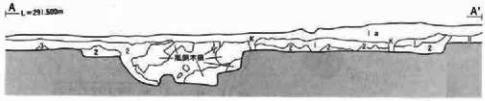
第54図　RA24住居跡(2)

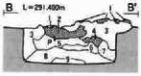


第55図　RA25住居跡



RA26			
No	PP 1	PP 2	PP 3
規(cm)	47×46	40×35	38×30
深さ(cm)	46	42	44





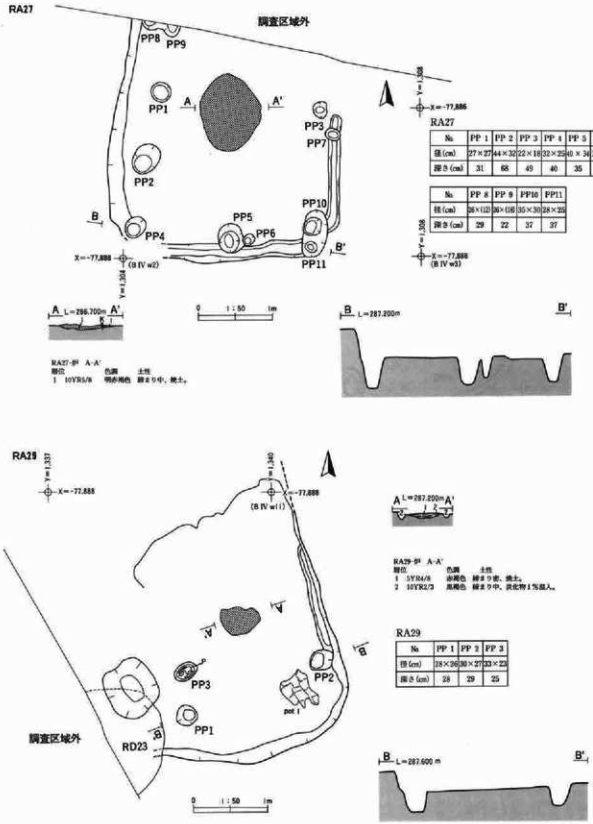
RA26 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3	黒褐色 締まりやや密。
2	10YR3/4	暗褐色～10YR4/6 褐色 締まりやや緩。

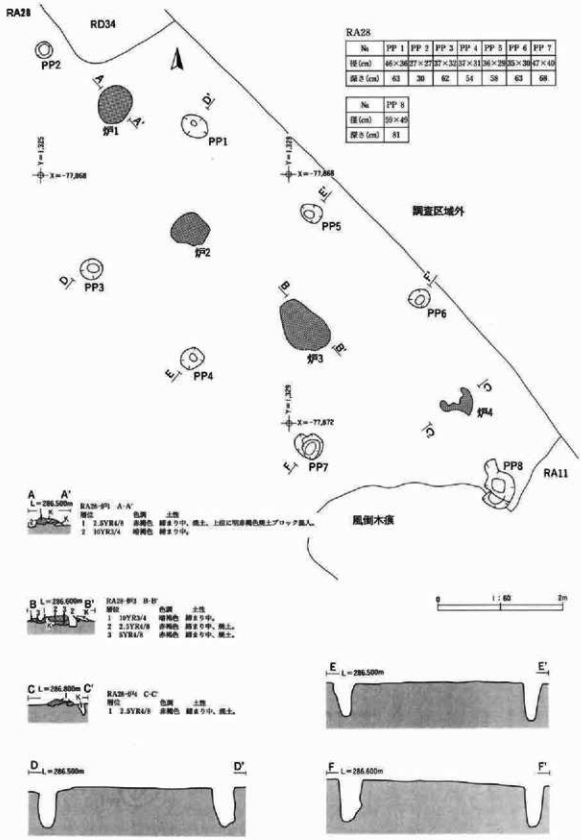
RD36-97×RD45 B-B'

層位	色調	土性
1	5YR4/6	赤褐色 締まりやや密、焼土。
2	5YR4/6	赤褐色 締まりやや密、焼土。
3	10YR3/2	黒褐色 締まりやや緩。
4	10YR4/4	褐色 締まり密、焼土。
5	5YR5/8	明赤褐色 締まりやや緩、焼土ブロック10%混入。
6	10YR3/4	暗褐色 締まりやや密、炭化物1%・焼土1%混入。
7	2.5YR4/6	明赤 締まりやや緩、焼土多量混入。
8	10YR4/6	褐色 締まりやや密。
9	10YR2/3	黒褐色 締まりやや密、褐色土5%混入。

第56図　RA26住居跡



第57図　RA27・29住居跡

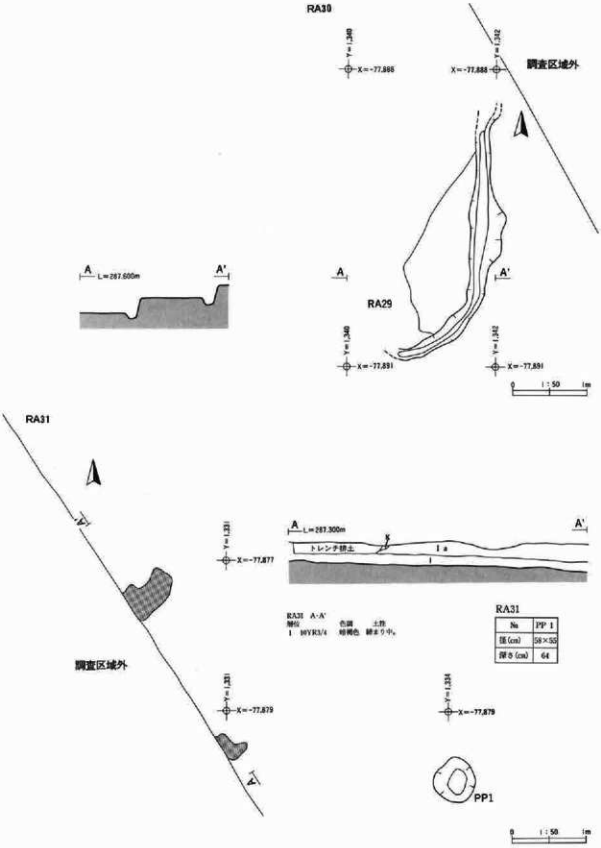


RA28

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
規(cm)	46×36	27×27	37×32	37×31	36×28	35×30	47×40
深さ(cm)	63	30	62	54	58	63	68

№	PP 8
規(cm)	39×49
深さ(cm)	81

第58図　RA28住居跡



第59図　RA30・31住居跡

第3表　住居跡観察表

No.	遺構名	位置	平面形	規模（m）	主軸	柱配置	炉の形態	炉の規模(cm)	周溝	重複（旧→新）	特記事項	大形	出土遺物 土器(g)	出土遺物 石器(g)
1	RA01	B IV R21～B IV S22	円形？	(3.5)×(2.45)	—	不明	地床炉(1)	85×(15)		RA03→RA01			712	201.6
2	RA02	B III t22～u22	隅丸長方形？	(5.0)×(2.8)	N-15°-E	2×2以上？	不明	—	○	RA02→RA05	焼失	○	5410	752.8
3	RA03	B III S21	円形？	(3.0)×(1.8)	—	不明	不明	—		RA03→RA01	剝片貯蔵？		817	409.5
4	RA04	B III u23～B IV v01	隅丸長方形？	(14.0)×(4.7)	N-80°-W	2×(5以上)	地床炉(1)	65×35	○	RA05→RA04,RA09→RA04		○	20359	2892.2
5	RA05	B III t23～B III v24	隅丸長方形？	(8.7)×5.4	N-25°-E	2×(3以上)	地床炉(3)	230×135		RA05→RA06		○	17313	3774.3
6	RA06	B III t23～B III v24	隅丸長方形？	(5.2)×(5.2)	N-35°-E	2×(2以上)	地床炉(2)	95×65	○	RA05→RA06		○	12040	1274.9
7	RA07	B IV v02	隅丸長方形？	(6.2)×4.6	N-10°-E	2×(2以上)	地床炉(4)	235×105	○	RA27→RA07	建替	○	91375	8561.7
8	RA08	B IV w04～w05	隅丸長方形？	(4.8)×5.65	N-5°-W	2×(2以上)	地床炉(3)	65×55	○	なし	建替	○	30336	4747.3
9	RA09	B III u25～B IV w01	隅丸長方形？	(8.8)×4.6	N-6°-E	2×(3以上)	地床炉(5)	120×65	○	RA09→RA04,RD59→RA09	埋設土器	○	52135	7295.1
10	RA10	B IV x04～y09	円形？	6.0×(3.9)	—	不明	地床炉(1)	70×40		RD07,15,20と重複			7005	1855.2
11	RA11	B IV s09～t10	隅丸長方形？	(5.8)×(1.7)	N-45°-W	不明	不明	—	○	RA25→RA11		○	21253	793.0
12	RA12	B IV w11～x12	円形？	6.4×(3.5)	—	不明	不明	—	○	RA16→RA12			19943	2581.8
13	RA13	B IV u09～v20	円形？	7.0×(3.5)	—	不明	地床炉(1)	75×50		RA13→RD20,RA13→RZ11			17905	2123.0
14	RA14	C IV b12～b13	円形	4.15×4.1	—	4	地床炉(1)	100×90	○	なし			5442	1653.5
15	RA15	B III n23～o25	長楕円形？	(8.6)×(5.0)	N-65°-E	2×(2以上)	地床炉(3)	150×70		RA17→RA15→RD29,RZ08,09		○	8260	1936.9
16	RA16	B IV w11～x12	円形？	4.4×2.5	—	不明	地床炉(1)	50×40	○	RA16→RA12			2431	1121.3
17	RA17	B III o23～p24	?	(8.0)×(4.0)	N-90°-W	不明	地床炉(2)	50×35		RA17→RA15		○	1749	67.7
18	RA18	B III r07～r08	?	(5.3)×(3.9)	N-40°-W	4	石囲炉(1)	129×90		RA28→RA18			3149	1312.5
19	RA19	B IV q06～r07	円形？	8.1×(3.4)	—	不明	地床炉(2)	95×60		RD40,42,43,44→RA19			5047	3035.9
20	RA20	B III o04～o05	隅丸方形？	(2.8)×3.8	—	不明	地床炉(1)	60×40		RA20→RD38			4739	93.4
21	RA21	B IV u10～v10	?	(7.0)×(4.6)	—	不明	地床炉(2)	40×40		なし			6638	1435.9
22	RA22	B IV o06～p06	方形？	(5.0)×(3.45)	—	不明	地床炉(1)	70×65		なし			308	88.7
23	RA23	B IV v10～w10	?	(6.0×4.0)	N-20°-W	不明	地床炉(3)	100×80		RA23→RA29			59616	6542.9
24	RA24	B IV v10～w10	?	11.0×6.0	N-20°-W	不明	地床炉(3)	115×65	○	RA24→RA23		○	15225	2548.0
25	RA25	B IV s09～t10	?	(8.2)×(1.7)	—	不明	不明	—		RA25→RA11			0	0
26	RA26	B IV q07～r07	円形？	5.2×(3.2)	—	不明	地床炉(1)	135×95		RD45→RA26			247	170.3
27	RA27	B IV v02	方形？	(3.0)×(3.15)	N-10°-E	不明	地床炉(1)	105×80	○	RA27→RA07			151	40.9
28	RA28	B IV q07～q08	?	(11.0)×(4.0)	N-50°-W	2×3？	地床炉(4)	95×65		RA28→RA18		○	1540	31.6
29	RA29	B IV w10～w11	方形？	(3.5)×(3.5)	—	不明	地床炉(1)	50×40	○	RA29→RA29,RA29→RD23			4083	439.6
30	RA30	B IV w11	?	(1.65)×(1.05)	—	不明	不明	—	○	RA30→RA29			90	118.2
31	RA31	B IV t08	?	6以上？	N-35°-W	不明	地床炉(2)	(70)×50	○	なし			103	1.4

土器は総重量
石器は製品を除く剝片の重量

2．土坑（第60～74図、写真図版31～42）

50基検出された。平面形は円形を基調とするものが多く、特にＢⅢ区でまとまって検出している。ＲＤ11・12・42土坑からドングリ・クリなどの植物遺体、RD04・06から土器がまとまって出土している。

ＲＤ01土坑

遺構（第60図、写真図版31）

〈位置・検出状況〉ＢⅢ114グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉開口部径175cm×140cm、底部径165cm×130cm、楕円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ20cm。壁は底部付近の立ち上がりが僅かに確認できるのみ。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉底面中央に副穴１基を伴い。四方に広がる溝をもつ。副穴は、規模24×20cm、深さ21cm、埋土は黒褐色土の単層である。

遺物（第185・263・296図、写真図版101・157・182）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉破片（665）。

〈石器〉石錘（1899）、敲磨器Ｂ類（2127）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ02土坑

遺構（第60図、写真図版31）

〈位置・検出状況〉ＢⅢ114～m14グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉南側でRD12土坑と重複する。RD02土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径240×185cm、底部径225×175cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ50cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉底面中央と長軸の両端壁際に２基、計３基の柱穴を伴う。埋土は黒褐色土である。また中央から四方に延びる溝状の施設を伴う。

遺物（第185・219・232・268・296図、写真図版101・127・136・161・182）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉破片（666～669）。

〈石器〉石鏃（1468・1469）、石箆（1643）、敲磨器Aa類（1944）・Ｂ類（2128・2129）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ03土坑

遺構（第60図、写真図版31）

〈位置・検出状況〉B Ⅲ k13～k14グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉なし。
〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。
〈規模・形態〉開口部径272×180cm、底部径260×165cm・楕円形。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ20cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。
〈副穴等の付属施設〉中央と長軸両端に3基の副穴を伴う。
遺物（第185・228・268図、写真図版101・133・161）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉破片（670）。
〈石器〉石鏃（1599）、敲磨器 Aa 類（1945）。
時期　出土遺物から縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＤ05土坑

遺構（第61図、写真図版32）
〈位置・検出状況〉B Ⅲ n14グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉なし。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で構成される。
〈規模・形態〉開口部径185×140cm、底部径165×120cm・楕円形。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ24cm。壁は外傾して立ち上がる。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。
〈副穴等の付属施設〉中央（PP１）と長軸片側の壁際（PP３）に２基の副穴を伴う。PP１埋土には礫が混入していた。新 PP はこの土坑を切る柱穴状土坑である。
遺物（第142・185・219・228・281図、写真図版64・102・127・133・170）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉立体（192）、（685・686）。
〈石器〉石鏃（1472・1473）、石匙（1600・1601）。敲磨器 Ac 類（2031）。
時期　出土遺物から縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＤ06土坑

遺構（第61・92図、写真図版32）
〈位置・検出状況〉B Ⅲ m14～n14グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉なし。
〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色と黒褐色土からなる。
〈規模・形態〉開口部径240×225cm、底部径230×225cm・円形。
〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ75cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。
〈副穴等の付属施設〉中央と軸線上の両壁際に３基の副穴を伴う。PP２の覆土と底部は柱当たりの痕跡を遺

す。また中央から四方に延びる溝状の施設を伴う。

遺物（第123・124・142・186・219・228・238・263・264・297・301図、写真図版64・65・102・127・133・140・157・158・182・186）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材（クリ）が出土している（第92図）。

〈土器〉立体（193・194・195・196）、破片（687～694）。

〈石器〉石鏃（1474）、石匙（1602・1603）、不定形石器（1684）、石錘（1900～1905）、敲磨器B類（2130・2157）。

時期　出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＤ07土坑

遺構（第62図、写真図版16）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｘ８～ｘ９グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA10住居跡と重複する。新旧関係は不明である。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈規模・形態〉推定で径260×240cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉不明。５cm以上。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉円形を呈する周溝と周溝内に副穴の可能性をもつ小柱穴を検出した。

遺物（第124・143・144図、写真図版65・66）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉立体（197～203）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＤ08土坑

遺構（第62図、写真図版32）

〈位置・検出状況〉ＢⅢo13～p13グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と褐色土からなる。

〈規模・形態〉開口部径175×(95)cm、底部径195×(95)cm・円形基調。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ115cm。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉底部中央付近に副穴を１基伴い、溝状の施設１条が中央から北西に延びている。

遺物（第144・186・219・239・268図、写真図版66・102・127・140・161）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉立体（204）、破片（695～697）。

〈石器〉石鏃（1475・1476）、両極石器（1694）、敲磨器Aa類（1947）。

時期　出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＤ09土坑

遺構（第62図、写真図版32）

〈位置・検出状況〉ＢⅢk14グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土と褐色土で構成される。

〈規模・形態〉開口部径175×160cm、底部径165×165cm・円形。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ70cm。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉底部中央と両壁際に計３基の副穴を伴う。埋土は暗褐色土の単層で、PP１・PP３は底面に柱当たりの痕跡を遺す。また溝状施設が中央から四方に延びる。

遺物（第144・186・219・228・232・264図、写真図版66・102・127・133・136・158）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉立体（205）、破片（698～709）。

〈石器〉石鏃（1477・1478）、石匙（1604）、石篦（1645）、石錘（1906）。

時期　出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＤ10土坑

遺構（第63図、写真図版33）

〈位置・検出状況〉ＢⅢl15～m15グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・暗褐色土・にぶい黄褐色土からなる。自然堆積。

〈規模・形態〉開口部径160×(70)cm、底部径180×(80)cm・円形基調。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ125cm。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉底部中央付近に副穴を１基伴い、中央から壁際に延びる１条の溝状の施設をもつ。

遺物（第187・219・238・264図、写真図版102・127・140・158）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材（クリ・ナラ）が出土している。

〈土器〉破片（710～713）。

〈石器〉石鏃（1479・1480）、不定形石器（1685）、石錘（1907）。

時期　出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＤ11土坑

遺構（第63・92図、写真図版33）

〈位置・検出状況〉ＢⅢl15グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径170×(98)cm、底部径200×(110)cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ98cm。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。
〈副穴等の付属施設〉底部中央付近に副穴を1基伴い、中央から壁際に延びる溝状施設を1条もつ。
遺物（第187・239・264図、写真図版103・140・158）
〈出土状況〉埋土2層から炭化材（クリ）、埋土5層から植物遺体（ドングリ）、床上から7層で土器が出土している（第92図）。
〈土器〉破片（714～724）。
〈石器〉両極石器（1695・1696）、石錘（1908～1913）。
時期　出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＤ12土坑
遺構（第63図、写真図版33）
〈位置・検出状況〉ＢⅢm14グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかる。
〈重複〉RD02土坑と重複する。RD12土坑が旧い。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径95×(80)cm、底部径110×(80)cm・円形。
〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ50cm。壁は内湾しながら立ち上がる。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第124・144・187・220・265・281図、写真図版66・103・127・158・170）
〈出土状況〉埋土から土器・石器・植物遺体（クリ）が出土している。
〈土器〉立体（206・207）、破片（725～730）。
〈石器〉石鏃（1481）、石錘（1914）、敲磨器Ac類（2032・2033）。
時期　出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＤ13土坑
遺構（第64図、写真図版33）
〈位置・検出状況〉ＢⅢs23グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかる。西側は一部攪乱を受けている。
〈重複〉なし。
〈埋土・堆積状況〉暗褐色土の単層である。
〈規模・形態〉開口部径140×(145)cm、底部径120×(135)cm・楕円形？
〈断面形・深さ〉皿状・深さ15cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。北から南へ緩く傾斜する。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第220・282図、写真図版127・170）
〈出土状況〉埋土から石器・炭化材（クリ）が出土している。
〈石器〉石鏃（1482）、敲磨器Ac類（2034）。

時期　時期決定の遺物を欠くが、縄文時代前期と推定される。

ＲＤ14土坑

遺構（第64図、写真図版34）

〈位置・検出状況〉B Ⅲ y10グリッド。Ⅲ層で楕円形の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかる。西側は一部攪乱を受けている。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉開口部径195×135cm、底部径180×125cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ25cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面ほぼ中央に副穴１基を伴う。

遺物（第187・297図、写真図版103・182）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（731）。

〈石器〉敲磨器Ｂ類（2131）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ15土坑

遺構（第64図、写真図版34）

〈位置・検出状況〉B Ⅳ y９グリッド。Ⅲ層でＩｅ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA10住居跡と重複する。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉開口部径193×170cm、底部径170×135cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ27cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面ほぼ中央に副穴１基と四方に広がる溝状施設を伴う。

遺物（第187・220・307図、写真図版103・127・190）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉破片（732～734）。

〈石器〉石鏃（1483）。

〈石製品〉岩偶（2176）、玦状耳飾り（2187）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＤ16土坑

遺構（第64図、写真図版34）

〈位置・検出状況〉B Ⅳ w５～x６グリッド。Ｉｅ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径265×230cm、底部径240×230cm・楕円形。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ16cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉底面ほ南東壁際に副穴2基を伴う。
遺物（第145・188・220・228・238・239・304・307図、写真図版67・103・104・127・133・140・188・190）
〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。
〈土器〉立体（208～211）、破片（735～745）。
〈石器〉石鏃（1484）、石匙（1605）、不定形石器（1686・1687）。
〈石製品〉石棒（2166）。玦状耳飾り（2187）。
時期　出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＤ17土坑

遺構（第65図、写真図版35）
〈位置・検出状況〉ＢⅣｗ６～７グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は調査区域外にかかる。
〈重複〉RD19土坑と重複する。RD17土坑が旧い。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径280×153cm、底部径260×140cm・楕円形？
〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ35cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第145・188・220・239・265・305図、写真図版67・104・127・140・158・189）
〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。
〈土器〉立体（212）、破片（746～748）。
〈石器〉石鏃（1485・1486）、不定形石器（1688）、石錘（1915）。
〈石製品〉鰹節形石製品（2170）。
時期　出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＤ18土坑

遺構（第65図、写真図版34）
〈位置・検出状況〉ＢⅣｗ３グリッド。Ⅰｃ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉なし。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径105×82cm、底部径92×72cm・楕円形。
〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ32cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第188・220・228図、写真図版104・127・133）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉破片（749・750）。
〈石器〉石鏃（1487）、石匙（1606）。
時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ19土坑
遺構（第65図、写真図版35）
〈位置・検出状況〉ＢⅣｗ７グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉RD17土坑と重複する。RD19土坑が新しい。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径（220）×（110）cm、底部径（190）×（180）cm・楕円形？
〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ32cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。やや凸凹をもつ。
〈副穴等の付属施設〉PP１～PP５の副穴を伴う。
遺物（第145・188・189・228・229・233・265・282・297図、写真図版67・104・133・136・158・159・170・183）
〈出土状況〉埋土から土器・石器・土偶が出土している。
〈土器〉立体（213）、破片（751～764）。
〈土製品〉土偶（1254）。
〈石器〉石匙（1607～1609）、石錐（1646）、石錐（1916）、敲磨器Ａc類（2035）・Ｂ類（2132・2133）。
時期　出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＤ20土坑
遺構（第65図、写真図版35）
〈位置・検出状況〉ＢⅣｘ９グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉RA10住居跡と重複する。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径140×110cm、底部径95×85cm・楕円形
〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ40cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉PP１・２の２基の副穴を伴う。
遺物（第-図、写真図版-）
出土していない。
時期　出土遺物は無く、詳細は不明だが、縄文時代前期と推定される。

ＲＤ21土坑
遺構（第66図、写真図版35）

〈位置・検出状況〉BⅣx10グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径203×(85)cm、底部径195×(75)cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ10cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第-図、写真図版-）

出土していない。

時期　出土遺物は無く、詳細は不明である。

ＲＤ22土坑

遺構（第66図、写真図版35）

〈位置・検出状況〉BⅣx12グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径110×85cm、底部径65×75cm・円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ28cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。やや凸凹がある。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第189図、写真図版104）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（765・766）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＤ23土坑

遺構（第66図、写真図版35）

〈位置・検出状況〉BⅣw10グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と黄褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径150×(80)cm、底部径130×(65)cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ35cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第189図、写真図版104）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（767・768・769）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ24土坑

遺構（第66図、写真図版36）

〈位置・検出状況〉ＣⅣa13グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RD25土坑と重複する。RD24土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径110×(115)cm、底部径120×110cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ30cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第189図、写真図版104）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（770）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ25土坑

遺構（第66図、写真図版36）

〈位置・検出状況〉ＣⅣa13グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RD24土坑と重複する。RD25土坑が旧い。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径325×(130)cm、底部径280×115cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ20cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第189図、写真図版104）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（771）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ26土坑

遺構（第67図、写真図版36）

〈位置・検出状況〉ＣⅣd12グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径245×(70)cm、底部径230×50cm・円形基調と思われる。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ20cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第297図、写真図版183）
〈出土状況〉埋土から石器が出土している。
〈石器〉敲磨器Ｂ類（2134）。
時期　時期決定の遺物を欠き、詳細は不明であるが、縄文時代前期と思われる。

ＲＤ27土坑

遺構（第67図、写真図版36）
〈位置・検出状況〉ＣⅣc13グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉なし。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。
〈規模・形態〉開口部径255×185cm、底部径225×155cm・円形基調と思われる。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ35cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第189・229・239図、写真図版104・133・140）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉破片（772）。
〈石器〉石匙（1610）、不定形石器（1689）。
時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ29土坑

遺構（第67図、写真図版36）
〈位置・検出状況〉ＢⅢn24グリッド。RA15住居跡の精査後に検出された。
〈重複〉RA15住居跡と重複する。RD29土坑が旧い。
〈埋土・堆積状況〉おもに褐色土である。人為堆積？
〈規模・形態〉開口部径155×135cm、底部径130×105cm・円形。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ40cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第190・229図、写真図版105・133）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉破片（774・775）。
〈石器〉石匙（1612）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ30土坑

遺構（第67図、写真図版37）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｓ９～ｔ９グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。人為堆積？

〈規模・形態〉開口部径240×190cm、底部径195×120cm・隅丸方形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ68cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第190・220・229・233・265・282図、写真図版105・127・133・136・159・170）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（776～786）。

〈石器〉石鏃（1488）、石匙（1613）、石箆（1647）、石錘（1917・1918）、敲磨器Ａｃ類（2036）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＤ31土坑

遺構（第68図、写真図版37）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｎ25グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土と黒褐色土である。人為堆積？

〈規模・形態〉開口部径210×170cm、底部径180×140cm・隅丸方形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ40cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第190・265図、写真図版105・159）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（787）。

〈石器〉石錘（1917・1918）。

時期　出土遺物から縄文時代前期中葉と思われる。

ＲＤ32土坑

遺構（第68図、写真図版37）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｎ05～06グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側が攪乱を受けている。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土とである。自然堆積。

〈規模・形態〉開口部径240×170cm、底部径205×140cm・隅丸方形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ60cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面中央に副穴1基、長軸壁際に副穴2基と、四方に広がる溝状施設をもつ。

遺物（第190・265・282・298図、写真図版105・159・171・183）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（788～791）。

〈石器〉石錘（1919）、敲磨器Ac類（2037・2038）・B類（2135・2136）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＤ33土坑

遺構（第68図、写真図版37）

〈位置・検出状況〉BⅢm6グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉開口部径250×(90)cm、底部径（230）×(80)cm・隅丸方形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ53cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面中央から壁際に延びる溝状の施設を1条伴う。

遺物（第190図、写真図版105）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（792～793）。

時期　出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＤ34土坑

遺構（第69図、写真図版38）

〈位置・検出状況〉BⅢq7グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外にかかる。

〈重複〉BⅣq7-PP4・PP5と重複する。RD34が切られている。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉開口部径270×(150)cm、底部径（230）×135cm・隅丸方形と推定される。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ80cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉副穴を1基伴う。

遺物（第145・190・220・282・298図、写真図版67・105・127・171・183）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉立体（214・215）。破片（794～799）。

〈石器〉石鏃（1489）、敲磨器Ac類（2039）・B類（2137）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＤ35土坑

遺構（第69図、写真図版38）

〈位置・検出状況〉ＢⅢt23～24グリッド。RA05住居跡の精査中に暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA05住居跡と重複し、RA05住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土と黒褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉開口部径185×150cm、底部径165×120cm・隅丸方形と推定される。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ60cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第191・220・229・282・283図、写真図版105・127・133・171）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（800～806）。

〈石器〉石鏃（1490・1491）、石匙（1614）、敲磨器Ac類（2040・2041）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＤ36土坑

遺構（第70図、写真図版38）

〈位置・検出状況〉ＢⅢi11グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉開口部径140×（80）cm、底部径190×（93）cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ40cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第145・191・233図、写真図版67・105・136）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉立体（216）、破片（807～809）。

〈石器〉石錐（1647）。

時期　出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＤ37土坑

遺構（第70図、写真図版38）

〈位置・検出状況〉ＢⅢi11グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA13住居跡と重複し、RD37土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉開口部径265×(195)cm、底部径243×(180)cm・隅丸長方形である。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ40cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第146・191・192・220・239・265・266・283図、写真図版68・106・127・128・140・159・160・171）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉立体（217）、破片（810～823）。
〈石器〉石鏃（1492・1493）、不定形石器（1690）、石錘（1920～1930）、敲磨器 Ac 類（2042）。
時期　出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＤ38土坑
遺構（第70図、写真図版39）
〈位置・検出状況〉ＢⅢo4グリッド。RA20住居跡の精査中に黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉RA20住居跡と重複し、RD38土坑が新しい。
〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。自然堆積。
〈規模・形態〉開口部径160×(110)cm、底部径140×(90)cm・円形と推定される。
〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ50cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉底面に副穴１基を伴う。
遺物（第192図、写真図版106）
〈出土状況〉埋土から土器が出土している。
〈土器〉破片（824・825）。
時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ39土坑
遺構（第70図、写真図版39）
〈位置・検出状況〉ＢⅣx11グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉なし。
〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。
〈規模・形態〉開口部径125×(108)cm、底部径108×(99)cm・円形と推定される。
〈断面形・深さ〉皿状・深さ15cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉なし。
遺物（第192・220図、写真図版106・128）
〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉破片（826・827）。
〈石器〉石鏃（1494）。
時期　出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＤ40土坑

遺構（第71図、写真図版39）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｑ７グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA19住居跡と重複する。RA19住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径155×150cm、底部径123×95cm・円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉副穴を１基伴う。

遺物（第146・192図、写真図版56・106）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉立体（218）、破片（828・829）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＤ41土坑

遺構（第71図、写真図版39）

〈位置・検出状況〉ＢⅣV11グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径（190）×80cm、底部径175×70cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉副穴を１基伴う。

遺物（第192図、写真図版106）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（830・831）。

時期　出土遺物から縄文時代前期中葉以降と思われる。

ＲＤ42土坑

遺構（第71図、写真図版39）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｒ７グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA19住居跡と重複する。RA19住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉開口部径（195）×120cm、底部径175×105cm・不整な楕円形である。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ33cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉南壁際に副穴を1基伴う。

遺物（第192・220・266図、写真図版106・128・160）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。埋土1層から植物遺体（クリ）が出土している。

〈土器〉破片（832～834）。

〈石器〉石鏃（1495～1498）、石鎚（1931）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ43土坑

遺構（第71図、写真図版40）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｑ6グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA19住居跡と重複する。RA19住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径115×105cm、底部径100×90cm・不整な楕円形である。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ28cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第192図、写真図版106）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（835・836）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ44土坑

遺構（第72図、写真図版40）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｒ7グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RD42土坑と重複する。RD44土坑が旧い。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径100×72cm、底部径90×65cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ20cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第192図、写真図版106）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（837・838）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ45土坑

遺構（第72図、写真図版40）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｑ7～ｒ7グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA26住居跡と重複する。RD45土坑が旧い。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土と褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径143×140cm、底部径134×132cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ50cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第192図、写真図版106）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（839）。

時期　出土遺物から縄文時代中期と思われる。

ＲＤ46土坑

遺構（第72図、写真図版40）

〈位置・検出状況〉ＢⅢp23～r７グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径112×141m、底部径78×82cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ33cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第192・229図、写真図版106・134）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（840・841）。

〈石器〉石匙（1615）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ47土坑

遺構（第72図、写真図版41）

〈位置・検出状況〉ＢⅢp23グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と褐色である。

〈規模・形態〉開口部径127×85m、底部径105×65cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ33cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第192・229図、写真図版106・134）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（842）。

〈石器〉石匙（1616）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ48土坑

遺構（第73図、写真図版41）

〈位置・検出状況〉ＢⅣ03グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と褐色である。

〈規模・形態〉開口部径130×125cm、底部径100×90cm・円形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ30cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第298図、写真図版183）

〈出土状況〉埋土から石器が出土している。

〈石器〉敲磨器Ｂ類（2138）。

時期　時期決定の遺物を欠き、詳細は不明であるが、縄文時代前期と思われる。

ＲＤ49土坑

遺構（第73図、写真図版41）

〈位置・検出状況〉ＢⅣ02グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに褐色とにぶい黄褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径98×85cm、底部径50×50cm・円形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ32cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第-図、写真図版-）

出土していない。

時期　出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代前期と推定される。

ＲＤ50土坑

遺構（第73図、写真図版41）

〈位置・検出状況〉ＢⅢv25～ＢⅣv1グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA09住居跡と重複する。RD50土坑が旧い。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径200×160cm、底部径172×145cm・円形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面に副穴4基をもつ。埋土は黒褐色土である。

遺物（第192・229図、写真図版106・134）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（843・844）。

〈石器〉石匙（1617）。

時期　出土遺物から縄文時代前期と思われる。

ＲＤ51土坑

遺構（第74図、写真図版42）

〈位置・検出状況〉ＢⅢu22グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA06住居跡と重複する。RD51土坑が旧い。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色と褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径100×90cm、底部径105×105cm・円形。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ62cm。壁は内湾する。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第192・220・229・267・307図、写真図版106・128・134・160・190）

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉破片（845～851）。

〈石器〉石鏃（1499・1500）、石匙（1618）、石錘（1932・1933）。

〈石製品〉玦状耳飾り（2188）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

ＲＤ52土坑

遺構（第74図、写真図版42）

〈位置・検出状況〉ＢⅢP25グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径110×85cm、底部径80×55cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ30cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。やや西側が凹む。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第192図、写真図版107）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（852）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

3．墓壙（第61図、写真図版31）

1基を検出した。土坑の形状、埋土、底面付近からの遺物（土器・石器・顔料）の出土状況から墓壙の可能性があるものと判断した。人骨は出土していない。

ＲＤ04土坑

遺構（第61・92図、写真図版31）

〈位置・検出状況〉ＢⅢn14～n15グリッド。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉暗褐色土・黒褐色土・褐色土で構成される。人為堆積。

〈規模・形態〉開口部径235×165cm、底部径215×140cm・隅丸長方形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ60cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第123・141・185・219・232・263・268図、写真図版64・101・102・127・136・157・161）

〈出土状況〉３層以下～底面にかけて、中央付近に大形の礫・炭化材（クリ）・赤色顔料・縄文土器片が敷かれたように出土している（第92図）。

〈土器〉立体（187～191）・破片（671～684）。

〈石器〉石鏃（1470・1471）、石篦（1644）、石錐（1899）、敲磨器Aa類（1946）。

時期　出土遺物から縄文時代前期末葉以降と思われる。

4．陥し穴状遺構（第74図、写真図版42）

2基を検出した。離れた地点での単独での検出であり、配列等は不明である。形状から判断したもので、他遺構との重複もあり、詳細は不明である。

ＲＤ28陥し穴状遺構

遺構（第74図、写真図版42）

〈位置・検出状況〉ＢⅢw25～ＢⅣｗ1グリッド。RA09住居跡の精査中に検出された。

〈重複〉RA09住居跡と重複する。新旧関係は不明である。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径235×35cm、底部径220×17cm・溝状。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ45cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉Ⅲ層を掘り込んでいる。東側がやや高まる。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物（第190図、写真図版105）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（773）。

時期　出土遺物から縄文時代前期以降と思われる。

ＲＤ53陥し穴状遺構

遺構（第74図、写真図版42）

〈位置・検出状況〉ＢⅣv11グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA23住居跡と重複する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径120×28cm、底部径110×13cm・溝形。

〈断面形・深さ〉Ｖ字状・深さ50cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉Ⅳ層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

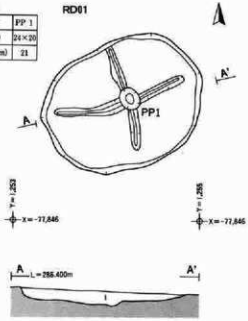
遺物（第-図、写真図版-）

出土していない。

時期　出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

RD01

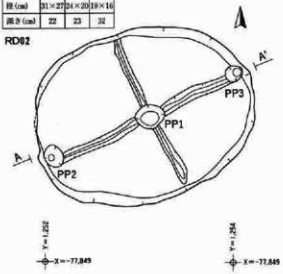
№	PP 1
径(cm)	24×20
深さ(cm)	21

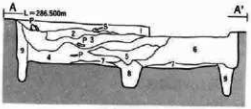


RD01 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR3/2　黒褐色　締まり悪、炭化物1%・褐色土ブロック15%混入。

RD02

№	PP 1	PP 2	PP 3
径(cm)	31×27	24×20	19×16
深さ(cm)	22	23	32

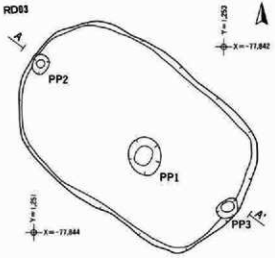




RD02 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR2/3　黒褐色　締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
2　10YR3/2　黒褐色　締まり中、褐色土ブロック30%・炭化物1%混入。
3　10YR2/2　黒褐色　締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
4　10YR3/4　暗褐色　締まり中、褐色土ブロック10%・炭化物1%混入。
5　10YR2/2　黒褐色　締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
6　10YR3/2　黒褐色　締まり中。
7　10YR2/3　黒褐色　締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
8　10YR2/3　黒褐色　締まり中、褐色土ブロック3%・炭化物1%混入。
9　10YR2/3　黒褐色~10YR3/3　暗褐色　締まり中、褐色土ブロック1%混入。

RD03

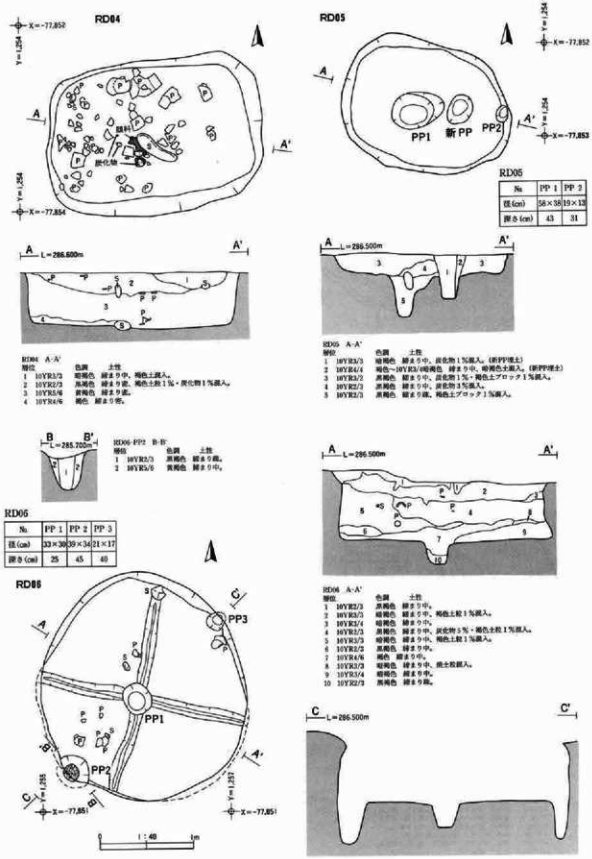
№	PP 1	PP 2	PP 3
径(cm)	41×34	21×17	24×16
深さ(cm)	22	17	21



RD03 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR3/2　黒褐色　締まり悪、褐色土ブロック3%・炭化物1%混入。

0　1:40　1m

第60図　ＲＤ01・02・03土坑



RD05

No	PP 1	PP 2
径(cm)	58×38	19×12
深さ(cm)	43	31

RD04 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	締まり中。褐色土混入。
2	10YR2/3 黒褐色	締まり弱。褐色土粒1%・炭化物1%混入。
3	10YR5/6 黄褐色	締まり強。
4	10YR4/6 褐色	締まり低。

RD05 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	締まり中。炭化物1%混入。(新PP埋土)
2	10YR4/4 褐色~10YR3/4暗褐色	締まり中。暗褐色土混入。(新PP埋土)
3	10YR3/2 黒褐色	締まり中。炭化物1%・褐色土ブロック1%混入。
4	10YR2/2 黒褐色	締まり中。炭化物1%混入。
5	10YR2/3 黒褐色	締まり強。褐色土ブロック1%混入。

RD06-PP2 B-B'

層位	色調	土性
1	10YR3/3 黒褐色	締まり弱。
2	10YR5/6 黄褐色	締まり中。

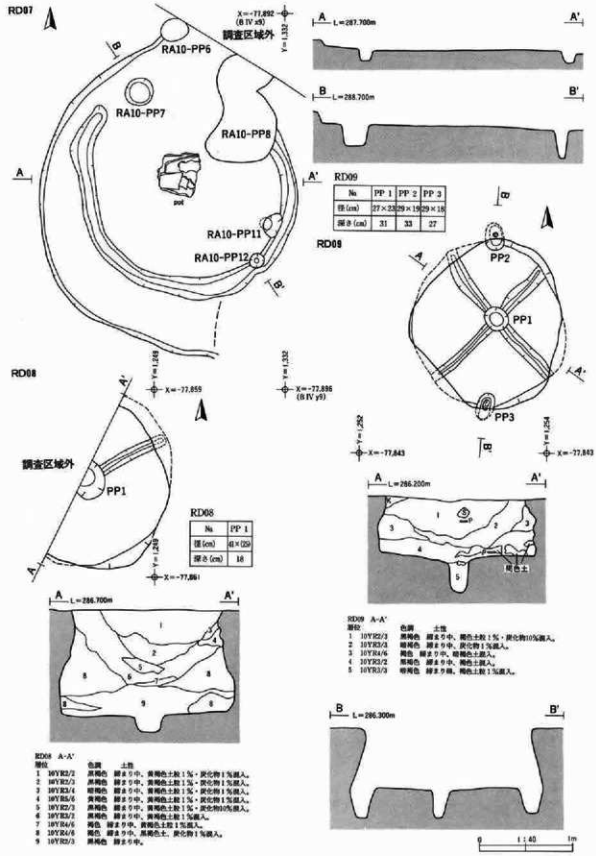
RD06

No	PP 1	PP 2	PP 3
径(cm)	33×30	39×34	21×17
深さ(cm)	25	45	40

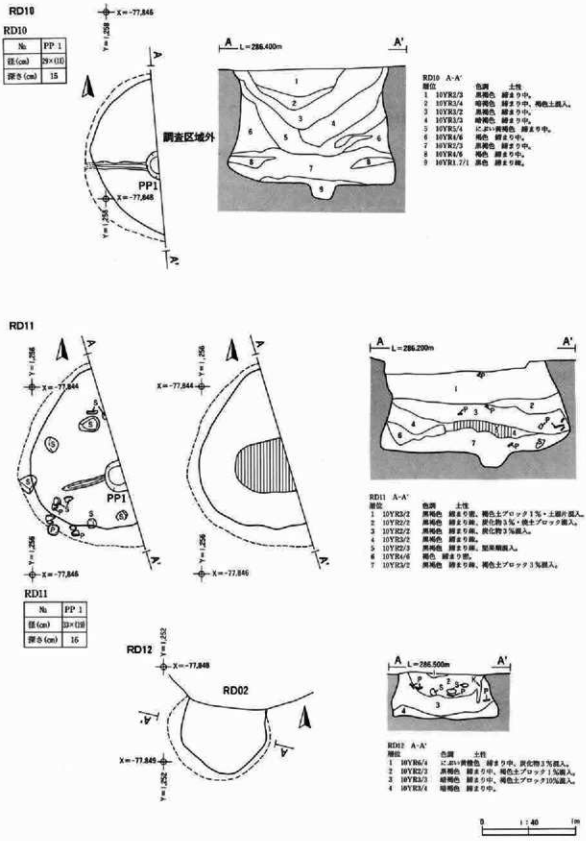
RD06 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり中。
2	10YR3/3 暗褐色	締まり中。褐色土粒1%混入。
3	10YR3/4 暗褐色	締まり中。
4	10YR2/3 黒褐色	締まり中。炭化物1%・褐色土粒1%混入。
5	10YR3/3 暗褐色	締まり中。褐色土粒1%混入。
6	10YR2/2 黒褐色	締まり中。
7	10YR4/6 褐色	締まり中。
8	10YR3/3 暗褐色	締まり中。炭土粒混入。
9	10YR3/4 暗褐色	締まり中。
10	10YR2/3 黒褐色	締まり強。

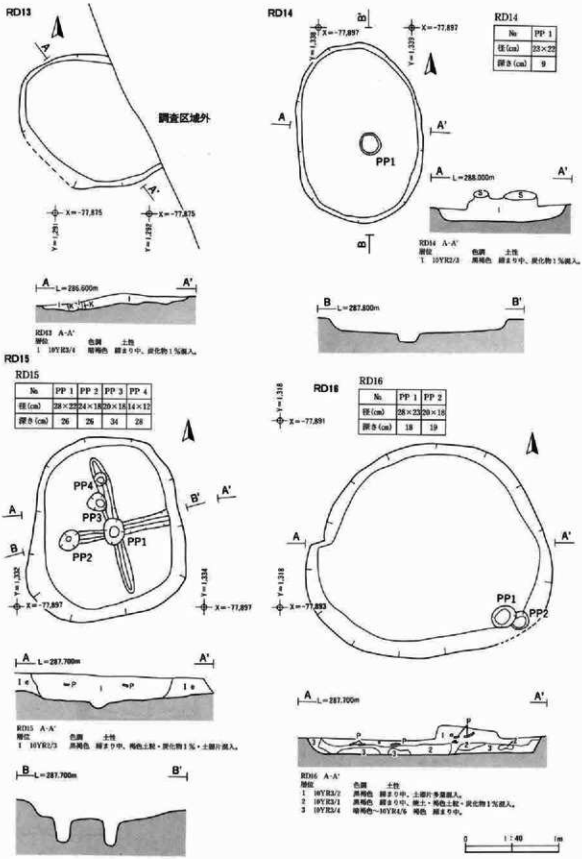
第61図　RD04・05・06土坑



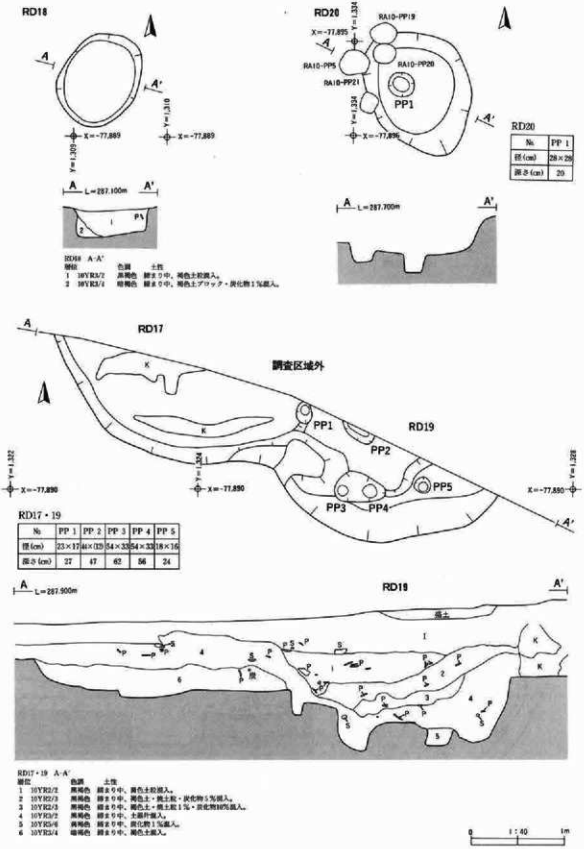
第62図 RD07・08・09土坑



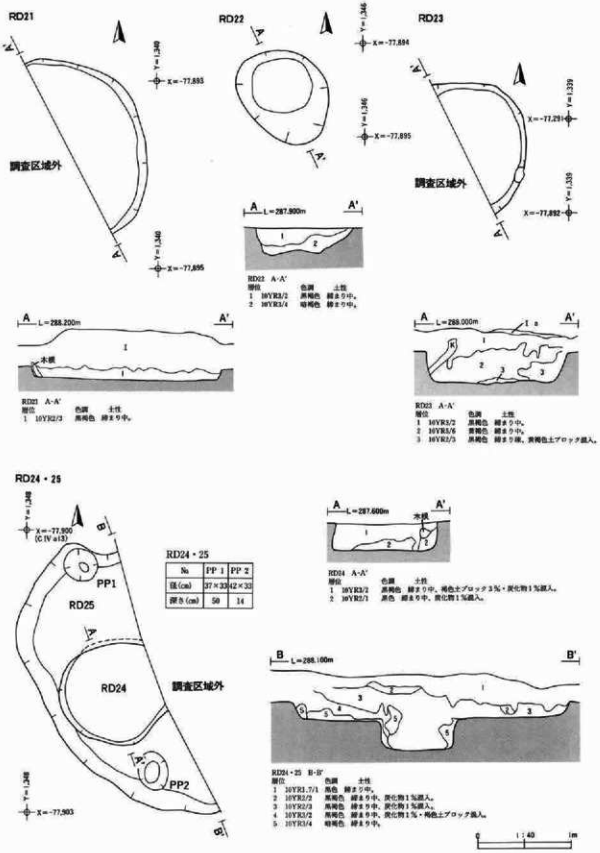
第63図 RD10・11・12土坑



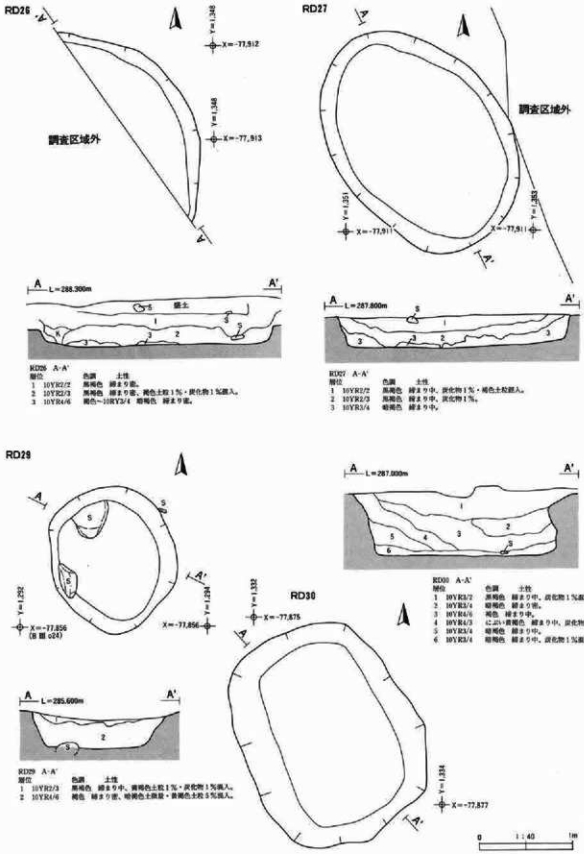
第64図 RD13・14・15・16土坑



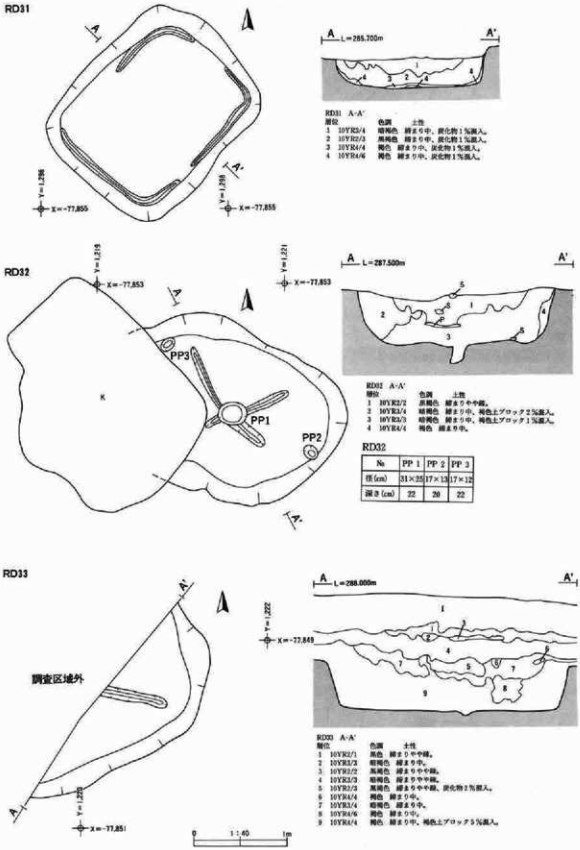
第65図 RD17・18・19・20土坑



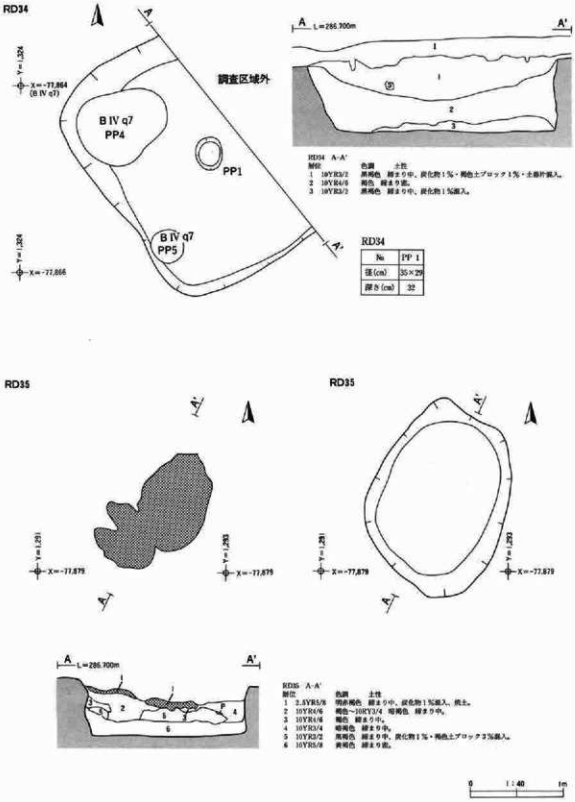
第66図　RD21・22・23・24・25土坑



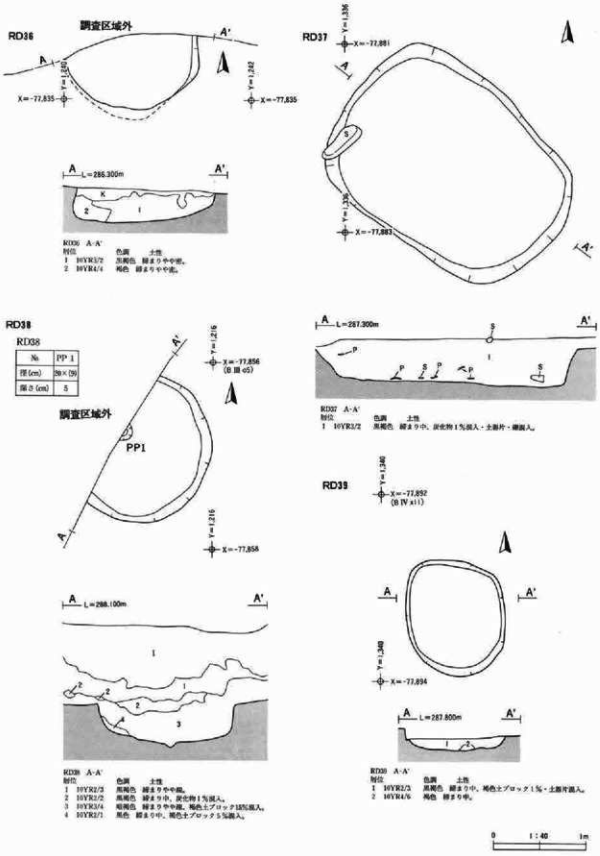
第67図 RD26・27・29・30土坑



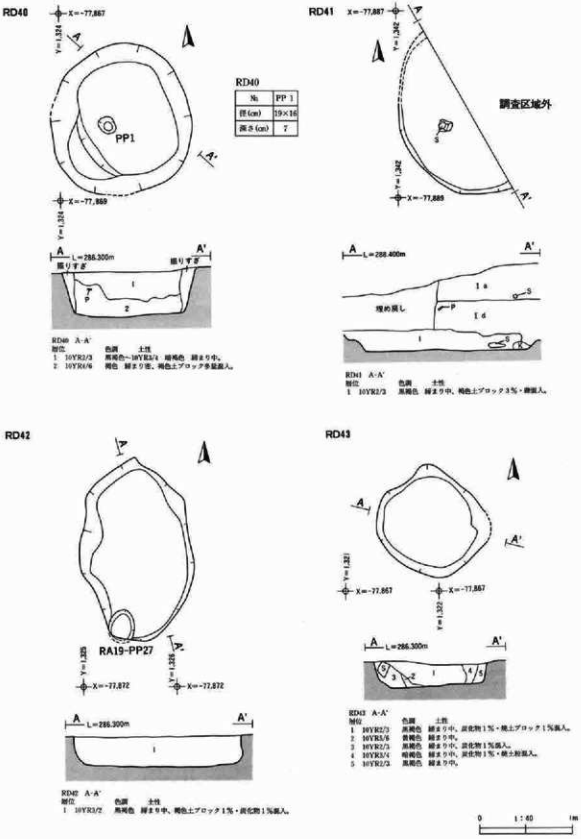
第68図 RD31・32・33土坑



第69図 RD34・35土坑



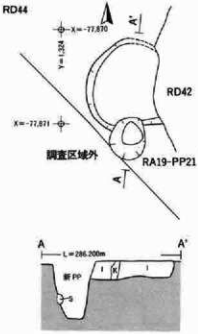
第70図 RD36・37・38・39土坑



RD40

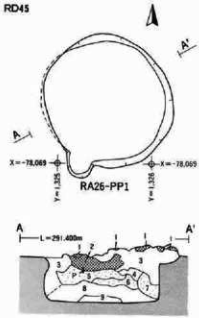
№	PP 1
径(cm)	19×16
深さ(cm)	7

第71図　RD40・41・42・43土坑



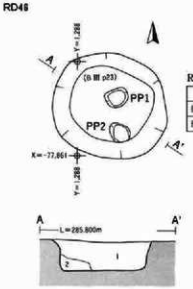
RD44 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	締まり中。炭化物1%・褐色土ブロック1%混入。
2	10YR3/4 暗褐色	締まり中。



RD45 A-A'

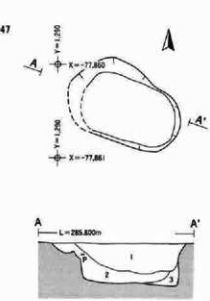
層位	色調	土性
1	5YR4/8 赤褐色	締まりやや密。焼土。
2	5YR4/6 赤褐色	締まりやや密。焼土。
3	10YR3/2 黒褐色	締まりやや高。
4	10YR3/4 褐色	締まり密。
5	5YR5/8 明赤褐色	締まりやや密。焼土ブロック10%混入。
6	10YR3/4 暗褐色	締まりやや密。炭化物1%・焼土3%混入。
7	7.5YR4/6 褐色	締まりやや中密。焼土少量混入。
8	10YR4/6 褐色	締まりやや中密。
9	10YR2/3 黒褐色	締まりやや密。褐色土5%混入。



No.	PP 1	PP 2
径(cm)	25×20	24×20
深さ(cm)	10	15

RD46 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/4 暗褐色	締まり中。
2	10YR4/6 褐色	締まりやや中密。褐色土ブロック・炭化物混入。

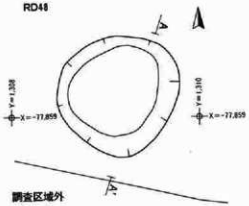


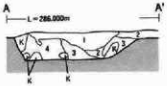
RD47 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	締まり中。
2	10YR4/6 褐色	締まり中。
3	10YR4/6 褐色～10BY3/4 暗褐色	締まり中。

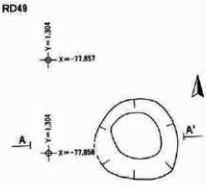
0 1:40 1m

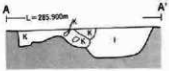
第72図 RD44・45・46・47土坑



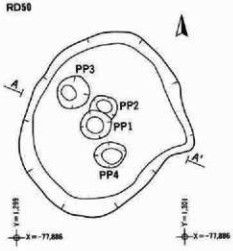


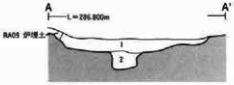
RD48 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR3/4 暗褐色 締まり悪。炭化物1%・焼土ブロック混入。
2 10YR4/6 褐色 締まり中。
3 10YR4/3 にぶい黄褐色 締まり悪。
4 10YR5/6 黄褐色 締まり悪。





RD49 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR3/4 暗褐色 締まり中。炭化物1%・土器片・焼土ブロック混入。





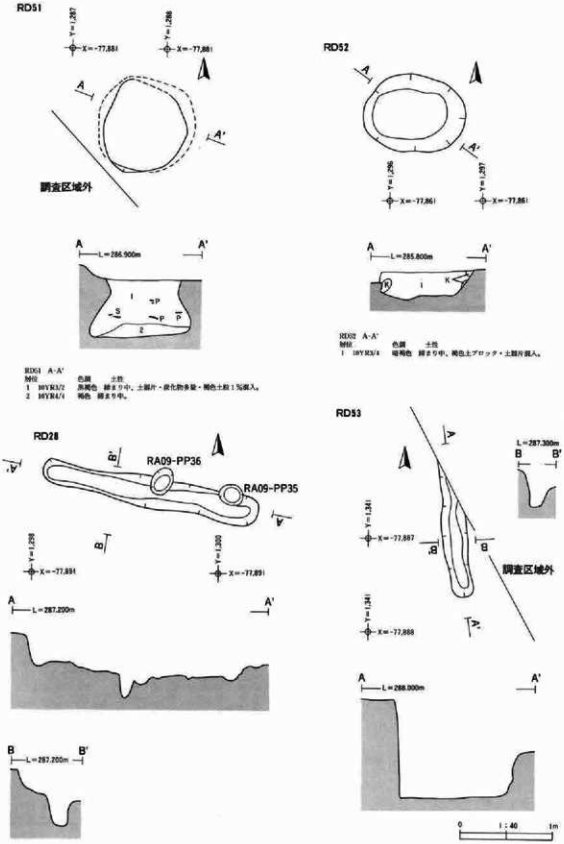
RD50 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR2/3 黒褐色 締まり中。焼土ブロック1%・炭化物1%混入。
2 10YR2/3 黒褐色 締まり中。焼土ブロック3%混入。

RD50

№	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径(cm)	22×31	29×29	27×33	25×27
深さ(cm)	20	17	5	30

0 1:40 1m

第73図 RD48・49・50土坑



第74図　RD51・52土坑、RD28・53陥し穴

5．焼土遺構（第75・76図、写真図版43・44）

焼土遺構は5基検出された。住居跡に帰属する炉跡と認定できなかった焼土遺構である。検出状況から二つに大別される。ひとつは、住居の炉跡の可能性があるもので、RF01・05焼土遺構である。もうひとつは帰属する施設がなく、単独の遺構と考えられるRF02・03・05焼土遺構で、色調は前者よりにぶく、位置も集落の中心から外れた位置にある。時期は、出土遺物が少なく、不明な部分もあるが、いずれも縄文時代前期後葉から末葉と思われる。

ＲＦ01焼土遺構

遺構（第75図、写真図版43）

〈位置・検出状況〉ＢⅢU23グリッド。Ⅰｄ層で赤褐色の広がりとして検出された。周囲の黒色土には、焼土ブロックの混入が多く、輪郭はあまり鮮明ではない。

〈重複〉RA05・06住居跡の上位で検出されている。RA05・06住居跡より新しい。

〈平面形・規模〉不整形・径139cm×90cm。

〈断面形・厚さ〉不整形である。赤褐色の焼土の厚さは、最大20cm。

〈帰属施設〉確認できなかった。

遺物（第193図、写真図版107）

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片（853～855）。

時期　出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

ＲＦ02焼土遺構

遺構（第75図、写真図版43）

〈位置・検出状況〉ＤⅣｉ5～ＤⅣｉ6グリッド。Ⅰｃ層で赤褐色土の広がりとして検出された。東西方向が調査区域外にかかり、部分調査となった。

〈重複〉なし。

〈平面形・規模〉不整な形状で、詳細は不明。(260)×(200)cm。

〈断面形・厚さ〉不整で広範囲に広がる。赤褐色の焼土の厚さは最大15cm。

〈帰属施設〉確認できなかった。

遺物（第-図、写真図版-）

土器・石器は出土していないが、炭化材（ナラ）が出土している。

時期　出土遺物は無く、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

ＲＦ03焼土遺構

遺構（第75図、写真図版43）

〈位置・検出状況〉ＣⅣd14グリッド。東側は調査区域外にかかる。Ⅱ層で明赤褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈平面形・規模〉不整な円形基調と推定される。(160)×60cm。

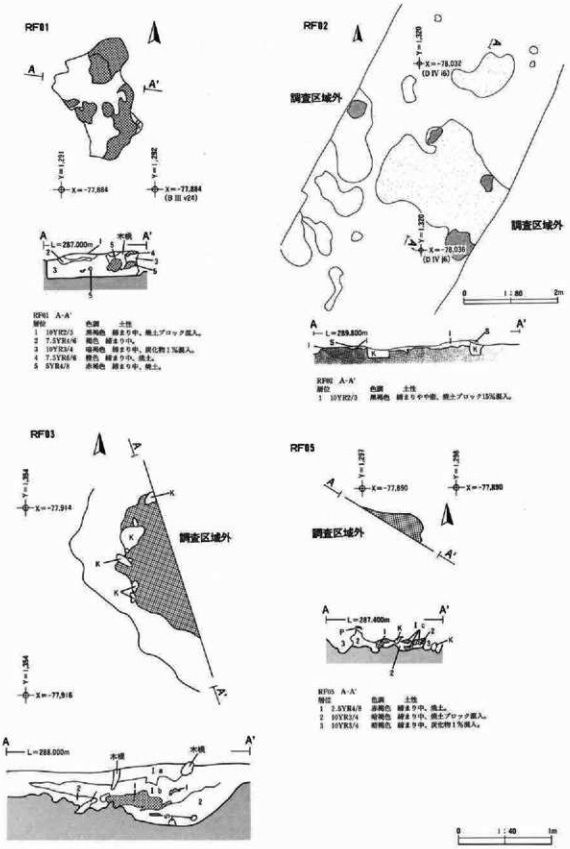
〈断面形・厚さ〉まとまりはあるが、不整な形状。明赤褐色の焼土で、厚さは最大20cm。
〈帰属施設〉確認できなかった。
遺物（第-図、写真図版-）
遺物は出土していない。
時期　出土遺物は無く、時期の詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

ＲＦ04焼土遺構

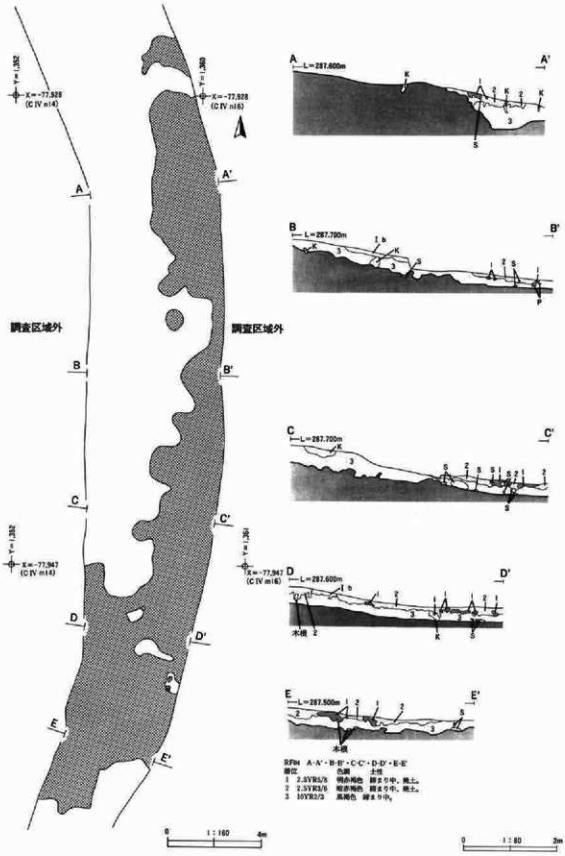
遺構（第76図、写真図版44）
〈位置・検出状況〉ＣⅣh15～n14グリッド。東側・西側とも調査区域外にかかる。Ｉｃ層で、明赤褐色の広がりとして検出された。検出した位置は、西側から東側にかけての緩斜面である。
〈重複〉なし。
〈平面形・規模〉溝状と推定される。30×(4.6)m。
〈断面形・厚さ〉不整な形状で、暗赤褐色土中に赤褐色の焼土が入る。厚さは最大20cm。
〈帰属施設〉確認できなかった。
遺物（第193・220・221・233・240～242・244・267・283図、写真図版107・128・136・141・142・143・160・171）
〈出土状況〉接合剥片、石箆など石器が焼土中から出土している。なお接合剥片は精査時にはまとまった出土状況を確認してはいない。
〈土器〉破片（856～858）。
〈石器〉石鏃（1501）・石錐（1523）・石箆（1648～1651）、接合剥片（1698～1708）、磨製石斧（1722）、石錘（1934・1935）、敲磨器Ac類（2043）。
時期　出土遺物から縄文時代前期末葉以降と思われる。

ＲＦ05焼土遺構

遺構（第75図、写真図版43）
〈位置・検出状況〉ＢⅢw25グリッド。南側は調査区域外にかかる。Ⅲ層で赤褐色の広がりとして検出された。
〈重複〉北側にRA07住居跡が位置する。新旧関係は、RA07住居跡より旧いと思われる。
〈平面形・規模〉円形基調？。(70)×20cm。
〈断面形・厚さ〉まとまりはあるが、不整な形状。赤褐色の焼土で、厚さは最大6cm。
〈帰属施設〉確認できなかったが、住居跡の炉の可能性がある。
遺物（第-図、写真図版-）
遺物は出土していない。
時期　出土遺物は無く、時期の詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。



第75図 RF01・02・03・05焼土遺構



第76図 RF04焼土遺構

6．集石遺構（第77図、写真図版44）

1基検出された。下位に土坑や埋設土器は確認されていない。集石除去後に下位から旧石器が出土している。

ＲＨ01集石遺構

遺構（第77図、写真図版44）

〈位置・検出状況〉ＢⅣy12グリッド。Ⅱ層でまとまった礫群を検出した。

〈重複〉縄文の遺構の重複はなし。礫群の下位から旧石器が出土している。

〈規模・形態〉径80×100cmの範囲に、径40cmの円礫を中心に、径５cm～20cmの亜円礫・亜角礫などで構成される集石である。

〈埋土〉掘り方は明瞭に確認されない。礫の下位には黒褐色土が混入する。

〈付属施設〉下位に土坑や埋設土器などは検出されなかった。

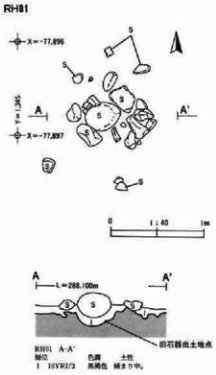
遺物（第298図、写真図版184）

〈出土状況〉集石を構成する礫に、断面三角形の磨石や礫石錘が含まれる。集石の除去後、下位から旧石器の遺物が出土している。

〈土器〉なし。

〈石器〉敲磨器Ｂ類（2139）。

時期　検出状況および出土遺物から、出土遺物から縄文時代前期末葉以降と思われる。



第77図　RH01集石遺構

7．土器埋設遺構（第78～80図、写真図版45～47）

16基検出された。分布にとくに偏りはみられないが、竪穴住居跡など他の遺構と重複するものが多く、新旧関係は土器埋設遺構が新しい傾向がある。埋設の方法は正立あるいは斜位で、倒立したり、埋設土器に破壊行為が認められたものはない。また埋設土器内から骨・副装品の類は出土していない。

ＲＺ01土器埋設遺構

遺構（第78図、写真図版45）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｘ８～ｙ８グリッド。Ｉｄ層で黒褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉RA10住居跡より検出面が上位であることから、RZ01土器埋設遺構が新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径50×40cm、深さ37cm。黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉暗褐色土がつまっていた。炭化物が微量混入する。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第146図、写真図版68）

〈土器〉立体（219）。

時期　縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＺ02土器埋設遺構

遺構（第78図、写真図版45）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｘ８グリッド。Ｉｄ層で黒褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径50×40cm、深さ13cm。黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉胴部片の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉深鉢の胴部。

〈土器内部の様子〉黒褐色土がつまっており、径10cmの礫が入っていた。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第193図、写真図版107）

〈土器〉破片（859）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＺ03土器埋設遺構

遺構（第78図、写真図版45）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｘ８～ｙ８グリッド。Ｉｄ層で暗褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉RA10住居跡より検出面が上位であることから、RZ03土器埋設遺構が新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径35cm、深さ25cm・不整形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉黒褐色土がつまっていた。炭化物が微量混入する。
〈帰属施設〉なし。
遺物（第193図、写真図版107）
〈土器〉破片（860・861）。
時期　縄文時代前期後葉～前期末葉と思われる。

ＲＺ04土器埋設遺構

遺構（第78図、写真図版45）
〈位置・検出状況〉ＢⅢu25グリッド。Ｉｄ層で黒褐色の広がりとして検出された。
〈重複〉RA04住居跡より検出面が上位であることから、RZ04土器埋設遺構が新しい。
〈掘り方の規模・形状・埋土〉径35×30cm、深さ９cm・円形・黒褐色土。
〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器が正立で埋設されていた。
〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。
〈土器内部の様子〉黒褐色土。
〈帰属施設〉なし。
遺物（第193図、写真図版107）
〈土器〉破片（862）。
時期　縄文時代前期と思われる。

ＲＺ05土器埋設遺構

遺構（第78図、写真図版45）
〈位置・検出状況〉ＢⅣｗ２グリッド。RA07住居跡の検出時に黒褐色の広がりとして検出された。
〈重複〉RA07住居跡の覆土を掘り込んで埋設されている。RA07住居跡より新しい。
〈掘り方の規模・形状・埋土〉径55cm、深さ38cm。円形基調・黒褐色土。
〈埋設土器の出土状況〉深鉢形の土器が正立で埋設されていた。
〈埋設土器〉完形の深鉢形土器。
〈土器内部の様子〉黒褐色土。
〈帰属施設〉なし。
遺物（第147・193・283図、写真図版69・107・171）
〈土器〉立体（222）、破片（863～865）。
〈石器〉敲磨器Ａc類（2044）。
時期　縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＺ06土器埋設遺構

遺構（第79図、写真図版46）
〈位置・検出状況〉ＢⅣw25グリッド。Ⅲａ層で黒褐色の広がりとして検出された。東側は試掘溝により掘り下げている。
〈重複〉RA09住居跡と重複する。RZ06土器埋設遺構が新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径（50）×33cm、深さ15cm・楕円形？・黒褐色土。
〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の深鉢形土器が斜位で埋設されていた。
〈埋設土器〉胴部下半の深鉢形土器。
〈土器内部の様子〉黒褐色土。
〈帰属施設〉なし。
遺物（第147図、写真図版69）
〈土器〉立体（223）。
時期　縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＺ07土器埋設遺構
遺構（第79図、写真図版46）
〈位置・検出状況〉ＢⅣw10グリッド。Ｉｄ層で黒褐色の広がりとして検出された。
〈重複〉なし。
〈掘り方の規模・形状・埋土〉径50×42cm、深さ20cm・不整な円形・黒褐色土。
〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。
〈埋設土器〉胴部下半の深鉢形土器。
〈土器内部の様子〉黒褐色土がつまっていた。
〈帰属施設〉なし。
遺物（第146・193図、写真図版68・107）
〈土器〉立体（221）、破片（866）。
時期　縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＺ08土器埋設遺構
遺構（第79図、写真図版46）
〈位置・検出状況〉ＢⅢo23グリッド。Ｉｂ層で暗褐色の広がりとして検出された。
〈重複〉東側にRZ09土器埋設遺構が隣接し、並列して埋設されていた。RA15住居跡内に位置するが、RZ08土器埋設遺構のほうが新しい。
〈掘り方の規模・形状・埋土〉径25cm、深さ25cm・円形・暗褐色土。
〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器が正立で埋設されていた。
〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。
〈土器内部の様子〉黒褐色土。
〈帰属施設〉なし。
遺物（第146図、写真図版68）
〈土器〉立体（220）。
時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＺ09土器埋設遺構
遺構（第79図、写真図版46）

〈位置・検出状況〉B Ⅲ o23グリッド。Ⅰb層で暗褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉西側にRZ08土器埋設遺構が位置し、並列して埋設されていた。RA15住居跡内に位置するが、RZ09土器埋設遺構のほうが新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径30cm、深さ16cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉黒褐色土と褐色土。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第147・193図、写真図版69・107）

〈土器〉立体（224）、破片（867）。

時期　縄文時代前期後葉以降と思われる。

ＲＺ10土器埋設遺構

遺構（第79図、写真図版46）

〈位置・検出状況〉B Ⅳ n01グリッド。Ⅲ層で暗褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径32cm、深さ8cm。暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉おもに暗褐色土で、黒色土が少し混じる。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第147・193図、写真図版69・107）

〈土器〉立体（225）、破片（868・869）。

時期　縄文時代前期末葉と思われる。

ＲＺ11土器埋設遺構

遺構（第79図、写真図版46）

〈位置・検出状況〉B Ⅳ v 9グリッド。RA13住居跡の精査中に検出された。

〈重複〉RZ11土器埋設遺構が、RA13住居跡より新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径43×28cm、深さ13cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉黒褐色土。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第193図、写真図版107）

〈土器〉破片（870）。

時期　縄文時代前期と思われる。

ＲＺ12土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版46）

〈位置・検出状況〉ＢⅣv11グリッド。Ⅰｄ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径55cm、深さ35cm・円形基調・黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉黒褐色土。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉立体（226）。

時期　縄文時代前期末葉以降と思われる。

ＲＺ13土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版47）

〈位置・検出状況〉ＢⅣｗ３グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA07住居跡の東壁付近と重複するが、RZ13土器埋設遺構が旧い可能性がある。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径25×23cm、深さ８cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉底部片の土器が正位で埋設されていた。

〈埋設土器〉底部片の土器。

〈土器内部の様子〉黒褐色土。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉立体（227）。

時期　縄文時代前期と思われる。

ＲＺ14土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版47）

〈位置・検出状況〉ＢⅣo2グリッド。Ⅲａ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径50×40cm、深さ30cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉土器が横位で押し潰された状態であった。廃棄された可能性もある。

〈埋設土器〉胴部の土器。

〈土器内部の様子〉不明。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉立体（228）。

時期　縄文時代前期末葉以降と思われる。

ＲＺ15土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版47）

〈位置・検出状況〉ＢⅣs8グリッド。Ⅲａ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径25×(18)cm、深さ10cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉土器の底部付近が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉底部片の土器。

〈土器内部の様子〉暗褐色土。

〈帰属施設〉なし。

遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉立体（229）。

時期　縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

ＲＺ16土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版47）

〈位置・検出状況〉ＢⅣw8グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉径21×20cm、深さ13cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉土器の底部片が正位で埋設されていた。

〈埋設土器〉底部片。

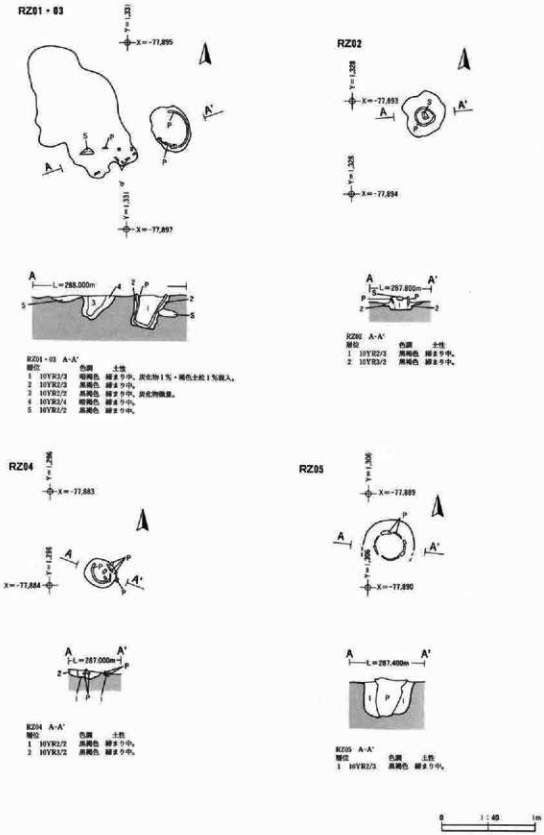
〈土器内部の様子〉暗褐色土。

〈帰属施設〉なし。

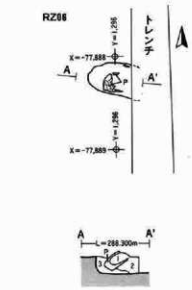
遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉立体（230）。

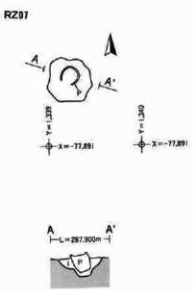
時期　縄文時代前期と思われる。



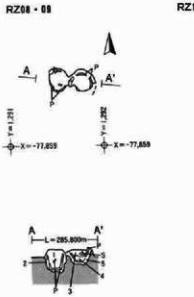
第78図 RZ01・02・03・04・05土器埋設遺構



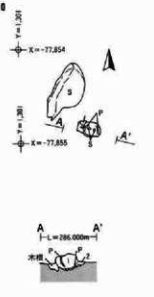
RZ06 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR2/3　黒褐色　締まり中。炭化物1%混入。
2　10YR3/3　黒褐色　締まり中。炭化物1%混入。
3　10YR4/4　褐色　締まり中。



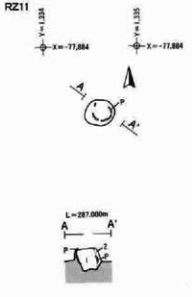
RZ07 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR2/3　黒褐色～10BY2/2　黒褐色　締まり中。炭化物1%・褐色土粒1%混入。



RZ08・09 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR2/3　黒褐色　締まり中。炭化物1%混入。
2　10YR3/4　暗褐色　締まり中。炭化物1%混入。
3　10YR2/3　黒褐色　締まり中。
4　10YR3/4　褐色　締まり中。黒褐色土ブロック10%混入。
5　10YR3/4　暗褐色　締まり中。



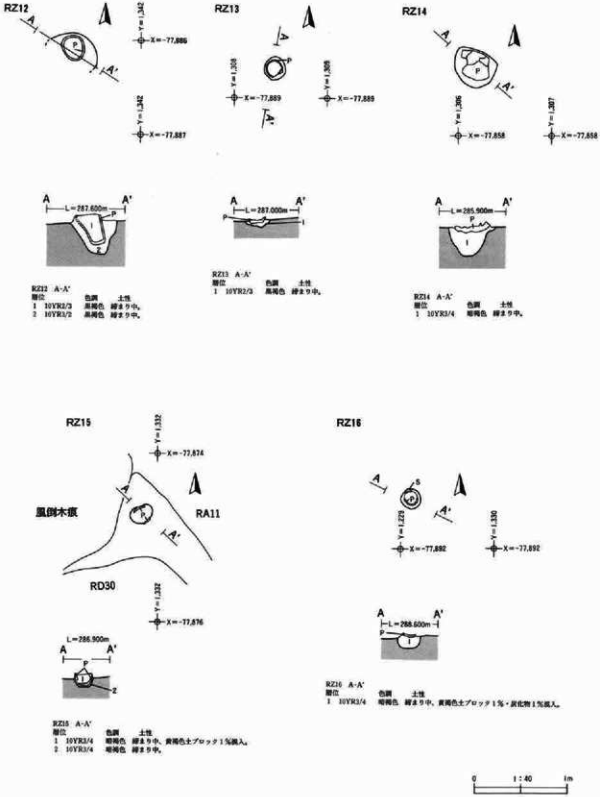
RZ10 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR3/4　暗褐色　締まり中。黒色土少量混入。
2　10YR3/4　暗褐色　締まり中。



RZ11 A-A'
層位　色調　土性
1　10YR2/3　黒褐色　締まり中。黒褐色土ブロック1%混入。
2　10YR3/4　暗褐色　締まり中。

0　1:40　1m

第79図　RZ06・07・08・09・10・11土器埋設遺構



第80図 RZ12・13・14・15・16土器埋設遺構

8．柱穴群（第81・82図、写真図版－）

柱穴群が3箇所（B Ⅲ l13付近、B Ⅲ q22付近、B Ⅳ q 6 付近）で併せて51基が検出されている。いずれも複数の柱穴がまとまって検出されたが、建物跡として確認できなかったので柱穴群として報告する。推定される建物跡については可能性を指摘するに留めた。

B Ⅲ l13柱穴群

遺構（第81図、写真図版－）

〈位置・検出状況〉B Ⅲ l13～B Ⅲ o15グリッド。Ⅲ～Ⅳ層で検出された。

〈重複〉重複する遺構はない。

〈規模・形態〉概ね円形基調、径55～16cm、深さ45～7cmである。

〈埋土〉黒褐色土の単層である。掘り方と柱痕跡を確認できた柱穴はない。

遺物（第193図、写真図版107）

〈出土状況〉B Ⅲ m14-PP 2（土器：871）、B Ⅲ n15-PP 1（土器：872）から出土している。

時期　検出状況および出土遺物から縄文時代前期後葉以降の遺構と推定される。

B Ⅲ q22柱穴群

遺構（第82図、写真図版－）

〈位置・検出状況〉B Ⅲ q22～B Ⅲ r23グリッド。Ⅲ層で検出された。

〈重複〉重複する遺構はないが、これら柱穴群の中央付近に風倒木痕がある。

〈規模・形態〉概ね円形基調、径75～33cm、深さ29～70cmである。B Ⅲ r22-PP 1・PP 2・B Ⅲ r23-PP 5・B Ⅲ q23-PP 2で、4本柱の建物跡を構成する可能性がある。

〈埋土〉黒褐色土の単層である。掘り方と柱痕跡を確認できた柱穴はない。

遺物（第229・267図、写真図版134・160）

〈出土状況〉B Ⅲ r23-PP 6（1619：石匙）、B Ⅲ q23-PP 1（1937：石錘）から出土している。

時期　検出状況および出土遺物から縄文時代前期の遺構と推定される。

B Ⅳ q 6 柱穴群

遺構（第82図、写真図版－）

〈位置・検出状況〉B Ⅳ q 6 ～r 7 グリッド。Ⅲ層で検出された。

〈重複〉B Ⅳ q7-PP 4、PP 5 と RD34が重複する。B Ⅳ q7-PP 4、PP 5 が新しい。

〈規模・形態〉概ね円形基調、径96～36cm、深さ 8 ～69cmである。B Ⅳ q7-PP 1・PP 2・B Ⅳ q6-PP 1・B Ⅳ r6-PP 1で、4本柱の建物跡を構成する可能性がある。

〈埋土〉黒褐色土の単層である。B Ⅳ q7-PP 2の埋土は掘り方と柱当たりの痕跡を遺す。他に底面に柱当たりの痕跡をのこす柱穴もある。

遺物（第193・267図、写真図版107・160）

〈出土状況〉B Ⅳ q22-PP 2（873：土器）、B Ⅳ r23-PP 4（874：土器）、B Ⅳ q 7 -PP 2（1938：石錘）、B Ⅳ n 1 -PP 1（1939：石錘）から出土している。

時期　検出状況および出土遺物から縄文時代前期末葉以降の遺構と推定される。

BIIIj12

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径(cm)	30×30	40×32	23×20	22×22	18×16
深さ(cm)	20	10	14	10	7

BIVk13

No.	PP 1	PP 2
径(cm)	28×20	45×30
深さ(cm)	11	31

BIIIℓ13

No.	PP 1
径(cm)	27×25
深さ(cm)	15

BIIIℓ14

No.	PP 1	PP 2
径(cm)	38×30	35×30
深さ(cm)	16	22

BIIIm13

No.	PP 1	PP 2
径(cm)	40×35	30×20
深さ(cm)	32	33

BIIIm14

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径(cm)	35×30	35×50	30×28	75×70
深さ(cm)	30	43	10	13

BIIIm15

No.	PP 1	PP 2
径(cm)	25×23	38×35
深さ(cm)	16	19

BIIIn13

No.	PP 1	PP 2
径(cm)	45×40	42×35
深さ(cm)	45	41

BIIIn14

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径(cm)	45×23	52×45	28×25	25×25
深さ(cm)	25	38	6	18

BIIIn15

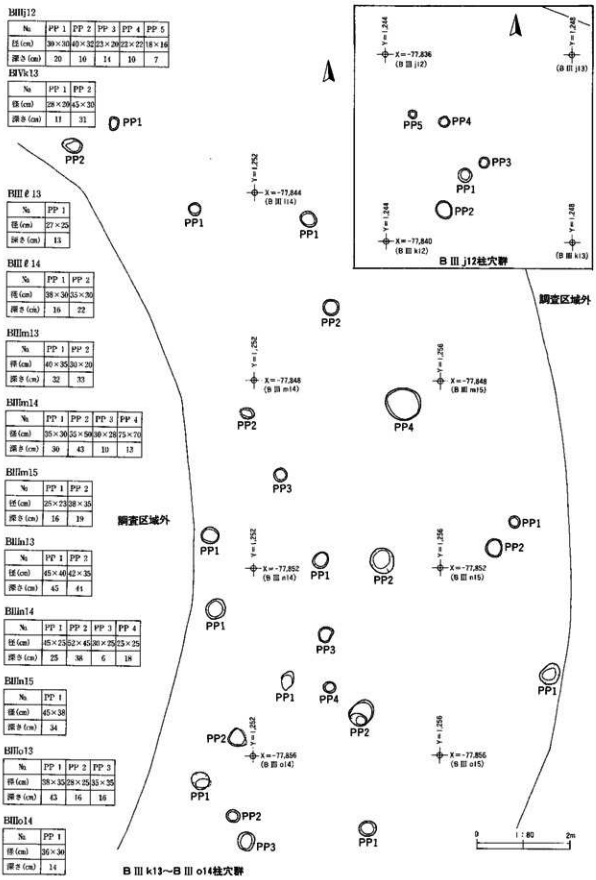
No.	PP 1
径(cm)	45×38
深さ(cm)	34

BIIIo13

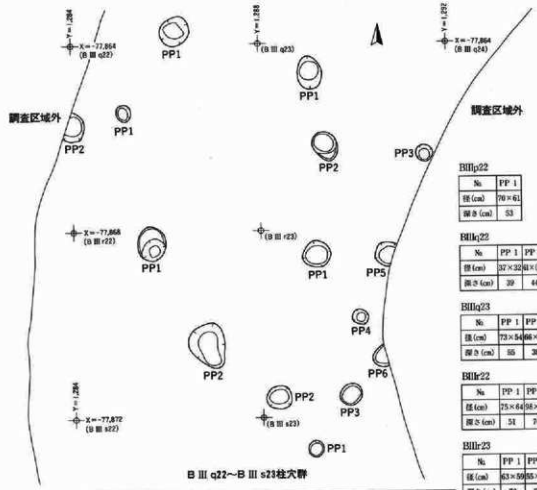
No.	PP 1	PP 2	PP 3
径(cm)	38×35	28×25	35×35
深さ(cm)	43	16	16

BIIIo14

No.	PP 1
径(cm)	36×30
深さ(cm)	14



第81図　柱穴群(1)



BIIIp22	
No.	PP 1
径(cm)	70×61
深さ(cm)	53

BIIIq22		
No.	PP 1	PP 2
径(cm)	37×32	41×(29)
深さ(cm)	39	44

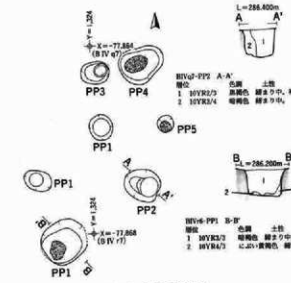
BIIIq23			
No.	PP 1	PP 2	PP 3
径(cm)	73×54	66×51	38×37
深さ(cm)	55	38	29

BIIIr22		
No.	PP 1	PP 2
径(cm)	75×64	98×72
深さ(cm)	51	76

BIIIr23			
No.	PP 1	PP 2	PP 3
径(cm)	63×59	55×50	50×45
深さ(cm)	70	67	60

BIIIr23			
No.	PP 4	PP 5	PP 6
径(cm)	36×35	32×(36)	46×(32)
深さ(cm)	68	46	30

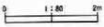
BIIIs23	
No.	PP 1
径(cm)	36×33
深さ(cm)	60



BIVq7					
No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径(cm)	55×53	80×70	62×49	96×78	36×35
深さ(cm)	69	60	71	18	8

BIVq6	
No.	PP 1
径(cm)	62×45
深さ(cm)	86

BIVr6	
No.	PP 1
径(cm)	88×30
深さ(cm)	57



第82図　柱穴群(2)

9．遺物包含層（第85～90図、写真図版48）

遺物包含層の範囲は、範囲確認調査の成果によれば、東西150m、南北150m で面積約16,000m²に及ぶ。今回の調査で出土した遺物（縄文土器・石器）の出土量をグリッド別に集計した結果、削平された北西側を除けば、調査区北側に遺物が集中し、遺物集中区は縄文時代の遺構の分布域とほぼ重なるようである。遺跡全体における出土遺物量の多寡が明瞭で、遺物包含層の範囲（集落の範囲）も把握される。

遺物包含層と認識されたのは基本層序Ｉｄ層である。色調は黒褐色で、炭化物・焼土粒を含むため、周囲の土層（Ｉｃ･ｄ層）より明るい感じを受ける。Ｉｄ層の層厚は地点により若干異なるが、平均して30～40cmある。今回の調査ではＩｄ層を10cm単位で掘り下げて遺物の採取を行った。遺物の出土状況について記録を図化したのは、ＢⅣｗ１・ｗ２・ｗ３グリッド・ＢⅣｘ６・ｘ７・ｘ８グリッドの６グリッドである。

ＢⅣｗ１グリッド（第85図）

西側に RA09住居跡、東側に RA07住居跡が位置し、このふたつの住居跡の間に当たる。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序はＩａ・Ｉｂ・Ｉｃ・Ｉｄ・Ⅱ・Ⅲ層で、Ｉｄ層の層厚は30cmである。遺物は、Ｉｂ・Ｉｃ層からの出土量は少なく、Ｉｄ層から遺物が多く出土している。出土遺物は、土器34.965kg、石器4.212kgが出土している。時期は縄文時代前期後葉～末葉である。

ＢⅣｗ２グリッド（第86図）

RA07住居跡上に位置する。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序はＩａ・Ｉｂ・Ｉｃ・Ｉｄ・Ⅱ層で、Ｉｄ層の層厚は30cmである。遺物はＩｄ層から多く出土している。出土遺物は、土器74.739kg、石器7.789kgが出土しており、255～257･260の器形と文様構成が類似する土器が出土している。下位より RA０７住居跡が検出されていることから、出土遺物は、RA07住居跡→ＢⅣｗ２グリッド(260･261)と把握される。時期は縄文時代前期末葉である。

ＢⅣｗ３グリッド（第87図）

西側に RA07住居跡、東側に RA08住居跡が位置し、このふたつの住居跡の間に当たる。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序はＩａ・Ｉｂ・Ｉｃ・Ｉｄ・Ⅱ層で、Ｉｄ層の層厚は30cmである。遺物は、Ｉｂ・Ｉｃ層からの出土量は少なく、Ｉｄ層から多く出土している。出土遺物は、土器54.578kg、石器8.093kgが出土しており、269の土器とともに265・268の地文のみの土器が出土している。

ＢⅣｘ６グリッド（第88図）

同グリッド西側に RD16土坑が位置する。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序はＩａ・Ｉｂ・Ｉｃ・Ｉｄ・Ⅱ層で、Ｉｄ層の層厚は30cmである。遺物は、Ｉｂ・Ｉｃ層からの出土量は少なく、Ｉｄ層から多く出土している。出土遺物は、土器37.970kg、石器5.513kgが出土している。

ＢⅣｘ７グリッド（第89図）

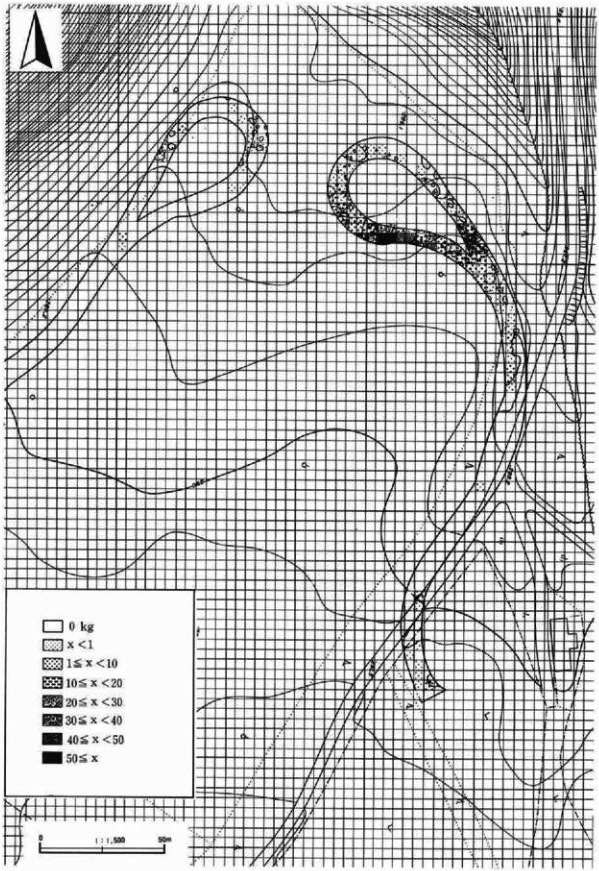
西側に RD16土坑、東側に RA10住居跡が位置し、このふたつの遺構の間に当たる。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序はＩａ・Ｉｂ・Ｉｃ・Ｉｄ・Ⅱ層で、Ｉｄ層の層厚は30cmである。遺物は、Ｉｂ・Ｉｃ層からの出土量は少なく、Ｉｄ層から多く出土している。出土遺物は、土器43.071kg、石器5.174kgが出土しており、一括遺物も出土している。時期は縄文時代前期後葉～末葉である。

ＢⅣｘ８グリッド（第90図）

RD07土坑の上に位置する。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序はＩａ・Ｉｂ・Ｉｃ・Ｉｄ・Ⅱ層で、Ｉｄ層の層厚は30cmである。遺物はＩｂ・Ｉｃ層からの出土量は少なく、Ｉｄ層から多く出土している。出土遺物は、土器41.183kg、石器3.198kgが出土している。

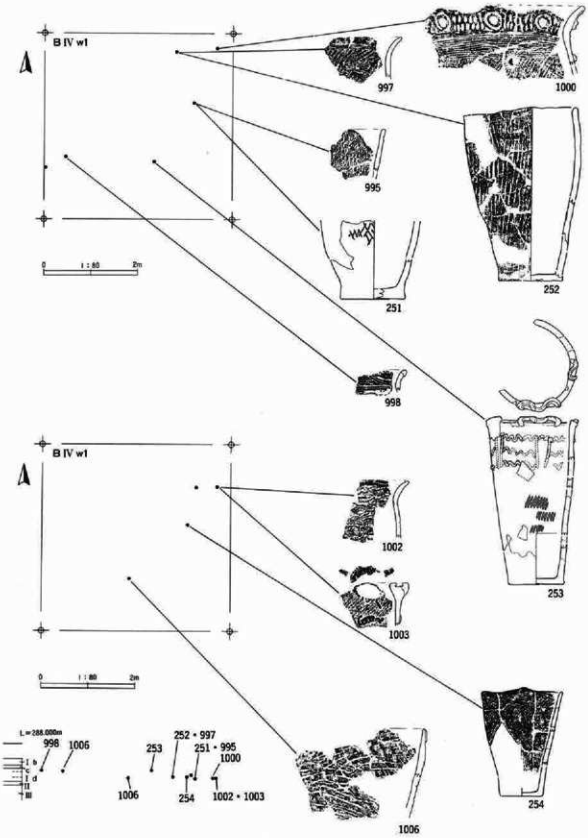
第4表　グリッド別出土遺物一覧（掲載No.）

グリッド	土器 立体	土器 破片	土製品	石鏃	尖頭器	石錐	石匙	石篦	不定形	両極	剥片	石斧 打製	石斧 磨製	石錘	敲磨器 Ia	敲磨器 Ib	敲磨器 Ic	敲磨器 II	台石	石製品	重量(g) 土器	重量(g) 石器
BⅢ t23	232	875〜881																			14,694	1,386
BⅢ u20	—	—																		2177	4,849	518
BⅢ u22	—	882																			4,779	478
BⅢ u23	233	883〜887																		2172	16,479	2,219
BⅢ u24	—	888〜891																			9,614	1,534
BⅢ u25	—	894〜896																			9,309	933
BⅢ w24	—	—																		2210	2,665	491
BⅢ w25	—	897〜898	1255						1691												10,538	1,742
BⅣ u2	234	899〜912																			11,078	122
BⅣ u11	—	913〜916																			2,231	—
BⅣ v1	235・236	917〜923																			13,966	3,214
BⅣ v2	—	924〜943					1620														29,808	3,096
BⅣ v3	237	944〜968		1502			1621														24,979	3,904
BⅣ v4	—	438・439					1622														4,283	213
BⅣ v10	238〜248	969〜991	1257																		39,736	255
BⅣ v11	249	992・993																			10,907	1,553
BⅣ w1	250〜254	994〜1006																		2196・2209	34,965	4,212
BⅣ w2	255〜261	1006〜1029		1503																2212	74,439	7,789
BⅣ w3	262〜272	1030〜1057					1623							1940						2169・2192	54,578	8,093
BⅣ w4	273〜278	1058〜1063																			40,405	5,496
BⅣ w5	279〜286	1064〜1076																			45,103	4,189
BⅣ w6	287〜289	1077	1258				1624														17,212	1,802
BⅣ w7	290	1078〜1086					1625														22,692	2,685
BⅣ w8	291	—																			1,495	248
BⅣ w10	292	1087〜1099					1626													2193	21,565	2,633
BⅣ w11	293〜296	1100〜1114					1627													2175	36,977	2,485
BⅣ w12	—	1115〜1118																			1,384	330
BⅣ x4	297〜300	1119〜1124																			12,287	2,588
BⅣ x5	301〜305	1125〜1139																			34,002	2,701
BⅣ x6	306〜315	1140〜1155																			37,900	5,513
BⅣ x7	316〜321	1156〜1168		1504〜1506										1941							43,071	5,174
BⅣ x8	322〜325	1170〜1181																			41,183	3,198
BⅣ x10	—	—																			4,737	338
BⅣ x11	326〜330	1182〜1197																		2194	35,453	2,285
BⅣ x12	331	1192〜1210																			15,334	1,617
BⅣ y8	332	1211〜1220																			12,377	—
BⅣ y10	—	1221〜1226																		2190	12,739	329
BⅣ y11	333	1227〜1234					1628														15,491	7,443
BⅣ y12	334	1235〜1238																			11,108	905
CⅣ a10	—	1239〜1243					1629														5,544	750
CⅣ a11	—	1244																			4,217	1,092
CⅣ a12	335	1245〜1247																			7,329	664
CⅣ c12	—	1248																			3,432	245
CⅣ d12	—	1249																			435	43
CⅣ g14	336	1250																			1,364	115
CⅣ h15	—	1251・1252																			1,084	163
CⅣ I15	—	—																		2211	80	250
DⅣ q6	—	—																		2173	217	—
DⅣ S7	—	—							1692													—

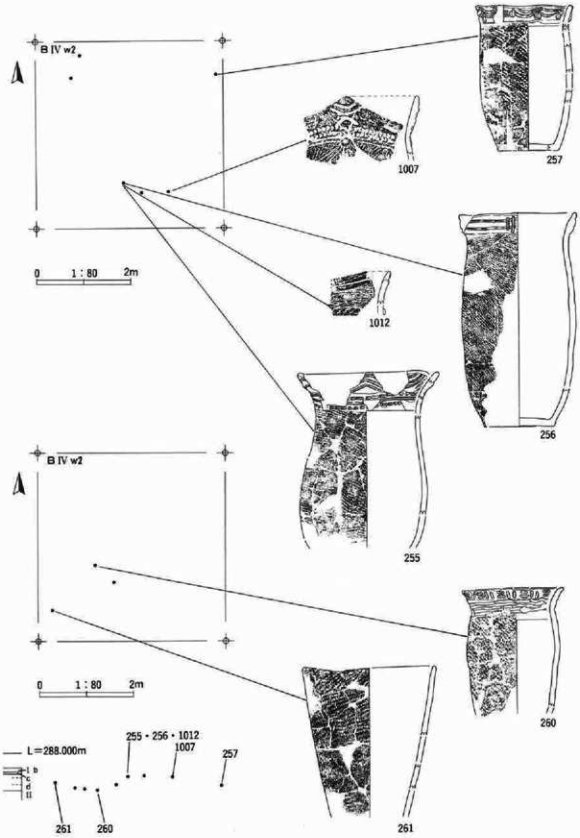


第83図　縄文土器出土重量分布図

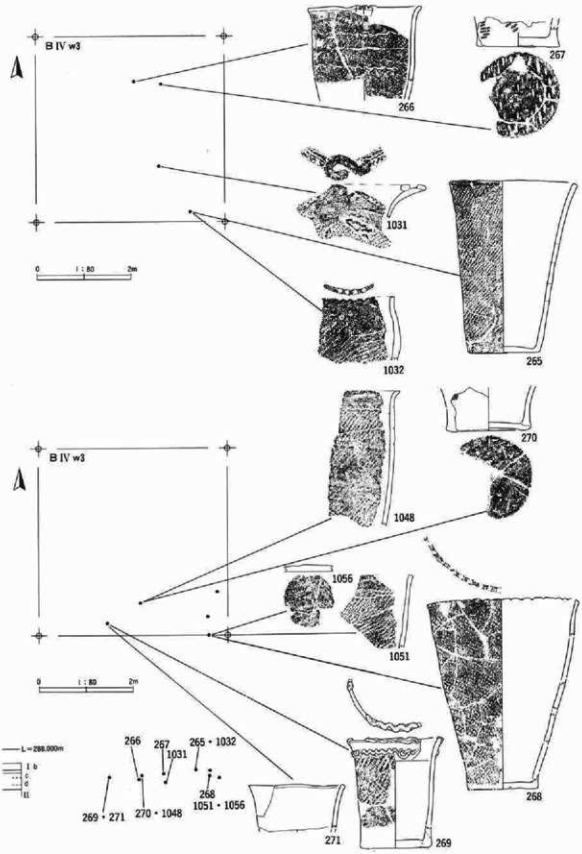
第84図　石器出土重量分布図



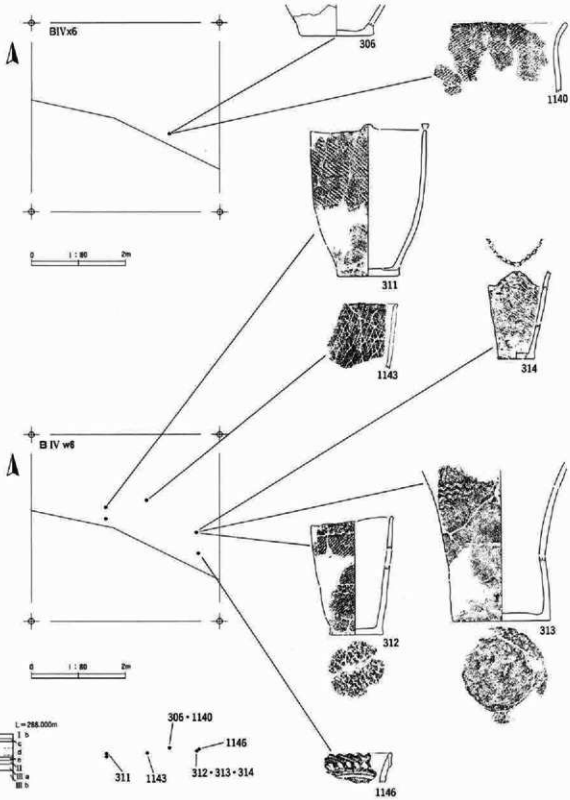
第85図　遺物包含層(BIVw1)遺物出土状況



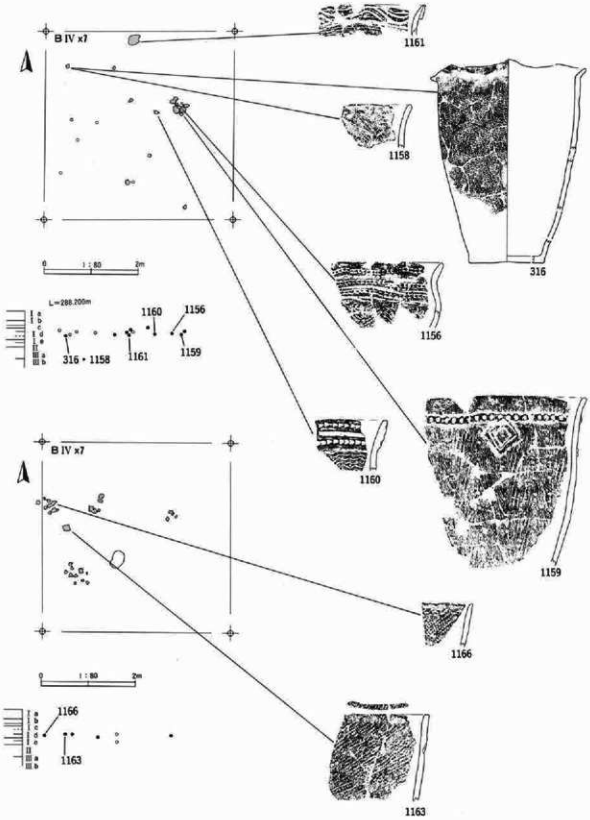
第86図　遺物包含層(BIVw2)遺物出土状況



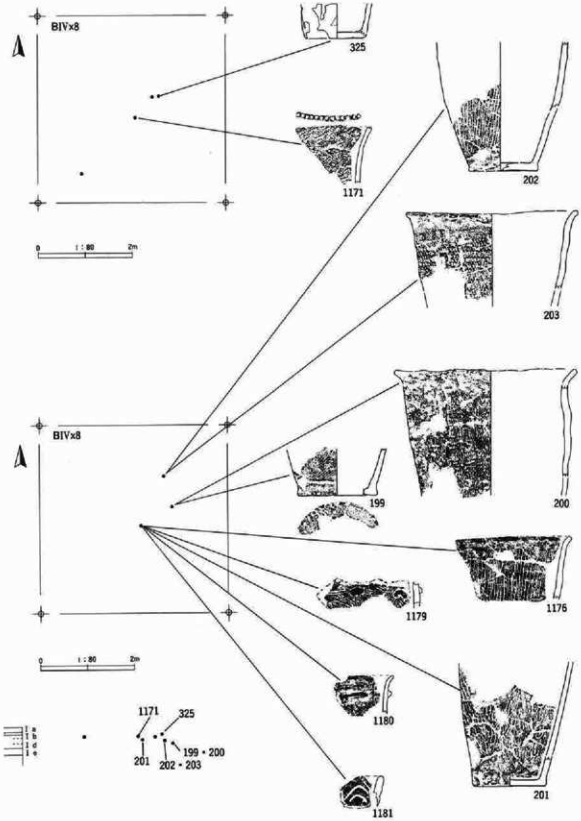
第87図　遺物包含層(BIVw3)遺物出土状況



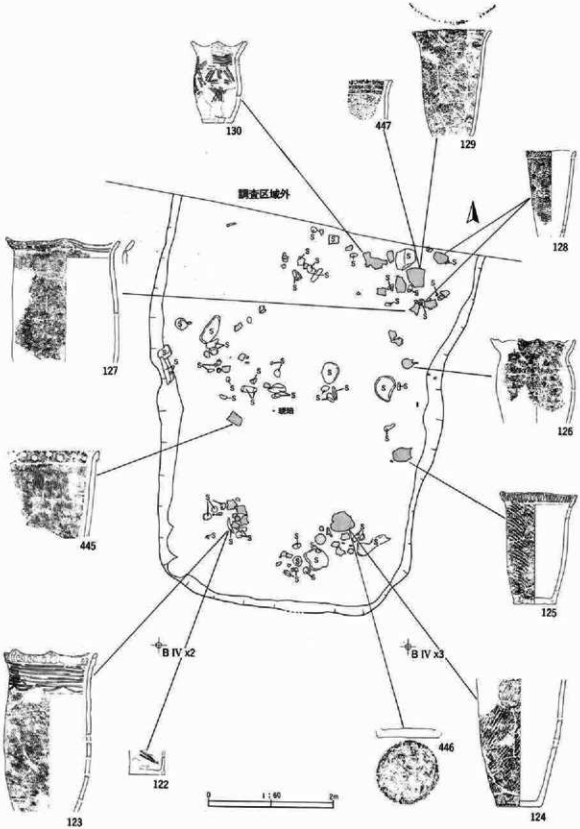
第88図　遺物包含層(BIVx6)遺物出土状況



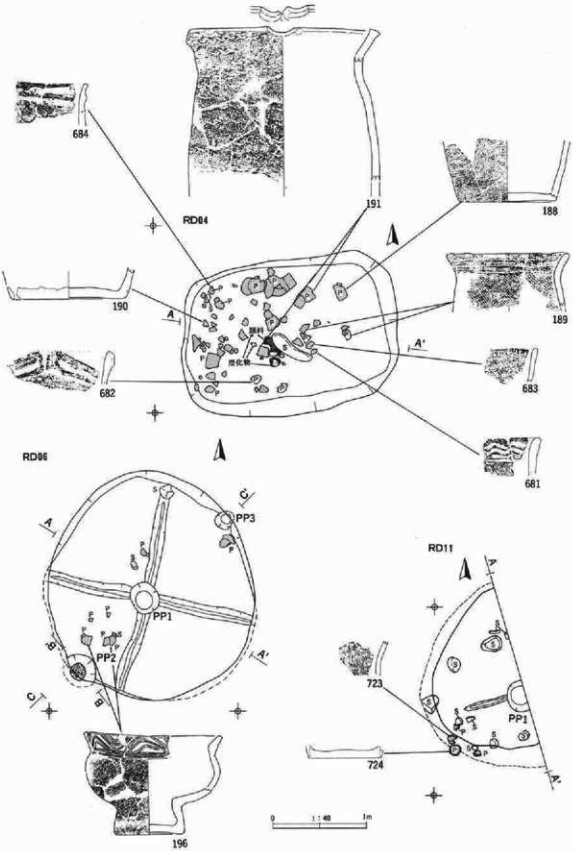
第89図　遺物包含層(BIVx7)遺物出土状況



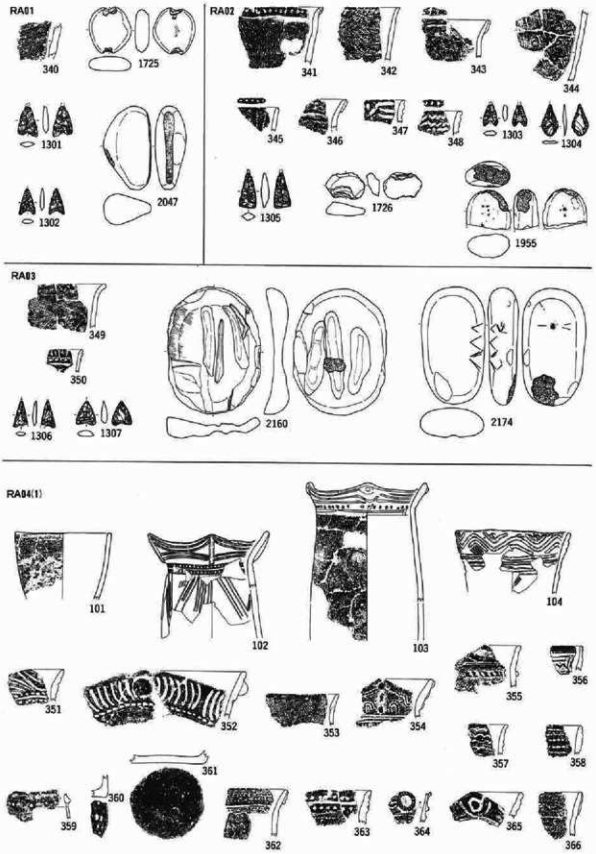
第90図　遺物包含層(BIVx8)遺物出土状況



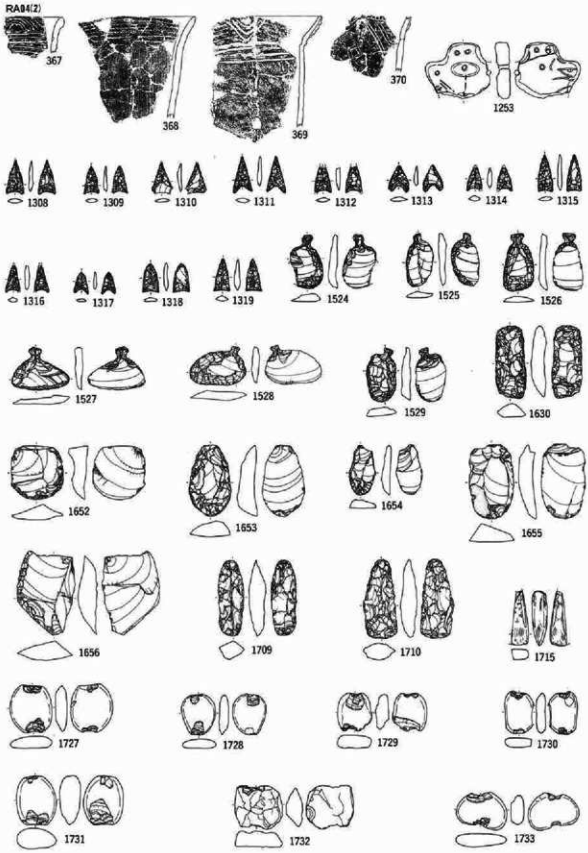
第91図　RA07住居跡遺物出土状況



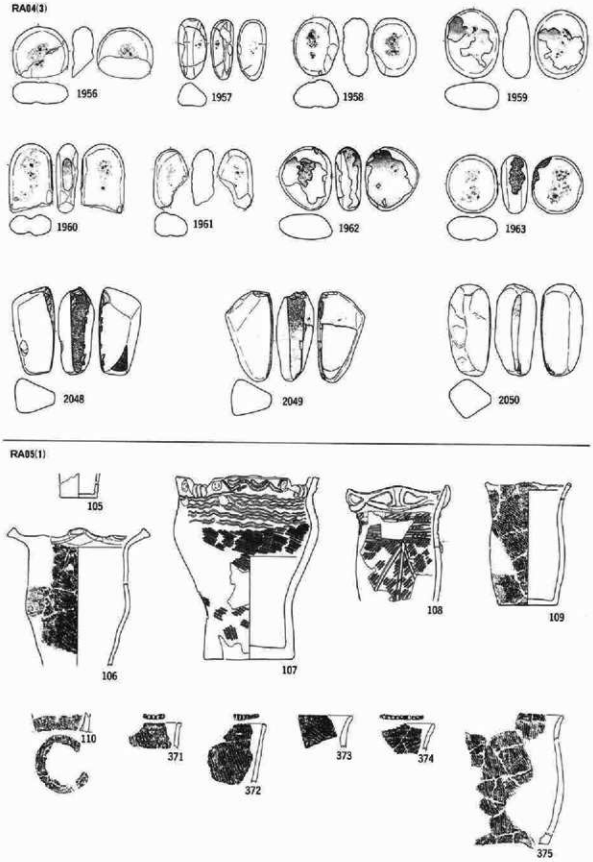
第92図　RD04・06・11土坑遺物出土状況



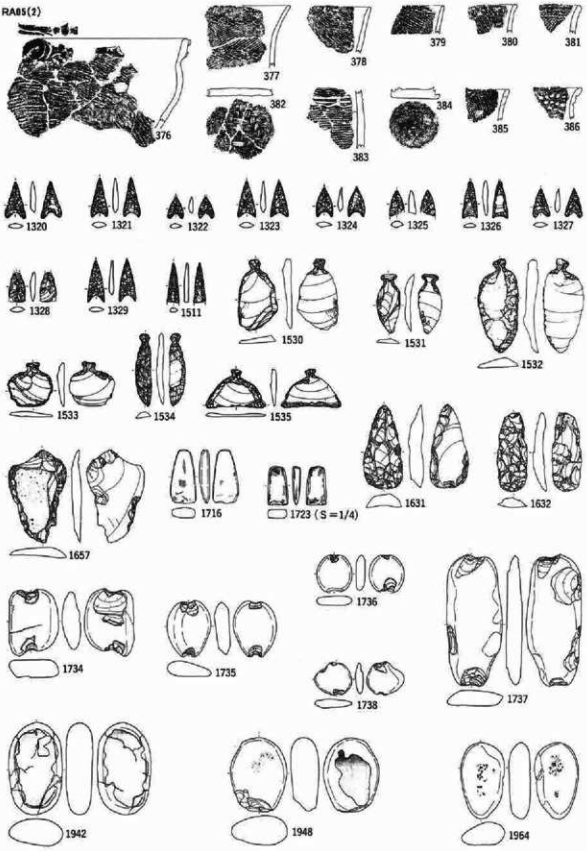
第93図　RA01・02・03・04(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6・石製品1/6）



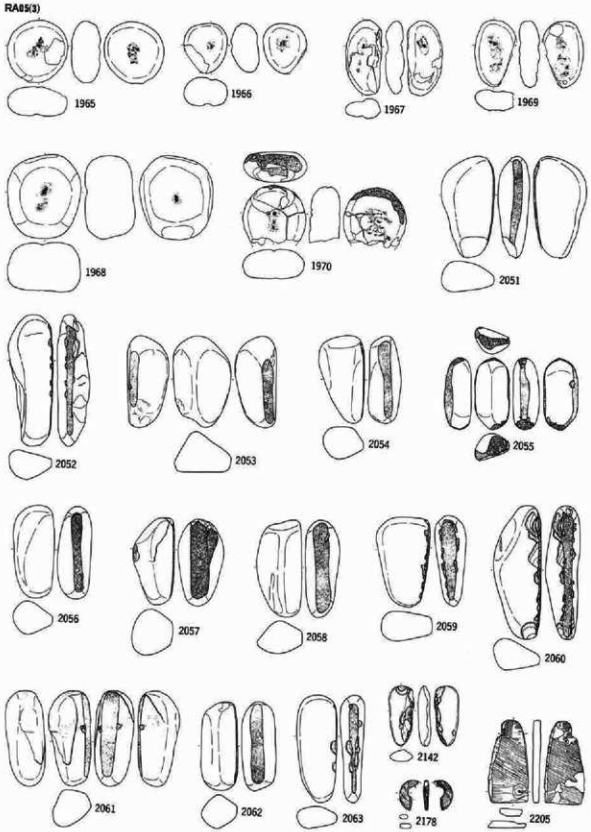
第94図　RA04(2)出土遺物(土器破片1/6・土製品1/4、石器剥片1/4・礫1/6)



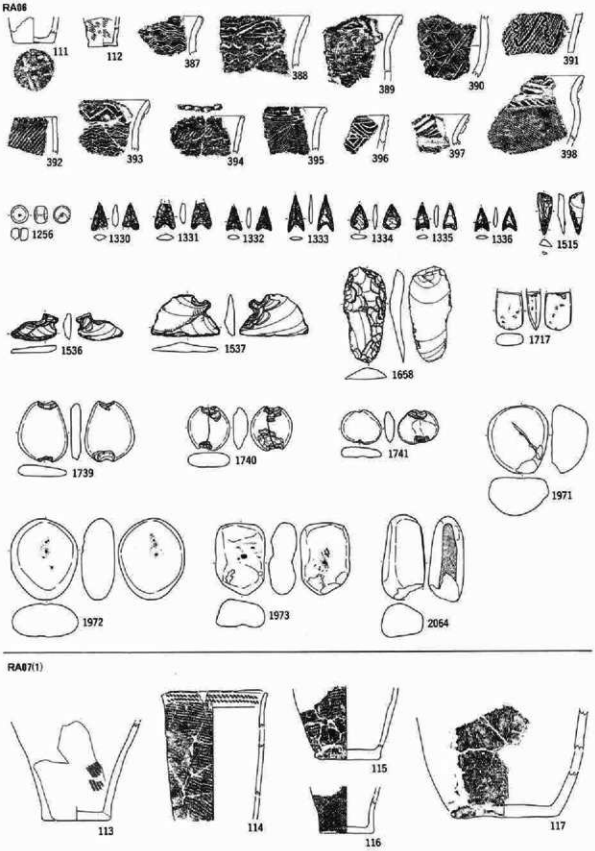
第95図　RA04(3)・05(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器礫1/6）



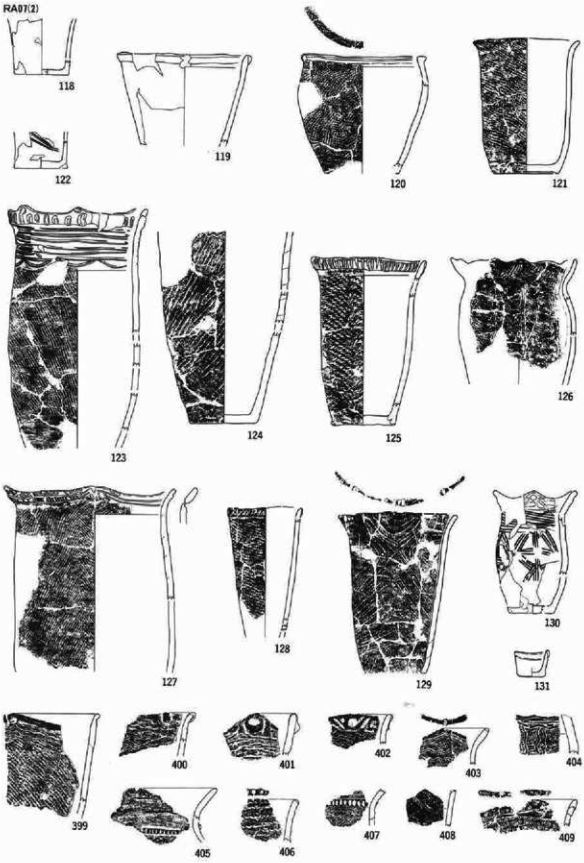
第96図　RA05(2)出土遺物（土器破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6）



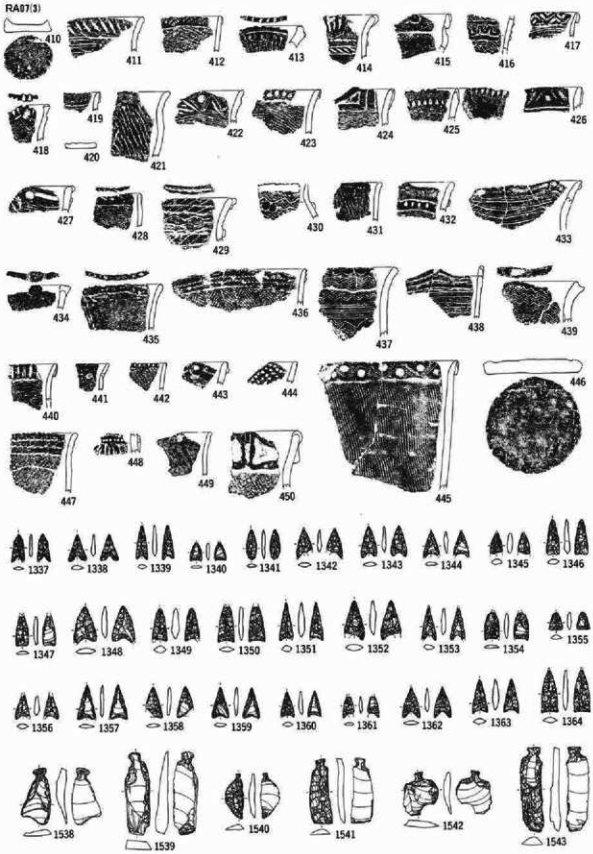
第97図　RA05(3)出土遺物(石器類1/6・石製品1/4)



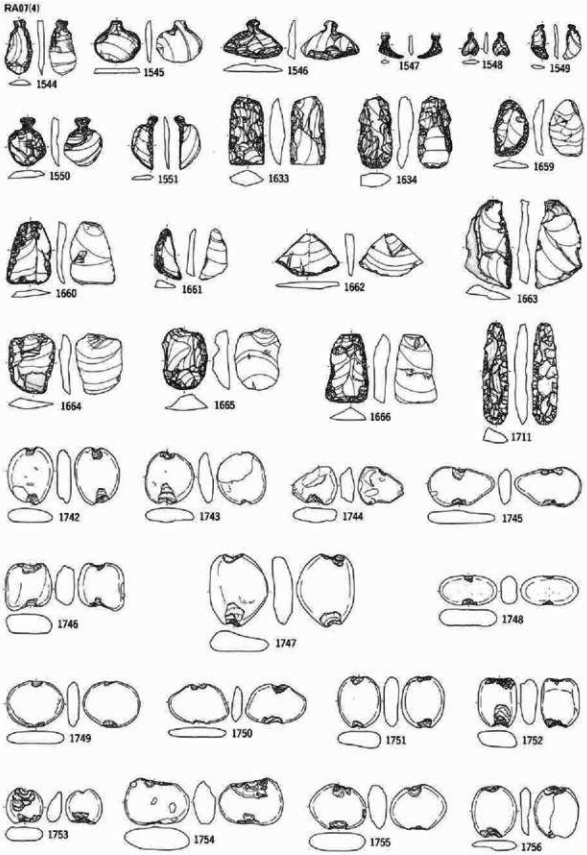
第98図　RA06・07(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6）



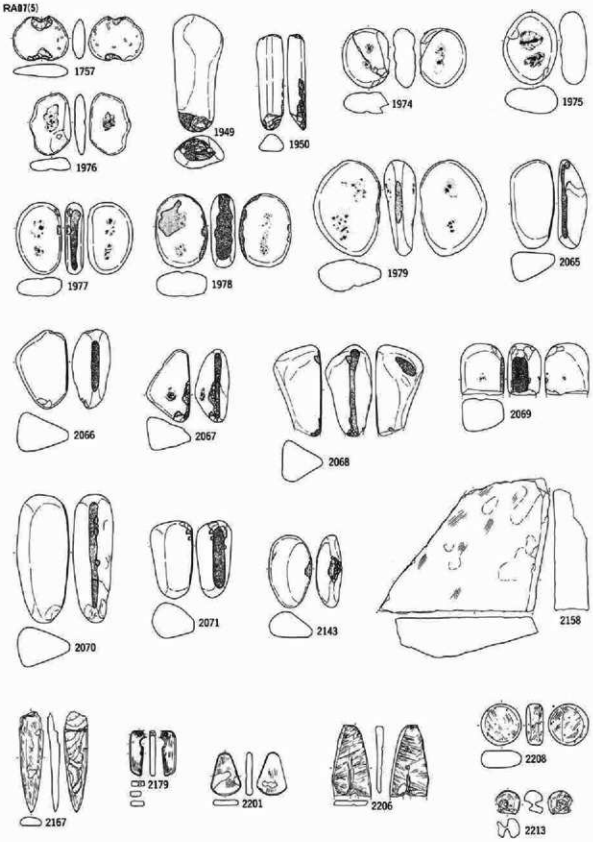
第99図　RA07(2)出土遺物(土器立体1/6・破片1/6)



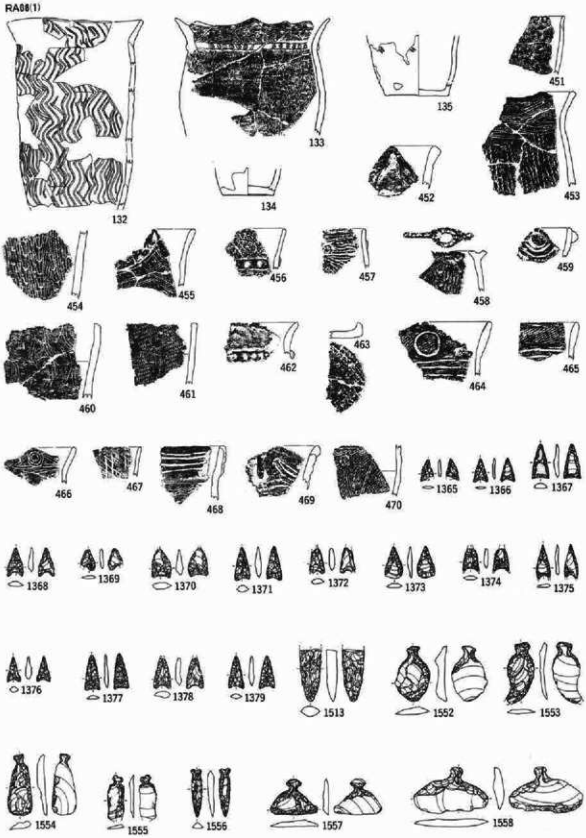
第100図　RA07(3)出土遺物（土器破片1/6、石器剝片1/4）



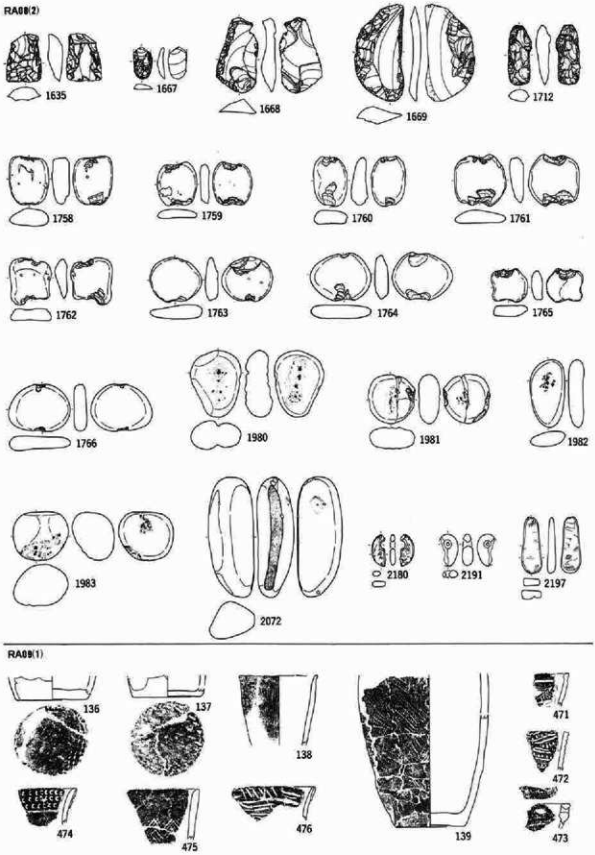
第101図　RA07(4)出土遺物（石器剝片1/4・礫1/6）



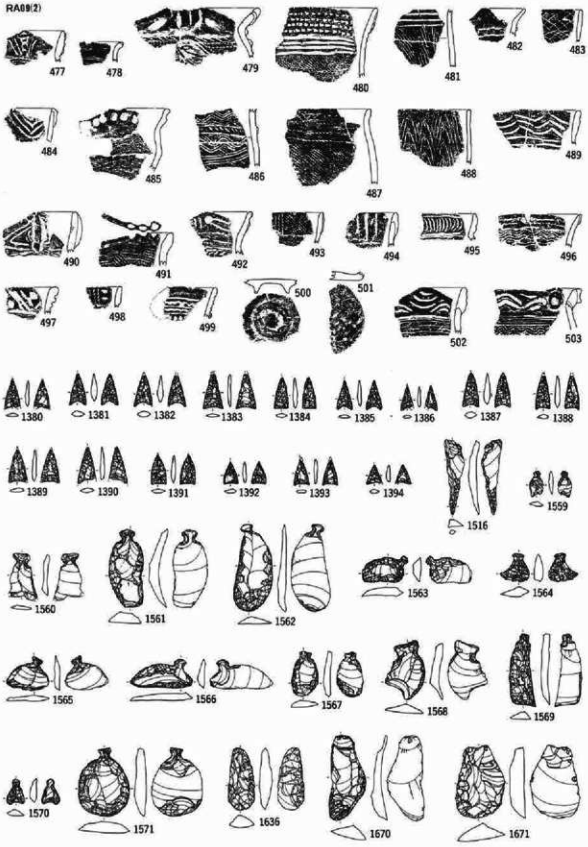
第102図　RA07(5)出土遺物（石器類1/6・石製品1/4）



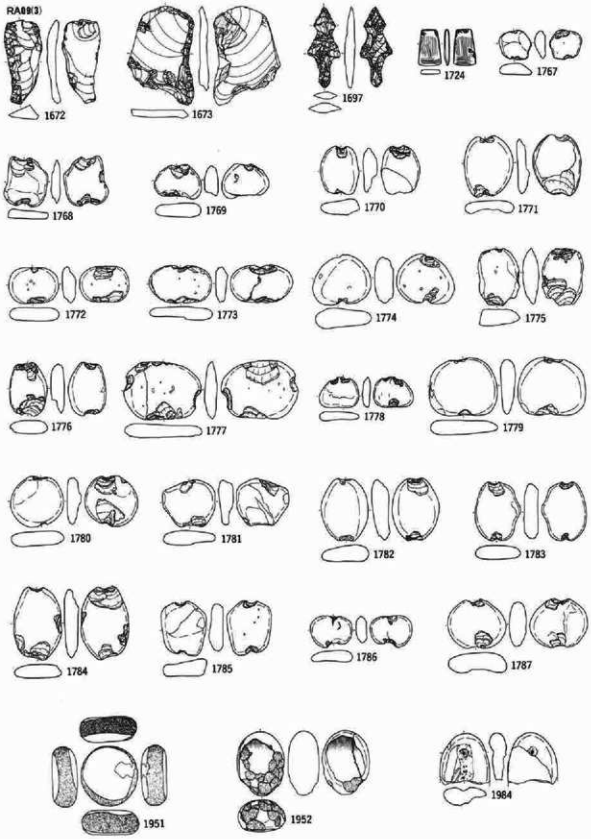
第103図　RA08(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4）



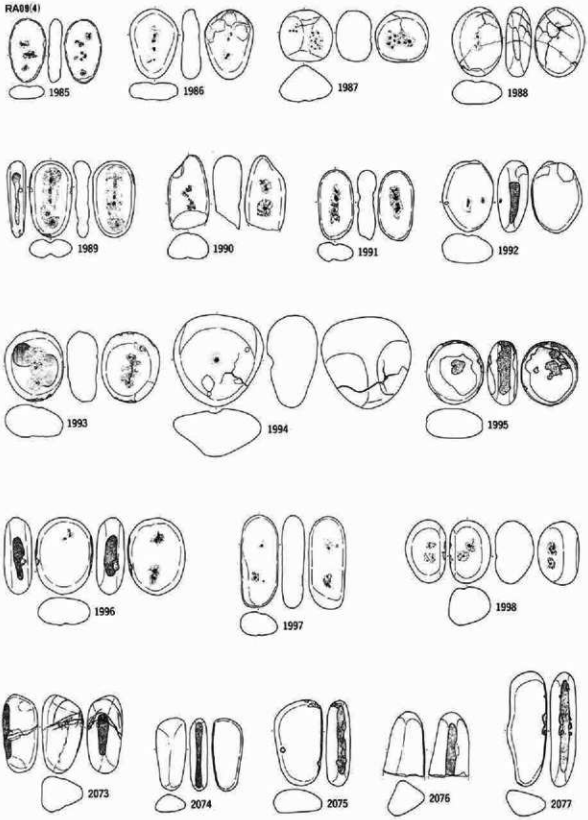
第104図　RA08(2)・09(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4）



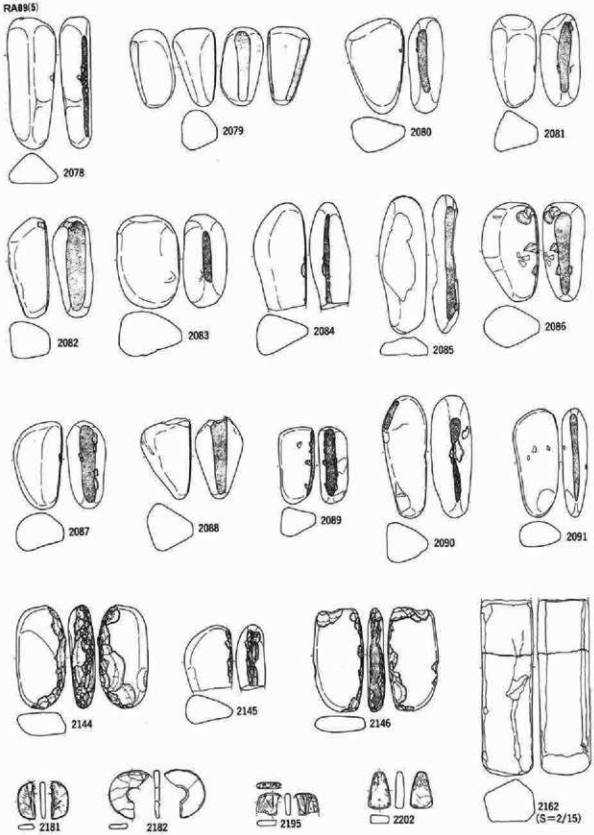
第105図　RA09(2)出土遺物（土器破片1/6、石器剝片1/4）



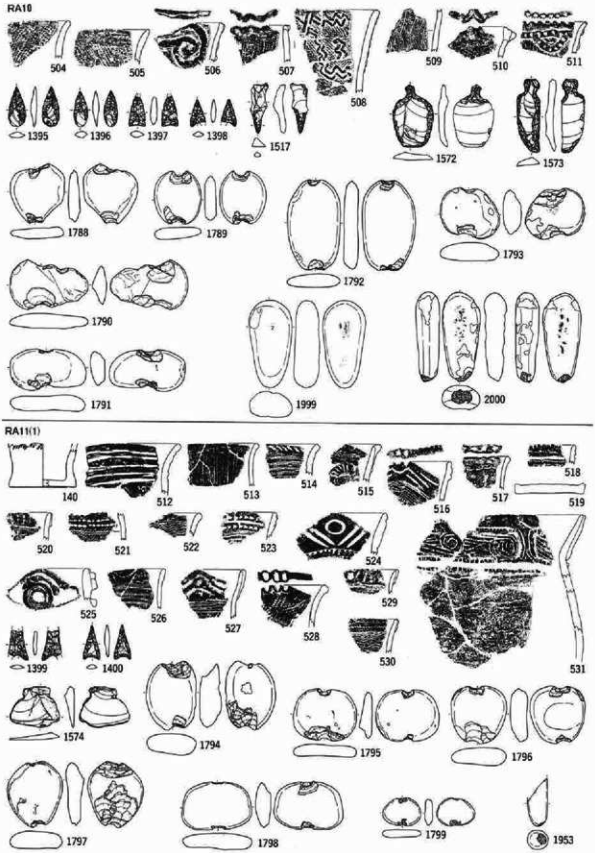
第106図　RA09(3)出土遺物（石器剝片1/4・礫1/6）



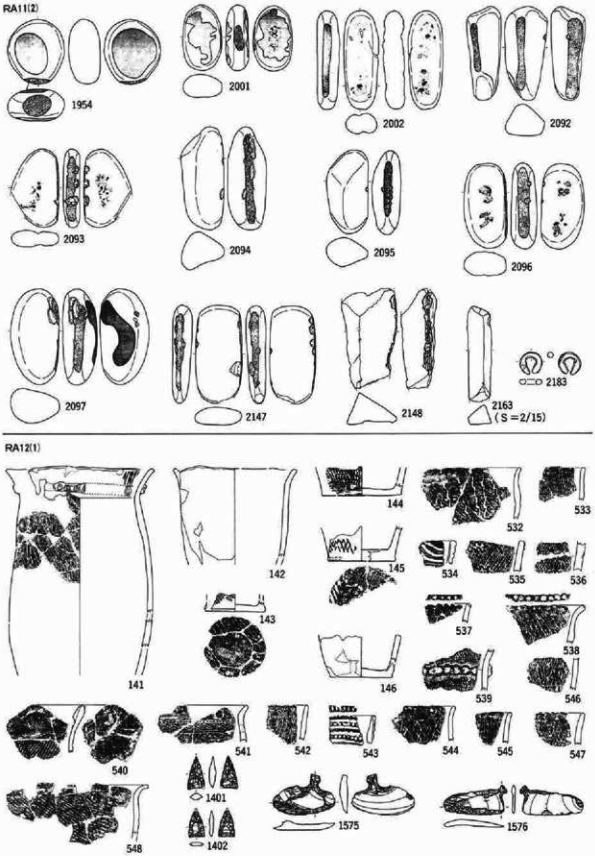
第107図　RA09(4)出土遺物（石器礫1/6）



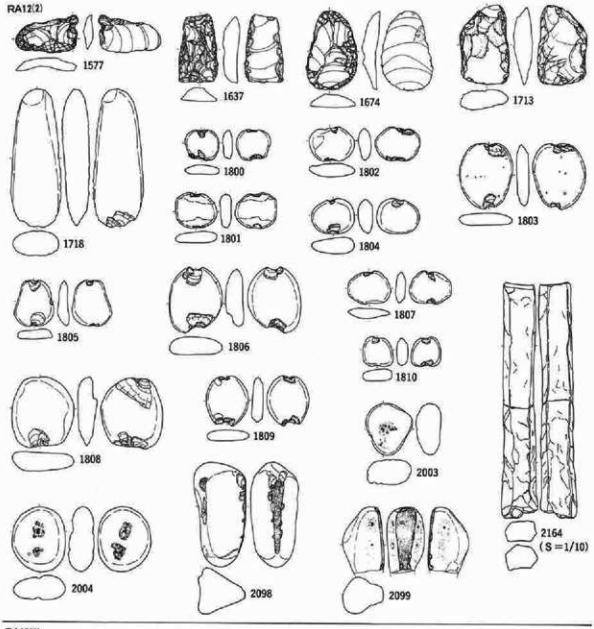
第108図　RA09(5)出土遺物（石器類1/6・石製品1/4）



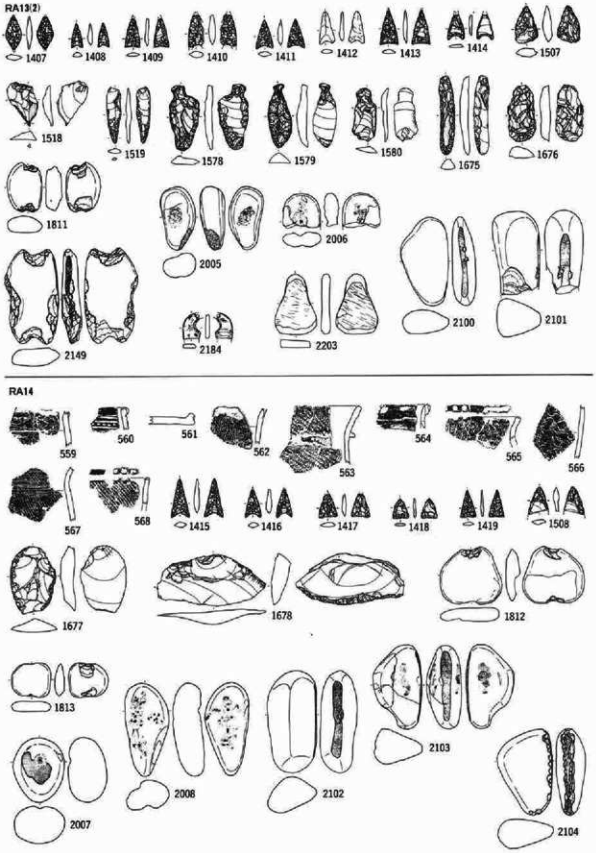
第109図　RA10・11(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6）



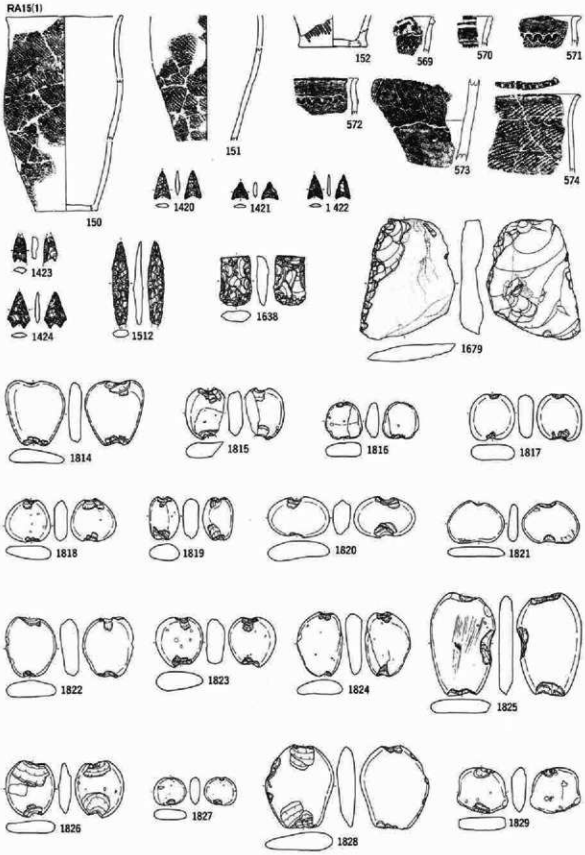
第110図　RA11(2)・12(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4）



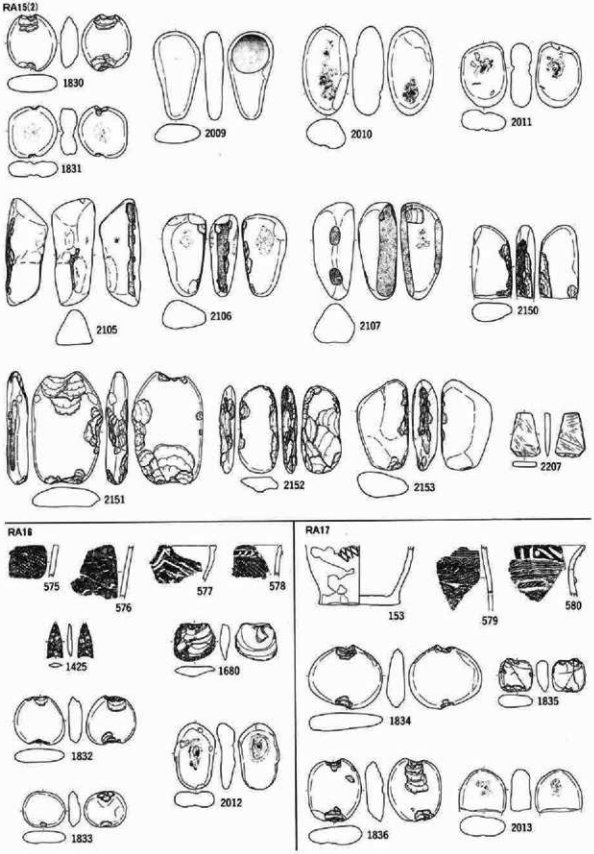
第111図　RA12(2)・13(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6）



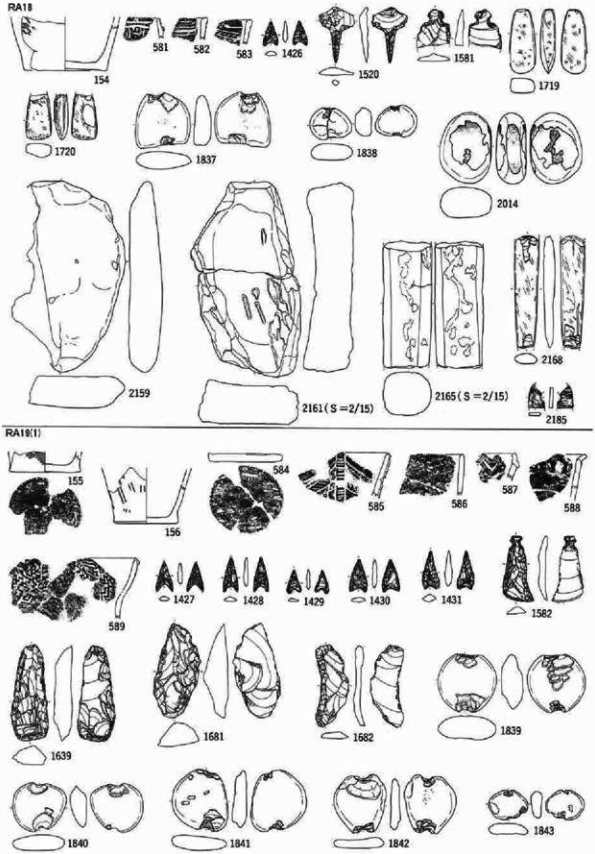
第112図　RA13(2)・14出土遺物（土器破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6・石製品1/4）



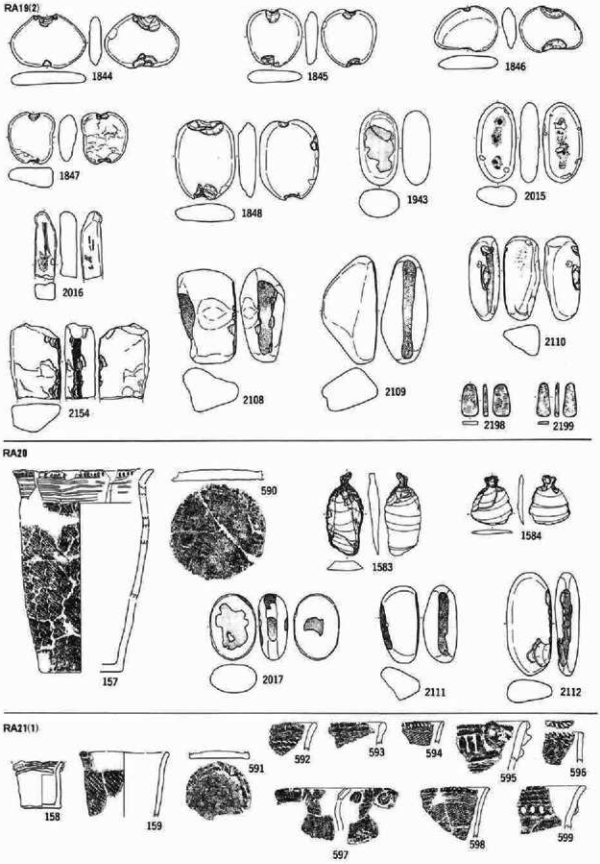
第113図　RA15(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6）



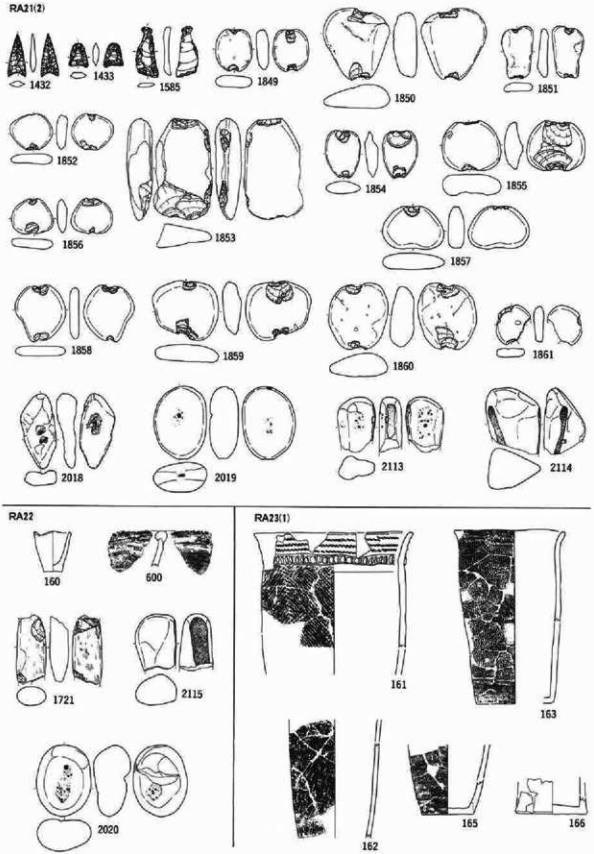
第114図　RA15(2)・16・17出土遺物(土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)



第115図　RA18・19(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器銅片1/4・礫1/6・石製品1/4）

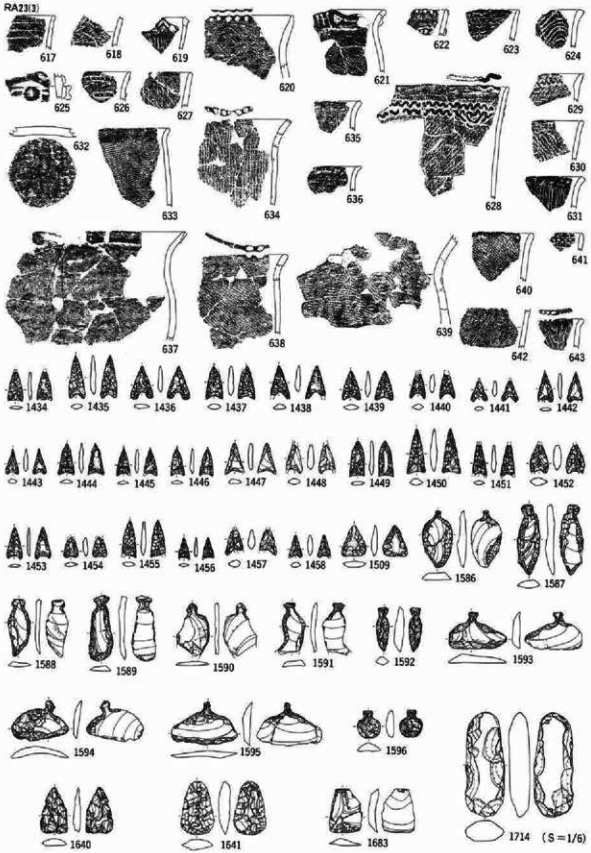


第116図　RA19(2)・20・21(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4）

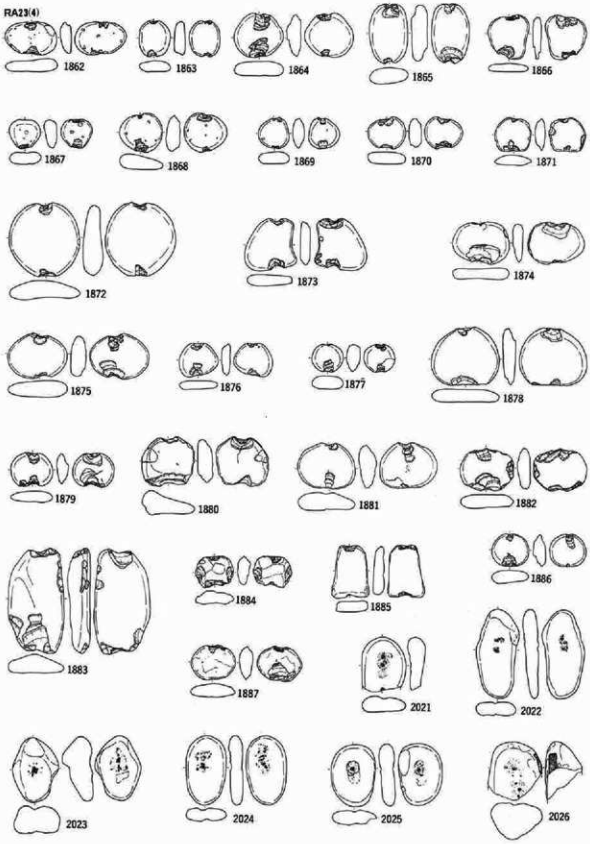


第117図　RA21(2)・22・23(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6）

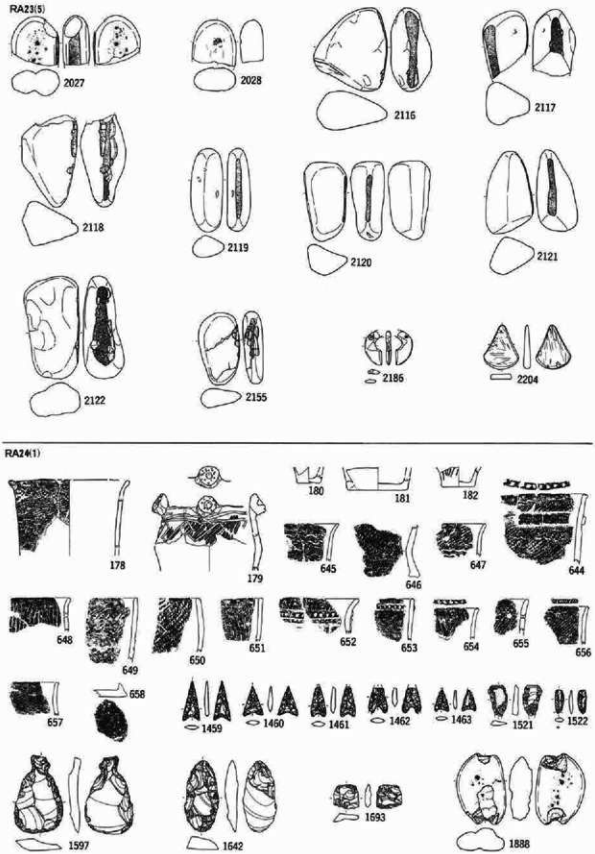
第118図　RA23(2)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6）



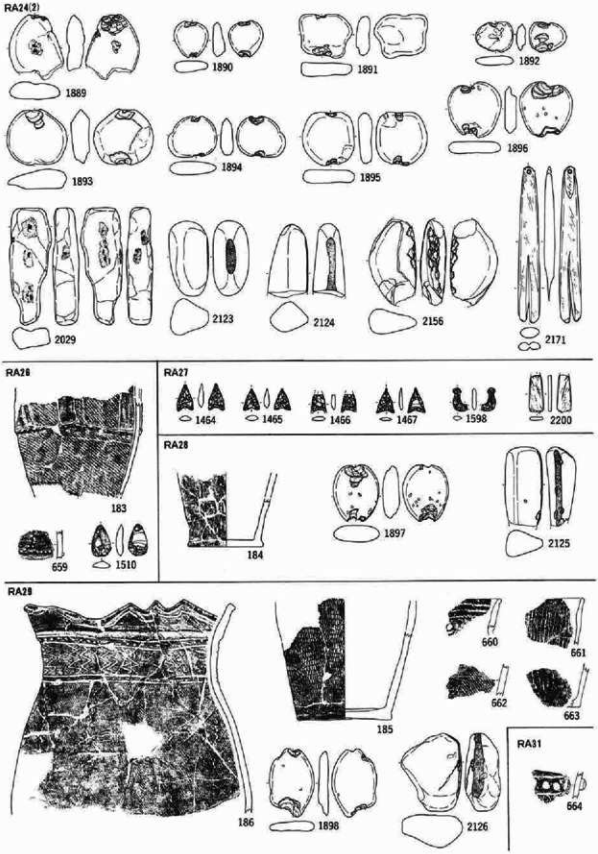
第119図　RA23(3)出土遺物（土器破片1/6、石器剝片1/4）



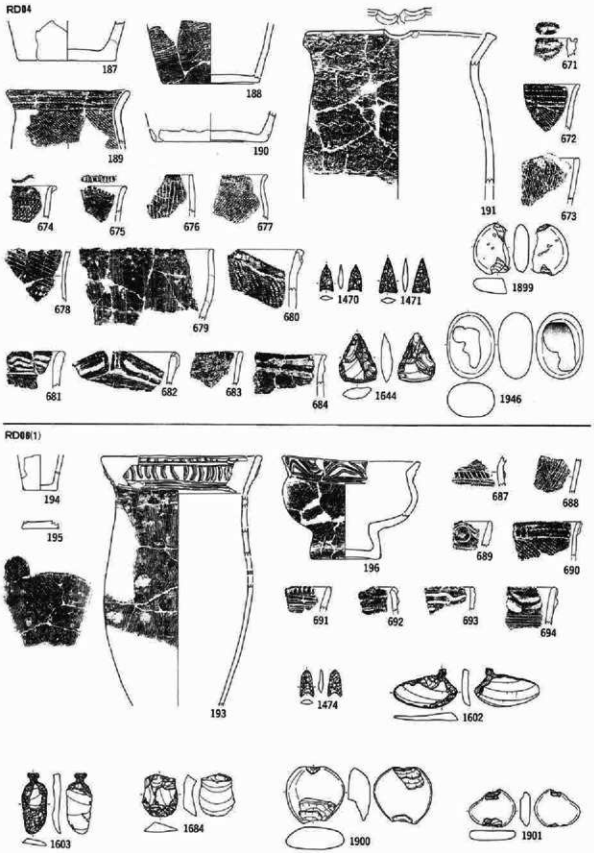
第120図　RA23(4)出土遺物（石器縮1/6）



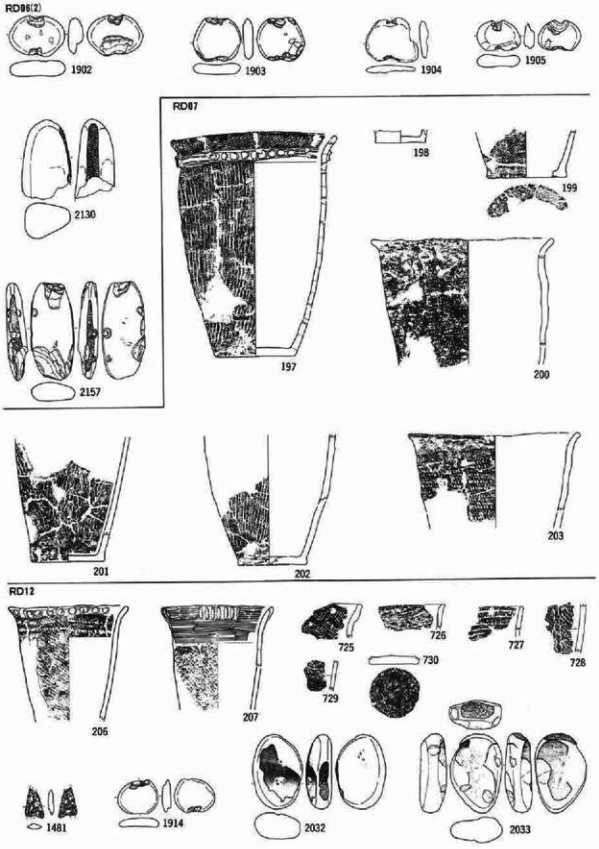
第121図　RA23(5)・24(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4）



第122図　RA24(2)・26・27・28・29・31出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4）



第123図　RD04・06(1)出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6）



第124図　RD06(2)・07・12出土遺物（土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6）

VI. 縄文時代―出土遺物―

峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区から出土した縄文時代の遺物は、縄文土器大コンテナ（Ｔ40：30×40×30cm）で100箱（重量1460.651kg）・土製品６点・石器大コンテナ（Ｔ40：30×40×30cm）20箱（重量171.2476kg）、登録点数3950点、石製品113点である。

以下に、まず掲載基準を記載し、出土土器全体の概要を述べ、次に個々の土器について、遺構の種別ごと（掲載順）に出土状況と、特記すべき事項について述べる。すべての土器について触れていないので、出土地点ごとの遺物の把握は第４表、個々の土器の特徴については第６表の土器観察表を参照されたい。

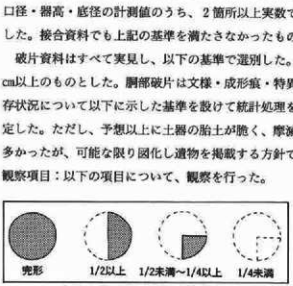
１．縄文土器（第125～212図、写真図版49～122：101～1252）

掲載基準について

一部、第Ⅲ章の３室内整理の記載と重複するが、以下に出土遺物の掲載基準を記す。接合を行った結果、口径・器高・底径の計測値のうち、２箇所以上実数で把握可能なものを立体土器として登録・図化し、掲載した。接合資料でも上記の基準を満たさなかったものについては、観察項目を記録するに留めた。

破片資料はすべて実見し、以下の基準で選別した。掲載資料は、原則として口縁部破片とし、径５cm×５cm以上のものとした。胴部破片は文様・成形痕・特異な文様が施されているものに限定した。底部破片は残存状況について以下に示した基準を設けて統計処理を行い、掲載遺物は、底部圧痕や器形が特異なものに限定した。ただし、予想以上に土器の胎土が脆く、摩滅も著しく、接合率が悪かったため破片も小さなものが多かったが、可能な限り図化し遺物を掲載する方針で、上記の基準を満たさないものでも図化し掲載した。

観察項目：以下の項目について、観察を行った。



土器底部の残存状況の模式図

・計測値（器高・口径・底径）※立体土器のみ。

・器種：深鉢ほか

・器形：口縁部：平縁・波状縁他。

頸部：括れの有無。

胴部：直線的・曲線的／長胴形・球胴形（註１）。

底部：平底・上底、底部の張り出しの有無。

・文様：各部位の縄文原体と施文方法。

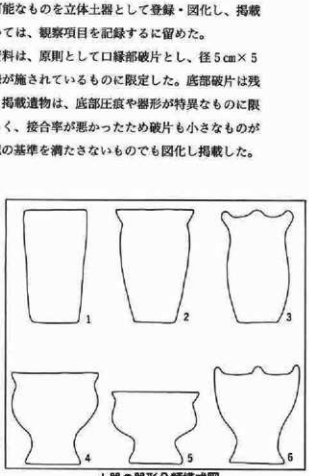
・色調：土色帳に照合する。

・胎土：繊維・礫などの混入の有無。

・内面調整：有無と方向。

・時期：次の時期を便宜的に以下のように分類し、さらに土器型式に対応するよるに細分した。（註２）

Ⅰ群：前期、Ⅱ群：中期、Ⅲ群：後期、Ⅳ群：その他。



土器の器形分類模式図

・長胴形：１・２・３、　・球胴形：４・５・６

・その他：成形の痕跡（輪積痕）、使用の痕跡（補修孔・煮炊の痕跡）など。

出土遺物について

総量：大コンテナ（T40：30×40×30cm）で100箱で、総重量1460.651kgが出土している。掲載した遺物は、立体土器229点、破片資料913点である。また本来の個体数を類推する手掛かりとして、底部破片の残存状況に付いて統計処理を行ったが、接合率が悪く、完形、1／2以上残存するものについてはすべて掲載している。

出土状況：100箱のほとんどが調査区北側の遺構および遺物包含層から出土しており、調査区域6,120m²のなかにおいて著しい片寄りがある。個々の土器の出土状態については、原形を保って出土した例は稀だが、個体単位で出土している例は幾つかある。個々の土器の残存状況をみると、胴部下半のもの、胴部上半のものが多いが、総じて接合率が低く、土器の残存状況から使用や廃棄の過程を類推することはできなかった。

接合状況：接合が叶わなかった資料については、調査精度の問題もあり、一概にいうことはできないが、多くは出土した地点もしくは隣接地点（グリッド）で接合は完了している。地点を離れての接合や遺構間で接合した事例はない。

土器の全体的な特徴について

胎土：全般に砂・礫の混入が多く胎土に緻密さは感じられず、総じて粗悪で悪い。また摩滅がひどく、焼成も良いようには思われない。

色調：赤褐色と暗～黒褐色が多く、黄褐～橙色は極少量である。時期により色調の傾向があるようである。

内面調整：ナデとミガキがあるが、いずれかが施されている。内面では口縁部は横位・胴部は縦位に調整されることが多い。底面は圧痕が残されているものを除いてミガキが施されているものが多い。

使用の痕跡：土器の内面に煤の付着が多く見られた。部位では深鉢の下半部が圧倒的に多い。

竪穴住居跡出土の土器（第125～140・168～184図、写真図版49～63・90～101：101～186、340～664）

縄文時代前期後葉から中期初頭の土器が出土している。埋土中から土器片での出土が多く、また遺跡の存続した年代を反映したかたちで時期幅のある破片が出土している。そのなかで、比較的まとまって土器が出土したのは RA07住居跡で、遺構の重複関係から、後述する RZ05土器埋設遺構より旧いと考えられる土器群である。他に RA23（新）・24（旧）住居跡からも多くの土器が出土しているが、住居跡としての輪郭を明確に把握できていないので、出土した土器の同時性は高いと思われるが、一括性を画するうえで問題が残る。

RA04住居跡：101～104、351～370で、103は口縁部に沈線・刺突列による文様が施される。沈線は3～6cmの長さで左から右方向に引き継がれる。RA05住居跡：105～110、371～386で、107は球胴形深鉢で口縁は平縁だが4単位の凹部をもち、凹部には3本の隆帯を貼り巡らす。同端には円形の浅い圧痕を持ち、間には短い沈線を波状に施す。頸部は半截竹管による2本一組の沈線が7～8cmの長さで左～右へ引き継がれている。胴部には2段LR縦回転による縄文が施文されている。RA07住居跡：113～131の19個体、399～450が出土している。129・130は胴部に沈線による文様が描かれる他は地文のみの土器が多い。123は口縁部が肥厚する深鉢で、6単位の突起をもち、縦位の圧痕を横に巡らせている。頸部は半截竹管による2本一組の沈線を横位に6段に、その下位には緩い弧状文を沈線で描いている。沈線は一描き15cmほどの長さで右から左へ3回引き継いで一周している。125は平縁の深鉢で口縁部には縦位の刻目を施し、胴部には節の太い縄文が施文される。127は4波状の口縁で、波頂部の下位に円文の圧痕が施される。その下位には、補修孔を意図したかと思われる未穿孔の穴がある。131は無文の小型の土器で口縁が肥厚する。RA08住居跡：132～135、451～470で、132は平縁の深鉢で2本1組の波状の沈線を縦位に施文している。一回で引かれる沈線の長さは5～6cmである。輪積の痕跡も残る。133は胴部に膨らみを持つ深鉢で、頸部に隆帯を

貼り付けて口縁部と胴部を区画し、口縁部に半截竹管による沈線の文様を施す。胴部には2段LR、結節縄文1段Rを縦位に施文している。RA09住居跡：136〜139、471〜503で、138は櫛引き状の沈線を縦位に施す。RA12住居跡：141〜146、532〜548で、141は口縁部が外反する深鉢で、頸部に貼りつけられた隆帯は部分的にしか残らないが、圧痕が施こされている。口縁部は無文であるが、刻目状の沈線が縦位に入る箇所がある。胴部には縦・斜の沈線が施される。145は深鉢の底部で、底部縁の一部に押圧が4カ所加えられる箇所があり、凹状の刻目がみられる。RA15住居跡：150〜152、569〜574、150〜152はいずれも2段RLの横回転で、地文のみの粗製土器である。RA20住居跡：157・590で、157は口縁部に文様帯をもち、半截竹管による沈線を7〜8cmの長さで左→右に引き継いでいる。口唇部直下は半截竹管による刺突を施している。RA22住居跡：160、600で、160はミニチュアで4波状口縁で無文の深鉢で、色調は灰色を呈する。RA23住居跡：161〜173、601〜643で、163は、口縁部には原体の側面圧痕、胴部に横位の回転圧痕が施文されるが、原体はいわゆる縄文（縄）とは異なるようである（註3）。164は4単位の波状口縁で、波頂部は2ないし3の隆帯を貼り巡らし、口唇部には三角状の刻目を施す。口縁部には半截竹管による沈線を横位に施し、胴部には縄文を施し、その後、頸部と胴部に5単位の貼瘤を加えている。165は横位に櫛目状の沈線が施されている。RA24住居跡：174〜182、644〜658で、179は口縁部に環状の突起を4単位で貼り付け、環状突起の中央は凹状の円文が施され、その周囲に8〜16個の刺突が施される。刺突の数は均一ではない。RA26住居跡：183、659で、183は深鉢の胴部で、隆帯を貼り付けた後に縄文を施している。灰白色を呈する薄手の土器で、色調・胎土とも他と異なる土器である。RA29住居跡：185は多軸絡条体を施文する土器、186は大型の波状口縁の深鉢で頸部に沈線と刺突による文様を施す。

土坑出土の土器（第141〜146・185〜192図、写真図版64〜68・101〜107：187〜218・665〜852）

縄文時代前期後葉から前期末葉の土器が出土している。総じて埋土からの破片資料が多いが、比較的まとまった資料としてはRD04・06・12土坑からの出土遺物が挙げられる。

RD04土坑：187〜191はいずれも地文のみの深鉢である。191は厚手の大型の深鉢で、厚さが1.6cmあり、残存する器高も36cmあり、かなり大型の深鉢と推定される土器である。口縁部は4単位と推定され、1／4周単位にU字状、W字状の抉りが入る。671〜684は口縁部の破片である。RD06土坑：193〜196、687〜694で、193は口縁が外反する深鉢で、頸部に2本の沈線を巡らし、口縁部には縦位→横位の沈線による文様を施す。胴部は単軸絡条体第1類Rを縦位に施しているが、一部に結節第1種R・Lを縦位に施文する箇所がある。196は球胴形を呈する深鉢で、胴部と脚部が7：3の割合で脚部が短い。頸部に2本の沈線を巡らし、口縁部に沈線の文様を施し、胴部は地文のみとなる文様の構成は193と類似する。RD07土坑：197〜203で、197は口縁部にLRの縦横、胴部は単軸絡条体第1類1段Rを縦回転している。内面および外面に幅3〜3.5cmの輪積の痕跡が残る。頸部には隆帯が貼り付けられ、1／4単位で圧痕を施すが、圧痕の数は6・6・8・9と隆帯により異なる。図化は9個の圧痕部分を正面とした。RD12土坑：206・207・725〜730で、206・207はいずれも口縁部が外傾する平縁の深鉢で器形が頸似する。206は口縁部に横位に圧痕が施され、下位に単軸絡条体第1類1段Lの圧痕、胴部に1段Lの縦回転による無節縄文が施されている。207は口縁に4分の1単位で縦位の刻目が入り、その間を横位の平行沈線が三重に引かれる。頸部には3本一組の平行沈線が4重に巡り、6〜7cmほどの長さで左から右へ引き継がれている。胴部は2段LR・RLの結節縄文が縦位に施文されている。RD16：208〜211は深鉢4点で、208は網目状燃糸文を縦位に施文する深鉢で、幅が2cmの輪積みの痕跡が残る。RD35土坑：800〜806で、806は注口状の破片で、口縁部の突起なのかどうか、不明であるが両端は完結している。

焼土遺構出土の土器（第193図、写真図版107：853～858）

焼土遺構から出土した土器はいずれも破片で、個体復元できたものはない。RF01焼土遺構：853～855、RF04焼土遺構：856～858がある。時期は縄文時代前期末葉と思われる。

土器埋設遺構出土の土器（第146・147・148・193図、写真図版68～70・107：220～230・860～870）

埋設されていた土器と掘り方に混入する土器片がある。埋設された土器は地文のみの粗製の深鉢が多く、胴部下半のものが多い。そのなかで、RZ07の埋設土器（222）が略完形の精製土器であり、またRA07住居跡（旧）→RZ05埋設土器（新）の出土状況が把握される資料である。

RZ05：222は口縁部が外反する深鉢である。頸部には隆帯を巡らし、口縁部と胴部を区画する。口縁部はやや肥厚し、13箇所の刺突とその間を繋ぐ三重の沈線で文様が12単位で繰り返される。頸部は横位の沈線で上下を区画し、波状の沈線を上下２～３段に施す。頸部に巡る隆帯の上には圧痕を加える。胴部は２段LRの縦回転と１段Rの結節縄文が施文される。RZ12：226は、胴部上半を欠損する深鉢で、縦位の綾絡文を施すが、摩滅が著しく詳細は不明である。

柱穴状土坑出土の土器（第148・193図、写真図版70・107：231・871～874）

BⅣq22-PP１：231は粗製深鉢で、他にBⅢm14-PP２：871、BⅢm15-PP１：872、BⅣq22-PP２：873、BⅣr23-PP４：874の破片が出土している。時期は縄文時代前期と思われる。

遺物包含層出土の土器（第149～167・194～212図、写真図版71～89・108～122：232～339・875～1252）

多くは遺物包含層（Ⅰｄ層）から出土した土器で、調査区による出土量に多寡はⅠｄ層の分布を反映している。BⅣv10・BⅣw２・BⅣw３グリッドからまとまって土器が出土している。

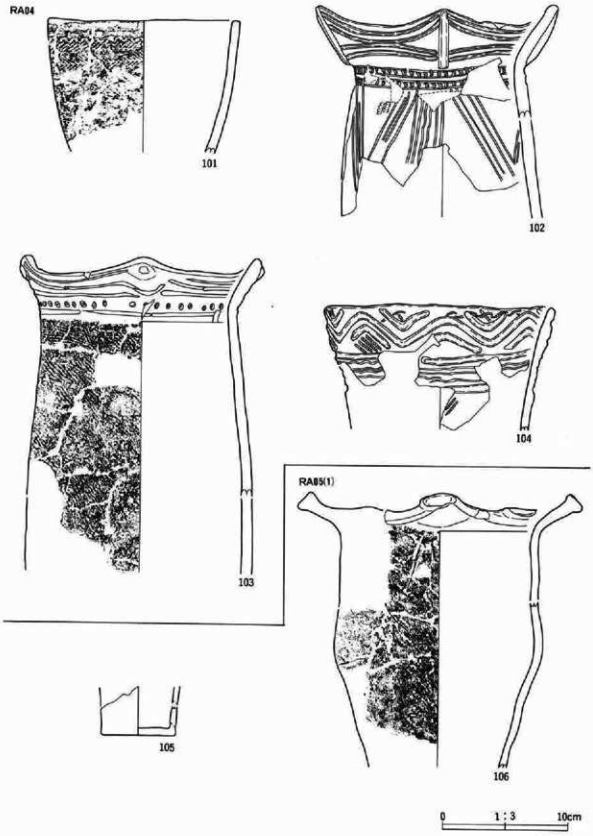
BⅣv10グリッド：238～248・969～991で、頸部から胴部上半に半截竹管による沈線文が施されること。口縁部に隆帯の貼付けによる装飾を付される特徴があるが、246の粗製の深鉢も出土している。BⅣw２グリッド：255～261・1007～1029で、255～261の深鉢はいずれも口縁部が外反する深鉢で、沈線と刺突・圧痕による文様が施され、胴部は斜縄文の地文のみの文様構成は共通する一群である。BⅣw３グリッド：262～272・1030～1057で、269は隆帯を貼り付けて文様を施すが、他は地文のみの粗製の深鉢が出土している。BⅣw５グリッド：279～286・1065～1076で、280・285は口縁が内湾ぎみ立ち上がる類似する器形の深鉢で、285には沈線による文様が施文されている。口縁が外傾する異なる器形の深鉢286が同一層から出土している。286はBⅣw３グリッドのNo.265・268の土器と類似する土器である。BⅣx７グリッド：316～321・1156～1169で、316は口縁が玉状に捲れ、胴部は地文のみの深鉢である。地文は縄文とは異なるようで、No.163と同一のものと思われる。No.1156～1169と同一レベルから出土している。BⅣx11グリッド：326～330・1182～1197で、326・327・328の球胴形深鉢と329の深鉢が同一地点から出土している。328は口縁部に平行・波状の沈線を横位に２本施すが、一部分のみに原体側面圧痕が施されている。波状沈線の凹部と平行沈線の下位に円文が付されている。沈線は左から右に引き継がれている。

註

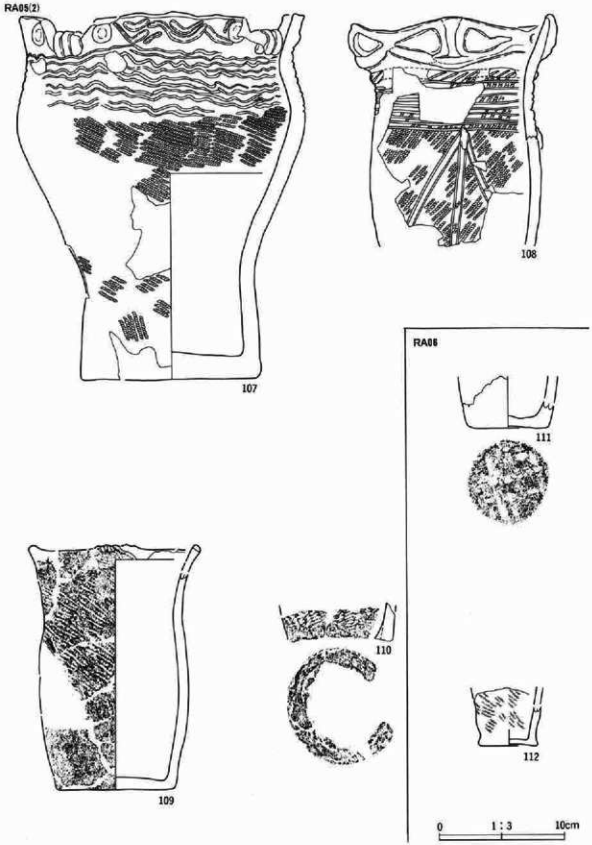
(1) 稲野彰子　1991「大木式土器にみられる球胴形深鉢について一文様の多系統性に注目して」『北上市立博物館研究報告書』第８号。

(2) 土器の型式については、興野　1967～1970、白鳥　1991を参考にして分類を行った。

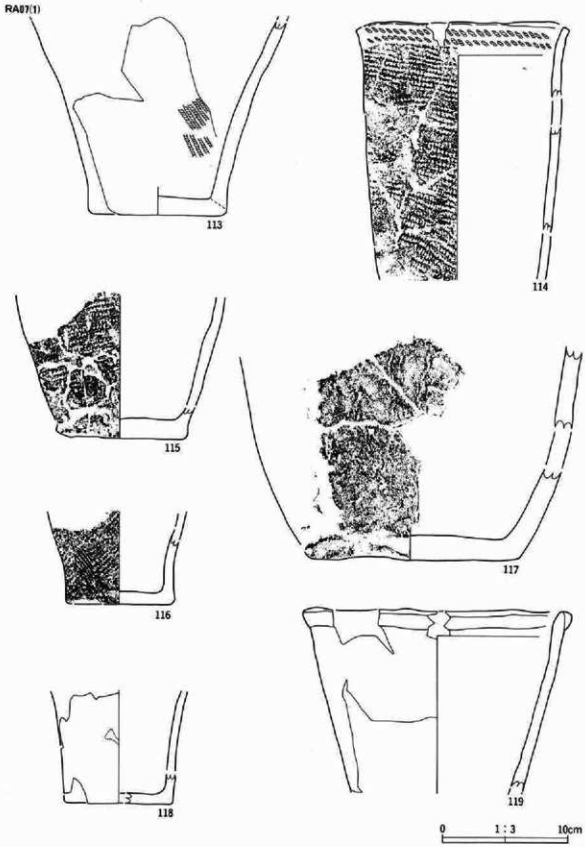
(3) (財)北海道埋蔵文化財センター　1986『登別市川上Ｂ遺跡・Ｃ地区』他に類例がある。



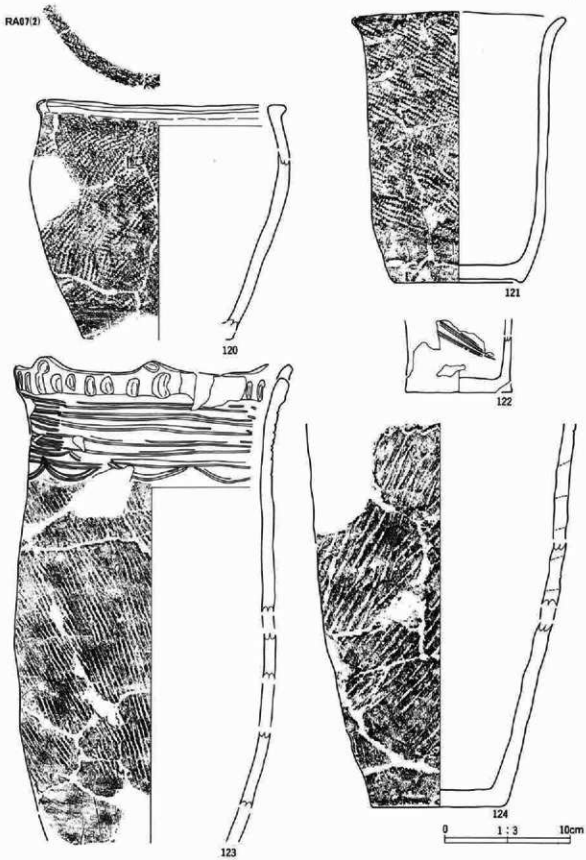
第125図　土器(1)：RA04・05(1)



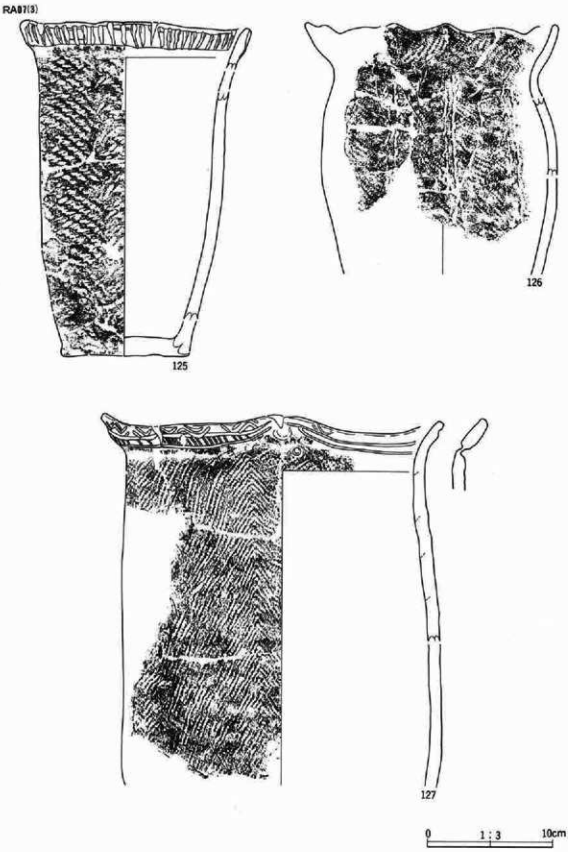
第126図　土器(2)：RA05(2)・06



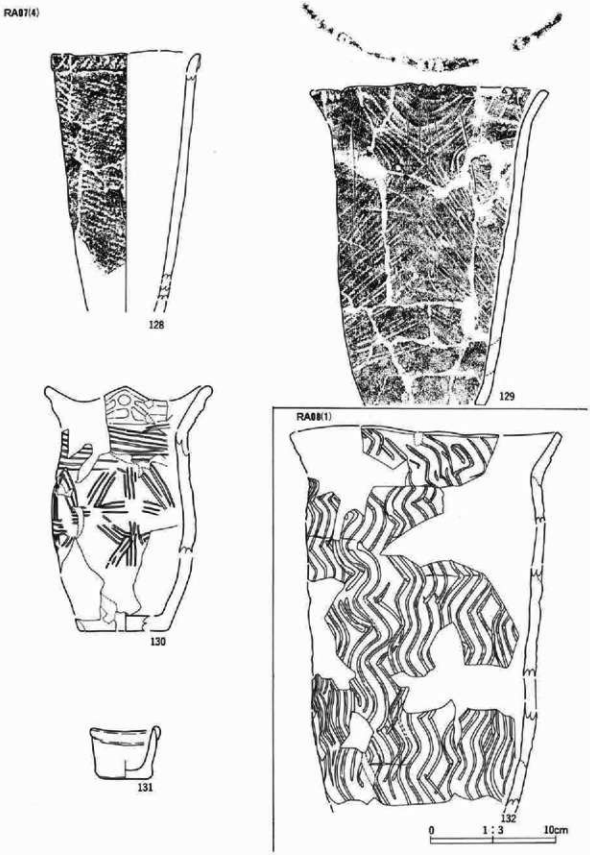
第127図　土器(3)：RA07(1)



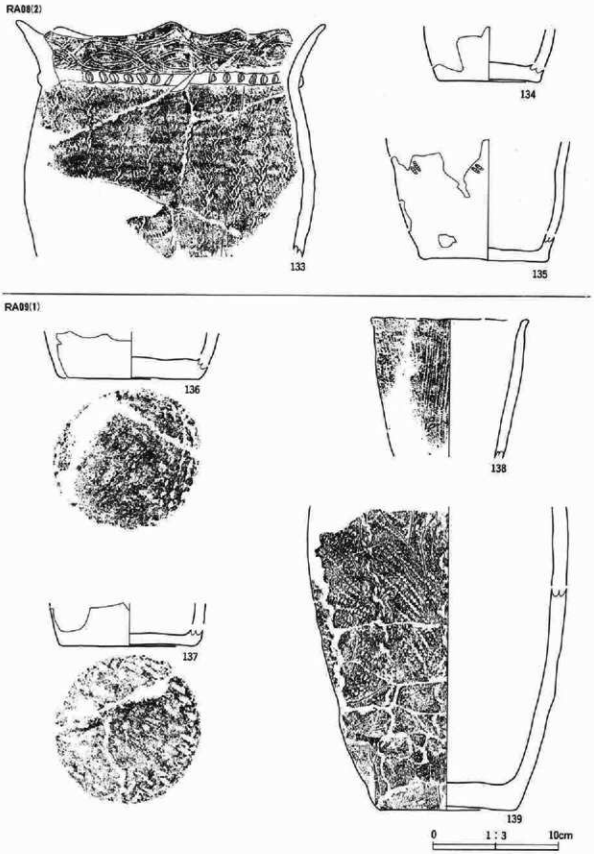
第128図　土器(4)：RA07(2)



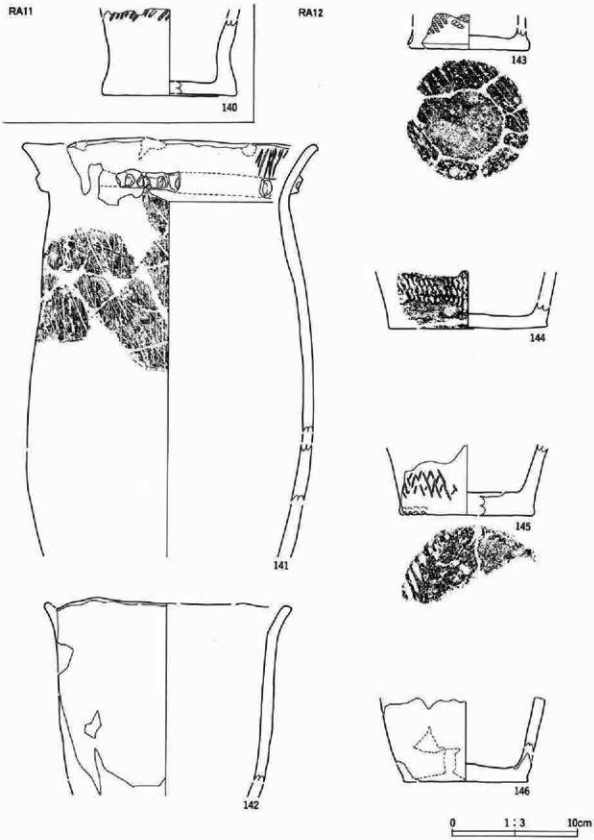
第129図　土器(5)：RA07(3)



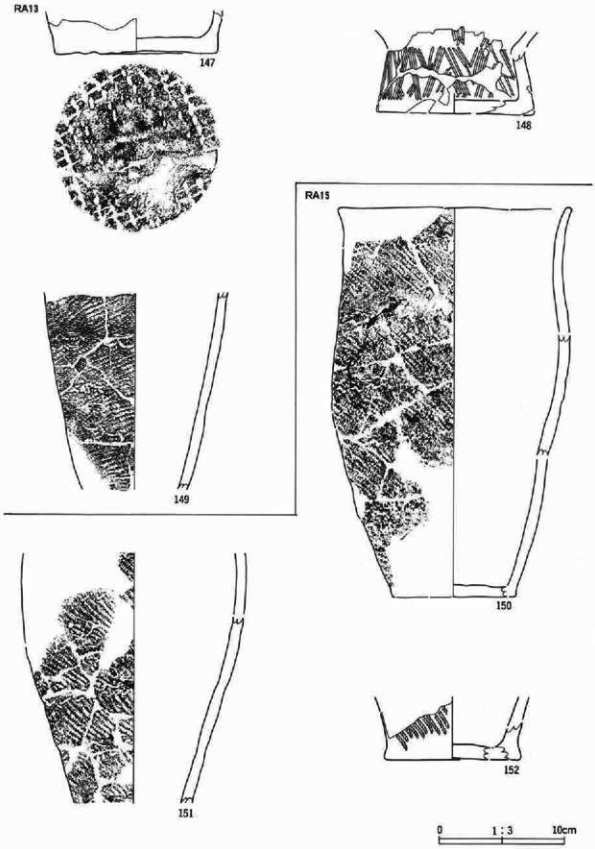
第130図　土器(6)：RA07(4)・08(1)



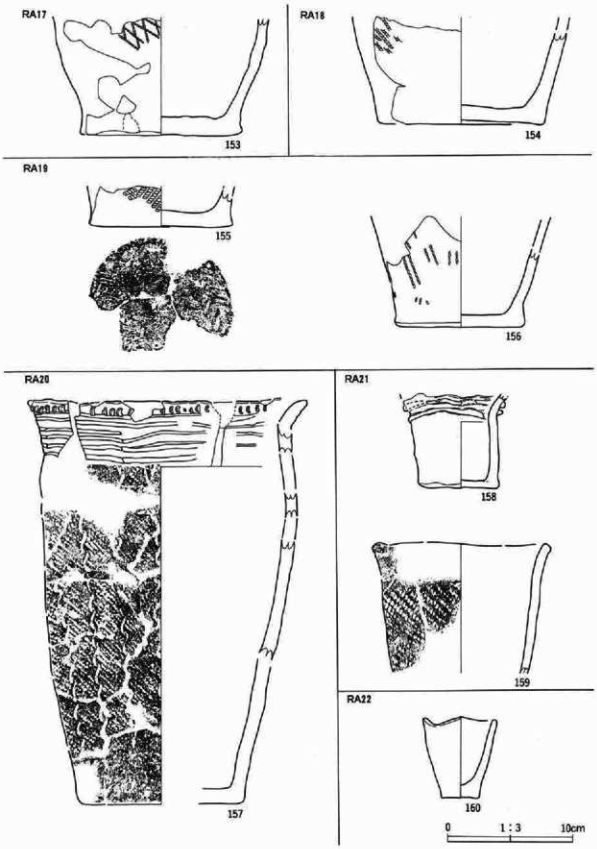
第131図　土器(7)：RA08(2)・09(1)



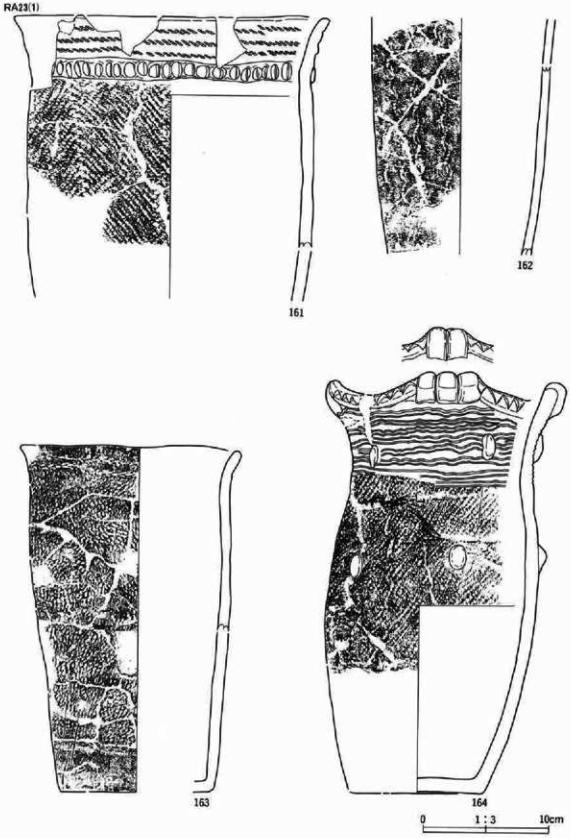
第132図　土器(8)：RA11・12



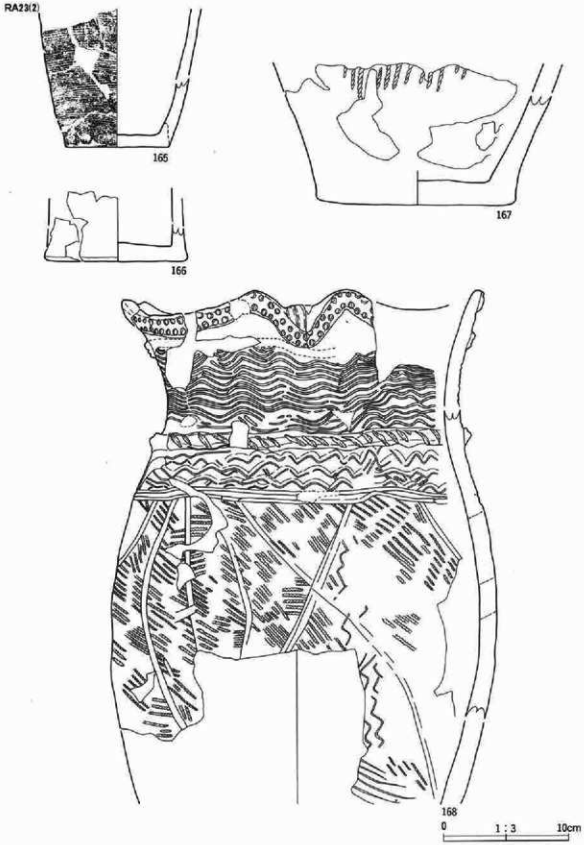
第133図　土器(9)：RA13・15



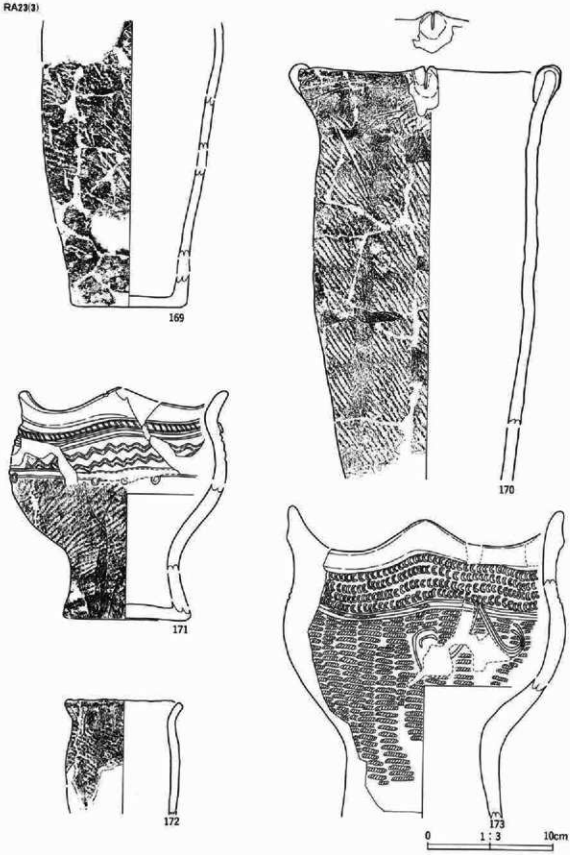
第134図　土器(10)：RA17・18・19・20・21・22



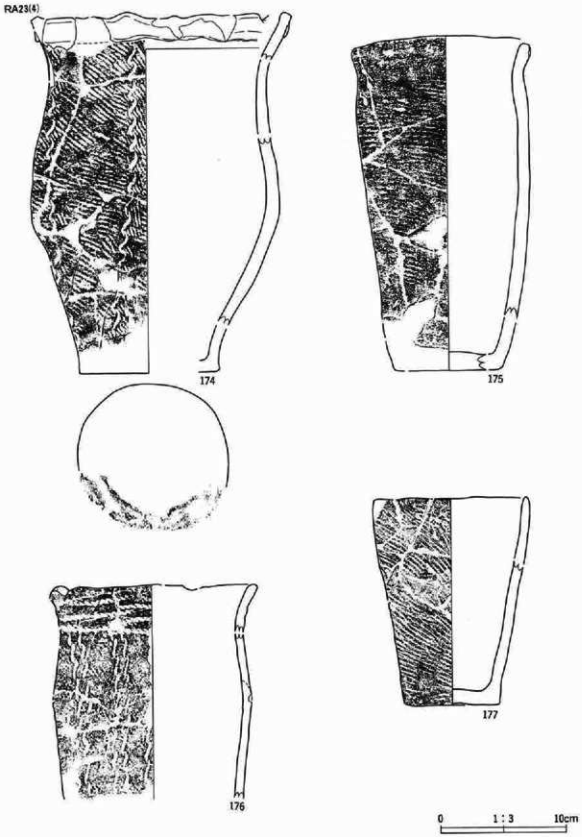
第135図　土器(II)：RA23(1)



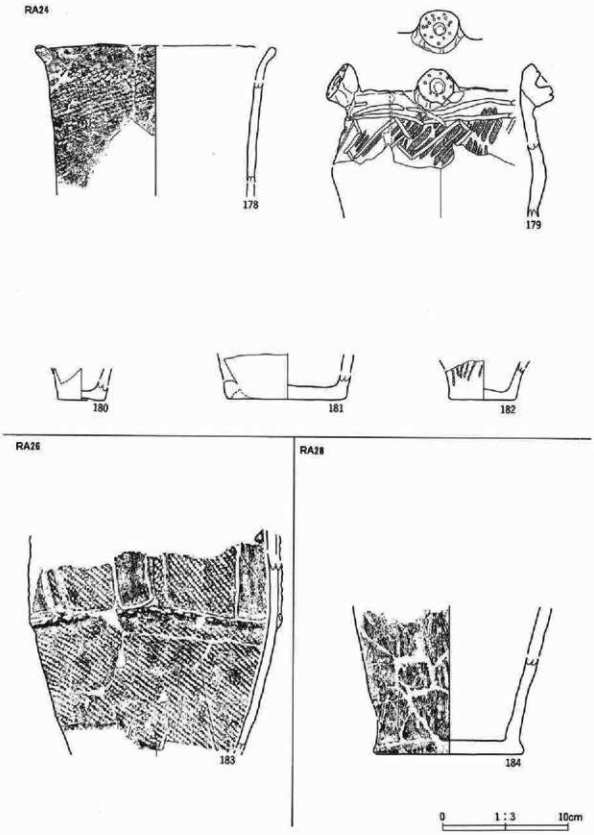
第136図　土器(12)：RA23(2)



第137図　土器(13)：RA23(3)

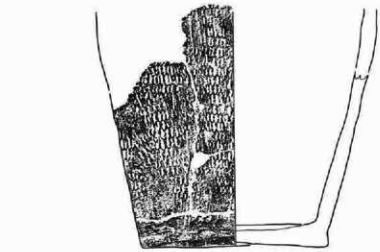


第138図　土器(4)：RA23(4)



第139図　土器(15)：RA24・26・28

RA29

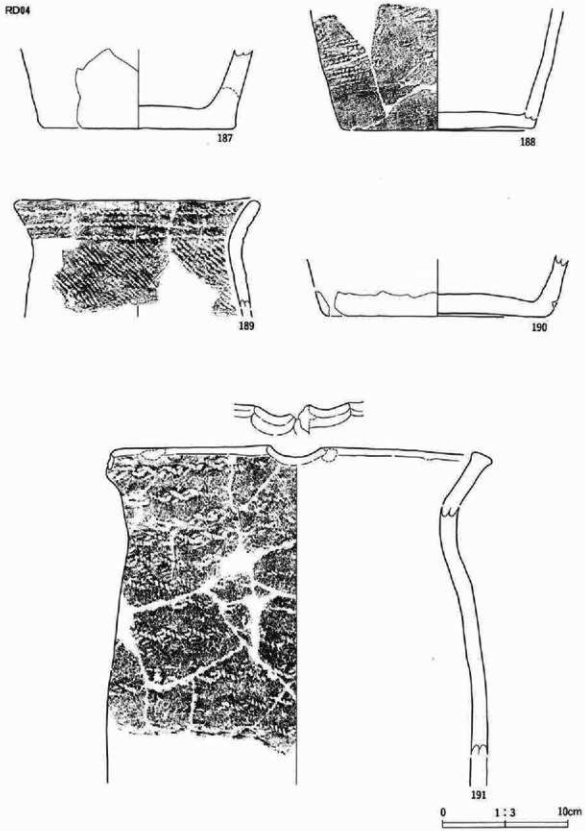


185

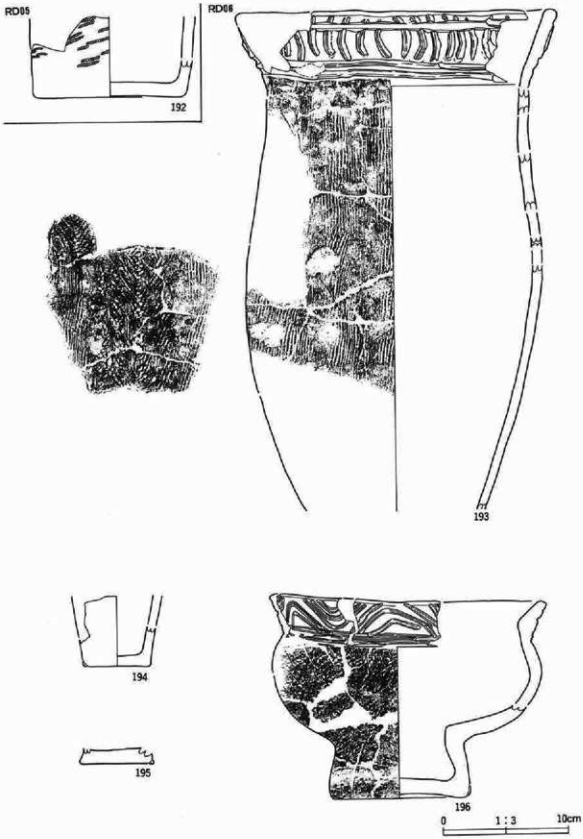
186

0　1：3　10cm

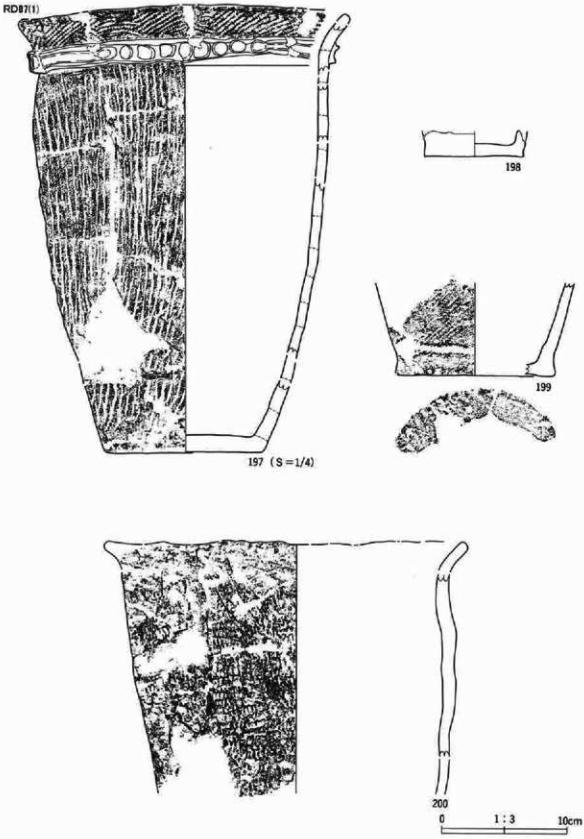
第140図　土器06：RA29



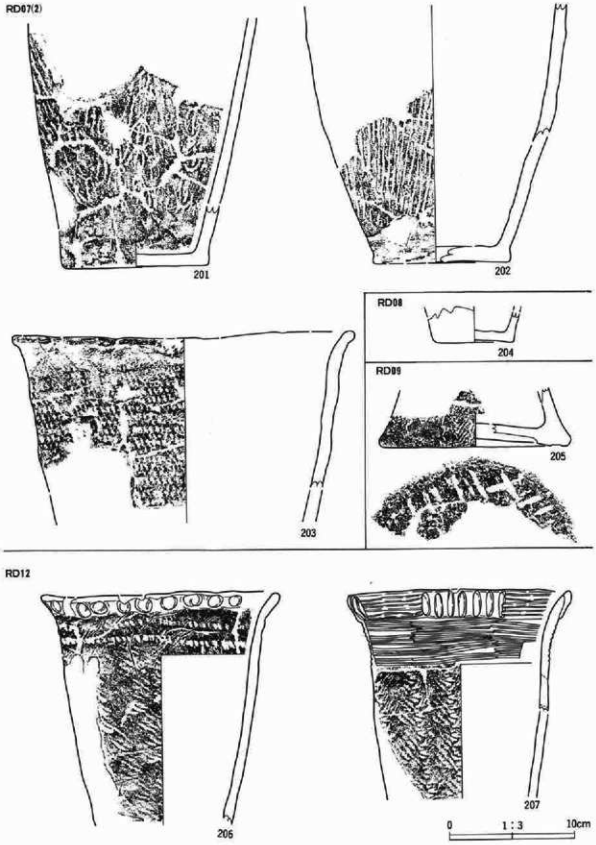
第141図　土器(7)：RD04



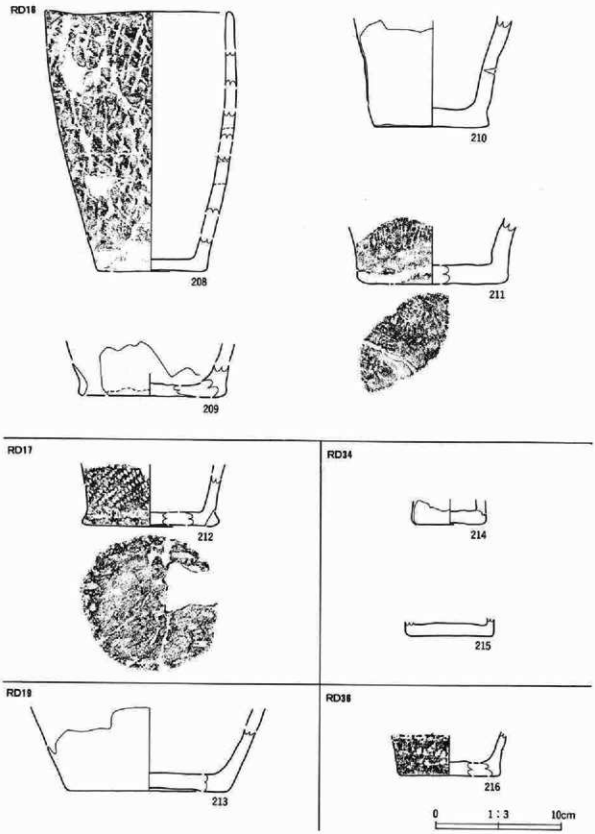
第142図　土器(3)：RD05・06



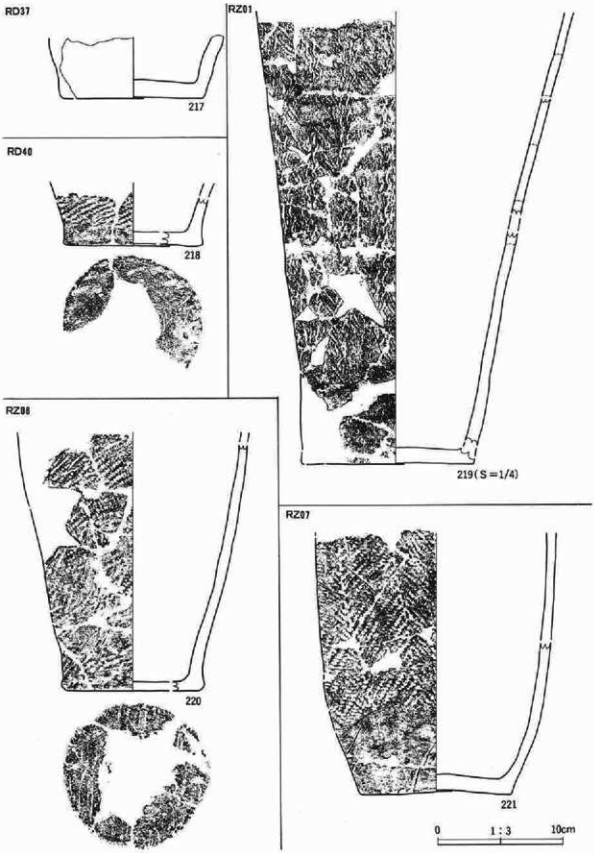
第143図　土器(9)：RD07(1)



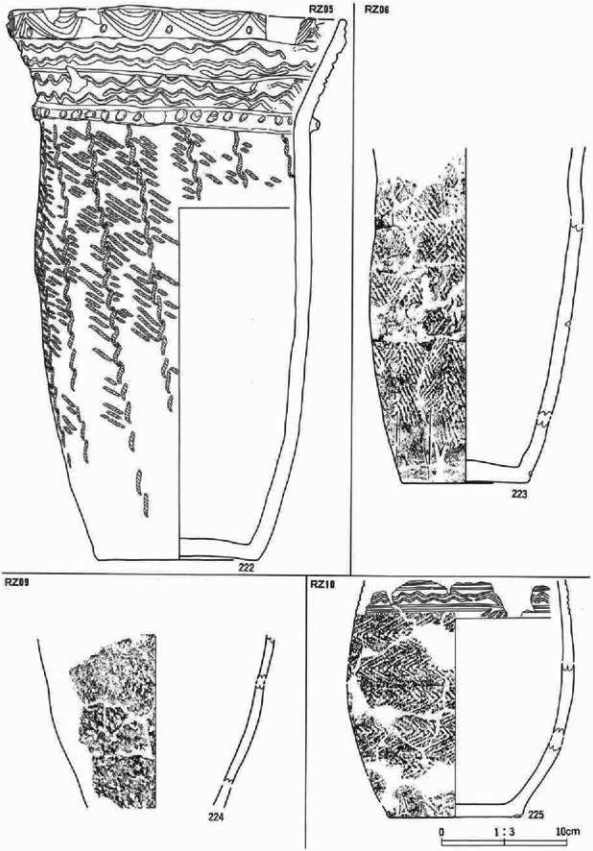
第144図　土器(2)：RD07(2)・08・09・12



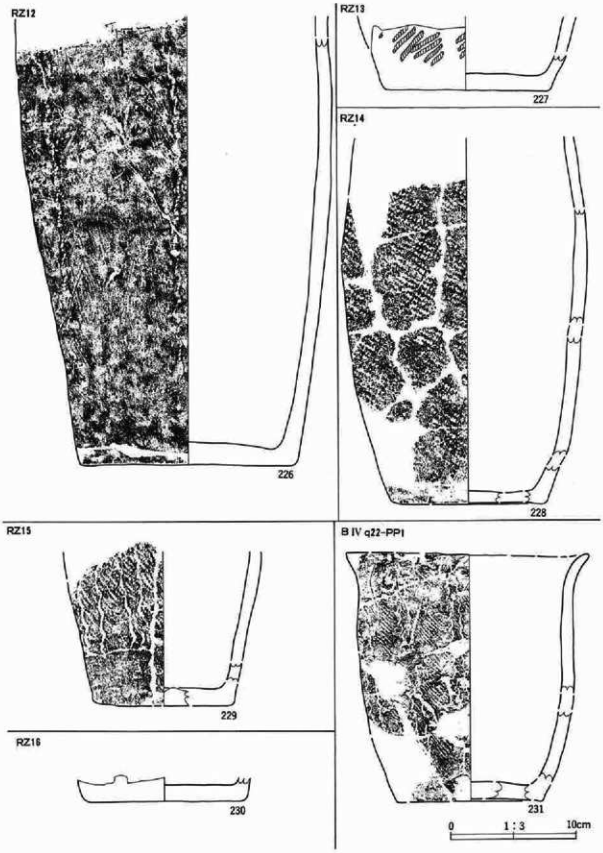
第145図　土器(21)：RD16・17・19・34・36



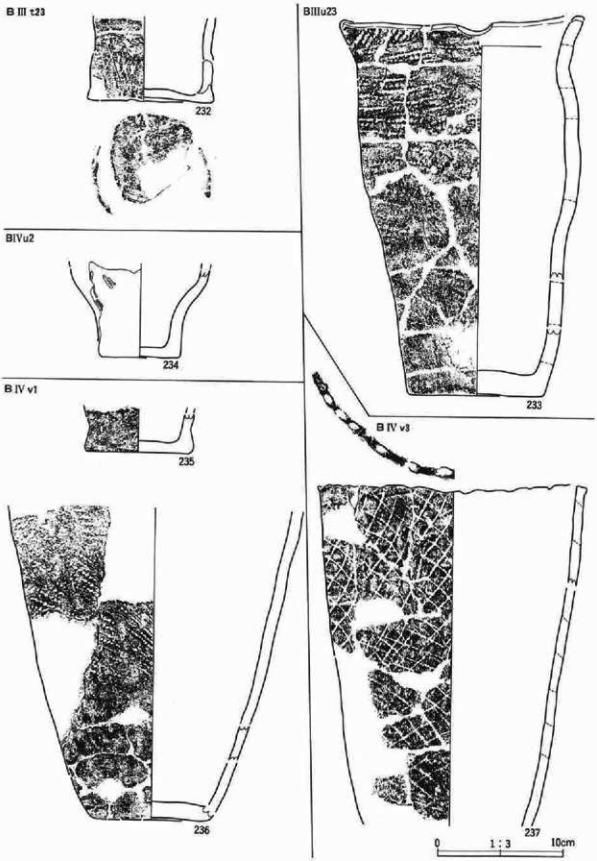
第146図　土器(2)：RD37・40、RZ01・07・08



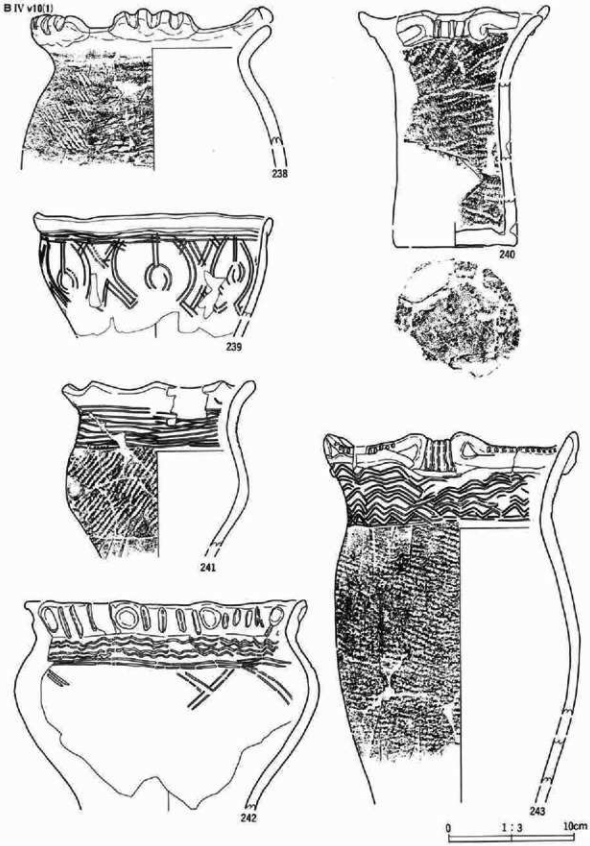
第147図　土器(2)：RZ05・06・09・10



第148図　土器(4)：RZ12・13・14・15・16、B IV q22-PP1

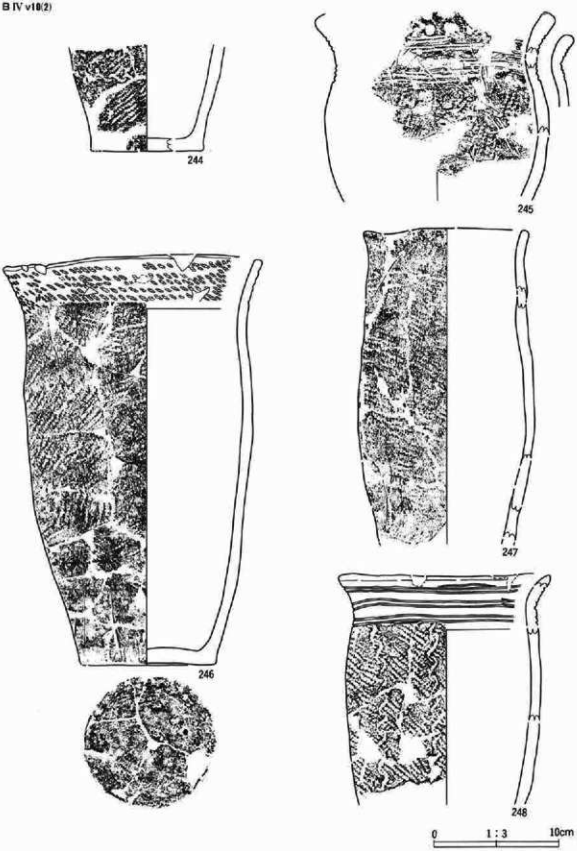


第149図　土器(29)：BIIIt23、u23、BIVu2、v1、v3

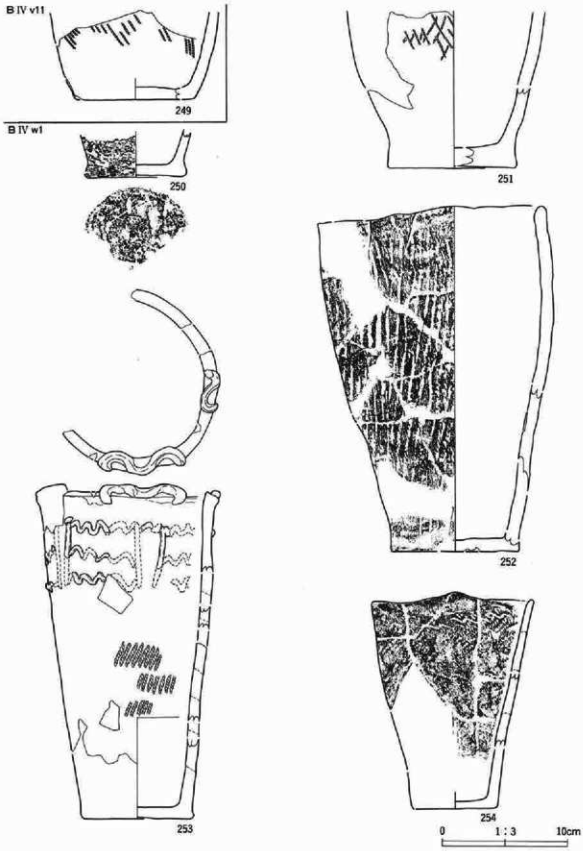


第150図　土器(2)：B IV v10(1)

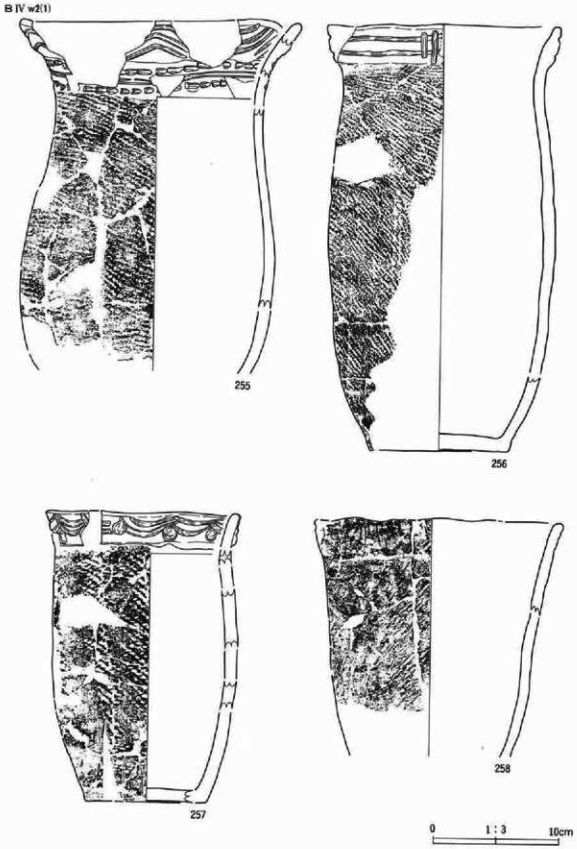
B IV v10(2)



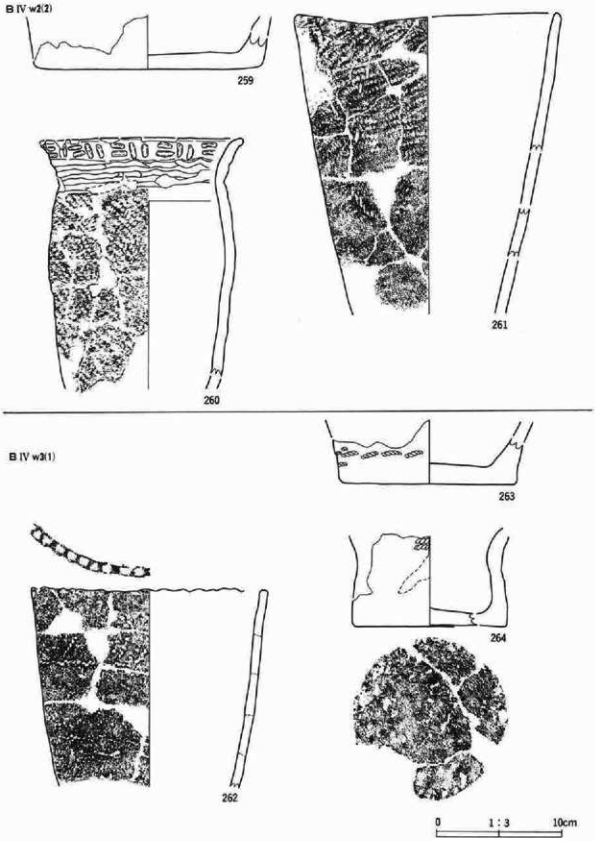
第151図　土器(7)：B IV v10(2)



第152図　土器(28)：BIVv11・w1

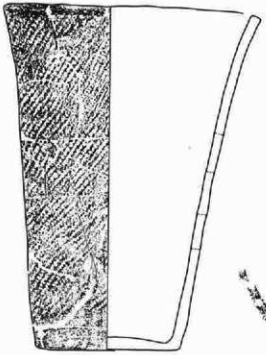


第153図　土器29：B IV w2(1)

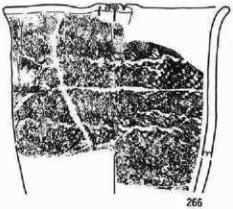


第154図　土器(30)：B IV w2(2)・w3(1)

B IV w3(2)

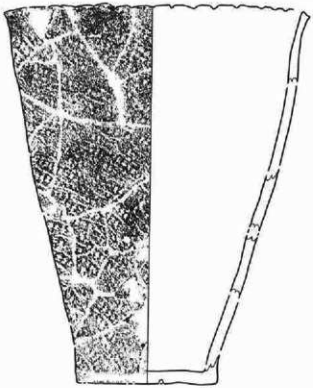


265



266

267



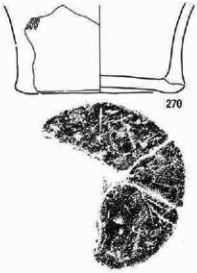
268

0 1:3 10cm

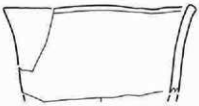
第155図　土器(3)：B IV w3(2)

B IV w3(3)

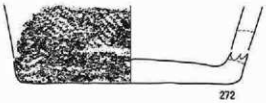
269



270

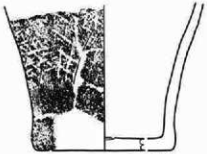


271

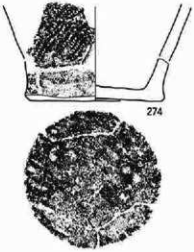


272

B IV w4(1)



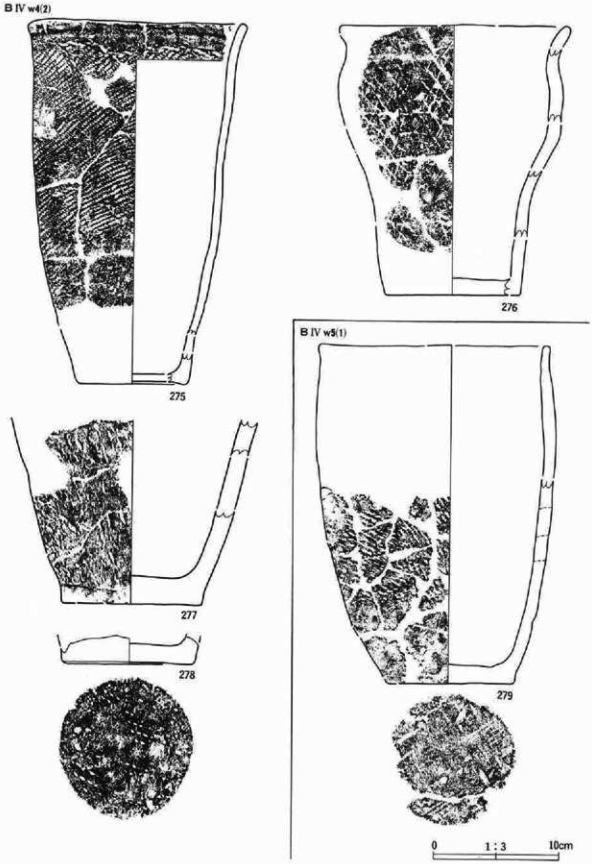
273



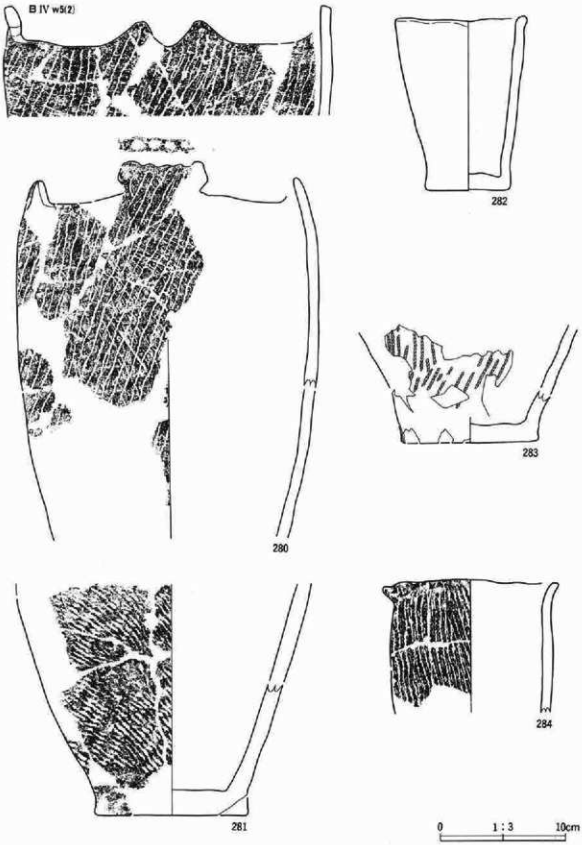
274

0　1：3　10cm

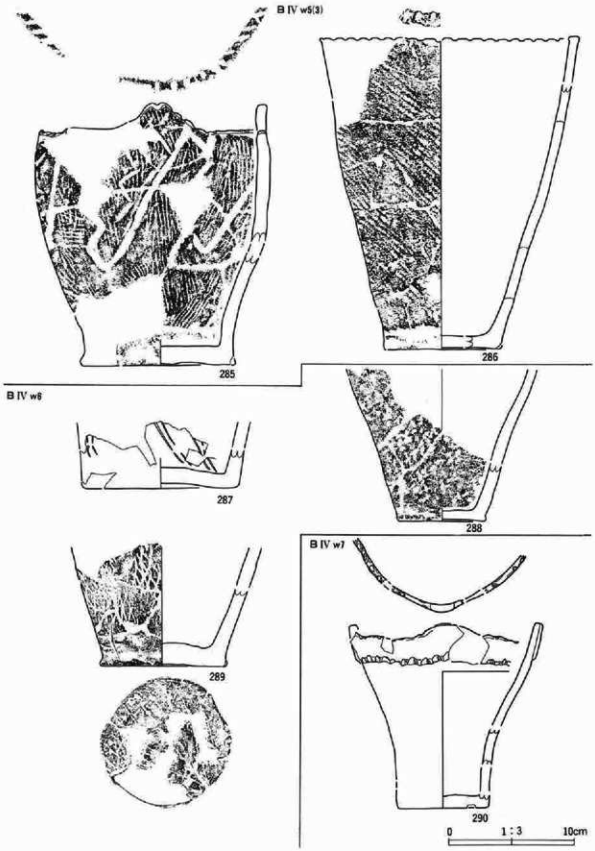
第156図　土器(32)：B IV w3(3)・w4(1)



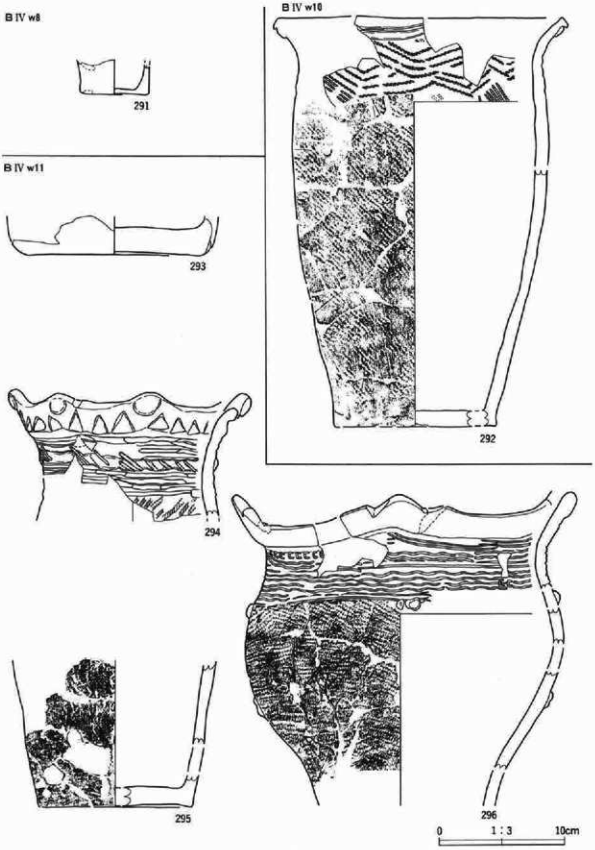
第157図　土器(13)：B IV w4(2)・w5(1)



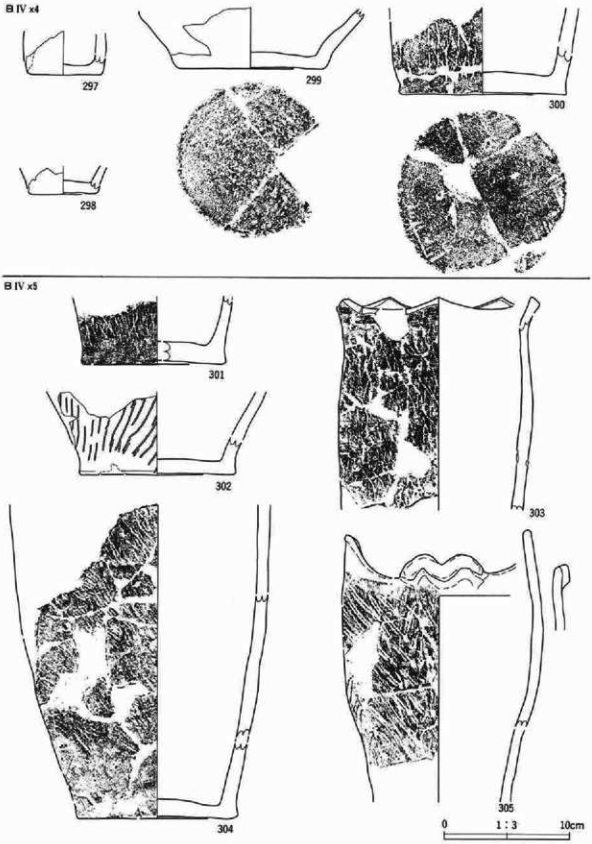
第158図　土器(34)：B IV w5(2)



第159図　土器(35)：B IV w5(3)・w6・w7

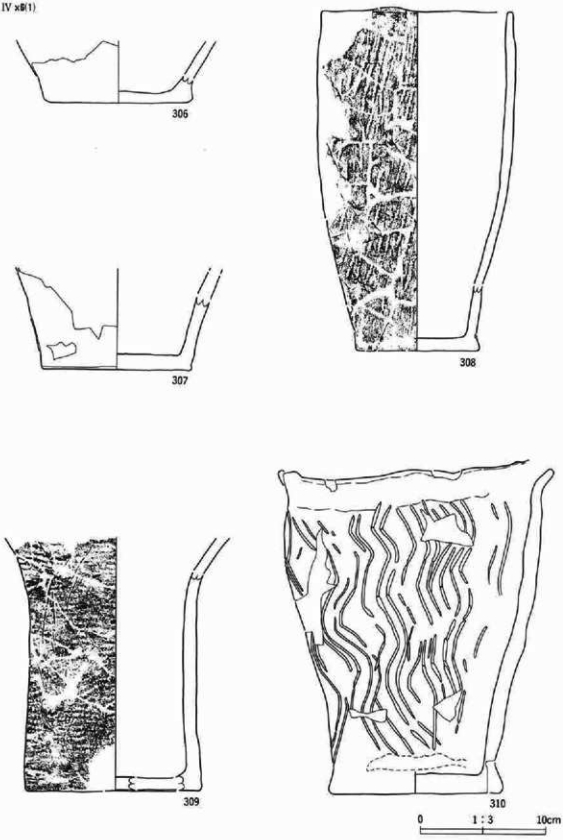


第160図　土器(6)：B IV w8・w10・w11

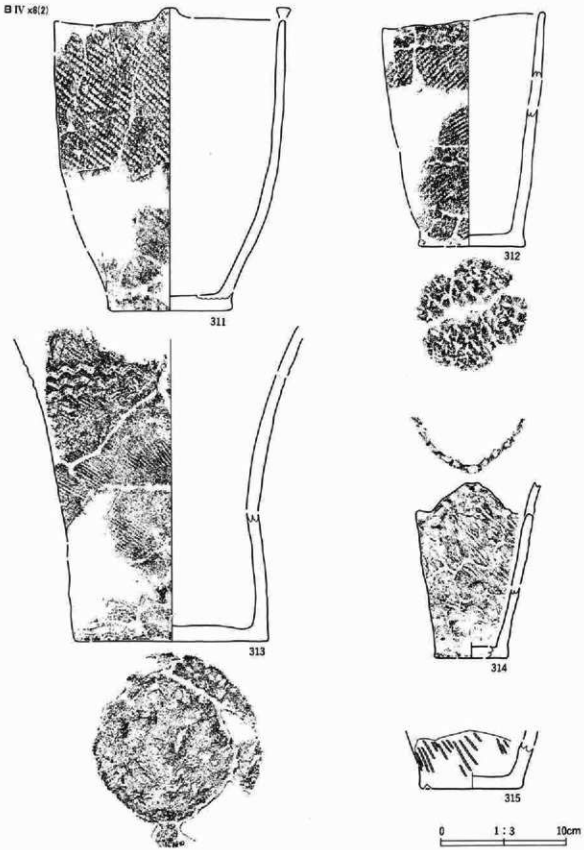


第161図　土器(37)：B IV x4・x5

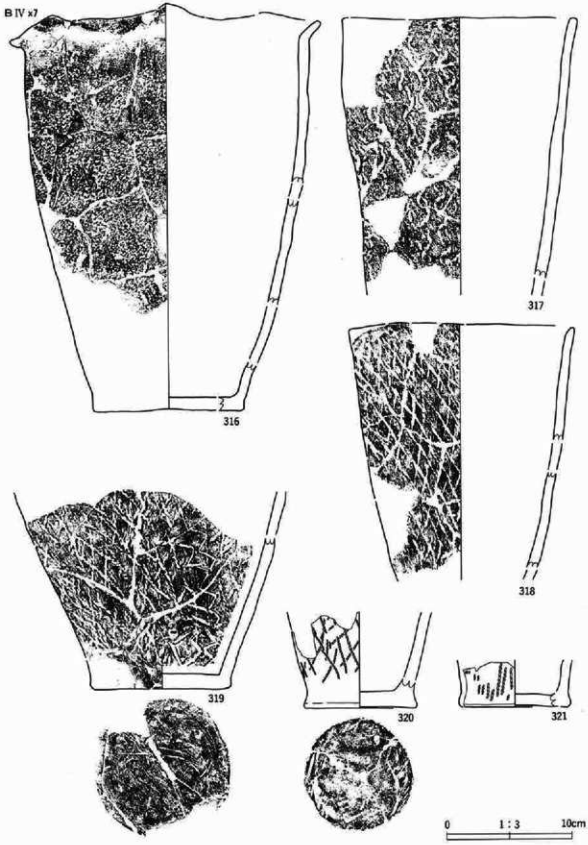
B IV x6(1)



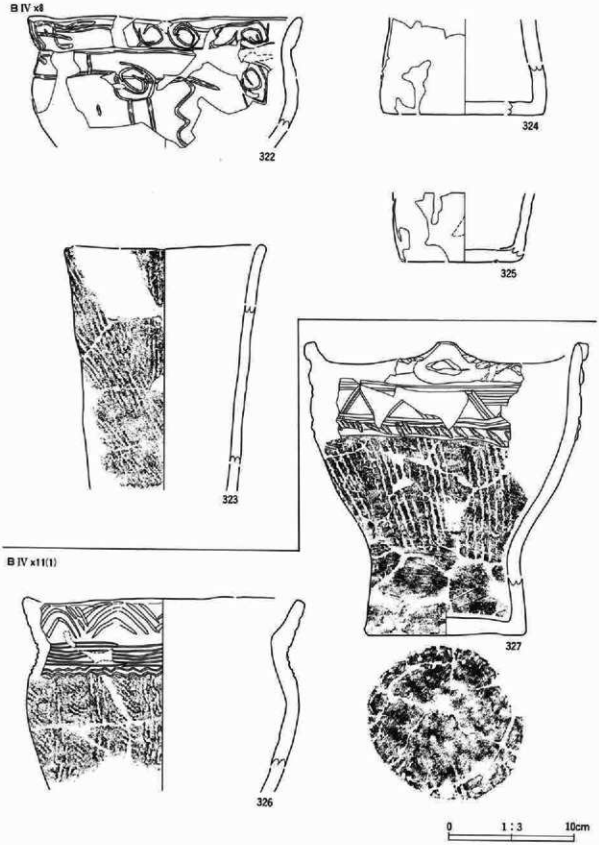
第162図　土器⑩：B IV x6(1)



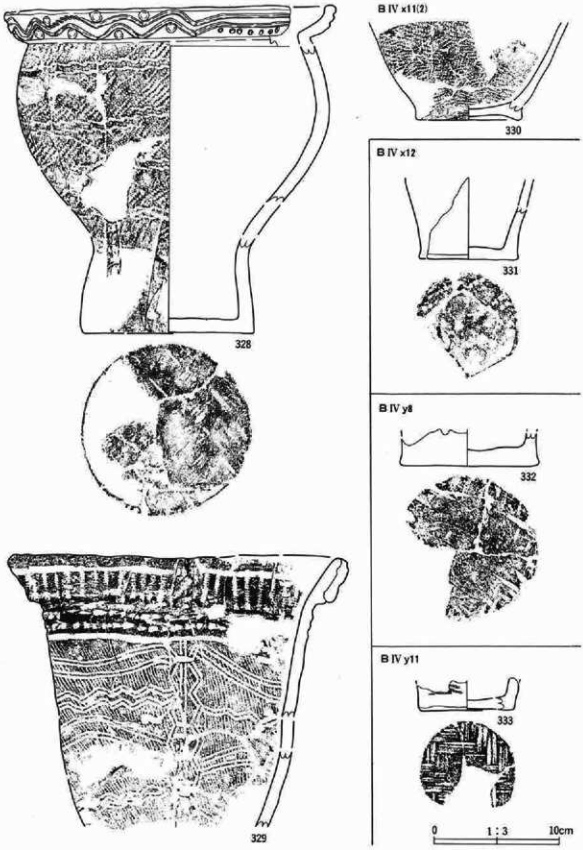
第163図　土器(9)：B IV x6(2)



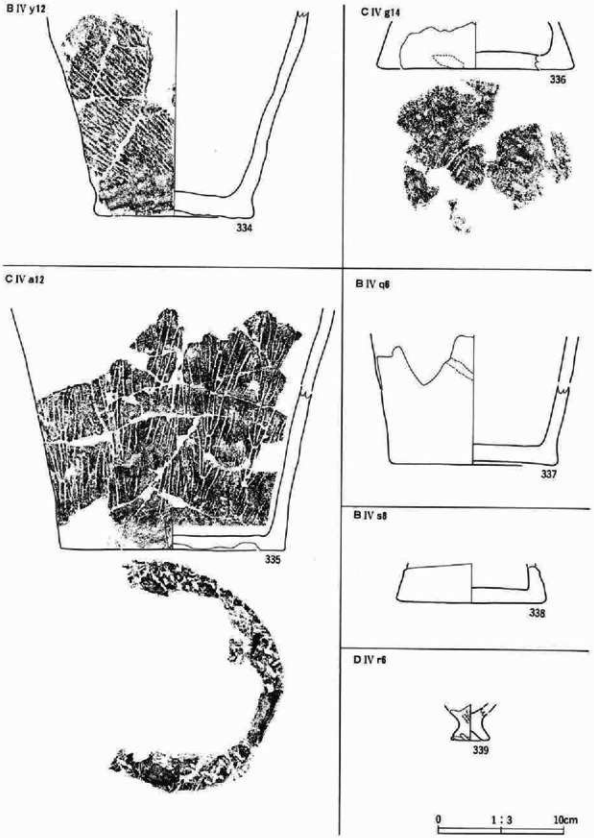
第164図　土器40：B IV x 7



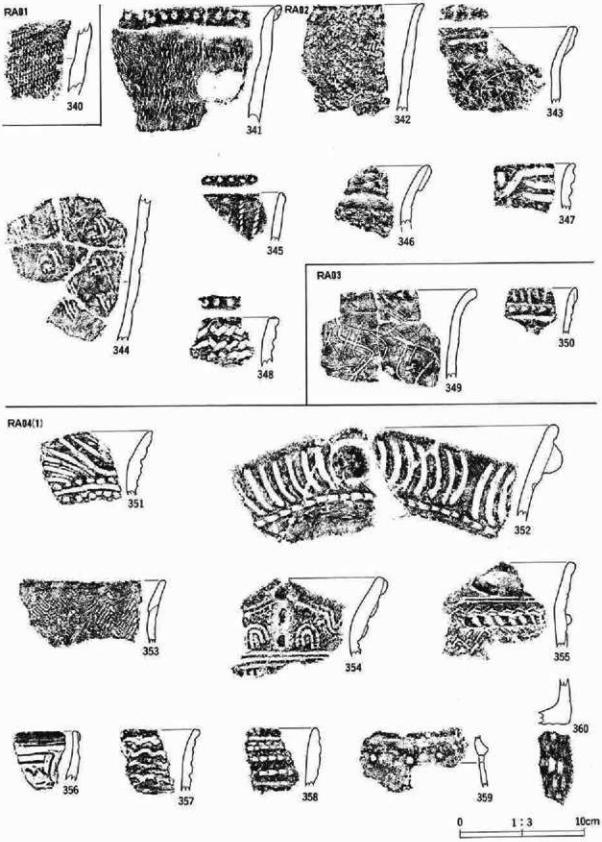
第165図　土器(41)：B IV x8・x11(1)



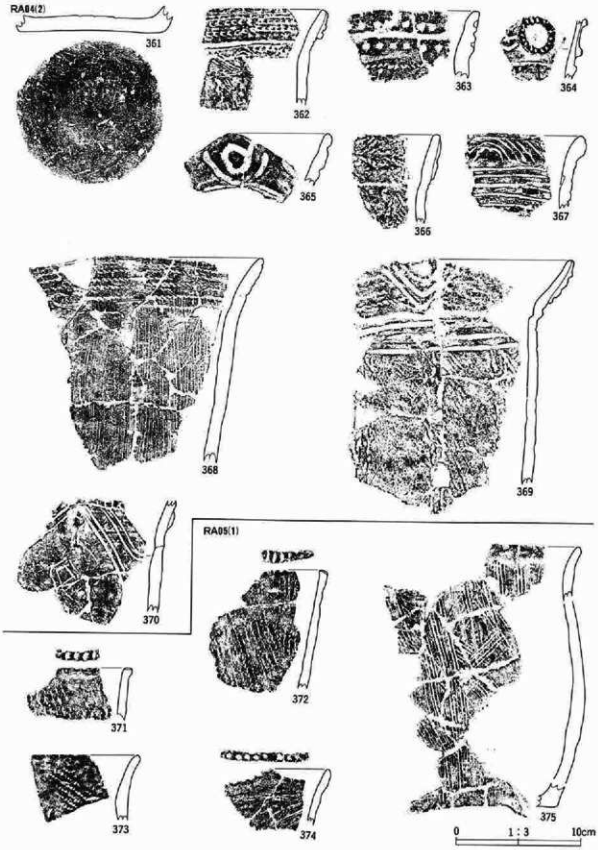
第166図　土器(42)：B IV x11(2)・x12、y8・y11



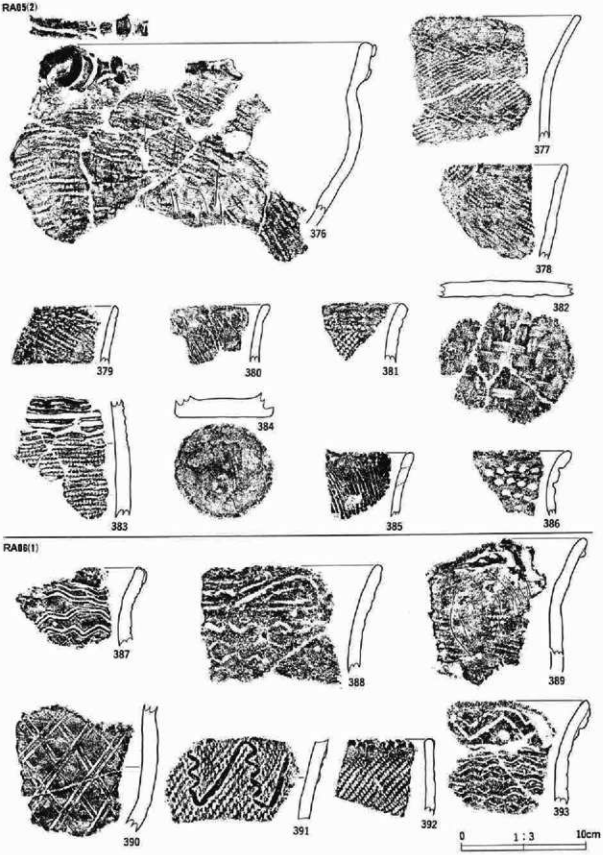
第167図　土器(43)：B IV y12、C IV a12、g14、B IV q6、s8、D IV r6



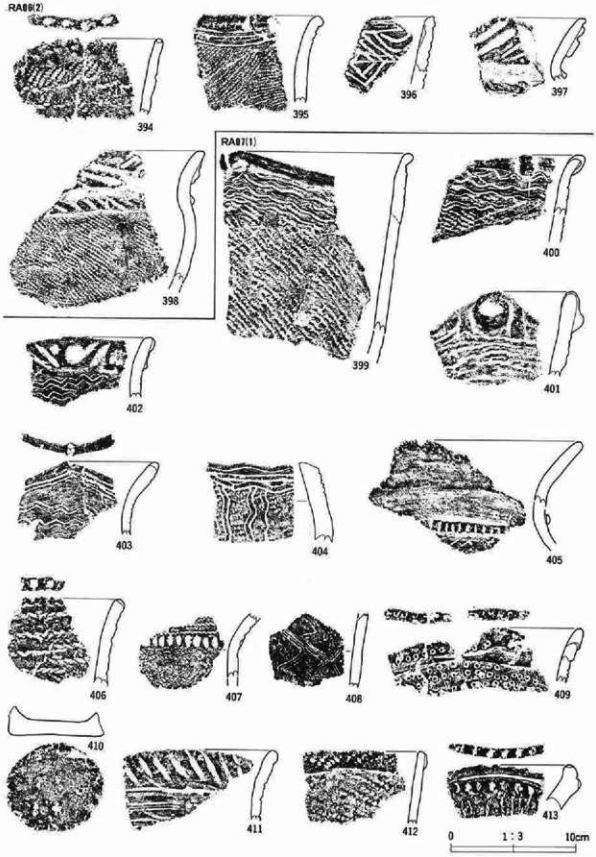
第168図　土器(4)：RA01・02・03・04(1)



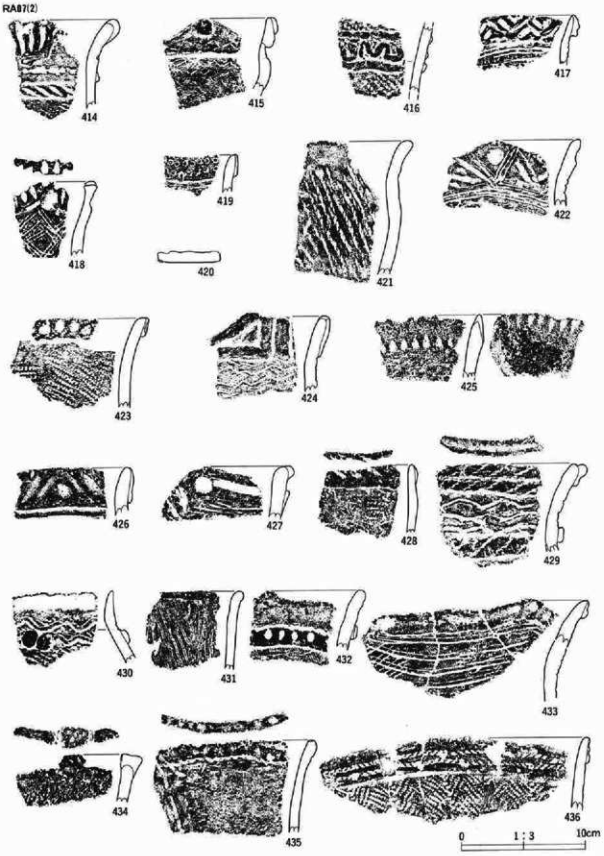
第169図　土器49：RA04(2)・05(1)



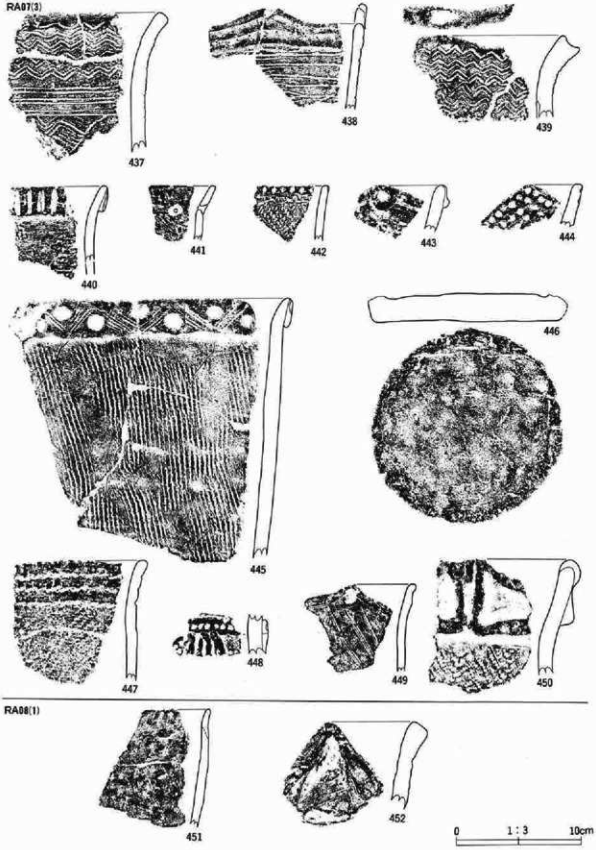
第170図　土器(46)：RA05(2)・06(1)



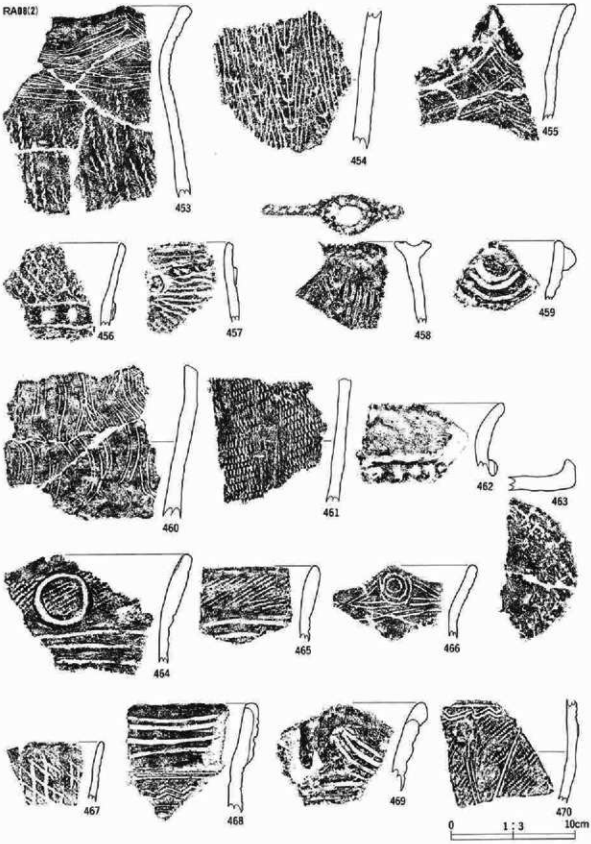
第171図　土器(7)：RA06(2)・07(1)



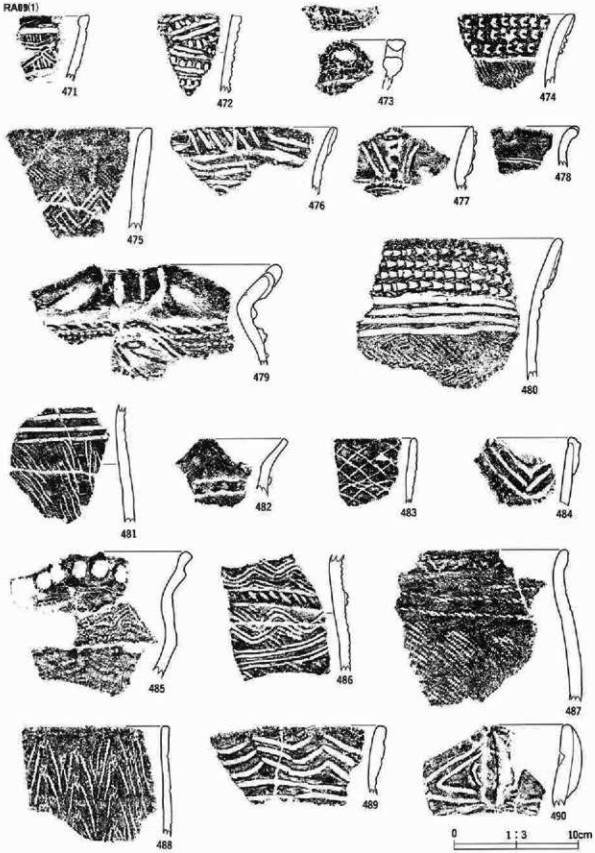
第172図　土器(49)：RA07(2)



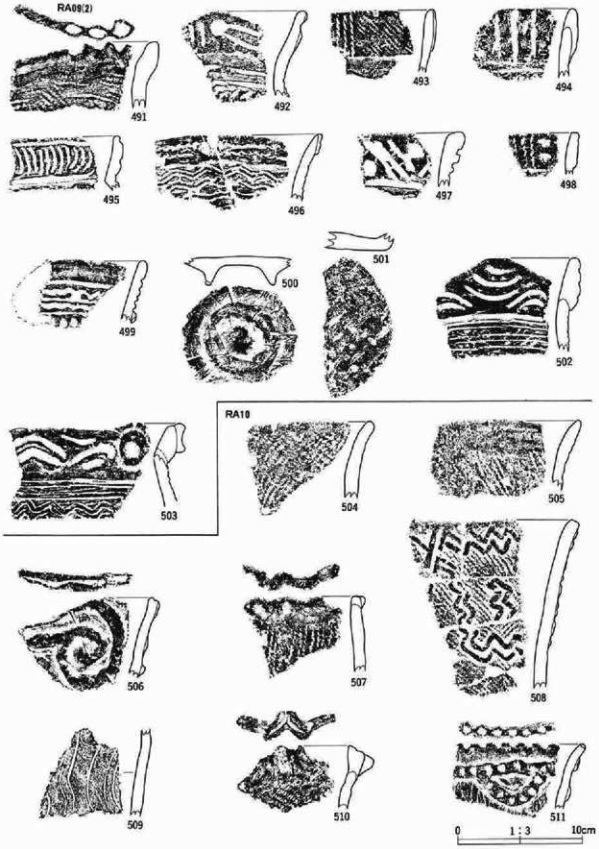
第173図　土器(49：RA07(3)・08(1)



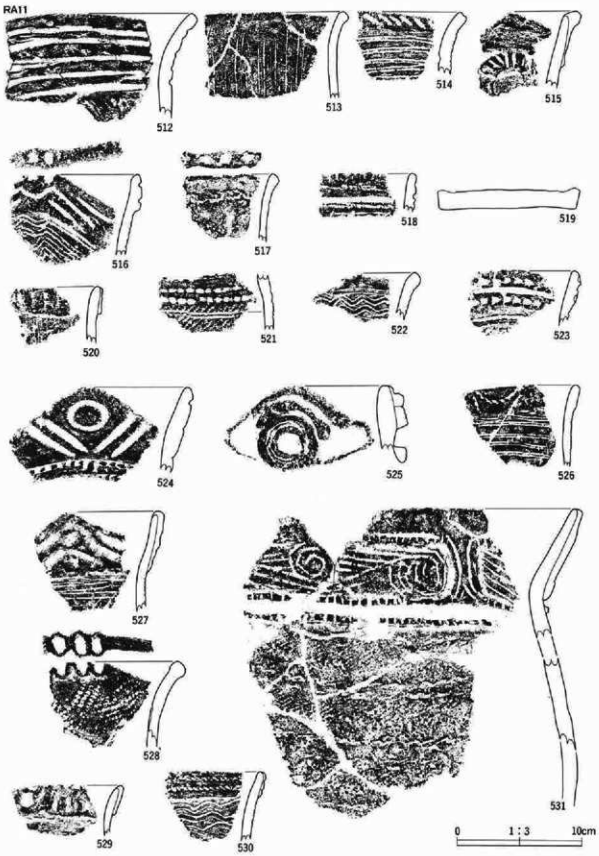
第174図　土器(5)：RA08(2)



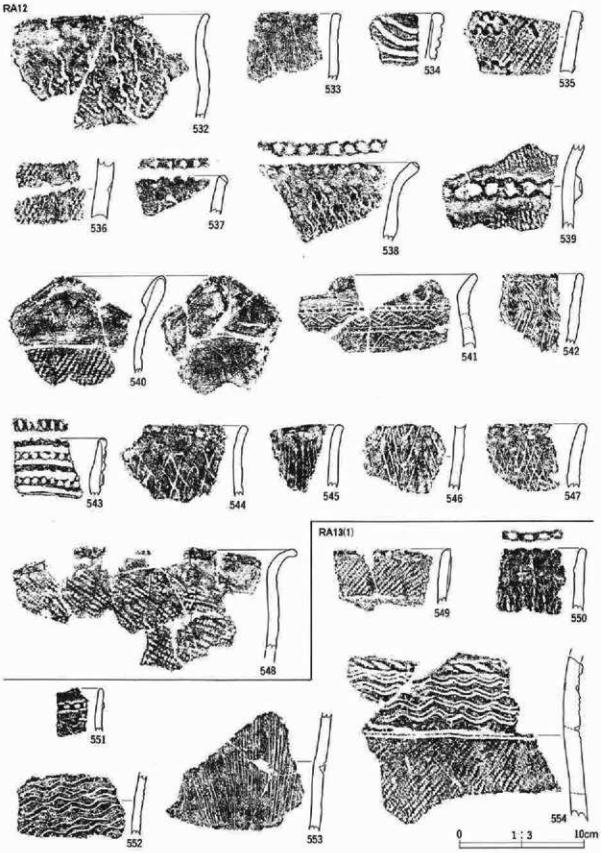
第175図　土器(5)：RA09(1)



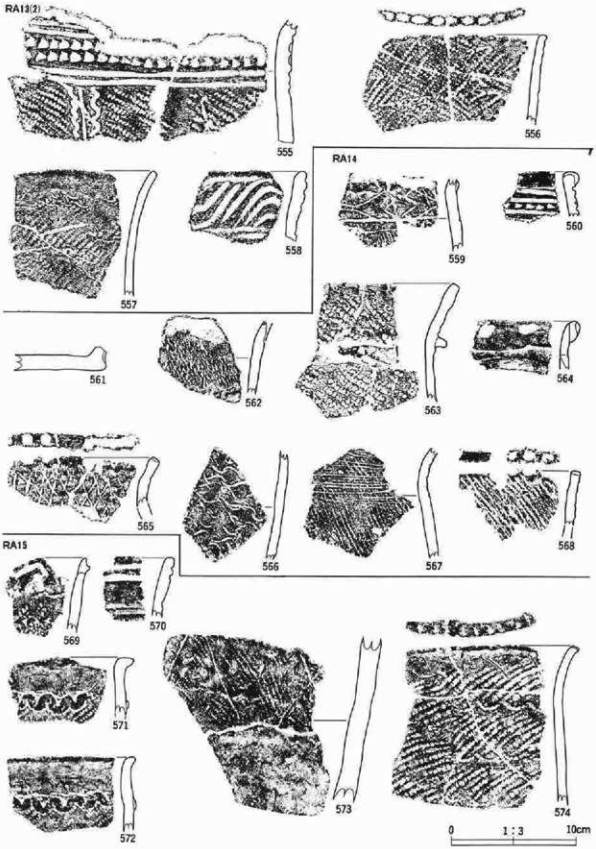
第176図　土器(2)：RA09(2)・10



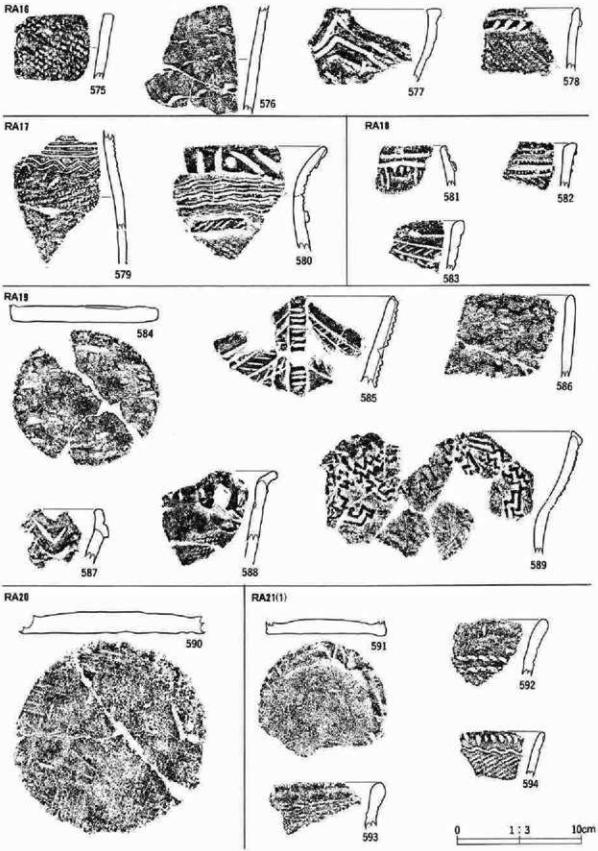
第177図　土器53：RA11



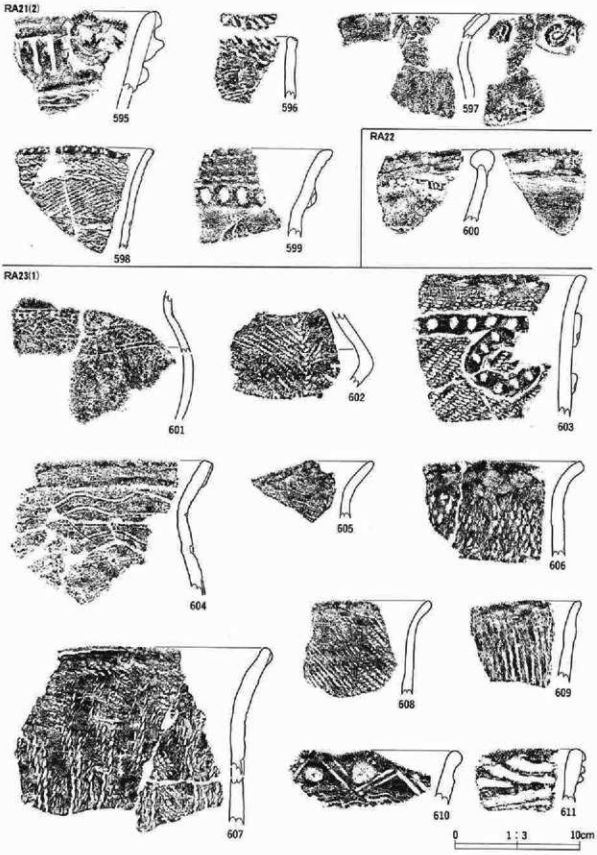
第178図　土器50：RA12・13(1)



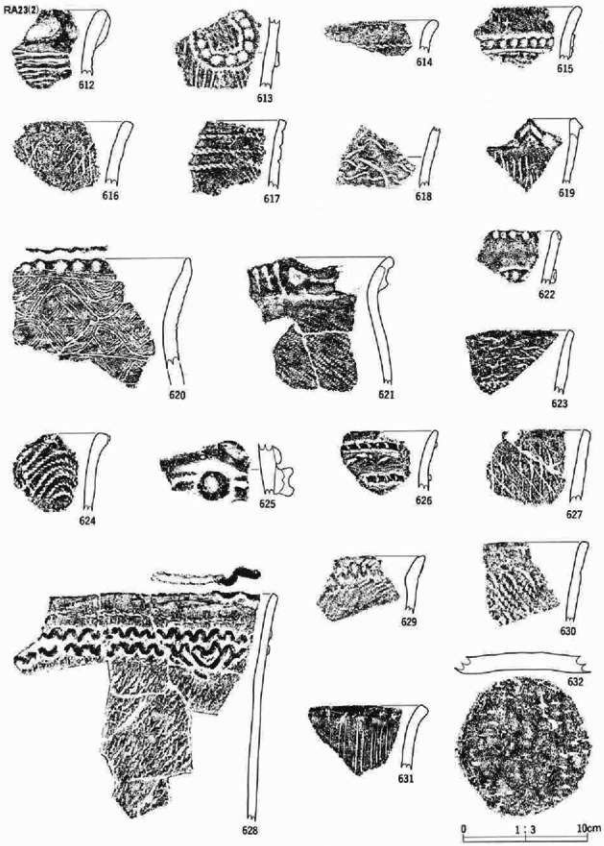
第179図　土器59：RA13(2)・14・15



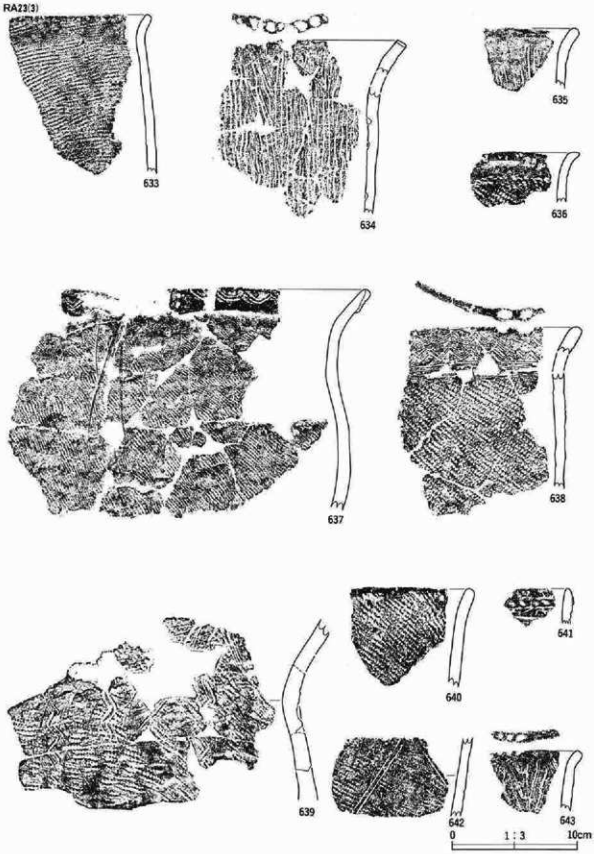
第180図　土器⑤：RA16・17・18・19・20・21(1)



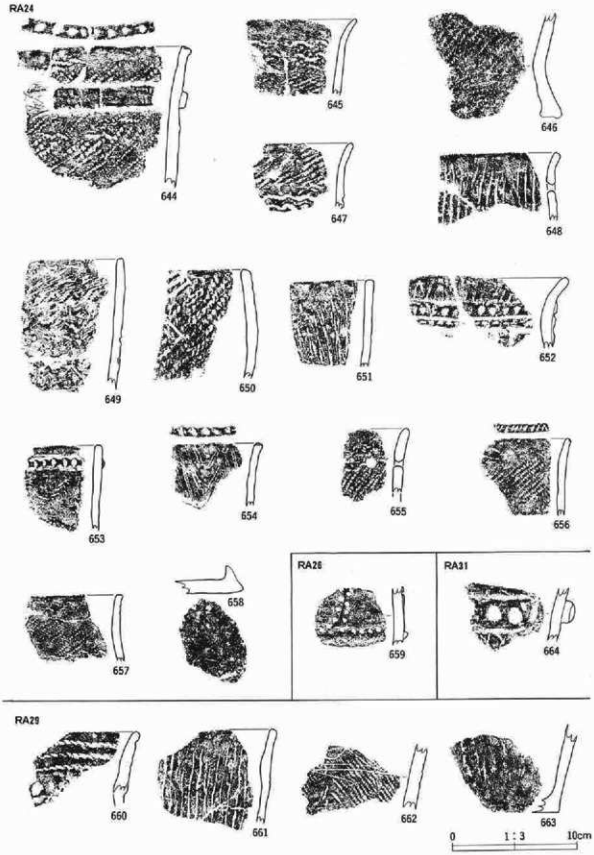
第181図　土器(7)：RA21(2)・22・23(1)



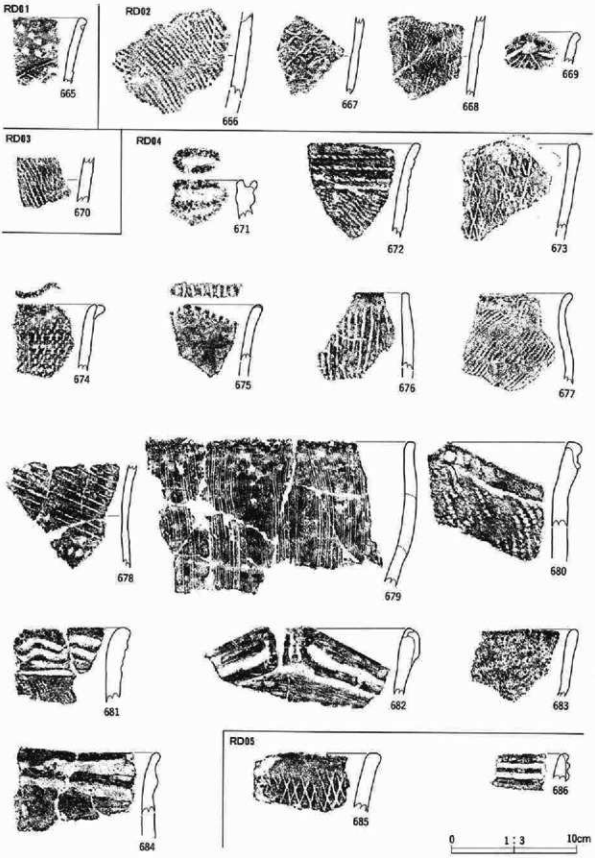
第182図　土器⑤：RA23(2)



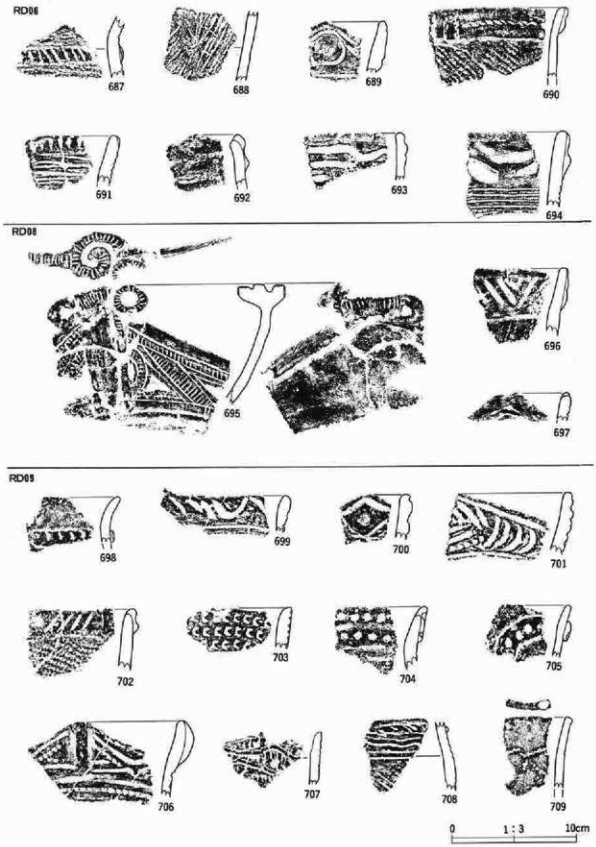
第183図　土器類：RA23(3)



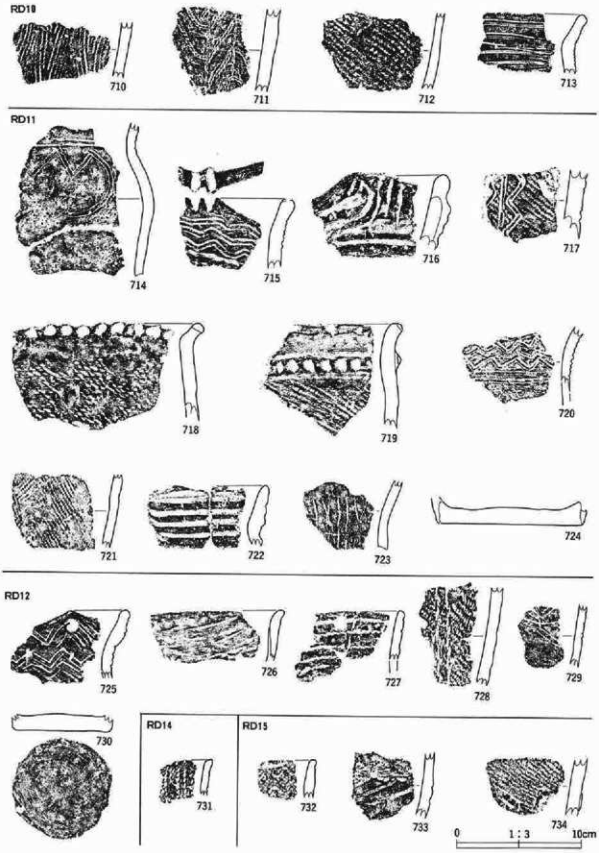
第184図　土器(10)：RA24・26・29・31



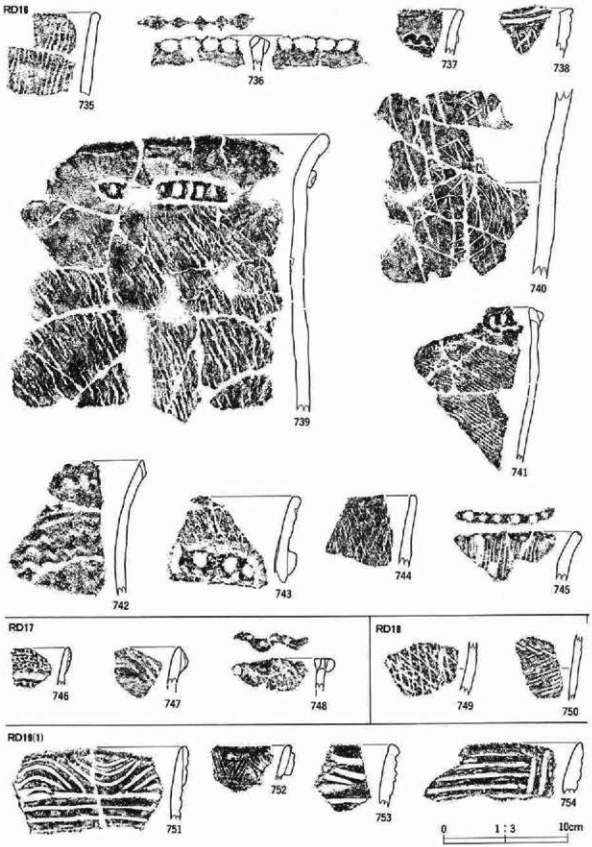
第185図　土器(1)：RD01・02・03・04・05



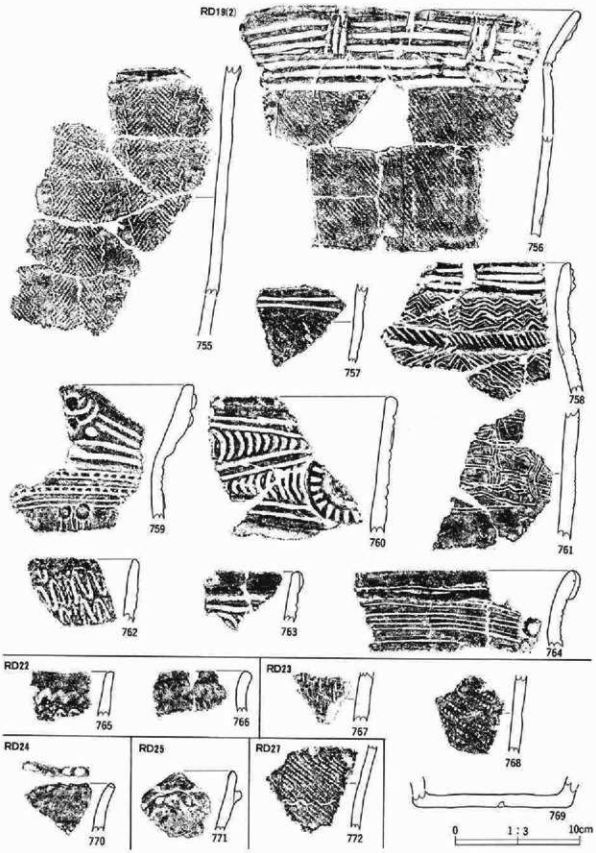
第186図　土器(2)：RD06・08・09



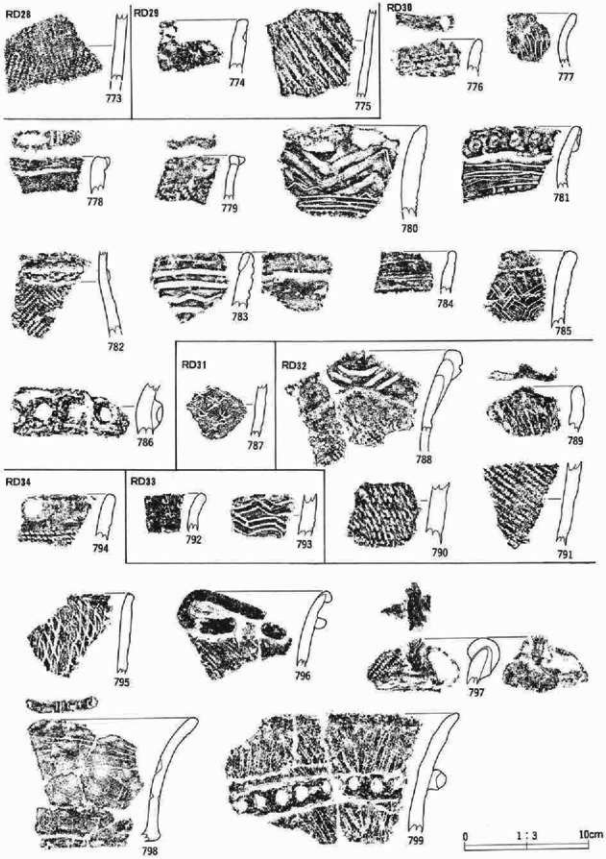
第187図　土器(3)：RD10・11・12・14・15



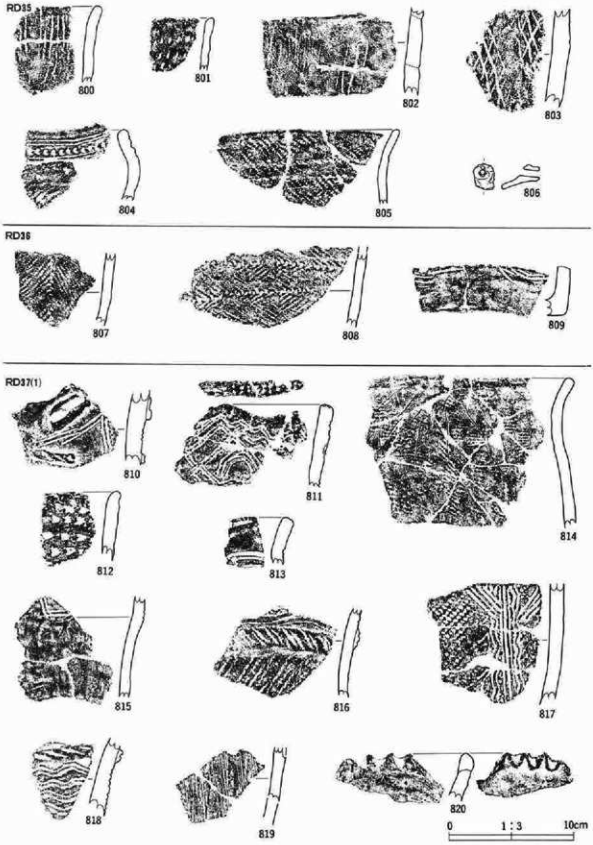
第188図　土器(4)：RD16・17・18・19(1)



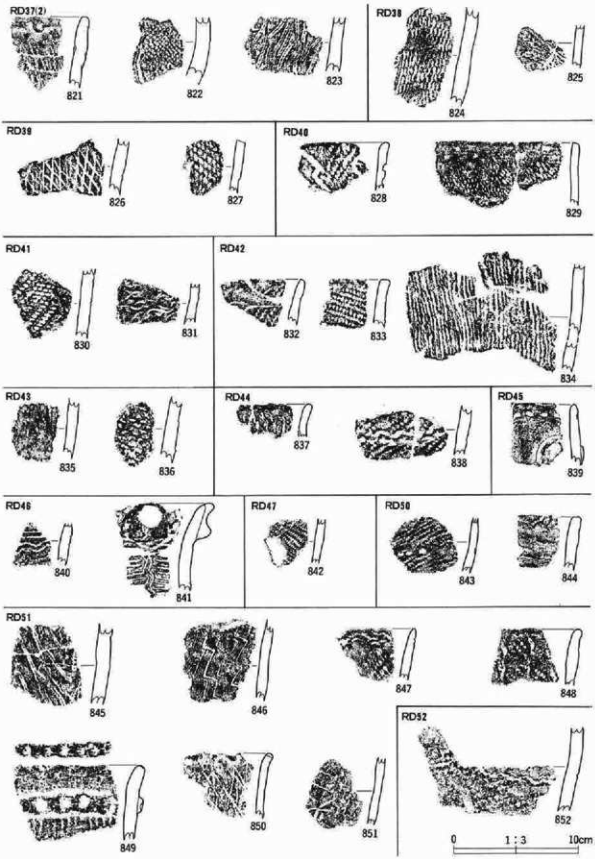
第189図　土器(6)：RD19(2)・22・23・24・25・27



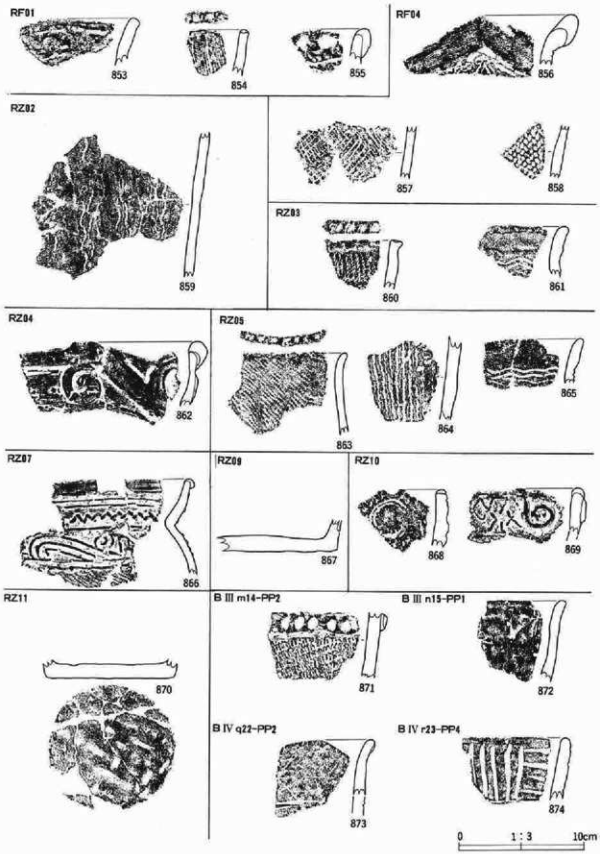
第190図　土器⑥：RD28・29・30・31・32・33・34



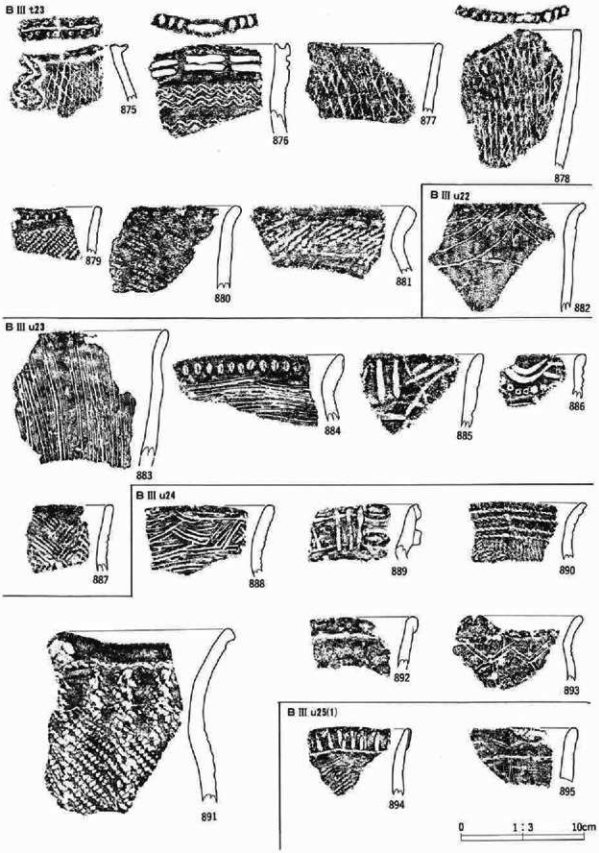
第191図　土器(7)：RD35・36・37(1)



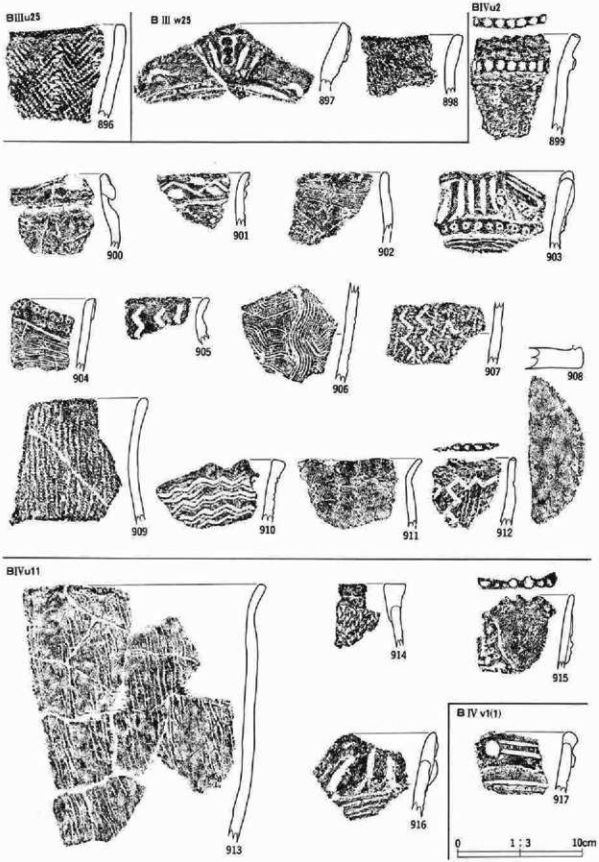
第192図　土器類：RD37(2)・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・51・52



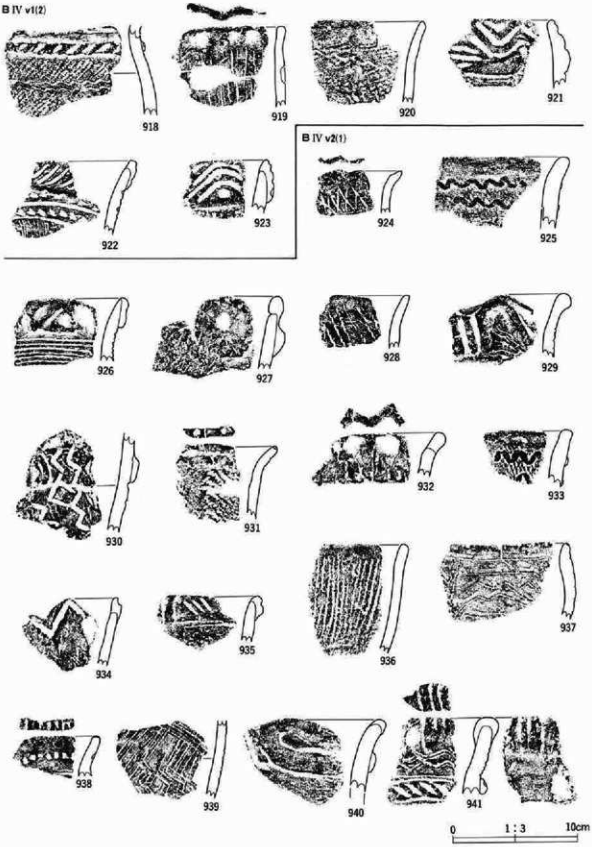
第193図　土器69：RF01・04、RZ02・03・04・05・07・09・10・11、B III m14-PP2、B III n15-PP1、B IV q22-PP2、B IV r23-PP4



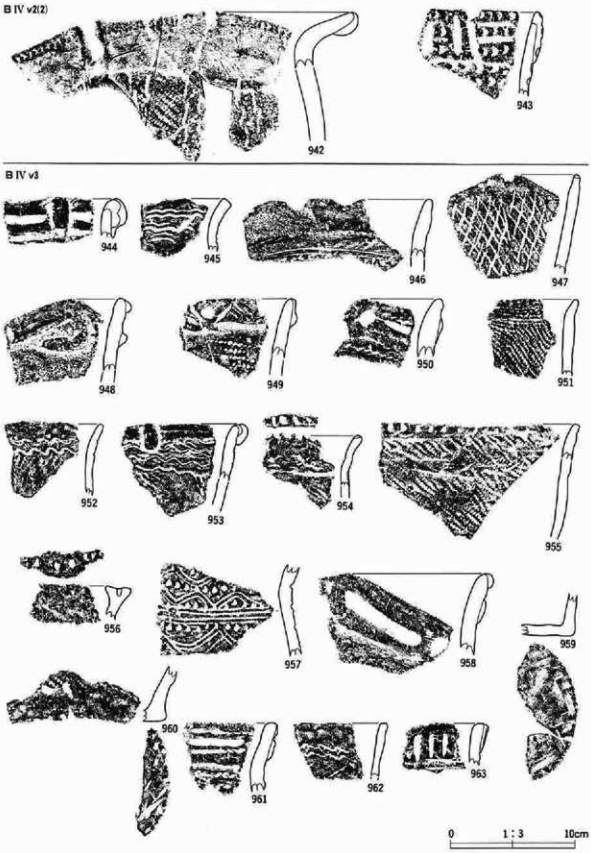
第194図　土器(70)：BIIIt23、u22・u23・u24・u25(1)



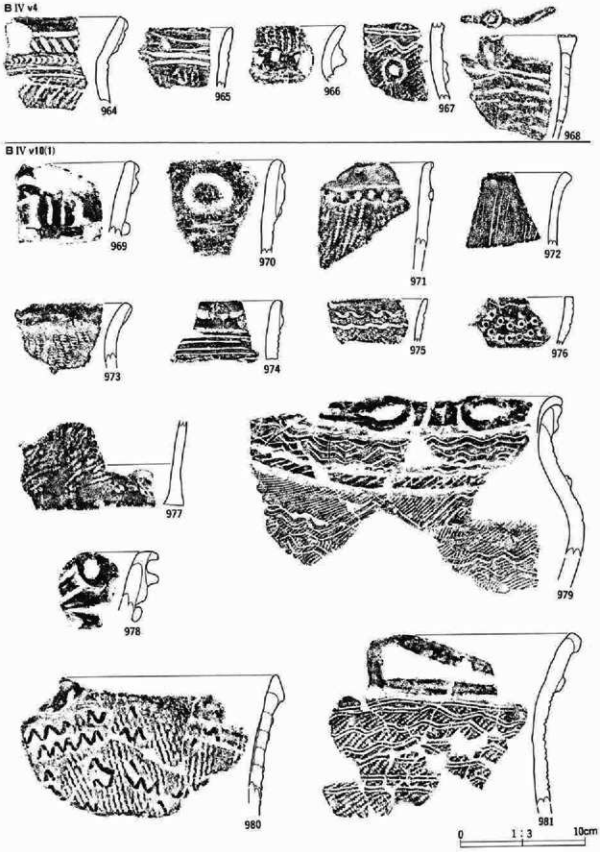
第195図　土器(71)：BIIIu25(2)・w25、BIVu2・u11・v1(1)



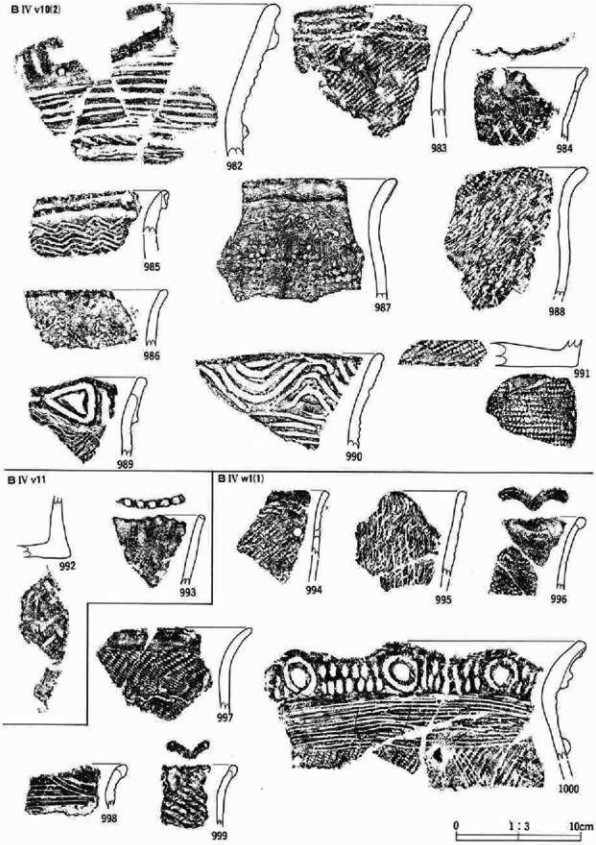
第196図　土器(7)：B IV v1(2)・v2(1)



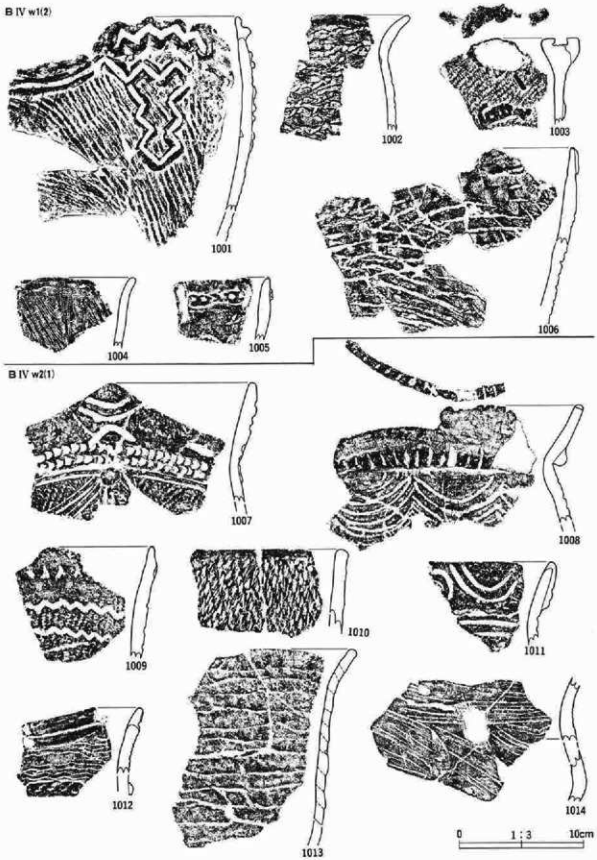
第197図　土器(7)：B IV v2(2)・v3



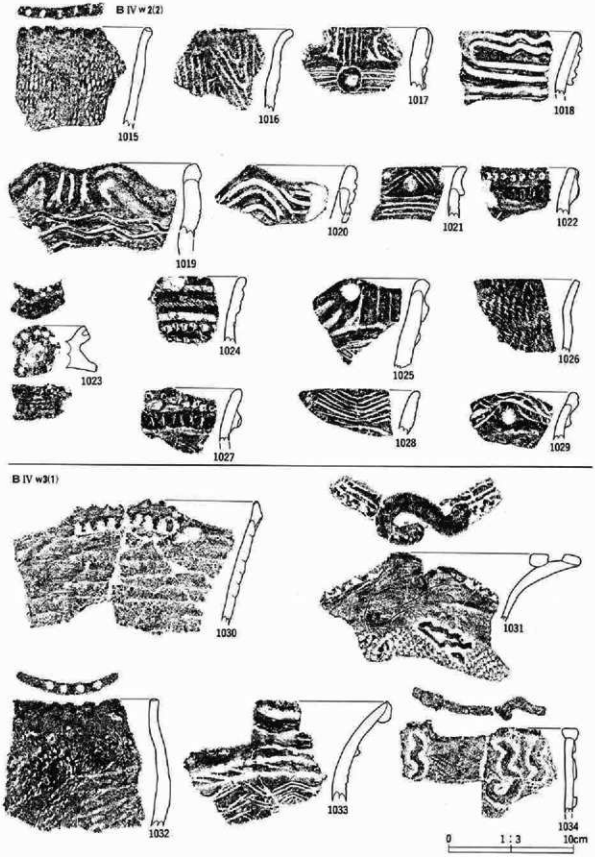
第198図　土器(4)：B IV v4・v10(1)



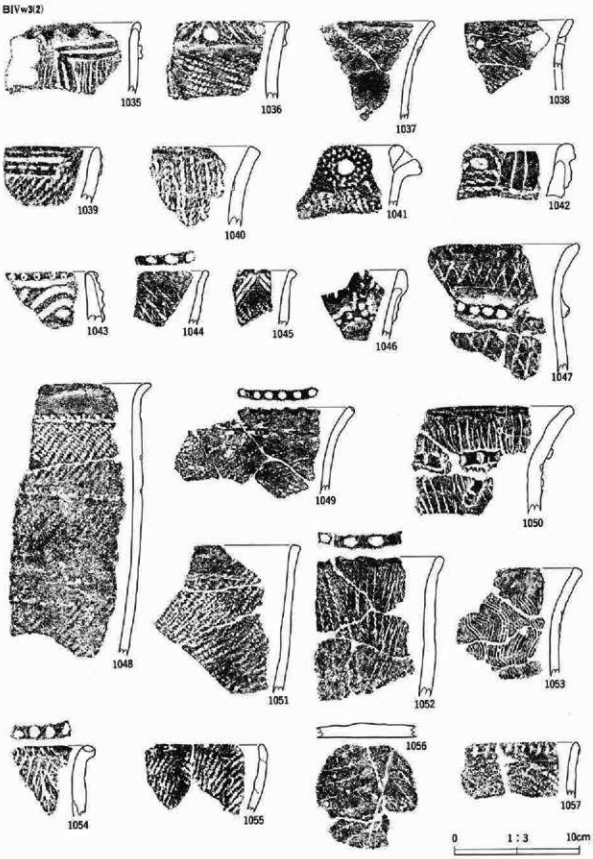
第199図　土器(7)：B IV v10(2)・v11、w1(1)



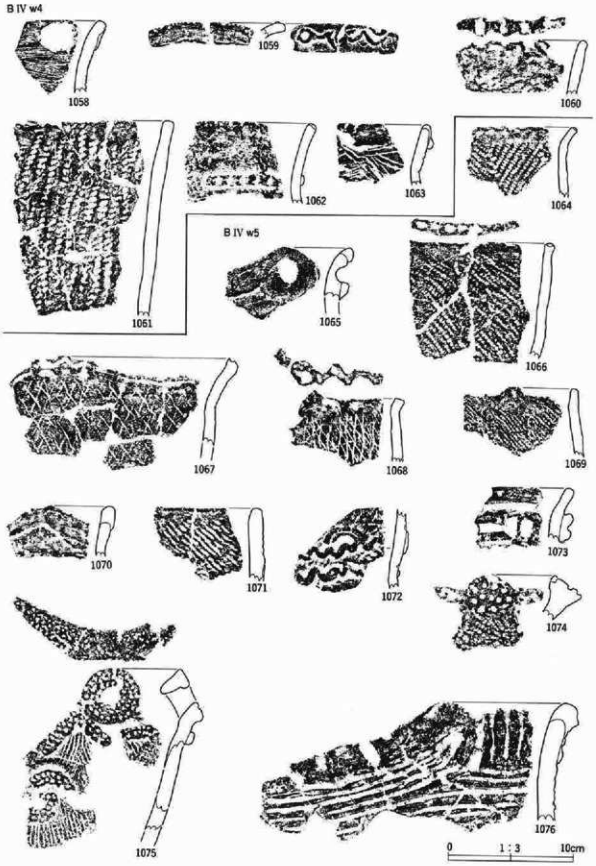
第200図　土器06：B IV w1(2)・w2(1)



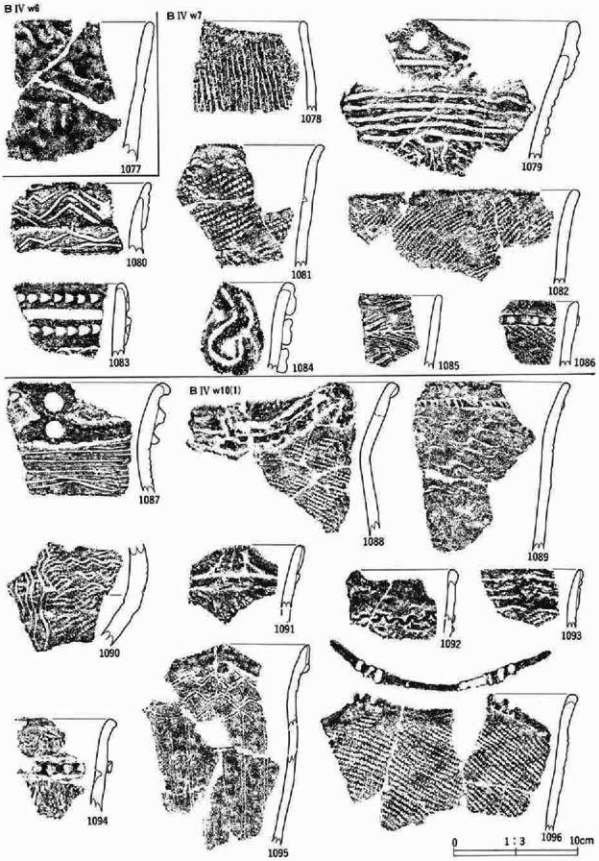
第201図　土器(7)：B IV w2(2)・w3(1)



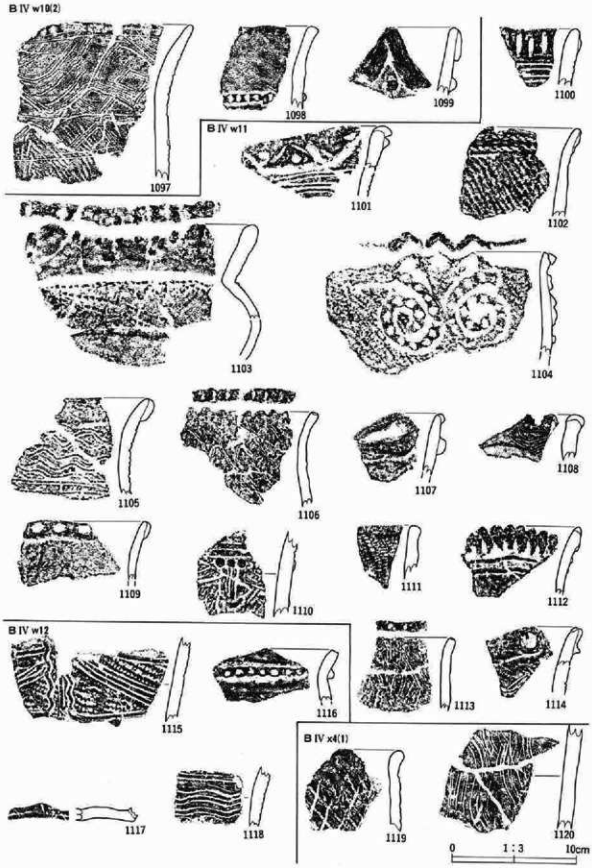
第202図　土器⑦：BⅣw3(2)



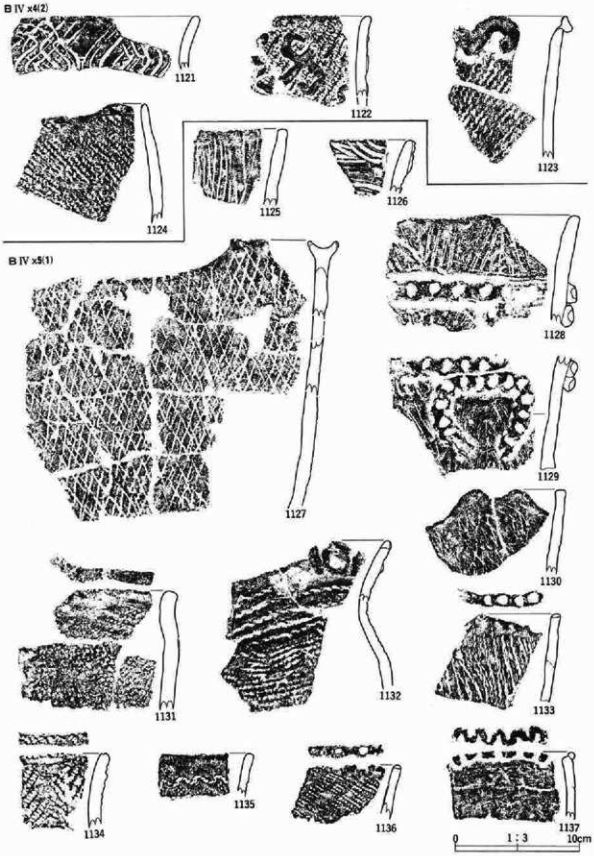
第203図　土器(79)：BIVw4・w5



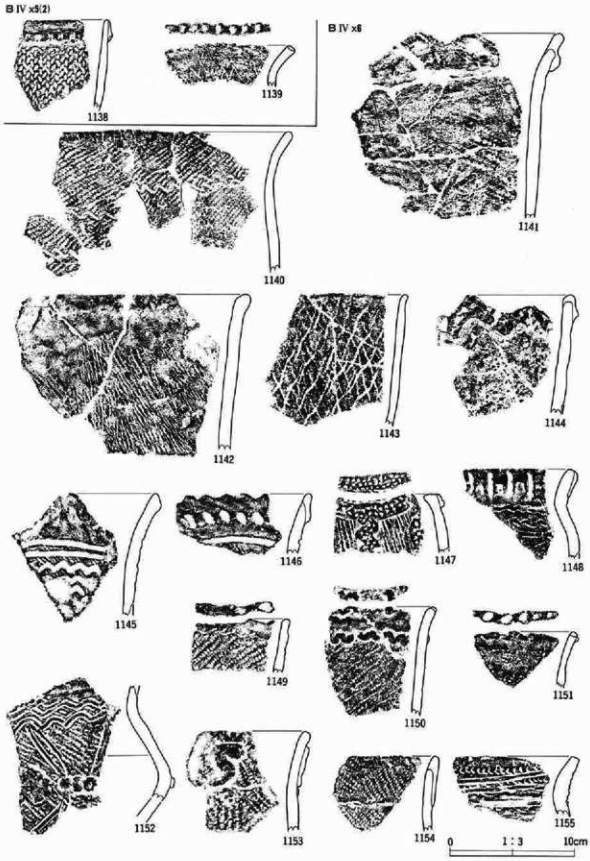
第204図　土器(8)：B IV w6・w7・w10(1)



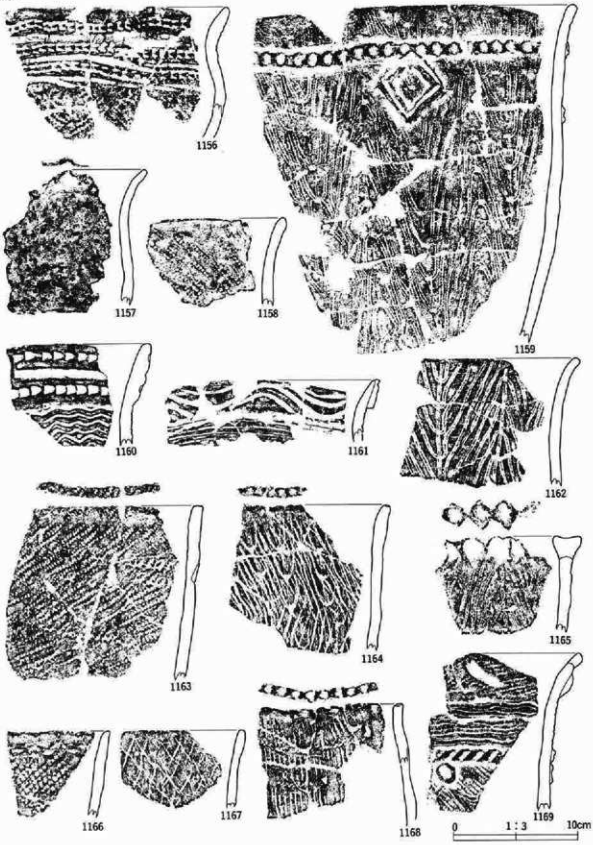
第205図　土器(8)：B IV w10(2)・w11・w12、x4(1)



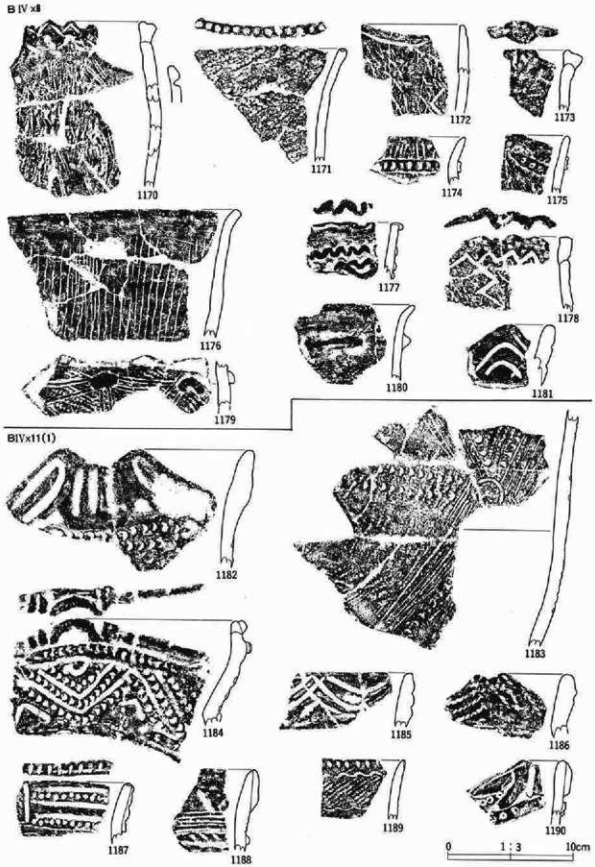
第206図　土器(2)：B IV x4(2)・x5(1)



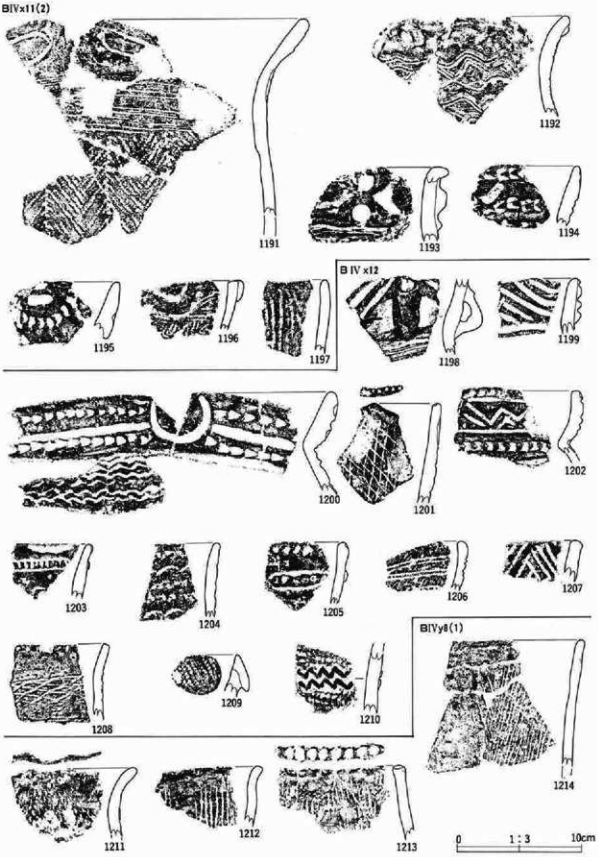
第207図　土器(3)：B IV x5(2)・x6



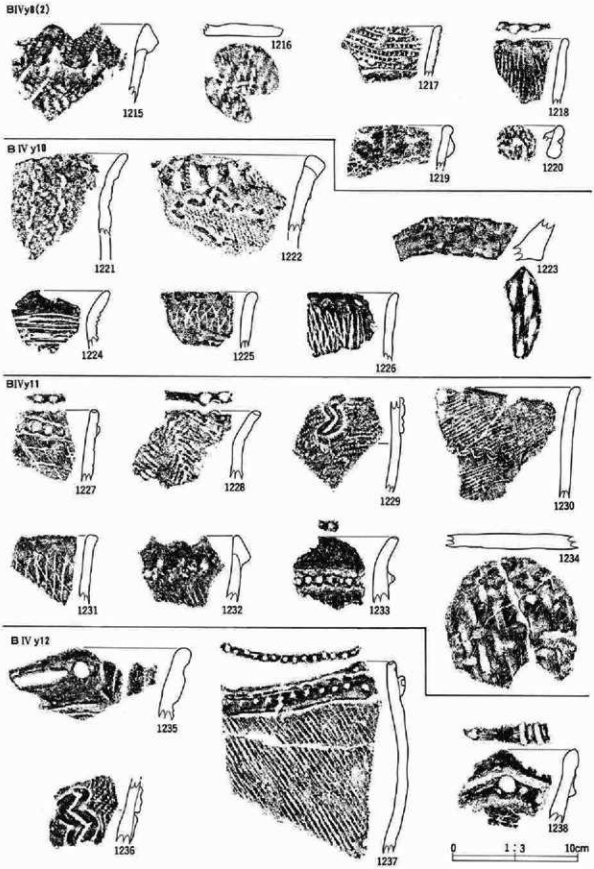
第208図　土器94：BⅣx7



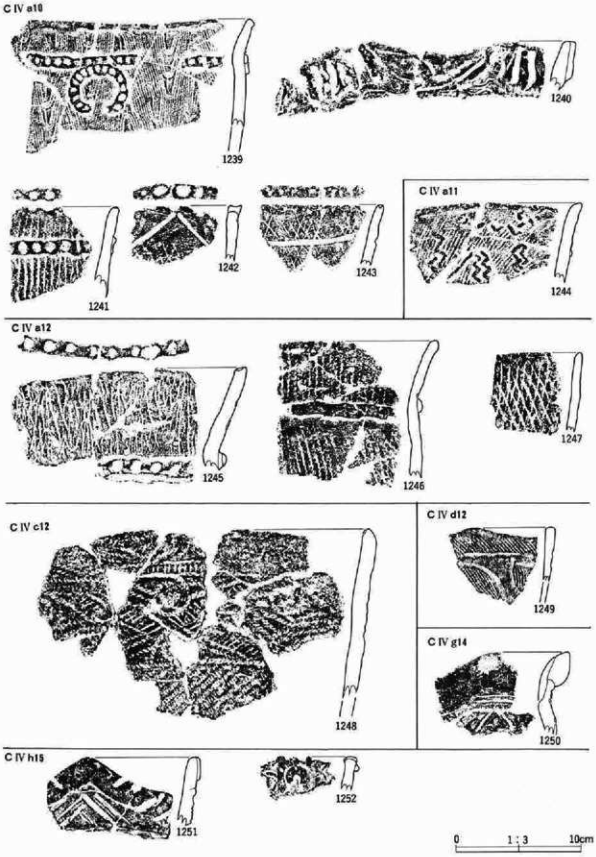
第209図　土器49：B IV x8・x11(1)



第210図　土器(86)：BIVx11(2)・x12、y8(1)



第211図　土器(7)：B IV y8(2)・y10・y11・y12



第212図　土器(40)：C IV a10・a11・a12、c12、d12、g14、h15

2．土製品（第213図、写真図版123：1253～1258）

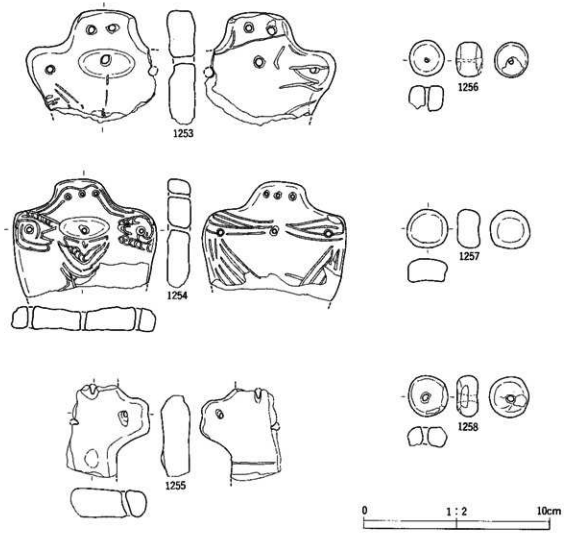
土製品は6点が出土している。内訳は土偶3点、土玉3点である。土偶は、RA04住居跡・RD19土坑の埋土中からとBⅣw25のⅠd層からの出土で、他の遺物と混在して出土している。いずれも欠損品で、胴部下半を欠損している。全体の形状は板状を呈し、頭部と胸部がわずかに突出する。顔部・胸部・腕部に穿孔があり、その部分を起点として、半截竹管による沈線により施文されている。

土玉は、RD06住居跡の埋土とBⅣv10グリッドのⅠd層、BⅣw6グリッドのⅡa層から、他の遺物と混在して出土している。径2cm、厚さ1.2～1.4cmで、重量は5g前後、色調は黄橙色を呈する。1256・1258は、中央付近に穿孔が施されている。

時期は、胎土・文様と、共伴した遺物から縄文時代前期末葉に属するものと思われる。

第5表　土製品観察表　　（　）は残存値

図版No.	掲載No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	備考
213	1253	RA04	東半埋土	土偶	(6.0)	(6.9)	1.6	59.62	胸部に横長の窪み・沈線・貫通孔
213	1254	RD19	南半埋土上位	土偶	(6.4)	7.7	1.3	60.46	胸部に横長の窪み・沈線・貫通孔
213	1255	BⅣw25	1層黒褐色土	土偶	(4.9)	(4.3)	1.6	31.64	貼瘤・貫通孔
213	1256	RA06	東側埋土	土玉	1.9	1.8	1.4	4.47	無文・穿孔
213	1257	BⅣv10	Ⅰd層-10cm	土玉	2.0	2.1	1.2	5.03	無文
213	1258	BⅣw06	Ⅱa層	土玉	2.2	2.1	1.2	4.38	無文・穿孔



第213図　土製品

3．石器（第140～183図、写真図版106～137：1301～2161）

石器は、大コンテナ（T40：30×40×30cm）20箱（総重量171.2476kg）で、製品として選別し、登録した点数は3950点である。そのうち860点を図化し、掲載した。内訳は、石鏃601点、尖頭状石器23点、尖頭器4点、石錐43点、石匙275点、石篦237点、不定形石器1020点、両極石器37点、異形石器1点、接合剥片4点、打製石斧19点、磨製石斧25点、石錘566点、敲磨器類785点（擦石・敲打石・凹石・特殊磨石・半円状偏平打製石器）、台石・石皿類19点、石核295点である。個々の石器の計測値と石材については観察表を参照されたい。

石鏃（第214～220図、写真図版124～128：1301～1506）

矢の先に装着して用いたと思われる石器である。601点出土しており、206点を図示した。形態的な特徴として、尖頭部と巾広の基部を有し、左右対象であること、断面形は凸レンズ状もしくは偏平である。両面を丁寧に調整しているものと周縁のみの粗い加工のものがある。大きさの平均は、長さは1.8cm～6.3cm、巾は1.0cm～1.8cm、重量は0.64g～4.42g である。基部の形態から分類が可能で、凹基無茎鏃133点・平基鏃9点・円基鏃4点・尖基鏃1点である。凹基無茎鏃が多い。各形態と時間差については不明である。欠損部位は尖頭部と基部が多い。アスファルトなど付着物を確認できたものはない。石材は、頁岩（180）・珪質頁岩（2）・凝灰岩（20）・流紋岩（1）・赤色細粒珪質岩（1）・緑色凝灰岩（2）が使用されており、頁岩が多く用いられている。

尖頭状石器（第220・221図、写真図版128：1507～1510）

尖頭部を持ち、刺突具として使用された可能性があるが、石鏃より大型のものである。23点出土しており、4点を掲載した。石材は、頁岩（3）・粘板岩（1）が使用されている。

尖頭器（第221図、写真図版128：1511～1514）

尖頭部を持ち、刺突具として使用されたと考えられるもので、石鏃より大型のもので石槍状のものである。出土した4点を掲載した。完形品は1514のみで他は欠損している。石材は頁岩（4）が使用されている。

石錐（第221図、写真図版128：1515～1523）

穿孔具として使われた可能性の高いものである。剥片の素材を残し、一端に加工を施し、錐部を作っているもの、棒状のもの、摘みを有するものがある。錐部の断面形は、菱形や四角形である。43点出土しており、9点図示した。石材は、頁岩（7）・珪質頁岩（1）・赤色細粒珪質岩（1）が使用されている。

石匙（第222～230図、写真図版129：1524～1629）

両側ないし片側より抉りを入れて作った摘み部と刃部をもつ石器である。275点出土しており、106点図示した。摘み部と刃部の位置関係から、摘み部が刃部と並行に作り出されている縦型と、摘み部が刃部に直交するように作りだされている横型に形態分類が可能で、その中間的なものもある。縦型78点、横型28点で縦型が多い。欠損部位は、縦型・横型とも刃部の先端が多い。摘み部が特徴的であることから、摘み部を欠損したものについては、後述する不定形石器に含まれている可能性もある。縦型に分類したなかには先端が尖る形態（1534・1556・1592・1621・1623・1625・1626・1627）と、小型で刃部が抉れる形態（1548・1559・1570・1622）や異形（1547・1654・1598）、尖頭状（1629）の形態があり、赤色の石材（赤色細粒珪質岩）を使用しているのが特徴である。1596の石材は黒曜石、1547・1598は赤色細粒珪質岩、1615の石材は玉髄で、特異な形態に特異な石材が選択される傾向がある。石材

は、頁岩（82）・珪質頁岩（5）・赤色細粒珪質岩（12）・凝灰岩（1）・流紋岩（3）・玉髄（1）・黒曜石（1）・桂化木（1）が使用されており、頁岩が多く用いられている。

石篦（第231～233図、写真図版135・136：1630～1651）

平面形は、ばち形・短冊形で、一端に刃部を作り出しているものである。237点出土しており、22点掲載した。両面加工で断面形は凸レンズ状であるが、背面は全面調整で、腹面は側縁のみの加工が施されている片面加工に近いものもある（1637・1646・1648・1649）。石材は、頁岩（18）・珪質頁岩（1）・砂質頁岩（1）・凝灰岩（1）・緑色凝灰岩（1）が使用されており、頁岩が多く用いられている。

不定形石器（第234～239図、写真図版140：1652～1692）

定形化していない不定形な石器で、削る掻くの用途が考えられるもので、機能からすれば、削掻器と考えられるものである。1020点出土しており、41点を図示した。刃部の形成される状況から次の形態分類が可能で、1側縁ないし2側縁に直線的な刃部を有するもの（削器）、端部に凸状で急斜度の刃部を形成しているもの（掻器）に分類でき、なかには両方の刃部を併せ持つものもある。刃部が形成される面は背面が多い。石材は、頁岩(38)・珪質頁岩（1）・赤色細粒珪質岩（1）・凝灰岩（1）が使用されており、頁岩が多く用いられる。

両極石器（第239図、写真図版140：1693～1696）

対向する2側縁あるいは4側縁に相対する剥離をもつ石器で、両極打法によりつくられたものである。37点出土しており、4点を掲載した。形状は方形ないし台形状を呈し、大きさは、1.7～3.6cm、重さは、0.6～2.8g前後である。石材は、頁岩（2）・珪質頁岩（2）が用されており、頁岩が多く用いられている。

異形石器（第239図、写真図版140：1697）

剝片石器で、定形的な規格から外れるもので1点を掲載する。1697は2段の尖頭状の石器のようでもあるがここで扱った。他に定形石器に分類されたなかにも類似例があると思われる。石材は玉髄が使用されている。

接合資料（第240～242図、写真図版140：1698～1708）

接合した剝片・石核類で、接合した資料4点を掲載した。いずれもRF04焼土中からの出土で、石材はいずれも頁岩で同一のものである。なお掲載した以外に接合しない同様の剝片も10点、232.81g出土している。接合資料1は石核に剝片が1点が接合している。資料2は4点の剝片、資料3は3点の剝片が、資料4は2点の剝片が接合している。1708の剝片には刃部加工が加えられている。石材はいずれも頁岩である。

打製石斧（第243図、写真図版141・142：1709～1714）

打製により石斧の形状に整えたものである。19点出土しており、6点を図示した。平面形は、ばち形を呈するものが多く、断面形は凸レンズ状を呈する。両面加工が多いが、1713・1714は整形の剝離が全面に及ばず、一部に素材の面が残る。石材は頁岩（2）・流紋岩（1）・ペグマタイト（2）・ホルンフェルス（1）である。

磨製石斧（第244図、写真図版143：1715～1724）

研磨により石斧の形状に整えたものである。破片を含め25点出土しており、10点図示した。基部のみ刃部

のみなど欠損しているものが多い。1723・1724は小型のもので石鹽状のものである。石材は頁岩（6）・砂質頁岩（1）・流紋岩（1）・角閃石安山岩（1）・ホルンヘルス（1）が使用されており、頁岩が多く用いられている。

石錘（第245～267図、182図、写真図版144～160：1725～1941）

偏平な礫の長軸あるいは短軸の方向の両端に打ち欠きにより、抉りを入れた石器である。566点出土しており、217点を図示した。敲磨器類（擦石・凹石）との兼用も14点ある。欠損品の割合は少なく、欠損状況にも著しい偏りは見られない。打ち欠きの箇所には、長軸の両端（Ⅰ）、長軸の両端と短軸の一端（Ⅰ'）、短軸の両端（Ⅱ）、短軸両端と長軸の一端（Ⅱ'）長軸と短軸（Ⅲ）の種類があり、Ⅱ類の占める割合が高い。

石材は、頁岩（1）・安山岩（65）・花崗閃緑岩（8）・ホルンヘルス（3）緑色凝灰岩（16）・デイサイト（9）・凝灰岩（52）・流紋岩（3）・細粒閃緑岩（30）・凝灰角礫岩（10）・砂岩（13）・斑岩（3）・安山岩（岩脈）（3）・玢岩（1）が使用されており、安山岩・凝灰岩・細粒閃緑岩が多く用いられている。

敲磨器類（第268～301図、写真図版161～186：1942～2157）

自然礫のそのままの形状を素材として利用し、その一部に、擦る・敲くなどの用途から、擦面・敲打痕・凹などの使用痕を有する石器である。使用痕は複合しているものが多いため「敲磨器類」として一括し、以下に細分して報告する。本遺跡で出土した、形態・使用痕から、大きく2つに大別が可能である。

A類：円形基調あるいは棒状を基調とした礫を素材とし、平坦面や側面が端部を使用した石器である。従来、「擦石」「敲石」「凹石」と呼ばれてきたものである。

B類：断面が三角形あるいは、偏平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。従来、「半円状偏平打製石器」、「特殊磨石」と呼ばれてきたものが含まれる。

敲磨器A類a：擦石（第268図、写真図版161：1142～1947）

円形基調の自然礫の一部や全部に擦痕を有する礫である。202点出土しており、6点を掲載した。敲打石や凹石との複合石器のものもある。石材は安山岩が使用されている。

敲磨器A類b：敲打石（第269図、写真図版161・162：1948～1954）

円形基調の自然礫の一部や全部に敲打痕を有する礫である。25点出土しており、7点を掲載した。円形基調の礫の周縁に敲打痕を有するものと、礫の一端または両端に敲打痕を有するものがある。礫の端部に敲打に伴う剝離が観察されるものもここに含めた（1948）。石材は、安山岩（3）・花崗閃緑岩（2）・緑色凝灰岩（1）・ホルンフェルス（1）で、安山岩・花崗閃緑岩が多く用いられている。

敲磨器A類c：凹石（第270～283図、写真図版162～171：1955～2046）

円形基調や棒状の自然礫の片面や両面あるいは複数面に敲打による凹を有する石器である。243点出土しており、92点を掲載した。凹の形状には円錐状、溝状、敲打が浅く凹に至らないものがある。使用される礫の形状は円形基調のものと棒状のものがある。石材は、安山岩（44）・花崗閃緑岩（13）・凝灰岩（13）・凝灰角礫岩（9）・デイサイト（4）・砂岩（3）・玢岩（2）・流紋岩（1）・細粒閃緑岩（1）・礫岩（1）・緑色凝灰岩（1）が使用されており、安山岩が多く用いられている。

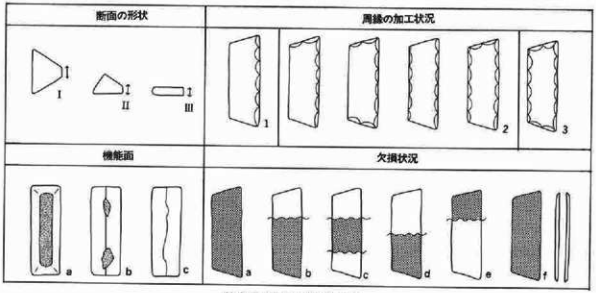
敲磨器Ｂ類（第284～301図、写真図版172～186：2047～2157）

断面が三角形あるいは偏平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。315点出土しており、111点を図示した。断面形状・使用痕跡・礫の加工状況で分類が可能である。

礫の断面形状（Ⅰ：三角形あるいは方形。Ⅱ：膨らみがある。Ⅲ：偏平）

使用痕跡（a：一定幅の擦面をもつ。b：不規則な擦面をもつ。c：擦面をもち、両面からの打ち欠きによる刃部をもつ。

礫の加工状況（1：素材をその使用し、加工無し。2：一部に加工あり。3：全体に加工を施す。）



敲磨器Ｂ類の分類模式図

上記の分類ではⅠ類の占める割合が高い。また素材となる礫の形状と加工痕・機能面との間には、以下のような特徴的な組み合わせがみられる。

Ⅰ類（71点）：使用痕は、一定の幅の擦面をもち、素材にはほとんど加工を施されない（Ⅰａ類）。

Ⅱ類（35点）：使用痕は、一定の幅の擦面か、不規則な擦面と剝離による稜線を併せもつ（Ⅱａ・ｂ類）。

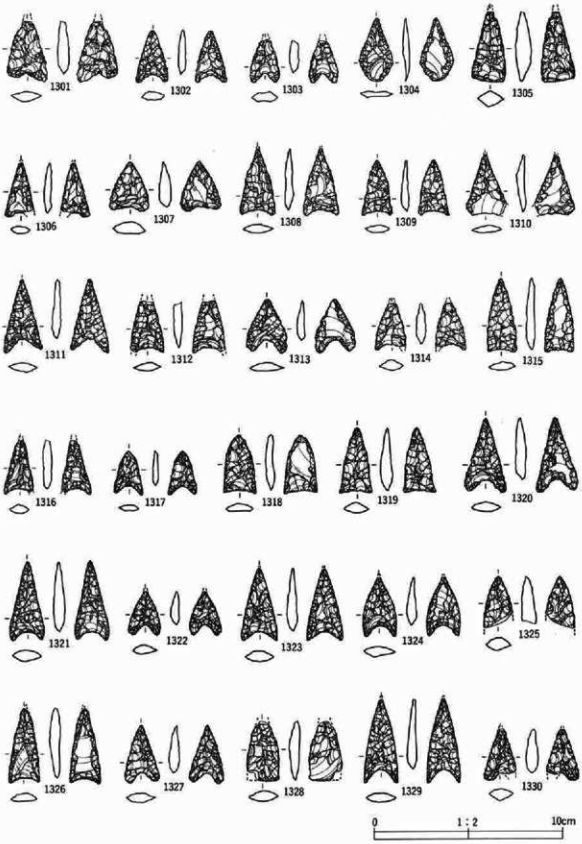
Ⅲ類（５点）：使用痕は、一定の幅の擦面（Ⅲａ類）か、不規則な擦面と剝離による稜線を併せもつ（Ⅲｂ類）。素材は加工されたものが多い。

擦面の幅は、最大4.2cm(2027)、最小0.3cm(2065)で、平均1.1cmほどである。重量分布は、最大1519g(2140)、最小95.4g（2142）で、平均753gである。残存状況については、掲載した111点のうち、31点（27%）が欠損品である。欠損状況には大きく４つのタイプがあるが、ほぼ中央付近で欠損（半欠）するもの（d：11例）と、一端を欠損するもの（b：９例、e：９例）が多い。

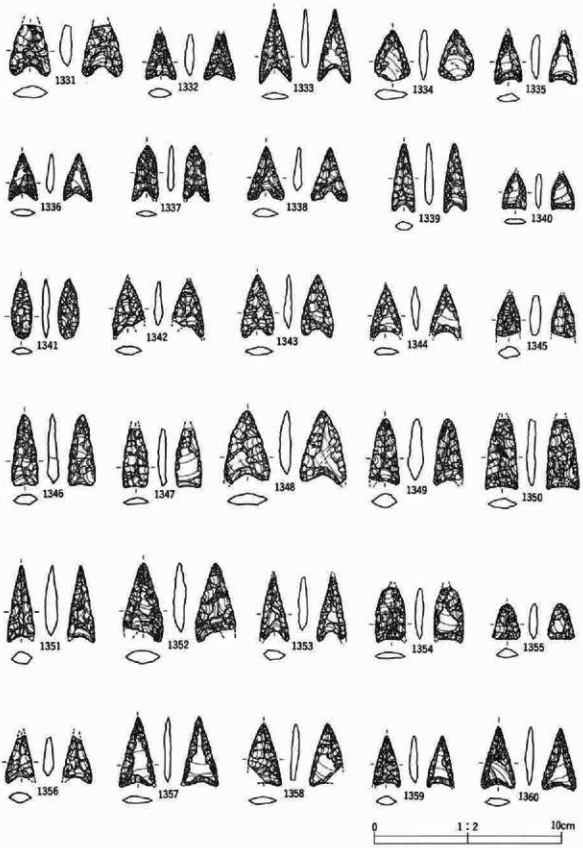
石材は、安山岩（72）・細粒閃緑岩（15）・デイサイト（５）・粉岩（４）・砂岩（３）・凝灰岩（３）・花崗閃緑岩（３）・流紋岩（２）・頁岩（１）・斑岩（１）・緑色凝灰岩（１）・ホルンフェルス（１）が用いられている。

台石・石皿（第302・303図、写真図版187：2158～2161）

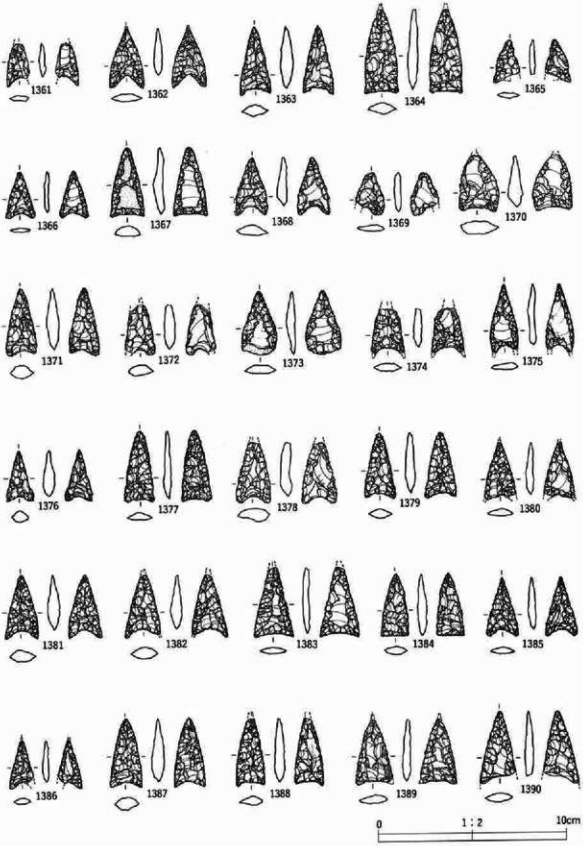
19点出土しており、４点掲載した。2158は偏平な自然礫の平坦な面に擦痕を有する石器である。2159は、明瞭な加工痕をもたないが、片面に平坦な面をもつ。2160は円形を呈する礫の両端に溝状の凹みと、一面に擦痕・敲打痕がある。素材の礫はかなり脆い。2161は一面が緩く凹み、皿状の用途が考えられる。炉石として使用され、一部に火を受けて中央で欠損している。石材は緑色凝灰岩・砂岩・安山岩・デイサイトである。


1301
1302
1303
1304
1305
1306
1307
1308
1309
1310
1311
1312
1313
1314
1315
1316
1317
1318
1319
1320
1321
1322
1323
1324
1325
1326
1327
1328
1329
1330
0
1:2
10cm

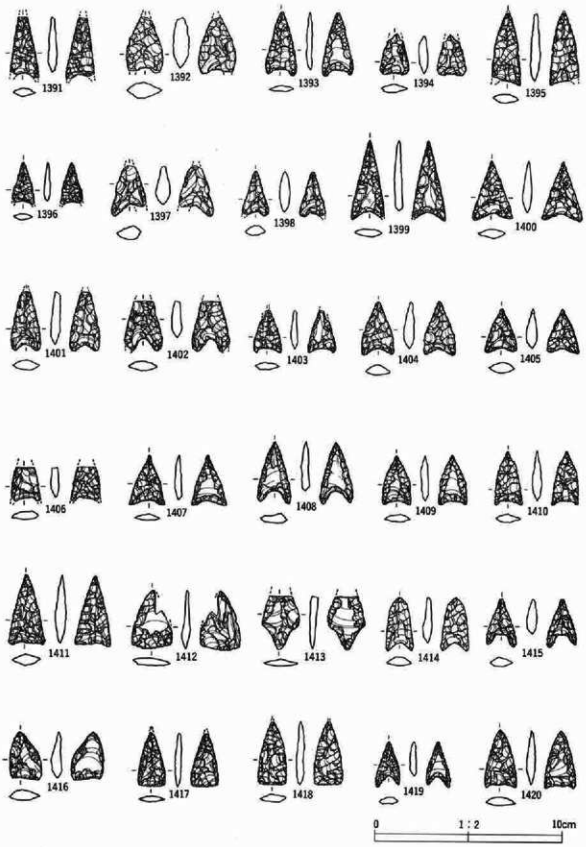
第214図　石器(1)


1331
1332
1333
1334
1335
1336
1337
1338
1339
1340
1341
1342
1343
1344
1345
1346
1347
1348
1349
1350
1351
1352
1353
1354
1355
1356
1357
1358
1359
1360
0
1:2
10cm

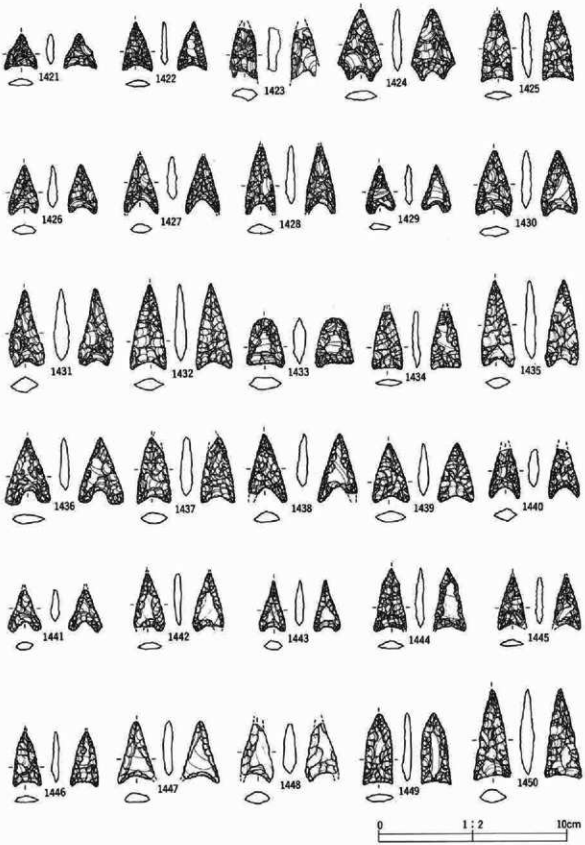
第215図　石器(2)


1361
1362
1363
1364
1365
1366
1367
1368
1369
1370
1371
1372
1373
1374
1375
1376
1377
1378
1379
1380
1381
1382
1383
1384
1385
1386
1387
1388
1389
1390
0
1:2
10cm

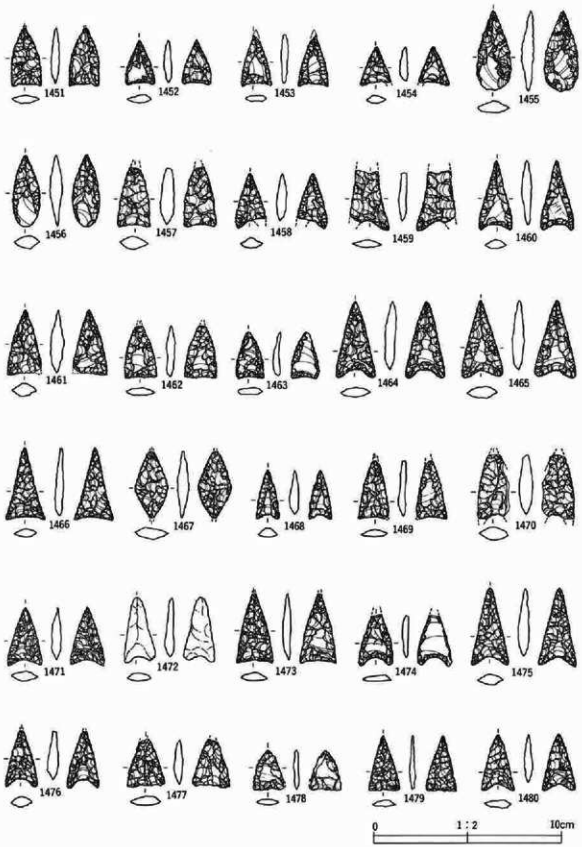
第216図　石器(3)


1391
1392
1393
1394
1395
1396
1397
1398
1399
1400
1401
1402
1403
1404
1405
1406
1407
1408
1409
1410
1411
1412
1413
1414
1415
1416
1417
1418
1419
1420
0
1:2
10cm

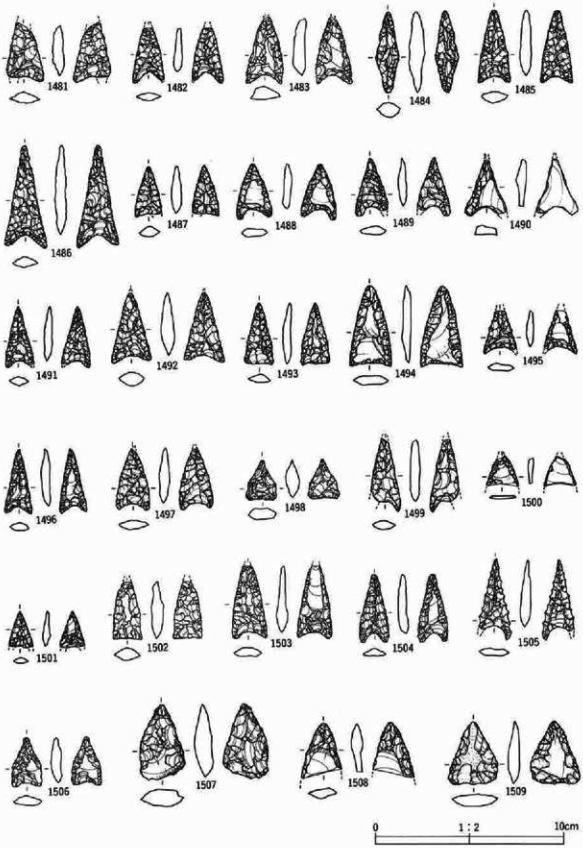
第217図　石器(4)


1421
1422
1423
1424
1425
1426
1427
1428
1429
1430
1431
1432
1433
1434
1435
1436
1437
1438
1439
1440
1441
1442
1443
1444
1445
1446
1447
1448
1449
1450
0
1:2
10cm

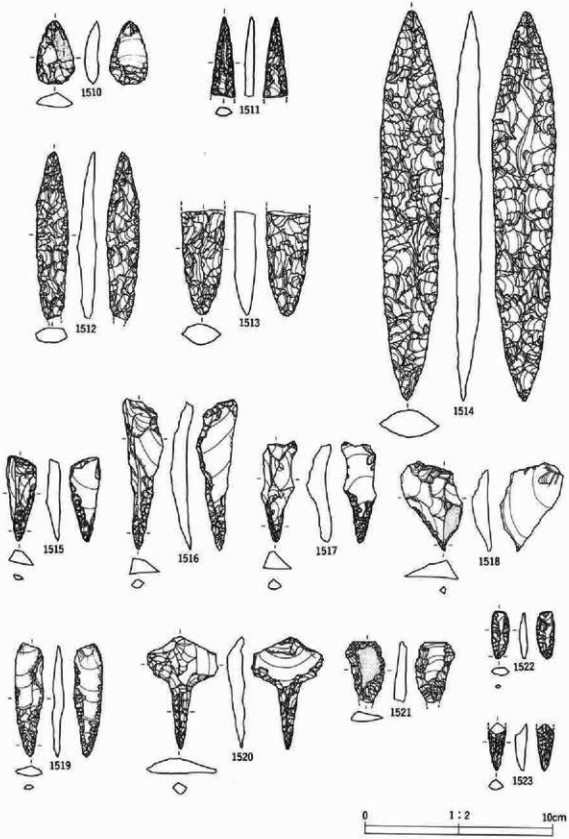
第218図　石器(5)


1451
1452
1453
1454
1455
1456
1457
1458
1459
1460
1461
1462
1463
1464
1465
1466
1467
1468
1469
1470
1471
1472
1473
1474
1475
1476
1477
1478
1479
1480
0
1:2
10cm

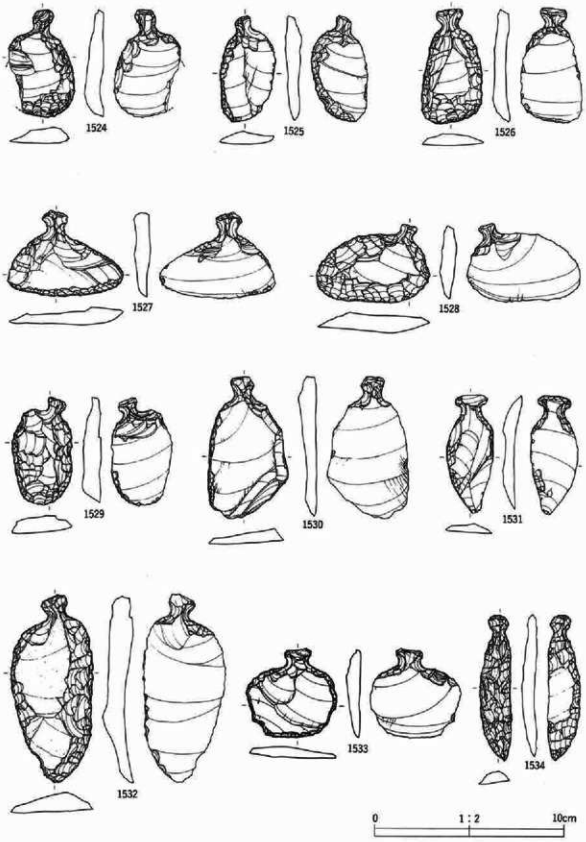
第219図　石器(6)


1481
1482
1483
1484
1485
1486
1487
1488
1489
1490
1491
1492
1493
1494
1495
1496
1497
1498
1499
1500
1501
1502
1503
1504
1505
1506
1507
1508
1509
0
1：2
10cm

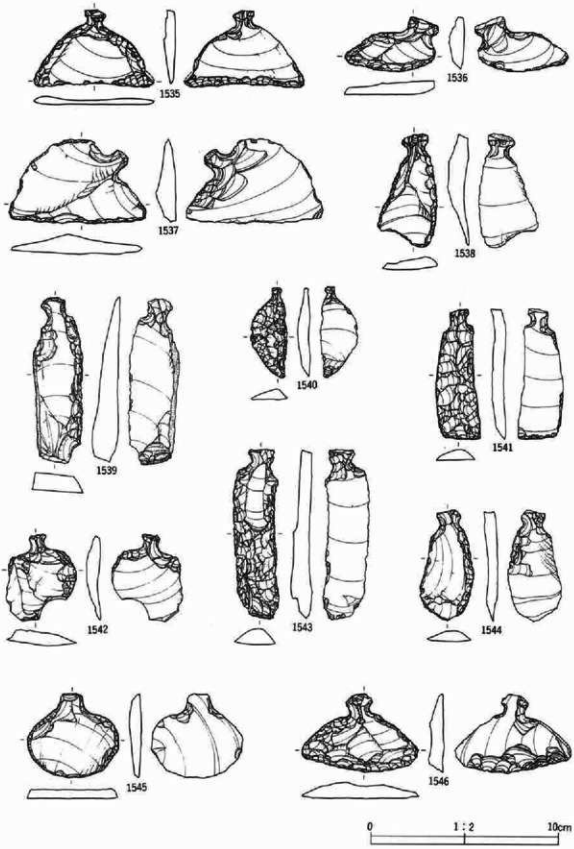
第220図　石器(7)


1510
1511
1512
1513
1514
1515
1516
1517
1518
1519
1520
1521
1522
1523
0
1:2
10cm

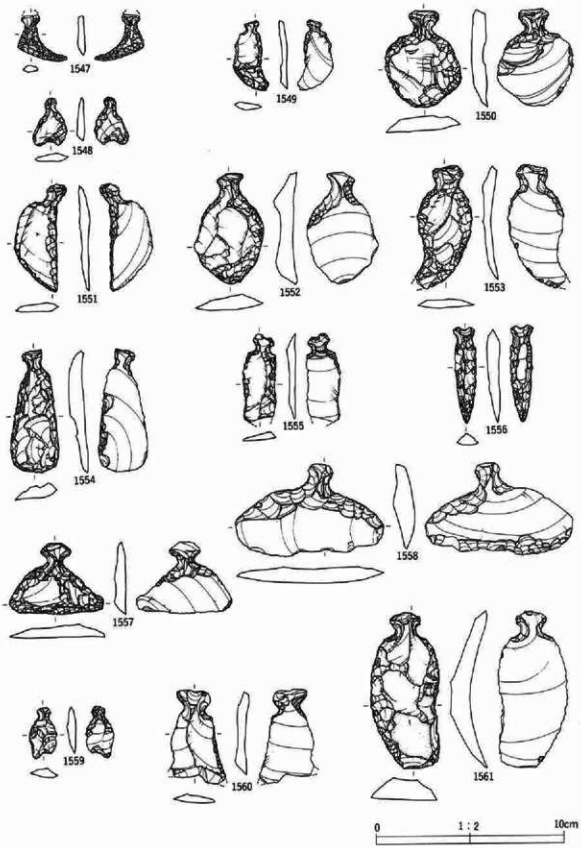
第221図　石器(8)


1524
1525
1526
1527
1528
1529
1530
1531
1532
1533
1534
0
1 : 2
10cm

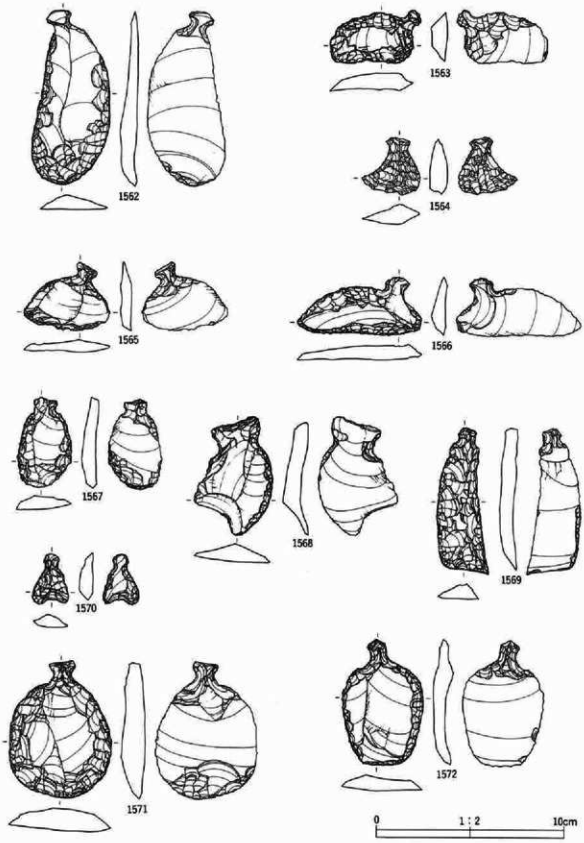
第222図　石器(9)


1535
1536
1537
1538
1539
1540
1541
1542
1543
1544
1545
1546
0
1：2
10cm

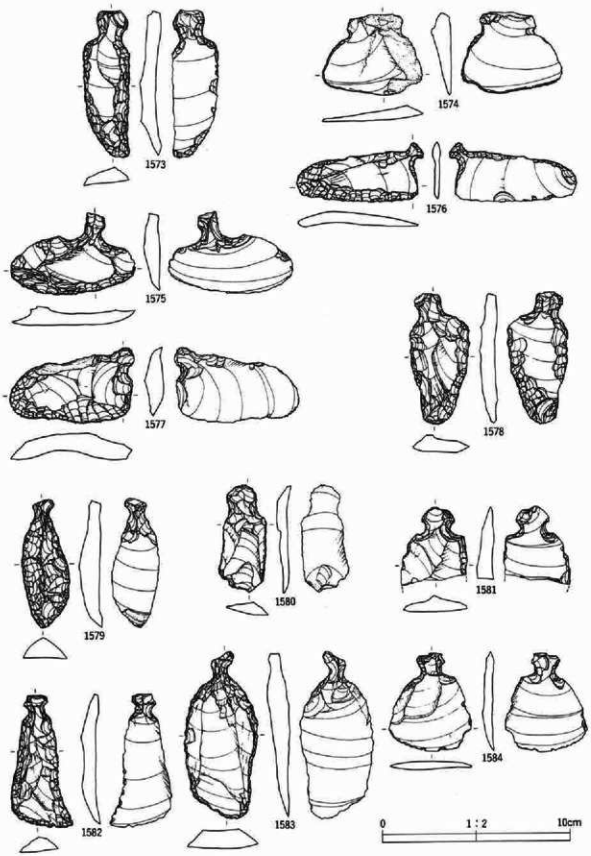
第223図　石器(10)


1547
1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
0
1:2
10cm

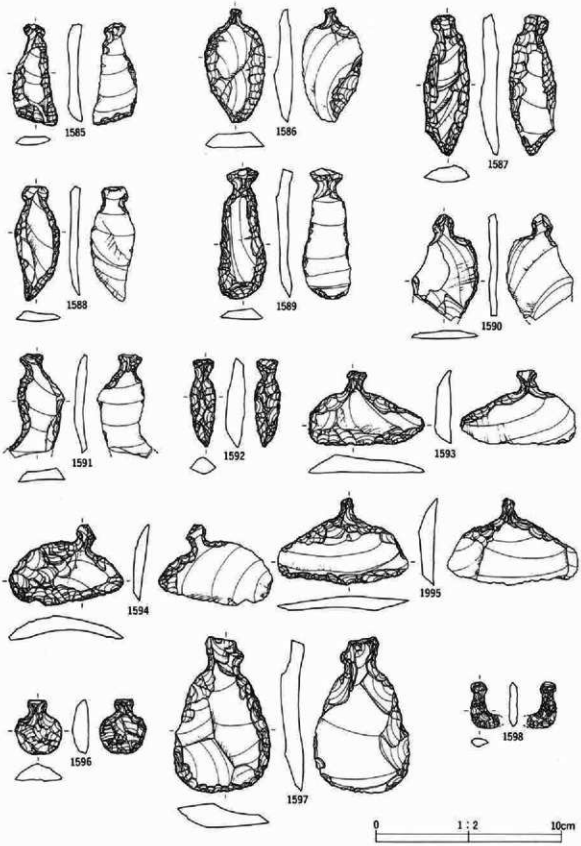
第224図　石器(11)


1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571
1572
0
1:2
10cm

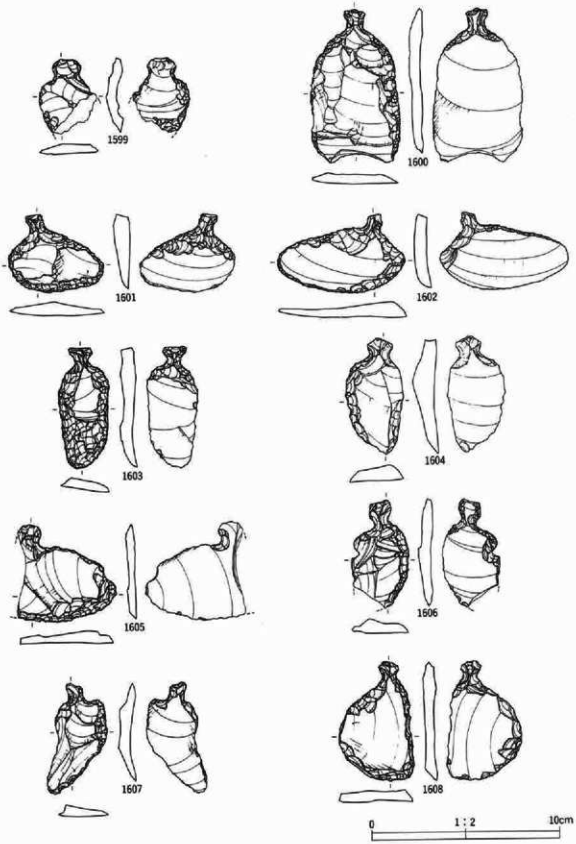
第225図　石器(12)


1573
1574
1575
1576
1577
1578
1579
1580
1581
1582
1583
1584
0
1:2
10cm

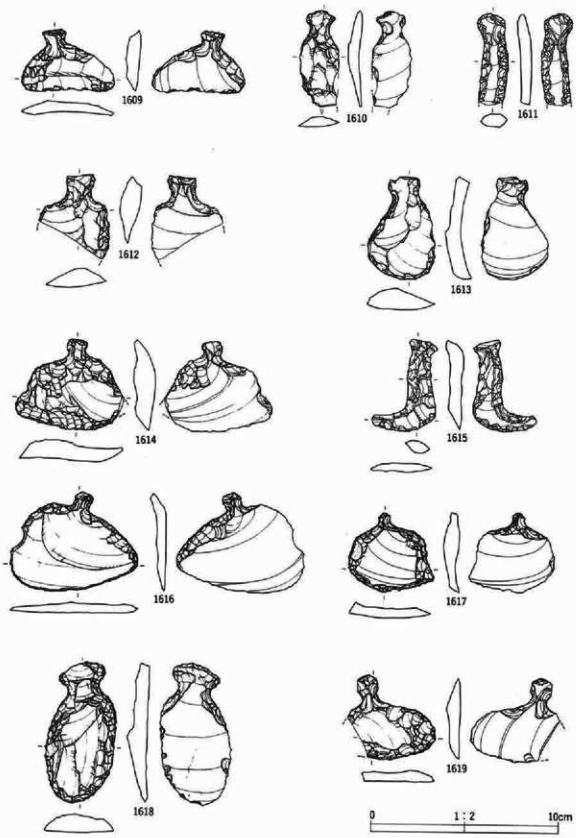
第226図　石器03


1585
1586
1587
1588
1589
1590
1591
1592
1593
1594
1595
1596
1597
1598
0
1:2
10cm

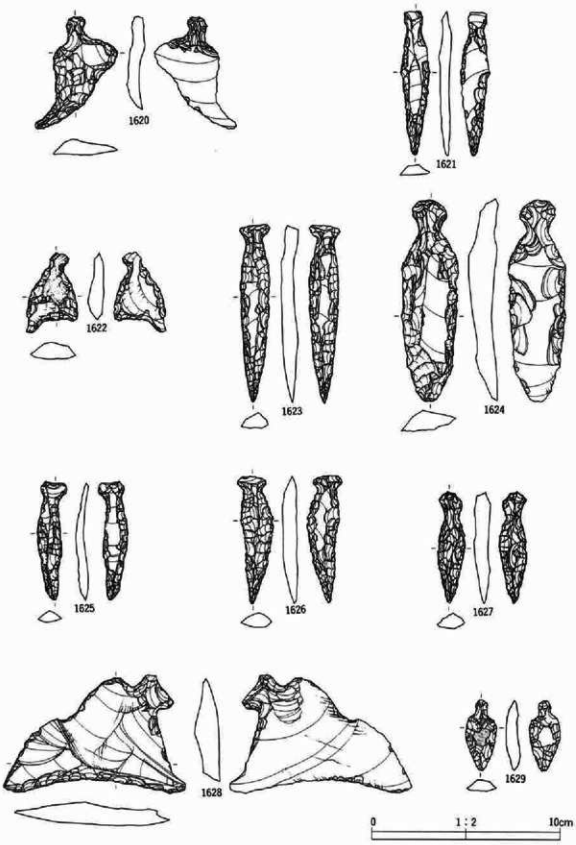
第227図　石器(4)



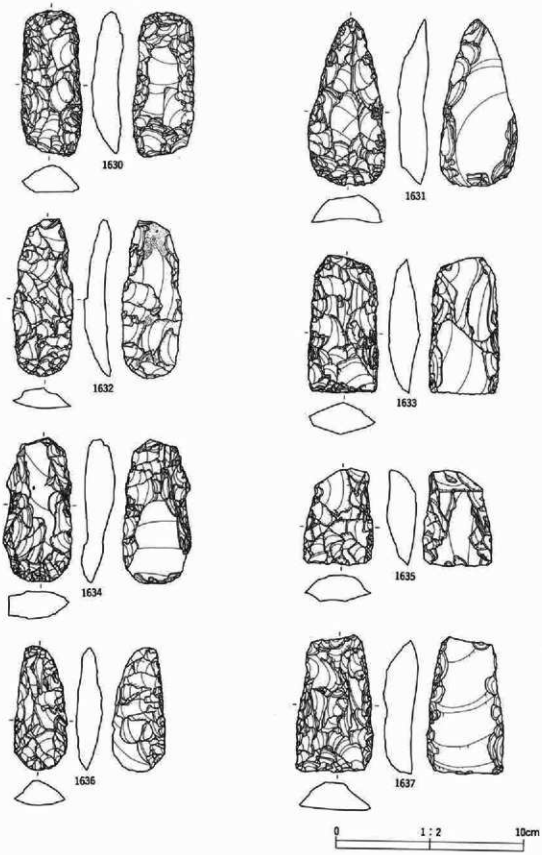
第228図　石器19


1609
1610
1611
1612
1613
1614
1615
1616
1617
1618
1619
0
1:2
10cm

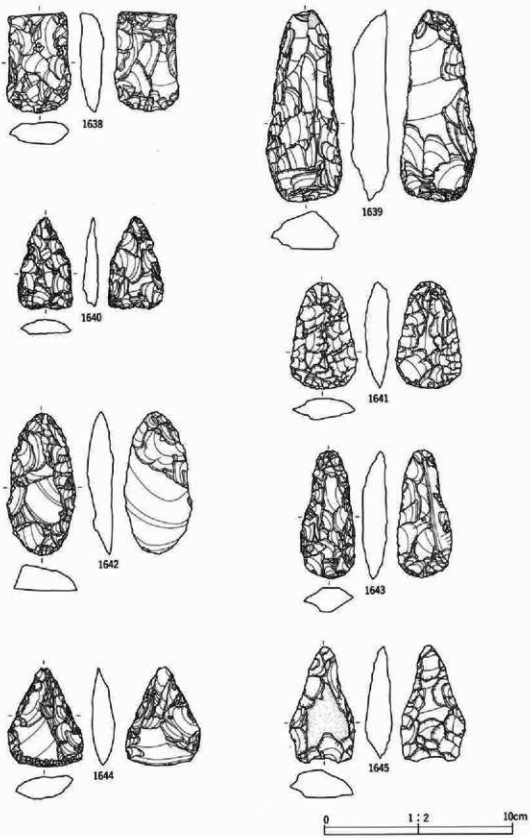
第229図　石器⑲



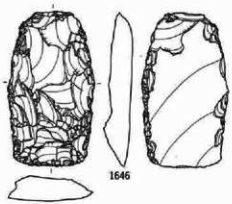
第230図　石器(17)

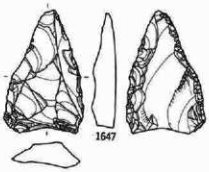


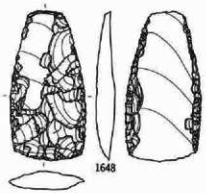
第231図　石器(14)

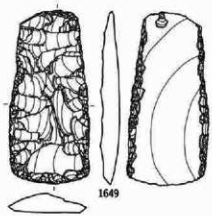


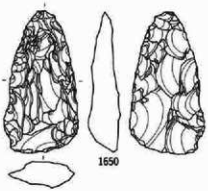
第232図　石器(19)

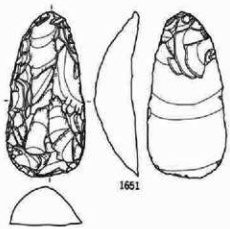


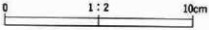




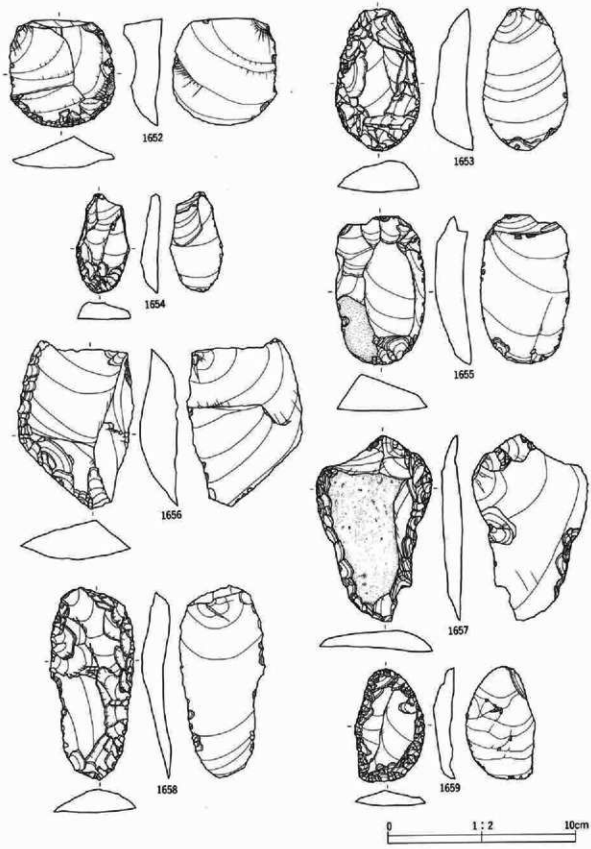




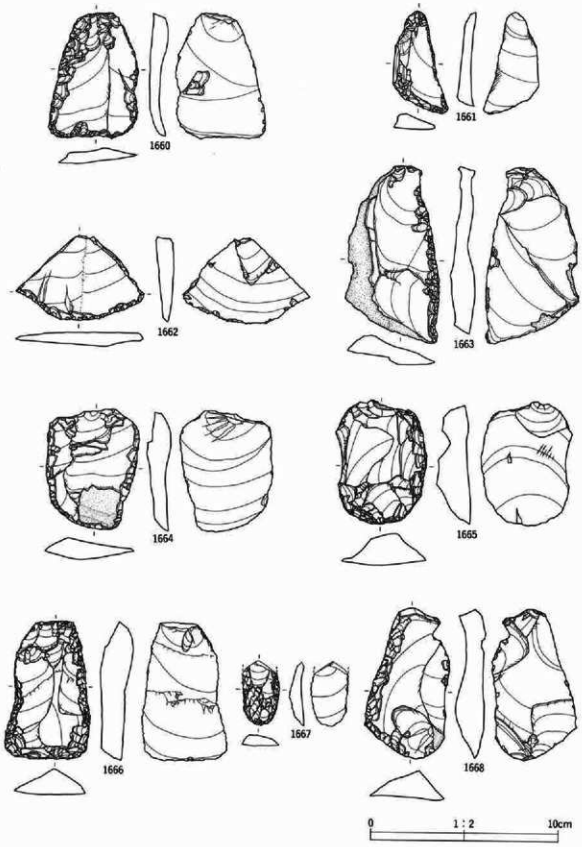




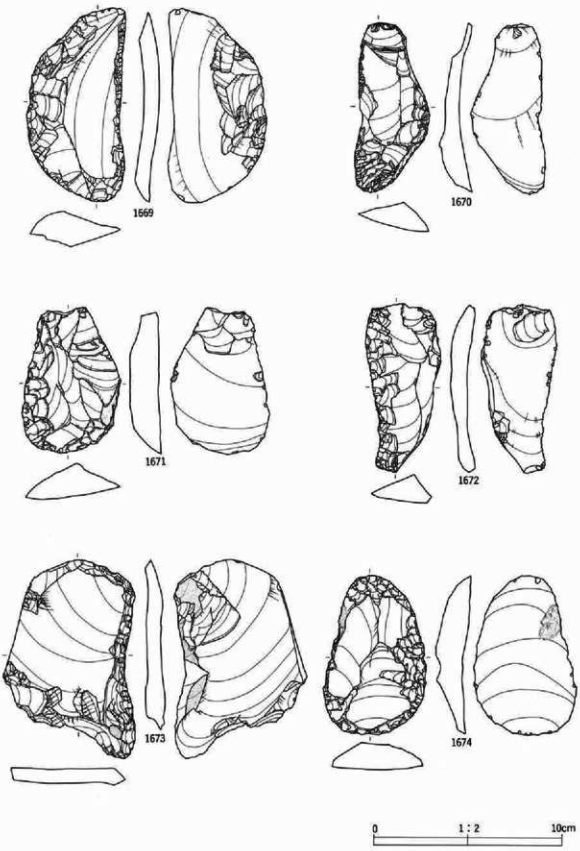
第233図　石器(20)



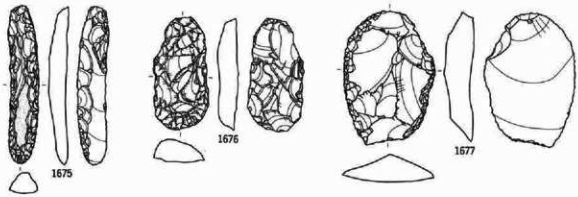
第234図　石器(21)

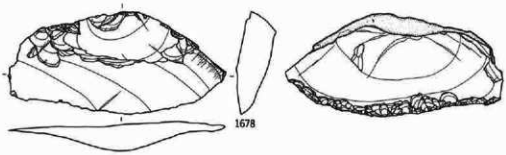


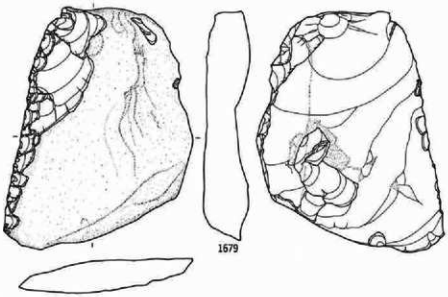
第235図　石器(22)

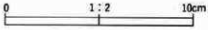


第236図　石器(23)

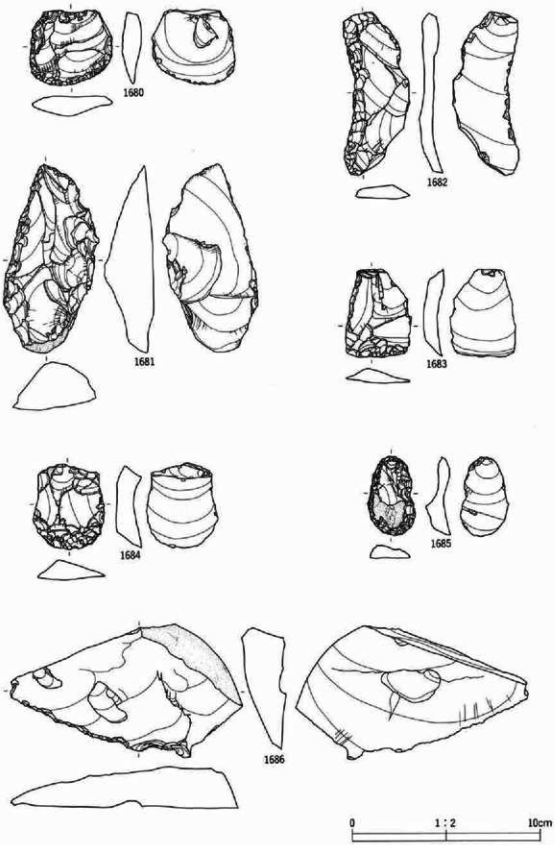




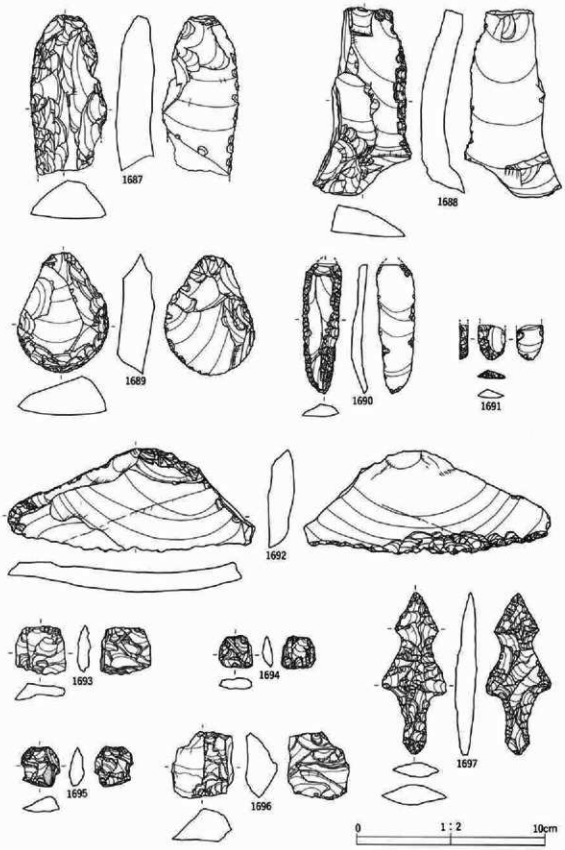




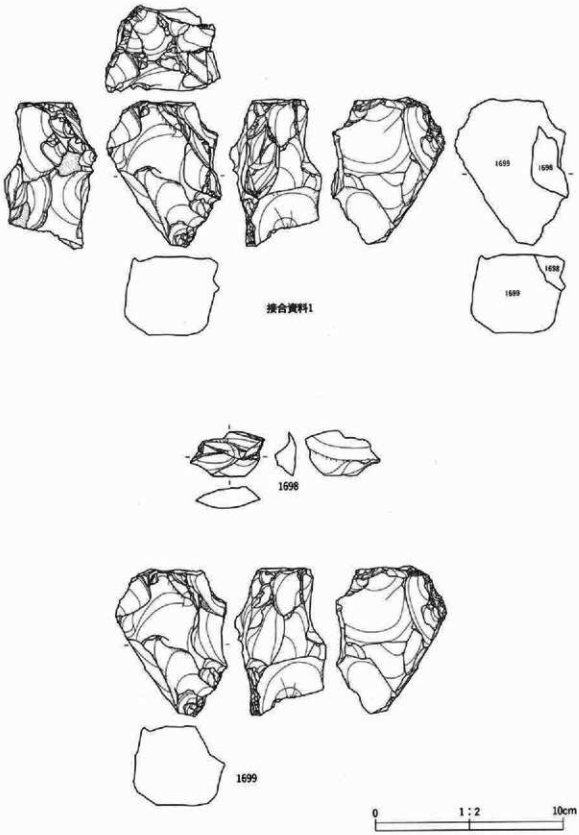
第237図　石器(24)



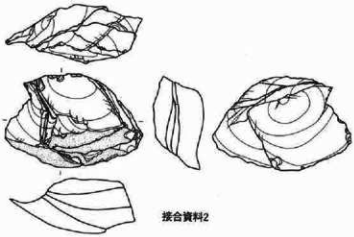
第238図　石器(29)


1687
1688
1689
1690
1691
1692
1693
1694
1695
1696
1697
0
1:2
10cm

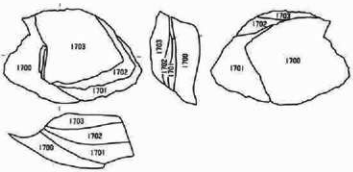
第239図　石器26

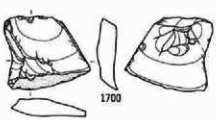


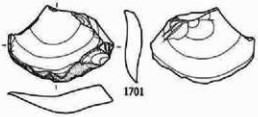
第240図　石器(27)

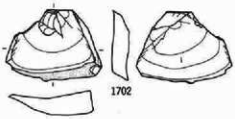


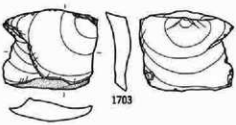
接合資料2

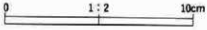




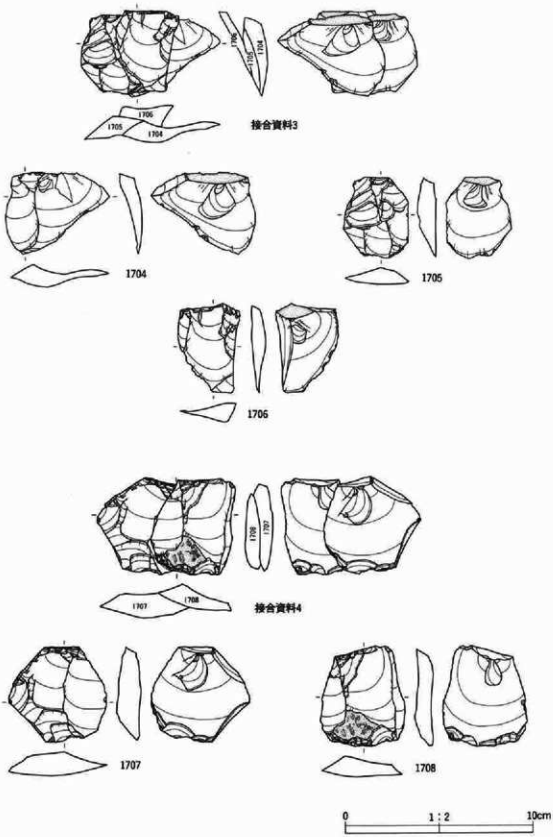




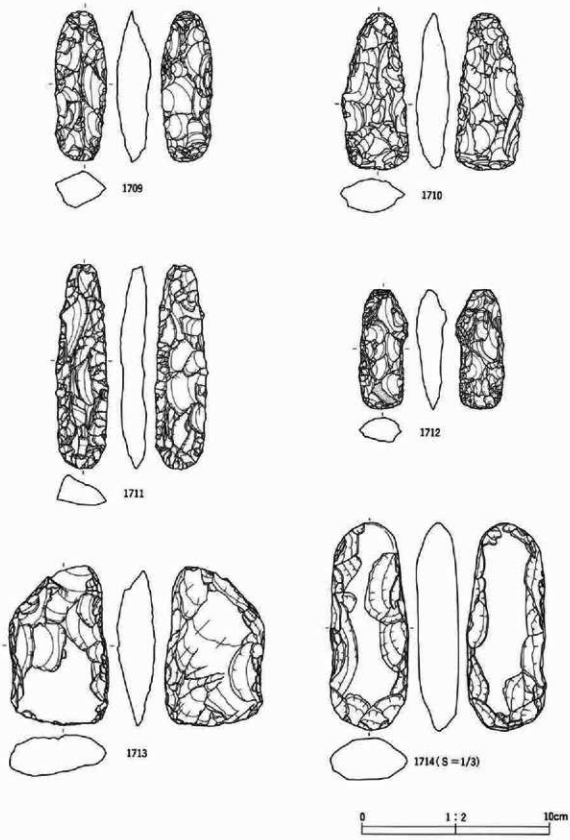




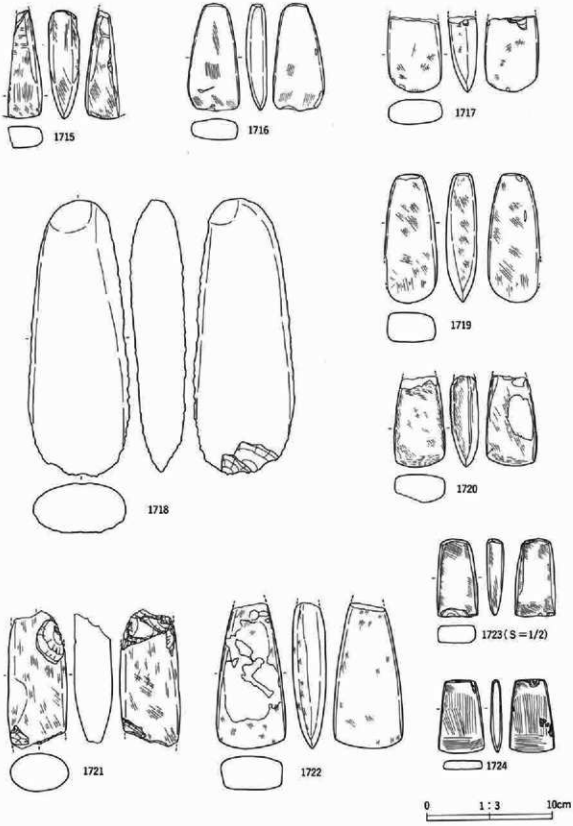
第241図　石器(28)


1706
1705
1704
接合資料3
1704
1705
1706
1707
1708
接合資料4
1707
1708
0
1:2
10cm

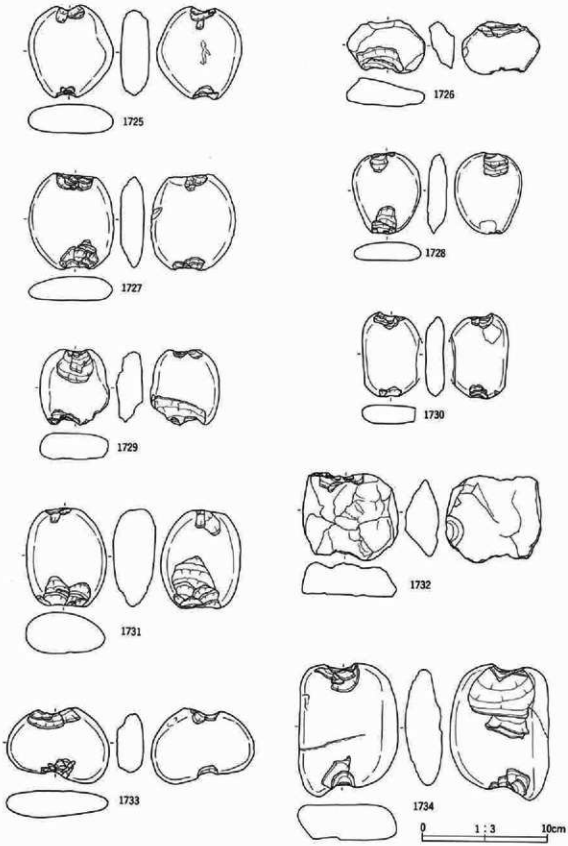
第242図　石器(29)



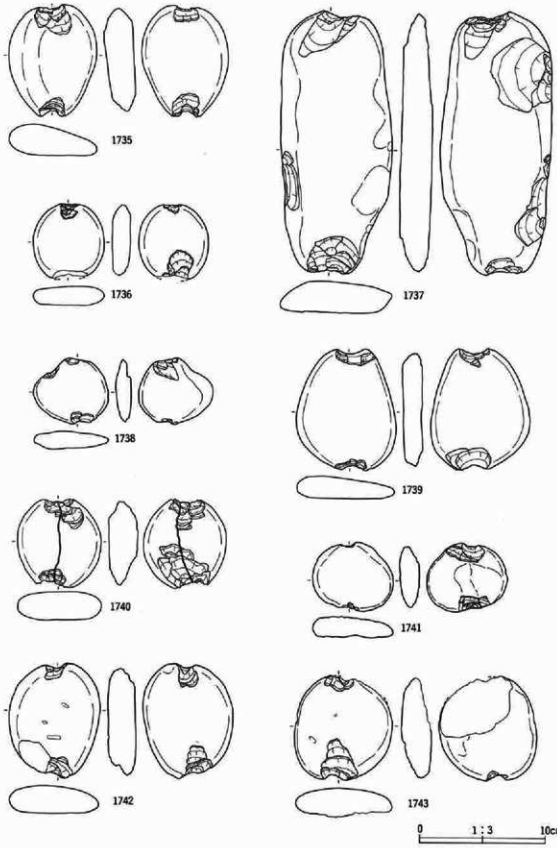
第243図　石器(30)


1715
1716
1717
1718
1719
1720
1721
1722
1723(S=1/2)
1724
0
1:3
10cm

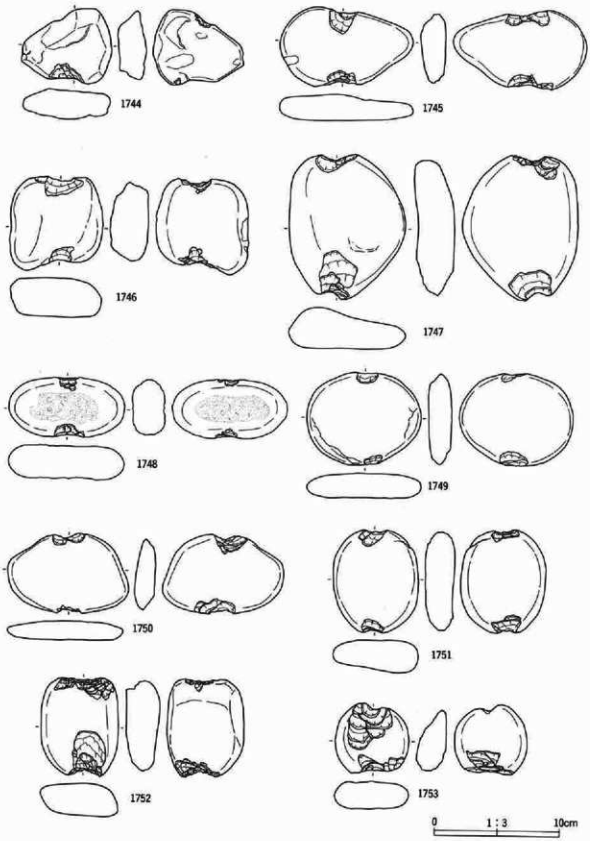
第244図　石器(11)



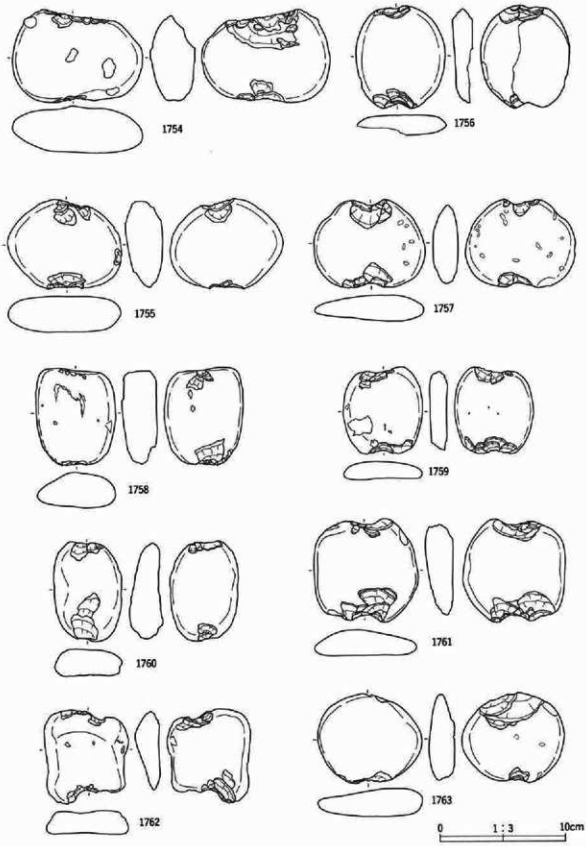
第245図　石器(2)



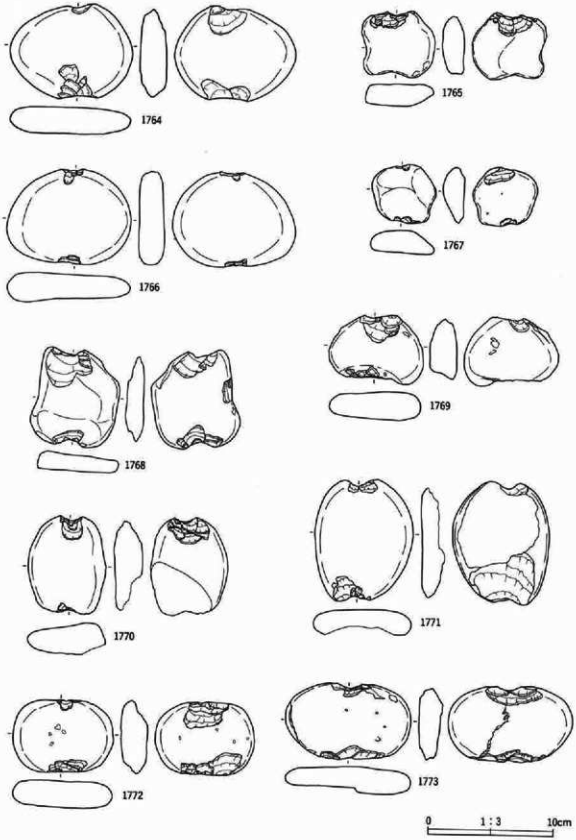
第246図　石器(33)



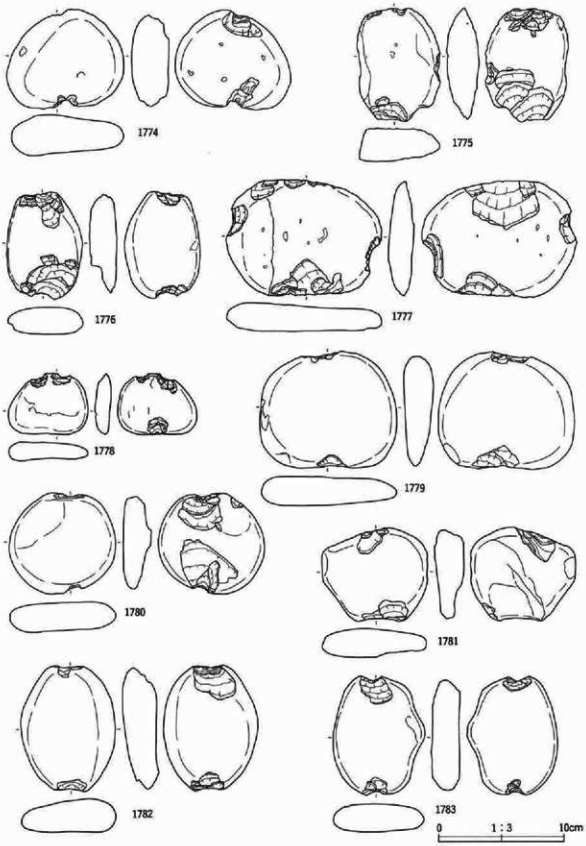
第247図　石器(34)



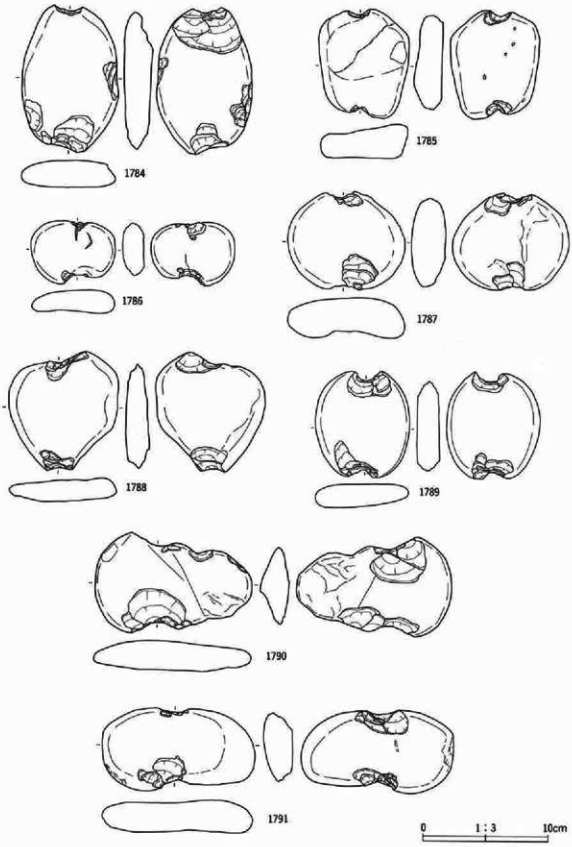
第248図　石器⑤



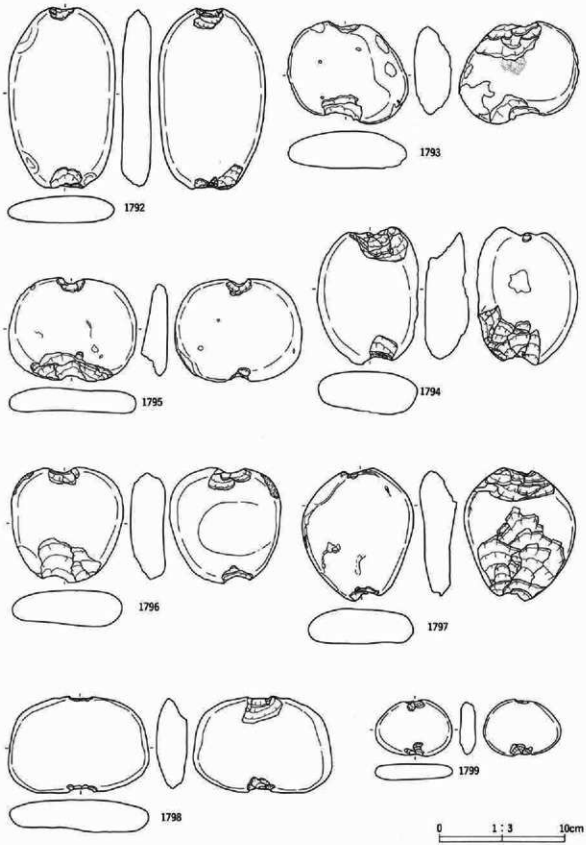
第249図　石器(36)



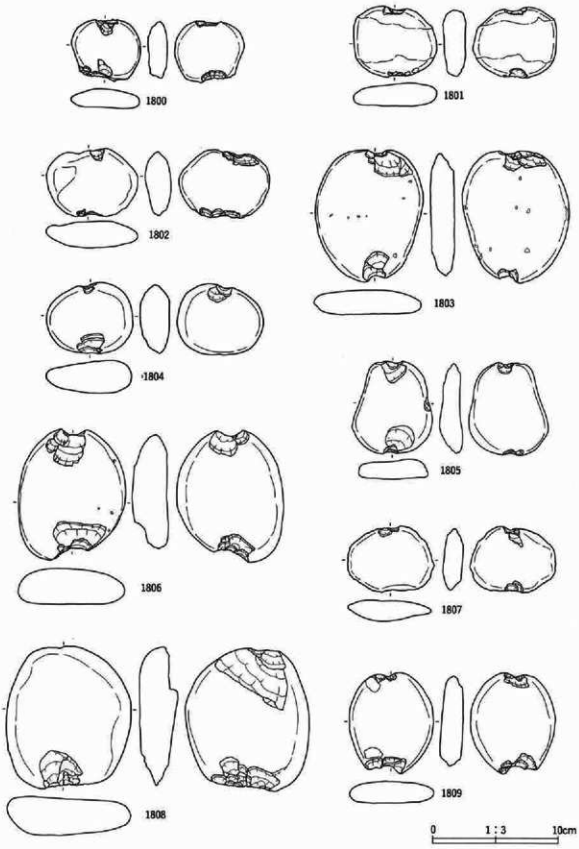
第250図　石器(3/)



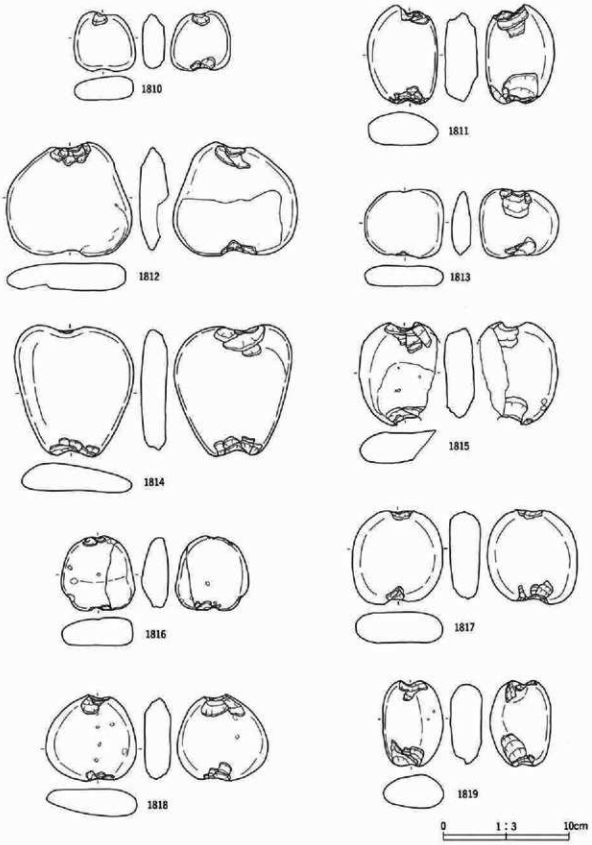
第251図　石器(30)



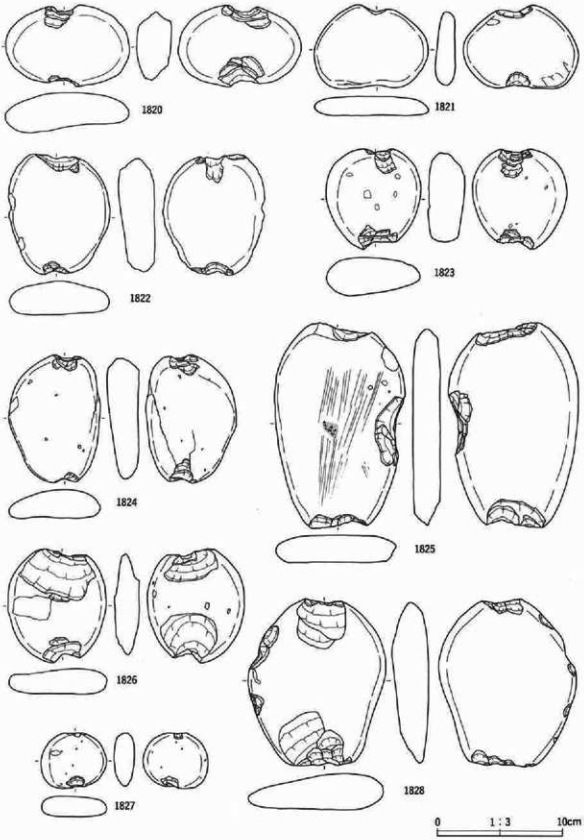
第252図　石器39



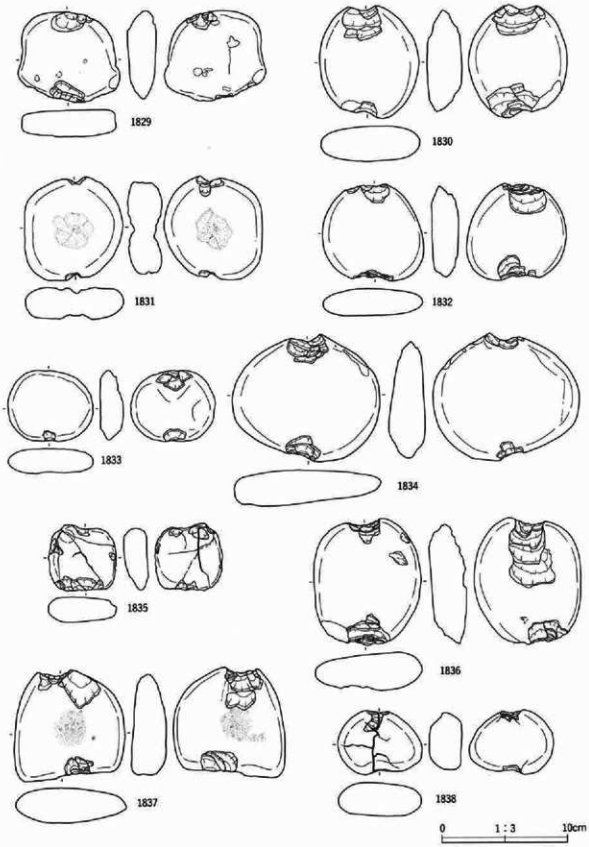
第253図　石器(40)



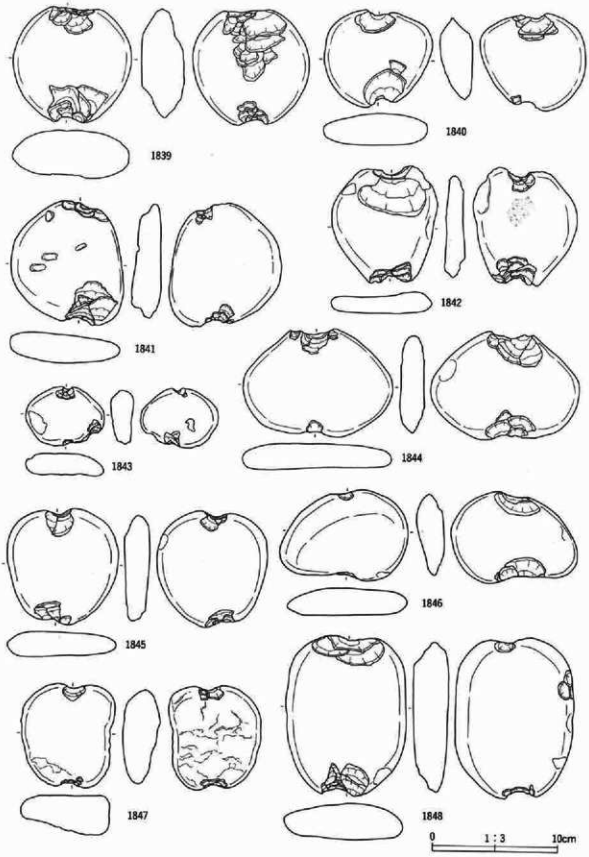
第254図　石器(41)



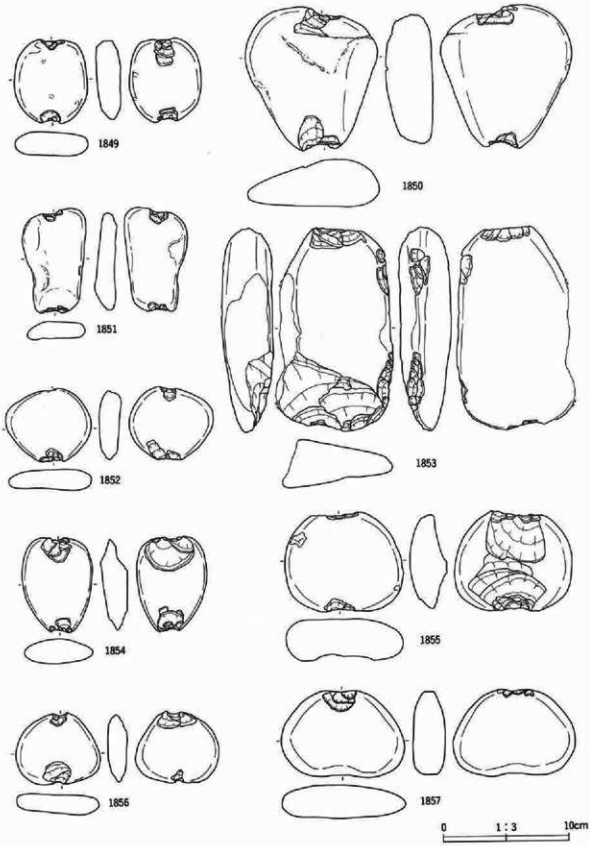
第255図　石器(42)



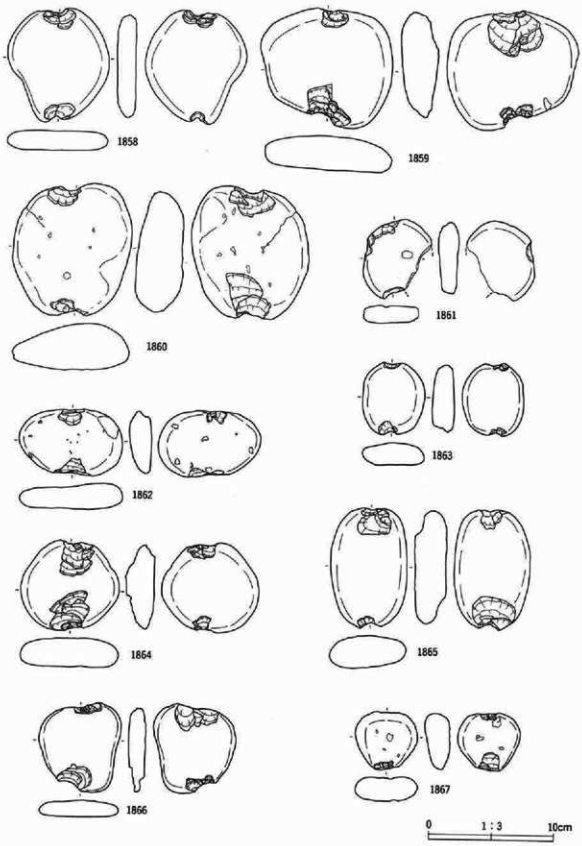
第256図　石器(43)



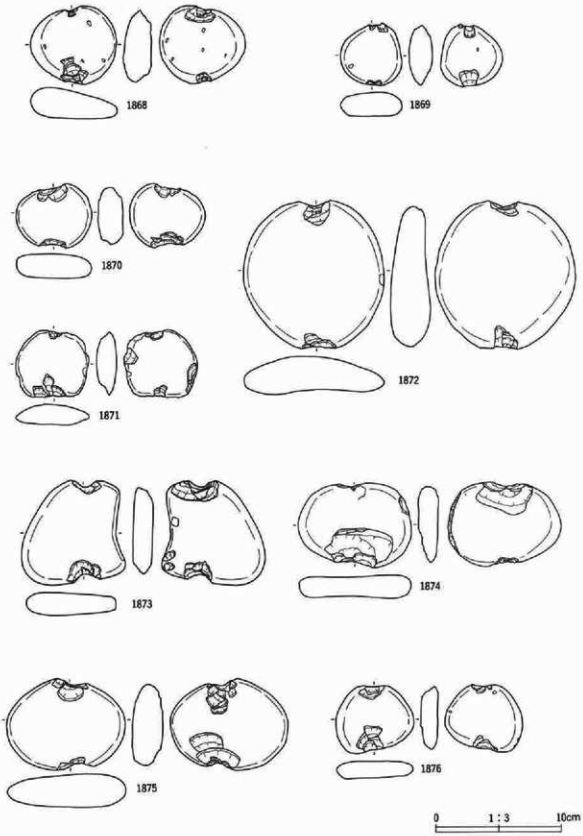
第257図　石器(44)



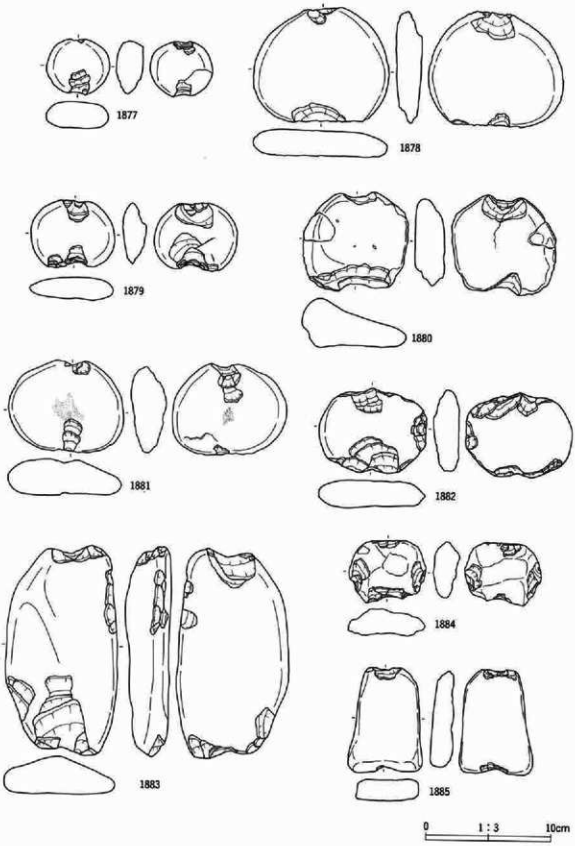
第258図　石器(45)



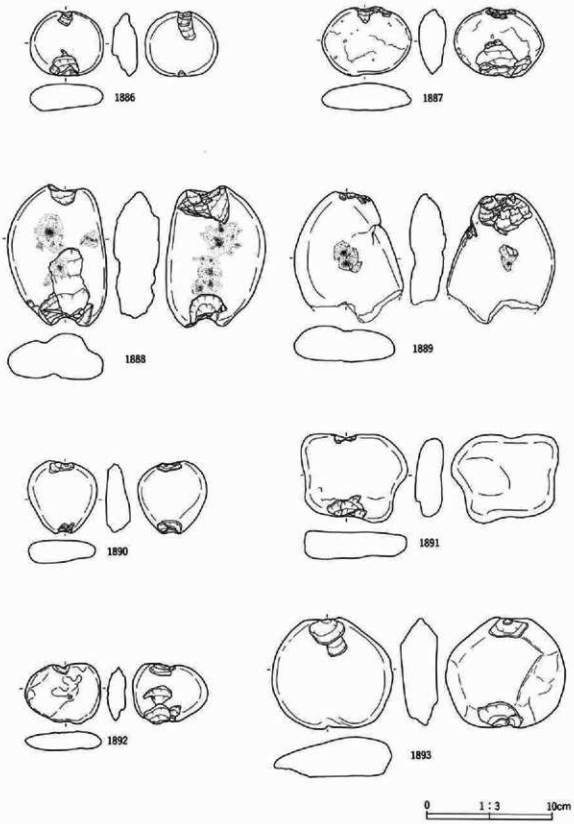
第259図　石器(46)



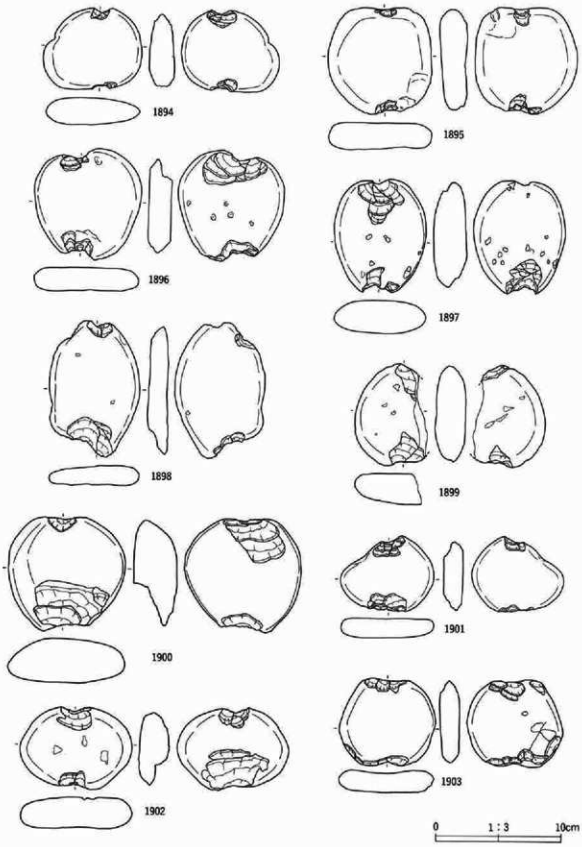
第260図　石器(47)



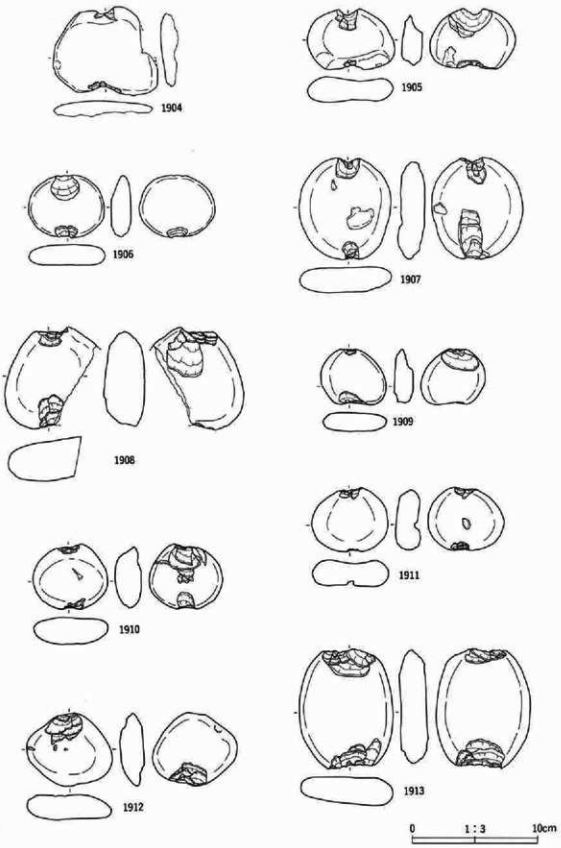
第261図　石器(48)



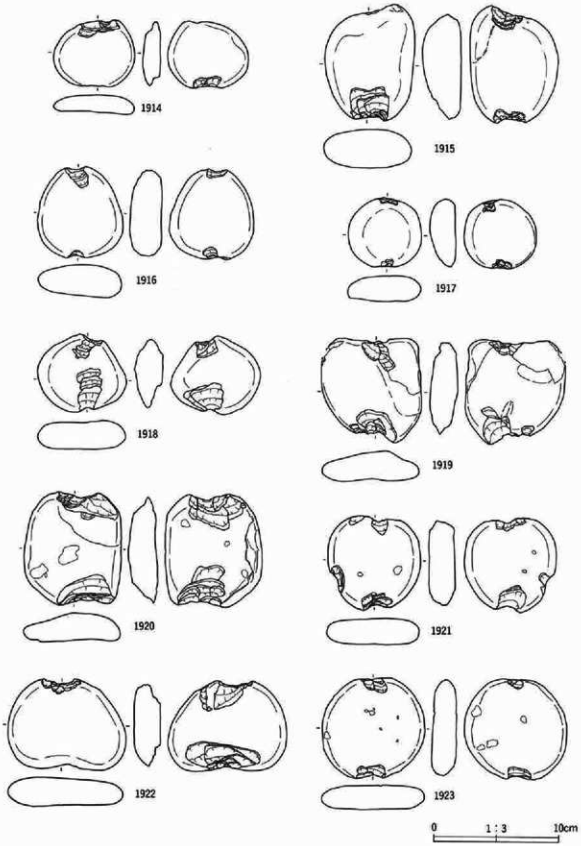
第262図　石器(4)



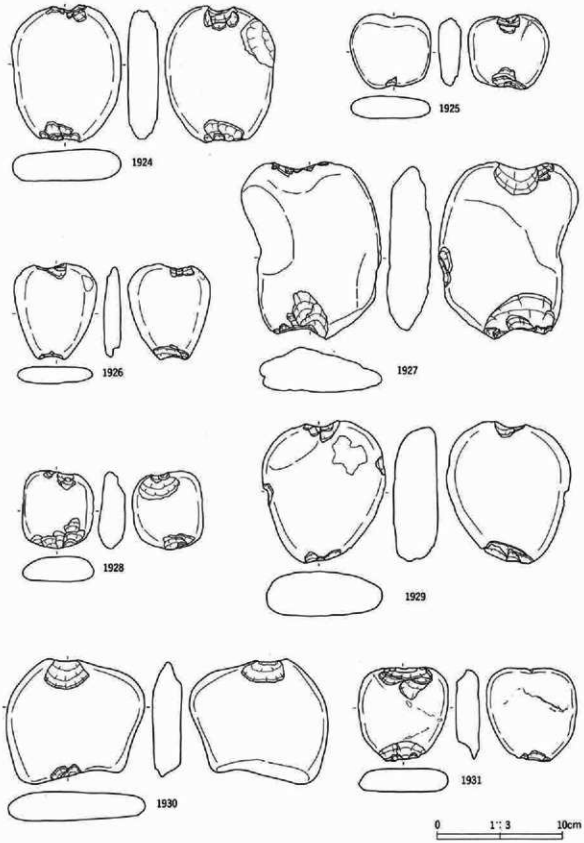
第263図　石器50



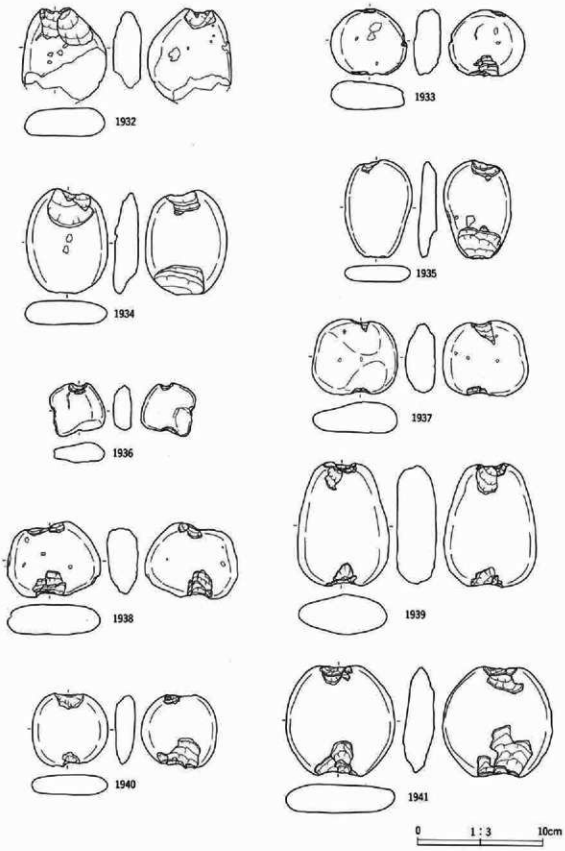
第264図　石器(51)



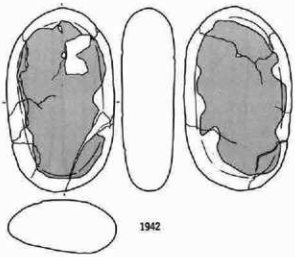
第265図　石器(52)

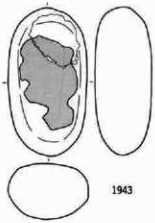


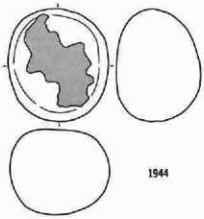
第266図　石器(53)

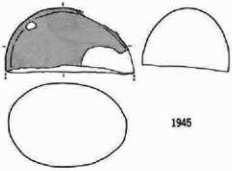


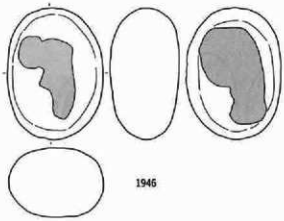
第267図　石器54

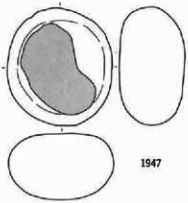


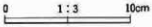




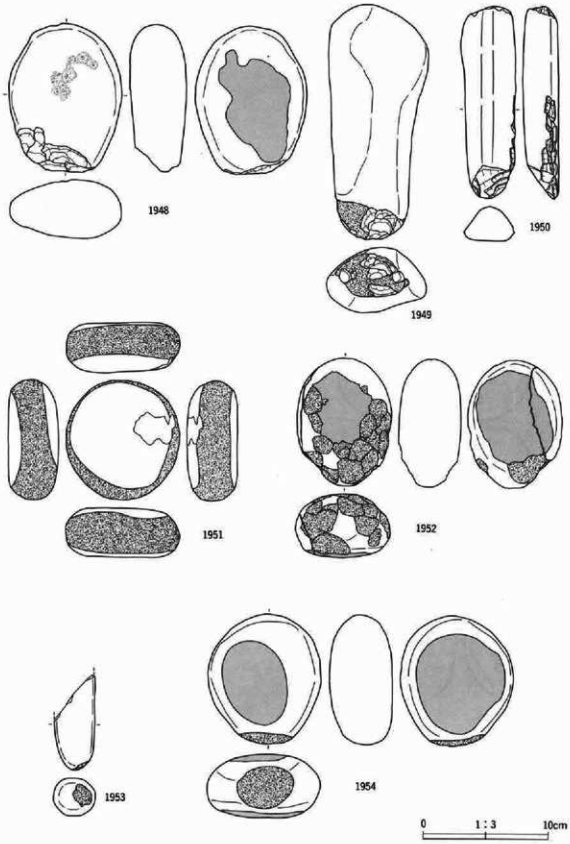




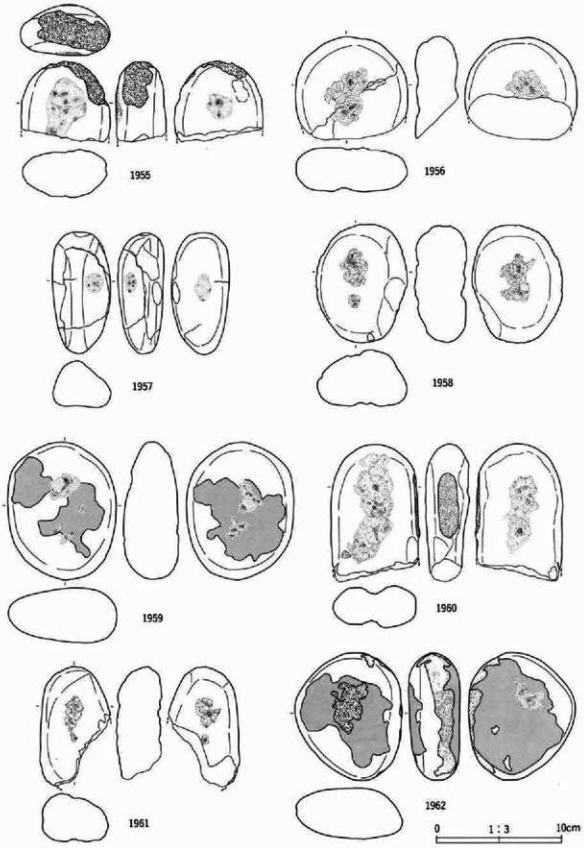




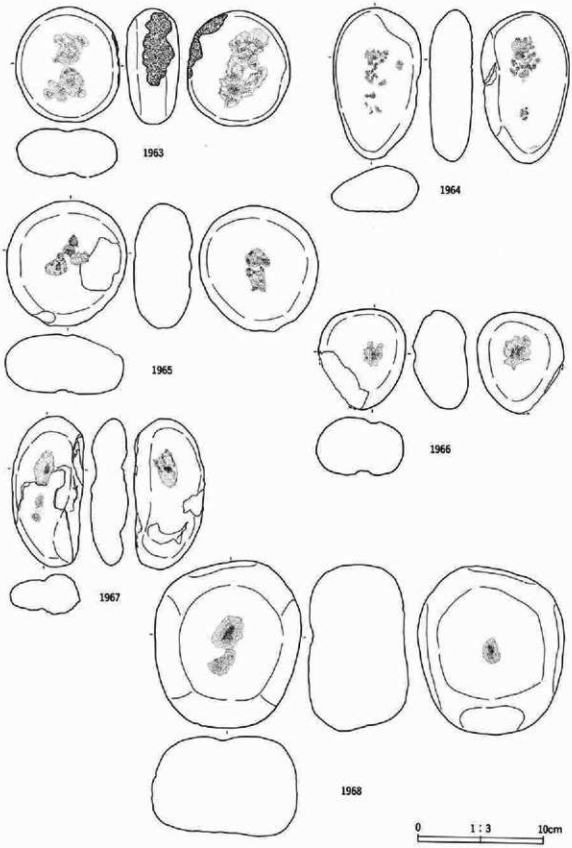
第268図　石器(55)



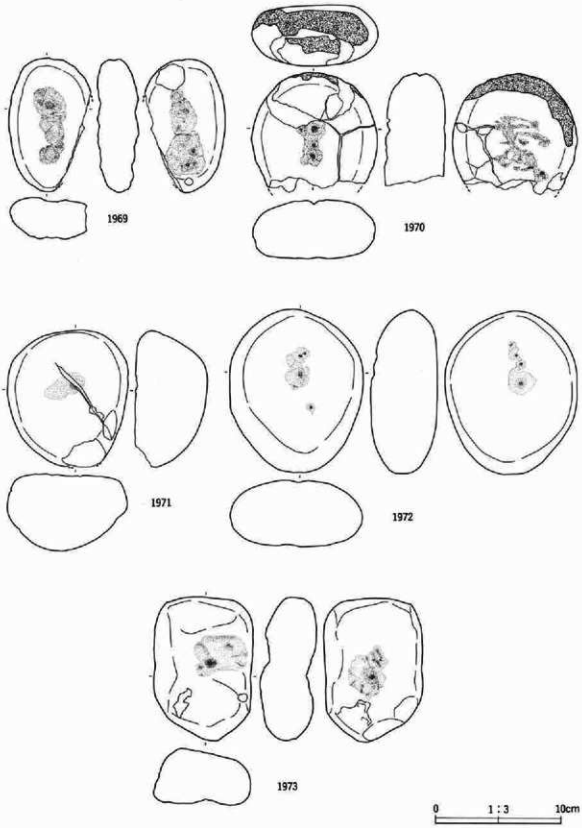
第269図　石器(59)



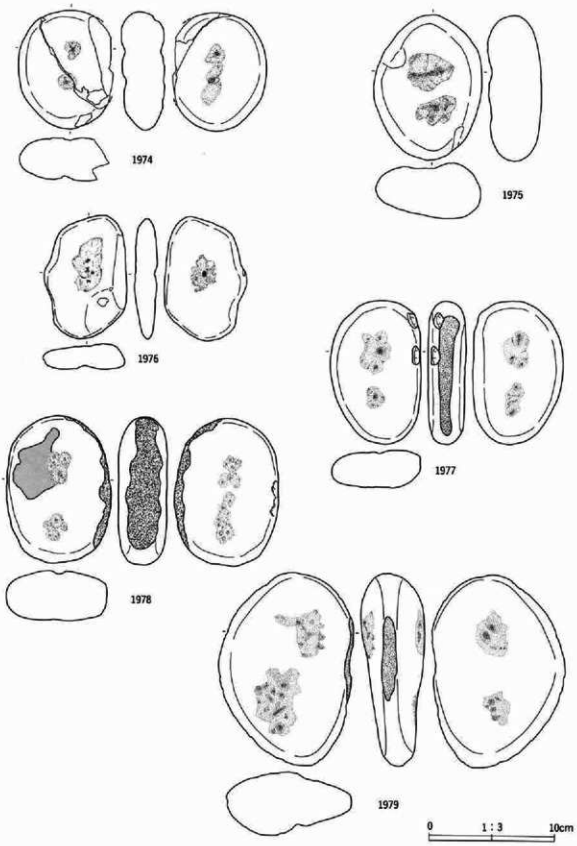
第270図　石器(7)



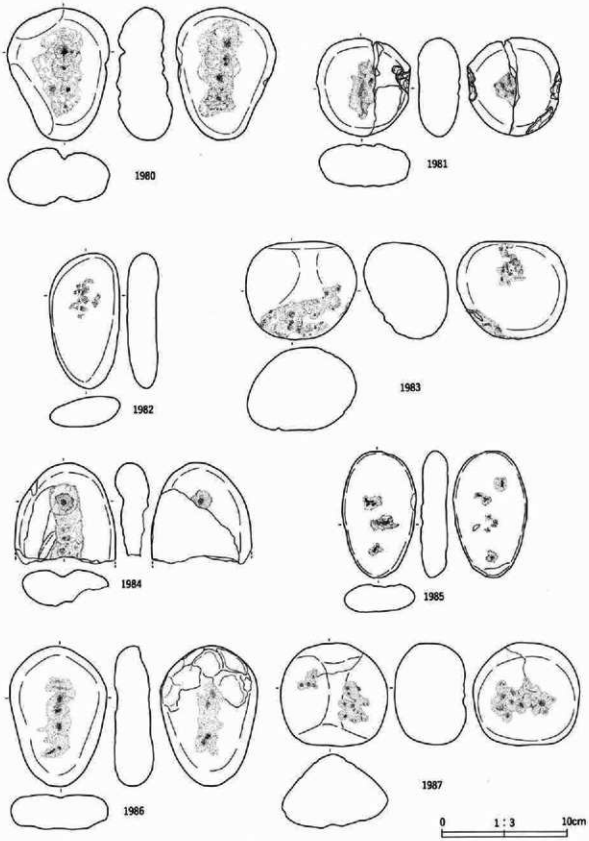
第271図　石器58



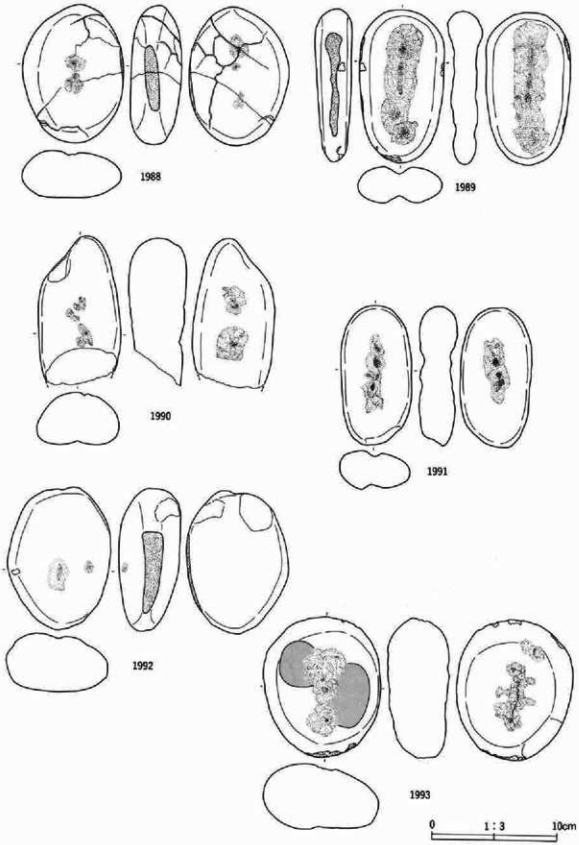
第272図　石器例



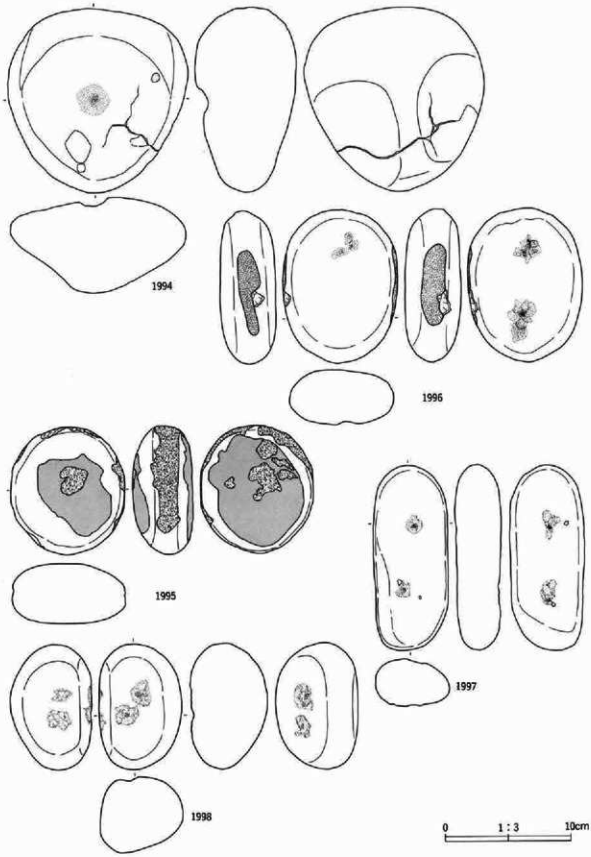
第273図　石器(6)



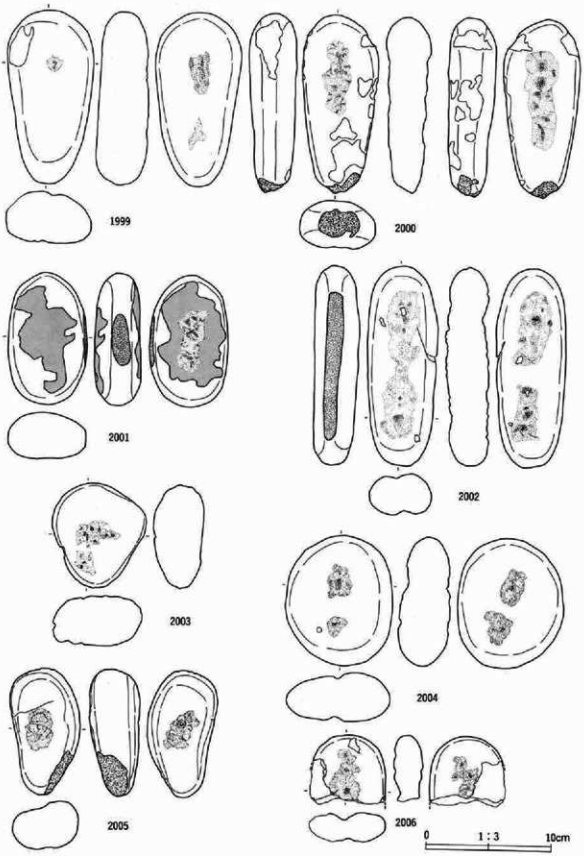
第274図　石器(1)



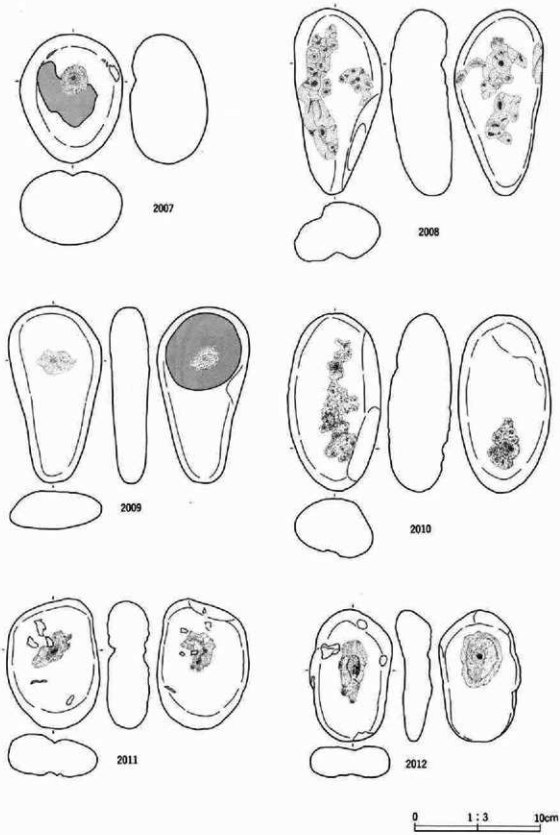
第275図　石器(2)



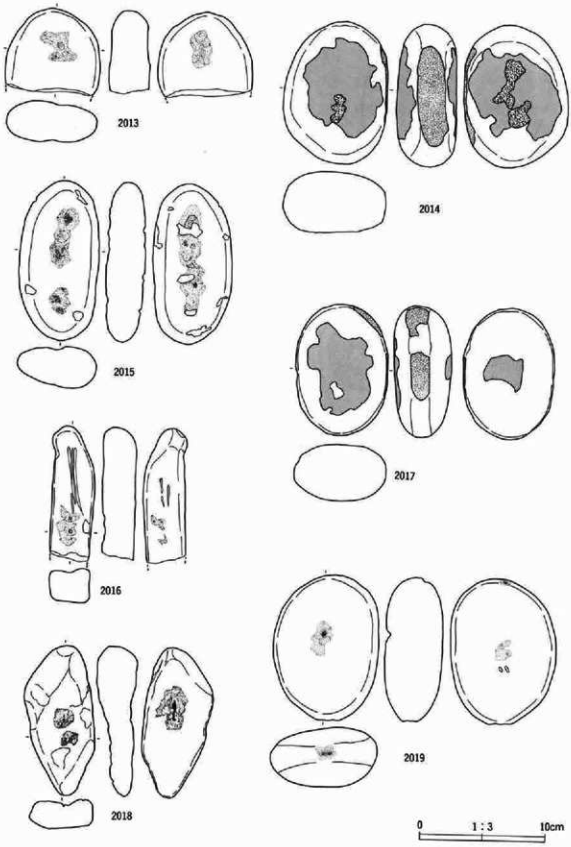
第276図　石器(6)



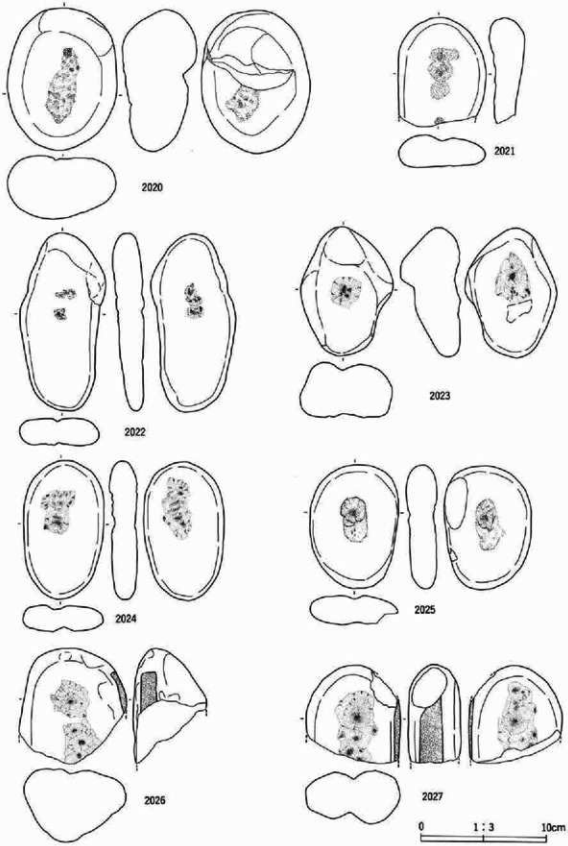
第277図　石器(4)



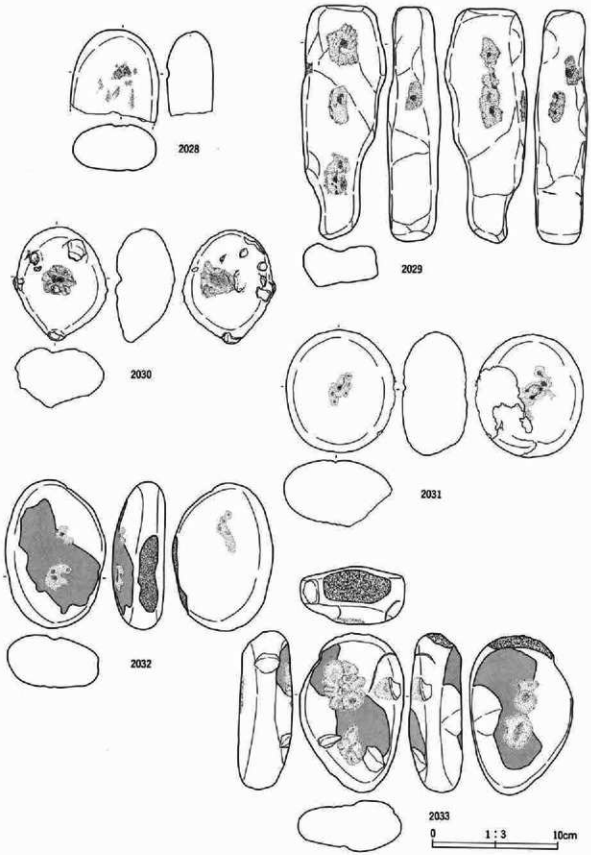
第278図　石器(6)



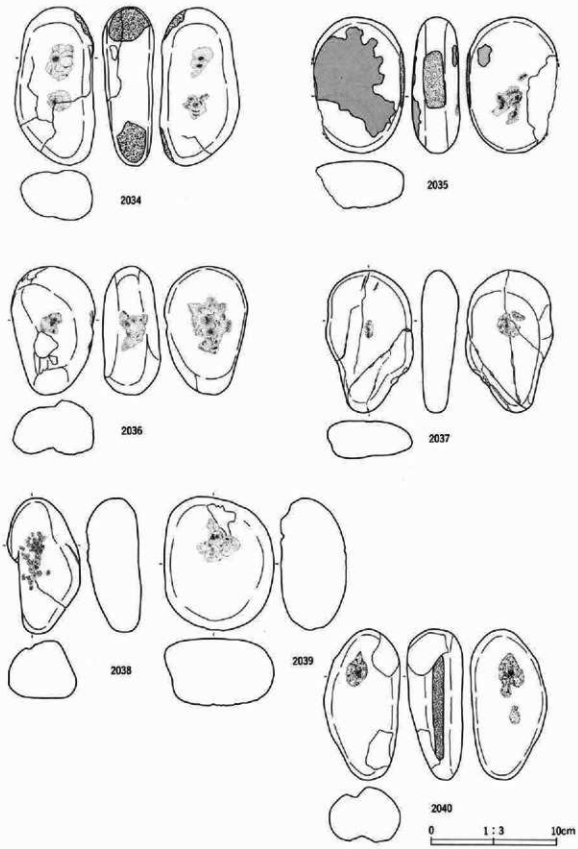
第279図　石器(69)



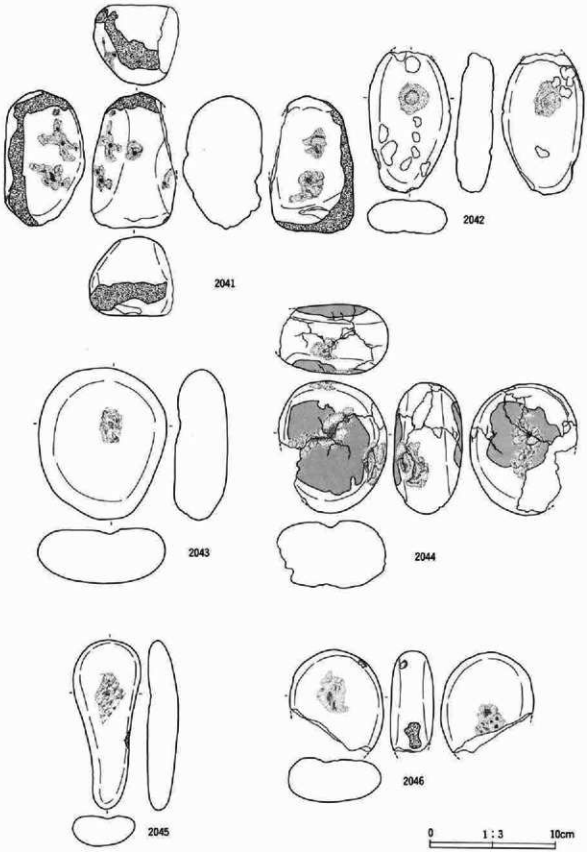
第280図　石器(7)



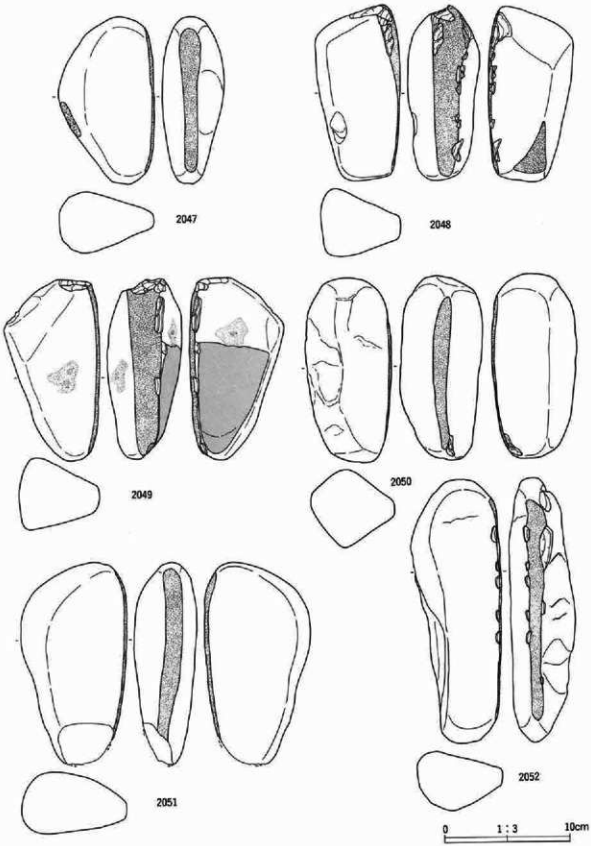
第281図　石器(6)



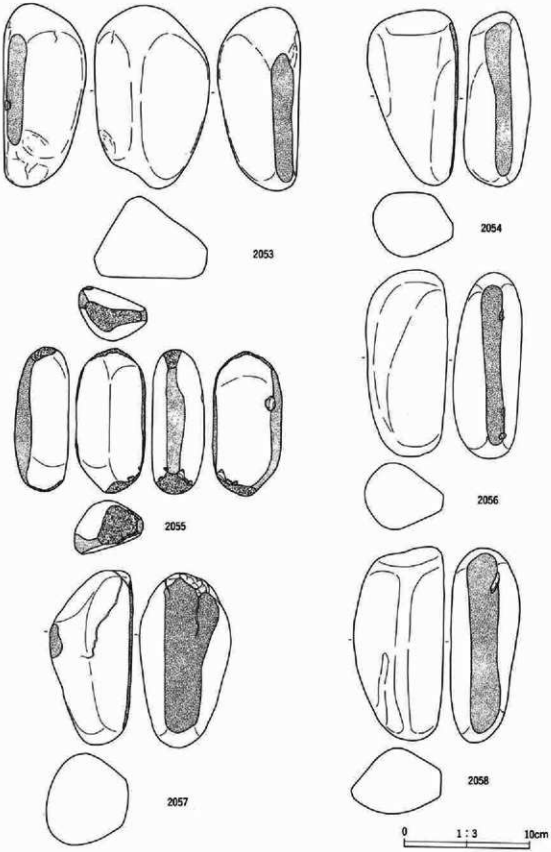
第282図　石器(6)



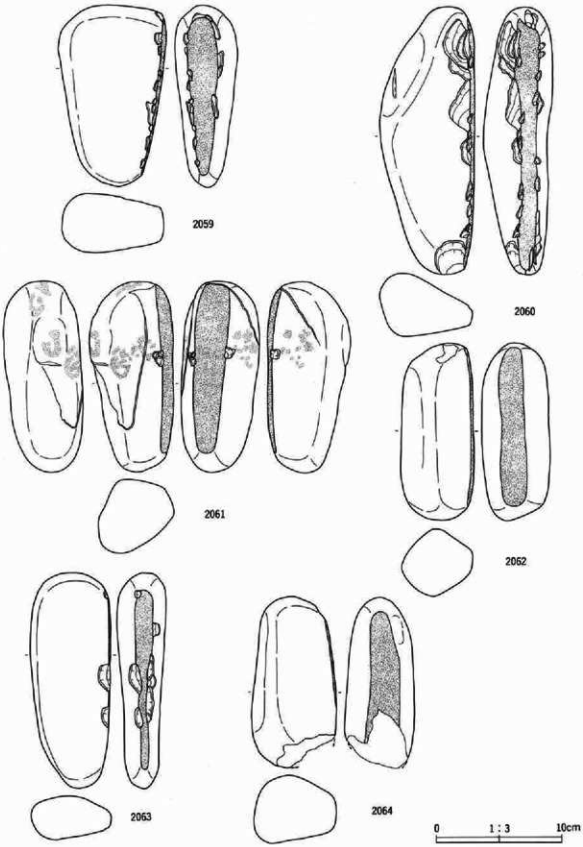
第283図　石器70



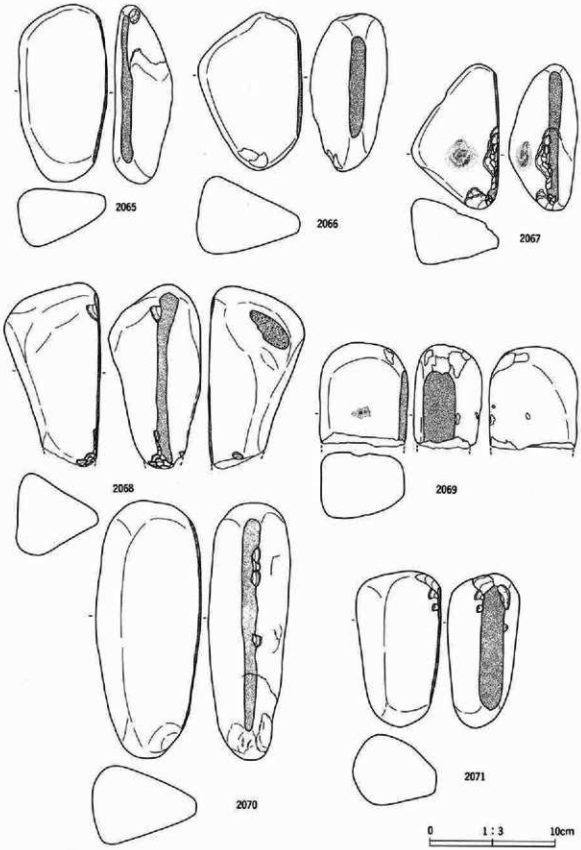
第284図　石器(71)



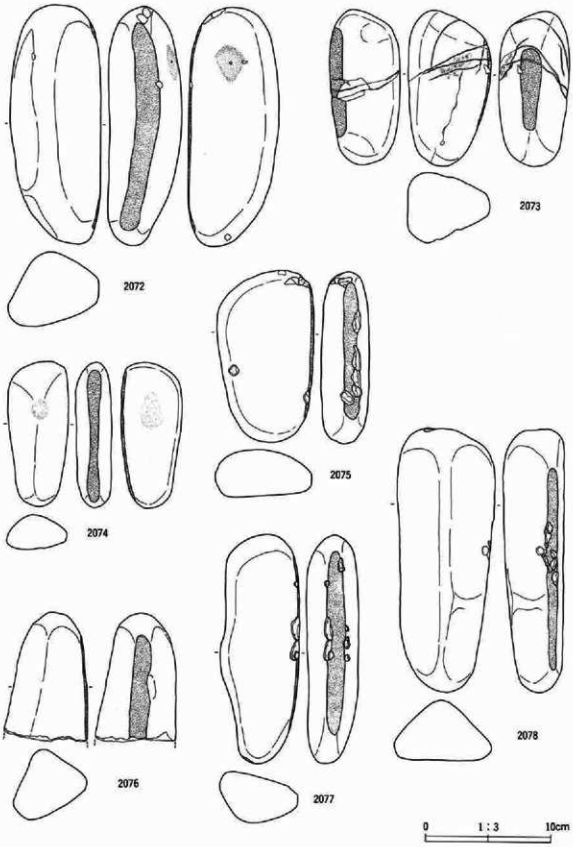
第285図　石器(72)



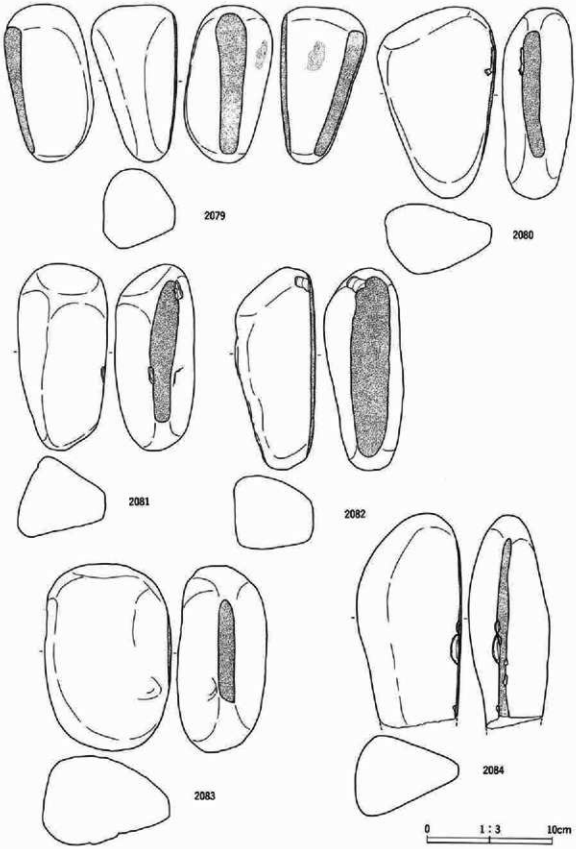
第286図　石器(7)



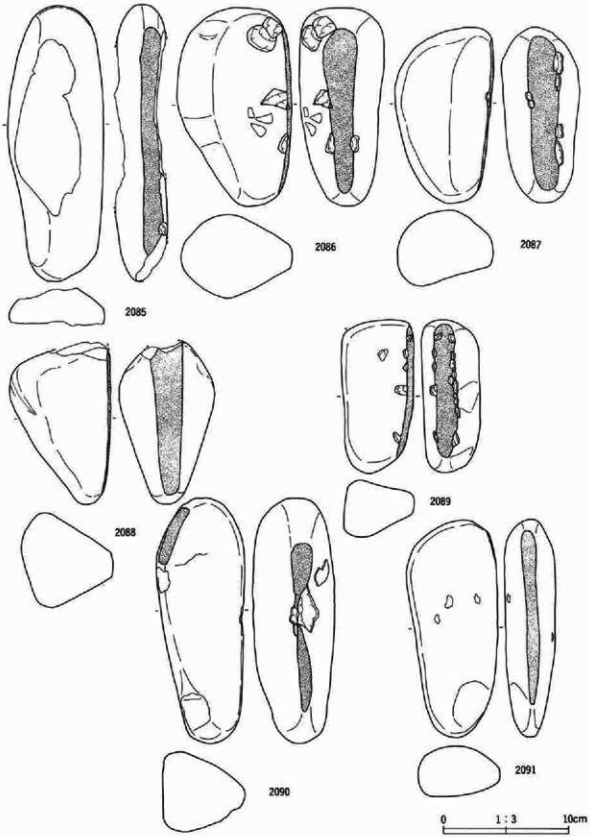
第287図　石器(4)



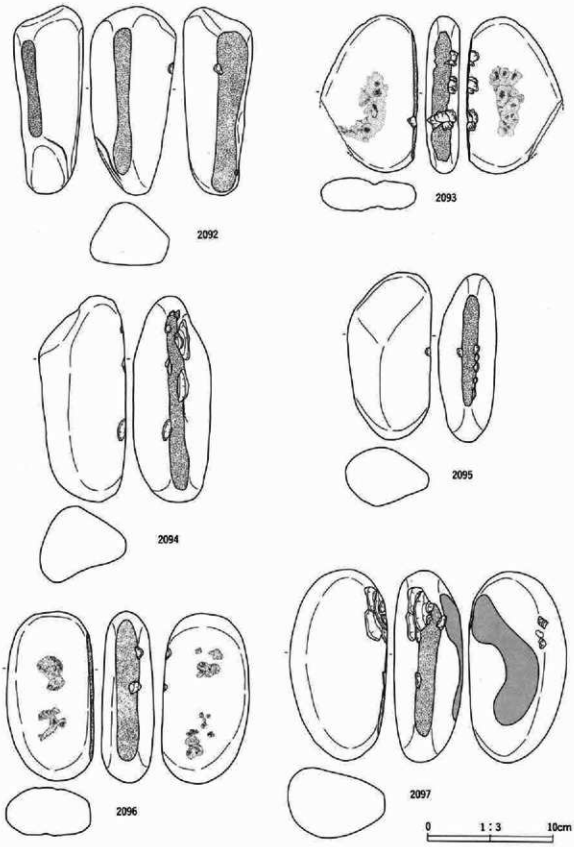
第288図　石器(5)



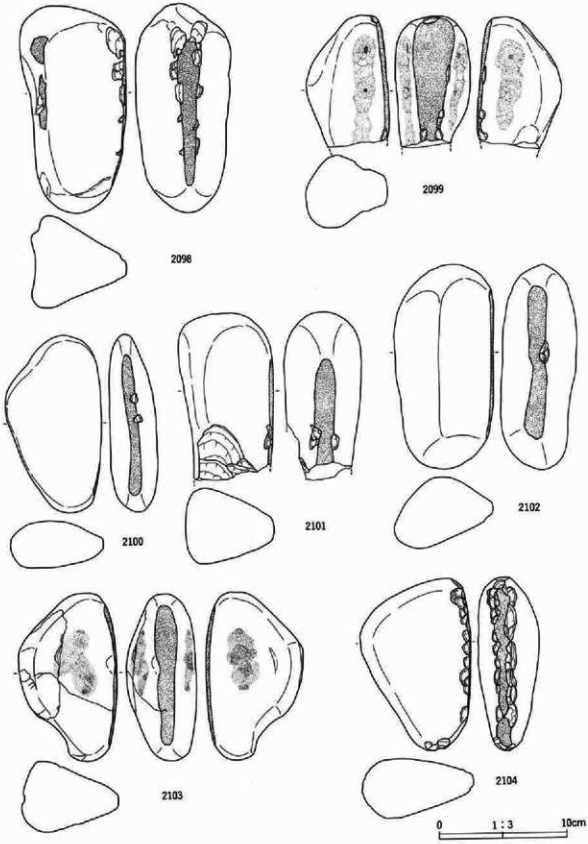
第289図　石器(76)



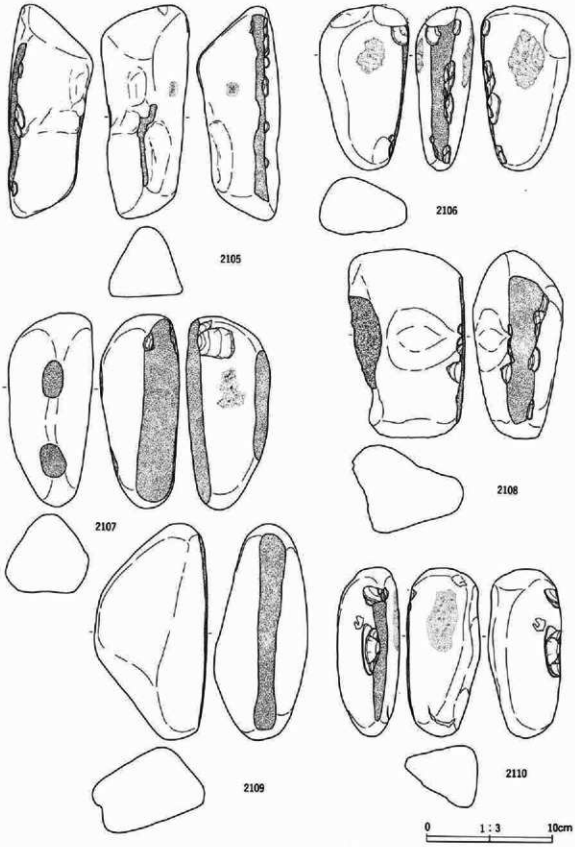
第290図　石器(7)



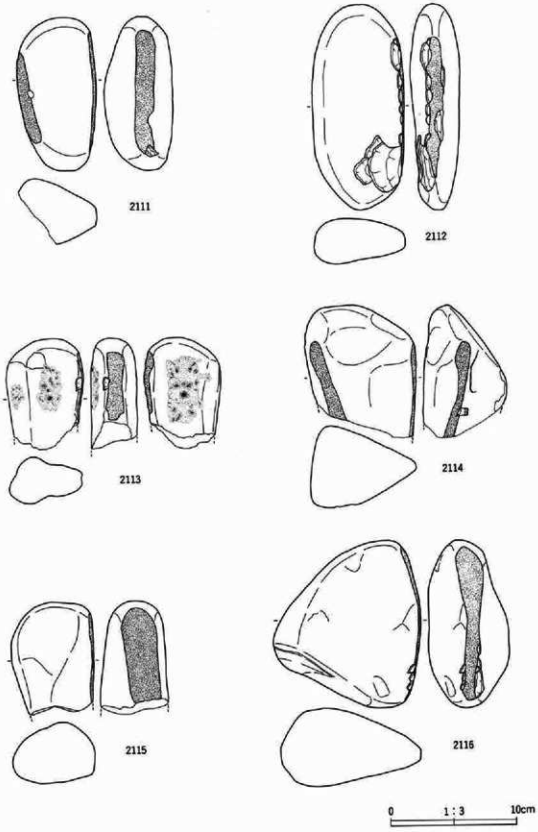
第291図　石器(7)



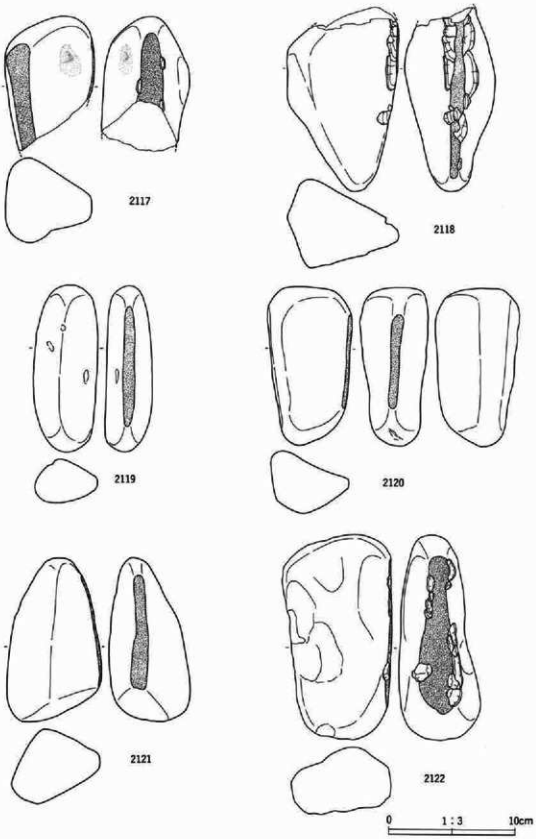
第292図　石器(7)



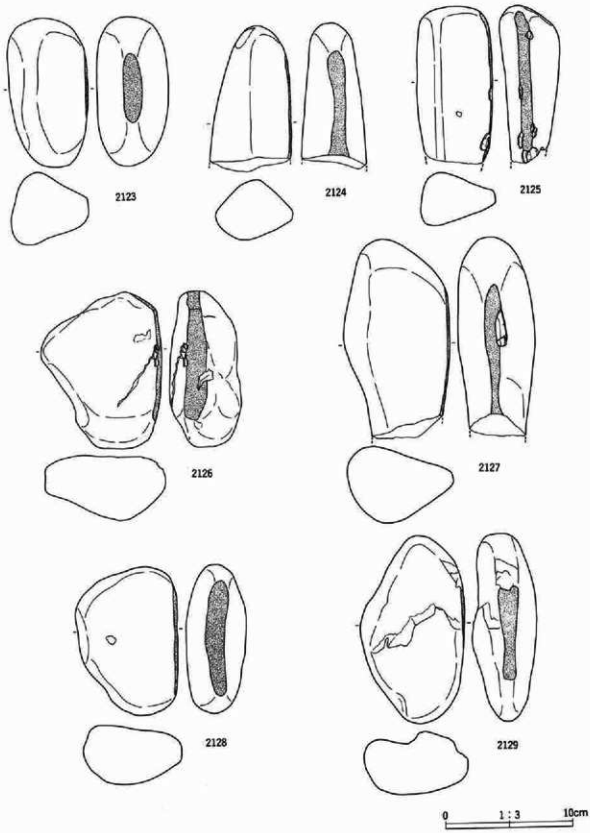
第293図　石器(8)



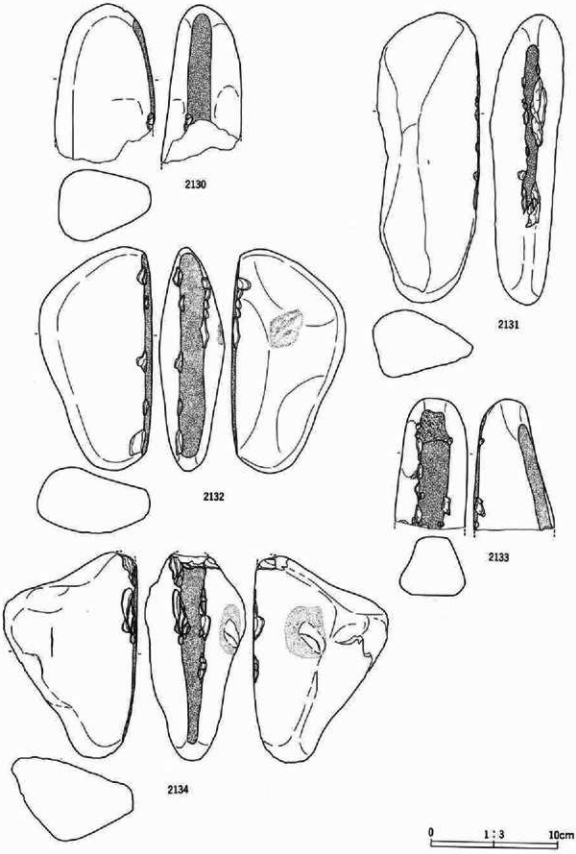
第294図　石器(1)



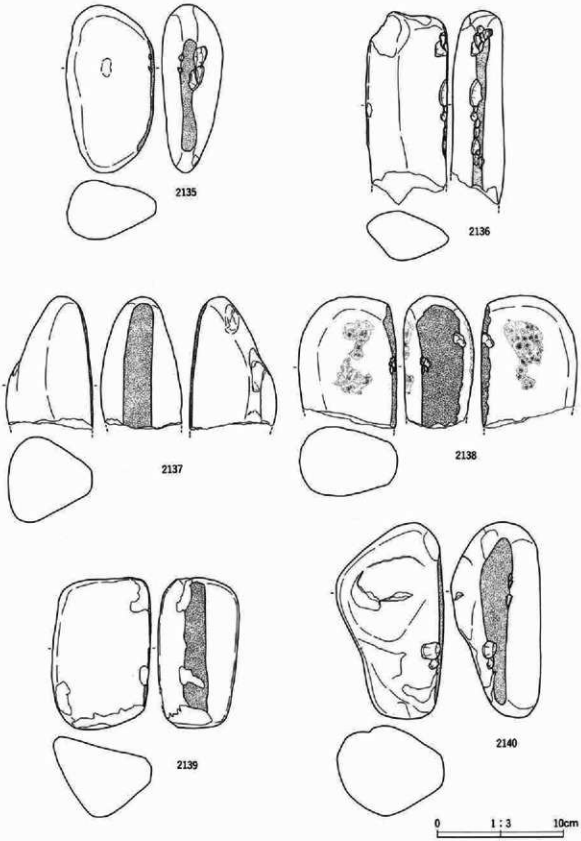
第295図　石器(2)



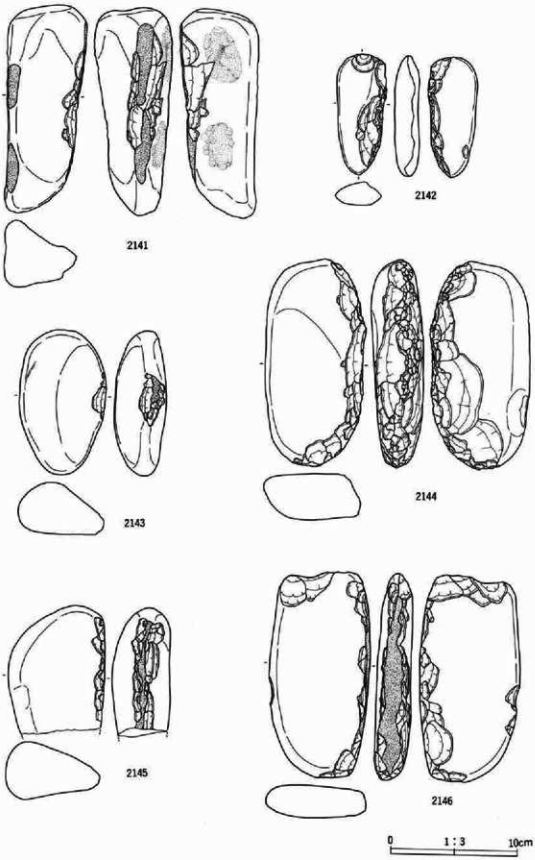
第296図　石器(33)



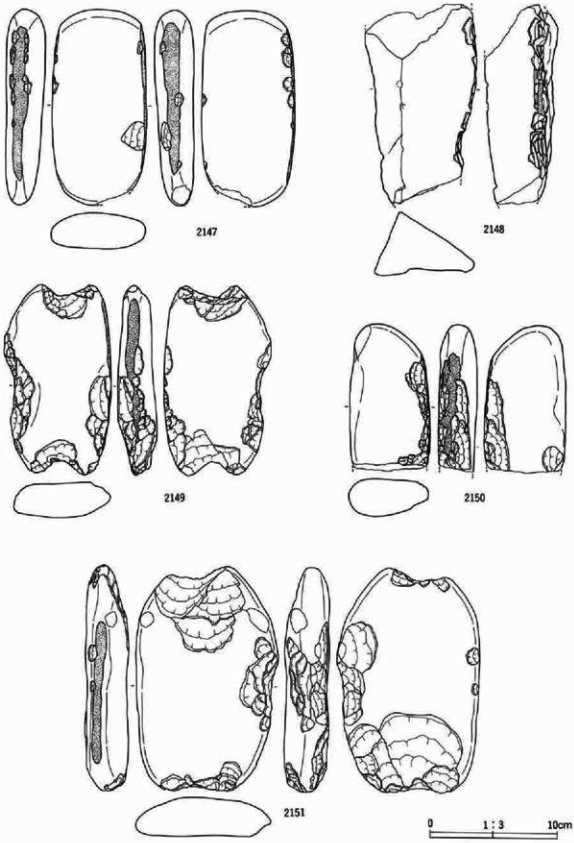
第297図　石器(4)



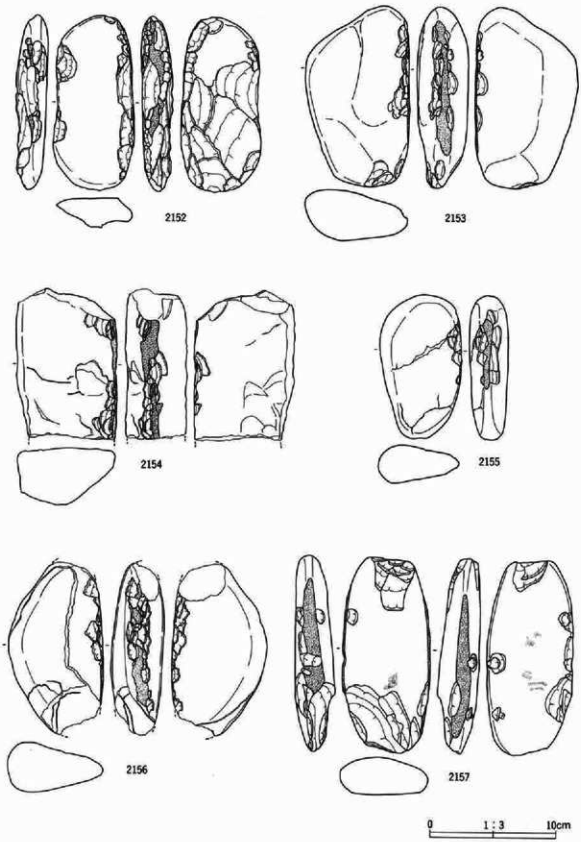
第298図　石器(5)



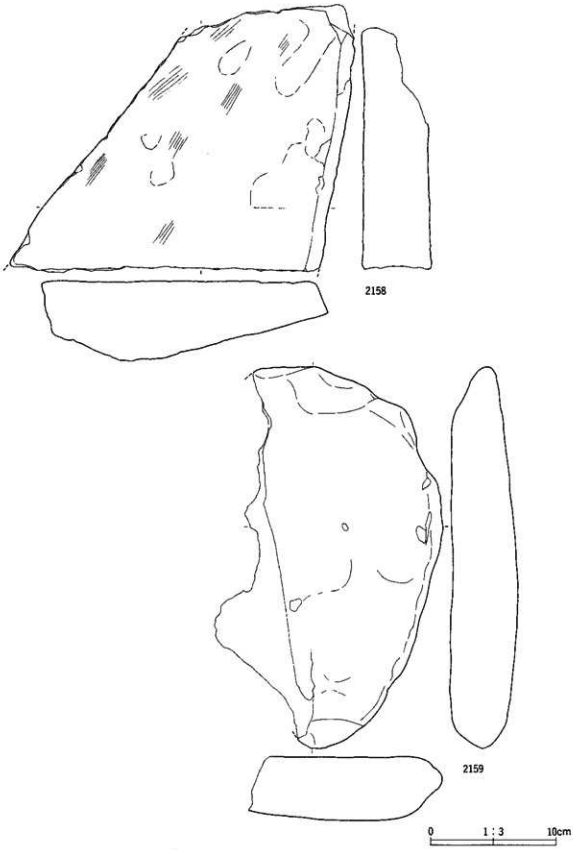
第299図　石器類



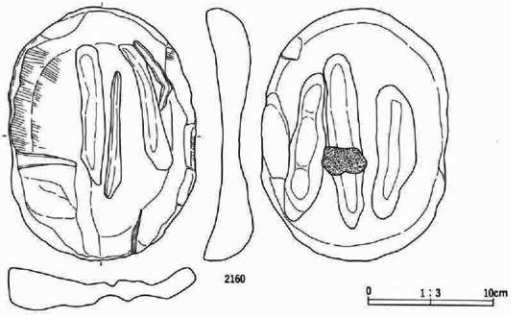
第300図　石器(3)

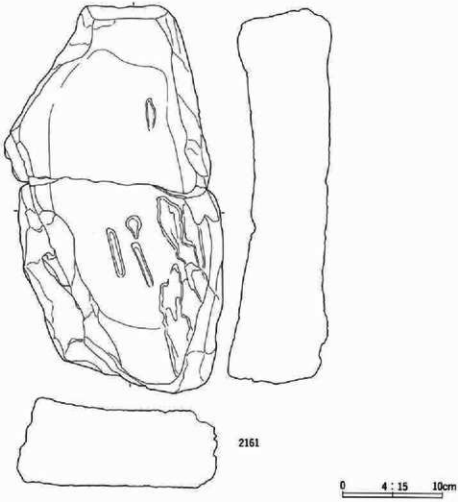


第301図　石器(8)



第302図　石器(8)





第303図　石器(8)

4．石製品（第304～309図、写真図版188～191：2162～2213）

石製品は、113点出土している。内訳は、石棒5点・石剣2点・鏃節形石器2点・燕尾形石製品2点・男根状石製品1点・線刻礫2点・岩偶2点・玦状耳飾り19点・垂飾り4点・種種の形状に加工された石製模造品74点である。このうち52点を図化し、掲載した。

個々の石製品の出土地点・計測値・石材などについては観察表を参照されたい。以下、種別ごとに概要を述べていきたい。時期は、出土状況などからいずれも縄文時代前期末葉の可能性が高い。

石棒（第304図、写真図版188：2162～2166）

棒状の石器で、加工の有無は明瞭でない。5点出土しており、5点図示した。断面形が方形や多角形の角柱状の礫を用いたもので、従来、角柱礫などといわれてきたものである。2162・2164・2165の3点はいずれも欠損品で、半切された状態である。長いものほど欠損する比率が高いようである。石材は、安山岩（1）・流紋岩（3）・デイサイト（1）である。

石剣類（第305図、写真図版189：2167・2168）

形状は細長く、断面形は偏平で剣状の形を有する石製品である。出土した2点を図化した。いずれも欠損品である。2167は先端部分の尖頭部である。石材は、凝灰岩（1）・流紋岩（1）である。

鏃節形石製品（第305図、写真図版189：2169～2170）

鏃節の形状に類する石製品で、この名称が付されている(註1)。2点が出土している。2169は欠損品で詳細は不明である。2170は、一部に剝落があるもののほぼ完形品で、擦痕が顕著である。色調は茶褐色である。石材は、粘板岩（2）である。

燕尾形石製品（第305図、写真図版189：2171・2172）

燕尾の形状に類似する石製品で、この名称が付されている(註2)。2点出土している。2171は完形品で下端部に刻みが施され、上端部には穿孔が施されている。擦痕が顕著である。色調は水色～紺色である。2172は欠損品で詳細は不明であるが、類似するものとしてここに含めた。石材は、流紋岩（1）・粘板岩（1）である。

男根状石製品（第305図、写真図版189：2173）

男根を模した石製品である。DⅣq6グリッドのⅠ層(遺物包含層)から1点が出土している。形状は断面形が円形で厚く、下端分に膨らみをもち、先端部に傘をもっている。擦痕が観察できるが、線刻などは施されていない。中央付近で欠損している。石材は、緑色凝灰岩（1）である。

線刻礫（第306図、写真図版189：2174・2175）

意図的に線刻を施した礫で2点出土している。2174は、扁平な礫の一面に敲打による浅い窪みがあり、一端に敲打痕がある。線刻は、一側縁に鋸歯状の線刻が施されている。線刻の太さは0.5㎜である。

2175は、横断面が隅丸方形で両端が丸みを帯びる棒状の礫である。一端に捻れた孔があるが、人為的なものか否かは不明である。線刻は、平坦な一面と一側縁に施されており、縦位に中心に線を引いた後に横位に

13本の線を5㎜～2.5㎝の間隔で描いている。線刻の太さは0.5㎜である。

石材は、砂岩（1）・流紋岩（1）である。

岩偶（第307図、写真図版190：2176・2177）

2点出土している。2176は、小型で下半部が欠損している。板状のもので、頭部と腕部が括れをもって表現されている。2177は、菱形を呈する形状と思われるが、頭部と下半が欠損しており、詳細は不明である。

いずれも擦痕がみられるが、施文はみられず、無文である。

石材は、凝灰岩（2）である。

玦状耳飾り（第307図、写真図版190：2178～2190）

19点が出土しており、12点掲載した。出土状態はいずれも遺構の埋土から他の遺物と混在して出土している。欠損品が多く、ほぼ完形といえるものは2183の1点である。2183は形状から玦状とするには問題が残るが、耳飾りとしてここに含めた。欠損部位は抉れた部分が多く、補修孔も多くみられる。石材が軟質のためかいずれも擦痕が著しい。形状からいくつかのタイプに分けられそうである。

石材は、2183・2186・2190が滑石(3)で、他は凝灰岩（4）・流紋岩（4）・泥岩（1）である。不掲載の7点の石材は流紋岩（5）・凝灰岩（2）である。

垂飾り（第308図、写真図版190：2191～2194）

4点出土しており、4点掲載した。扁平な礫を整形して一端に穿孔している。厚さは、2191を除けば5㎜前後で、穿孔された穴の大きさは径2～3㎜ほどである。平面の形状は楕円形・箆状・隅丸方形状がある。

石材は、2193が滑石(1)、流紋岩（2）・凝灰岩（1）である。

石製模造品（第308・309図、写真図版191：2195～2213）

さまざまな形状に加工された石製品で模造品ともいえるものである。穿孔前の装飾品の未製品である可能性もある。74点出土しており、19点を掲載した。扁平な素材に整形を加えて様々な形状に加工している。平面の形状から楕円形、小判形、箆状、円盤状、隅丸方形状、棒状、球状などに分けられる。石材が軟質のためか擦痕が著しい。

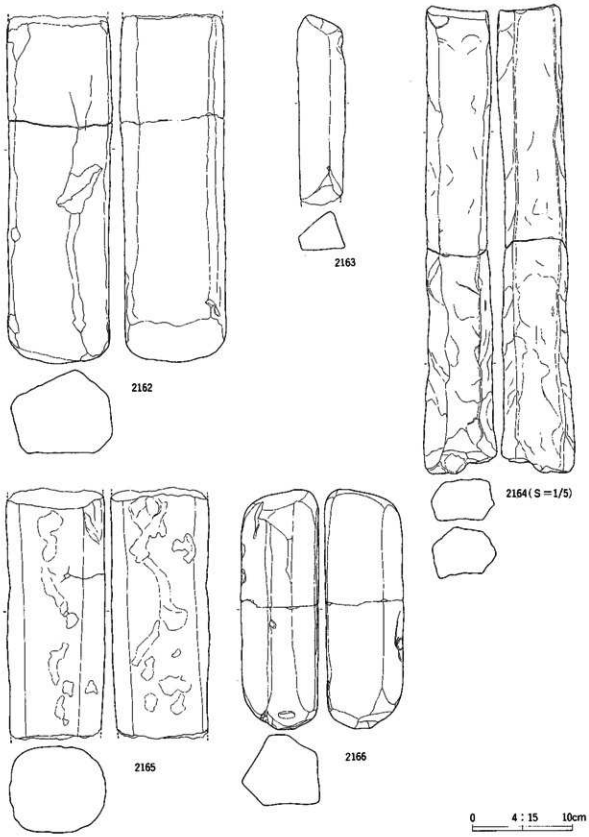
2195は沈線による施文が施されている。2205・2213は未穿孔部分があり、穿孔を意図した痕跡がある。

石材は、流紋岩（8）・凝灰岩（6）・緑色凝灰岩（4）・安山岩（1）である。不掲載の55点の石材は、凝灰岩（19）・流紋岩（14）・緑色凝灰岩（10）・粘板岩（5）・砂岩（4）・泥岩（1）・デイサイト（1）・桂化木（1）である。

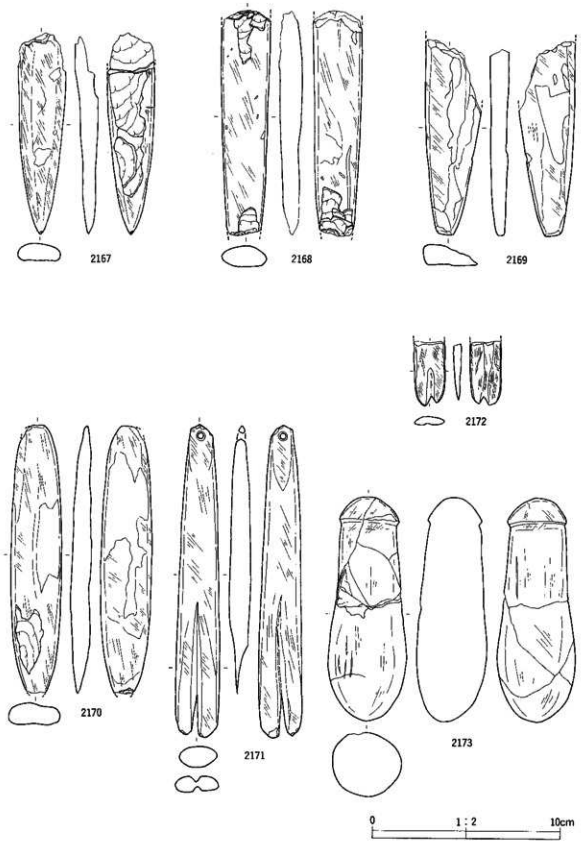
註

(1)「軟質凝灰岩の縦長の転石を研磨し、両端を砲弾状に削り出すことによって全体がカツオブシの形状に似ていること」から、この名称が付されている。前掲註1報告書。

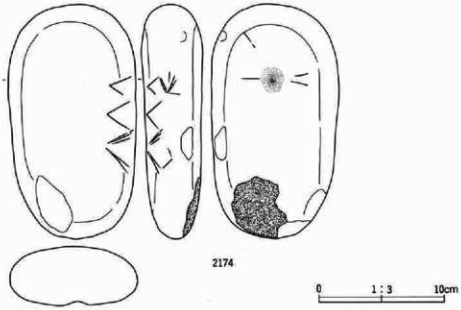
(2)「全体を短冊状や棒状に研磨した後に長軸の一端に切れ込みを入れることで、一端が「燕の尾」状になっている」ことから、この名称が付されている。秋田県教育委員会1988『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅱ―上ノ山Ⅰ遺跡・館野遺跡・上ノ山Ⅱ遺跡』秋田県文化財調査報告第166集。

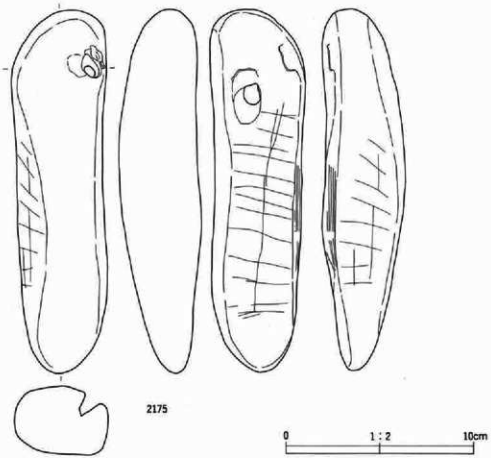


第304図　石製品(1)

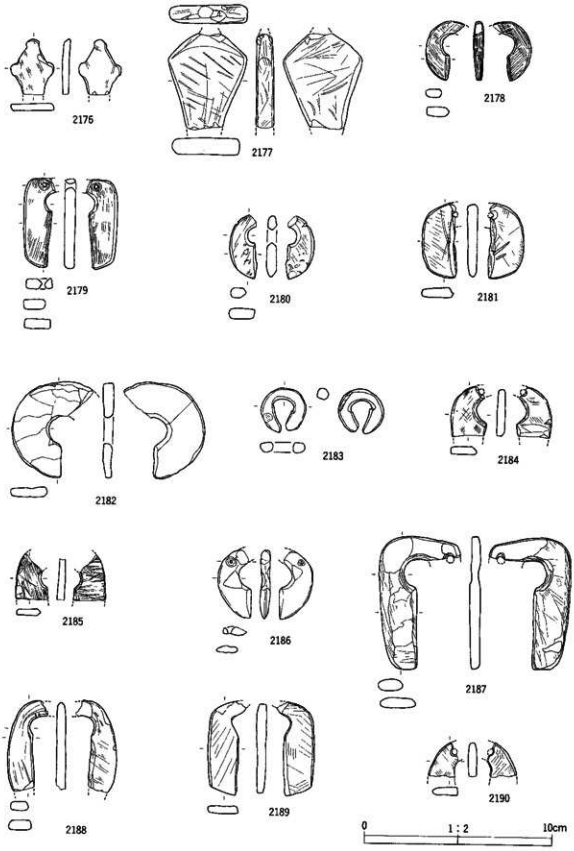


第305図　石製品(2)

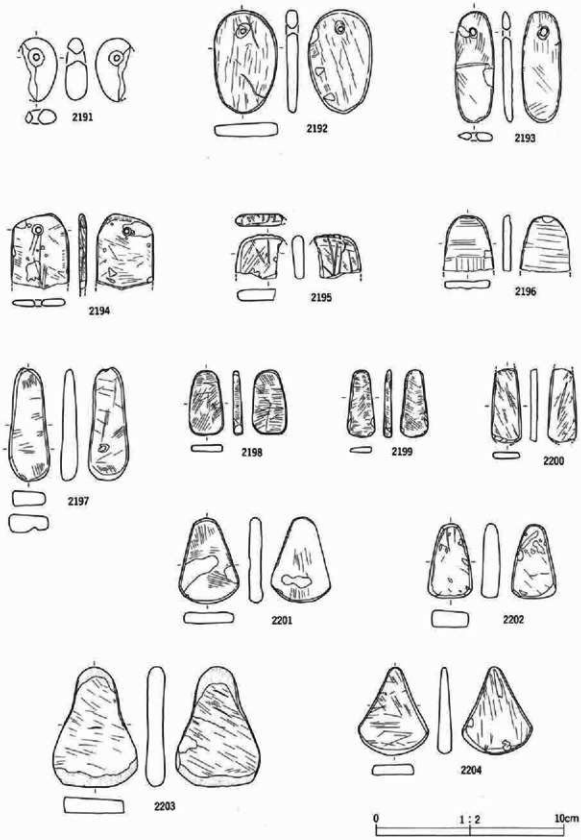




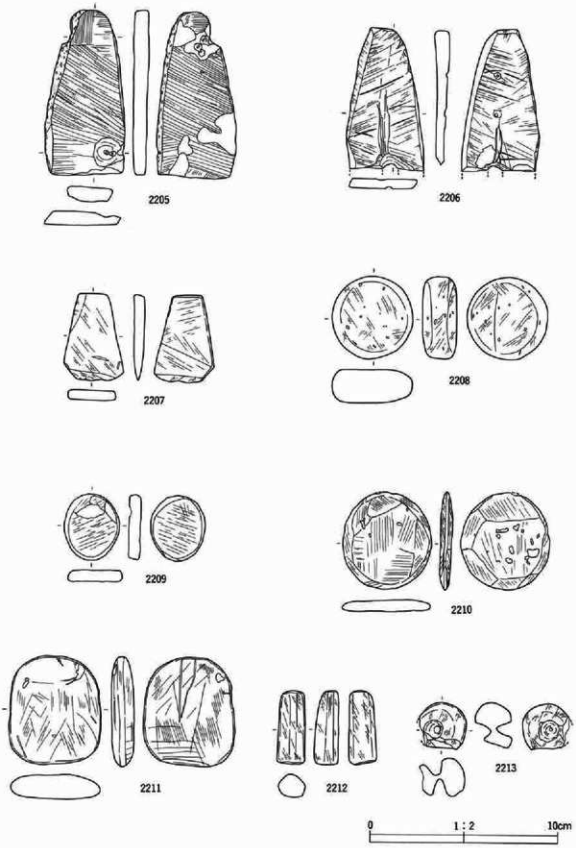
第306図　石製品(3)


2176
2177
2178
2179
2180
2181
2182
2183
2184
2185
2186
2187
2188
2189
2190
0
1:2
10cm

第307図　石製品(4)


2191
2192
2193
2194
2195
2196
2197
2198
2199
2200
2201
2202
2203
2204
0
1:2
10cm

第308図　石製品(5)



第309図　石製品(6)

第6表　土器観察表

図版No	No.	出土地点	層　位	器　種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
125	101	RA04	南西埋土	深鉢	平縁、口：結束1・2 RL・LR	－	?	4	I
125	102	RA04	南東埋土	深鉢	4波状、口：沈線／蛇苺、頸：沈線＋刺突列、胴：沈線、L R縦？	－	M	2	I 5
125	103	RA04	床直：Pot 1	深鉢	4波状、口：沈線・刺突列、胴：L 縦・斜	－	M？	3	I 5
125	104	RA04	床直：Pot 2	深鉢	平縁、口：沈線・頸：沈線、胴：RL 横・縦	－	M	3	I 5
125	105	RA05	南半埋土	深鉢小型	底：文様不明	－	M	3	I 5
125	106	RA05-PP1	北半埋土	深鉢	口：4波状突起？、胴：LR 縦	－	－	3	I
126	107	RA05	床直：Pot 1	深鉢球胴	口：4単位・円文・沈線、頸部：沈線、胴：LR 縦	◎	M	4	I 4
126	108	RA05	床直：Pot 2	深鉢	口：4波状隆帯、頸：RL 縦→沈線、胴：RL 縦→沈線・貼瘤	－	－	3	I 5
126	109	RA05	床直：Pot 3	深鉢	口：4単位、胴：LR 縦	－	－	3	I 5
126	110	RA05	床直	深鉢	胴：RL 斜、輪積痕	－	N	4	I 5?
126	111	RA06	東側埋土	深鉢	胴：無文？、底面：網代痕	－	N	4	I
126	112	RA06-PP1	埋土	深鉢小型	胴：L 縦	－	N	2	I
127	113	RA07	埋土	深鉢	胴：LR 縦	－	M	4	I
127	114	RA07	南東埋土上位	深鉢	平縁、口：原体圧圧LR、胴：LR 縦	－	－	3	II2?
127	115	RA07	南東埋土上位	深鉢	胴：LR 横	－	M	3	I
127	116	RA07	南東埋土上位	深鉢	胴：結束1 LR・RL 縦	○	?	2	I
127	117	RA07 PP2	南東埋土	深鉢	胴：LR 縦？／結節 R 縦	－	M？	3	I
127	118	RA07	北東埋土下位	深鉢	胴：無文？	－	M	3	I
127	119	RA07	東西ベルト3	深鉢	平縁、口：爬虫、胴部：無文	－	－	3	I
128	120	RA07	東西ベルト3	深鉢	口唇：LR、平縁、口：胴：LR 横・斜・縦	－	－	2	I
128	121	RA07-PP2	北半埋土	深鉢	平縁、口へ：LR 縦	－	M	2	I
128	122	RA07	床直：No. 1	深鉢	胴：沈線？	－	N？	2	I
128	123	RA07	床直：No. 1	深鉢	口：6波状・圧痕、頸：沈線、胴：単軸絡1，R 斜	－	M	2	I 5
128	124	RA07	床直：No. 2	深鉢	胴：沈線、単軸絡1，R 縦	－	－	3	I
129	125	RA07	床直：No. 3	深鉢	平縁、口：刻目、胴：LR 縦？	－	?	4	I 5
129	126	RA07	床直：No. 4	深鉢	8波状、口：LR 縦・横・斜	－	M	3	I 5?
129	127	RA07	床直：No. 6・9	深鉢	4波状、口：圧痕、沈線・原体圧痕、頸：未穿孔、胴：結束1 RL・LR 縦	－	－	3	I 5?
130	128	RA07	床直：No. 6・7	深鉢	平縁、口、胴部：LR 縦・横	－	N？	4	I
130	129	RA07	床直：No. 8	深鉢	平縁、口：8単位の刻目、胴：沈線	－	M	3	I 5
130	130	RA07	床直：No.10	深鉢	4波状、口：沈線、頸：沈線、胴：沈線	－	M	2	I 5
130	131	RA07	床直：No.11	深鉢	平縁、口：肥厚、胴：無文、ミニチュア	－	M	2	IV
130	132	RA08	南西埋土下位	深鉢	平縁、口：沈線	－	M	3	I 5
131	133	RA08	南西埋土下位	深鉢	口：8波状？・沈線、頸：隆帯＋刻目、胴：LR 縦／結節 R 縦	－	M	3	I 5?
131	134	RA08-PP10	北半埋土	深鉢	胴：文様不明	－	N	3	I
131	135	RA08	埋設土器	深鉢	胴：LR 縦	－	M？	3	I
131	136	RA09	埋土下位	深鉢	底面：網代痕	－	M	4	I
131	137	RA09	北半埋土	深鉢	底面：網代痕	－	M	4	I
131	138	RA09-PP2	北半埋土	深鉢	平縁、口：胴：沈線	－	M？	3	I 5?
131	139	RA09	埋設土器	深鉢	胴：LR 縦／結節 R 縦	－	M	3	I
132	140	RA11	南半埋土	深鉢	胴：LR 横	－	M	2	I
132	141	RA12	北半埋土	深鉢	平縁、口：沈線、頸：隆帯＋圧痕、胴：沈線	－	N	4	I 4
132	142	RA12	北半埋土	深鉢	平縁、口：無文	－	M	4	I
132	143	RA13	北東埋土	深鉢	胴：LR 縦、底面：網代痕	○	N	3	I
132	144	RA12	南側埋土	深鉢	胴：多軸絡（?）、R 縦	○	N	4	I
132	145	RA12	東側埋土	深鉢	胴：単軸絡5，L 縦、底縁：刻目	○	N？	4	I
132	146	RA12	A ベルト1	深鉢	胴底：不明	○	?	4	I
132	147	RA13	北東埋土	深鉢	底面：網代痕	－	M？	2	I
133	148	RA13	北西埋土	深鉢	胴：沈線	－	－	4	I 5
133	149	RA13	埋土下位	深鉢	胴：LR 横／結節 R 横	－	M？	2	I
133	150	RA15	埋土：Pot06	深鉢	平縁、口：RL 横／結節 L 横		M	4	I
133	151	RA15	埋土：Pot06	深鉢	胴：RL 横／結節 L 横	－	－	2	I
133	152	RA15	埋設土器	深鉢	胴：RL 横	○	N？	4	I
134	153	RA17	埋土	深鉢	胴：単軸絡5，L 縦	－	M	4	I
134	154	RA18	北側埋土	深鉢	胴：LR 縦	－	M	4	I
134	155	RA19	北東埋土	深鉢	胴：RL 縦、底：網代痕	○	N	4	I 5
134	156	RA19	炉2 Pot1	深鉢	底：単軸絡1，L 縦	○	N？	4	I
134	157	RA20	南北ベルト北端	深鉢	平縁、口：刻目、頸：沈線、胴：LR 縦／結節 R 縦	－	M	2	I 5
134	158	RA21	埋土	深鉢小型	胴：隆帯2／無文	－	－	4	I
134	159	RA21	埋土	深鉢	口：平縁／RL 横		M	2	I
134	160	RA22	床直：Pot 1	深鉢	ミニチュア、口：4波状、胴：無文	－	N	3	IV

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	媒の付着	内面調整	胎土	分類
135	161	RA23	埋土	深鉢	平縁、口：原体側圧LR、頸：隆帯＋刻目、胴：結節1 RL・LR縦		M	3	Ⅱ2?
135	162	RA23	埋土	深鉢	胴：L縦／結節L縦	–	M	3	Ⅰ
135	163	RA23	(BⅣV10.PotB)	深鉢	平縁、口：頸：オオバコ側面圧痕、胴：オオバコ回転文？	–	M	2	Ⅰ
135	164	RA23	埋土下位：PotG	深鉢	口：4単位・貼瘤、頸：沈線＋貼瘤、胴：LR横/結節R縦→貼瘤	–	M	3	Ⅰ5
136	165	RA23	埋土	深鉢	胴：沈線	–	M	3	Ⅰ
136	166	RA23	埋土	深鉢	胴：文様不明	–	M	3	Ⅰ
136	167	RA23	埋土	深鉢	胴：単軸絡1，L縦	○	–	3	Ⅰ
136	168	RA23	埋土下位：PotN	深鉢	4波状口：隆帯＋刺突、頸：沈線、隆帯＋沈線、胴：LR横斜→沈線	–	M	2	Ⅰ5
137	169	RA23	埋土下位：PotN	深鉢	胴：単軸絡5，L縦／LR横斜	–	M	3	Ⅰ
137	170	RA23	埋土下位：PotO	深鉢	口：4単位・貼瘤＋刻目、胴：L縦横	–	N	3	Ⅰ5
137	171	RA23	埋土下位：PotO	深鉢球胴	4波状口：隆帯＋刻目、頸：沈線＋貼瘤、胴：LR横？	○	M	4	Ⅰ5
137	172	RA23	埋土下位：PotP	深鉢	平縁、口：L縦、頸部に括れ	–	M	3	Ⅰ
137	173	RA23	埋土下位：PotS	深鉢球胴	口：4波状、頸：刺突列、胴：LR縦・斜→沈線	–	M	2	Ⅰ5
138	174	RA23	埋土下位：PotN	深鉢	口：緩い波状、隆帯、胴：L縦／結節r縦、底：網代痕？	○	M	2	Ⅰ5?
138	175	RA23	埋土下位：PotT	深鉢	平縁、口：胴：LR斜	–	–	2	Ⅰ5?
138	176	RA23	埋土下位：PotT	深鉢	平縁、口：LR縦／結節R縦	–	N?	3	Ⅱ2?
138	177	RA23	埋土中焼土1	深鉢	平縁、口：単軸絡1，R斜	○	M?	2	Ⅱ1?
139	178	RA24	1層：Pot 1	深鉢	口：平縁、LR横／結節R横	–	M	2	Ⅰ
139	179	RA24	1層	深鉢	口：4単位の環状突起＋刺突、胴：LR（0段多条）横→沈線	○	M?	2	Ⅰ4
139	180	RA24	1	深鉢	底：文様不明、ミニチュア	–	N?	4	Ⅳ
139	181	RA24	1層	深鉢	底：文様不明	–	M	4	Ⅰ
139	182	RA24	2	深鉢	底：単軸絡1，R縦	○	M	4	Ⅰ
139	183	RA26-炉	東半焼土	深鉢	胴：隆帯＋刺突→沈線→LR縦	–	M	1	Ⅱ3?
139	184	RA28	床直：Pot 2	深鉢	胴：単軸絡1A，RL縦	–	M	2	Ⅰ
140	185	RA29-PP3	埋土	深鉢	胴：多軸絡(5)，LR縦	–	M	3	Ⅰ
140	186	RA29	床直：Pot 1	深鉢	口：沈線・刺突、頸：沈線刺突、胴：L縦／結節L縦	–	M	3	Ⅰ4?
141	187	RD04	北半埋土2：Pot 1	深鉢	底：文様不明	–	M	3	Ⅰ
141	188	RD04	床直a	深鉢	胴：LR横	–	M	2	Ⅰ
141	189	RD04	床直f.g	深鉢	口：平、原体側圧LR、胴：LR縦	–	M	2	Ⅰ5?
141	190	RD04	床直o	深鉢	底：文様不明	–	?	4	Ⅰ
141	191	RD04	床直b.n	深鉢	平縁、口：4単位で抉り入いる、胴：LR横／結節LR横	–	M	4	Ⅰ5?
142	192	RD05	Pot 4	浅鉢	胴：LR横／結節R横		M	3	Ⅰ
142	193	RD06	南半埋土Pot01	深鉢	平縁、口：沈線、頸：沈線、胴：単軸絡1，R縦／結束1 R・L縦	–	M	3	Ⅰ5
142	194	RD06	南半埋土上位Pot 1	深鉢小型	胴：無文？	–	?	4	Ⅳ
142	195	RD06	北半埋土5	浅鉢小型	底：文様不明	–	N?	4	Ⅳ
142	196	RD06	床直a.b	深鉢球胴	平縁、口：沈線、頸：沈線、胴：L横	–	M	3	Ⅰ5
143	197	RD07	Ⅰd-20cm	深鉢	平縁、口：LR縦横、頸：隆帯－圧痕(4単位)、胴：単軸絡1，R縦	–	N	4	Ⅰ4
143	198	RD07	Ⅰd-20cm	深鉢	底：文様不明	○	N?	4	Ⅰ
143	199	RD07	Ⅰd-20cm	深鉢	胴：RL縦／結節L縦、底面：網代痕	–	M	3	Ⅰ
143	200	RD07	Ⅰd-20cm	深鉢	平縁、口：胴：多軸絡(?)，L縦	–	M	3	Ⅰ4
144	201	RD07	Ⅰd-20cm	深鉢	胴：単軸絡1A，R縦	◎	M	4	Ⅰ
144	202	RD07	Ⅰd-20cm	深鉢	胴：単軸絡1，r縦	○	M	3	Ⅰ
144	203	RD07	Ⅰd-20cm	深鉢	平縁、口：胴：多軸絡（?），R縦	–	M?	4	Ⅰ
144	204	RD08	西側埋土	深鉢	底：文様不明	○	N?	4	Ⅰ
144	205	RD09	北側埋土	深鉢	底：LR縦／結節R縦、底面：網代痕	–	?	4	Ⅰ5?
144	206	RD12	南半埋土2	深鉢	平縁、口：圧痕・絡条体圧1，L、胴：L縦？	–	M	3	Ⅰ5
144	207	RD12	南半埋土2	深鉢	平縁、口：圧痕・沈線、頸：沈線、胴：結束1 RL・LR縦	○	–	4	Ⅰ5
145	208	RD16	北半埋土1	深鉢	平縁、口：単軸絡5、R縦？	–	N?	3	Ⅰ4?
145	209	RD16	北半埋土1	深鉢	胴：文様不明	–	M	4	Ⅰ
145	210	RD16	北半埋土1	深鉢	胴：文様不明	○	M	3	Ⅰ
145	211	RD16	北半埋土1	深鉢	胴：単軸絡1，R縦、底面：網代痕	○	M	2	Ⅰ
145	212	RD17	南半埋土	深鉢	胴：LR横、底面：網代痕	○	M	4	Ⅰ
145	213	RD19	埋土	深鉢	底：文様不明	○	M	2	Ⅰ
145	214	RD34	南半埋土1	深鉢小型	底：文様不明	–	N	3	Ⅳ
145	215	RD34	南半埋土1	浅鉢	底：文様不明	○	N?	2	Ⅳ
145	216	RD36	南半埋土	深鉢	底：LR横？	○	N?	4	Ⅰ
146	217	RD37	埋土上位	深鉢	底：文様不明	○	M	4	Ⅰ
146	218	RD40	南半埋土	深鉢	胴：RL縦、底面：網代痕	–	M	2	Ⅰ
146	219	RZ01	埋設土器	深鉢	胴：RL横・斜／結節・縦	–	M	4	Ⅰ
146	220	RZ08	埋設土器	深鉢	胴：LR横、底面：網代痕？	●	M	3	Ⅰ
146	221	RZ07	埋設土器	深鉢	胴：結束1 RL・LR縦	–	M	4	Ⅰ

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
147	222	RZ05	埋設土器	深鉢	平縁、口：沈線・刺突、頸：沈線／隆帯＋圧痕、胴：LR縦／結節R縦	−	M	3	Ⅱ1
147	223	RZ06	埋設土器	深鉢	胴：結束1 R・L縦	−	M	2	Ⅰ
147	224	RZ09	埋設土器	深鉢	胴：RLR縦・横	−	N？	3	Ⅰ
147	225	RZ10	埋設土器	深鉢	頸：沈線、胴：結束1 RL・LR横	◎	N	4	Ⅰ5
148	226	RZ12	埋設土器	深鉢	胴：結節L縦	−	M	3	Ⅰ
148	227	RZ13	埋設土器	深鉢	胴：LR横	−	M	4	Ⅰ
148	228	RZ14	埋設土器	深鉢	胴：LR縦	−	M？	4	Ⅰ
148	229	RZ15	埋設土器	深鉢	胴：RL横／結節R縦	−	M	2	Ⅰ
148	230	RZ16	埋設土器	深鉢	底：文様不明	−	？	3	Ⅰ
148	231	BⅣq22-PP2	埋土	深鉢	平縁、口：胴：L縦／結節L縦	○	N？	4	Ⅰ
149	232	BⅢt23	Ⅱ	深鉢	胴：単軸絡5，L縦、底面：網代痕？	○	M	3	Ⅰ
149	233	BⅢu23	Ⅰd-10cm：Pot01	深鉢	平縁、4単位で凹み、口：LR縦、胴：LR横	●	N	3	Ⅰ5？
149	234	BⅣu02	Ⅰd 30cm	深鉢	胴：沈線？	○	M	4	Ⅰ
149	235	BⅣv01	Ⅰb	深鉢	底：LR横	−	N	3	Ⅰ
149	236	BⅣv01	Ⅰd 10cm：Pot71	深鉢	胴：LR縦	○	N？	3	Ⅰ
149	237	BⅣv03	Ⅰ	深鉢	平縁、口唇：圧痕、胴：単軸絡5，L縦	○	N？	3	Ⅰ4
150	238	BⅣv10	Ⅰd 10cm:PotC	深鉢	口：突起（6単位？）、胴：L縦	●	M	3	Ⅰ5
150	239	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotO	深鉢	平縁、口：肥厚、胴：沈線（8単位）	−	M	3	Ⅰ5
150	240	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotE	深鉢	口：4単位、隆帯、胴：LR斜／横、底面：圧痕？	●	M	4	Ⅰ5
150	241	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotF	深鉢	波状口縁（8単位）、口：無文、頸：沈線、胴：LR横・斜	●	M	3	Ⅰ5
150	242	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotE	深鉢	平縁、口：圧痕、頸：沈線、胴：沈線	○	M	4	Ⅰ5
150	243	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotG	深鉢	口：4単位、隆帯＋刺突、頸：沈線、胴：LR縦	−	M	3	Ⅰ5
151	244	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotH	深鉢	胴：RL・LR横／結節L横	○	M	4	Ⅰ
151	245	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotI	深鉢	口：突起（6単位？）、頸：沈線、胴：RLR縦・斜／沈線	−	M	4	Ⅰ5
151	246	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotI	深鉢	平縁、口：原体側圧LR：胴：LR横・斜、底面：圧痕？	○	M	4	Ⅱ2？
151	247	BⅣv10	Ⅰd-10cm:PotK	深鉢	平縁、口：LR縦・斜	−	M	3	Ⅰ
151	248	BⅣv10	Ⅰd 10cm	深鉢	平縁、口：頸：沈線、胴：LR縦／結節R縦	−	？	4	Ⅰ5
152	249	BⅣv11	Ⅰd-10cm	深鉢	胴：単軸絡1，R縦	−	？	3	Ⅰ
152	250	BⅣw01	Ⅰd-10cm	深鉢	胴：RL横、底面：網代痕	−	M	3	Ⅰ
152	251	BⅣw01	Ⅰd-10cm:Pot16	深鉢	胴：単軸絡5，R縦	○	M	4	Ⅰ
152	252	BⅣw01	Ⅰd 10cm:Pot17	深鉢	平縁、口：胴：単軸絡1，R縦	●	M	3	Ⅰ4
152	253	BⅣw01	Ⅰd-10cm:Pot15	深鉢	口唇：隆帯4単位・頸：隆帯5単位、胴：LR横	◎	M	4	Ⅰ3
152	254	BⅣw01	Ⅰd 20cm:Pot48	深鉢	平縁、口：胴：LR横／結節R横	○	M	2	Ⅰ4
153	255	BⅣw02	Ⅰd-10cm:Pot03	深鉢	平縁、口：沈線・突起？、頸：刺突列2、胴：LR縦・斜	○	M	3	Ⅰ5
153	256	BⅣw02	Ⅰd 10cm:Pot03	深鉢	平縁、口：沈線＋隆帯、胴：LR縦	−	M	3	Ⅰ5
153	257	BⅣw02	Ⅰd-10cm:Pot09	深鉢	平縁、口：沈線・圧痕：結束1 LR・LR縦	−	M	4	Ⅰ5
153	258	BⅣw02	Ⅰd-20cm	深鉢	平縁、口：胴：R縦	−	M	3	Ⅰ
154	259	BⅣw02	Ⅰd-30cm	深鉢	底：文様不明	○	N	3	Ⅰ
154	260	BⅣw02	Ⅰd-30cm:Pot56	深鉢	口：沈線、頸：沈線、胴：LR縦	−	−	3	Ⅰ5
154	261	BⅣw02	Ⅰd 30cm:Pot57	深鉢	平縁、口：胴：LR横・斜	−	N	3	Ⅰ
154	262	BⅣw03	Ⅰd-10cm	深鉢	平縁、口唇：圧痕、胴：LR横、結節R横	◎	M	4	Ⅰ4
154	263	BⅣw03	Ⅰd-10cm	深鉢	底：結節L横	○	N	4	Ⅰ4
154	264	BⅣw03	Ⅰd-10cm	深鉢	胴：LR斜、底面：圧痕？	−	M	4	Ⅰ4
155	265	BⅣw03	Ⅰd-10cm:Pot06	深鉢	平縁、口～胴：LR横	−	M	2	Ⅰ
155	266	BⅣw03	Ⅰd-10cm:Pot08	深鉢	平縁、口：口唇に4単位で刻目、胴：結束2 RL・LR横	−	M	3	Ⅰ4
155	267	BⅣw03	Ⅰd-10cm:Pot07	深鉢	底：LR横斜、底面：網代痕	−	N	3	Ⅰ
155	268	BⅣw03	Ⅰd-20cm:Pot41	深鉢	平縁、口唇：刻目、胴：直前段合撚？（異状縄文）	−	M	3	Ⅰ4
156	269	BⅣw03	Ⅰd-20cm:Pot44	深鉢	平縁、口唇：隆帯、口：隆帯、胴：LRL横	○	M	3	Ⅰ3
156	270	BⅣw03	Ⅰd-20cm:Pot43	深鉢	胴：LR横、底面：木葉痕？	○	M	2	Ⅰ
156	271	BⅣw03	Ⅰd-20cm:Pot44	深鉢	平縁、口：無文	−	M	2	Ⅰ
156	272	BⅣw03	Ⅰd-30cm	深鉢	底：LR縦	○	M	4	Ⅰ
156	273	BⅣw04	Ⅰd 20cm	深鉢	胴：単軸絡5，R縦	○	M	4	Ⅰ
156	274	BⅣw04	Ⅰd-20cm	深鉢	胴：LR横／結節横、底面：網代痕	○	M	2	Ⅰ
157	275	BⅣw04	Ⅰd-20cm:Pot20	深鉢	平縁、胴：RL縦・結節横	○	−	4	Ⅰ
157	276	BⅣw04	Ⅰd-20cm	深鉢	平縁、胴：単軸絡5，L縦	○	M	4	Ⅰ
157	277	BⅣw04	Ⅰd 30cm:Pot58	深鉢	胴：単軸絡1，L縦・斜	−	M	4	Ⅰ
157	278	BⅣw04	Ⅰd-30cm	深鉢	底：不明、底面：撚糸？	○	M？	3	Ⅰ
157	279	BⅣw05	Ⅰd-20cm:Pot26	深鉢	平縁、口～胴：単軸絡1，L縦・斜	−	N？	3	Ⅰ
158	280	BⅣw05	Ⅰd-20cm:Pot27	深鉢	口：4波状？、突起4圧痕、胴：単軸絡1，L縦	−	N？	4	Ⅰ4
158	281	BⅣw05	Ⅰd-20cm:Pot26	深鉢	胴：L縦	−	M	3	Ⅰ
158	282	BⅣw05	Ⅰd 20cm:Pot27	深鉢	平縁、口～胴：無文	◎	M	4	Ⅰ

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
158	283	B IV w05	I d-20cm:Pot29	深鉢	胴：単軸絡1，L縦	○	N	4	I
158	284	B IV w05	I d-20cm	深鉢	平縁：口～：単軸絡1，L縦	－	M	2	I
159	285	B IV w05	I d-20cm	深鉢	4波状，口～：単軸絡1 A，R縦→沈線	◎	M	2	I 4
159	286	B IV w05	I d-20cm	深鉢	平縁：2単位突起，口巻：刻目，口～胴：LR縦／結節縦	○	N	4	I 4
159	287	B IV w06	I d 10cm:Pot33	深鉢	底：沈線	○	N	4	I
159	288	B IV w06	II	深鉢	胴：単軸絡5，L縦	○	N	4	I
159	289	B IV w06	I d-20cm	深鉢	胴：単軸絡5，L縦，底面：木葉痕	－	M	2	I
159	290	B IV w07	I d-10cm	深鉢	4波状，口帽：刻目，口：隆帯＋刻目，胴：無文	－	M	2	I ?
160	291	B IV w08	I d-30cm	深鉢小鉢	底：文様不明	○	N ?	4	I
160	292	B IV w10	No.10 I d-10cm	深鉢	平縁，口帽：沈線，口：原体側圧LR，胴：LR縦	○	M	2	II ? ?
160	293	B IV w11	I d-10cm:No. 9	深鉢	底：文様不明	○	?	3	I
160	294	B IV w11	No.1 I d-10cm	深鉢	6波状，口：隆帯，正縦，頸：沈線，胴：LR横	－	N ?	2	I 5
160	295	B IV w11	No.4 I d-10cm	深鉢	胴：文様不明	○	M	4	I
160	296	B IV w11	No.5 I d-10cm	深鉢球胴	4波状，口帽：刻目，頸：沈線／刺突，胴：LR縦・横・斜→結束	◎	M	3	I 5
161	297	B IV x04	I d-10cm	深鉢	底：文様不明	－	N ?	4	I
161	298	B IV x04	I d-20cm	深鉢	底：文様不明	－	N	4	I
161	299	B IV x04	I d 20cm	深鉢	底：文様不明，底面：網代痕？	○	?	4	I
161	300	B IV w04	I d-20cm	深鉢	底：単軸絡5，R縦，底面：網代痕？	－	M	4	I
161	301	B IV x05	I d-30cm	深鉢	底：単軸絡5，R縦	○	M	2	I
161	302	B IV x05	I d 20cm:Pot25	深鉢	胴：単軸絡1，L縦	○	N	4	I
161	303	B IV x05	I d-30cm	深鉢	5波状，口～胴：単軸絡5，R縦？	◎	M	4	I
161	304	B IV x05	I d-20cm	深鉢	胴：L横	◎	M	4	I 4
161	305	B IV x05	I d-30cm	深鉢	4波状縁，口：隆帯，胴：単軸絡1 A，R・L縦	○	M	1	I 4
161	306	B IV x06	I d-10cm:Pot38	深鉢	底：文様不明	－	M	4	I
162	307	B IV x06	I d 20cm	深鉢	底：文様不明	－	M	3	I
162	308	B IV x06	I d-20cm:Pot	深鉢	平縁，口：単軸絡1，L縦	○	N ?	4	I
162	309	B IV x06	I d 20cm:Pot31	深鉢	胴：LR斜	○	N	3	I
162	310	B IV x06	I d-20cm:Pot32	深鉢	平縁，口：結文，胴：沈線	○	M	4	I
163	311	B IV x06	I d 20cm:Pot36	深鉢	口：貼付突起，胴：LR縦	●	N	3	I
163	312	B IV x06	I d-20cm:Pot39	深鉢	平縁，口～胴：LR横／結節R横，底面：網代痕	○	N	4	I
163	313	B IV x06	I d 20cm:Pot39	深鉢	胴：R横→沈線，底面：網代痕	○	N ?	4	I
163	314	B IV x06	I d-20cm:Pot39	深鉢	2波状，口帽：刺突，胴：RR横	○	M	3	I 4
163	315	B IV x06	I d 20cm:Pot40	深鉢	底：単軸絡1，R糸	○	N ?	4	I
164	316	B IV x07	I d-10cm:No. 4	深鉢	緩波縁，口帽：指れあり，胴：オオバコ回転文縁	－	N	4	I
164	317	B IV x07	I d 10cm	深鉢	平縁，口～胴：L縦／結節？縦	○	N ?	4	I ?
164	318	B IV x07	I d-20cm	深鉢	平縁，口～胴：単軸絡5，R縦	－	N ?	4	I
164	319	B IV x07	I d-20cm:No. 4	深鉢	胴：単軸絡5，R縦／沈線，底面：沈線？	－	M	3	I ?
164	320	B IV x07	I d-20cm	深鉢	胴：単軸絡5，R縦，底面：網代痕	○	M	3	I
164	321	B IV x07	I d-20cm	深鉢	胴：単軸絡1，L縦，底面：網代痕？	○	?	3	I
165	322	B IV x08	I	深鉢	平縁，口：沈線，胴：沈線	●	N	4	I 5
165	323	B IV x08	I d-10cm	深鉢	平縁，口～：単軸絡1，L縦	●	M	4	I
165	324	B IV x08	I	深鉢	胴：文様不明	○	M ?	4	I
165	325	B IV x08	I d-10cm:Pot53	深鉢	底：文様不明	○	M ?	4	I
165	326	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢球胴	平縁，口：沈線，頸：沈線，胴：LR縦／結節R縦	·	M	2	I 5
165	327	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢球胴	4波状，口：頸：沈線／刺目，胴：単軸絡1，LR縦，底面：網代痕	◎	M	2	I 5
166	328	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢球胴	平縁，口：沈線・底面・原体側圧，胴：LR横／結節R横，底：網代痕	◎	M	3	I 5
166	329	B IV x11	I d 10cm:Pot66	深鉢	平縁，口：結条体圧痕，頸：刺突，胴：単軸絡1，R縦→沈線	－	M	3	I 5
166	330	B IV x11	I d-10cm	深鉢	胴：LR縦・横・斜	○	M	1	I
166	331	B IV x12	I d-10cm	深鉢	底：文様不明，底面：網代痕	－	M	2	I
166	332	B IV y08	I d 10cm	深鉢	底：文様不明，底面：網代痕	○	M	3	I
166	333	B IV y11	I	深鉢	底：単軸絡1，R横？，底面：網代痕	○	N	4	I
167	334	B IV y12	I d～II：Pot63	深鉢	胴：単軸絡1，L斜	○	M	3	I
167	335	C IV a12	I d～II：Pot65	深鉢	胴：単軸絡1 A，R縦，底面：網代痕？	○	M	3	I
167	336	C IV g14	I b	深鉢	底：文様不明，底面：網代痕？	○	N	4	I
167	337	B IV q06	風倒木痕 北壁	深鉢	胴：文様不明	－	N	2	I
167	338	B IV s08	風倒木痕 北壁	深鉢	底：文様不明	○	N ?	3	I
167	339	D IV r06	III	台付？	胴：LR縦，ミニチュア	－	M	3	IV

図版No.	No.	出土地点	層　位	器　種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
168	340	RA01-PP1	埋土	深鉢	胴：多軸絡（?）、縦	－	－	4	I
168	341	RA02	西半埋土	深鉢	口縁：隆帯貼付＋刺突、胴：単軸絡５？縦	－	N	3	I
168	342	RA02	西半埋土	深鉢	口：LR 縦・横	－	N	4	I
168	343	RA02	西半埋土	深鉢	口縁：肥厚（貼付）＋圧痕、胴：沈線	－	－	4	I
168	344	RA02	西半埋土	深鉢	胴：単軸絡１A，R２縦	－	－	3	I
168	345	RA02	北半埋土	深鉢	口縁：刺突、口：単軸絡１，L 縦	○	－	2	I
168	346	RA02	北半埋土	深鉢	口：原体側圧？	－	N	3	I
168	347	RA02	南半埋土	深鉢	口：沈線	－	－	4	I
168	348	RA02	東半埋土	深鉢	口：沈線	－	N？	2	I
168	349	RA03	東半埋土	深鉢	口：沈線	－	N	2	I
168	350	RA03-PP4	埋土	深鉢	口：刺突・沈線	－	－	3	I
168	351	RA04	埋土	深鉢	口：沈線・刺突	－	N	4	II1?
168	352	RA04	南西埋土	深鉢	口：結瘤・沈線（半竹）、頸：刺突（半竹）	－	N？	2	II1?
168	353	RA04	南西埋土	深鉢	口：結束1RL・LR 縦	－	N	2	I
168	354	RA04	南西埋土	深鉢	口：結瘤／沈線（半竹）、刺突（半竹）	－	N	2	I
168	355	RA04	南西埋土	深鉢	口：隆帯貼付、隆帯＋刻目、頸：沈線（半竹）	－	－	4	I 5
168	356	RA04	南西埋土	深鉢	口：隆帯、沈線	－	M	1	I 5
168	357	RA04	南西埋土	深鉢	口：沈線	－	N	3	I 5
168	358	RA04	南西埋土	深鉢	口：沈線、刺突	－	－	2	I 5
168	359	RA04	南西埋土	深鉢	頸：隆帯貼付・貫通孔	－	－	4	I
168	360	RA04	南側埋土	深鉢	底面：網代痕	○	－	4	I
169	361	RA04	南西埋土	深鉢	底：文様なし	－	N	3	I
169	362	RA04	南東埋土	深鉢	口：沈線（半竹）、刺突（半竹）、胴：L 縦／結節縦	－	－	3	I 5
169	363	RA04	南東埋土	深鉢	口：沈線、刺突、原体側圧RL	－	－	3	I 5
169	364	RA04	南東埋土	深鉢	口：隆帯貼付（閉状）＋刻目、沈線	－	N	2	II 1
169	365	RA04	南東埋土	深鉢	口：沈線	－	－	4	I 5
169	366	RA04	東西ベルト３	深鉢	口：R 横／結節 LR 横	－	－	4	I
169	367	RA04	東西ベルト４	深鉢	口：沈線、頸：沈線	－	N	3	I 5
169	368	RA04	床直：Pit02	深鉢	口：原体側圧 LR、胴：沈線（縦位）	－	－	4	II1?
169	369	RA04	床直：Pit03	深鉢	口：原体側圧 LR、沈線、胴 RL 縦／結節縦	－	－	4	II1?
169	370	RA04	床直：Pit03	深鉢	口：結瘤／沈線（半竹）、刺突（半竹）	－	M	2	I 5
169	371	RA05	埋土	深鉢	口縁：刻目、口：単軸絡５縦、輪積痕	－	－	2	I 4
169	372	RA05	埋土	深鉢	口縁：刻目、口：単軸絡１，L 縦	○	－	4	I 4
169	373	RA05	埋土	深鉢	口：LR 縦？	－	N？	2	I 4
169	374	RA05	埋土	深鉢	口縁：刺突、口：単軸絡１A 横？	－	－	2	I 4
169	375	RA05	埋土	深鉢	口～：沈線（半竹）縦位・斜位	－	N	4	I 4
170	376	RA05	北半埋土	深鉢	口：隆帯貼付＋沈線、胴：LR 横斜	－	N	2	I 5
170	377	RA05	南側埋土	深鉢	口：LR 横／結節 R 横	－	－	2	I
170	378	RA05	南側埋土	深鉢	口：LR 斜・縦・横？	－	－	4	I
170	379	RA05	南側埋土	深鉢	口：RL 横／結節 L 横？	－	N	2	I
170	380	RA05	東側埋土	深鉢	口：単軸絡５，R 縦	－	－	2	I
170	381	RA05	南半埋土	深鉢	口：原体側圧 LR／LR 横	－	N	3	I
170	382	RA05	南半埋土	深鉢	底面：網代痕	－	－	4	I
170	383	RA05	床直	深鉢	胴：沈線→LR 斜	－	M	2	I 5
170	384	RA05-PP9	埋土	深鉢	底面：ナデ	－	－	3	I
170	385	RA05-PP9	埋土	深鉢	口：沈線（半竹）縦位	○	－	2	I
170	386	RA05-PP22	埋土	深鉢	口：刺突	－	－	4	I
170	387	RA06	東半埋土上位	深鉢	口：沈線（半竹）	－	N	4	I 5
170	388	RA06	東半埋土	深鉢	口：沈線	－	N	4	I 5
170	389	RA06	東半埋土	深鉢	口：隆帯貼付、RL 縦	－	N	4	I 5
170	390	RA06	東半埋土	深鉢	胴：沈線（半竹）	○	－	4	I 5
170	391	RA06	東半埋土	深鉢	胴：LR 横→蛇苗　輪積痕	－	N	2	I 4
170	392	RA06	東半埋土	深鉢	口縁：刻目、胴：LR 横	－	－	1	I
170	393	RA06	東半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）、胴：沈線（半竹）	－	N	2	I 5

図版No.	No.	出土地点	層位	時期	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
171	394	RA06	東半埋土	深鉢	口縁：刻目、口：RL縦	－	N	2	I 4
171	395	RA06	南北ベルト埋土	深鉢	口～：LR横→沈線（半竹）	－	M	3	I
171	396	RA06	東半埋土	深鉢	口：原体側圧L	－	N？	4	I 5
171	397	RA06 PP17	埋土	深鉢	口：沈線、頸：隆帯＋原体側圧LR	－	N	4	I 5
171	398	RA06-PP17	埋土	深鉢	口：沈線、頸：蕨帯＋原体側圧LR、胴：LR横	－	N	4	I 5
171	399	RA07	南北ベルト1	深鉢	口：隆帯、頸：沈線（半竹）、胴：LR縦	－	N	2	I 5
171	400	RA07	南北ベルト1	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）＋貼瘤、口：沈線、LR縦	－	－	2	I 5
171	401	RA07	南北ベルト1	深鉢	LI：隆帯（行文）、沈線	－	N	4	I 5
171	402	RA07	南北ベルト1	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線・圧痕、頸：沈線（半竹）	－	N	3	I 5
171	403	RA07	北西埋土上位	深鉢	口：波線（半竹）	－	－	3	I 5
171	404	RA07	北西埋土上位	深鉢	胴：LR横→沈線	－	N	2	I 5
171	405	RA07	北西埋土上位	深鉢	頸：隆帯＋刻目、胴：沈線	－	－	4	I
171	406	RA07	北西埋土上位	深鉢	口縁：刻目、口：原体側圧RL・LR	－	M	4	II？
171	407	RA07	北西埋土上位	深鉢	口：原体側圧LR、頸：刻目、胴：RL縦	－	M	3	II？
171	408	RA07	北西埋土上位	深鉢	胴：沈線（半竹）	－	M	4	I
171	409	RA07	北東埋土上位	深鉢	口：隆帯（肥厚）、刺突	－	N	4	I？
171	410	RA07	北東埋土上位	深鉢	底：文様なし　輪積	○	N	4	I
171	411	RA07	北東埋土上位	深鉢	口縁：短沈線、口：沈線（半竹）	－	－	4	I 5
171	412	RA07	北東埋土上位	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）＋LR横、胴：LR縦	－	－	4	I
171	413	RA07	北東埋土上位	深鉢	口：沈線・刻目、胴：単軸絡1，r縦	－	N	4	I 4
172	414	RA07	北東埋土上位	深鉢	口縁：隆帯、口：刺突、隆帯＋刻目、胴：LR縦？	－	－	4	I 5
172	415	RA07	北東埋土上位	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋結束、頸：沈線（半竹）、胴：RL縦？	－	N	2	I 5
172	416	RA07	北東埋土上位	深鉢	口：隆帯、胴：RL横	－	N？	3	I 4
172	417	RA07	北東埋土上位	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）＋沈線、口：沈線（半竹）／絡条圧？	－	M	2	I 5
172	418	RA07	北東埋土上位	深鉢	口縁：刻目、口：沈線（半竹）	－	N	4	I 5
172	419	RA07	北西埋土上位	深鉢	口：隆帯（肥厚）刺突・沈線、頸：沈線	－	－	4	I
172	420	RA07	南東埋土上位	深鉢	底：文様なし　輪積痕	－	－	2	I
172	421	RA07	南東埋土上位	深鉢	胴：単軸絡1，L縦	－	N	2	I 4
172	422	RA07	南東埋土上位	深鉢	口：圧痕、沈線（半竹）、頸：沈線	－	N	4	I 5
172	423	RA07	南東埋土上位	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）＋LR横→圧痕、胴：LR斜・縦	－	N	3	I 4
172	424	RA07	南東埋土上位	深鉢	口：隆帯、沈線（半竹）	－	N	2	I 5
172	425	RA07	南東埋土上位	深鉢	口縁：隆帯＋刻目	－	－	3	I 4
172	426	RA07	南東埋土上位	深鉢	口：隆帯（肥厚）、沈線・圧痕	－	N	3	I 5
172	427	RA07	南東埋土上位	深鉢	LI：圧痕・沈線	－	M	4	I 5
172	428	RA07	南東埋土上位	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋刻目、胴：LR斜	－	M	4	I 5
172	429	RA07	北西埋土	深鉢	口：隆帯貼付＋原体側圧LR、頸：沈線（半竹）	－	N	4	I 5
172	430	RA07	北西埋土下位	深鉢	口：沈線（半竹）＋貼瘤2、胴：L縦	－	M	3	I 4
172	431	RA07	北西埋土下位	深鉢	口：平軸絡1A，2縦	－	N	3	I 4
172	432	RA07	北西埋土下位	深鉢	口：無文、頸：蕨帯＋刻目	－	－	2	I 4
172	433	RA07	北東埋土上位	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）、口：沈線（半竹）	－	－	4	I 5
172	434	RA07	北東埋土下位	深鉢	LI：結束・貼瘤	－	M	3	I 4
172	435	RA07	南西埋土	深鉢	口縁：圧痕、口：原体側圧L？	－	N	3	I 4
172	436	RA07	南西埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋原体側圧、胴：結束1 RL・LR縦	－	－	4	II？
173	437	RA07	南西埋土	深鉢	LI：沈線（半竹）、胴：RL縦？	－	N	4	I 5
173	438	RA07	南西埋土	深鉢	口縁：肥厚、頸：沈線	－	N	4	I 5
173	439	RA07	南西埋土	深鉢	口縁：圧痕、口：沈線（半竹）	－	N	3	I 5
173	440	RA07	南西埋土	深鉢	口縁：隆帯＋短沈線、胴：LR斜	－	M	2	I 5
173	441	RA07	南西埋土	深鉢	LI：撚り戻し？RR→補修孔	○	M	2	I
173	442	RA07	東側埋土	深鉢	口縁：刻目、口：RL横、結節r横	－	N	2	I
173	443	RA07	南西埋土	深鉢	頸：隆帯＋刺突	－	M	2	I
173	444	RA07	南西埋土	深鉢	口：刺突	－	M	2	I
173	445	RA07	床直：No.12	深鉢	口：圧痕・沈線（半竹）、胴：単軸絡1，L縦	－	N	4	I 5
173	446	RA07	床直：No.2	深鉢	底：文様不明、輪積痕	－	N	3	I
173	447	RA07	床直：No.8	深鉢	口：原体側圧RL、胴：RL縦？	－	－	4	II？
173	448	RA07	床直上埋土	深鉢	LI：隆帯（肥厚）＋刺突	－	－	2	I 5

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
173	449	RA07-PP2	南側埋土	深鉢	Ⅰ1:圧痕・沈線(半竹)	－	N	4	I 5
173	450	RA07-PP28	北半埋土	深鉢	ロ:隆帯結び、結束1 RL・RL縦	－	N	2	I 5
173	451	RA08	東西ベルト1	深鉢	ロ:沈線?	－	·	4	I
173	452	RA08	東西B1	深鉢	Ⅱ斜:隆帯貼付	－	N	3	I 5
174	453	RA08	南西埋土上位	深鉢	ロ:沈線(半竹)、胴:単軸絡1、LR縦	－	N	4	I 5
174	454	RA08	南側埋土上位	深鉢	胴:単軸絡1 A、L縦	－	·	4	I
174	455	RA08	南東埋土上位	深鉢	Ⅱ1:沈線(半竹)、胴突	－	－	4	I 5
174	456	RA08	南側埋土上位	深鉢	ロ:単軸絡5、縦、頸:隆帯+圧痕	－	N?	4	I 4
174	457	RA08	南西埋土上位	深鉢	ロ:沈線(半竹)、頸:隆帯+刻目、貼瘤	－	－	4	I 5
174	458	RA08	南西埋土上位	深鉢	Ⅱ斜・突起:胴突、Ⅱ:単軸絡1 A、RL縦	－	N?	4	I 5
174	459	RA08	南西埋土下位	深鉢	ロ:貼瘤・沈線	·	N?	4	I 5
174	460	RA08	南西埋土下位	深鉢	胴:沈線(半竹)	－	－	4	I 5
174	461	RA08	南西埋土下位	深鉢	胴:多軸絡(?)、縦、輪積痕	－	N	4	I
174	462	RA08	南西埋土下位	深鉢	ロ:無文、頸:隆帯+圧痕		·	4	I 4
174	463	RA08	南西埋土下位	深鉢	底:渦状圧痕→ミガキ 輪積	－	N	3	I 5
174	464	RA08	北東埋土	深鉢	ロ:LR横→沈線(弓文)、頸:沈線	－	M	3	I 5
174	465	RA08	北東埋土	深鉢	ロ:LR横、頸:沈線	－	M	2	I 5
174	466	RA08	南半埋土	深鉢	Ⅱ:沈線	－	N	2	I
174	467	RA08	北東埋土	深鉢	胴:単軸絡1 A、RL縦	－	－	3	I 4
174	468	RA08	北西埋土	深鉢	ロ:隆帯(肥厚)、沈線(半竹)、頸:沈線	－	M	4	I 5
174	469	RA08	南東埋土	深鉢	Ⅱ:沈線	－	－	2	I 5
174	470	RA08-PP4	北側埋土	深鉢	胴:LR縦・沈線(半竹)、貼瘤		N	4	I 5
175	471	RA09	東西ベルト1	深鉢	ロ:沈線(半竹)、刻目	－	M	3	I 5
175	472	RA09	東西ベルト1	深鉢	頸:沈線・刻目	－	－	2	I 5
175	473	RA09	東西ベルト1	深鉢	突起:刻目、貫通孔	·		3	I 5
175	474	RA09	東西ベルト2	深鉢	Ⅱ1:隆帯(肥厚)+刻突、胴:単軸絡1、R縦	－	N	4	I 5
175	475	RA09	南半埋土上位	深鉢	ロ:沈線(半竹)・RL横?	－	－	4	I
175	476	RA09	南半埋土上位	深鉢	Ⅱ1:隆帯(肥厚)+矩沈線、沈線	－		4	I 5
175	477	RA09	南半埋土上位	深鉢	ロ:隆帯(肥厚)、貼瘤、沈線、刻目	－	N	2	I 5
175	478	RA09	南半埋土上位	深鉢	ロ:無文、頸:沈線(半竹)	·	－	2	I
175	479	RA09	南半埋土上位	深鉢	Ⅱ1:隆帯、頸:隆帯+刻目、胴突、貼瘤	○	M	3	I 5
175	480	RA09	埋土下位	深鉢	ロ:隆帯(肥厚)+刻突、頸:沈線、胴:結束1 RL・LR横	－	－	4	I 5
175	481	RA09	埋土下位	深鉢	ロ:沈線(半竹)、単軸絡1 A、R縦	－	N	2	I 5
175	482	RA09	南半埋土下位	深鉢	ロ:無文、頸:隆帯	－	N?	3	I
175	483	RA09	南半埋土下位	深鉢	ロ:単軸絡5、R横			2	I 4
175	484	RA09	南半埋土下位	深鉢	ロ:隆帯+沈線	－	N?	3	I 4
175	485	RA09	南半埋土下位	深鉢	ロ:圧痕、頸:沈線(半竹)、LR縦斜?	－	N	4	I 5
175	486	RA09	南半埋土下位	深鉢	ロ:沈線(半竹)、隆帯+刻目、胴:沈線(半竹)/LR縦	－	M	2	I 5
175	487	RA09	西半埋土	深鉢	Ⅱ:原体側圧LR、底:LR縦	○	－	4	Ⅱ1?
175	488	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:単軸絡1 A、L縦	－	N?	3	Ⅱ1?
175	489	RA09	北半埋土	深鉢	ロ:沈線(半竹)、頸:沈線	－	－	3	I 5
175	490	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:隆帯・沈線	·	N	2	I 5
176	491	RA09	南半埋土	深鉢	ロ晋:刻目、ロ:LR斜	－	N	2	I 5
176	492	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:沈線、頸:隆帯+刻口	○	N	4	I 5
176	493	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:隆帯(肥厚)+原体側圧RL・RL横、胴:RL縦	－	M	3	Ⅱ1?
176	494	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:沈線	－	M	4	Ⅱ1?
176	495	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:沈線(半竹)	·	N	3	Ⅱ1?
176	496	RA09	南半埋土	深鉢	Ⅱ1:隆帯(肥厚)+原体RL・LR 頸:沈線(半竹)	－	N	3	I 5
176	497	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:沈線・比痕	－	N	4	I 5
176	498	RA09	南半埋土	深鉢	Ⅱ1:原体側圧LR、正痕	·	M	4	I
176	499	RA09	南半埋土	深鉢	ロ:沈線(半竹)、頸:隆帯+刻目	－	－	4	I 5
176	500	RA09	南半埋土	深鉢	底:台付?	·	－	4	I
176	501	RA09	南半埋土	深鉢	底面:網代痕	－	－	4	I
176	502	RA09-PP	南半埋土	深鉢	ロ:隆帯(肥厚)、沈線、頸:沈線(半竹)	－	N?	3	I 5
176	503	RA09-PP4	南半埋土	深鉢	Ⅱ1:貼瘤、沈線、頸:沈線(半竹)	·	N	4	I 5

図版No	No	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
176	504	RA10	南北ベルト１	深鉢	胴：LR・RL縦	－	－	4	Ⅰ
176	505	RA10	東西ベルト１	深鉢	胴：RL横		－	4	Ⅰ
176	506	RA10	東西ベルト１	深鉢	口唇：刻目、隆帯（渦文）	○	M	3	Ⅰ
176	507	RA10	南東埋土	深鉢	口縁：隆帯、胴：単軸結１，R縦	－	N	2	Ⅰ4
176	508	RA10	南東埋土	深鉢	口～：LR縦撫→隆帯	－	－	4	Ⅰ4
176	509	RA10	北東埋土	深鉢	胴：沈線（半竹）	－	N	3	Ⅰ5
176	510	RA10	南東埋土	深鉢	口縁：隆帯（山形）、口：LR縦	○	N？	4	Ⅰ4
176	511	RA10	北西埋土	深鉢	口唇：荒目、単軸結１L、縦・隆帯＋刻目		N	2	Ⅰ4
177	512	RA10	南半埋土	深鉢	口：沈線	－	N	3	Ⅰ5
177	513	RA10	南半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）縦位	－	N？	3	Ⅰ
177	514	RA11	南半埋土	深鉢	口唇：刻目、口：沈線（半竹）		N？	4	Ⅰ5
177	515	RA11	南半埋土	深鉢	口：隆帯（円文？）＋刻目	－	M	4	Ⅱ1?
177	516	RA11	南半埋土	深鉢	口唇：刻目、口：沈線（半竹）	－	M	4	Ⅰ5
177	517	RA11	南半埋土	深鉢	口唇：圧痕、口：LR横？、結節L？	－	N	3	Ⅰ
177	518	RA11	南半埋土	深鉢	口：原体側圧LR／沈線	－	M	2	Ⅰ
177	519	RA11	南半埋土	深鉢	底：ナデ　輪積痕		M	3	Ⅰ
177	520	RA11	南半埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋結圧？、胴：単軸結１？縦	－	N	3	Ⅰ
177	521	RA11	南半埋土	深鉢	胴：刺突、LR横	－	M？	3	Ⅰ5
177	522	RA11	南半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）	－	N	2	Ⅰ5
177	523	RA11	埋土	深鉢	口：沈線・刺突	－	N	3	Ⅰ5
177	524	RA10	埋土	深鉢	口：沈線、縦：刺突	－	N？	4	Ⅰ5
177	525	RA11	南半埋土下位	深鉢	口：隆帯（円文）	－	－	3	Ⅰ5
177	526	RA11	南半埋土下位	深鉢	口：原体側圧LR、縦：沈線（半竹）	－	N	3	Ⅰ5
177	527	RA11	南半埋土下位	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線、胴：沈線（半竹）		N	3	Ⅰ5
177	528	RA10	南半埋土下位	深鉢	口唇：刻目、口：LR横	－	N	3	Ⅰ4
177	529	RA11	南半埋土下位	深鉢	口唇：隆帯（肥厚）＋圧痕	－	M	3	Ⅰ5
177	530	RA11-PP2	南半埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋原体圧LR、沈線（半竹）	－	N	4	Ⅰ5
177	531	RA11	Pot No.01	深鉢	口：隆帯＋刻目、沈線、胴：結束１RL・LR横	－	M	4	Ⅰ5
178	532	RA12	ベルトＢ１	深鉢	胴：LR縦／結節R縦	－	－	4	Ⅰ
178	533	RA12	ベルトＡ１	深鉢	口～：沈線（縦位）	－	－	4	Ⅰ
178	534	RA12	ベルトＡ１	深鉢	口：沈線	－	－	2	Ⅰ
178	535	RA12	ベルトＢ１	深鉢	胴：LR縦・隆帯	－	－	3	Ⅰ4
178	536	RA12	北半埋土上位	深鉢	胴：多軸結（?）、縦	－	N？	4	Ⅰ
178	537	RA12	西半埋土上位	深鉢	口唇：刻目		M	2	Ⅰ4
178	538	RA12	北西埋土	深鉢	口唇：圧痕、口：単軸結５，R縦	－	N	4	Ⅰ4
178	539	RA12	北半埋土	深鉢	胴：単軸結１L、縦？・隆帯＋圧痕	－	M	3	Ⅰ4
178	540	RA12	北半埋土	深鉢	口：無文帯、胴：RL縦	－	M	2	Ⅱ3
178	541	RA12	北半埋土	深鉢	胴：刺突、沈線（半竹）、貼瘤	－	N	3	Ⅰ5
178	542	RA12	南半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）	○	－	3	Ⅰ5
178	543	RA12	西半埋土	深鉢	口唇：荒目、口：刻突／沈線	－	N	3	Ⅰ5
178	544	RA12	北半埋土	深鉢	胴：単軸結５，L縦	○		3	Ⅰ4
178	545	RA12	北半埋土下位	深鉢	胴：単軸結１A，L縦	－	N？	3	Ⅰ4
178	546	RA12	南半埋土下位	深鉢	胴：単軸結１A，L縦	－	N	3	Ⅰ4
178	547	RA12	北半埋土下位	深鉢	口：LR縦		N	4	Ⅰ4
178	548	RA12	北半埋土下位	深鉢	胴：LR縦	○	N？	3	Ⅰ4
178	549	RA13	南西埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）→LR横	－	－	3	Ⅰ4
178	550	RA13	南東埋土	深鉢	口唇：圧痕、胴：単軸結１，r縦	－	－	4	Ⅰ4
178	551	RA13	埋土	深鉢	縁：隆帯＋刻目	－	N？	2	Ⅰ
178	552	RA13	埋土下位	深鉢	口：波線（半竹）	－	N	4	Ⅰ5
178	553	RA13	埋土下位	深鉢	胴：沈線（半竹）、縦位	○	－	4	Ⅰ5
178	554	RA13	埋土下位	深鉢	頸：隆帯＋短沈線、沈線（半竹）、LR縦	－	N	3	Ⅰ5
179	555	RA13	Pot02	深鉢	胴：沈線・刺突、同・沈線（縦位）、LR縦・結節縦	－	M	3	Ⅰ5
179	556	RA13	Pot03	深鉢	口唇：圧痕、胴：RL・LR横／結節横	－	－	3	Ⅰ4
179	557	RA13	Pot05	深鉢	胴：LR横／結節R横	－	－	3	Ⅰ
179	558	RA13	Pot08	深鉢	口：沈線	－	－	4	Ⅰ5

図版No.	No	出土地点	層　位	器　種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
179	539	RA14	ベルト A 1	深鉢	口：沈線、胴：単軸絡 1，1縦？	-	N	4	I
179	560	RA14	北西埋土上位	深鉢	口巻：肥厚、口：沈線、刺突	−	M	2	I 5
179	561	RA14	北西埋土上位	深鉢	底：輪積痕	○	−	2	I
179	562	RA14	北西埋土上位	深鉢	胴：		-	4	I
179	563	RA14	埋土上位：Pot1	深鉢	口：LR 縦→隆帯	−	M	4	I 4
179	564	RA14	北西埋土	深鉢	口巻：隆帯（正撚）	−	−	4	I
179	565	RA14	埋土	深鉢	口唇：斜線、口：単軸絡 3，R 縦	−	N	4	I 4
179	566	RA14	南東埋土	深鉢	胴：S 字状連続沈文	−	−	2	I 2
179	567	RA14	北東埋土下位	深鉢	口：単軸絡 1，R 縦→沈線		N	3	I
179	568	RA14	北東埋土下位	深鉢	口唇：斜線、口：単軸絡 1，R 縦	−	N	4	I 5
179	569	RA15	埋土 2 B	深鉢	口：隆帯 1 沈線、LR 横／結節横	○	−	3	I 4
179	570	RA15	北側埋土	深鉢	口：波線	−	N	3	I
179	571	RA15	埋土	深鉢	口：無文、胴：LR 横／結節 R 横→隆帯	−	N？	2	I 3
179	572	RA15 PP6	埋土	深鉢	口：無文帯／ LR 横／結節 R 横→隆帯	-	N？	2	I 3
179	573	RA15	Pot04	深鉢	胴：LR 縦／結節横→沈線	−	M	4	I
179	574	RA15	Pot04	深鉢	口巻：刻目、口：LR 横	○	−	2	I 4
180	575	RA16	埋土上位	深鉢	胴：異条羅文横		N	2	I
180	576	RA16	埋土下位	深鉢	胴：？	−	N	4	I
180	577	RA16	埋土下位	深鉢	口：沈線	−	−	2	I
180	578	RA16	埋土下位	深鉢	口：隆帯＋刻目、胴：RL 横		-	2	I
180	579	RA17	埋土	深鉢	頸：沈（半竹）、胴：LR 横	−	−	4	I 5
180	580	RA17-PP1	埋土	深鉢	口：隆帯＋短沈、沈線（半竹）、頸：沈線、胴：隆帯＋刻目、LR 縦	-	−	4	I 5
180	581	RA18	埋土	深鉢	口：沈線＋貼瘤＋刻目	−	−	4	I 5
180	582	RA18	北東埋土	深鉢	口：隆帯 1 刻目、沈線	○	−	3	I 5
180	583	RA18-PP1	埋土	深鉢	口：沈線＋刻目	−	N	3	I 5
180	584	RA19	北西埋土上位	深鉢	底：比較輪痕	−	−	3	I
180	585	RA19	北半埋土	深鉢	口：隆帯＋刻目、沈線		−	3	II ?
180	586	RA19	北西埋土	深鉢	口：無文	−	N	3	I
180	587	RA19	北東埋土	深鉢	口：隆帯（突起）、LR 斜？	−	N	3	I 5
180	588	RA19	北西埋土	深鉢	口：隆帯（突起）＋沈線、胴：LR 斜	−		4	I 5
180	589	RA19-PP5	埋土	深鉢	口巻：隆帯、口：RL 縦→隆帯	○	N	2	I 5
180	590	RA20	床直上	深鉢	底：創代底？	-	−	4	I
180	591	RA21	埋土	深鉢	底：縁に刻目	−	N	2	I
180	592	RA21	埋土	深鉢	口：原体側工 LR	-	M	3	II ?
180	593	RA21	埋土	深鉢	口：刻目（竹竹）	−	−	3	I ?
180	594	RA21	埋土	深鉢	口巻：刻目、口：LR 横、結節 R 横	−	−	2	I ?
181	595	RA21	埋土	深鉢	口：隆帯／（平文）／沈線（半竹）	−	M	3	II ?
181	596	RA21	埋土	深鉢	口巻：刻目、口：LR 横、結節 R 横	−	M	3	I
181	597	RA21	埋土	深鉢	口縁：内面：隆帯（巻文）	○	−	4	I 4
181	598	RA21	埋土	深鉢	口巻：刻目、ニ：LR 横、結節 R 横	−	−	3	I
181	599	RA21-PP5	埋土	深鉢	口：原体側工 LR、頸：隆帯＋刻目、胴：結節＋L 縦	−	−	4	II ?
181	600	RA22-PP1	埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）、頸：隆帯＋刻目	−	M	2	I
181	601	RA23	南北ベルト 1	深鉢	胴：沈線（半竹）	-	−	3	I 5
181	602	RA23	埋土 1	深鉢	胴：結節 1 RL・LR 横縦	○	M	4	I 5
181	603	RA23	東西ベルト 1	深鉢	口：RL 縦・隆帯＋正撚	−	N	3	I 4
181	604	RA23	埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）、沈線（半竹）	-	−	2	I 5
181	605	RA23	埋土	深鉢	口巻：突起、ニ：LR 縦	○	N	2	I
181	606	RA23	埋土	深鉢	口：	-	N	3	I
181	607	RA23	埋土	深鉢	口：原体側工 LR、胴：単軸絡 1，LR 縦／ LR 縦	○	M	4	I
181	608	RA23	埋土	深鉢	口：LR 縦	−	N？	3	I
181	609	RA23	埋土	深鉢	口：単軸絡 1，L 縦	-		2	I
181	610	RA23	埋土	深鉢	口：圧痕、沈線（半竹）	−	M	4	I 5
181	611	RA23	埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線	−	M	3	I 5
182	612	RA23	埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）、沈線（半竹）	−	−	2	I 5
182	613	RA23	埋土	深鉢	胴：単軸絡 1 A，R 2 縦・隆帯（円文）＋圧痕	○	-	3	I 4

図版No	No	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
182	614	RA23	埋土	深鉢	ロ：原体側圧LR	－	M	2	I
182	615	RA23	埋土	深鉢	ロ：単軸結1A，R 2・隆帯＋刻目／圧痕	－	N	3	I 4
182	616	RA23	埋土	深鉢	ロ：単軸結5，R 7縦	－	－	4	I
182	617	RA23	埋土	深鉢	ロ：原体側圧LR、胴：LR縦	－	M	4	I
182	618	RA23	埋土	深鉢	胴：S字状連鎖沈文	－	－	3	I 2
182	619	RA23	埋土	深鉢	口縁：隆帯（突起）＋沈線、口：単軸結1，R縦	－	－	3	I 4
182	620	RA23	埋土	深鉢	ロ唇：圧痕、ロ：沈線（半竹）	－	N？	3	I 5
182	621	RA23	埋土	深鉢	ロ：隆帯（肥厚）、LR縦	－	N	3	I 5
182	622	RA23	埋土	深鉢	口縁：刺突、胴：隆帯＋刺突	－	－	2	I 4
182	623	RA23	埋土	深鉢	ロ：結節瘤	－	N？	2	I
182	624	RA23	埋土	深鉢	ロ：原体圧LR	－	N	3	I
182	625	RA23	埋土	深鉢	口：隆帯・結瘤（円文）	－	N	3	I 5
182	626	RA23	埋土	深鉢	ロ：隆帯＋刻目、結節ヨコ？	○	－	2	I
182	627	RA23	埋土B	深鉢	口：単軸結5，R縦	－	－	2	I 4
182	628	RA23	埋土B	深鉢	ロ唇・ロ：LR縦→隆帯（波状）、頸：胴体側圧LR	－	－	3	I 3
182	629	RA23	埋土南北B	深鉢	ロ：LR横→隆帯	○	N	2	I
182	630	RA23	埋土B	深鉢	口：LR異条？	－	－	2	I
182	631	RA23	埋土貼床上	深鉢	ロ：沈線（綾位）		N	2	I
182	632	RA23	貼床上	深鉢	底面：網代痕？	－	N？	4	I
183	633	RA23	埋土　貼床上	深鉢	ロ：LR縦・斜	－	N	3	I
183	634	RA23	Pot.P	深鉢	ロ唇：圧痕、ニ：単軸結1、L縦	－	N？	4	I 5
183	635	RA23	埋土B	深鉢	ロ：沈線（綾位）	－	N	2	I
183	636	RA23	Pot.M	深鉢	ロ：LR縦	－	M	2	I
183	637	RA23	Pot.T	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線（半竹）、胴：LR縦	－	N	4	I 5
183	638	RA23	Pot.T	深鉢	ロ唇：圧痕、ロ：沈線（半竹）波平、LR縦	－	N	4	I 5
183	639	RA23	Pot.U	深鉢	胴：LR縦→沈線（半竹）	－	M	3	I 3
183	640	RA23	Pot.N	深鉢	口：RL横	－	N	3	I
183	641	RA23	撹土1内	深鉢	ロ：隆帯＋刻目、S字状連鎖沈文？	－	－	3	I
183	642	RA23	Pot.Q	深鉢	胴：LR縦＋沈線	－	M	3	I 5
183	643	RA23-PP3	埋土	深鉢	ロ唇：刻目？ロ：単軸結1A、R 2縦	－	－	4	I 5
184	644	RA24	Pot.02 1	深鉢	ロ唇：圧痕　ニ：LR横／結節R横→隆帯	－	N	2	I 4
184	645	RA24	Pot.01 1	深鉢	ロ：LR横・結節横？	－	N	2	I
184	646	RA24	Pot.02 1	深鉢	底：LR横、輪積痕	○	－	2	I
184	647	RA24	埋土1	深鉢	口：LR横、結節R横	○	－	2	I
184	648	RA24	埋土1	深鉢	ロ：単軸結1，R縦、補修孔	－	－	3	I
184	649	RA24	撹土1	深鉢	口：	－	－	4	I
184	650	RA24	埋土1	深鉢	ロ～：LR横→沈線（半竹）	○	M	2	I
184	651	RA24	撹土1	深鉢	ロ：単軸結1？L縦	－	－	4	I
184	652	RA24	埋土1	深鉢	口：単軸結1，RR縦→隆帯＋圧痕／刺突	－	N	2	I 4
184	653	RA24	撹土1	深鉢	ロ：隆帯＋刻目、S字状連鎖沈文	－	－	2	I 2
184	654	RA24	埋土1	深鉢	ロ唇：圧痕、ロ：単軸結1A、R 2縦	－	N	2	I 4
184	655	RA24	埋土1	深鉢	ロ：LR横、結節R横、補修孔	－	－	2	I
184	656	RA24	埋土1	深鉢	口縁：冥舌、LR横	○	－	2	I
184	657	RA24	埋土2	深鉢	ロ：LR横・結節R横？	－	N	2	I
184	658	RA24	埋土2	深鉢	底：輪積	○	－	4	I
184	659	RA26	炉東半埋土	深鉢	ロ：→無文帯、隆帯＋刺突、	－	M	2	II3?
184	660	RA29	撹土	深鉢	口：結条体圧痕LR　頸：隆帯＋圧痕	－	N	4	II3?
184	661	RA29	埋土	深鉢	ロ：単軸結1，R縦	○	－	3	I
184	662	RA29	撹土	深鉢	胴：RL横→沈線	－	－	4	I
184	663	RA29	内土坑埋土	深鉢	底：単軸結1，縦？	○	－	3	I
184	664	RA31 PP2	埋土	深鉢	頸：単軸結5，LR縦→隆帯→圧痕	○	－	3	I 4
185	665	RD01	南半埋土	深鉢	ロ：刺突（半竹）／沈線	－	－	2	I
185	666	RD02	埋土	深鉢	胴：LR縦	－	N	4	I
185	667	RD02	北半埋土4	深鉢	胴：S字状連鎖沈文	－	－	2	I 2
185	668	RD02	南半埋土下位	深鉢	胴：R縦／結節L縦	○	N	3	I

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
185	669	RD02	南半埋土下位	深鉢	ロ：圧痕／沈線	－	N	2	I
185	670	RD03	埋土	深鉢	胴：単軸絡1，R縦		N	2	I
185	671	RD04	埋土	深鉢	突起？	○	－	2	I
185	672	RD04	南半埋土	深鉢	ロ：原体側圧LR、胴：RL横斜	－	N	3	II1?
185	673	RD04	南半埋土	深鉢	ロ：単軸絡5、R縦		N？	4	I 4
185	674	RD04	南半埋土	深鉢	ロ縁：屈曲、ロ：多軸絡（？）縦	－	－	4	I
185	675	RD04	南半埋土	深鉢	ロ縁：刻目、ロ：無文？	－	N	2	I
185	676	RD04	南半埋土	深鉢	ロ：単軸絡1，L縦	○	－	4	I 4
185	677	RD04	南半埋土	深鉢	ロ：LR横	○	M	3	I
185	678	RD04	南半埋土	深鉢	胴：単軸絡1、R斜	－	N	3	I
185	679	RD04	南半埋土	深鉢	ロ～：沈線（半竹）、縦位	○	N	4	I
185	680	RD04	床直：Potg	深鉢	ロ縁：隆帯（肥厚）＋刺突、ロ：LR縦	－	M	2	I 5
185	681	RD04	床直：Potg	深鉢	ロ：沈線	－	N？	4	I 5
185	682	RD04	床直：Potj	深鉢	ロ：隆帯	－	M	1	I 5
185	683	RD04	床直：Potg	深鉢	ロ：無文？	－	N？	4	I
185	684	RD04	床直：PotL	深鉢	ロ：隆帯（肥厚）	－	N	4	I 5
185	685	RD05	南半埋土	深鉢	ロ：単軸絡5、R縦	－	N	3	I 4
185	686	RD05	南半埋土	深鉢	ロ：沈線	○	N	2	I 5
186	687	RD06	南半埋土	深鉢	胴：隆帯＋原体側圧LR	－	N	3	I 4
186	688	RD06	南半埋土	深鉢	ロ：単軸絡1、I縦	－	N？	3	I
186	689	RD06	南半埋土：Pot1	深鉢	ロ：沈線	－	M	3	I 5
186	690	RD06	北半埋土5	深鉢	ロ：隆帯（肥厚）＋原体側圧LR、胴：LR縦	○	N？	3	I
186	691	RD06	北半埋土5	深鉢	ロ縁：刻目、ロ：沈線	○	M	3	I 5
186	692	RD06	北半埋土5	深鉢	ロ：貼瘤、刺突（円形）		N？	2	I
186	693	RD06	北半埋土5	深鉢	ロ：沈線	－	－	3	I 5
186	694	RD06-PP3	埋土	深鉢	ロ：沈線（半竹）	－	N	3	I 5
186	695	RD08	東半埋土	深鉢	ロ縁：突起、ロ、沈線／刻目	－		2	II1
186	696	RD08	南半埋土	深鉢	ロ：沈線、胴：単軸絡1，L縦	－	N	2	I 5
186	697	RD08	東半埋土	深鉢	ロ：沈線	－	N	2	I 5
186	698	RD09	南半埋土	深鉢	胴：隆帯＋刻目	－	N	3	I 4
186	699	RD09	南半埋土	深鉢	ロ：圧痕／沈線	－	N	2	I 5
186	700	RD09	南半埋土	深鉢	ロ：単軸絡1、R縦	－	N？	3	I 5
186	701	RD09	北半埋土	深鉢	ロ：沈線／爪痕	－	M	3	I 5
186	702	RD09	北半埋土	深鉢	ロ：隆帯（肥厚）＋圧痕／沈線、胴：LR縦	－	N？	4	I 5
186	703	RD09	北半埋土	深鉢	ロ：隆帯（肥厚）＋刺突	－	－	4	I 5
186	704	RD09	北半埋土	深鉢	ロ：刺突	－	－	3	I 5
186	705	RD09	北半埋土	深鉢	ロ：LR横・隆帯＋圧痕	－	N？	3	I 4
186	706	RD09	北半埋土	深鉢	ロ：隆帯、沈線／刻目、	－	N？	3	I 5
186	707	RD09	埋土	深鉢	ロ：沈線（半竹）／刻目／刺突	－	M	2	I 5
186	708	RD09	北半埋土4	深鉢	ロ：隆帯＋爪目、沈線	－	N	3	I 5
186	709	RD09-PP6	北半埋土	深鉢	ロ縁：圧痕、ロ：RL横？、L結節横	○	N	2	I 5
187	710	RD10	西半埋土	深鉢	胴：単軸絡1 A、L 2縦	－	M	3	I
187	711	RD10	西半埋土	深鉢	胴：単軸絡1 A、L 2縦	－	N	4	I
187	712	RD10	西半埋土上位	深鉢	胴：LR縦	－	－	4	I
187	713	RD10	西半埋土	深鉢	ロ：沈線（半竹）平	－	M	2	I 5
187	714	RD11	西半埋土？	深鉢	胴：沈線（半竹）	○	N	4	I 5
187	715	RD11	西半埋土？2	深鉢	ロ縁：刻目、ロ：沈線（半竹）	－	M	4	I 5
187	716	RD11	西半埋土？2	深鉢	ロ：隆帯、沈線	－	M	4	I 5
187	717	RD11	西半埋土？2	深鉢	胴：LR縦→沈線（半竹）	－	N	3	I 5
187	718	RD11	西半埋土？2	深鉢	ロ縁：圧痕、ロ：撚り戻しRR？縦	○	N	3	I 5
187	719	RD11	西半埋土上位	深鉢	ロ：無文、胴：隆帯＋圧痕、胴：RL横	－	M	3	I 4
187	720	RD11	西半埋土上位	深鉢	ロ：沈線（半竹）	－	N？	3	I 5
187	721	RD11	西半埋土上位	深鉢	胴：結束1 RL・LR縦？	－	N？	3	I
187	722	RD11	埋土下位	深鉢	ロ：沈線	－	N	4	II1?
187	723	RD11-PP5	埋土	深鉢	胴：単軸絡5、R縦、輪積痕	○	－	2	I

図版No	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
187	724	RD11-PP4	埋土	深鉢	底 輪積痕	○	N	4	I
187	725	RD12	南半埋土	深鉢	□：圧痕、沈線（半竹）	－	M	2	I 5
187	726	RD12	南半埋土 2	深鉢	□：ナデ？ 調整痕	－	N	2	I 5
187	727	RD12	北半埋土 2	深鉢	口：原体側圧 LR	－	N	4	II 1?
187	728	RD12	北半埋土 2	深鉢	□：RL 横、結節 L 横	－	N	3	I
187	729	RD12	南半埋土 2	深鉢	胴：沈線（半竹）	－	N？	2	I
187	730	RD12	南半埋土 2	深鉢	底：	○	N	2	I
187	731	RD14	埋土	深鉢	□：単軸絡 1，L 縦	－	－	4	I
187	732	RD15	北半埋土	深鉢	□：LR 横／結節 R 横	－	N？	4	I
187	733	RD15	北半埋土	深鉢	胴：単軸絡 1 A，RL 横	－	N	2	I
187	734	RD15	北半埋土	深鉢	胴：RL 横？→巻帯	－	－	4	I
188	735	RD16	北半埋土 1	深鉢	口：単軸絡 1，R 縦	－	N	4	I
188	736	RD16	北半埋土 1	深鉢	□巻：圧痕（両孔）	－	N	2	I 4
188	737	RD16	北半埋土 1	深鉢	□：隆帯	－	N	2	I 4
188	738	RD16	北半埋土 1	深鉢	口：沈線／単軸絡 5，R 縦	－	－	4	I 4
188	739	RD16	南半埋土	深鉢	□：隆帯＋圧痕、胴：単軸絡 1，L 縦	－	N	3	I 4
188	740	RD16	南半埋土	深鉢	胴：単軸絡 1、L→沈線	－	N	3	I 4
188	741	RD16	南半埋土	深鉢	口巻：貼付＋刺目、口：RL 横	－	N	4	I 4
188	742	RD16	西半埋土	深鉢	□：隆帯（突起）＋刻目、胴：沈線（半竹）	－	－	2	I 4
188	743	RD16	南半埋土	深鉢	口：単軸絡 1 A，R 縦、頸：隆帯＋圧痕	－	N	4	I 4
188	744	RD16	南半埋土	深鉢	□：単軸絡 5，R 縦	－	N	2	I 4
188	745	RD16	南半埋土	深鉢	□巻：圧痕、口：単軸絡 1，L 縦	－	N	2	I 4
188	746	RD17	南半埋土	深鉢	□：刺突	－	M	2	I 4
188	747	RD17	南半埋土	深鉢	口：沈線	－	－	2	I 5
188	748	RD17	埋土	深鉢	□巻：隆帯（肥厚）＋刺突、口：単軸絡 1，R 縦。	－	－	3	I 4
188	749	RD18	北半埋土 1	深鉢	胴：単軸絡 5，R 縦。	－	－	3	I 4
188	750	RD18	北半埋土1	深鉢	胴：LR 縦、結節 R 横。	－	－	2	I
188	751	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線（波状）	－	－	3	I 5
188	752	RD19	南半埋土上位	深鉢	□：隆帯（肥厚）、沈線（半竹）	－	N？	3	I 5
188	753	RD19	南半埋土上位	深鉢	□：沈線	－	M	3	I 5
188	754	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線	－	N	3	II 1
189	755	RD19	南半埋土上位	深鉢	□：結束 1，RL・LR／結節 R 縦	－	N	4	I
189	756	RD19	南半埋土	深鉢	□：沈線、頸：刺突、胴：結束 1，RL・LR／結節 R 縦、輪積痕	－	M	2	II 1
189	757	RD19	南半埋土上位	深鉢	胴：沈線	－	－	2	I
189	758	RD19	南半埋土上位	深鉢	□：沈線（半竹）、頸：隆帯＋刻目、胴：沈線	－	M	3	I 5
189	759	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線＋貼瘤、頸：沈線（半竹）／刻目、胴：沈線	－	N	3	I 5
189	760	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線、頸沈線、隆帯（円文）＋刻目	－	M	4	II 1
189	761	RD19	南半埋土上位	深鉢	胴：沈線（半竹）		M	3	I 5
189	762	RD19	南半埋土上位	深鉢	頸：沈線、結節？	○	N	2	I
189	763	RD19	南半埋土上位	深鉢	□：沈線	－	M	4	I 5
189	764	RD19	南半埋土下位	深鉢	□巻：隆帯（肥厚）＋貼瘤、頸：沈線	－	N	4	I
189	765	RD22	南半埋土	深鉢	□：沈線	－	N	3	I 4
189	766	RD22	南半埋土	深鉢	□：無文？	－	－	3	I
189	767	RD23	北半埋土	深鉢	胴：多軸絡（?），R 縦？	－	N	4	I
189	768	RD23	北半埋土	深鉢	胴：RL 横？	－	N	3	I
189	769	RD23	北半埋土	深鉢	底：	－	－	4	I
189	770	RD24	西半埋土	深鉢	口巻：圧痕	－	－	3	I
189	771	RD25	南半埋土	深鉢	□：隆帯＋圧痕	－	M	3	I
189	772	RD27	北半埋土 1	深鉢	胴：RL 横／結節横？	○	－	3	I
190	773	RD28	埋土	深鉢	胴：RL 斜	－	－	3	I
190	774	RD29	南半埋土	深鉢	胴：単軸絡 1，LR 縦		N	3	I
190	775	RD29	南半埋土	深鉢	単軸絡 1，LR 縦	－	－	4	I
190	776	RD30	北半埋土 1	深鉢	□巻：刻目、口：原体側圧 LR	○	N？	2	I
190	777	RD30	北半埋土 1	深鉢	口：単軸絡 1，R 縦	－	－	2	I
190	778	RD30	北半埋土 3	深鉢	□巻：刻目、口：沈線	－	－	3	I

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
190	779	RD30	北半埋土 3	深鉢	口唇：隆帯、RL 横	−	−	3	I
190	780	RD30	北半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）、頸：沈線	−	M	3	I 5
190	781	RD30	南半埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）+圧痕／沈線（半竹）	−	N	3	I 5
190	782	RD30	北半埋土	深鉢	口：隆帯+原体側圧 LR／RL 横・縦	−	N？	4	I
190	783	RD30	北半埋土	深鉢	口：沈線	−	N	3	I
190	784	RD30	北半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）	−	N	4	I 5
190	785	RD30	北半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）	−	M？	4	I 5
190	786	RD30	南半埋土落込み	深鉢	頸：隆帯+圧痕	−	−	4	I 5
190	787	RD31	北西埋土 1	深鉢	胴：S 字状連続沈文	○	−	2	I 2
190	788	RD32	埋土中央 Pot	深鉢	口：隆帯（肥厚）、胴：LR 縦、結節 R 縦。	−	N	4	I 5
190	789	RD32	北半埋土 Pot	深鉢	口：隆帯、口：単軸絡 1 L，縦？	−	−	4	I 4
190	790	RD32	北半埋土 Pot	深鉢	胴：多軸絡（？），R 縦	−	−	4	I
190	791	RD32	北半埋土 Pot	深鉢	胴：LR 縦	○	−	4	I
190	792	RD33	南半埋土	深鉢	口：無文？	○	N	2	I
190	793	RD33	東半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）	−	−	4	I 5
190	794	RD34	南半埋土 1	深鉢	口：原体側圧 LR	−	M	2	I
190	795	RD34	南半埋土 1	深鉢	口：単軸絡 1 A，R 縦	−	N	4	I 4
190	796	RD34	南半埋土 1	深鉢	口：隆帯、胴：RL 横？	−	N？	2	I 4
190	797	RD34	南半埋土 1	深鉢	口：隆帯（突起）、胴：RL 横	−	N	4	I 5
190	798	RD34	南半埋土 1	深鉢	口唇：刻目、口：沈線（半竹）	−	M	2	I 5
190	799	RD34	南半埋土	深鉢	頸：隆帯+圧痕、胴：単軸絡 1 A,L 2 縦	−	−	4	I 4
191	800	RD35	埋土焼土上位	深鉢	口：単軸絡 5，R 縦	−	−	2	I
191	801	RD35	北半埋土	深鉢	口：刺突	−	−	2	I
191	802	RD35	南半埋土	深鉢		−	−	4	I
191	803	RD35	北半埋土	深鉢	口：単軸絡 5，R 縦	−	N	3	I
191	804	RD35	北半埋土	深鉢	口：沈線／刺突	○	−	2	I 5
191	805	RD35	南半埋土下位	深鉢	口：RL 横		M	2	I
191	806	RD35	南半埋土 6	深鉢？	突起？	−	−	2	I
191	807	RD36	南半埋土	深鉢	胴：結束 1，RL・LR 縦	−	−	2	I
191	808	RD36	南半埋土	深鉢	胴：結束 1，RL・LR 横	○	−	2	I
191	809	RD36	南半埋土	深鉢	底：沈線、輪積	○	−	2	I
191	810	RD37	埋土上位ベルト 1	深鉢	口：隆帯+圧痕／沈線（半竹）	−	M	3	I 4
191	811	RD37	埋土上位ベルト 1	深鉢	口唇：刺突、口：沈線（半竹）	−		4	I 5
191	812	RD37	埋土上位ベルト 1	深鉢	口：刺突	−	−	4	I 5
191	813	RD37	埋土ベルト下位	深鉢	口：沈線	−	−	4	I 5
191	814	RD37	埋土上位	深鉢	口：LR 縦斜	−	N	2	I
191	815	RD37	北半埋土	深鉢	胴：沈線（半竹）	○	−	3	I
191	816	RD37	南半埋土	深鉢	頸：隆帯+短沈線、口：沈線（半竹）、胴：単軸絡 1，R 縦	−	N	3	I 5
191	817	RD37	南半埋土	深鉢	胴：RL 縦→沈線	−	−	3	I 5
191	818	RD37	南半埋土	深鉢	頸：隆帯+刻目、／沈線（半竹）	−	N	3	I 5
191	819	RD37	南半埋土	深鉢	胴：沈線（半竹）縦位	−	N	3	I
191	820	RD37	南半埋土	深鉢	口：刻目	−	M	3	I
192	821	RD37	南半埋土	深鉢	口：単軸絡 1，L 縦	−	N	4	I
192	822	RD37	南半埋土	深鉢	胴：沈線／RL 横	−	M	3	I
192	823	RD37	南半埋土	深鉢	胴：単軸絡 1 A，L 2 縦	○	−	4	I
192	824	RD38	東側埋土	深鉢	胴：多軸絡（？）、R 縦	−	N	3	I
192	825	RD38	東側埋土	深鉢	胴：単軸絡 1 A，R・L 縦	−	N	2	I
192	826	RD39	北半埋土	深鉢	胴：単軸絡 5，R 縦	○	−	4	I
192	827	RD39	南半埋土	深鉢	胴：RL・R 横	−	−	4	I
192	828	RD40	北半埋土 1	深鉢	口：LR 横、沈線	−	−	4	I 4
192	829	RD40	南半埋土	深鉢	胴：オオバコ回転文	○	−	3	I
192	830	RD41	埋土	深鉢	胴：RL 縦	−	M	3	I
192	831	RD41	埋土	深鉢	胴：S 字状連続沈文	−	−	3	I 2
192	832	RD42	埋土	深鉢	口：RL 横	−	−	3	I
192	833	RD42	南半埋土	深鉢	口：RL 横	−	N？	4	I

図版No	No	出土地点	層位	器種	文様（形体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
192	834	RD42	北半埋土1	深鉢	口：単軸結1，R縦	○	N	2	I
192	835	RD43	南半埋土	深鉢	胴：単軸結1，L縦	○	－	3	I
192	836	RD43	南側埋土	深鉢	胴：LR横？	－	－	4	I
192	837	RD44	西半埋土	深鉢	口：単軸結1，R縦	－	N	4	I
192	838	RD44	北半埋土	深鉢	胴：LR横／結節懸	－	N	4	I
192	839	RD45	東半埋土 Pot	深鉢	口：隆帯／刺突	－	M	2	II
192	840	RD46	南半埋土	深鉢	口：沈線（半竹）波平	－	－	3	I
192	841	RD46	北半埋土	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋圧痕、沈線（半竹）	－	N	3	I 5
192	842	RD47	埋土	深鉢	胴：LR縦	－	－	3	I
192	843	RD50	南半埋土	深鉢	胴：LR横	－	M	3	I
192	844	RD50	南半埋土	深鉢	口：	－	N	3	I
192	845	RD51	西半埋土1	深鉢	胴：単軸結1A，R2縦	－	－	4	I
192	846	RD51	北半埋土1	深鉢	胴：沈線	○	N	4	I
192	847	RD51	北半埋土1	深鉢	胴：LR縦	○	－	1	I
192	848	RD51	南埋土1	深鉢	口：LR縦、結節縦	－	－	2	I
192	849	RD51	南埋土1	深鉢	口帯：圧痕、口：単軸結1，L縦→隆帯→圧痕	－	N	4	I 4
192	850	RD51	南半埋土1	深鉢	口縁：圧痕、口：単軸結5，縦？	－	N	2	I 4
192	851	RD51	南埋土1	深鉢	胴：？	○	－	2	I 4
192	852	RD52	南半埋土	深鉢	胴：LR横、結節懸	○	－	4	I
193	853	RF01	南半焼土	深鉢	口：無文？	○	M	3	I
193	854	RF01	北半焼土	深鉢	口帯：圧痕、口：沈線（縦位）	－	－	2	I
193	855	RF01	北半焼土	深鉢	口：隆帯	－	M	4	I
193	856	RF04	焼土	深鉢	口：隆帯（肥厚）、刺突	－	N？	4	I 5
193	857	RF04	焼土上位	深鉢	胴：単軸結1，R縦？	－	N	3	I
193	858	RF04	焼土	深鉢	口：組紐	－	－	4	I
193	859	RZ02	埋設土器	深鉢	胴：結節R縦	○	N	3	I
193	860	RZ03	埋設土器	深鉢	口帯：刻目、口：単軸結1，L縦	○	N	2	I 4
193	861	RZ03	埋設土器	深鉢	口：沈線（半竹）	○	－	3	I
193	862	RZ04	埋設土器	深鉢	口：隆帯／沈線	○	M	2	II 1
193	863	RZ05	埋設土器	深鉢	口帯：圧痕、口：LR縦	○	N	2	I
193	864	RZ05	埋設土器	深鉢	胴：単軸結1，R縦	－	N？	2	I
193	865	RZ05	埋設土器	深鉢	口：沈線（半竹）	－	－	2	I
193	866	RZ07	埋設土器	深鉢	口：隆帯、胴：RL横→隆帯	○	M	2	I 5
193	867	RZ09	埋設土器	深鉢	底：	○	－	4	I
193	868	RZ10	埋設土器	深鉢	口：沈線、鳥突	－	N？	4	I 5
193	869	RZ10	埋設土器	深鉢	口：隆帯、円文	－	－	4	I 5
193	870	RZ11	埋設土器	深鉢	底：胴代底→ミガキ	－	N？	3	I
193	871	B III m14 PP2	埋土	深鉢	胴：隆帯＋圧痕、胴：多軸結（？），R縦	－	N？	3	I
193	872	B III m15-PP1	埋土	深鉢	口：沈線	○	－	2	I
193	873	B IV q22-PP2	埋土	深鉢	口：沈線	－	－	4	I
193	874	B IV r23-PP4	埋土	深鉢	口：沈線	－	M	2	I
194	875	B III t23	I b	深鉢	口帯：刺突・沈線、口：単軸結5，R縦→隆帯＋沈線／刺突	○	－	2	I 4
194	876	B III t23	I c	深鉢	口縁：刻目、口：沈線（半竹）	－	M	3	I 5
194	877	B III t23	I	深鉢	口：単軸結5，R縦	－	－	2	I 4
194	878	B III t23	II	深鉢	口帯：刻目、口：単軸結1，R縦	○	N	2	I 4
194	879	B III t23	I d	深鉢	口：刻目／LR横	－	N？	3	I
194	880	B III t23	II	深鉢	口：LR縦	－	N	4	I
194	881	B III t23	II	深鉢	口：LR縦	－	N	2	I
194	882	B III u22	I d-10cm	深鉢	口：沈線	－	N	2	I
194	883	B III u23	I d 20cm	深鉢	口～：沈線（半竹）（縦位）	○	－	3	I
194	884	B III u23	I d-20cm	深鉢	口：刻目、突：沈線（半竹）	－	M	3	I 5
194	885	B III u23	I d 20cm	深鉢	口：沈線	－	－	4	I 5
194	886	B III u23	I d-20cm	深鉢	口：沈線、刺突	－	－	2	I 5
194	887	B III u23	II a	深鉢	口：L縦		M	2	I
194	888	B III u24	I d 10cm	深鉢	口：沈線（半竹）	－	N	3	I

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
194	889	B Ⅲ u24	Ⅰ d-10cm	深鉢	□：隆帯・沈線	-	N	4	I 5
194	890	B Ⅲ u24	Ⅰ d-10cm	深鉢	⊓1：原体側圧LR、胴：LR斜横	○	N	3	II?
194	891	B Ⅲ u24	Ⅰ d 10cm No.03	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋圧痕、胴：結束1，LR・LR縦	−	M	3	I 5
194	892	B Ⅲ u24	Ⅰ d-10cm No.06	深鉢	□：隆帯（肥厚）	○	−	4	I
194	893	B Ⅲ u24	Ⅰ d-10cm No.03	深鉢	⊓：沈線（半竹）	−	−	4	I
194	894	B Ⅲ u25	Ⅰ d 20cm	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋刻目、LR横	−	N	4	I 5
194	895	B Ⅲ u25	Ⅰ d-20cm	深鉢	□：沈線	○	−	3	I
195	896	B Ⅲ u25	Ⅰ d-20cm	深鉢	⊓1：結束1，RL・RL縦	○	−	3	I
195	897	B Ⅲ w25	II	深鉢	□：隆帯／沈線／刻目	−	N	3	I 5
195	898	B Ⅲ w25	Ⅰ d-10cm	深鉢	□：？	-	N?	4	I
195	899	B Ⅳ u02	Ⅰ d-20cm	深鉢	⊓1帯：刻目、頸：隆帯＋刻目、胴：LR縦？	○	N	4	I 4
195	900	B Ⅳ u02	Ⅰ d 20cm	深鉢	□：沈線	−	N	3	I 5
195	901	B Ⅳ u02	Ⅰ d-20cm	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋沈線・圧痕、胴：LR縦		M	3	I 5
195	902	B Ⅳ u02	Ⅰ d-30cm	深鉢	⊓1：沈線	−	-	3	I
195	903	B Ⅳ u02	Ⅰ d-30cm	深鉢	□：隆帯＋刺突／沈線、頸：隆帯＋刺突	−	N	4	I 5
195	904	B Ⅳ u02	Ⅰ d-30cm	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋刺突／沈線	-	N	3	I 5
195	905	B Ⅳ u02	Ⅰ d-30cm	深鉢	⊓1：沈線	−	N	3	I 5
195	906	B Ⅳ u02	Ⅰ d 30cm	深鉢	胴：沈線（半竹）	−	N	3	I 5
195	907	B Ⅳ u02	Ⅰ d-30cm	深鉢	胴：RL縦→沈線（凹形）	−	−	3	I 4
195	908	B Ⅳ u02	Ⅰ d-30cm	深鉢	底：圧痕？輪積	−	M	3	I
195	909	B Ⅳ u02	Ⅰ d	深鉢	□：LR斜	-	N	2	I
195	910	B Ⅳ u02	Ⅰ d	深鉢	⊔：沈線（半竹）	−	N	4	I 5
195	911	B Ⅳ u02	Ⅰ d	深鉢	□：？縦、結節縦	○	N	4	I 4
195	912	B Ⅳ u02	Ⅰ d	深鉢	⊓帯：刻目、⊔：単軸結1，L縦→沈線	○	−	3	I
195	913	B Ⅳ u11	Ⅰ d-10cm	深鉢	□：単軸結1，R縦	−		4	I
195	914	B Ⅳ u11	Ⅰ d-10cm	深鉢	□：LR横？	○	−	2	I
195	915	B Ⅳ u11	Ⅰ d-10cm	深鉢	⊓帯：刻目、⊔：隆帯＋刺突	-	−	2	I
195	916	B Ⅳ u11	Ⅰ d 10cm	深鉢	□：隆帯、沈線	−	M	3	I 5
195	917	B Ⅳ v01	Ⅰ c	深鉢	⊓1：沈線／圧痕	○	−	3	I 5
196	918	B Ⅳ v01	Ⅰ d-20cm	深鉢	□：隆帯＋刻目、胴：LR横・結節横	○	N	4	I
196	919	B Ⅳ v01	Ⅰ d-20cm	深鉢	□帯：波状、⊏：沈線（縦位）	○	−	4	I
196	920	B Ⅳ v01	I	深鉢	⊔：RL斜横・結節横	-	N	4	I
196	921	B Ⅳ v01	I	深鉢	□：沈線	−	−	4	I 5
196	922	B Ⅳ v01	I	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋沈線／刺突、胴：単軸結1，R縦	−	M	2	I 5
196	923	B Ⅳ v01	I	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋沈線	-	−	3	I 5
196	924	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	□帯：波状、⊏：単軸結5，R縦	−	-	2	I 5
196	925	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	⊓1：RL横？→隆帯（波状）	−	N	2	I 5
196	926	B Ⅳ v02	Ⅰ d 10cm	深鉢	□：隆帯（肥厚）・沈線	−	−	2	I 5
196	927	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	□：隆帯（円状）	−	N	3	I 4
196	928	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	□：単軸結1，L縦	-	N	4	I
196	929	B Ⅳ v02	Ⅰ d 10cm	深鉢	□：隆帯／沈線（半竹）	−	N	2	I 5
196	930	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	胴：単軸結1，LR縦・沈線／隆帯	○	−	2	I 4
196	931	B Ⅳ v02	Ⅰ d 10cm	深鉢	□帯：圧痕、⊏：結束1，RL・LR縦	-	−	4	I 4
196	932	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	⊓帯：突起（波状）、⊏：単軸結1，縦	−	-	4	I 4
196	933	B Ⅳ v02	Ⅰ d 10cm	深鉢	□：RL横→隆帯	-	−	4	I 4
196	934	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	□帯：突起（波状）＋沈線	−	-	2	I 4
196	935	B Ⅳ v02	Ⅰ d-10cm	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋沈線	−	−	4	I 5
196	936	B Ⅳ v02	ベルトⅠ d-20cm	深鉢	□：単軸結1、R縦	○	-	2	I
196	937	B Ⅳ v02	ベルトⅠ d-20cm	深鉢	⊓～：沈線（半竹）	−	N	4	I 5
196	938	B Ⅳ v02	Ⅰ d-20cm	深鉢	□帯：刻目、⊔：刺突	○	−	3	I
196	939	B Ⅳ v02	ベルトⅠ d-20cm	深鉢	胴：沈線（半竹）	−	−	4	I
196	940	B Ⅳ v02	Ⅰ d-30cm	深鉢	□：隆帯		M	3	I 5
196	941	B Ⅳ v02	II a	深鉢	⊓帯：隆帯、⊓：圧痕／隆帯、胴：隆帯＋圧痕／沈線	−	N	4	I 5
197	942	B Ⅳ v02	II a	深鉢	□帯：刻目、胴：LR縦	−	−	4	I 5?
197	943	B Ⅳ v02	II a	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋刺突	−	−	4	I 5

図版No	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
197	944	B IV v03	I d-10cm	深鉢	□：隆帯	－	N	2	I 5
197	945	B IV v03	I d-10cm	深鉢	□：沈線（半竹）	－	M？	2	I 5
197	946	B IV v03	I d 20cm	深鉢	□唇：刻目、□：沈線（半竹）	－	M	2	I 5
197	947	B IV v03	I d-20cm	深鉢	□縁：刻目（頂部に）、□：単軸結５，R線	－	－	2	I 4
197	948	B IV v03	I d-20cm	深鉢	□唇：隆帯	－	N	4	I 5
197	949	B IV v03	I d 20cm	深鉢	□：隆帯（肥厚）＋圧痕／沈線、胴：LR斜	－	N	3	I 5
197	950	B IV v03	I d-20cm	深鉢	□：圧痕／原体側圧RL	－	N	2	I 5
197	951	B IV v03	I d-20cm	深鉢	□：RL横	○	N	2	I
197	952	B IV v03	I d 20cm	深鉢	□：LR横、結節R横	－	－	2	I
197	953	B IV v03	I -30cm	深鉢	□縁：貼瘤、□：沈線（半竹）、単軸結１，L斜？	－	M	2	I 5
197	954	B IV v03	I	深鉢	□唇：刻目、□：RL横	○	－	2	I
197	955	B IV v03	I d	深鉢	□唇：刻目、□：RL横	－	N	2	I
197	956	B IV v03	I	深鉢	□：突起（刺突）	○	N	3	I 4
197	957	B IV v03	I	深鉢	胴：沈線（半竹）／刺突	－	－	2	I 5
197	958	B IV v03	II a	深鉢	□：隆帯	－	N	2	I 5
197	959	B IV v03	I	深鉢	底：網代痕	－	N	2	I
197	960	B IV v03	II a	深鉢	底：網代痕？	－	N	2	I
197	961	B IV v03	II a	深鉢	□：沈線／原体側圧LR	－	N	3	I 5
197	962	B IV v03	II a	深鉢	□：LR横；結節R横	－	N	2	I
197	963	B IV v03	II a	深鉢	□：沈線（半竹）	－	N	3	I 5
198	964	B IV v04	I d-10cm	深鉢	□：沈線／刻目、胴：LR横？	－	N	3	I 5
198	965	B IV v04	I d-10cm	深鉢	□：沈線	－	M	3	I
198	966	B IV v04	I d 20cm	深鉢	□：原体側圧R／隆帯＋圧痕		N	3	I 5
198	967	B IV v04	I d-20cm	深鉢	胴：LR横→沈線（半竹）／貼瘤円文	－	N	3	I 5
198	968	B IV v04	I d-20cm	深鉢	□唇：突起、輪状痕	○	M	2	I 4
198	969	B IV v10	I d-10cm	深鉢	□：隆帯	－	M	3	I 5
198	970	B IV v10	I d-10cm	深鉢	□：沈線（円文）	－	－	4	I 5
198	971	B IV v10	I d 10cm	深鉢	□：無文帯、隆帯；隆帯＋刺突、胴：RL斜	－	N	2	I 4
198	972	B IV v10	I d-10cm	深鉢	□：沈線？	－	N	2	I
198	973	B IV v10	I d 10cm	深鉢	□：LR斜	－	N	3	I
198	974	B IV v10	I d-10cm	深鉢	□：隆帯（肥厚）、沈線	－	M	2	I 5
198	975	B IV v10	I d-10cm	深鉢	□：LR横、結節R横	－	N	2	I
198	976	B IV v10	I d 10cm	深鉢	□：沈線／刺突	－	N	2	I 5
198	977	B IV v10	I d-10cm	深鉢	□：LR横、RL横、輪積痕	○	－	2	I
198	978	B IV v10	I d-10cm	深鉢	□：隆帯／沈線	－	N	2	I 5
198	979	B IV v10	I d-10~20cmPotF	深鉢	□：隆帯、頸：沈線（半竹）、胴：LR横→沈線	－	M	3	I 5
198	980	B IV v10	I d-10~20cmPotL	深鉢	□唇：隆帯、□：R斜隆帯	－	N	3	I 4
198	981	B IV v10	I d-10~20cmPotJ	深鉢	□：隆帯／LR横→沈線（半竹）	－	N	4	I 5
199	982	B IV v10	I d-10~20cmPotF	深鉢	□：隆帯／LR横、沈線	－	－	3	I 5
199	983	B IV v10	I d-10~20cmPotE	深鉢	□：原体側圧LR、胴：LR横、頸：隆帯＋刻目	－	M	3	I
199	984	B IV v10	I d-10~20cmPotF	深鉢	□唇：波状、単軸結５，R縦	－	N	3	I 5
199	985	B IV v10	I d-10~20cmPotE	深鉢	□：隆帯、沈線	－	N	4	I 5
199	986	B IV v10	I d-20cm	深鉢	□：LR?	－	M	3	I
199	987	B IV v10	I d-20cm	深鉢	□：隆帯/胴：？	－	N	3	I
199	988	B IV v10	I d-20cm	深鉢	□：LR横／LRR（撚り戻し）横	－	－	4	I
199	989	B IV v10	I d-20cm	深鉢	□：隆帯／沈線（半竹）	－	N	3	I 5
199	990	B IV v10	I d-20cm	深鉢	□：沈線（波状）	－	M	3	I 5
199	991	B IV v10	I d 20cm	深鉢	底：LR	－	N	3	I
199	992	B IV v11	I d-10cm	深鉢	底：網代痕	－	－	3	I
199	993	B IV v11	I d 10cm	深鉢	□唇：圧痕	－	M	2	I 4
199	994	B IV w01	I d-10cm	深鉢	□：LR横／結節横、補修孔	－	－	2	I
199	995	B IV w01	I d-10cmPot16	深鉢	□：単軸結６？縦	－	N	3	I
199	996	B IV w01	I d 10cmPot14	深鉢	□唇：隆帯、□：RL横、結節横	－	－	2	I 4
199	997	B IV w01	I d-10cmPot17	深鉢	□：LR横・結節R横	－	－	2	I
199	998	B IV w01	I d-10cm	深鉢	□：沈線	－	－	2	I 5

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
199	999	B IV w01	I d-10cm	深鉢	口唇：隆帯、口：LR 縦	‐	‐	2	I
199	1000	B IV w01	I d-10cm:Pot18	深鉢	口：沈線（円文）、圧痕、LR 横→沈線、沈線（半竹）	‐	‐	3	I
200	1001	B IV w01	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1，R 縦→隆帯＋刻目	○	N	2	I 4
200	1002	B IV w01	I d-20cm:Pot49	深鉢	口：結節横	‐	M	2	I
200	1003	B IV w01	I d-20cm:Pot49	深鉢	口唇：突起、口：LR 横→隆帯	○	N	3	I 4
200	1004	B IV w01	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡1 A，L 3縦	‐	N	2	I
200	1005	B IV w01	I d-20cm	深鉢	口：隆帯＋刺突	‐	N	2	I
200	1006	B IV w01	I d-20cm:Pot47	深鉢	口唇：突起	‐	N	2	I
200	1007	B IV w02	I d-10cm:Pot05	深鉢	口：沈線（半竹）、頸：刺突、胴：LR 横→貼付（瘤）	‐	M	4	I 5
200	1008	B IV w02	I d-10cm	深鉢	口：刻目、頸：隆帯＋刻目／沈線	‐	N	4	I 5
200	1009	B IV w02	I d-10cm	深鉢	口唇：隆帯、口：RL 縦→沈線（山）	‐	‐	2	I 4
200	1010	B IV w02	I d-10cm	深鉢	口：RR?	‐	N	2	I
200	1011	B IV w02	I d-10cm:Pot10	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線	‐	M	3	I 5
200	1012	B IV w02	I d-10cm:Pot03	深鉢	口唇：隆帯（肥厚）、沈線（半竹）	‐	N	4	I 5
200	1013	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：輪積痕	‐	N	4	I 4
200	1014	B IV w02	I d-20cm	深鉢	胴：沈線（半竹）	‐	M	2	I 5
201	1015	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口唇：刻目、口：？	‐	N ?	3	I
201	1016	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡1 A，LR 縦	‐	‐	3	I
201	1017	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：隆帯／刻目／沈線　貼瘤	‐	‐	4	I 5
201	1018	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）、沈線	‐	N	3	I 5
201	1019	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：隆帯／沈線	‐	M	2	I 5
201	1020	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：沈線	‐	N ?	2	I 5
201	1021	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線・圧痕、頸：沈線	‐	‐	2	I 5
201	1022	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：刺突、頸：隆帯＋刻目	‐	N	2	I 5
201	1023	B IV w02	I d-20cm	深鉢	突起（環状）：刺突	‐	‐	4	I 4
201	1024	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口：原体側圧 L／沈線／刺突	‐	‐	3	I
201	1025	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口：隆帯／沈線	‐	M	2	I 5
201	1026	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口：LR 縦？異節？	‐	M	2	I
201	1027	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口：刺突、頸：隆帯＋刻目、沈線（半竹）	‐	N ?	2	I
201	1028	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口：沈線（半竹）	‐	N	2	I 5
201	1029	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線／圧痕	‐	N	2	I 5
201	1030	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口：隆帯、輪積痕	○	‐	4	I 4
201	1031	B IV w03	I d-10cm:Pot12	深鉢	口唇：隆帯（S字状）、胴：LR 縦→隆帯	‐	‐	3	I 4
201	1032	B IV w03	I d-10cm:Pot06	深鉢	口唇：刻目、口：LR 横？	○	‐	4	I 4
201	1033	B IV w03	I d-10cm	深鉢	沈線（半竹）、頸：隆帯／沈線	‐	M	2	I 5
201	1034	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口：隆帯	○	‐	4	I 4
202	1035	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇：隆帯、口：単軸絡 L 縦＋隆帯	‐	‐	2	I 4
202	1036	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋圧痕／沈線、胴：LR 縦	‐	‐	2	I 5
202	1037	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇：圧痕、口：結節 L 横	○	‐	2	I
202	1038	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口：RL 横、結節横→補修孔	‐	M	2	I
202	1039	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口：LR 横＋隆帯（梯子状）	‐	N	2	I
202	1040	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1，L 縦	‐	N	2	I
202	1041	B IV w03	I d-10cm	深鉢	突起（環状）：刺突	○	‐	2	I 4
202	1042	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口：隆帯→原体側圧 LR	○	‐	2	I 5
202	1043	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇：刺突、口：沈線	‐	M	4	I 5
202	1044	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇：刺突、口：単軸絡1，L 斜	‐	N	2	I 4
202	1045	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇：圧痕、口：沈線、RL 横	‐	‐	2	I
202	1046	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇：圧痕、口：隆帯＋圧痕	‐	‐	2	I
202	1047	B IV w03	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡5，L 縦、頸：隆帯＋圧痕	‐	‐	4	I 4
202	1048	B IV w03	I d-20cm:Pot43	深鉢	口：RL 横、結節横	○	‐	4	I
202	1049	B IV w03	I d-20cm	深鉢	口唇：圧痕、口：LR 横、結節横	○	N	2	I 4
202	1050	B IV w03	I	深鉢	口：単軸絡1，縦→隆帯＋刻目	○	N	4	I 4
202	1051	B IV w03	I d-30cm:Pot41	深鉢	口：LR 横	‐	‐	3	I
202	1052	B IV w03	I d-30cm	深鉢	口唇：圧痕、口：単軸絡1，R 縦	○	‐	4	I 4
202	1053	B IV w03	I d-30cm	深鉢	口〜：沈線（半竹）	‐	‐	4	I 5

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
202	1054	B IV w03	I d-30cm	深鉢	口縁：刺突、：：：単軸絡1，R縦	－	N	3	I 4
202	1055	B IV w03	I d-30cm	深鉢	LI：RL縦	－	N	2	I
202	1056	B IV w03	I d 30cm:Pot41	深鉢	底：木葉痕→M	○	－	3	I
202	1057	B IV w03	I e	深鉢	口縁：刻目、口：LR横	－	－	2	I
203	1058	B IV w04	I d-5cm	深鉢	LI胴：沈線（半竹）	－	N	2	I 5
203	1059	B IV w04	I d 10cm	深鉢	口（内）：隆帯	·	－	2	I 3
203	1060	B IV w04	I d-20cm	深鉢	口縁：刻目	－	－	2	I
203	1061	B IV w04	I d-20cm	深鉢	LI：RL斜	－	··	3	I
203	1062	B IV w04	I d 30cm	深鉢	口縁：刻目、口：隆帯＋刻目	·	－	2	I 4
203	1063	B IV w04	I d-30cm	深鉢	口：沈線（半竹）	－	N	2	I 5
203	1064	B IV w05	I d-10cm	深鉢	LI：結束1，RL・LR縦	－	N	3	I
203	1065	B IV w05	I d 10cm	深鉢	口：隆帯（円文）	·	N	4	I 5
203	1066	B IV w05	I d-20cm	深鉢	口縁：刻目、口：LR縦	○	N	3	I 4
203	1067	B IV w05	I d-20cm:Pot30	深鉢	口縁：隆帯＋刻目、口：単軸絡1，L縦	○	N	3	I 4
203	1068	B IV w05	I d 20cm	深鉢	口縁：隆帯、口：単軸絡3，L縦	－	N	2	I 4
203	1069	B IV w05	I d-20cm	深鉢	口縁：突起、LI：LR縦	－	·	4	I
203	1070	B IV w05	I d-20cm	深鉢	口縁：隆帯	－	－	3	I
203	1071	B IV w05	I d 20cm:Pot26	深鉢	口：L縦	－	N	4	I
203	1072	B IV w05	I d-20cm:Pot26	深鉢	胴：縄文→隆帯（波状）	－	·	3	I 3
203	1073	B IV w05	I d 30cm	深鉢	口：隆帯＋沈線、圧痕	－	N	4	I 6
203	1074	B IV w05	I	深鉢	口縁：突起＋刺突	－	－	4	I 5
203	1075	B IV w05	II d-30cm	深鉢	口縁：突起（潰状！刺突）、単軸絡1，L縦→隆帯＋刺突	－	N	4	I 4
203	1076	B IV w05	I d 30cm	深鉢	LI：隆帯／沈線	··	N	4	I 5
204	1077	B IV w06	I d-20cm	深鉢	口：円文	－	··	3	I
204	1078	B IV w06	I c	深鉢	口：単軸絡1，R縦	－	－	2	I
204	1079	B IV w06	I d 10cm	深鉢	口：沈線・上底、頸：沈線	·	－	4	I 5
204	1080	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋沈線	－	N	4	I 5
204	1081	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口：RL横／結節横	·	－	2	I
204	1082	B IV w06	I d 10cm:Pot70	深鉢	口：LR縦	－	－	4	I
204	1083	B IV w06	I d-10cm:Pot70	深鉢	LI：沈線・刺突	－	M	3	I 5
204	1084	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口：縄文→隆帯＋沈線	·	N	4	I 4
204	1085	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1A，R2横	－	·	2	I
204	1086	B IV w06	I d-20cm	深鉢	LI：RL横→隆帯＋刻目	－	－	2	I
204	1087	B IV w10	I d 10cm	深鉢	口：隆帯、頸：沈線（半竹）	－	－	4	I 5
204	1088	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口：隆帯、胴：LR縦	－	N	4	I 5
204	1089	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口～：S字状連続沈文、頸：隆帯＋刻目	－	N	3	I 2
204	1090	B IV w10	I d-10cm	深鉢	胴：LR横→沈線	－	N	3	I 5
204	1091	B IV w10	I d-10cm	深鉢	LI：隆帯、胴：LR縦	－	N	3	I 5
204	1092	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口縁：結瘤、頸：隆帯	－	－	2	I 3
204	1093	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口：圧痕／原体側圧LR、胴：LR縦	－	N	3	I
204	1094	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口：LR縦→隆帯＋刻目	·	N	4	I 4
204	1095	B IV w10	I d 20cm	深鉢	LI：隆帯（肥厚）／結瘤／沈線（半竹）	○	N	3	I 5
204	1096	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口縁：刻目（罰線）、胴：LR縦	○	N	3	I 5
205	1097	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口：沈線（半竹）、胴：LR縦　結節R縦	－	－	4	I 5
205	1098	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口：無文、頸：隆帯＋刻目	－	N	2	I 5
205	1099	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）＋結瘤	○	－	2	I 5
205	1100	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口：沈線	－	M	3	I 5
205	1101	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）＋刻目／圧痕、頸：沈線	－	N	4	I 5
205	1102	B IV w11	I d 10cm	深鉢	口縁：隆帯（肥厚）＋原体側圧LR	－	N？	3	II1？
205	1103	B IV w11	I d-10cm	深鉢	LI：押引沈線	○	－	4	I 5
205	1104	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口：LR縦＋隆帯＋爪目	－	－	4	I 4
205	1105	B IV w11	I d-10cm	深鉢	LI帯：隆帯（肥厚）＋結瘤	－	N	3	I 5
205	1106	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口縁：刻目、頸：単軸絡3，RR縦	·	M？	4	I 5
205	1107	B IV w11	I d 10cm	深鉢	口：隆帯	－	－	2	I 5
205	1108	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口縁：刻目、口：沈線（半竹）	－	·	2	I 5

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	文様（原体）の特徴	縄の付着	内面調整	胎土	分類
205	1109	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇：隆帯（肥厚）＋圧痕		－	4	I
205	1110	B IV w11	I d-10cm	深鉢	胴：RL横→沈線！貼瘤（ボタン）	－	N	4	I 5
205	1111	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口：LR縦	－	N？	2	I
205	1112	B IV w11	I d 20cm	深鉢	口唇：隆帯、口：隆帯	○	－	2	I 4
205	1113	B IV w11	I d-20cm	深鉢	口唇：圧痕、口：単軸絡１A，R２縦	－	…	4	I 4
205	1114	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇：隆帯（肥厚）＋圧痕、口：沈線（半竹）	○	－	3	I 5
205	1115	B IV w12	I d 10cm	深鉢	胴：LR縦・沈線（半竹）	○	－	3	I 5
205	1116	B IV w12	I d-10cm	深鉢	口：隆帯＋圧痕	－	N？	2	I
205	1117	B IV w12	I d-10cm	深鉢	底：上げ底	－	－	3	I
205	1118	B IV w12	I d	深鉢	胴：沈線（半竹）		－	3	I 5
205	1119	B IV x04	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡５，R縦	－	-	4	I 4
205	1120	B IV x04	I d-20cm	深鉢	胴：沈線（半竹）	－	M	2	I 5
206	1121	B IV x04	I d-20cm	深鉢	口：沈線（半竹）	－	N？	4	I
206	1122	B IV x04	I d-30cm:Pot59	深鉢	口：LR横＋隆帯	－	N？	3	I 4
206	1123	B IV x04	I d 30cm:Pot59	深鉢	口唇：隆帯、口：LR横	－	N？	2	I 4
206	1124	B IV x04	I d-30cm:Pot59	深鉢	口：RL横？結節縄文	○		2	I
206	1125	B IV x05	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡１，L縦	－	N？	2	I
206	1126	B IV x05	I d-10cm	深鉢	口：沈線	…	N	2	I 5
206	1127	B IV x05	I d-20cm:Pot25	深鉢	口唇：突起、口：単軸絡５，L縦	－	.	4	I 4
206	1128	B IV x05	I d 20cm	深鉢	口：単軸絡１A，L２縦→隆帯＋圧痕	－	N	4	I 4
206	1129	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡１A，L２縦→隆帯＋圧痕	－	N	4	I 4
206	1130	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇：波状、口：単軸絡５，R縦？	－	N	2	I 4
206	1131	B IV x05	I d 20cm	深鉢	口縁：オオバコ回転文？	…	－	4	I
206	1132	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇：圧痕、隆帯、胴：原体側圧LR、胴：LR斜横	－	N	3	I
206	1133	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇：圧痕、口：単軸絡，L縦	－	N	3	I 4
206	1134	B IV x05	I d 20cm	深鉢	口縁：RL、口：結束１RL、LR縦	…	M	3	I
206	1135	B IV x05	I d-20m	深鉢	口：結節R横？	－	－	2	I
206	1136	B IV x05	I d 20cm:Pot28	深鉢	口唇：圧痕、口：LR縦	－	－	3	I 4
206	1137	B IV x05	I d-30cm	深鉢	口唇：隆帯	－		3	I 4
207	1138	B IV x05	I d-30cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）＋刻目、胴：組紐？	－	－	3	I 4
207	1139	B IV x05	I d	深鉢	口唇：圧痕、口：単軸絡５，L縦	-	－	2	I 4
207	1140	B IV x06	I d-10cm:Pot38	深鉢	口：LR横、結節横	○	M	4	I
207	1141	B IV x06	ベルト I d-10cm	深鉢	口：圧痕／隆帯（肥厚）	－	N	3	I 5
207	1142	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡１，R縦	－	N	3	I
207	1143	B IV x06	I d 20cm:Pot37	深鉢	口：単軸絡５，R縦	－	－	2	I
207	1144	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口唇：隆帯（肥厚）、口：L横	－	N	2	I 4
207	1145	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口唇：突起、口：沈線	－	N	3	I 5
207	1146	B IV x06	I d 20cm:Pot40	深鉢	口唇：隆帯、突起、口：沈線	-	－	3	I 4
207	1147	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡１，L縦→隆帯＋刻突	○	N	3	I 4
207	1148	B IV x06	I d 20cm:Pot30	深鉢	口唇：刻目、口：LR横、結節横	○	－	2	I 5
207	1149	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口縁：圧痕	－	N	2	I 4
207	1150	B IV x06	I d 30cm	深鉢	口：隆帯、胴：隆帯、L縦	－	－	3	I 4
207	1151	B IV x06	I d-30cm	深鉢	口縁：圧痕、口：LR横	…	N	2	I 4
207	1152	B IV x06	I	深鉢	胴：RL縦→沈線（半竹）＋貼瘤	○	N	2	I 5
207	1153	B IV x06	I	深鉢	口：LR縦＋隆帯	－	－	2	I 4
207	1154	B IV x06	I	深鉢	口：隆帯（肥厚）、RL横、結節横	－	N	2	I
207	1155	B IV x06	I	深鉢	口：刻突・沈線	－	N	2	I 5
208	1156	B IV x07	I d-10cm:No.02	深鉢	口：刻突、胴：RL・LR縦	○	M	3	I 5
208	1157	B IV x07	I d 10cm	深鉢	口縁：波状、口：無文？	○	N？	4	I
208	1158	B IV x07	I d-10cm:No.04	深鉢	口：LR縦	－	N	3	I
208	1159	B IV x07	I d-10cm:No.01	深鉢	口：単軸絡１A，L２縦→隆帯：刻目	－	N	3	I 4
208	1160	B IV x07	I d-10cm:No.10	深鉢	口唇：刻突・沈線	…	N	2	I 5
208	1161	B IV x07	I d-10cm:No.08	深鉢	口：沈線	－	M	4	I 5
208	1162	B IV x07	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡１A，RL縦	-	M	2	I 4
208	1163	B IV x07	I d-20cm:No.03	深鉢	口唇：LR縦、口：LR縦	－	N？	2	I 4

図版No.	No.	出土地点	層　位	器　種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
208	1164	B IV x07	I d 20cm	深鉢	口唇：刺突、口：単軸絡1，L縦		N	2	I 4
208	1165	B IV x07	I d-20cm	深鉢	口唇：突起、口：単軸絡1 A，L 2縦	–	–	4	I 4
208	1166	B IV x07	I d-20cm:No.01	深鉢	口：LR横	–		4	I 4
208	1167	B IV x07	I d 20cm	深鉢	口：単軸絡5，L縦	–	N	4	I 4
208	1168	B IV x07	I	深鉢	口唇：刻目、口：単軸絡1，L縦	–	N	3	I 4
208	1169	B IV x07	I	深鉢	口：隆帯、沈線、頸：隆帯+原体側圧RL、胴：RL横+貼瘤	–	N	2	I 5
209	1170	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口唇：隆帯+沈線（突起）、口：単軸絡1 A，L 2縦、未補修孔	–	–	3	I 4
209	1171	B IV x08	I d-10cm:Pot51	深鉢	口唇：刻目、口：LR横、結節横	–	N	2	I 4
209	1172	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡5 R縦→沈線	–	N	3	I 4
209	1173	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口唇：突起／刺突、口：LR横	○	N	2	I 4
209	1174	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1，L縦→隆帯	–	N	2	I 4
209	1175	B IV x08	I d-20cm	深鉢	口：単軸絡？+刺突	–	–	3	I
209	1176	B IV x08	I d-20cm:Pot61	深鉢	口：単軸絡1，L縦		N	3	I
209	1177	B IV x08	I d-20cm	深鉢	口：隆帯	–	–	3	I 3
209	1178	B IV x08	I d-20cm	深鉢	口唇：突起、口：単軸絡1，縦？沈線	–	N	3	I 4
209	1179	B IV x08	I d-20cm:Pot61	深鉢	胴：RL横→沈線（半竹）+貼瘤	–	N	2	I 5
209	1180	B IV x08	I d-20cm:Pot61	深鉢	口：隆帯	–	–	2	I
209	1181	B IV x08	I d 20cm:Pot61	深鉢	口：沈線	–	N	2	I 5
209	1182	B IV x11	I d-10cm:Pot67	深鉢	口：隆帯+沈線、刺突	–	–	3	I 5
209	1183	B IV x11	I d-10cm:Pot67	深鉢	胴：LR横→刺突／沈線	–	N	3	I 5
209	1184	B IV x11	I d 10cm	深鉢	口：隆帯+刺突／沈線	–	N	3	I 5
209	1185	B IV x11	I d-10cm:Pot68	深鉢	口：沈線	–	–	3	I 5
209	1186	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口：原体側圧RL	–	N	3	I
209	1187	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口唇：刻目、口：沈線／刺突	–	M	3	I 5
209	1188	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口：沈線、隆帯+圧痕	–	–	4	I 5
209	1189	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口唇：刻目、口：LR横，結節横	–	–	2	I 5
209	1190	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口：隆帯+刺突	–	–	3	I 5
210	1191	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢	口：隆帯（肥厚）+沈線、胴：結束1，RL・LR縦	–	N	3	I 5
210	1192	B IV x11	I	深鉢	口：隆帯（肥厚）、口：沈線	–	N？	3	I 5
210	1193	B IV x11	I	深鉢	口：隆帯+圧痕／沈線	–	N？	3	I 5
210	1194	B IV x11	I	深鉢	口：刺突／沈線	–	M	3	I 5
210	1195	B IV x11	I	深鉢	口：刺突	–	N	3	I 5
210	1196	B IV x11	I	深鉢	口：沈線／隆帯、胴：LR縦	–	N？	3	I
210	1197	B IV x11	I	深鉢	口：単軸絡1，L縦	○	N	3	I
210	1198	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：突起／沈線	○	–	3	I 5
210	1199	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）／沈線	–	–	2	I 5
210	1200	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）／頸：刺突、沈線	–		3	I 5
210	1201	B IV x12	I d 10cm	深鉢	口：単軸絡5，R縦	–	N	2	I 4
210	1202	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）／沈線／刻目	–	N	3	I 5
210	1203	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：隆帯+刻目	–	N	2	I
210	1204	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：結節横？	–	–	2	I
210	1205	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口唇：刺突、口：隆帯+刺突	–	N	2	I
210	1206	B IV x12	I d 10cm	深鉢	口：沈線		–	2	I
210	1207	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1 A，L縦	–	–	3	I
210	1208	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡5，R横	–	N	2	I
210	1209	B IV x12	I d-10cm	深鉢	突起：LR縦	–	–	3	I 4？
210	1210	B IV x12	I d 10cm	深鉢	胴：RL横+隆帯	–	N	2	I 3
210	1211	B IV y08	I d-10cm	深鉢	口：波状、多軸絡？	–	M	3	I 4
210	1212	B IV y08	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1，R縦	–	N	4	I
210	1213	B IV y08	I d 10cm	深鉢	口唇：刺突、口：単軸絡1，L縦	–	N	3	I 4
210	1214	B IV y08	I d-10cm	深鉢	口：隆帯（肥厚）、口：単軸絡1 A，R縦	○	N	3	I
211	1215	B IV y08	I	深鉢	口：隆帯，RL縦、口：RL横		N？	3	I 4
211	1216	B IV y08	I	深鉢	底：単軸絡1，R	–	–	2	I
211	1217	B IV y08	I	深鉢	口：刺突		–	2	I
211	1218	B IV y08	II-10cm	深鉢	口唇：圧痕、口：単軸絡1，縦	–	N	4	I 4

図版No.	No.	出土地点	層　位	器　種	文様（原体）の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	分類
211	1219	B IV y08	II-10cm	深鉢	口唇：圧痕	－	－	2	I 4
211	1220	B IV y08	II（トレンチ）	深鉢	突起：側突	－	－	3	I
211	1221	B IV y10	I d-10cm	深鉢	口：LR縦、結節R縦	－	N？	4	I
211	1222	B IV y10	I d-10cm	深鉢	突起：単軸絡1，縦＋隆帯（山状）	－	－	4	I 4
211	1223	B IV y10	I d-10cm	深鉢	底：網代痕	－	N	3	I
211	1224	B IV y10	I d-10cm	深鉢	口：沈線（半竹）	○	N？	3	I 5
211	1225	B IV y10	I 下～II 10cm	深鉢	口：単軸絡5，縦	－	－	3	I 4
211	1226	B IV y10	II	深鉢	口：単軸絡1，R縦	－	N？	2	I
211	1227	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡5，R横？＋隆帯	－	N？	2	I 4
211	1228	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口唇：圧痕、口：結束1，RL縦	－	N	4	I 5
211	1229	B IV y11	I d-10cm	深鉢	胴：LR横→貼付隆帯＋沈線	－	N	3	I 4
211	1230	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口：L横、結節横	－	N	3	I
211	1231	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡5，R縦	－	N	2	I
211	1232	B IV y11	I d 10cm	深鉢	口縁：隆帯、二：単軸絡1，縦	○	－	2	I 4
211	1233	B IV y11	I	深鉢	口唇：刻目、頸：隆帯＋刻目	－	N	3	I 4
211	1234	B IV y11	I	深鉢	底：網代痕	－	－	2	I
211	1235	B IV y12	I	深鉢	口：隆帯＋圧痕	－	－	4	I 5
211	1236	B IV y12	I	深鉢	胴：LR横→＋隆帯＋沈線	－	－	3	I 4
211	1237	B IV y12	I d～II	深鉢	口縁：刻目、二：隆帯＋刻目、胴：単軸絡1，L斜	○	－	2	I 4
211	1238	B IV y12	II	深鉢	口唇：刻目、口：隆帯＋圧痕	－	－	4	I 5
212	1239	C IV a10	I	深鉢	口：単軸絡1 A，R縦→隆帯＋刻目	－	N	2	I 4
212	1240	C IV a10	I	深鉢	口：隆帯	－	M	4	I 5
212	1241	C IV a10	I	深鉢	口唇：刻目、胴：単軸絡1 R→隆帯＋圧痕	－	N	2	I 4
212	1242	C IV a10	I	深鉢	口唇：圧痕、胴：沈線	－	－	2	I 4
212	1243	C IV a10	I	深鉢	口唇：刺突、口：単軸絡5，R縦→沈線	○	N	2	I 4
212	1244	C IV a11	II	深鉢	口～：L横→隆帯	－	N	2	I 3
212	1245	C IV a12	I d～II：Pot65	深鉢	口唇：刻目、単軸絡1，R縦→隆帯＋圧痕	○	N	3	I 4
212	1246	C IV a12	I d～II：Pot64	深鉢	頸：単軸絡1，L縦＋隆帯	－	－	4	I 4
212	1247	C IV a12	I -10cm	深鉢	単軸絡5，L縦	－	N	2	I 4
212	1248	C IV v12	I b～c	深鉢	口：圧痕・短沈線、胴：LR横・縦	－	M	2	II?
212	1249	C IV d12	II	深鉢	口：LR横、沈線	－	M	2	III
212	1250	C IV g14	I d	深鉢	口：隆帯（思単）／刺突／沈線	－	N？	3	I 5
212	1251	C IV h15	I b	深鉢	口：隆帯（思単）＋刻目、沈線	－	M	2	I 5
212	1252	C IV h15	I b	深鉢	口：隆帯	－	N？	4	I 5

部位の名称、口唇：口唇部、口：口縁部、頸：頸部、胴：胴部、底：底部。

文様、原体側圧：原体側面圧痕、絡条体：絡条体圧痕。

単軸絡：単軸絡条体、多軸絡：多軸絡条体、半竹：半截竹管

結束１：結束第１種、結束２：結束第２種、結節：結節縄文。

煤の付着、○：内面に付着、●：外面に付着、◎内外面に付着。

内面調整、M：ミガキ、N：ナデ、－：なし。

胎土、１：緻密である。

２：細礫を含まず、砂粒を含む。

３：細礫・砂粒をわずかに含む。

４：細礫・砂粒を多量に含む。

第7表　石器観察表

（　）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
214	1301	RA01	東平埋土	石鏃	(3.3)	2.1	0.6	(2.12)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	I	W
214	1302	RA01pp4	埋土	石鏃	(2.8)	1.65	0.4	(1.53)	凹基無茎鏃	A	W
214	1303	RA02	西平埋土	石鏃	(2.3)	1.55	0.5	(1.12)	凹基無茎鏃	A	W
214	1304	RA02	東平埋土	石鏃	3.3	1.75	0.4	2.60	円基鏃	A	W
214	1305	RA02pp14	埋土	石鏃	(3.7)	1.75	0.85	(4.45)	平基無茎鏃	A	W
214	1306	RA03	東平埋土	石鏃	2.8	1.5	0.4	1.17	基部欠損	I	W
214	1307	RA03pp4	埋土	石鏃	2.6	2.1	0.65	3.01	凹基無茎鏃	I	W
214	1308	RA04	南東埋土	石鏃	3.5	1.85	0.45	2.12	凹基無茎鏃	A	W
214	1309	RA04	南東埋土	石鏃	3.0	1.6	0.4	1.41	凹基無茎鏃	A	W
214	1310	RA04	南東埋土	石鏃	3.25	2.1	0.45	2.18	凹基無茎鏃	A	W
214	1311	RA04	南東埋土	石鏃	3.9	2.0	0.5	2.18	凹基無茎鏃	A	W
214	1312	RA04	南東埋土	石鏃	(2.8)	1.7	0.45	(1.91)	凹基無茎鏃	A	W
214	1313	RA04	南西埋土	石鏃	2.9	2.15	0.4	1.95	凹基無茎鏃	D	W
214	1314	RA04	南西埋土	石鏃	(2.5)	1.6	0.5	(1.69)	凹基無茎鏃　尖頭部、基部欠損	A	W
214	1315	RA04	埋土南壁際	石鏃	3.9	1.55	0.5	2.54	凹基無茎鏃	A	W
214	1316	RA04	埋土南壁際	石鏃	(3.0)	1.5	0.5	(1.52)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
214	1317	RA04 南北ベルト	埋土2	石鏃	2.3	1.5	0.35	1.00	凹基無茎鏃	A	W
214	1318	RA04 東西ベルト	埋土4	石鏃	3.1	1.7	0.45	2.37	凹基無茎鏃	A	W
214	1319	RA04pp4	東平埋土	石鏃	3.45	1.7	0.6	2.47	凹基無茎鏃	A	W
214	1320	RA05 南北ベルト	埋土1	石鏃	3.9	2.25	0.5	2.94	凹基無茎鏃	A	W
214	1321	RA05	西側埋土	石鏃	4.2	1.8	0.6	3.02	凹基無茎鏃	A	W
214	1322	RA05	埋土	石鏃	(2.3)	1.7	0.5	(1.19)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
214	1323	RA05	床直	石鏃	3.9	1.9	0.55	2.75	凹基無茎鏃	A	W
214	1324	RA05	床直	石鏃	3.15	2.8	0.6	2.32	凹基無茎鏃	A	W
214	1325	RA05	貼床除去後	石鏃	(2.5)	1.7	0.75	(1.98)	凹基無茎鏃　欠損	I	W
214	1326	RA05	貼床除去後	石鏃	(4.0)	1.65	0.5	(2.96)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
214	1327	RA05pp3	埋土	石鏃	3.1	2.8	0.6	1.88	凹基無茎鏃	A	W
214	1328	RA05pp8	埋土	石鏃	(3.2)	1.75	0.6	(2.85)	平基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
214	1329	RA05pp23	埋土	石鏃	4.45	1.8	0.5	2.77	凹基無茎鏃	A	W
214	1330	RA06	東平埋土	石鏃	(2.8)	1.75	0.6	(2.04)	凹基無茎鏃　基部欠損	A	W
215	1331	RA06	東平埋土	石鏃	(2.7)	2.1	0.6	(3.17)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
215	1332	RA06	東側埋土	石鏃	(2.4)	1.6	0.45	(1.38)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
215	1333	RA06	東側埋土	石鏃	3.9	1.7	0.4	1.65	凹基無茎鏃	A	W
215	1334	RA06	東平埋土	石鏃	2.7	1.9	0.5	1.77	円基鏃	A	W
215	1335	RA06	西平埋土	石鏃	2.65	1.5	0.4	1.21	凹基無茎鏃	A	W
215	1336	RA06	西平埋土	石鏃	2.5	1.5	0.3	0.94	凹基無茎鏃	A	W
215	1337	RA07	南西埋土	石鏃	(3.0)	1.4	0.3	(0.99)	凹基無茎鏃　基部欠損	A	W
215	1338	RA07	南西埋土	石鏃	2.8	1.9	0.4	1.33	凹基無茎鏃	A	W
215	1339	RA07	西埋土	石鏃	3.6	1.2	0.5	1.35	凹基無茎鏃	A	W
215	1340	RA07	南西埋土上位	石鏃	(1.9)	1.25	0.3	(0.71)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
215	1341	RA07	南西埋土	石鏃	3.15	1.1	0.4	1.21	円基鏃	A	W
215	1342	RA07 南北ベルト	埋土1	石鏃	(2.9)	(1.1)	0.45	(1.49)	凹基無茎鏃　尖頭部、基部欠損	A	W
215	1343	RA07	南西埋土上位	石鏃	3.2	1.7	0.4	1.69	凹基無茎鏃	A	W
215	1344	RA07	南西埋土上位	石鏃	2.7	1.7	0.5	1.13	凹基無茎鏃	I	W
215	1345	RA07	南西埋土上位	石鏃	(2.3)	1.35	0.6	(1.08)	7.基部、尖頭部欠損	A	W
215	1346	RA07	南西埋土上位	石鏃	3.7	1.4	0.65	1.19	凹基無茎鏃	A	W
215	1347	RA07	南西埋土上位	石鏃	(3.1)	1.3	0.4	(1.08)	凹基無茎鏃	I	W
215	1348	RA07	南西埋土上位	石鏃	3.8	2.45	0.6	4.42	凹基無茎鏃	A	W
215	1349	RA07	南西埋土上位	石鏃	(3.5)	1.6	0.7	(2.22)	凹基無茎鏃　基部欠損	A	W
215	1350	RA07	北東埋土上位	石鏃	3.7	1.7	0.5	2.83	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
215	1351	RA07	北東埋土上位	石鏃	(4.1)	1.45	20.6	(2.76)	凹基無茎鏃　基部欠損	B	W
215	1352	RA07	北東埋土上位	石鏃	3.9	2.1	0.7	3.59	凹基無茎鏃　基部欠損	A	W
215	1353	RA07	北東埋土下位	石鏃	(3.45)	1.5	0.5	(1.76)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
215	1354	RA07	南東埋土下位	石鏃	(2.9)	1.6	0.4	(1.94)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W

( ) は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	位置	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
215	1355	RA07	南東埋土下位	石鏃	1.85	1.45	0.4	0.85	平基無茎鏃	A	W
215	1356	RA07	北東埋土下位	石鏃	(2.6)	(1.5)	0.5	(0.98)	凹基無茎鏃 尖頭部、基部欠損	I	W
215	1357	RA07	北東埋土下位	石鏃	(3.75)	(1.9)	0.4	(2.02)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
215	1358	RA07	北東埋土下位	石鏃	(3.4)	2.9	0.45	(1.81)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
215	1359	RA07	西壁埋土	石鏃	2.8	1.4	0.4	1.10	凹基無茎鏃	A	W
215	1360	RA07	北西埋土下位	石鏃	3.3	1.8	0.4	1.66	凹基無茎鏃	A	W
216	1361	RA07	埋土下位～床直	石鏃	(2.3)	(1.2)	(0.4)	(0.72)	平基無茎鏃 尖頭部、基部欠損	A	W
216	1362	RA07	埋土 No.2	石鏃	3.1	1.8	0.45	2.18	凹基無茎鏃	A	W
216	1363	RA07	周溝南側埋土	石鏃	3.55	(1.6)	0.7	2.2	凹基無茎鏃	A	W
216	1364	RA07pp8	南半埋土	石鏃	(4.5)	1.75	0.6	(4.19)	凹基無茎鏃 尖端部欠損	A	W
216	1365	RA08 東西ベルト	埋土 1	石鏃	(2.3)	1.3	0.3	(0.74)	? 基部欠損	A	W
216	1366	RA08 東西ベルト	埋土 1	石鏃	2.45	1.5	0.3	0.66	凹基無茎鏃	A	W
216	1367	RA08	南西埋土上位	石鏃	3.65	1.8	0.6	2.55	凹基無茎鏃	A	W
216	1368	RA08	北東埋土	石鏃	3.0	1.7	0.5	1.97	凹基無茎鏃	A	W
216	1369	RA08	北東埋土	石鏃	(2.25)	1.65	0.35	(1.23)	平基無茎鏃 尖頭部、基部欠損	A	W
216	1370	RA08	北西埋土	石鏃	(3.0)	2.1	0.7	(3.96)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
216	1371	RA08	南東埋土	石鏃	3.55	1.6	0.7	2.80	凹基無茎鏃	A	W
216	1372	RA08	南東埋土	石鏃	(2.65)	(8.6)	0.6	(1.52)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	I	W
216	1373	RA08	南半埋土	石鏃	3.4	1.9	0.5	2.47	凹基鏃	A	W
216	1374	RA08	南西埋土上位	石鏃	(2.4)	1.8	0.45	(1.85)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
216	1375	RA08	南西埋土下位	石鏃	3.6	1.45	0.4	1.71	凹基無茎鏃	A	W
216	1376	RA08	南西埋土下位	石鏃	2.7	0.5	0.65	1.33	凹基無茎鏃	A	W
216	1377	RA08	南西埋土下位	石鏃	3.8	1.6	0.5	2.12	凹基無茎鏃	A	W
216	1378	RA08	床直上	石鏃	(3.2)	1.8	0.7	(3.77)	凹基無茎鏃 尖前部欠損	A	W
216	1379	RA08pp10	南半埋土	石鏃	3.45	1.7	0.5	1.80	凹基無茎鏃	I	W
216	1380	RA09	南半埋土上位	石鏃	(3.0)	1.6	0.4	(1.63)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
216	1381	RA09	南半埋土上位	石鏃	3.4	1.8	0.6	2.55	凹基無茎鏃	A	W
216	1382	RA09	南半埋土	石鏃	(3.3)	1.8	0.7	(2.52)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
216	1383	RA09	南半埋土上位	石鏃	(3.8)	2.1	0.3	(2.39)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
216	1384	RA09	南半埋土下位	石鏃	3.3	1.45	0.5	2.16	平基無茎鏃	A	W
216	1385	RA09	南半埋土	石鏃	3.2	1.7	0.4	1.31	凹基無茎鏃	A	W
216	1386	RA09	南半埋土	石鏃	(2.5)	1.2	0.3	(0.64)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
216	1387	RA09	南半埋土	石鏃	3.65	1.7	0.7	2.97	凹基無茎鏃	A	W
216	1388	RA09	南半埋土	石鏃	(3.6)	1.5	0.6	(2.38)	凹基無茎鏃 尖端部欠損	A	W
216	1389	RA09	南半埋土	石鏃	(3.45)	2.9	0.4	(2.19)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
216	1390	RA09 南西端	埋土	石鏃	(3.9)	1.9	0.5	(1.83)	?	I	W
217	1391	RA09	埋土	石鏃	(3.3)	(1.5)	0.45	(1.88)	凹基無茎鏃	A	W
217	1392	RA09	東西ベルト南側トレンチ	石鏃	(3.0)	1.95	0.85	(2.35)	凹基無茎鏃	I	W
217	1393	RA09	床直	石鏃	3.4	1.65	0.4	1.46	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
217	1394	RA09 南側周溝	埋土	石鏃	2.15	1.5	0.5	1.24	凹基無茎鏃	L ?	W
217	1395	RA10 南北ベルト	埋土1	石鏃	(3.8)	1.6	0.5	(2.29)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
217	1396	RA10	南東埋土	石鏃	(2.2)	1.2	(0.35)	(0.71)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
217	1397	RA10	埋土	石鏃	(2.6)	1.75	0.7	(1.61)	凹基無茎鏃 基部欠損	I	O
217	1398	RA10pp1	埋土	石鏃	2.3	1.4	0.5	0.91	凹基無茎鏃	A	W
217	1399	RA11	南半埋土中位	石鏃	(4.2)	1.75	0.4	(2.28)	凹基無茎鏃	I	O
217	1400	RA11	南半埋土	石鏃	3.1	2.2	0.5	1.96	凹基無茎鏃	A	W
217	1401	RA12	西半埋土	石鏃	(3.2)	1.55	0.5	(1.55)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	O
217	1402	RA12	北半埋土下位	石鏃	(2.7)	(2.0)	0.5	(2.37)	平基無茎鏃 尖前部、基部欠損	A	W
217	1403	RA13	ベルト A-A' 1	石鏃	(2.3)	1.5	0.35	(0.8)	凹基無茎鏃	A	W
217	1404	RA13 ベルト B-B'	埋土 2	石鏃	2.8	1.7	0.6	1.94	凹基無茎鏃	A	W
217	1405	RA13	南東埋土	石鏃	2.05	1.7	0.5	1.24	凹基無茎鏃	A	W
217	1406	RA13	南東埋土	石鏃	(1.85)	0.6	0.5	(1.46)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
217	1407	RA13	南東埋土	石鏃	2.6	1.85	0.3	1.08	凹基無茎鏃	A	W
217	1408	RA13	北西埋土	石鏃	3.2	1.8	0.5	1.8	凹基無茎鏃	A	W
217	1409	RA13	北西埋土	石鏃	2.6	1.5	0.35	1.3	凹基無茎鏃	A	W

（　）は残存値

同版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
217	1410	RA13	北西埋土	石鏃	2.8	1.45	0.5	1.35	凹基無茎鏃	A	W
217	1411	RA13	北西埋土	石鏃	3.7	1.9	0.6	2.8	凹茎無茎鏃	A	W
217	1412	RA13	北西埋土	石鏃	(3.1)	(2.1)	0.5	(2.33)	凹基鏃　尖頭部欠損	A	W
217	1413	RA13	北西埋土	石鏃	(2.9)	2.0	0.4	(1.75)	尖基鏃	I	W
217	1414	RA13pp2	埋土	石鏃	2.8	1.5	0.5	2.23	凹茎無茎鏃	A	W
217	1415	RA14	南東埋土上位	石鏃	2.6	1.6	0.55	1.13	凹基無茎鏃	A	W
217	1416	RA14	南東埋土上位	石鏃	2.7	1.7	0.55	2.23	平基無茎鏃	A	W
217	1417	RA14	北西埋土上位	石鏃	(2.8)	0.4	0.35	(1.27)	平基無茎鏃　尖端部欠損	A	W
217	1418	RA14	南東埋土上位	石鏃	3.35	1.45	0.4	1.9	平基無茎鏃	A	W
217	1419	RA14	南西埋土	石鏃	2.35	1.3	0.3	0.71	凹茎無茎鏃	A	W
217	1420	RA15	南半埋土	石鏃	3.0	1.6	0.45	1.75	凹基無茎鏃	A	W
218	1421	RA15	北半埋土	石鏃	1.9	1.8	0.4	0.84	凹基無茎鏃	A	W
218	1422	RA15 埋土ベルト	埋土 2	石鏃	2.5	1.55	0.3	0.88	凹茎無茎鏃	A	W
218	1423	RA15 埋土ベルト	埋土 2	石鏃	(2.7)	(1.4)	(0.65)	(1.95)	？尖頭部、基部欠損	A	W
218	1424	RA16	埋土上位	石鏃	(3.8)	2.3	0.5	(3.23)	？尖頭部欠損	A	W
218	1425	RA16	埋土下位	石鏃	(3.5)	1.65	0.45	(2.21)	凹茎無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
218	1426	RA18	北半埋土	石鏃	2.5	1.5	0.5	1.21	凹基無茎鏃	A	W
218	1427	RA19	北西埋土上位	石鏃	3.1	1.8	0.5	1.72	凹茎無茎鏃	A	W
218	1428	RA19	北西埋土上位	石鏃	(3.5)	1.6	0.5	(1.97)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
218	1429	RA19	北西埋土	石鏃	2.4	1.5	0.3	0.96	凹基無茎鏃	A	W
218	1430	RA19	北西埋土	石鏃	3.4	2.9	0.5	2.71	凹茎無茎鏃	A	W
218	1431	RA19pp5	埋土	石鏃	4.0	1.85	0.8	2.74	凹基無茎鏃	I	O
218	1432	RA21	埋土	石鏃	4.55	1.9	0.6	3.35	凹基無茎鏃	A	W
218	1433	RA21	埋土	石鏃	2.6	1.95	0.7	2.90	凹茎無茎鏃	A	W
218	1434	RA23 東西ベルト	埋土 1	石鏃	(3.0)	1.6	0.4	(1.56)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
218	1435	RA23 東西ベルト	埋土 1	石鏃	4.7	1.7	0.6	3.89	凹基無茎鏃	A	W
218	1436	RA23 ベルト	埋土	石鏃	3.5	2.3	0.5	3.00	凹基無茎鏃	A	W
218	1437	RA23	埋土	石鏃	(3.5)	1.8	0.6	(2.97)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
218	1438	RA23	埋土	石鏃	(3.7)	2.0	0.6	(2.38)	凹基無茎鏃	A	W
218	1439	RA23	埋土	石鏃	3.1	1.9	0.6	2.23	凹基無茎鏃	A	W
218	1440	RA23	埋土	石鏃	(2.6)	1.6	0.5	(1.76)	凹茎無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
218	1441	RA23	埋土	石鏃	(2.1)	1.7	0.4	(1.00)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
218	1442	RA23	埋土	石鏃	(3.1)	1.6	0.4	(1.25)	凹基無茎鏃　茎部欠損	A	W
218	1443	RA23	埋土	石鏃	2.65	1.4	0.45	1.18	凹基無茎鏃	A	W
218	1444	RA23	埋土	石鏃	3.3	1.7	0.4	1.80	凹基無茎鏃	A	W
218	1445	RA23	埋土	石鏃	(2.7)	(1.45)	0.3	(1.15)	凹茎無茎鏃　先端部、基部欠損	A	W
218	1446	RA23	埋土	石鏃	2.9	1.5	0.4	1.08	凹基無茎鏃	A	W
218	1447	RA23	埋土	石鏃	(3.1)	1.9	0.5	(1.88)	凹基無茎鏃	I	O
218	1448	RA23	埋土	石鏃	(2.9)	1.7	0.7	(1.52)	凹基無茎鏃　基部欠損	I	O
218	1449	RA23	埋土	石鏃	3.7	1.5	0.5	2.40	凹基無茎鏃	A	W
218	1450	RA23	埋土	石鏃	4.8	2.0	0.7	4.59	凹基無茎鏃	A	W
219	1451	RA23	埋土	石鏃	3.1	1.6	0.4	1.84	凹基無茎鏃	A	W
219	1452	RA23	埋土	石鏃	2.35	1.55	0.4	1.20	凹基無茎鏃	A	W
219	1453	RA23	埋土	石鏃	(2.7)	1.55	0.3	(1.04)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
219	1454	RA23 ベルト	埋土	石鏃	(1.9)	1.6	0.4	(0.87)	凹茎無茎鏃　基部欠損	A	W
219	1455	RA23	埋土	石鏃	4.2	1.85	0.6	3.85	凹基鏃	A	W
219	1456	RA23 ベルト	埋土	石鏃	3.8	1.5	0.7	3.00	凹茎鏃	A	W
219	1457	RA23 ボ2	撹土	石鏃	3.2	1.75	0.7	3.25	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
219	1458	RA23	埋土撹土 1	石鏃	(2.9)	1.6	0.5	(1.09)	凹茎無茎鏃	I	W
219	1459	RA24	埋土 1	石鏃	(3.1)	2.0	0.4	(2.18)	凹基無茎鏃	A	W
219	1460	RA24	埋土 1	石鏃	3.7	1.7	0.6	1.93	凹茎無茎鏃	A	W
219	1461	RA24	埋土	石鏃	(3.5)	1.8	0.7	(2.90)	凹基無茎鏃	A	W
219	1462	RA24	埋土 1	石鏃	(2.7)	1.7	0.5	(1.87)	平基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
219	1463	RA24	埋土 1	石鏃	2.4	1.5	0.4	1.16	凹基無茎鏃	A	W
219	1464	RA27pp4	埋土	石鏃	4.0	2.1	0.5	3.29	凹基無茎鏃	A	W

（　）は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
219	1465	RA27pp4	埋土	石鏃	4.0	2.2	0.6	3.59	凹基無茎鏃	A	W
219	1466	RA27pp4	埋土	石鏃	3.8	2.1	0.4	2.09	凹基無茎鏃	A	W
219	1467	RA27pp4	埋土	石鏃	3.5	1.7	0.6	2.57	尖基鏃	A	W
219	1468	RD02	南半埋土上位	石鏃	2.6	1.25	0.5	1.31	凹基無茎鏃	A	W
219	1469	RD02	南半埋土上位 20cm	石鏃	(3.0)	1.6	0.4	(1.49)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
219	1470	RD04	埋土	石鏃	(3.4)	(1.7)	0.7	(3.77)	凹基無茎鏃　尖頭部、基部欠損	A	W
219	1471	RD04	北半埋土2	石鏃	3.0	1.8	0.5	2.78	凹基無茎鏃	A	W
219	1472	RD05	南半埋土	石鏃	3.35	1.6	0.5	1.91	凹基無茎鏃	I	O
219	1473	RD05	埋土	石鏃	(3.6)	1.9	0.4	(2.44)	凹基無茎鏃	A	W
219	1474	RD06	北半埋土下位	石鏃	(2.7)	1.8	0.3	(1.49)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
219	1475	RD08	南西埋土上位	石鏃	4.05	1.9	0.6	2.93	凹基無茎鏃	A	W
219	1476	RD08	南西埋土上位	石鏃	(2.9)	1.65	0.6	(1.85)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
219	1477	RD09	南半埋土	石鏃	(2.5)	2.0	0.5	(1.78)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
219	1478	RD09	南半埋土	石鏃	2.2	(1.7)	0.3	1.13	凹基無茎鏃　基部欠損	A	W
219	1479	RD10	西半埋土上位	石鏃	3.0	1.6	0.35	1.13	凹基無茎鏃	A	W
219	1480	RD10	西半埋土下位	石鏃	3.0	2.7	0.4	1.37	凹基無茎鏃	A	W
220	1481	RD12	北半埋土2	石鏃	(3.1)	1.95	0.6	(2.80)	凹基無茎鏃	A	W
220	1482	RD13	西半埋土	石鏃	(2.8)	1.65	0.5	(1.65)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
220	1483	RD15	北半埋土	石鏃	(15.0)	1.9	0.7	(4.27)	凹基無茎鏃　尖端部欠損	A	W
220	1484	RD16	南半埋土	石鏃	4.3	1.25	0.8	3.17	尖基鏃	A	W
220	1485	RD17	南半埋土	石鏃	(3.8)	1.7	0.55	(2.92)	凹基無茎鏃	A	W
220	1486	RD17	南半埋土	石鏃	5.3	2.2	0.6	3.93	凹基無茎鏃	A	W
220	1487	RD18	北半埋土	石鏃	(2.7)	1.4	0.5	(1.53)	凹基無茎鏃　基部欠損	A	W
220	1488	RD30	南半埋土	石鏃	2.9	1.9	0.4	1.91	凹基無茎鏃	A	W
220	1489	RD34	南半埋土	石鏃	(3.1)	1.75	0.5	(1.88)	凹基無茎鏃　茎部欠損	A	W
220	1490	RD35	南半埋土	石鏃	(3.0)	2.3	0.7	(1.53)	凹基無茎鏃　尖端部欠損	I	O
220	1491	RD35	北半埋土	石鏃	(3.2)	1.6	0.5	(1.49)	凹基無茎鏃　基部欠損	A	W
220	1492	RD37	南半埋土	石鏃	3.7	2.15	0.7	3.30	凹基無茎鏃	A	W
220	1493	RD37	北半埋土	石鏃	3.4	1.55	0.5	1.94	平基無茎鏃	A	W
220	1494	RD39	北半埋土	石鏃	(4.3)	2.2	0.5	(3.99)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
220	1495	RD42	南半埋土	石鏃	(2.3)	(1.8)	0.4	(1.32)	凹基無茎鏃　尖頭部、基部欠損	A	W
220	1496	RD42	南半埋土	石鏃	3.4	1.5	0.5	1.52	凹基無茎鏃	A	W
220	1497	RD42	南半埋土	石鏃	(3.3)	(1.8)	0.55	(2.52)	凹基無茎鏃　尖端部欠損	A	W
220	1498	RD42	南半埋土	石鏃	2.0	1.65	0.75	2.13	凹基無茎鏃	A	W
220	1499	RD51	南半埋土1	石鏃	(3.8)	(1.5)	0.5	(2.63)	凹基無茎鏃　尖端部欠損	A	W
220	1500	RD51	北半埋土2	石鏃	(1.6)	1.7	0.3	(0.61)	？尖頭部、基部欠損	A	W
220	1501	RF04	横土上位	石鏃	(1.95)	1.3	0.4	(0.59)	凹基無茎鏃　茎部欠損	A	W
220	1502	B IV v03	I d-20cm	石鏃	(3.05)	1.55	0.65	(2.89)	凹基無茎鏃　尖端部欠損	A	W
220	1503	B IV w02	I d-10cm	石鏃	(3.8)	1.8	0.6	(3.24)	凹基無茎鏃　尖頭部欠損	A	W
220	1504	B IV x07	I d-10cm	石鏃	3.6	1.6	0.45	1.92	凹基無茎鏃	A	W
220	1505	B IV x07	I d-10cm	石鏃	(4.2)	(1.7)	0.6	(2.59)	凹基無茎鏃　基部欠損	B	W
220	1506	H IV x07	I d-10cm	石鏃	2.55	1.6	0.5	1.73	凹基無茎鏃	J	W
220	1507	RA13	南西埋土	尖頭状石器	4.0	2.4	0.9	7.30		A	W
220	1508	RA14ベルトB-B'	埋土1	尖頭状石器	(3.0)	2.1	0.6	(1.88)		I	O
220	1509	RA23	埋土	尖頭状石器	3.3	2.7	0.6	4.69		A	W
221	1510	RA26	炉東半部焼土中	尖頭状石器	3.4	2.0	0.8	5.39		A	W
221	1511	RA05	貼床除去後	尖頭器	(4.3)	1.3	0.5	(2.48)		A	W
221	1512	RA15	北半埋土	尖頭器	(8.9)	1.7	0.9	(11.65)		A	W
221	1513	RA08pp9	北半埋土	尖頭器	(5.6)	2.3	1.1	(15.16)		A	W
221	1514	B IV w10	I d-10cm	尖頭器	20.8	3.4	1.5	97.64		A	W
221	1515	RA06	東半埋土	石錐	4.5	1.6	0.8	5.02		A	W
221	1516	RA09	南半埋土	石錐	7.9	2.3	1.0	11.72		A	W
221	1517	RA10	埋土	石錐	5.35	1.8	1.2	5.12		A	W
221	1518	RA13	埋土	石錐	4.8	3.5	1.5	12.30		A	W
221	1519	RA13	埋土	石錐	6.0	1.45	0.5	3.75		A	W

( ) は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	層位	部位	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
221	1520	RA18	東西ベルト1	石錐	5.9	3.8	0.8	10.33		D	OK
221	1521	RA24	埋土1	石錐	(3.3)	2.0	0.65	(4.27)		B	W
221	1522	RA24	埋土1	石錐	2.5	1.0	0.4	1.02		A	W
221	1523	RF04	焼土上位	石錐	(2.5)	0.8	0.6	(1.09)		A	W
222	1524	RA04	南東埋土　埋土	石匙	5.8	(3.1)	1.2	18.42	縦型	B	W
222	1525	RA04	南東埋土　埋土	石匙	5.8	2.9	0.85	11.45	縦型	A	W
222	1526	RA04	南西埋土	石匙	6.2	3.3	7.6	16.10	縦型	A	W
222	1527	RA04	焼土上位	石匙	4.6	6.1	1.0	17.65	横型	A	W
222	1528	RA04	南西埋土	石匙	4.2	6	1.2	22.03	横型	A	W
222	1529	RA04 Pot03	埋土	石匙	5.8	3.7	1.0	20.63	縦型	A	W
222	1530	RA05	南側埋土	石匙	7.7	4.3	1.0	22.75	縦型	A	W
222	1531	RA05	南側埋土	石匙	6.1	2.5	0.5	8.14	縦型	A	W
222	1532	RA05	埋土N0.3	石匙	10.0	4.3	1.55	43.66	縦型	A	W
222	1533	RA05	埋土N0.4	石匙	4.8	4.8	0.6	12.7	横型	A	W
222	1534	RA05	周溝埋土	石匙	7.8	1.8	0.8	8.82	縦型	A	W
223	1535	RA05pp3	埋土	石匙	4.3	6.4	0.5	12.3	横型	A	W
223	1536	RA06	西半埋土	石匙	3.0	4.8	0.8	8.93	横型	A	W
223	1537	RA06	東側埋土	石匙	4.5	7.4	1.1	28.39	横型	A	W
223	1538	RA07 南北ベルト	埋土1	石匙	6.1	3.2	1.2	11.12	縦型	A	W
223	1539	RA07 南北ベルト	埋土1	石匙	8.8	2.7	1.5	34.74	縦型	A	W
223	1540	RA07	北西埋土上位	石匙	4.8	2.0	0.7	4.89	縦型	A	W
223	1541	RA07	埋土No.07	石匙	6.9	2.4	0.9	10.58	縦型	A	W
223	1542	RA07	北東埋土下位	石匙	4.7	3.8	0.8	8.63	縦型	A	W
223	1543	RA07	北東埋土下位	石匙	9.0	2.4	1.2	24.02	縦型	A	W
223	1544	RA07	南西埋土下位	石匙	5.9	2.9	0.8	9.76	縦型	A	W
223	1545	RA07	南西埋土下位	石匙	4.5	4.9	0.7	13.82	縦型	H	—
223	1546	RA07	南東埋土下位	石匙	4.2	6.3	0.9	15.65	横型	A	W
224	1547	RA07	北西埋土下位	石匙	2.6	2.5	0.4	1.33	縦型	D	OK
224	1548	RA07	南東埋土下位	石匙	2.5	1.9	0.5	1.55	縦型	D	OK
224	1549	RA07	埋土No.03	石匙	3.6	1.9	0.5	2.19	縦型	D	OK
224	1550	RA07pp1	埋土	石匙	5.2	4.1	1.0	14.65	縦型	A	W
224	1551	RA07pp11	南半埋土	石匙	5.8	2.3	0.6	6.57	縦型	D	OK
224	1552	RA08	南西埋土上位	石匙	5.9	3.5	0.9	16.46	縦型	A	W
224	1553	RA08	北西埋土	石匙	6.6	3.0	0.8	9.71	縦型	A	W
224	1554	RA08	南東埋土	石匙	6.6	2.6	1.0	10.03	縦型	A	W
224	1555	RA08	南半埋土	石匙	(4.7)	1.7	0.5	(3.76)	縦型	A	W
224	1556	RA08	南東埋土	石匙	5.1	1.2	0.7	3.06	縦型	A	W
224	1557	RA08	南東埋土	石匙	3.8	5.0	0.7	10.50	横型	A	W
224	1558	RA08	西側貼床	石匙	4.9	8.0	0.9	26.30	横型	L	O
224	1559	RA09 南北ベルト	埋土1	石匙	2.7	1.5	0.5	1.47	縦型	D	OK
224	1560	RA09	南半埋土上位	石匙	(5.0)	3.0	0.8	(6.52)	縦型	A	W
224	1561	RA09	南半埋土上位	石匙	0.4	3.7	1.2	36.80	縦型	A	W
225	1562	RA09	南半埋土上位	石匙	9.4	4.2	1.0	29.03	縦型	A	W
225	1563	RA09	南半埋土上位	石匙	2.7	4.9	1.0	12.87	横型	A	W
225	1564	RA09	南半焼土	石匙	3.1	3.1	1.1	7.32	縦型	D	OK
225	1565	RA09	南半埋土	石匙	3.7	4.6	0.7	6.36	縦型	A	W
225	1566	RA09	南半埋土	石匙	3.1	6.6	0.9	14.82	横型	A	W
225	1567	RA09	北半埋土	石匙	4.8	2.8	0.8	11.06	縦型	A	W
225	1568	RA09	床直	石匙	6.3	4.2	1.0	18.08	縦型	A	W
225	1569	RA09pp10	埋土3	石匙	7.8	2.8	1.0	17.25	縦型	A	W
225	1570	RA09pp12	埋土	石匙	2.7	2.0	0.7	2.65	縦型	D	OK
225	1571	RA09pp1	南半埋土	石匙	7.1	5.45	1.2	48.4	縦型	B	W
225	1572	RA10 南北ベルト	埋土1	石匙	6.7	4.3	1.1	22.67	縦型	A	W
226	1573	RA10	南東埋土	石匙	8.4	2.3	0.9	17.3	縦型	A	W
226	1574	RA11	埋土中位ｔｄ起源	石匙	4.3	5.4	1.0	16.07	縦型	A	W

（ ）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
226	1575	RA12	北半埋土	石匙	6.6	4.4	1.0	20.38	横型	A	W
226	1576	RA12	北半埋土	石匙	3.2	6.7	0.8	13.2	横型	A	W
226	1577	RA12	西半埋土	石匙	4.0	6.5	1.4	29.31	横型	A	W
226	1578	RA13	北西埋土	石匙	6.9	3.1	0.85	19.8	縦型	D	OK
226	1579	RA13	北西埋土	石匙	6.8	2.4	1.6	16.05	縦型	A	W
226	1580	RA13	南東埋土	石匙	5.7	2.6	0.7	7.74	縦型	A	W
226	1581	RA18	北東埋土	石匙	(4.2)	(3.5)	0.9	(9.98)	縦型	A	W
226	1582	RA19	北西埋土上位	石匙	7.0	3.3	1.15	13.1	縦型	L	O
226	1583	RA20	北東部埋土	石匙	9.0	3.9	1.2	33.41	縦型	A	W
226	1584	RA20	南東半埋土	石匙	5.2	4.4	0.7	11.03	縦型	A	W
227	1585	RA21	床直	石匙	5.5	2.4	0.8	6.96	縦型	A	W
227	1586	RA23 側北ベルト	埋土1	石匙	6.1	2.8	1.0	16.85	縦型	A	W
227	1587	RA23 室内ベルト	埋土1	石匙	7.5	2.5	1.1	15.90	縦型	A	W
227	1588	RA23 炉上床	埋土上位	石匙	5.1	2.4	0.5	6.15	縦型	A	W
227	1589	RA23	埋土	石匙	7.0	2.6	0.7	11.29	縦型	A	W
227	1590	RA23 ベルト	埋土	石匙	5.7	3.6	0.5	7.53	縦型	A	W
227	1591	RA23	埋土	石匙	(5.5)	2.5	0.7	(8.18)	縦型	A	W
227	1592	RA23 ベルト	埋土	石匙	4.7	1.4	1.0	5.78	縦型	A	W
227	1593	RA23	埋土	石匙	4.0	6.2	1.0	16.15	横型	A	W
227	1594	RA23	埋土	石匙	4.3	6.1	1.3	14.14	横型	A	W
227	1595	RA23	埋土	石匙	4.6	7.0	1.0	17.87	横型	A	W
227	1596	RA23	埋土	石匙	2.9	2.5	0.8	5.07	縦型	G	−
227	1597	RA23	東壁際埋土	石匙	8.3	5.2	1.3	44.25	縦型	A	W
227	1598	RA27pp4	埋土	石匙	2.45	(1.6)	0.45	1.40	縦型	D	OK
228	1599	RD03	南半埋土	石匙	(4.0)	(3.0)	0.9	(5.94)	縦型	D	OK
228	1600	RD05	北半埋土3	石匙	8.2	4.7	0.8	25.30	縦型	A	W
228	1601	RD05	埋土	石匙	4.2	5.1	0.9	13.23	横型	A	W
228	1602	RD06	北半埋土2	石匙	4.3	6.75	0.9	14.88	横型	A	W
228	1603	RD06	南半埋土上位	石匙	6.5	2.6	0.7	13.41	縦型	B	W
228	1604	RD09	北半埋土1	石匙	6.2	2.9	0.9	15.18	縦型	L	O
228	1605	RD16	南半埋土	石匙	(5.2)	5.3	0.7	(13.20)	縦型	A	W
228	1606	RD18	北半埋土	石匙	(5.8)	3.0	0.8	(10.42)	縦型	B	W
228	1607	RD19	南半埋土下位	石匙	5.9	3.1	0.9	8.68	縦型	A	W
228	1608	RD19	南半埋土下位	石匙	6.3	4.0	0.7	17.92	縦型	A	W
229	1609	RD19	南半埋土下位	石匙	3.8	4.9	0.8	10.04	縦型	A	W
229	1610	RD27pp2	埋土	石匙	(5.1)	2.1	0.6	(5.32)	縦型	A	W
229	1611	RD28	埋土	石匙	(4.8)	1.8	0.8	(6.10)	縦型	A	W
229	1612	RD29	北半埋土	石匙	(4.5)	3.9	1.0	(11.96)	縦型	A	W
229	1613	RD30	北半埋土	石匙	5.5	3.5	1.2	16.20	縦型	A	W
229	1614	RD35	東半埋土下位	石匙	4.8	(5.8)	1.2	27.81	横型	B	W
229	1615	RD46	南半埋土	石匙	4.9	3.4	1.0	7.83	縦型	E	−
229	1616	RD47	埋土	石匙	5.4	6.8	6.8	18.61	横型	A	W
229	1617	RD60	南半埋土	石匙	4.2	4.6	0.9	12.90	縦型	A	W
229	1618	RD51	南半埋土1	石匙	7.5	3.8	1.2	30.58	縦型	A	W
229	1619	B III r23pp6	埋土	石匙	4.5	(4.7)	4.5	10.54	縦型	A	W
230	1620	B IV v02	I	石匙	6.5	3.5	1.0	13.20	縦型	A	W
230	1621	B IV v03	I d-10cm	石匙	7.6	1.6	0.7	5.84	縦型	A	W
230	1622	B IV v04	I d-10cm	石匙	4.3	2.7	0.8	7.75	縦型	D	OK
230	1623	B IV w03	I d-10cm	石匙	9.5	1.5	0.9	13.68	縦型	A	W
230	1624	B IV w06	I e	石匙	10.7	3.0	1.7	39.72	縦型	A	W
230	1625	B IV w07	I d 下位～II	石匙	6.3	1.5	0.7	5.02	縦型	A	W
230	1626	B IV w10	I d-10cm	石匙	6.9	1.8	0.8	6.86	縦型	I	O
230	1627	B IV w11	I d 20cm	石匙	5.9	1.5	0.9	5.72	縦型	A	W
230	1628	B IV y11	I d-10cm	石匙	6.35	9.1	1.5	61.55	横型	A	W
230	1629	C IV a10	II	石匙	3.17	1.7	0.7	4.31	縦型	D	OK

（　）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
231	1630	RA05	床直上	石匙	8.4	3.1	1.2	34.18	刃部：両面加工	A	W
231	1631	RA05	西半埋土	石匙	8.9	4.2	1.7	64.51	刃部：両面加工	A	W
231	1632	RA23	埋土	石匙	4.85	2.9	0.85	10.39	刃部：両面加工	A	W
231	1633	RA19	南半埋土	石匙	8.3	4.5	1.3	60.38	刃部：片面加工	A	W
231	1634	RA07	南東埋土下位	石匙	7.15	3.65	1.6	53.54	刃部：片面加工	I	W
231	1635	RA08	南西埋土上位	石匙	(5.0)	3.75	1.5	(30.34)	刃部：片面加工	A	W
231	1636	RA09	南半埋土	石匙	6.1	3.5	1.4	25.40	刃部：両面加工	A	W
231	1637	RA09	南半埋土	石匙	6.6	2.8	1.4	24.85	刃部：片面加工	A	W
232	1638	RA15	北半埋土	石匙	5.3	3.4	1.2	26.20	刃部：両面加工	A	W
232	1639	RA19pp6	埋土	石匙	10.2	4.1	2.0	78.98	刃部：両面加工	A	W
232	1640	RA23	埋土	石匙	4.85	2.9	0.85	10.38	刃部：両面加工	A	W
232	1641	RA23	埋土	石匙	5.7	3.5	1.3	23.40	刃部：両面加工	A	W
232	1642	RA24	床面	石匙	7.6	3.6	1.3	40.53	刃部：片面加工	C	W
232	1643	RA12	西半埋土	石匙	7.3	4.1	1.5	54.79	刃部：両面加工	A	W
232	1644	RD04	南半埋土	石匙	5.3	4.0	1.2	22.34	刃部：片面加工	B	W
232	1645	RA07	南西埋土	石匙	7.3	3.7	1.7	43.77	刃部：両面加工	A	W
233	1646	RA04	南西埋土	石匙	7.75	3.25	1.6	43.55	刃部：片面加工	A	W
233	1647	RD30	北半埋土1	石匙	6.5	4.2	1.4	33.80	刃部：片面加工	J	W
233	1648	RF04	焼土	石匙	8.0	4.0	1.0	36.91	刃部：片面加工	A	W
233	1649	RF04北側ベルトE-IV区		石匙	9.2	4.25	1.0	47.49	刃部：片面加工	A	W
233	1650	RF04	北側ベルト	石匙	7.5	4.0	1.6	37.84	刃部：両面加工	A	W
233	1651	RF04E-E'トレンチ	焼土	石匙	8.85	4.15	2.0	75.35	刃部：片面加工	A	W
234	1652	RA04	埋土	不定形石器	5.7	5.6	2.0	62.18	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1653	RA04	東西ベルトIV	不定形石器	7.6	4.6	2.1	71.00	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1654	RA04	埋土（南壁際）	不定形石器	5.25	2.75	1.1	14.49	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1655	RA04	POT03	不定形石器	7.8	4.7	1.9	73.77	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1656	RA04pp5	埋土	不定形石器	8.4	6.1	2.1	99.86	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1657	RA05pp13	埋土	不定形石器	9.6	6.2	1.1	57.78	刃部：片面の周縁加工	A	W
234	1658	RA06pp1	埋土	不定形石器	10.1	4.4	1.5	55.16	刃部：片面の一側縁加工	A	W
234	1659	RA07	南北ベルト1	不定形石器	6.0	3.7	0.9	21.48	刃部：片面の周縁加工	B	W
235	1660	RA07	北東埋土下位	不定形石器	6.75	4.7	1.0	31.11	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1661	RA07	東半埋土下位	不定形石器	5.55	2.5	0.8	10.64	刃部：片面の1側縁加工	A	W
235	1662	RA07	北東埋土下位	不定形石器	4.5	6.75	0.8	23.73	刃部：片面の1側縁加工	A	W
235	1663	RA07	北西埋土下位	不定形石器	9.35	5.1	2.0	70.28	刃部：片面の1側縁加工	A	W
235	1664	RA07	東半埋土下位	不定形石器	6.4	4.8	1.4	42.18	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1665	RA07	埋土下位～床直	不定形石器	6.5	5.0	1.7	57.44	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1666	RA07pp15	埋土	不定形石器	7.3	4.55	1.6	54.28	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1667	RA08	東西ベルト1	不定形石器	3.4	2.9	0.7	5.17	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1668	RA08	北西埋土	不定形石器	8.0	4.4	1.8	47.94	刃部：片面の片縁加工	A	W
236	1669	RA08	南東埋土	不定形石器	5.3	10.3	1.7	78.44	刃部：片面の周縁加工	A	W
236	1670	RA09	南半埋土	不定形石器	9.1	3.9	1.6	53.98	刃部：片面の1側縁加工　急斜度	A	W
236	1671	RA09	南半埋土上位	不定形石器	7.6	5.0	1.7	69.55	刃部：片面の1側縁加工	A	W
236	1672	RA09	南半埋土上位	不定形石器	8.9	4.0	1.5	43.67	刃部：片面の1側縁加工	A	W
236	1673	RA09	東側周溝	不定形石器	9.7	7.5	1.0	80.44	刃部：片面の1側縁加工	A	W
236	1674	RA12	北半埋土下位	不定形石器	8.5	5.4	1.9	78.93	刃部：片面の周縁加工	A	W
237	1675	RA13	南西埋土	不定形石器	8.35	1.5	1.0	13.67	刃部：両面の端部加工　急斜度	A	W
237	1676	RA13	北西埋土	不定形石器	6.0	2.95	1.1	23.46	刃部：片面の両側縁加工	A	W
237	1677	RA14	南西埋土	不定形石器	7.2	4.9	1.6	50.96	刃部：片面の1側縁加工	A	W
237	1678	RA14	南東埋土上位	不定形石器	5.5	11.55	1.7	87.52	刃部：片面の1側縁加工	A	W
237	1679	RA15	埋土	不定形石器	13.3	9.3	1.85	336.28	刃部：片面の周縁加工	A	W
238	1680	RA16	埋土下位	不定形石器	3.95	4.5	1.1	18.19	刃部：片面の1側縁加工	A	W
238	1681	RA19	北西埋土	不定形石器	10.0	4.6	2.6	105.79	刃部：片面の1側縁加工	A	W
238	1682	RA19	埋土床直	不定形石器	8.65	3.4	1.0	21.39	刃部：片面の2側縁加工	I	W
238	1683	RA23	埋土	不定形石器	4.65	3.4	1.1	13.52	刃部：片面の1側縁加工　急斜度	A	W
238	1684	RD06	北半埋土5	不定形石器	4.6	3.75	1.5	24.10	刃部：片面の周縁加工　急斜度	A	W

（ ）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
238	1685	RD10	西半埋土下位	不定形石器	4.2	2.5	1.5	10.25	刃部：片面の周縁加工	D	OK
238	1686	RD16	南半埋土上位	不定形石器	12.25	6.7	2.4	184.90	刃部：片面の1側縁加工 急斜度	A	W
239	1687	RD16	南半埋土	不定形石器	(8.5)	4.1	2.1	(78.80)	刃部：片面の1側縁加工	A	W
239	1688	RD17	南半埋土	不定形石器	10.0	5.0	2.3	83.46	刃部：片面の1側縁加工	A	W
239	1689	RD27pp2	埋土	不定形石器	6.3	4.7	2.0	57.16	刃部：片面の周縁加工 急斜度 凸刃	A	W
239	1690	RD37	埋土下位（ベルト）	不定形石器	6.9	2.0	0.6	10.17	刃部：片面の周縁加工	A	W
239	1691	B Ⅲ w25	Ⅰ d-10cm	不定形石器	(1.8)	1.4	0.4	(1.19)	刃部：片面の1側面の加工	A	W
239	1692	D Ⅳ s07	Ⅰ	不定形石器	5.5	3.1	1.2	94.65	刃部：片面の1側面の加工	A	W
239	1693	RA24	Ⅰ	両極石器	2.6	2.6	0.9	6.25	2辺一対の剥離	A	W
239	1694	RD08	南西埋土下位	両極石器	1.7	1.7	0.65	2.17	4辺二対の剥離	B	W
239	1695	RD11	西半埋土上位	両極石器	2.1	2.1	0.8	2.87	2辺一対の剥離	A	W
239	1696	RD11	西半埋土上位	両極石器	3.65	3.3	2.8	18.75	2辺一対の剥離	A	W
239	1697	RA09	南半埋土	異形石器	8.5	3.5	1.05	20.17	2段の尖頭部	E	－
240	1698	RF04	E-E' トレンチ焼土	接合剥片	2.4	4.0	1.1	7.35	接合資料1	A	W
240	1699	RF04	E-E' トレンチ焼土	石核	6.3	8.0	5.4	171.16	接合資料1	A	W
241	1700	RF04	焼土	接合剥片	4.2	5.1	1.4	26.65	接合資料2	A	W
241	1701	RF04	焼土中	接合剥片	3.8	5.5	1.0	21.08	接合資料2 縁部加工あり	A	W
241	1702	RF04	焼土中	接合剥片	3.7	5.0	1.3	20.10	接合資料2	A	W
241	1703	RF04	焼土	接合剥片	3.9	4.4	1.4	18.85	接合資料2	A	W
242	1704	RF04	焼土	接合剥片	4.4	7.3	1.8	18.21	接合資料3	A	W
242	1705	RF04	焼土	接合剥片	4.3	3.5	1.0	12.85	接合資料3	A	W
242	1706	RF04	焼土	接合剥片	4.8	3.3	1.1	12.93	接合資料3	A	W
242	1707	RF04	焼土上位	接合剥片	5.0	5.2	1.8	33.31	接合資料4	A	W
242	1708	RF04	焼土	接合剥片	5.2	4.5	1.3	27.96	接合資料4	A	W
243	1709	RA04	南西埋土	打製石斧	8.0	2.7	1.85	41.38	両面加工	A	W
243	1710	RA04pp3	北半埋土	打製石斧	8.35	3.5	1.8	51.90	両面加工	X	A
243	1711	RA07	北半埋土	打製石斧	10.9	2.8	1.6	51.48	両面加工	A	W
243	1712	RA08	北半埋土	打製石斧	6.4	2.4	1.6	24.53	両面加工	X	A
243	1713	RA12	ベルト B-B' 1	打製石斧	8.5	5.3	2.3	110.02	両面加工 片刃？	L	M
243	1714	RA23	埋土	打製石斧	16.45	6.2	3.3	504.95	両面周縁加工	Y	OK
244	1715	RA04pp4	東半埋土	磨製石斧	(8.5)	2.6	2.3	(82.32)	縦に半截？	A	W
244	1716	RA05	貼床除去後	磨製石斧	8.5	4.0	1.7	87.0	刃こぼれ？	Y	OK
244	1717	RA06	床直	磨製石斧	(6.0)	4.3	2.2	(92.93)	基部欠損	A	O
244	1718	RA12 ベルト B-B'	埋土	磨製石斧	22.05	7.8	4.0	1133.21	大型	Q	O
244	1719	RA18	南半埋土	磨製石斧	10.2	4.15	2.3	181.84	側縁を欠損	A	O
244	1720	RA18	北半埋土	磨製石斧	(7.1)	4.0	2.0	(104.59)	基部欠損	A	O
244	1721	RA22pp6	埋土	磨製石斧	(10.9)	4.75	2.6	(225.89)	基部・刃部欠損	A	O
244	1722	RF04 北側ベルト	埋土	磨製石斧	11.5	5.5	2.6	283.78	基部欠損	C	O
244	1723	RA04	南東埋土	磨製石斧	4.15	2.2	0.9	177.21	石鑿？	A	W
244	1724	RA09	南側床面	磨製石斧	5.7	3.5	0.8	33.27	石鑿？	L	M
245	1725	RA01	南側床面	石錘	7.3	6.8	2.3	150.60	Ⅰ	N	W
245	1726	RA02	北半埋土	石錘	4.1	6.2	2.2	35.07	Ⅱ	I	W
245	1727	RA04	南北ベルト2	石錘	7.7	6.8	1.9	146.67	Ⅰ	R	W
245	1728	RA04	南西埋土	石錘	6.4	5.35	1.5	72.02	Ⅰ	I	W
245	1729	RA04	南西埋土	石錘	(5.9)	(5.5)	2.1	(72.60)	Ⅰ, a	T	W
245	1730	RA04	南西埋土	石錘	6.7	(4.45)	1.55	57.47	Ⅰ, e	N	W
245	1731	RA04	南西埋土	石錘	7.8	6.2	3.25	207.98	Ⅰ	V	W
245	1732	RA04	南西埋土	石錘	6.8	7.7	2.7	177.21	Ⅰ	N	W
245	1733	RA04	埋土	石錘	5.8	8.2	2.1	136.84	Ⅱ	N	W
245	1734	RA05	東半埋土	石錘	10.3	7.8	2.8	334.00	Ⅰ	N	W
246	1735	RA05	西側埋土	石錘	8.8	6.9	2.35	155.24	Ⅰ	I	W
246	1736	RA05pp3	埋土	石錘	5.8	5.6	1.6	61.56	Ⅰ	I	W
246	1737	RA05	床直	石錘	21.1	8.6	2.45	783.07	Ⅰ'	O	W
246	1738	RA05	貼床除去後	石錘	5.2	5.9	0.35	49.83	Ⅱ	N	W
246	1739	RA06	東半埋土	石錘	9.5	7.85	1.55	205.10	Ⅰ	R	W

( ) は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
246	1740	RA09	北半埋土	石錐	6.9	6.65	2.2	115.17	I, c	J	W
246	1741	RA06 南北ベルト	埋土	石錐	5.3	6.45	1.7	60.73	II	T	W
246	1742	RA07	南北ベルト1	石錐	(9.0)	7.05	2.2	(169.74)	I, b	N	W
246	1743	RA07	南北ベルト1	石錐	(8.15)	7.6	2.5	(142.89)	I, b	N	W
247	1744	RA07	東西ベルト1	石錐	6.0	7.4	2.1	108.41	II	N	W
247	1745	RA07	東西ベルト1	石錐	6.2	10.6	2.0	171.30	II	I	W
247	1746	RA07	東西ベルト4	石錐	7.1	7.3	3.1	228.24	II	L	W
247	1747	RA07	南東埋土上位	石錐	11.4	9.3	3.2	469.73	I	R	W
247	1748	RA07	南西埋土下位	石錐	4.7	9.15	2.65	132.08	II 両面に凹み	I	W
247	1749	RA07	南西埋土上位	石錐	7.2	9.1	1.9	209.18	II	R	W
247	1750	RA07	北東埋土上位	石錐	6.2	9.7	1.7	135.03	II	I	W
247	1751	RA07	北東埋土下位	石錐	8.1	6.9	2.5	222.02	I	R	W
247	1752	RA07	埋土	石錐	7.7	6.1	2.75	171.77	I	I	W
247	1753	RA07pp1	埋土	石錐	(5.7)	5.9	2.3	(88.37)	I, b	N	W
248	1754	RA07	埋土	石錐	7.4	10.3	3.5	347.44	II	T	W
248	1755	RA07	埋土	石錐	7.1	9.15	2.9	264.67	II	J	W
248	1756	RA07	埋土	石錐	(8.1)	(7.05)	(1.6)	(100.38)	I, d	M	W
248	1757	RA07	旧円講埋土	石錐	6.9	8.8	2.2	157.15	II	N	W
248	1758	RA08	南西埋土	石錐	7.6	6.3	2.85	140.97	I	N	W
248	1759	RA08pp8	北半埋土	石錐	6.8	6.2	1.45	98.51	I	R	W
248	1760	RA08	南西埋土	石錐	7.9	5.4	2.55	113.51	I	T	W
248	1761	RA08	南東埋土下位	石錐	8.1	8.0	2.3	186.01	I	I	W
248	1762	RA08	南東埋土下位	石錐	7.35	6.6	2.0	106.26	I	I	W
248	1763	RA08	南東埋土下位	石錐	7.1	8.3	2.1	178.06	I	R	W
249	1764	RA08	埋土下位	石錐	7.5	9.7	2.1	241.79	II	R	W
249	1765	RA08	南西埋土下位	石錐	5.3	5.8	1.8	73.84	II	N	W
249	1766	RA08	南西埋土下位	石錐	7.5	9.85	2.1	277.78	II	R	W
249	1767	RA09	南半埋土上位	石錐	4.65	5.2	1.8	54.72	II	N	W
249	1768	RA09	埋土	石錐	7.8	6.7	1.6	87.34	I	I	W
249	1769	RA09	東西ベルト南側トレンチ	石錐	5.4	7.5	2.3	106.65	II 未製品?	N	W
249	1770	RD09	東西ベルト南トレンチ	石錐	(7.8)	6.1	2.5	(128.20)	I, f	I	W
249	1771	RA09	南半埋土	石錐	9.5	7.8	(2.2)	169.84	I, d	M	W
249	1772	RA09	南半埋土	石錐	5.7	7.9	2.1	152.47	II	N	W
249	1773	RA09	南半埋土	石錐	6.0	10.0	2.05	160.37	II 片面に擦痕あり	I	W
250	1774	RA09	南半埋土	石錐	7.8	9.45	3.2	241.81	II	J	W
250	1775	RA09	北半埋土	石錐	9.0	6.5	2.7	210.51	I	Z	W
250	1776	RA09	北半埋土	石錐	8.4	6.0	2.2	121.49	I	N	W
250	1777	RA09	南半埋土	石錐	9.3	12.2	2.3	341.97	III	M	W
250	1778	RA09	北半埋土	石錐	4.8	6.3	1.3	56.26	II	I	W
250	1779	RA09	南西端埋土	石錐	9.1	10.7	2.3	401.94	II	R	W
250	1780	RA09	北半埋土	石錐	7.9	8.5	2.3	152.07	I	I	W
250	1781	RA09	南半埋土下位	石錐	7.55	8.45	2.25	185.80	II	Z	W
250	1782	RA09pp3	北半埋土	石錐	9.8	7.5	2.6	284.11	I 片面に擦痕	I	W
250	1783	RA09pp3	南半埋土	石錐	9.3	7.2	2.2	211.19	I	N	W
251	1784	RA09	床直	石錐	11.4	7.2	2.2	294.77	III	M	W
251	1785	RA09	床直	石錐	8.6	7.1	2.7	188.12	I	J	W
251	1786	RA09	南側床面	石錐	5.0	6.7	1.8	69.99	II	T	W
251	1787	RA10	南東埋土	石錐	7.9	9.3	3.45	231.61	II	Z	W
251	1788	RA10	南東埋土	石錐	9.2	8.6	1.9	206.78	I	N	W
251	1789	RA10	南東埋土	石錐	8.5	7.4	1.8	141.82	I	I	W
251	1790	RA10	南東埋土	石錐	7.9	12.45	2.45	250.97	II	N	W
251	1791	RA10	南東埋土	石錐	12.5	6.55	2.5	234.96	II'	T	W
252	1792	RA10	北西埋土	石錐	14.2	8.5	2.2	444.29	I	M	W
252	1793	RA10pp5	埋土	石錐	7.85	9.7	3.0	268.51	II	J	W
252	1794	RA11	南半埋土上位	石錐	10.3	7.8	3.4	300.13	I	I	W

（ ）は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
252	1795	RA11	南半埋土中位1d起源	石錘	8.25	10.1	2.3	261.64	Ⅱ	R	W
252	1796	RA11	南半埋土中位1d起源	石錘	9.1	8.9	3.0	347.21	Ⅰ	M	W
252	1797	RA11	南半埋土	石錘	10.0	8.7	(2.65)	330.79	Ⅰ, d	I	W
252	1798	RA12	南半埋土下位	石錘	7.95	6.7	1.8	127.08	Ⅰ	M	W
252	1799	RA11pp1	西半埋土	石錘	4.4	6.1	1.25	45.66	Ⅱ	J	W
253	1800	RA12	ベルトA-A'1	石錘	4.6	5.5	1.55	53.80	Ⅱ	I	W
253	1801	RA15	埋土	石錘	9.0	7.8	2.0	148.32	Ⅰ	M	W
253	1802	RA12	西半埋土	石錘	10.4	8.35	1.9	237.44	Ⅰ	I	W
253	1803	RA12	東半埋土上位	石錘	5.6	6.7	1.8	95.64	Ⅱ	N	W
253	1804	RA12	北半埋土	石錘	5.5	6.8	2.6	110.55	Ⅱ	I	W
253	1805	RA12	北半埋土	石錘	7.3	6.3	1.9	79.11	Ⅰ	I	W
253	1806	RA12	北半埋土	石錘	10.25	8.35	2.85	335.36	Ⅰ	R	W
253	1807	RA12	北半埋土	石錘	5.0	6.8	1.3	74.80	Ⅱ	N	W
253	1808	RA12	北半埋土	石錘	(11.0)	9.8	2.9	(453.23)	Ⅰ, d	N	W
253	1809	RA12	西半埋土	石錘	5.3	7.1	2.1	107.29	Ⅱ	R	W
254	1810	RA12	北半埋土下位	石錘	4.56	4.9	1.8	62.24	Ⅱ	N	W
254	1811	RA13	ベルトA-A'2	石錘	7.8	5.5	2.7	134.08	Ⅰ	I	W
254	1812	RA14	北西埋土上位	石錘	8.9	9.8	(2.2)	256.95	Ⅱ, d	R	W
254	1813	RA14	南東埋土上位	石錘	5.4	6.2	1.6	82.44	Ⅱ	R	W
254	1814	RA15	南半埋土	石錘	10.1	9.35	2.3	318.66	Ⅰ	N	W
254	1815	RA15	南半埋土	石錘	(8.05)	(5.6)	2.5	(129.26)	Ⅰ, c	N	W
254	1816	RA15	南半埋土	石錘	5.9	5.8	2.3	100.34	Ⅰ	R	W
254	1817	RA15	埋土	石錘	9.4	8.1	3.1	323.36	Ⅰ	L	W
254	1818	RA15	南半埋土	石錘	6.75	7.2	2.2	141.53	Ⅱ	N	W
254	1819	RA15	南半埋土	石錘	6.7	4.75	2.6	86.92	Ⅰ	M	W
255	1820	RA15	南半埋土	石錘	6.3	9.8	3.1	217.88	Ⅱ	R	W
255	1821	RA15	北半埋土	石錘	6.7	9.1	1.6	152.12	Ⅱ	R	W
255	1822	RA15	南半埋土	石錘	10.1	9.35	2.3	318.66	Ⅰ	N	W
255	1823	RA15	埋土	石錘	7.8	7.5	3.0	188.72	Ⅰ	O	W
255	1824	RA15	埋土	石錘	10.1	7.2	2.4	254.04	Ⅰ	N	W
255	1825	RA15	埋土	石錘	16.15	10.1	2.3	533.47	Ⅰ'	I	W
255	1826	RA15	南半埋土	石錘	7.3	7.1	2.4	201.62	Ⅰ 片面に擦痕あり	N	W
255	1827	RA15	埋土	石錘	4.3	5.15	1.6	51.67	Ⅱ	N	W
255	1828	RA15	埋土	石錘	13.2	10.9	3.0	567.75	Ⅰ	R	W
256	1829	RA15	埋土	石錘	7.0	7.9	2.1	186.91	Ⅱ	N	W
256	1830	RA15	埋土	石錘	8.95	7.9	2.8	269.70	Ⅰ	N	W
256	1831	RA15	埋土	石錘	8.05	7.8	2.6	219.52	Ⅱ 両面に凹み円礫状敲凹石	J	W
256	1832	RA16	埋土下位	石錘	7.7	8.0	2.1	201.35	Ⅱ	R	W
256	1833	RA16	埋土下位	石錘	5.6	6.9	1.9	97.01	Ⅱ	N	W
256	1834	RA17	床面	石錘	9.75	11.55	2.7	453.86	Ⅱ	R	W
256	1835	RA17	床面	石錘	5.3	5.4	2.0	60.82	Ⅱ	I	W
256	1836	RA17	床面	石錘	(9.1)	8.5	2.8	(331.95)	Ⅰ, b	J	W
256	1837	RA18	北半埋土 pot005	石錘	8.3	9.0	2.8	269.00	Ⅰ	N	W
256	1838	RA18	北半埋土	石錘	5.0	6.7	2.7	95.08	Ⅱ	N	W
257	1839	RA19	北西埋土上位	石錘	9.0	9.3	3.7	367.60	Ⅰ 両面に凹み	I	W
257	1840	RA19	北西埋土	石錘	7.7	8.6	2.7	240.34	Ⅱ	V	W
257	1841	RA19	北西埋土	石錘	9.4	9.55	2.4	254.28	Ⅰ	N	W
257	1842	RA19	北西埋土	石錘	9.1	8.5	1.6	130.09	Ⅰ 片面に凹み	A	W
257	1843	RA19	北西埋土	石錘	4.65	6.15	1.8	53.71	Ⅱ 一部欠損	N	W
257	1844	RA19	北西埋土	石錘	8.4	11.9	2.0	213.14	Ⅱ	I	W
257	1845	RA19	北東埋土	石錘	9.1	8.8	2.1	239.15	Ⅰ	R	W
257	1846	RA19	北東埋土	石錘	7.2	10.2	2.05	218.80	Ⅱ	R	W
257	1847	RA19pp5	埋土	石錘	8.0	7.3	3.3	251.84	Ⅰ	Z	W
257	1848	RA19炉2	埋土	石錘	12.5	9.5	2.8	533.01	Ⅰ	R	W
258	1849	RA21	埋土	石錘	6.5	5.7	1.9	91.94	Ⅰ	I	W

( ) は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
258	1850	RA21	埋土	石鏃	11.35	10.55	3.85	558.17	I	V	W
258	1851	RA21	埋土	石鏃	8.2	5.05	1.55	74.08	I	I	W
258	1852	RA21	埋土	石鏃	5.65	6.75	1.6	90.24	II	I	W
258	1853	RA21	埋土	石鏃	(16.0)	(8.8)	(3.95)	(768.82)	I, b	R	W
258	1854	RA21	埋土	石鏃	7.4	5.6	2.3	82.97	I	L	W
258	1855	RA21	埋土	石鏃	8.0	9.45	3.3	245.49	II	I	W
258	1856	RA21	埋土	石鏃	5.6	6.6	1.6	61.03	II	I	W
258	1857	RA21	埋土	石鏃	6.9	9.8	2.7	284.25	II 未製品?	N	W
259	1858	RA21	埋土	石鏃	8.75	8.0	1.6	158.28	I	R	W
259	1859	RA21pp1	埋土	石鏃	9.25	10.6	3.4	434.67	II	V	W
259	1860	RA22pp3	埋土	石鏃	10.45	9.2	3.6	405.09	I	I	W
259	1861	RA22pp5	埋土	石鏃	(5.2)	(6.5)	1.6	(50.99)	II	N	W
259	1862	RA23	1層上位の攪乱	石鏃	8.3	5.2	2.0	101.41	II	J	W
259	1863	RA23	1層上位の攪乱	石鏃	5.65	4.9	1.8	69.13	I	J	W
259	1864	RA23	埋土	石鏃	7.1	7.7	2.3	166.54	II	N	W
259	1865	RA23	埋土	石鏃	9.4	6.0	2.6	156.93	I	I	W
259	1866	RA23	埋土	石鏃	7.0	6.35	1.4	91.62	I	N	W
259	1867	RA23	埋土	石鏃	4.55	4.95	1.95	53.86	II	Z	W
260	1868	RA23	埋土	石鏃	6.1	6.8	2.4	123.46	II	N	W
260	1869	RA23	埋土	石鏃	4.9	4.95	2.0	60.03	II	I	W
260	1870	RA23	埋土	石鏃	5.0	6.0	2.05	82.88	II	T	W
260	1871	RA23	埋土	石鏃	5.2	5.8	1.6	62.64	III	N	W
260	1872	RA23	埋土	石鏃	11.6	11.2	3.2	620.45	I	R	W
260	1873	RA23	埋土	石鏃	8.2	8.1	1.7	158.35	I	U	W
260	1874	RA23	埋土	石鏃	6.5	8.9	1.95	153.40	II 1側縁に敲打痕	I	W
260	1875	RA23	埋土	石鏃	7.2	9.6	2.6	260.73	II	M	W
260	1876	RA23	埋土	石鏃	5.2	6.1	1.5	68.57	II	J	W
261	1877	RA23	埋土	石鏃	4.35	4.95	2.1	65.54	II	U	W
261	1878	RA23	埋土 (ベルト)	石鏃	9.0	10.7	2.1	258.79	II	M	W
261	1879	RA23	埋土	石鏃	5.3	6.6	1.7	64.86	II	I	W
261	1880	RA23	埋土	石鏃	7.1	8.35	3.5	136.46	II	M	W
261	1881	RA23	埋土	石鏃	7.2	9.1	2.8	161.04	II 片面に凹み、兼凹石	I	W
261	1882	RA23	埋土	石鏃	6.7	8.55	2.2	143.60	II'	T	W
261	1883	RA23	埋土	石鏃	16.6	8.8	3.2	629.89	II 敲磨器II c(1)2	W	W
261	1884	RA23	埋土	石鏃	4.8	6.1	2.05	75.00	II	I	W
261	1885	RA23	埋土上位貼床上	石鏃	8.3	5.8	1.8	128.65	I	J	W
262	1886	RA23 炉1	焼土中	石鏃	5.1	5.9	2.0	82.99	II	T	W
262	1887	RA23pp3	埋土	石鏃	5.4	7.1	2.1	102.60	II	Y	W
262	1888	RA24	埋土	石鏃	11.3	8.0	3.8	329.00	I 片面に凹み、円錐状敲石	I	W
262	1889	RA24	埋土1	石鏃	10.5	7.95	2.55	287.23	I 片面に凹み 円錐状 1箇に穴あり	I	W
262	1890	RA24	埋土1	石鏃	5.6	5.6	1.95	75.56	I	N	W
262	1891	RA24	埋土1	石鏃	6.9	8.5	2.2	211.47	II	I	W
262	1892	RA24	埋土1	石鏃	4.7	6.0	1.4	51.80	II	M	W
262	1893	RA24	埋土1	石鏃	8.6	(9.5)	3.3	338.04	II, f	N	W
263	1894	RA24	埋土1	石鏃	6.35	7.85	2.1	154.84	I	R	W
263	1895	RA24	埋土1	石鏃	8.45	8.2	2.15	219.20	I	J	W
263	1896	RA24	埋土	石鏃	8.7	8.45	1.95	199.66	I	N	W
263	1897	RA28	床直	石鏃	8.9	7.35	2.4	194.90	I 片面に擦痕あり	N	W
263	1898	RA28pp2	埋土	石鏃	10.5	7.3	1.7	160.32	I	N	W
263	1899	RD04	北半埋土2	石鏃	7.9	(5.6)	2.45	137.32	I, c	N	W
263	1900	RD06	南半埋土中位	石鏃	8.9	9.3	3.5	361.32	II	Y	W
263	1901	RD06	北半埋土	石鏃	5.95	7.3	1.7	92.08	II	I	W
263	1902	RD06	北半埋土5	石鏃	6.4	8.8	2.6	182.27	II 片面に擦痕あり	N	W
263	1903	RA06	北半埋土5	石鏃	6.8	7.7	1.75	142.81	II	R	W
264	1904	RD06	南半埋土下位	石鏃	6.9	(8.3)	(1.3)	93.16	II, d	R	W

( ) は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
264	1905	RD06	北半埋土下位	石錘	4.65	6.85	1.9	64.97	II	N	W
264	1906	RD09	西半埋土下位	石錘	4.9	6.0	1.6	60.83	II	I	W
264	1907	RD10	西半埋土上位	石錘	8.1	7.2	2.0	168.0	I	N	W
264	1908	RD11	西半埋土	石錘	(7.1)	(7.9)	3.25	(127.71)	II, d	I	W
264	1909	RD11	西半埋土2	石錘	4.35	5.2	1.55	44.35	II	I	W
264	1910	RD11	西半埋土	石錘	5.1	5.9	2.3	85.48	II	N	W
264	1911	RD11	西半埋土	石錘	5.0	6.0	2.05	89.67	II	N	W
264	1912	RD11	西半埋土	石錘	5.7	6.8	1.95	86.31	II	N	W
264	1913	RD11	南半埋土上位	石錘	9.25	7.45	2.2	222.62	I	N	W
265	1914	RD12	北半埋土1	石錘	5.3	6.5	1.45	69.61	II	I	W
265	1915	RD17	南半埋土	石錘	9.3	7.1	3.2	289.49	I	N	W
265	1916	RD19	南半埋土上位	石錘	7.0	6.7	2.65	160.93	I	N	W
265	1917	RD31	北半埋土1	石錘	5.4	5.85	2.15	102.28	II	U	W
265	1918	RD31	南半埋土	石錘	6.0	7.0	2.2	88.58	II	I	W
265	1919	RD32	南半埋土	石錘	8.2	7.8	2.55	193.82	I 一部欠損	I	W
265	1920	RD37	埋土上位	石錘	9.0	7.75	2.3	227.16	I	I	W
265	1921	RD37	南半埋土	石錘	7.3	7.4	2.25	150.45	II'	I	W
265	1922	RD37	南半埋土	石錘	7.3	9.4	2.3	177.55	II	I	W
265	1923	RD37	南半埋土	石錘	7.9	8.2	1.95	168.22	II	I	W
266	1924	RD37	南半埋土	石錘	10.85	8.9	2.6	387.78	I	Z	W
266	1925	RD37	南半埋土	石錘	5.8	6.4	1.7	75.93	II	I	W
266	1926	RD37	南半埋土	石錘	7.5	6.5	1.4	94.69	I	R	W
266	1927	RD37	北半埋土	石錘	14.3	10.3	3.5	693.31	III	Z	W
266	1928	RD37	南半埋土	石錘	6.0	5.55	2.05	96.98	I	N	W
266	1929	RD37	埋土下位(ベルト)	石錘	10.9	9.7	3.55	439.87	I	T	W
266	1930	RD37	埋土下位(ベルト)	石錘	9.9	10.9	2.4	426.72	II	R	W
266	1931	RD42	南半埋土	石錘	7.6	7.15	1.9	159.83	I	N	W
267	1932	RD51	南半埋土1	石錘	(7.45)	(6.8)	2.2	(129.00)	II, b	N	W
267	1933	RD51	北半埋土	石錘	5.1	6.0	2.3	96.93	II	Z	W
267	1934	RF04	焼土中	石錘	8.2	6.4	1.95	127.80	II	T	W
267	1935	RF04	E-E付近焼土	石錘	7.7	5.3	1.5	64.92	I	T	W
267	1936	B III q23 pp1	埋土	石錘	4.0	4.2	1.5	23.11	I'	O	W
267	1937	B III q23-pp1	埋土	石錘	6.0	6.7	2.5	145.61	II	O	W
267	1938	B IV q07-pp2	埋土	石錘	5.75	7.25	2.4	149.05	II	J	W
267	1939	B IV n01-pp1	埋土	石錘	9.7	7.3	3.2	264.36	I	N	W
267	1940	B IV w03	I e	石錘	5.7	6.0	1.6	71.18	I	J	W
267	1941	B IV x07	I d-10cm	石錘	8.8	8.75	2.1	217.98	I	J	W
268	1942	RA05	西半埋土	敲磨器 Aa	14.5	8.5	4.3	737.84	両面に磨面	N	W
268	1943	RA19	北西埋土	敲磨器 Aa	11.8	6.3	4.5	457.85	片面に磨面	N	W
268	1944	RD02	南半埋土-20cm	敲磨器 Aa	8.9	8.1	6.9	690.78	両面に磨面	N	W
268	1945	RD03	南半埋土	敲磨器 Aa	(5.2)	(10.4)	(6.8)	(500.13)	片面に磨面	N	W
268	1946	RD04	北半埋土2	敲磨器 Aa	10.4	7.7	5.5	619.48	両面に磨面	N	W
268	1947	RD08	東半埋土下位	敲磨器 Aa	9.2	8.4	5.3	628.99	両面に磨面	N	W
269	1948	RA05pp2	埋土	敲磨器 Ab	(11.8)	9.0	4.7	(680.60)	両面に磨面 一端に敲打痕 焼成	U	W
269	1949	RA07 No20	埋土	敲磨器 Ab	19.0	7.7	5.3	1061.93	一端に敲打痕	N	W
269	1950	RA07	南西埋土上位	敲磨器 Ab	15.2	3.9	2.7	265.57	両端に敲打痕	Y	A?
269	1951	RA09	南半埋土	敲磨器 Ab	9.5	9.0	3.85	424.28	周縁に敲打痕	N	W
269	1952	RA09	西側床直	敲磨器 Ab	10.1	7.5	5.0	484.52	一端に敲打痕、両面に磨面	N	W
269	1953	RA11	埋土中位(1d起源)	敲磨器 Ab	(7.4)	3.2	3.1	(73.36)	一端に敲打痕	J	W
269	1954	RA11	南側周溝埋土	敲磨器 Ab	10.2	9.0	5.0	666.81	一端に敲打痕	U	W
270	1955	RA02	東半埋土	敲磨器 Ac	(6.2)	(7.0)	(6.75)	(218.84)	両面に浅い凹み	Z	W
270	1956	RA04	埋土	敲磨器 Ac	(8.0)	9.0	3.4	(284.63)	両面に凹み 円錐状	N	W
270	1957	RA04	南西埋土	敲磨器 Ac	9.5	4.5	3.65	210.11	片面に凹み	N	W
270	1958	RA04	南西埋土	敲磨器 Ac	9.2	7.1	4.5	381.95	両面に凹み 円錐状	N	W
270	1959	RA04	南半埋土	敲磨器 Ac	10.8	8.6	4.5	595.37	両面に磨面 両面に凹み 焼成痕あり	U	W

（　）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
270	1960	RA04	南東埋土ウメ上	敲磨器 Ac	(10.8)	6.7	3.0	(269.38)	両面に凹み 溝状 1側縁に擦痕	I	W
270	1961	RA04	東西ベルト4	敲磨器 Ac	(9.0)	(5.5)	3.7	(210.31)	両面に凹み　溝状	N	W
270	1962	RA04	東西ベルトIV	敲磨器 Ac	10.0	8.5	4.1	489.55	両面に磨面　凹み	U	W
271	1963	RA04 pp6	埋土	敲磨器 Ac	9.15	8.25	4.15	461.12	両面に凹み 溝状 1側縁に敲打痕	U	W
271	1964	RA05 pp1	北半埋土	敲磨器 Ac	12.0	7.0	3.5	378.85	片面に敲打痕	N	W
271	1965	RA05 pp1	北半埋土	敲磨器 Ac	9.9	9.35	4.7	629.86	両面に浅い凹み　一部欠損	N	W
271	1966	RA05 pp1	北半埋土	敲磨器 Ac	(7.85)	6.85	4.65	(258.39)	両面に凹み　円錐状	I	W
271	1967	RA05 pp2	南半埋土	敲磨器 Ac	11.75	5.6	3.2	240.50	両面に凹み　溝状	N	W
271	1968	RA05 pp10	埋土	敲磨器 Ac	13.3	11.5	8.0	1985.55	S No.1 両面に凹み 円錐状	N	W
272	1969	RA05 pp14	埋土	敲磨器 Ac	(10.5)	(6.5)	3.3	(233.46)	両面に凹み　溝状	T	W
272	1970	RA05	周溝埋土	敲磨器 Ac	(9.1)	9.7	4.8	(551.13)	両面に凹み　溝状	N	W
272	1971	RA06	東側埋土	敲磨器 Ac	10.7	9.5	6.0	827.81	片面に凹み　浅皿状	N	W
272	1972	RA06	東側埋土	敲磨器 Ac	12.9	10.5	5.25	877.46	両面に凹み　円錐状	N	W
272	1973	RA06	西半埋土	敲磨器 Ac	11.3	7.7	4.4	485.18	両面に凹み　円錐状	T	W
273	1974	RA07	南北ベルト	敲磨器 Ac	9.3	(7.5)	3.5	309.75	両面に凹み　円錐状	N	W
273	1975	RA07	埋土	敲磨器 Ac	11.5	8.6	4.55	616.63	片面に凹み	N	W
273	1976	RA07	南西埋土	敲磨器 Ac	9.75	6.5	1.8	149.41	両面に凹み　円錐状	W	W
273	1977	RA07	北東埋土上位	敲磨器 Ac	11.25	7.25	2.95	380.24	両面に凹み 溝状 1側縁に磨面	U	W
273	1978	RA07 No20	埋土	敲磨器 Ac	11.6	8.3	4.0	597.84	両面に磨面　片面凹み	U	W
273	1979	RA07 No20	埋土	敲磨器 Ac	15.3	11.0	4.8	789.13	両面に凹み 溝状 一側縁が減っている	N	W
274	1980	RA08	北西埋土	敲磨器 Ac	10.2	7.9	4.5	386.71	両面に凹み　溝状	J	W
274	1981	RA08	南西埋土下位	敲磨器 Ac	7.7	7.4	3.3	253.46	両面に敲打痕　両面に磨面	U	W
274	1982	RA08	南西埋土下位	敲磨器 Ac	10.7	5.7	2.5	220.91	片面に敲打痕	W	W
274	1983	RA08	南西埋土下位	敲磨器 Ac	8.8	7.8	6.7	564.22	両面に浅い凹み	N	W
274	1984	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	(8.1)	(7.8)	2.85	(176.74)	片面に凹み　溝状	N	W
274	1985	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	9.9	5.75	2.1	135.52	両面に浅い凹み	I	W
274	1986	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	11.0	7.7	2.9	371.66	両面に凹み　溝状	I	W
274	1987	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	8.5	8.0	5.8	484.04	片面に浅い凹み　円錐状	N	W
275	1988	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	10.9	7.7	3.9	455.16	両面に凹み 円錐状 1側縁に擦痕	N	W
275	1989	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	12.0	6.7	2.95	276.76	両面に凹み 溝状 1側縁に敲打痕	M	W
275	1990	RA09	南半埋土下位	敲磨器 Ac	(11.7)	6.5	4.4	(413.80)	片面に凹み　円錐状	N	W
275	1991	RA09	南半埋土下位	敲磨器 Ac	10.95	5.7	2.9	240.80	両面に凹み　溝状	I	W
275	1992	RA09	南半埋土下位	敲磨器 Ac	11.2	8.1	5.0	654.75	片面に凹み　円錐状	N	W
275	1993	RA09	埋土	敲磨器 Ac	11.0	9.45	5.2	767.31	両面に凹み 溝状 片面に磨面	U	W
276	1994	RA09	埋土	敲磨器 Ac	14.4	14.0	8.6	2100.29	片面に凹み　円錐状	N	W
276	1995	RA09 pp3	南半埋土	敲磨器 Ac	10.0	9.1	4.8	637.66	両面と側面 側縁を使っている痕跡	U	W
276	1996	RA09 pp4	南半埋土	敲磨器 Ac	12.1	9.0	4.3	737.16	片面に凹み 円錐状 2側縁に磨面	U	W
276	1997	RA09 pp12	埋土	敲磨器 Ac	14.25	6.1	3.6	483.50	両面に浅い凹み	N	W
276	1998	RA09 pp16	埋土	敲磨器 Ac	9.7	7.0	5.7	512.43	両面に凹み　円錐状	N	W
277	1999	RA10	埋土	敲磨器 Ac	13.8	6.85	3.9	507.84	両面に凹み　溝状　片面に磨面	N	W
277	2000	RA10	南東埋土	敲磨器 Ac	14.1	6.2	3.75	442.08	両面に凹み 溝状 1端に敲打痕	N	W
277	2001	RA11	南東埋土	敲磨器 Ac	10.5	6.3	3.7	375.97	両面に磨面 凹み 溝状 1側縁に擦痕	U	W
277	2002	RA11	床直 No.2	敲磨器 Ac	15.7	5.5	3.4	394.40	両面に凹み 溝状 1側縁に擦面	N	W
277	2003	RA12	西半埋土	敲磨器 Ac	11.2	6.9	3.2	293.27	両面に敲打痕	N	W
277	2004	RA12	南半埋土下位	敲磨器 Ac	10.2	8.4	3.8	418.85	両面に凹み　円錐状	N	W
277	2005	RA13	ベルトA A'2	敲磨器 Ac	10.0	5.0	3.95	234.44	両面に凹み　溝状	N	W
277	2006	RA13	炉焼土 Pit	敲磨器 Ac	(5.8)	6	2.3	(89.68)	両面に凹み　溝状	I	W
278	2007	RA14	北西埋土	敲磨器 Ac	10.1	8.1	6.3	572.89	片面に凹み 円錐状 片面に磨面	T	W
278	2008	RA14 pp2	埋土	敲磨器 Ac	15.65	7.0	4.7	519.26	両面に凹み　溝状	N	W
278	2009	RA15	埋土ベルト2	敲磨器 Ac	13.9	7.3	3.1	415.21	両面に敲打痕	L	W
278	2010	RA15	埋土	敲磨器 Ac	14.0	7.5	5.0	589.90	両面に凹み　円錐状	Z	W
278	2011	RA15	南半埋土	敲磨器 Ac	10.05	7.20	3.35	314.74	両面に凹み　円錐状	T	W
278	2012	RA16	埋土下位	敲磨器 Ac	10.3	6.25	2.5	219.51	両面に凹み　円錐状	N	W
279	2013	RA17	埋土	敲磨器 Ac	(6.8)	7.5	3.2	(250.15)	両面に浅い凹み	N	W
279	2014	RA18	南半埋土	敲磨器 Ac	11.2	8.3	4.8	701.66	両面に磨面　一側縁に擦面	U	W

（　）は残存値

図版No.	掲載No.	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
279	2015	RA19	北西埋土上位	敲磨器 Ac	12.5	6.25	3.2	318.35	両面に凹み　溝状	N	W
279	2016	RA19	北西埋土	敲磨器 Ac	10.8	3.25	2.55	148.55	片面に凹み　溝状　擦痕あり	I	W
279	2017	RA20	東西ベルト埋土	敲磨器 Ac	10.4	7.5	4.6	468.95	両面に磨面	N	W
279	2018	RA21	埋土	敲磨器 Ac	11.9	5.5	3.2	200.39	両面に凹み　溝状	N	W
279	2019	RA21	埋土	敲磨器 Ac	11.4	8.6	4.7	587.13	両面に円錐状　1端に敲打痕	T	W
280	2020	RA22	埋土	敲磨器 Ac	11.25	8.5	5.2	722.25	片面に凹み　斑点状？	N	W
280	2021	RA23	埋土	敲磨器 Ac	(8.5)	7.0	2.3	(233.12)	片面に凹み　溝状	N	W
280	2022	RA23	埋土	敲磨器 Ac	14.1	6.5	2.0	276.83	両面に凹み　斑点状	N	W
280	2023	RA23	埋土	敲磨器 Ac	10.2	7.3	5.0	347.79	両面に凹み　円錐状	I	W
280	2024	RA23	埋土	敲磨器 Ac	10.95	6.5	2.1	179.65	両面に凹み　溝状	M	W
280	2025	RA23	埋土	敲磨器 Ac	9.8	6.9	2.35	221.29	両面に凹み 円錐状 片面に磨面	N	W
280	2026	RA23	埋土	敲磨器 Ac	(9.0)	(8.1)	(6.1)	(333.65)	片面に凹み　円錐状	I	W
280	2027	RA23	埋土	敲磨器 Ac	(7.7)	(7.5)	4.2	(240.45)	両面に凹み　溝状	I	W
281	2028	RA23	埋土上位貼床上	敲磨器 Ac	(6.9)	6.9	3.7	(233.89)	素材石　片面に凹み　円錐状	N	W
281	2029	RA24	埋土1	敲磨器 Ac	18.5	6.5	4.4	591.57	4面に凹み	I	W
281	2030	RD02	北半埋土2	敲磨器 Ac	9.0	7.4	5.2	293.0	片面円錐状	S	W
281	2031	RD05	北半埋土3	敲磨器 Ac	9.7	8.7	5.2	457.74	両面に浅い凹み　片面に磨面	N	W
281	2032	RD12	南半埋土2	敲磨器 Ac	11.5	8.0	4.0	539.38	一側縁に擦面　片面に磨面	U	W
281	2033	RD12	南半埋土3	敲磨器 Ac	12.5	8.2	4.0	450.78	両面に凹み 円錐状 両面に磨面	Z	W
282	2034	RD13	西半埋土	敲磨器 Ac	12.4	6.3	4.1	451.83	両面に浅い凹み	M	W
282	2035	RD19	南半埋土上位	敲磨器 Ac	10.8	(7.2)	3.8	448.17	片面に磨面 下面に凹み 一側縁に擦面	U	W
282	2036	RD30	北半埋土	敲磨器 Ac	10.0	6.6	4.4	317.26	3面に凹み 円錐状	T	W
282	2037	RD32(A区)	埋土 No.9	敲磨器 Ac	8.2	7.5	4.2	307.15	両面に浅い敲打痕	T	W
282	2038	RD32	床直上床上5cmの埋土	敲磨器 A c	10.7	5.6	4.8	351.85	両面に敲打痕	Z	W
282	2039	RD34	南半埋土1	敲磨器 Ac	10.6	9.9	5.3	619.99	片面に凹み	N	W
282	2040	RD35	北半埋土	敲磨器 Ac	11.9	5.9	4.2	310.34	両面に凹み　円錐状	T	W
283	2041	RD35	北半埋土	敲磨器 Ac	10.75	(6.9)	6.3	552.04	2面に凹み　円錐状	I	W
283	2042	RD37	南半埋土	敲磨器 Ac	11.0	6.4	3.0	328.06	両面に浅い凹み　両端に敲打痕	I	W
283	2043	RF04	焼土	敲磨器 Ac	11.5	10.1	4.4	798.03	片面に凹み　円錐状	N	W
283	2044	RZ05	Ⅰd-30cm	敲磨器 Ac	(10.0)	(8.95)	5.4	(475.15)	両面に凹み 円錐状 両面に磨面	N	W
283	2045	BⅢu23 pp1	埋土	敲磨器 Ac	13.3	5.2	2.4	201.23	片面に凹み　円錐状	R	W
283	2046	BⅢu23 pp3	埋土	敲磨器 Ac	(7.9)	8.5	3.4	(259.48)	両面に凹み　円錐状	T	W
284	2047	RA01 pp1	埋土	敲磨器B	13.2	7.6	4.85	583.63	Ⅱa(1)1	N	W
284	2048	RA04	北西埋土	敲磨器B	13.85	6.8	5.5	713.52	Ⅰa(1)1	N	W
284	2049	RA04	北西埋土	敲磨器B	14.3	7.9	5.6	750.91	Ⅰa(1)1,e	N	W
284	2050	RA04 pp2	北半埋土	敲磨器B	14.45	6.7	6.2	832.69	Ⅰa(1)1	N	W
284	2051	RA05	埋土	敲磨器B	(16.0)	8.4	4.8	(923.75)	Ⅰa(1),b	R	W
284	2052	RA05	南側埋土	敲磨器B	21.05	6.95	5.0	841.69	Ⅰa(1)1	N	W
285	2053	RA05	南側埋土下位	敲磨器B	14.55	9.1	6.0	1111.43	Ⅰa(2)1	N	W
285	2054	RA05	埋土 No.5	敲磨器B	13.95	7.3	5.3	713.38	Ⅰa(1)1	N	W
285	2055	RA05	床直	敲磨器B	11.4	5.6	3.6	363.25	Ⅱa(2)1 両面に擦面	R	W
285	2056	RA05	埋土　Pot02	敲磨器B	14.5	6.4	5.1	704.98	Ⅰa(1)1	W	W
285	2057	RA05	南側埋土（貼床下）	敲磨器B	13.65	6.3	6.1	721.75	Ⅰa(1)1	N	W
285	2058	RA05	貼床除去後	敲磨器B	15.3	7.2	5.15	879.27	Ⅰa(1)1	R	W
286	2059	RA11	南半埋土中位 Id起源	敲磨器B	(15.2)	7.9	5.7	(811.91)	Ⅱa(1)1 片面に磨面	N	W
286	2060	RA05 pp2	北半埋土	敲磨器B	21.5	7.5	5.1	1075.81	Ⅰa(1)1	M	W
286	2061	RA05 pp5	北半埋土	敲磨器B	15.0	6.2	5.9	756.54	Ⅰa(1)1	N	W
286	2062	RA05 pp5	埋土	敲磨器B	13.8	5.7	5.3	620.43	Ⅰa(1)1	N	W
286	2063	RA05 pp10	埋土 S No.2	敲磨器B	16.9	6.45	3.45	595.32	Ⅱa(1)1	R	W
286	2064	RA06	西半埋土	敲磨器B	(13.3)	6.6	5.6	(703.84)	Ⅰa(1)1,b	N	W
287	2065	RA07	南北ベルト1	敲磨器B	14.1	7.1	4.5	607.82	Ⅰa(1)1	W	W
287	2066	RA07	南西埋土	敲磨器B	12.4	7.7	6.1	654.77	Ⅰa(1)1	N	W
287	2067	RA07	南西埋土	敲磨器B	11.7	7.0	5.3	406.71	Ⅰa(1)1　片面に浅い凹み	N	W
287	2068	RA07	北東埋土	敲磨器B	14.5	7.2	7.1	852.59	Ⅰa(1)1	N	W
287	2069	RA07	埋土 No.1	敲磨器B	(8.2)	6.9	5.2	(481.42)	Ⅰa(1)1,e	N	W

（　）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
287	2070	RA07 pp15	南半埋土	敲磨器B	20.45	8.4	6.0	1432.49	Ⅰa(1)1	N	W
287	2071	RA07 pp15	南半埋土	敲磨器B	12.25	6.8	5.5	647.56	Ⅰa(1)1	N	W
288	2072	RA08 pp3	南半埋土	敲磨器B	18.9	7.2	5.8	1143.26	Ⅰa(1)1,d	N	W
288	2073	RA09 pp7	埋土	敲磨器B	19.6	7.0	6.2	1150.43	Ⅰa(2)1	N	W
288	2074	RA09	埋土1	敲磨器B	11.4	4.9	2.7	234.59	Ⅱa(1)1	M	W
288	2075	RA09	南西端埋土	敲磨器B	13.55	7.75	3.7	628.48	Ⅱa(1)1	N	W
288	2076	RA09	南半埋土	敲磨器B	(10.2)	6.65	5.9	(445.40)	Ⅰa(1)1,d	Z	W
288	2077	BⅣX11 pp1	埋土	敲磨器B	15.5	8.1	7.1	1114.30	Ⅱa(1)1	W	W
288	2078	RA05	南半埋土（貼床下）	敲磨器B	14.3	8.5	4.9	771.96	Ⅱa(1)1 片面に磨面	N	W
289	2079	RA09	南半埋土下位	敲磨器B	12.5	7.1	5.8	735.42	Ⅰa(2)1	N	W
289	2080	RA15	埋土	敲磨器B	15.3	6.0	6.7	701.43	Ⅰa(1)1 片面に浅い凹み磨面	N	W
289	2081	RA11	南半埋土	敲磨器B	16.3	6.6	6.2	863.29	Ⅰa(1)1	N	W
289	2082	RA09	南側床直	敲磨器B	15.8	6.4	5.8	843.96	Ⅰa(1)1	N	W
289	2083	RA09	南半埋土下位	敲磨器B	15.1	9.35	5.5	951.79	Ⅰa(1)1	N	W
289	2084	RA09 pp2 北側	西側周溝埋土	敲磨器B	(16.7)	8.4	6.2	(1121.54)	Ⅰa(1)1,d	W	W
290	2085	RA09 pp1	南半埋土	敲磨器B	(22.1)	(7.5)	(3.2)	(897.81)	Ⅱa(1)1,f	R	W
290	2086	RA09 pp3	南半埋土	敲磨器B	15.8	8.8	6.85	1330.65	Ⅰa(1)1	N	W
290	2087	RA09 pp4	南半埋土	敲磨器B	14.05	7.5	6.1	859.70	Ⅰa(1)1	N	W
290	2088	RA09 pp6	北半埋土	敲磨器B	(12.45)	8.1	6.9	(848.40)	Ⅰa(1)1,c	N	W
290	2089	RA09 pp6	南半埋土	敲磨器B	12.4	6.2	4.6	493.52	Ⅰa(1)1	L	W
290	2090	RA09	北半埋土	敲磨器B	18.3	3.75	4.2	711.10	Ⅰb(1)1	R	W
290	2091	RA09 pp17	埋土	敲磨器B	17.2	7.1	4.1	695.26	Ⅰa(1)1	N	W
291	2092	RA09	南半埋土下位	敲磨器B	14.7	7.3	6.0	917.09	Ⅰa(1)1	N	W
291	2093	RA11	南半埋土	敲磨器B	12.45	(7.65)	2.5	276.41	Ⅱa(1)1,a 両面に凹み 溝状 側面に敲打	N	W
291	2094	RA24	埋土1	敲磨器B	11.8	6.2	5.8	566.90	Ⅰa(1)1	U	W
291	2095	RA09	南半埋土	敲磨器B	21.0	7.75	4.8	986.50	Ⅰb(1)1	I	W
291	2096	RA11	南半埋土上位 1d起源	敲磨器B	13.5	7.0	4.05	609.51	Ⅱa(1)1 両面に浅い凹み 側縁に敲打	U	W
291	2097	RA23	埋土(RA29 貼床下)	敲磨器B	16.2	8.6	5.9	957.21	Ⅱa(1)1	N	W
292	2098	RA12	ベルト B-B' 1	敲磨器B	16.35	8.15	7.25	1227.01	Ⅰa(1)1	N	W
292	2099	RA12	ベルト B-B'	敲磨器B	(9.9)	6.4	5.6	(491.98)	Ⅰa(1)1,d	N	W
292	2100	RA13	埋土下位	敲磨器B	14.0	7.5	3.6	523.85	Ⅱa(1)1	N	W
292	2101	RA13	埋土	敲磨器B	(13.2)	7.6	6.3	(893.85)	Ⅰa(1)1,d	U	W
292	2102	RA14	B-B' 1	敲磨器B	16.3	8.0	5.5	953.76	Ⅱa(1)1	N	W
292	2103	RA14	北西埋土上位	敲磨器B	13.5	7.7	5.5	675.76	Ⅰa(1)1 両面に浅い凹み	N	W
292	2104	RA14	北西埋土	敲磨器B	13.65	8.75	4.7	643.35	Ⅰa(1)1	N	W
293	2105	RA15	埋土	敲磨器B	17.2	6.9	6.4	885.07	Ⅰa(2)1	N	W
293	2106	RA11	南半埋土	敲磨器B	13.3	6.7	4.5	516.86	Ⅱa(1)1	N	W
293	2107	RA15	埋土	敲磨器B	(13.0)	6.9	4.5	(471.63)	Ⅱa(1)1 両面に敲打痕	N	W
293	2108	RA19	埋土下位	敲磨器B	15.0	9.75	6.8	1189.50	Ⅰa(1)1,c	N	W
293	2109	RA19	北東埋土	敲磨器B	7.2	8.75	7.55	1229.74	Ⅰa(1)1	N	W
293	2110	RA19 pp11	埋土	敲磨器B	13.3	5.9	4.7	479.70	Ⅰb(1)1 片面に浅い凹み	N	W
294	2111	RA20 A区	埋土上位	敲磨器B	12.3	6.3	(4.3)	442.11	Ⅰa(2)1 一部欠損	N	W
294	2112	RA20	埋土上位	敲磨器B	16.3	7.1	3.9	617.94	Ⅱa(1)1	N	W
294	2113	RA21	埋土	敲磨器B	(8.5)	6.1	3.45	(237.18)	Ⅰa(1)1,d 両面に凹み 弓状 側縁に敲打	N	W
294	2114	RA21 pp1	埋土	敲磨器B	9.9	8.8	6.9	667.54	Ⅰb(1)1,e	V	W
294	2115	RA22	埋土	敲磨器B	8.6	6.7	5.3	430.28	Ⅰa(1)1,e	N	W
294	2116	RA23	1上位攪乱	敲磨器B	13.4	11.4	6.5	1117.52	Ⅰa(1)1	N	W
295	2117	RA23	埋土	敲磨器B	(10.6)	7.0	7.0	(578.03)	Ⅰa(1)1,e	N	W
295	2118	RA23	埋土	敲磨器B	(14.8)	8.5	6.8	(895.10)	Ⅰb(1)1,b	L	W
295	2119	RA23	埋土	敲磨器B	13.2	5.15	3.6	354.74	Ⅱa(1)1	N	W
295	2120	RA23	埋土	敲磨器B	12.3	6.6	5.2	577.85	Ⅰa(1)1	N	W
295	2121	RA23	埋土	敲磨器B	12.7	7.4	5.1	671.33	Ⅲa(2)1	N	W
295	2122	RA23	埋土	敲磨器B	16.2	8.6	5.9	957.21	Ⅲa(2)1	N	W
296	2123	RA09	東西ベルト 2	敲磨器B	12.1	6.8	5.5	577.66	Ⅰa(1)1	N	W
296	2124	RA24	埋土1	敲磨器B	(11.5)	6.25	5.1	(427.87)	Ⅰa(1)1,d	M	W

（ ）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
296	2125	RA28 pp2	埋土	敲磨器B	(12.5)	5.85	3.9	(472.12)	Ⅰa(1)1,b	R	W
296	2126	RA29	床直	敲磨器B	12.35	9.6	6.1	683.46	Ⅱa(1)1	N	W
296	2127	RD01	北半埋土	敲磨器B	(15.9)	8.65	5.55	(176.96)	Ⅰa(1)1	R	W
296	2128	RD02	南半埋土上位	敲磨器B	11.6	8.0	4.55	594.91	Ⅱa(1)1	N	W
296	2129	RD02	南半埋土下位	敲磨器B	15.0	8.2	5.2	754.92	Ⅱa(1)1 片面に磨面	N	W
297	2130	RD06	南半埋土上位	敲磨器B	(12.6)	7.6	5.8	(674.20)	Ⅰa(1)1,d	Z	W
297	2131	RD14	埋土上位	敲磨器B	23.05	8.0	4.3	1292.83	Ⅱb(1)1	Z	W
297	2132	RD19	南半埋土上位	敲磨器B	17.9	9.0	5.25	1132.46	Ⅰa(1)1 片面に敲打痕	R	W
297	2133	RD19	南半埋土上位	敲磨器B	(10.4)	(6.6)	5.5	(428.47)	Ⅰa(2)1,e	Z	W
297	2134	RD26	北半埋土	敲磨器B	16.3	9.8	8.3	1184.65	Ⅰa(1)1 片面に凹み 円礫状	Z	W
298	2135	RD32	北半埋土	敲磨器B	13.25	6.9	4.55	573.49	Ⅰa(1)1	N	W
298	2136	RD32	確認面上～床上5cmの覆土No.13	敲磨器B	(15.3)	6.5	3.9	(579.07)	Ⅱb(1)1,b	N	W
298	2137	RD34	南半埋土1	敲磨器B	(10.4)	6.85	6.15	(517.04)	Ⅰa(1),d	I	W
298	2138	RD48	東半埋土	敲磨器B	(10.4)	7.65	5.4	(672.15)	Ⅰa(1)1,e 両面に敲打痕	N	W
298	2139	RH01 No.15	埋土	敲磨器B	12.0	6.8	6.3	726.81	Ⅰa(1)1	N	W
298	2140	RA09	埋土床面	敲磨器B	14.85	9.8	6.8	1519.94	Ⅰa(1)1	N	W
299	2141	RA11	南半埋土	敲磨器B	14.7	6.7	5.1	735.44	Ⅰa(1)1	R	W
299	2142	RA05	南側埋土	敲磨器B	9.5	3.9	1.85	95.40	Ⅱc(1)1	A	W
299	2143	RA07	北西埋土	敲磨器B	11.4	6.9	4.1	389.55	Ⅱb(1)1	N	W
299	2144	RA09	南半埋土	敲磨器B	16.3	8.1	3.8	787.90	Ⅱc(1)1	I	W
299	2145	RA09	西脇pp	敲磨器B	(10.3)	7.6	4.5	(498.25)	Ⅱb(1),d	N	W
299	2146	RA09 pp3	南半埋土	敲磨器B	16.3	8.0	2.6	616.99	Ⅲa(1)2	R	W
300	2147	RA11	南半埋土	敲磨器B	(15.5)	7.5	2.8	(614.80)	Ⅲa(2)1 一部欠損	R	W
300	2148	RA11	南半埋土中位 1d起源	敲磨器B	16.1	8.7	5.3	616.35	Ⅰb(1)1	J	W
300	2149	RA13	北東埋土	敲磨器B	15.0	8.5	2.9	530.73	Ⅱb(1)2 石鏟Ⅲの転用	N	W
300	2150	RA15	埋土1	敲磨器B	(11.4)	(6.4)	2.85	(379.00)	Ⅱb(1)1,b	R	W
300	2151	RA15	埋土	敲磨器B	17.7	11.3	3.3	1013.58	Ⅱa(1)2 石鏟Ⅰの転用	N	W
301	2152	RA15	床直	敲磨器B	(13.9)	(6.3)	(2.15)	(308.69)	Ⅲb(1)1,f	R	W
301	2153	RA15 炉2	北側pp	敲磨器B	14.3	8.3	4.1	656.54	Ⅱb(1)1	Y	W
301	2154	RA19	北西埋土	敲磨器B	(11.95)	7.95	4.55	(623.65)	Ⅱb(1)1,d	N	W
301	2155	RA23 pp2	焼土	敲磨器B	11.3	6.5	2.95	282.12	Ⅱb(1)1	N	W
301	2156	RA24	埋土1	敲磨器B	(13.15)	7.5	4.0	(468.17)	Ⅱb(1)1,b	N	W
301	2157	RD06	北半埋土6	敲磨器B	(15.7)	7.1	2.8	(470.55)	Ⅱa(1)2,b 石鏟Ⅰの転用	R	W
302	2158	RA07	南西埋土	台石	21.4	(24.2)	6.2	2500	片面に平坦面　擦痕	J	W
302	2159	RA18	石囲炉 No.1	台石	(30.5)	(19.0)	5.2	(3500)	片面に平坦面　擦痕	N	W
303	2160	RA03	埋土下位～床直遺物	石皿	20.0	14.8	3.0	1004.24	両面に溝状の凹み	M	W
303	2161	RA18	石囲炉 No.3	石皿	39	20.5	8	9380	片面に凹み	Z	W

※敲磨器B類の分類（P286参照）
断面形(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)・機能面(数)(a・b・c)・周縁の加工状況(1・2・3)・欠損状況(a・b・c・d・e・f)

※石材略号
A：頁岩　B：珪質頁岩　C：砂質頁岩　D：赤色細粒珪質岩
E：玉髄　F：滑石　G：黒曜石　H：桂化木
I：凝灰岩　J：緑色凝灰岩　K：粘板岩
L：流紋岩　M：砂岩　N：安山岩　O：安山岩（岩脈）
P：角閃石安山岩　Q：角閃石安山岩（岩脈）
R：細粒閃緑岩　S：礫岩　T：凝灰角礫岩
U：花崗閃緑岩　V：斑岩　W：玢岩
X：ペグマタイト　Y：ホルンフェルス　Z：デイサイト

※産地略号
W：和賀川流域、A：当楽沢、M：無地内沢、O：奥羽山脈、OK：奥羽山脈基盤。

第8表　石製品観察表

（　）は残存値

図版No	掲載No	遺構名	層位	器種	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
304	2162	RA09-PP10	南半埋土	石棒	(35.0)	10.0	8.0	(5000.0)	角柱礫？	N	W
304	2163	RA11	床直 No.3	石棒	19.2	4.9	4.0	400.0	角柱礫？	L	W
304	2164	RA12	埋土下位	石棒	68.8	8.7	6.5	5069.6	角柱礫？	L	W
304	2165	RA18	石囲炉 No.2	石棒	(25.0)	9.5	8.7	(4000.0)	角柱礫？	X	W
304	2166	RD16	北半埋土1層	石棒	23.8	7.8	7.1	2041.19	角柱礫？	L	W
305	2167	RA07	北西埋土上位	石剣	(10.6)	2.5	(1.0)	(25.66)	石剣	I	W
305	2168	RA18	北半埋土	石剣	(12.0)	2.5	1.2	(57.26)	石剣	L	W
305	2169	B IV w03	I d-10cm	鰹節形石製品	(10.4)	3.1	1.1	(45.12)		K	OK
305	2170	RD17	南半埋土	鰹節形石製品	14.4	2.7	(1.2)	69.48		K	OK
305	2171	RA24	埋土	燕尾形石製品	16.7	2.1	1.2	64.0	一端に貫通孔	L	W
305	2172	B III u22	I d-10cm	燕尾形石製品？	3.4	1.7	0.5	4.20	先端部のみ	K	OK
305	2173	D IV q06	I	男根状石製品	11.9	4.5	3.9	241.46	亀頭部あり・無文	J	W
306	2174	RA03-PP2	埋土	線刻礫	18.5	10.0	4.6	1118.10	・面に沿・一端に打痕・一側縁に稜	M	W
306	2175	B IV w11	I d-10cm	線刻礫	19.3	5.1	4.1	470.15	貫通孔1・2面に線刻	L	W
307	2176	RD15	南半埋土	岩偶	(3.0)	2.3	0.4	(2.37)	無文・頭部・腕部の表現	I	W
307	2177	B III u20	I d 30cm	岩偶？	(5.1)	4.1	0.9	(19.62)	無文	I	W
307	2178	RA05	：No.2	玦状耳飾り	3.1	(2.0)	0.5	2.14	玦状耳飾り：片面に窪み5あり	L	W
307	2179	RA07	南西埋土上位	玦状耳飾り	4.7	(1.6)	0.5	5.37	補修孔1	I	W
307	2180	RA08	南東埋土上位	玦状耳飾り	(3.3)	1.4	0.6	(2.08)		I	W
307	2181	RA09	南半埋土	玦状耳飾り	(3.95)	1.7	0.5	(4.16)		L	W
307	2182	RA09	埋土：No.2	玦状耳飾り	5.0	4.3	0.6	10.96		V	W
307	2183	RA11	南半埋土下位	玦状耳飾り	2.4	2.5	0.6	4.13		F？	不明
307	2184	RA13	南西埋土	玦状耳飾り	(2.6)	(1.9)	0.5	(2.51)	補修孔1	L	W
307	2185	RA18	北半埋土	玦状耳飾り	(2.5)	1.7	0.4	(1.75)		I	W
307	2186	RA23	埋土1ベルト	玦状耳飾り	(3.6)	(1.8)	0.5	(3.89)	補修孔1	F	A
307	2187	RD16	北半埋土1	玦状耳飾り	7.0	(4.3)	0.6	11.13	補修孔1	I	W
307	2188	RD51	北半埋土1	玦状耳飾り	(4.6)	2.2	0.5	(4.75)		L	W
307	2190	B IV y10	I	玦状耳飾り	(1.9)	(1.4)	0.5	(1.94)	補修孔1	F	A
308	2191	RA08	南半埋土	垂飾り	3.4	(1.7)	1.2	4.89	貫通孔1	L	W
308	2192	B IV w03	I d-30cm	垂飾り	(5.4)	3.3	0.7	(13.39)	貫通孔1	L	W
308	2193	B IV w10	I d 10cm	垂飾り	6.0	2.1	0.5	10.48	貫通孔1	F	W
308	2194	B IV x11	I d-10cm	垂飾り	(4.0)	3.0	0.4	(6.67)	貫通孔1	L	W
308	2195	RA09	南半埋土	石製模造品	(2.3)	(2.2)	0.7	(4.99)	2面に線刻	L	W
308	2196	B IV w01	I d-10cm	石製模造品	(3.0)	2.7	0.4	(5.06)	楕円？	J	W
308	2197	RA08	南西埋土下位	石製模造品	6.0	2.1	0.8	12.49	楕円・未穿孔	J	W
308	2198	RA19	北西埋土上位	石製模造品	3.4	1.8	0.4	3.15	楕円	I	W
308	2199	RA19-PP9	埋土	石製模造品	3.6	1.5	0.4	2.40	楕円	L	W
308	2200	RA27-PP4	埋土	石製模造品	(3.9)	1.6	0.4	(4.51)	楕円	L	W
308	2201	RA07	東半埋土下位	石製模造品	4.5	3.1	0.7	10.38	涙目状	J	W
308	2202	RA09	南半埋土	石製模造品	4.0	2.3	1.0	8.79	涙目状	I	W
308	2203	RA13	北東埋土	石製模造品	6.3	4.4	1.1	30.37	涙目状	L	W
308	2204	RA23	埋土	石製模造品	4.6	3.6	0.7	10.91	涙目状	L	W
309	2205	RA05	南西埋土下位	石製模造品	9.0	4.3	0.8	44.82	板状・未穿孔2	L	W
309	2206	RA07	床直：No.16	石製模造品	(7.8)	4.0	0.6	(29.49)	板状・未穿孔2、未切断	L	W
309	2207	RA15	北半埋土	石製模造品	4.6	3.0	0.6	7.7	板状	I	W
309	2208	RA07	北西埋土上位	石製模造品	4.5	4.4	1.8	58.60	円盤状	N	W
309	2209	B IV w01	I d-10cm	石製模造品	3.5	3.0	0.7	8.80	円盤状	L	W
309	2210	B IV w24	I d-10cm	石製模造品	5.2	4.7	0.6	15.86	円盤状	J	W
309	2211	C IV l15	I c	石製模造品	5.7	4.9	1.2	38.09	隅丸方形状・両面に線刻？	I	W
309	2212	B IV w02	I d 10cm	石製模造品	4.0	1.5	1.3	7.97	棒状	I	W
309	2213	RA07	南東埋土上位	石製模造品	(2.3)	(2.5)	2.1	(12.73)	石玉？・未穿孔1	I	W

※石材・産地の略号は石器観察表を参照のこと。

Ⅶ. 考察とまとめ

はじめに、調査成果の概要を述べ、次にいくつかの事項について若干の考察を行い、総括したい。

1．遺跡の性格―調査成果の概要―（第310図）

（1）遺跡の立地

遺跡は、和賀川右岸の河岸段丘上に立地する。標高289m～290mで、和賀川との比高は約60mである。遺跡の面積は約150,000㎡でB地区は45,000㎡である。遺跡の現況は山林である。

（2）検出された遺構

旧石器時代の石器集中区2カ所、縄文時代の竪穴住居跡31棟、土坑類50基、墓壙1基、陥し穴状遺構2基、焼土遺構5基、集石遺構1基、土器埋設遺構16基、遺物包含層1である。

（3）遺構の占地―縄文時代―

縄文時代の遺構は、和賀川に張り出した段丘の北側に占地しているようである。このことは検出された遺構の配置と遺物包含層の分布や遺物の出土状況から理解される。ただし段丘北西側は削平を受けて基本土層Ⅳ層まで削られており、遺物包含層は残存していない。併せて調査した範囲が部分的であるので遺物包含層と遺構の分布について明確にしえない部分があるが、縄文時代前期の集落の範囲は遺物包含層と遺構の分布の広がる段丘北側の約16,000㎡と推定される。

（4）出土遺物

出土した遺物は、旧石器・縄文土器・土製品・石器・石製品・炭化樹種・植物遺体（堅果類）である。

a．土器：縄文土器は大コンテナ（T40：30×40×30cm）で100箱（総重量1460.651kg）が出土している。時期は、縄文時代前期に属するものが多く、後葉～末葉が主体を占める。他に中期・後期が少量ある。

b．土製品：6点で、土偶3点、土玉3点が出土している。

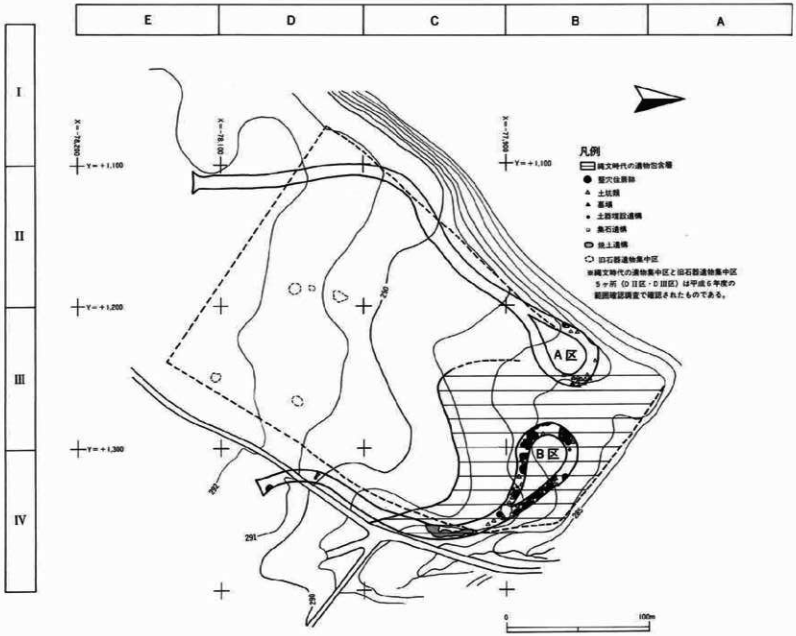
c．石器：大コンテナ（T40：30×40×30cm）で20箱（総重量171.2467kg）が出土している。製品として登録した石器の総点数は3950点である。内訳は、石鏃601点、尖頭状石器23点、尖頭器4点、石錐43点、石匙275点、石篦237点、不定形石器1020点、両極石器37点、異形石器1点、打製石斧19点、磨製石斧25点、石錘566点、敲磨器類785点、台石・石皿類19点である。他に接合資料4点、石核295点がある。

石器の器種組成は、石器全体の中で剝片石器では石鏃、石匙、石篦、礫石器では石錘、敲磨器Ac類（凹石）と敲磨器B類（いわゆる特殊磨石）の占める割合が高い。石材は、剝片は頁岩、礫石器では安山岩、硬砂岩が多く使用されている。いずれも和賀川流域もしくは奥羽山脈産であることから、遺跡周辺から採取される原石を使用していたようである。黒曜石の石器と剝片も出土している。多数の剝片類や石核の出土状況から当地で石器製作が行われていたものと思われる。

d．石製品：113点出土している。内訳は、石棒5点、石剣2点、鰹節形石製品2点、燕尾形石製品2点、男根状石製品1点、線刻礫2点、岩偶2点、玦状耳飾り19点、垂飾り4点、石製模造品74点である。

石材は、一部に滑石が使用されている他、加工しやすい凝灰岩が使用されている。産地は和賀川流域産である。製品の素材となる未製石が出土していることから、当地で石製品が製作されていたものと思われる。

e．自然遺物：炭化樹種・植物遺体が出土している。炭化材はナラ・クリが多く出土している。植物遺体の種類にはクルミ（RA15出土）・クリ（RD12・42出土）・ドングリ（RA09-PP10・RD11出土）がある。このうち、RD11土坑の埋土中位からまとまってドングリ類が出土している。琥珀片がRA07から出土している。



第310図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置図

2．旧石器時代

今回の調査で確認された旧石器の集中区は２カ所である。以下に概要を記す。

段丘北側の調査区北側で２ケ所の集中区が確認された。段丘の北側は縄文時代前期の集落跡であり、同時代の遺構の埋土からも旧石器の出土が認められたことから、段丘北側においては今回発見された地点以外に他にも集中区の存在が予想される。今回の発見された２地点は、縄文時代の遺構集中区にあって遺構の空白域にあたり、同地点に縄文時代の遺構が構築されていなかったことから、集中区は破壊されず残っていたものと推定される。CⅣb12グリッドで遺物の分布が極端に少ないのは、RA14住居跡が構築されたためである。

今回、確認された集中区２カ所（第１集中区・第２集中区）には以下のような特徴がある。

１．峠山牧場Ⅰ遺跡で発見された集中区では段丘の最も北側に位置する。

２．第１・第２集中区の規模・平面形は径３ｍ前後で、円形を基調とすると思われるが、詳細は不明である。

３．第１・第２集中区の間は約５ｍほど離れている。

４．遺物の出土層位はⅡ（漸移層）～Ⅲａ層（ローム）の上位で出土している。

５．石器の器種組成はナイフ形石器・彫刻刀形石器・削器・掻器・石刃などから構成される。

６．石材は頁岩が卓越し、産地は和賀川流域である。

その他、今回の調査で確認された集中区２カ所の特徴として、彫刻刀形石器がまとまって出土したことが挙げられる。これらは規格性が高く、いずれも同一の技法により製作し、あるいは製作しようとした意図が読みとれるものである。

彫刻刀形石器の製作技法は、石刃技法により製作される石刃を素材とし、主要剥離面（腹面）の先端部に細部加工が施される。この細部加工は打面調整を目的に行われたものと思われ、（腹面の）左側縁上端にのみ施されることが多い。その後に背面の右上方から一撃を加えて彫刻刀面を作っている。刃部を上からみるとＺ字状になるこれらの彫刻刀は、いわゆる神山型彫刻刀に類似する。同様の彫刻刀形石器は、岩手県では、耳取Ⅰ遺跡Ａ地区や峠山牧場Ⅰ遺跡Ａ地区などで確認されているが、集中区としてまとまって確認された例はないようである。ナイフ形石器の製作技法は、基部の両側縁に細加工を施し、打面を取り除き、基部を尖らせるものである。欠損品が多く不明な部分が多いが、先端部は加工が行われないか、もしくは一側縁に行われているものと推定される。これらの技法によるナイフ形石器の製作技法は、いわゆる杉久保型ナイフと呼ばれるものに類似する。

集中区の性格としては、長さなど整えられた石刃、ナイフ形石器から転用された彫刻刀形石器、数度に及ぶ刃部再生を行っていること、石核が確認できないこと等から素材（石刃）を持ち込んでの製作跡または使用した場所と考えられる。問題点として、彫刻刀形石器の点数に対して彫刻刀削片が少ないことが挙げられる。集中区が両方とも調査区域外に広がる可能性をもっていることを考慮する必要もあるが、未製品の可能性がある彫刻刀形石器が多いこととも関わる問題かもしれない。

今回、検出された集中区２カ所の帰属する時代は、石刃技法の用いられた後期旧石器時代に属するものと考えられる。また原位置を留めていないが細石刃が出土していることから、２枚の文化層の存在が想定される。

今回の調査で確認された集中区２カ所は、平成６年度に範囲確認調査で確認された集中区５箇所とは地点が離れており、出土した石器の様相も異なるものである。峠山牧場Ⅰ遺跡の旧石器時代の多様な性格の一端を確認することができたものと思われる。峠山牧場Ⅰ遺跡の南側のＡ地区やＣ地区で確認された膨大な旧石器を含めて、広く峠山牧場Ⅰ遺跡から出土した旧石器の特質を検討し、総括することが今後の課題である。

3．縄文時代

縄文時代の遺構・遺物は、和賀川に張り出す台地の北端に集中する。調査区が遺跡全体に対して部分的なことから推測の域を出ないが、平成６年度の範囲確認調査の結果を併せて考えると、遺物包含層の広がり、遺構の分布などから、おおよその集落の範囲は推定が可能である。検出された遺構には、竪穴住居跡、土坑、墓壙、陥し穴状遺構、焼土遺構、集石遺構、土器埋設遺構などがある。以下、個々の遺構について述べる。

遺構（第311・312図）

（１）竪穴住居跡

竪穴住居跡は31棟確認されている。時期は前期後葉～末葉を主体とするが、中期末葉が１棟ある。いずれも部分的な調査であり不明な部分が多いが、規模・形状から大きく２種類に分類される。

Ａ類：平面形は円形基調で、規模は径４～５ｍ程の住居跡である。RA14・22住居跡などが相当する。

Ｂ類：平面形は方形基調で、規模は径４×８ｍ以上の長方形を呈すると考えられる住居跡である。RA07・08・09住居跡など12棟が相当する。今回の調査で確認されたＢ類住居跡には以下のような特徴がある。

①棟数：12棟。

②位置：台地の北端。

③形態：隅丸長方形８・長楕円形１・不明３。

④規模：短軸4.6～5.65m×長軸8.8m以上（註１）。

⑤長軸方向：おおむね南北方向６、東西方向３、その他３。

⑥増改築有無：２～３回、長軸方向、短軸方向の両方向に見られる。

⑦炉跡の形態：地床炉で住居跡の長軸中心線上に直列に複数並ぶ。

⑧柱間：長軸中心線を中心にして壁際に対に配置される。２列６本以上、柱の規模は径40～60cm、深さ50cm～80cm、柱間280～350cm。住居跡間で若干の差がある。

⑨時期：縄文時代前期後葉～末葉を主体とし、遺構の重複や出土遺物から、３期以上の時間差をもつものと考えられる。

⑩その他として、Ｂ類の住居跡は、台地の先端である北側（調査区ＢⅣｐ３グリッド付近）を中心に長軸が設定され、放射状に配されている。これらの住居跡は、中村良幸「大形住居」（『縄文文化の研究』８：1982）の分類によれば、Ｂ-ｄ類（平面形は（隅丸）長方形・長楕円形を呈し、主たる炉跡が複数あり、直列に並ぶ）に相当する。個々の住居を時期別にみると平面形が不整な形状（楕円）から定形（長方形）に推移する傾向がある。

今回、住居の出入口の施設や住居内における特殊な遺物の出土状況などは確認されていない。

（２）土坑類

土坑は50基検出されている。ここでは西側でまとまって検出された定形的な土坑群12基について検討する。ただし、この地点は著しく削平を受けており、消滅した土坑も少なからず存在する可能性があり、確認できた土坑についても深さなどに不明な部分が残ることを前提とする。土坑群は平面形から大きく二つに大別される。ひとつは平面形が円形を呈し、断面形がフラスコ状を呈するタイプ（RD01・06など）。規模は開口部径140～240cm、底部径130～230cm、深さ125cm以上である。底部には副穴を伴い、壁に向かって放射状に広がる溝をもつ。このタイプでは、RD11土坑の埋土の中位から炭化した堅果類が出土している。種実はドングリであるとの鑑定結果を得ている。もうひとつは平面形が楕円形を呈するタイプ（RD02・03など）である。規模は短軸160cm～170cm×長軸240～260cmである。深さは50cm以上で、断面形は明確に把握していない。

これらの土坑の特徴として、底部中央の副穴よりも深い副穴が壁際に対に2本伴うこと（RD02・03・06・09）、副穴には柱あたりが確認できたことが挙げられる（RD06・09）。土坑の上屋構造に関わる柱穴状土坑の可能性がある。これらの土坑からは、主に縄文時代前期末葉の土器が出土している。

（3）墓壙

調査で、墓壙と認識したのはRD04墓壙の1基である。位置は土坑群がとまって検出された地点であるが、底部に副穴がないこと、平面形が隅丸方形であることから当初から墓壙として構築された穴の可能性が高いものと思われる。規模は235×165cm、平面形は隅丸長方形で、深さは60cmである。長軸はほぼ東西方向である。埋土は地山起源のローム土で、埋め戻された人為堆積である。底部付近に土器が散在し、赤色顔料が散布されたと思われる痕跡があった。人骨などは出土していないが墓壙の可能性が高いものと思われる。

（4）焼土遺構

台地の東側を流れる沢に向かう東斜面で大形の焼土遺構（RF04）が検出されている。他の遺構との重複はない。焼土の範囲が調査区域外に広がることから、最終的な規模は不明であるが、最大長30m×4.6m以上で、厚さは20cmである。色調はにぶい明赤褐色で、同遺跡における住居内の炉跡の焼土と比較すると焼成が悪いのか、明瞭性に欠ける。出土遺物は、土器が少なく、石核・剥片（接合剥片）、石篦が比較的多く出土していることが特徴として挙げられる。時期は、縄文時代前期末葉の可能性が高い。

（5）集落跡

集落の範囲は、遺物包含層と遺構の広がりから、南北最大長150m、東西長最大150m、面積16,000m²に及ぶものと推定され、舌状に張り出す台地の北端に占地している。集落は、大きく竪穴住居跡と土坑類で構成される。遺構の配置は、大きく西側に土坑群（貯蔵穴群）、東側には竪穴住居跡群が配置されている。竪穴住居跡B類については、台地先端にあたる調査区の北端（BⅣp3グリッド付近）を中心に長軸が設定され、放射状の配列が認められる。BⅣp3グリッド付近では土坑が2基検出されているが、他に遺構（集石等）は検出されず、総じて周辺より遺構の密度は希薄である。A類の住居跡はB類の住居跡の周囲に位置しているようである。上記の集落における遺構の配置は、調査の結果から考えられる可能性のひとつである。すなわち台地の北西側で土坑群がまとまって検出された地点は、基本土層Ⅳ層まで削平されて、遺物包含層は残存しておらず、掘り込みの浅い遺構は消滅している可能性が高い。遺跡の現状と遺跡全体の一部について行われた調査の結果であることを踏まえて、ここで述べたことの妥当性は、今後、同地点を調査する際の課題になるものと思われる。

遺物

出土した遺物には、縄文土器、土製品、石器、石製品がある。特徴について以下にまとめてみたい。

（1）縄文土器

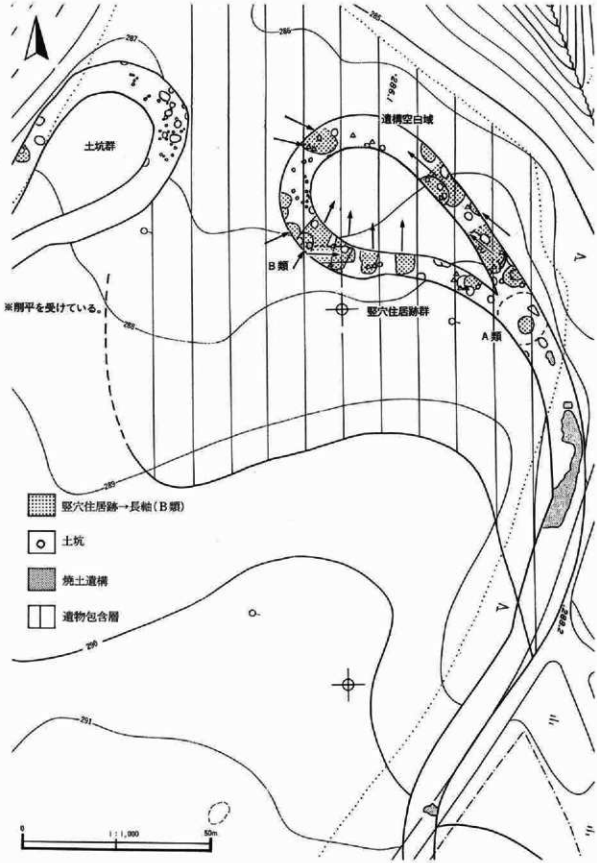
峠山牧場Ⅰ遺跡B地区から出土した土器（掲載・不掲載含めて）の特徴として、以下の点が挙げられる。

a．時期

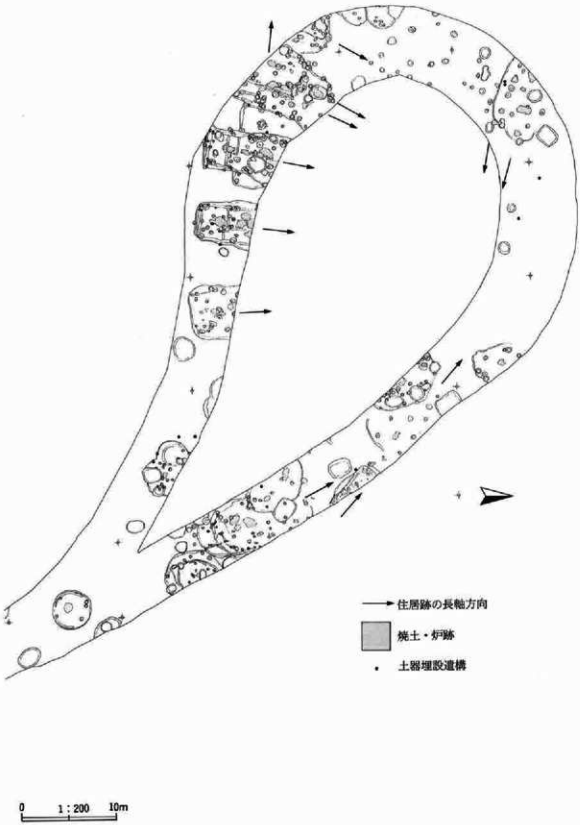
縄文時代前期・中期・後期の土器が出土しており、前期後葉～末葉を主体とする。従来の土器型式と照合すると、前期では大木2b・4・5・6式、中期では大木7a・7b・10式がみられる。これらは当地方における該期の土器型式であるが、この他に系統の異なる土器も少量ながらみられる。

b．土器の胎土・焼成と使用の痕跡について

出土した土器の全般（とくに前期後葉～末葉の土器）について次のことが指摘できる。①胎土に礫が多く混入し、脆い。②摩滅が著しい。③煤の付着が多く、とくに球胴形深鉢の脚部内面に多い。①は、他の時期



第311図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区：縄文時代集落概念図



第312図　峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区遺構配置図(拡大)

に比較して、該期の土器に一応は言及できることと思われるが、②・③については、土器そのものの脆弱さが、胎土や焼成など製作技法に関わるものか、あるいは使用頻度に関わるものか、同時期の他遺跡から出土した土器との比較検討が今後の検討課題である。

c．オオバコを原体とする文様を施文する土器について

No.163・316の土器の文様については、繊維などに撚り加えた縄の押圧によるいわゆる縄文ではなく、「オオバコ」の回転圧痕文と指摘されている文様に類似する（註２）。No.163は口縁部に横位の側面圧痕、胴部に横位の回転圧痕文、No.316は胴部に縦位の回転圧痕文を施文している。岩手県内では、北上市滝ノ沢遺跡(縄文時代前期後葉～中期前葉）や盛岡市上八木田Ⅰ遺跡（前期後葉～末葉）で出土例がある。本遺跡から出土した土器については、縄文時代前期後葉～末葉と考えられるが、この類の土器については県内ではまだ事例が少ない。原体そのものや時期的な問題について、今後、事例の増加を待って検討していく必要がある(註３)。

（２）土製品

土偶が３点、土玉３点が出土している。土偶はいずれも欠損品である。特徴としては、短い腕を張り出す。頭部・胸部・腕部に貫通孔をもつ。類部から胸部に横長の窪みを持つ。乳房の表現は行われない。腹部にはボタン状の貼付を伴う。文様は半截竹管や棒状工具による施文をすることなどが挙げられる。以上の特徴を持つ土偶は、従来、前期末葉から中期初頭の遺跡で出土する「板状Ｏ脚土偶」（註４）と呼ばれる形態の土偶に類似するものである。時期は、縄文時代前期末葉に属するものと思われる。今回の調査では、使用の状態を類推できる特徴的な出土状態の事例は確認できていない。

（３）石器

峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区から出土した石器の特徴には、次のことが挙げられる。

①石器の量が非常に多い。製品の他に剥片類・石核類も多数あることから、周辺より石材を運びこみ、石器を製作していたようである。

②器種では、石鏃、石匙、石錐、石鏨、石錐、凹石、特殊磨石の占める割合が高い。また、従来から指摘されてきたことであるが、各器種により時期を反映する特徴的な形態がみられるようである。

石鏃は凹基無茎鏃が多い。石匙は縦型が多く、また先端が尖る形態（註５）や抉れる形態がある。後者は赤色に拘った石材の選択がおこなわれたようである（註６）。石錐は、他の石（敲磨器類）と併用しているものも多く、多量に必要とされた石器と思われる。今回の調査では、使用状態を類推できる出土状態を示すものはなかった。特殊磨石は、石器全体の中で占める割合はもとより、敲磨器類（円形を呈する擦石や半円状偏平打製石器）のなかで占める割合が高い。その起因するところについては、石器の用途についての問題とともに、今後、該期の周辺遺跡と比較しながら、検討していきたい。

（４）石製品

石製品は113点出土している。該期は石製品の出土量の多い時期であるが、峠山牧場Ⅰ遺跡も同様で、縄文時代前期に特徴的な男根状石製品や玦状耳飾り、日本海側との交流を示唆する燕尾形石製品・鰤節形石製品が出土している。石材は和賀川流域産で周辺の石材を使用しており、凝灰岩・緑色凝灰岩を多く用いている。

岩偶については、円筒式土器に伴う岩偶として稲野氏の集成がある（註７）。それによると、津軽・米代川流域において多く発見されており、分布域を反映したかたちで形態的な特徴が指摘されている。峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区で出土したNo.2176は、小型、無文で、頭と腕を括れをもって表現しているのが特徴で、北上市蟹沢館遺跡出土の事例に近いようである。岩手県内における事例が少ないなかで、同一地域における事例を提示できたのものと思う。

4．総括

ここでは、調査成果を総括し、今後の課題を提示しておわりとしたい。今回の調査で峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区を特徴づけることになったのは、縄文時代前期後葉～末葉の集落跡としての性格である。遺構では、大形住居跡が放射状の配列を示し、貯蔵穴と思われる土坑群がまとまった配置を示すことに特徴がある。

大形住居跡の検出事例は県内でも多くあるが、その配置については遺跡によって様相が異なる。峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区と同様に、大形住居が放射状の配列を示すことについては、既にいくつかの類例が報告されており、秋田県協和町上ノ山Ⅱ遺跡、栃木県宇都宮市聖山根古谷台遺跡は全国的に著名であり、岩手県では、雫石町塩ヶ森Ⅰ遺跡、北上市蟹沢館遺跡などの事例がある。放射状の配列を示すためには、集落を形成する際にある程度の広さ（面積）の土地を必要とするのは自明のことであるが、いずれの遺跡も周辺より高く、広い面積を有する台地上の地形に立地する傾向がある。

大形住居跡の用途については、集会所・公民館説、共同作業所説など諸説があり、従来、日本海側において類例が多く報告され、豪雪地帯における生活との関わりを指摘する根拠ともなってきた。岩手県においても内陸での事例報告がこれを指示してきたように思う。しかし、最近は岩手県でも太平洋側（北上山系）で、従来より旧い時期の大形住居跡の検出事例が報告されつつある。大形住居の起源と、放射状を示す配置の問題は、別の属性として分けて考えていく必要がある。今後の課題としたい（註８）。

遺物では、石器の量の多さが特徴のひとつであり、器種では石鏃、石匙、石篦、石錐、擦石、凹石が多い。石錐については、該期の遺跡では出土量の多い石器として報告されている（註９）。擦石については、断面が三角形あるいは多角形を呈する特殊磨石といわれる石器に該当するものが多く、一方で半円状偏平打製石器と呼ばれるものに該当する石器は少ない。後者は東北北部の円筒土器文化圏に伴う特徴的な石器であり、このことは、該期の集落における地域相を反映している可能性もある。今後の検討課題である。

現在、峠山牧場Ⅰ遺跡の立地する場所は、錦秋湖の南側において一際高く突出した段丘として、おそらく当時からの原風景を保って、今もなお我々にその存在感を示している。古くこの地に生きた人々の歴史を考えるうえで本報告書が一助になればと思う。

本報告をまとめるにあたり、多くの諸先生、職場の先輩・同僚に沢山の貴重なご指導をいただいた。また整理を担当していただいた期限付職員の方々には、拙ない指示にもかかわらず、的確・迅速に作業を進めていただいた。厚くお礼申し上げたい。日本道路公団東北支社・湯田町教育委員会には、多くの便宜を図っていただいた。お礼申し上げる次第である。

註

(1) 推定の域をでないが、長方形の住居跡の柱配置を２対５本の10本柱と想定した場合、RA07･09住居跡を例にすると、長軸は16m程になるものと推定される。

(2)「オオバコ回転文」については稲野彰子氏のご教示による。

(3) 北海道では、縄文時代中期末葉から後期初頭に「オオバコ回転文」を施文する土器が見られることが指摘されている（文献：北海道文化財研究所　1990『茶津貝塚』）。

(4) 稲野1998。

(5)「石匙のつまみ（摘）と同様の作り方をしたつまみを有するが、両面あるいは半両面調整を主体とし、器中軸線で左右対称となる石器」で従来「有摘石器」と呼ばれてきた形態である。秋田県文化財調査報告第166集。

(6) 該期の遺跡の石器の器種組成をみると石匙なかで多数ではないが一定の割合を占る形態と思われる。根古谷台遺跡では墓壙の副装品として使用されている。

(7) 稲野1997では、前期大木式の土偶の形状に近いもので、その影響を受けたものではないかと推測している。

(8) 近年、山田町沢田Ⅰ遺跡など岩手県沿岸部でも前期前葉の大形住居跡が発見されている。山田町沢田Ⅰ遺跡や遠野市新田

Ⅱ遺跡は良好な資料になるものと思われる。

(9) 北上市滝ノ沢遺跡・蟹沢館遺跡・煤孫遺跡・高畑遺跡などの事例がある。

参考文献

秋田県教育委員会　1981『杉沢台・竹生遺跡　発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告第83集。

秋田県教育委員会　1988『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅱ－上ノ山Ⅰ遺跡・館野遺跡・上ノ山Ⅱ遺跡－』秋田県文化財調査報告第166集。

秋田県教育委員会　1989『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅱ（補遺）－上ノ山Ⅱ遺跡－』秋田県文化財調査報告第186集。

岩手県立博物館　1982『岩手の土器－県内出土資料の集成－』。

岩手県立博物館　1996『野牛とその時代－旧石器時代のいわて』。

宇都宮市教育委員会　1988『聖山公園遺跡Ⅴ－根古谷台遺跡発掘調査概要－』宇都宮市埋蔵文化財調査報告第24集。

宇都宮市教育委員会　1992『よみがえる太古　うつのみや遺跡の広場－史跡根古谷台遺跡保存整備事業報告書－』

北上市教育委員会　1983『滝ノ沢遺跡』北上市文化財調査報告第33集。

北上市教育委員会　1985『高畑遺跡発掘調査報告』『北上市立博物館研究報告書』第５号。

北上市教育委員会　1989『滝ノ沢地区遺跡発掘調査概報』北上市文化財調査報告第53集。

北上市教育委員会　1991『滝ノ沢遺跡Ⅲ』北上市文化財調査報告第63集。

北上市教育委員会　1993『蟹沢館遺跡発掘調査概報』北上市埋蔵文化財調査報告第14集。

北上市教育委員会　1995『横町遺跡発掘調査概報』北上市埋蔵文化財調査報告第21集。

岩埋文　1982『塩ヶ森Ⅰ遺跡』岩埋文第31集。

(財)岩埋文　1994『煤孫遺跡発掘調査報告書』岩埋文第196集。

(財)岩埋文　1994『大渡Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第215集。

(財)岩埋文　1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。

(財)岩埋文　1995『上八木田Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第227集。

(財)岩埋文　1996『耳取Ⅰ遺跡Ａ地区発掘調査報告書』岩埋文第232集。

(財)岩埋文　1996『峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区範囲確認調査報告書』岩埋文第233集。

(財)岩埋文　1996『鳴岡崎上の台遺跡発掘調査報告書』岩埋文第240集。

(財)岩埋文　1997『本内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第271集。

東北歴史資料館　1981『旧石器時代の東北』。

(財)北海道埋蔵文化財センター　1986『登別市上Ｂ遺跡・Ｃ地区』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第27集。

(財)北海道埋蔵文化財センター　1987『木古内町建川２・新道４遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第43集。

北海道文化財研究所　1990『茶津貝塚』北海道文化財研究所調査報告第５集。

稲野彰子　1991「大木式土器にみられる球胴形深鉢について－文様の多系統性に注目して」『北上市立博物館研究報告書』第８号。

稲野裕介　1997「円筒土器に伴う岩偶(2)」『上偶とその情報』研究論集(1)」。

稲野裕介　1998「北上川中流域における板状Ｏ脚土偶とそれ以外の形態について」野村先生還暦記念論集『北方の考古学』。

小川　望　1985「縄文時代の「大形住居」について(その１)－その定義と機能をめぐる若干の考察－」『考古学研究室紀要』第４号。東京大学文学部。

菊池強一　1975「大台野遺跡」『日本の旧石器文化』２　雄山閣。

興野義一　1967～1970「大木式土器理解のために(Ⅰ)～(Ⅵ)」『考古学ジャーナル』13・16・18・24・32・48。

興野義一　1970「大木５ｂ式土器の提唱」『古代文化』22－4

工藤竹久　1982「北日本の石鏃・石鏃について」『北奥古代文化』第９号。

佐藤浩彦　1999「岩手県遠野市新田Ⅱ遺跡-縄文時代前期の大型竪穴住居群」『考古学ジャーナル』451。

白鳥良一　1991「前期大木式土器様式」『縄文土器大観』１、小学館。

富樫泰時　1996「杉沢台遺跡大形住居跡考」『画龍天晴-山内清男先生没後25年記念論集』。

中村良幸　1982「大形住居」『縄文文化の研究』８　雄山閣。

山内清男　1979「日本先史土器の縄紋」先史考古学会。

山田晃弘　1984「彫刻刀形石器の製作技術」『考古学ジャーナル』229。

Ⅷ. 分析・鑑定

1．峠山牧場Ⅰ遺跡B地区^{14}C年代測定

パリノ・サーヴェイ株式会社

（1）試料

試料は、峠山牧場Ⅰ遺跡B地区（岩手県和賀郡湯田町所在）より採取された炭化物3点（No.1～3）である。試料が採取された層位は、縄文時代前期頃と考えられる土器を包含する黒褐色土層である。採取深度は、地表面から30cm～50cmである。今回は、土器が出土した層の年代を確認するため、^{14}C年代測定を行う。

（2）測定

測定は、学習院大学放射性炭素年代測定室が行った。なお、^{14}Cの半減期として、LIBBYの半減期5570年を使用した。

（3）結果および考察

結果は、表1に示した。

表1　^{14}C年代測定結果

No.	試料の質	Code No.	年代（1950年よりの年数）
1	炭化物	Gak-18454	4410±90y. B. P.　2460 B. C.
2	炭化物	Gak-18455	5460±90y. B. P.　3510 B. C.
3	炭化物	Gak-18456	4800±90y. B. P.　2850 B. C.

年代測定試料が得られた層位は、縄文時代前期頃の遺物包含層とされている。各試料の採取位置については、No.2とNo.3がほぼ同一位置であり、No.1がNo.2・No.3よりやや上位とされる。今回、得られた年代値は、キーリー・武藤の研究事例にしたがえば、No.2とNo.3は、縄文時代前期に相当し、No.1は、縄文時代中期に相当する。No.1が採取された位置（層位）は、No.2・No.3よりやや新しい年代になるのではないかと推測されていることと調和的である。

＜参考文献＞

キーリー，C．T・武藤康弘（1982）縄文時代の年代．加藤晋平他編『縄文文化の研究』1，P.249-250．雄山閣。

2．植物遺体

渡辺　誠

(1) 出土状態

岩手県埋蔵文化財センターより調査の機会を与えられた植物遺体は、同県和賀郡湯田町峠山牧場Ⅰ遺跡B地区で1996年に発掘調査されたものである。その時期は縄文時代前期である。

資料は6件で遺構・層位は次のとおりである。

1：RD11土坑　　西半埋土5層
2：RD12土坑　　南半埋土2層
3：RD42土坑　　北半埋土1層
4：RA09住居跡-PP10　　北半埋土2層
5：RA15住居跡　　南半埋土
6：BⅢv23グリッド　　Ⅰd層-20cm

その時期は、縄文時代前期末～中期初頭である。

(2) 植物遺体の種類

出土した植物遺体は、次の3種子類である。

1．くるみ科オニグルミ　Juglans　mandshurica subsp. Siebodiana MAXIM.
2．ぶな科クリ　Castanea　crenata SIEB et Zucc.
3．ぶな科コナラ属　Quercus sp.

コナラ属はいわゆるドングリ（推定ナラ類）で、3種とも東北日本の落葉広葉樹林帯に代表的な樹木であり、それらの実は縄文時代の重要な食料資源であった。クリは甘みがあり、すぐ食べることができ、縄文時代草創期より食されている。これに対しオニグルミは一定の期間乾燥させる必要があるが、後期旧石器時代より食されている。ドングリ類の食用化はアク抜きの技術と関係があり、その道具としての土器の起源・発達と密接な関係がある。

なお、これら以上に重要な食料資源であったトチがみられず、その食用化が縄文中期であることを、間接的に証明していると理解される。

これらの遺構・層位別の出土数量との関係は、第1表に示すとおりである。遺構による種類の片寄りが見られ、興味深い。

(3) 種別の検討

1．オニグルミ(写真1-5・6)

オニグルミは川沿いの適湿の地に群生する落葉高木で、東北日本の落葉広葉樹林帯の代表的な樹木である。その核内の種子は脂肪に富み美味で、9～10月に熟す。材も有用である。

酸化して黒色化した核が、完形に近い1例を含めてBⅢv23グリッド（Ⅰd層-20cm）より、16.97g出土している（第1表）。完形に近い例の重量は2.05gであり、総重量をこれで除すと約8個体分となる。RA15住居跡（南半埋土）では、破片0.57g出土している。

2．クリ(写真2・3・5)

山野に普通にある落葉高木で、同様に東北日本の落葉広葉樹林帯の代表的な樹木である。その種子は甘く美味であり、9～10月に熟す。材も有用である。

クリは、完形品2点の他に破片3.81gが出土している。いずれも小型で、長さの平均1.35cm、幅の平均1.47cmである（第2表）。平均重量は0.57gで、破片の重量を除すれば、約6個体分となる。

少量ながら、RD42土坑からは他の種子がみられず、本来この土坑はクリの貯蔵穴であった可能性が高い。

3．ドングリ類(写真1・4)

ドングリ類は、RD11土坑（西半埋土5層）、RA09住居跡（北半埋土2層）より、まとまって出土している。このうち前者はフラスコ状貯蔵穴であり、その意義については次項で検討することとする。

俗にドングリ類と総称される堅果類は、ぶな科のコナラ属、シイノキ属、マテバシイ属などの種子類である。それらにはそのまま食べることのできる種類と、アク抜きをしないと食べられない種類とがある。そしてアクの成分であるタンニンの含有量によってアク抜きの方法に違いがあり、製粉の有無によっても違いがある。これらに基づいて、筆者はドングリ類をA～D類に大別している（第3表）。

A類は、ドングリまなこの語源となったまんまるいクヌギの仲間である。これらは粒のままの場合は加熱処理＋水さらし、製粉した場合は水さらしのみでアク抜きができる。

B類は、ナラ類で、側面が楕円形を呈す。アク抜きの方法はA類と同じである。岩手県下ではシダミなどと呼ばれ、近年でも食べていた地域がある。

東北日本に多いA・B類に対し、C類は西南日本に多いカシ類である。側面はB類と同じく楕円形を呈す。これは粒のままでも水さらしのみでアク抜きができる。

D類は、アク抜きの入らないシイの実の仲間で、カシ類中例外的にイチイガシもこれらに含められる。C類同様西南日本に多い。それらの側面形は、ツブラジイは小型円形、スダジイは水滴形、そしてマテバシイは、太くて長くて、マテバシイ形を呈する。

したがってアク抜き不要のD類や水さらしのみのC類は西南日本に、加熱処理＋水さらしの方法も必要なA・B類は東北日本に多いというような地域性が認められるが、製粉すれば、そうした地域性とは無関係にすべて水さらしのみでアク抜きができるという側面もある。

本遺跡出土例の側面形はすべて楕円形で、B類またはC類である。ある特徴からカシ類とイチイガシとの区別は明確で、本遺跡にはまったくそれがみられず、D類は皆無である。そして中の実（子葉）だけになると、B・C類の識別は困難である。しかし食生活の研究には識別が必要であり、その一つの方法として筆者は計測値を記録することにしている。

その計測値は第4表に示すとおりである。長幅指数の平均値は、RD11土坑例は1.60、RA09住居跡例は1.71で細長く、西南日本の諸例と比較するとその差は明らかである。例えば、鹿児島県加治木町千迫遺跡(縄文後期）では1.45、同垂水市柊原貝塚（同）では1.49、同鹿児島市草野貝塚（同）では1.45、福岡県椎田町山崎遺跡（同）では1.49である。この地域差を直ちにカシ類とナラ類の種の差ということはできないが、さらに資料を累積すれば明確になってくる可能性がある。

また本遺跡は、奥羽山脈のなかに位置しており、カシ類とは無縁の地域であることも考慮して、本遺跡出土のドングリ類はナラ類であると、推定しておくことにする。

(4) 貯蔵穴の意義

農山村の日本の伝統的な社会では、植物質食料の貯蔵に当たっておおまかにみて、

生貯蔵-短期貯蔵-穴貯蔵

乾燥貯蔵-長期貯蔵-屋根裏貯蔵

の2方法が行なわれてきている。現代でも冬期の生鮮な野菜は穴を掘って行われていて、特別なことではない。これは縄文時代でも同じであり、後者の場合、遺構として残りにくいだけにすぎない。そして縄文時代の貯蔵穴を検討すると、a．取り出されないまま植物遺体が充満して残っている場合、b．取り残しがみられる場合、c．取り出されて空の場合、d．廃棄穴に転用されている場合、そして、e．墓壙に転用されている場合などがみられる。

本遺跡の RD11・42土坑はbの場合に相当する。

しかし、両者には貯蔵の目的に若干の差異がある。前者のドングリ類貯蔵は、よく乾燥させて長期保存させるのに対して、皮むきやアク抜きが手間にならないようにその冬食べる分だけを短期生貯蔵することに目的がある。

これに対して後者のクリ貯蔵は、生のクリを冬期の期間だけ穴に貯蔵し、貯蔵というより甘みを増やすことの目的がある。クリの実の穴貯蔵は、岩手県・福島県・新潟県・山梨県・京都府・および韓国の場合などについて調査したことがある。特に新潟県では砂グリと呼ばれ、砂と一緒に入れなければ芽が出てしまうという（渡辺1996）。これは貯蔵穴の土層の観察の仕方に、反省を迫ることになるであろう。

(5) おわりに

本遺跡の植物遺体は、東北日本の地域性をよく示している。またトチがみられなかったことは時期差をよく示している。そして今後の検討課題として、関連する水場などの遺構や石器の研究とともに、アク抜きの方法などの民俗学的な記録調査も緊急な課題であることを指摘しておきたい。

引用文献

渡辺誠　1996：クリの穴貯蔵。名古屋大学文学部論集，122．史学42・1～7頁、名古屋。

謝　辞

最後に、調査の機会を与えられ、種々ご教示下さった岩手県埋蔵文化財センターの高橋與右衛門、阿部勝則氏、および資料整理にご協力下さった名古屋大学考古学研究室学生の丹下昌之・長田友也・岡田　賢の3君に対し、末尾ながら銘記して、深謝の意を表する次第である。

第1表　件別数量表

番号	オニグルミ	クリ		ドングリ類	
	破片	完形	破片	半	破片
1	—	—	—	24	5.34g
2	—	—	0.33g	—	—
3	—	1	1.79g	—	—
4	—	—	—	16	2.30g
5	0.57g	—	—	—	—
6	16.97g	1	1.69g	—	—
平均	17.54g	2	3.81g	40	7.64g

第2表　クリの計測値（単位：cm，g）

番号（件）	長さ	幅	厚さ	重量	写真
1（3）	1.25	1.58	0.69	0.45	1-2
2（6）	1.44	1.35	0.64	0.68	1-3
平均	1.35	1.47	0.67	0.57	

第4表　ドングリ類の計測値（単位：cm，g）

件	番号	長さ	幅	厚さ	長さ/幅	重量	写真
1	1	1.22	0.73	0.42	1.67	0.12	1-1
	2	1.19	0.73	0.44	1.63	0.10	
	3	1.34	0.73	0.38	1.84	0.14	
	4	1.27	0.82	0.48	1.55	0.16	
	5	1.21	0.78	0.39	1.55	0.13	
	6	1.27	0.76	0.42	1.67	0.12	
	7	1.25	0.91	0.50	1.37	0.12	
	8	1.27	0.82	0.48	1.55	0.12	
	9	1.31	0.84	0.47	1.56	0.14	
	10	1.25	0.93	0.49	1.34	0.20	
	11	1.48	0.73	0.40	2.03	0.20	
	12	1.37	0.96	0.52	1.43	0.21	
	13	1.56	0.75	0.38	2.08	0.13	
	14	1.48	0.89	0.46	1.66	0.21	
	15	1.46	0.99	0.47	1.47	0.13	
	16	1.39	0.98	0.62	1.42	0.27	
	17	1.54	0.94	0.57	1.64	0.19	
	18	1.55	1.01	0.58	1.53	0.23	
	19	1.49	1.00	0.54	1.49	0.22	
	20	1.56	1.08	0.56	1.44	0.25	
	21	1.55	1.02	0.54	1.52	0.24	
	22	1.59	1.02	0.55	1.56	0.23	
	23	1.79	0.98	0.55	1.83	0.22	
	24	1.76	1.14	0.60	1.54	0.30	
平均		1.42	0.90	0.49	1.60	0.10	
4	1	1.02	0.63	0.33	1.62	0.14	1-4
	2	1.27	0.73	0.44	1.74	0.19	
	3	1.41	0.81	0.47	1.74	0.19	
	4	1.23	0.81	0.38	1.52	0.18	
	5	1.37	0.67	0.43	2.04	0.22	
	6	1.49	0.72	0.50	2.07	0.21	
	7	1.47	0.83	0.49	1.77	0.31	
	8	1.26	0.92	0.53	1.37	0.34	
	9	1.59	0.78	0.42	2.04	0.25	
	10	1.65	0.77	0.38	2.14	0.21	
	11	1.68	0.97	0.54	1.73	0.29	
	12	1.50	0.87	0.51	1.72	0.28	
	13	1.59	0.86	0.55	1.85	0.22	
	14	1.52	0.96	0.44	1.58	0.21	
	15	1.55	0.93	0.54	1.67	0.17	
	16	1.37	1.56	0.64	0.88	0.32	
平均		1.43	0.86	0.47	1.71	0.23	

第3表　ドングリ類の分類

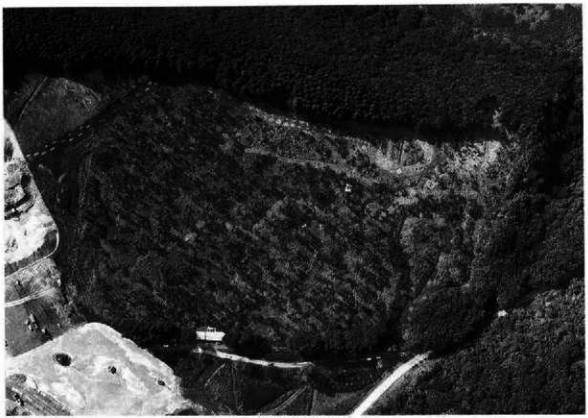
民俗分類	属		種（出土例のみ）	森林帯
A．クヌギ類 製粉または加熱処理＋水さらし	コナラ属	コナラ亜属	クヌギ カシワ	落葉広葉樹林帯 （東北日本） （韓国）
B．ナラ類 製粉または加熱処理＋水さらし			ミズナラ コナラ	
C．カシ類 水さらしのみ		アカガシ亜属	アカガシ アラガシ	照葉樹林帯 （西南日本） （韓国南海岸）
D．シイ類など			イチイガシ	
	シイノキ属		ツブラジイ・スダジイ	
	マテバシイ属		マテバシイ	

写真１　植物遺体１（実大）

１：ドングリ類（RD11土坑），２：クリ（RD12土坑），３：同（RD42土坑），
４：ドングリ類（RA09住居跡ーPP10），５：オニグルミ（RA15住居跡），６：同（BIIIv23グリッド）

写 真 図 版

遺跡遠景（西から）



遺跡全景（東から）

写真図版１　遺跡全景

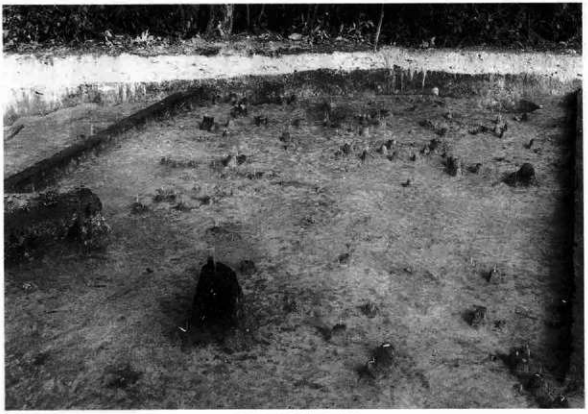
(北側)　　A 区調査前風景　　(南側)

(北側)　　B 区調査前風景　　(南側)

基本土層 (B Ⅳ x7)

基本土層 (C Ⅳ b11)

写真図版 2　調査前風景・基本土層



旧石器集中区遺物出土状況

B Ⅳ y12 遺物出土状況

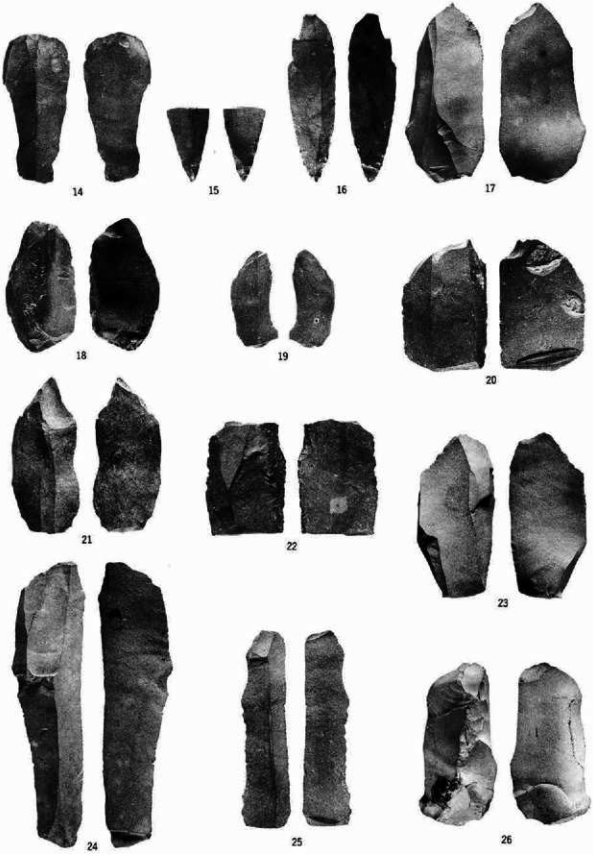
C Ⅳ b11 遺物出土状況

RH01直下旧石器出土状況

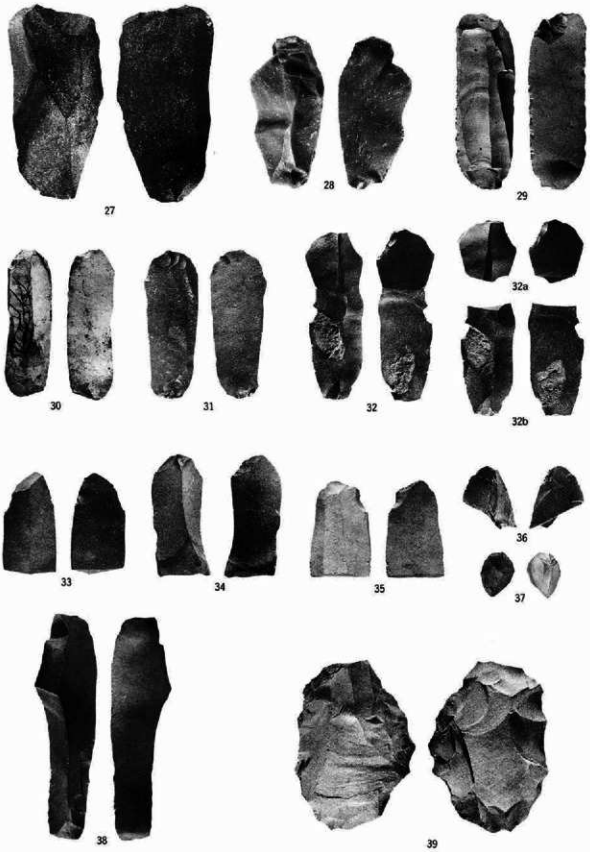
旧石器出土状況

写真図版 3　旧石器出土状況

写真図版4　旧石器(1)



写真図版5　旧石器(2)



写真図版 6　旧石器(3)

写真図版7　旧石器(4)

BIV区全景

大形住居跡群

写真図版8　BⅣ区全景・大形住居跡群

RA01・03 平面

RA01 炉 平面

RA01 炉 断面

RA03遺物(2160)出土状況

RA03-PP4 遺物出土状況

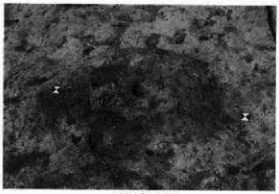
写真図版9　RA01・03住居跡

RA02 平面

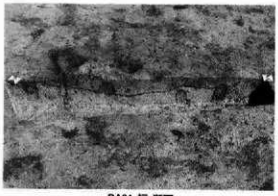
RA02 焼土

RA04 平面

RA04 断面



RA04 炉 断面

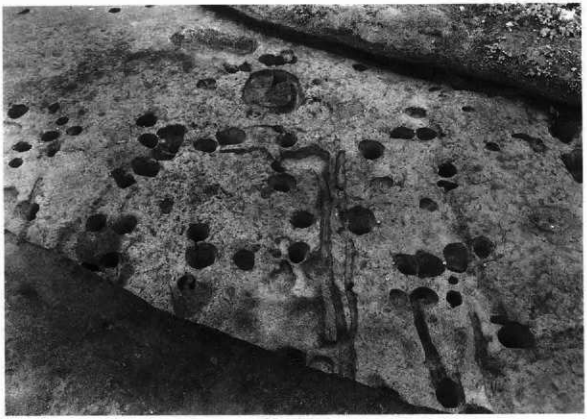


RA04 炉 断面

RA04 遺物(103)出土状況

RA04 遺物(101・102)出土状況

写真図版10　RA02・04住居跡



RA05・06 平面

RA05・06 断面

RA05 炉 断面

RA05 遺物(107)出土状況

写真図版11　RA05・06住居跡

RA07 平面

RA07 断面

RA07 炉1 断面

RA07 炉2 断面

写真図版12　RA07住居跡(1)

RA07 遺物出土状況

RA07 遺物(122・123)出土状況

RA07 琥珀出土状況

RA07 遺物(129・130)出土状況

RA07 遺物(125)出土状況

写真図版13　RA07住居跡(2)

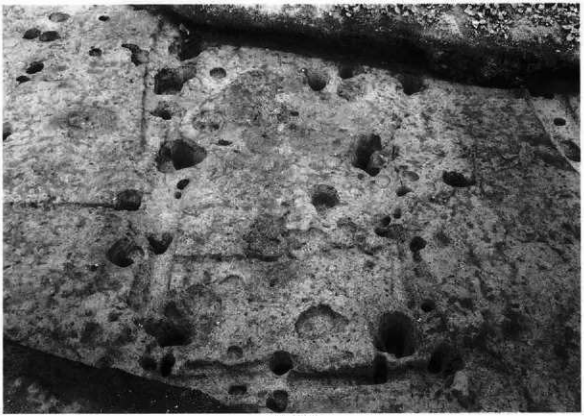
RA08 平面

RA08 断面

RA08 炉1 断面

RA08内埋設土器 断面

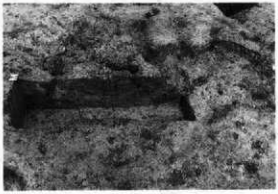
写真図版14　RA08住居跡



RA09 平面

RA09 遺物出土状況

RA09 遺物(2182)出土状況

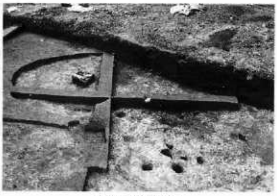


RA09 炉1 断面

RA09 内埋設土器 断面

写真図版15　RA09住居跡

RA10・RD07 平面



RA10・RD07 断面

RA10 炉 断面

RD07 遺物(197)出土状況

RA11 平面

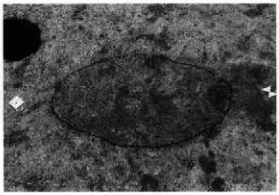
RA11 断面

RA11 遺物(531)出土状況

写真図版16　RA10・11住居跡、RD07土坑

RA13 平面

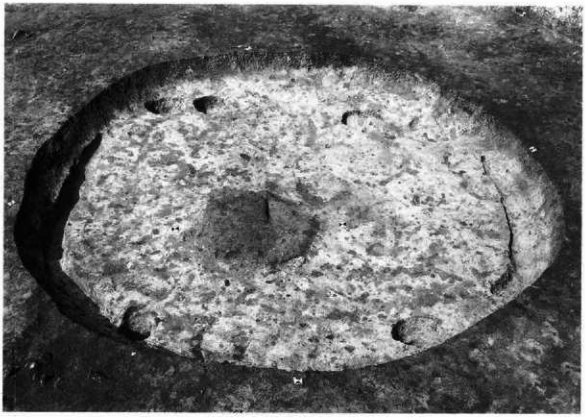
RA13 断面



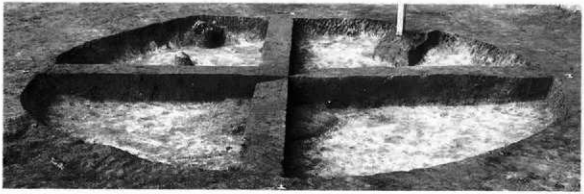
RA13 炉 平面

RA13 炉 断面

写真図版17　RA13住居跡



RA14 平面



RA14 断面

RA14 炉 平面

RA14 炉 断面

写真図版18　RA14住居跡

RA15・17 平面

RA15 炉1 断面

RA15 炉2 断面

RA17 炉1 断面

RA15 内埋設土器 断面

写真図版19　RA15・17住居跡

RA12・16 平面

RA12 平面

RA12 断面

RA16 炉 平面

RA15 炉 断面

写真図版20　RA12・16住居跡

RA18 平面

RA18 断面

RA18 炉 平面

RA18 炉 断面

写真図版21　RA18住居跡

RA19 平面

RA19 断面

RA19 炉1 平面

RA19 炉1 断面

写真図版22　RA19住居跡

RA20 平面

RA20 断面

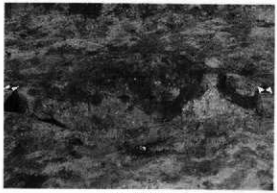
RA20 炉 断面

RA20 遺物(157)出土状況

写真図版23　RA20住居跡

RA22 平面

RA22 断面



RA22 炉 断面

RA22 遺物(160)出土状況

写真図版24　RA22住居跡

RA26 平面

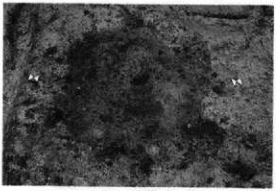
RA26 断面

RA26 検出状況

RA26、RD45 平面

写真図版25　RA26住居跡

RA27 平面



RA27 炉 平面

RA27 炉 断面

遺構検出状況

写真図版26　RA27住居跡

RA28 平面

RA28 炉1 断面

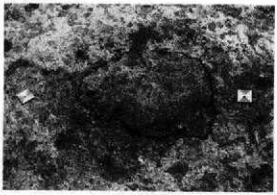
RA28 炉2 断面

RA28 炉3 断面

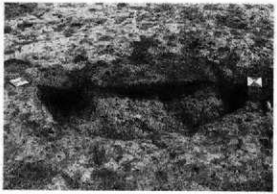
RA28 炉4 断面

写真図版27　RA28住居跡

RA29 平面



RA29 炉 平面



RA29 炉 断面

RA29-PP3 遺物(185)出土状況

RA29 遺物(186)出土状況

写真図版28　RA29住居跡

RA24・30 平面

RA24 断面

RA24 炉1・2 断面

RF24 (2171)遺物出土状況

写真図版29　RA24・30住居跡

RA23 平面

RA21 炉1 断面

RA21 炉 断面

RA31 平面

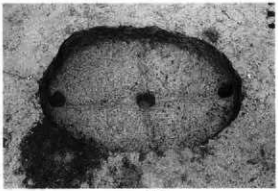
RA23 炉 断面

RA31 炉 断面

写真図版30　RA21・23・31住居跡

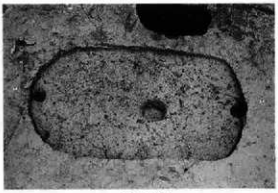
RD01 平面

RD01 断面



RD02 平面

RD02 断面



RD03 平面

RD03 断面

RD04 平面

RD04 断面

写真図版31　RD01～04土坑

RD05 平面

RD05 断面

RD06 平面

RD06 断面

RD06 遗物出土状况

RD08 断面

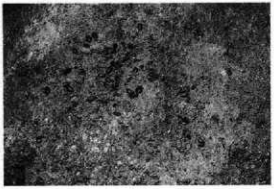
RD09 平面

RD09 断面

写真図版32 RD05・06・08・09土坑

RD10 平面

RD11 平面・断面

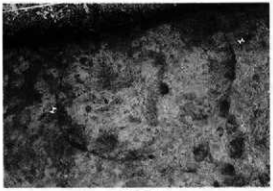


RD11 ドングリ出土状況

RD11 遺物出土状況

RD12 平面

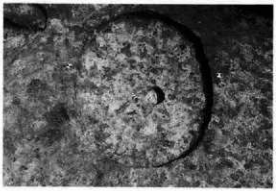
RD12 断面



RD13 平面

RD13 断面

写真図版33　RD10～13土坑



RD14 平面

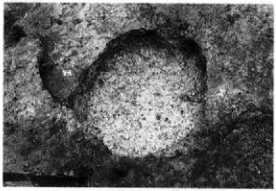
RD14 断面

RD15 平面

RD15 断面

RD16 平面

RD16 断面

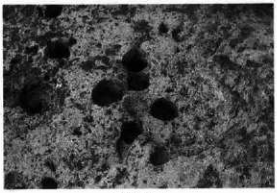


RD18 平面

RD18 断面

写真図版34　RD14～16・18土坑

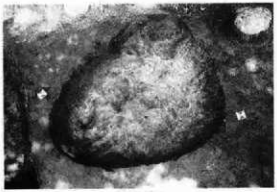
RD17・19 平面



RD20 平面

RD21 平面

RD21 断面



RD22 平面

RD22 断面

RD23 平面

RD23 断面

写真図版35　RD17・19～23土坑

RD24・25 平面

RD24 断面

RD26 平面

RD26 断面

RD27 平面

RD27 断面

RD29 平面

RD29 断面

写真図版36　RD24～27・29土坑

RD30 平面

RD30 断面

RD31 平面

RD31 断面

RD32 平面

RD32 断面

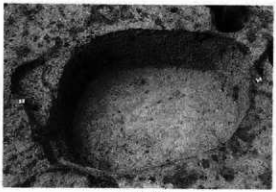
RD33 平面

RD33 断面

写真図版37　RD30～33土坑

RD34 平面

RD34 断面



RD35 平面

RD35 断面

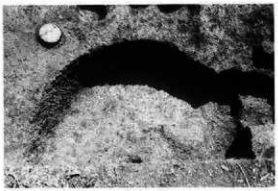
RD36 平面

RD36 断面

RD37 平面

RD37 断面

写真図版38　RD34～37土坑



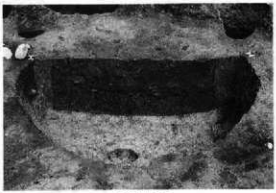
RD38 平面

RD38 断面

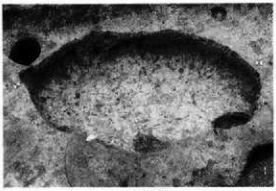
RD39 断面

RD41 平面・断面

RD40 平面



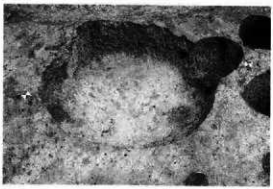
RD40 断面



RD42 平面

RD42 断面

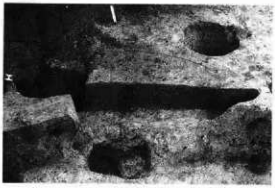
写真図版39　RD38～42土坑



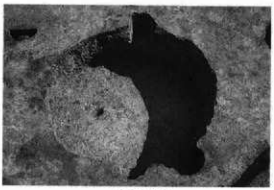
RD43 平面

RD43 断面

RD44 平面



RD44 断面



RD45 平面

RD45 断面

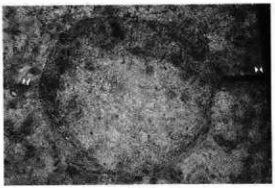
RD46 平面

RD46 断面

写真図版40　RD43～46土坑

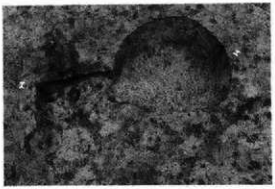
RD47 平面

RD47 断面



RD48 平面

RD48 断面



RD49 平面

RD49 断面

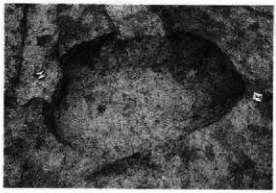
RD50 平面

RD50 断面

写真図版41　RD47～50土坑

RD51 平面

RD51 断面



RD52 平面

RD52 断面

RD28 平面

RD53 平面

BIII区北端土坑群

写真図版42　RD51・52土坑、RD28・53隠し穴

RF01 平面

RF01 断面

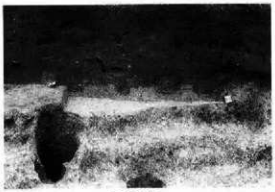
RF02 平面

RF02 断面

RF03 平面

RF03 断面

RF05 平面



RF05 断面

写真図版43　RF01～03・05焼土遺構

RF04 平面

RF04 断面(A-A')

RF04 断面(D-D')

RH01 検出状況

RF04 断面(E-E')

RH01 断面

RH01 集石除去後

写真図版44　RF04焼土遺構、RH01集石遺構

RZ01・03 平面

RZ01・03 断面

RZ02 平面

RZ02 断面

RZ04 平面

RZ04 断面

RZ05 平面

RZ05 断面

写真図版45　RZ01～05土器埋設遺構

RZ06 平面

RZ06 断面

RZ07 平面

RZ07 断面

RZ08・09 断面

RZ10 断面

RZ11 断面

RZ12 断面

写真図版46　RZ06～12土器埋設遺構

RZ13 平面

RZ13 断面

RZ14 平面

RZ14 断面

RZ15 断面

RZ16 断面

作業風景

現地説明会

写真図版47　RZ13～16土器埋設遺構

BⅣw4 遺物(275)出土状況

BⅣw5 遺物(279～282)出土状況

BⅢu23 遺物(233)出土状況

BⅣw3 遺物(265)出土状況

BⅣw1 遺物(253)出土状況

BⅣw10 尖頭器(1514)出土状況

BⅣw3 遺物(268・270)出土状況

BⅣw10 石製品(2193)出土状況

写真図版48　遺物包含層

101

102

103

104

106

105

S＝1/3

写真図版49　土器(1)

107

108

111

109

110

112

S＝1/3

写真図版50　土器(2)

113

114

115

117

116

119

118

S＝1/3

写真図版51　土器(3)

120

121

122

123

124

S＝1/3(120～122・124)
S＝1/4(123)

写真図版52　土器(4)

125

126

127

128

S＝1/3(125・126・128)
S＝1/4(127)

写真図版53　土器(5)

129

130

131

132

133

134

S＝1/2(131)
S＝1/3(129・130・132～134)

写真図版54　土器(6)

135

136

137

139

138

143

140

S＝1/3

写真図版55　土器(7)

141

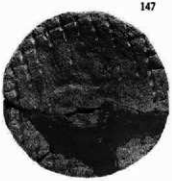
144

145

146

147

142



S＝1/3

写真図版56　土器(8)

148

149

150

151

152

153

S＝1/3

写真図版57　土器(9)

154

155

156

158

157

159

160

S＝1/2(158・160)
S＝1/3(154～157・159)

写真図版58　土器(10)

161

162

164a

164b

S＝1/3

写真図版59　土器(11)

163

163文様拡大(原寸)

165

166

167

168

S＝1/3(163～167)
S＝1/4(168)

写真図版60　土器(12)

169

170

171

173

172

S＝1/3

写真図版61　土器(13)

174

175

177

176

178

S＝1/3

写真図版62　土器(4)

179

180

181

183

182

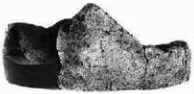
184

186

185

S＝1/2(180)
S＝1/3(179、181～185)
S＝1/4(186)

写真図版63　土器(15)



187

188

189

190

191

193

192

S＝1/3(187～190、192)
S＝1/4(191、193)

写真図版64　土器19

194

195

196

197

198

199

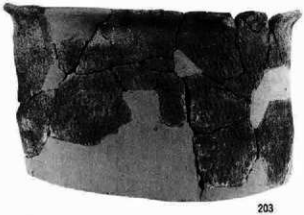
200

S＝1/3(194～196、198、199)
S＝1/4(200)
S＝1/5(197)

写真図版65　土器(17)

201

202



203

204

205

206

207

S＝1/3

写真図版66　土器(10)

208

209

212

213

210

211

214

215

216

S＝1/3

写真図版67　土器19

217

218

219

220

221

S＝1/3(217・218、220・221)
S＝1/5(219)

写真図版68　土器(20)

222

223

224

225

S＝1/3(223～225)
S＝1/4(222)

写真図版69　土器(21)

226

227

228

229

231

230

S＝1/3(227～231)
S＝1/4(226)

写真図版70　土器(2)

S＝1/3

写真図版71　土器(3)

238

240

239

241

243

242

S＝1/3

写真図版72　土器20

244

245

246

247

248

S＝1/3

写真図版73　土器(29)

249

251

250

252

253

254

S＝1/3

写真図版74　土器(25)

255

256

257

258

S＝1/3

写真図版75　土器(27)

259

261

260

263

264

262

S＝1/3

写真図版76　土器⑳

265

266

267

268

S＝1/3

写真図版77　土器(2)

269

270

271

272

274

273

S＝1/3

写真図版78　土器(30)

275

276

277

279

278

S＝1/3

写真図版79　土器(31)

280a

280b

281

283

282

284

S＝1/3(281～284)
S＝1/4(280)

写真図版80　土器(32)

285

286

287

288

289

290

S＝1/3

写真図版81　土器(33)

291

293

292

294

296

295

S＝1/3

写真図版82　土器(34)

297

299

300

298

301

302

303

304

S＝1/3

写真図版83　土器(35)

305a

305b

308

306

307

309

310

S＝1/3

写真図版84　土器(30)

311

312

313

314

315

S＝1/3

写真図版85　土器(37)

316

316文様拡大(原寸)

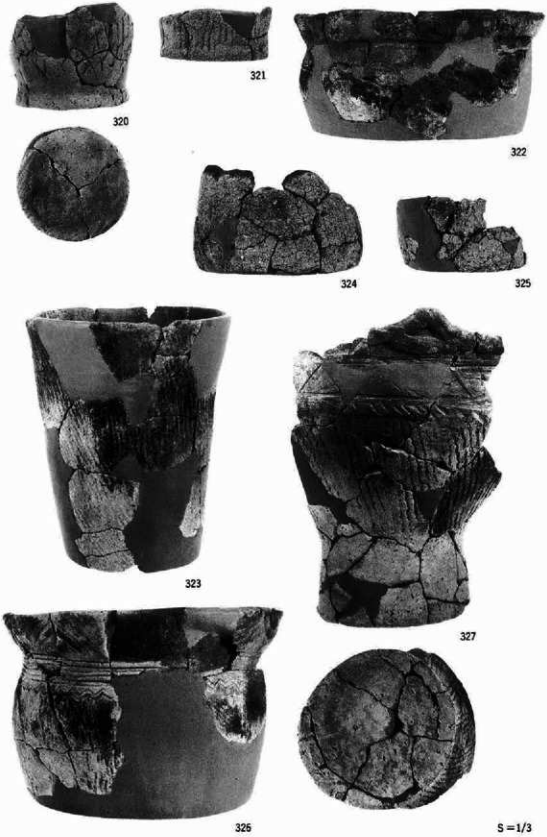
317

319

S＝1/3

318

写真図版86　土器(38)



写真図版87　土器(3)

328

329

330

331

332

333

S＝1/3

写真図版88　土器(40)

334

336

335

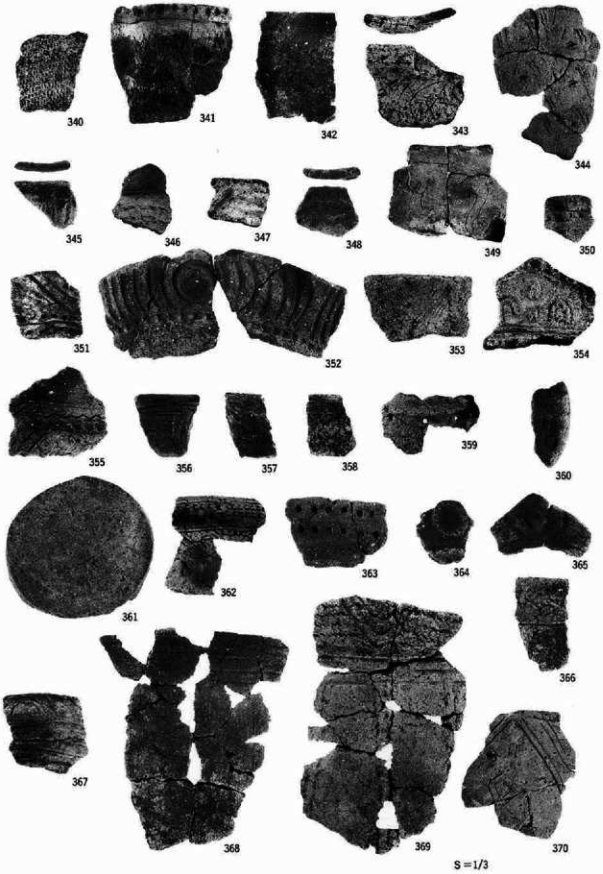
337

338

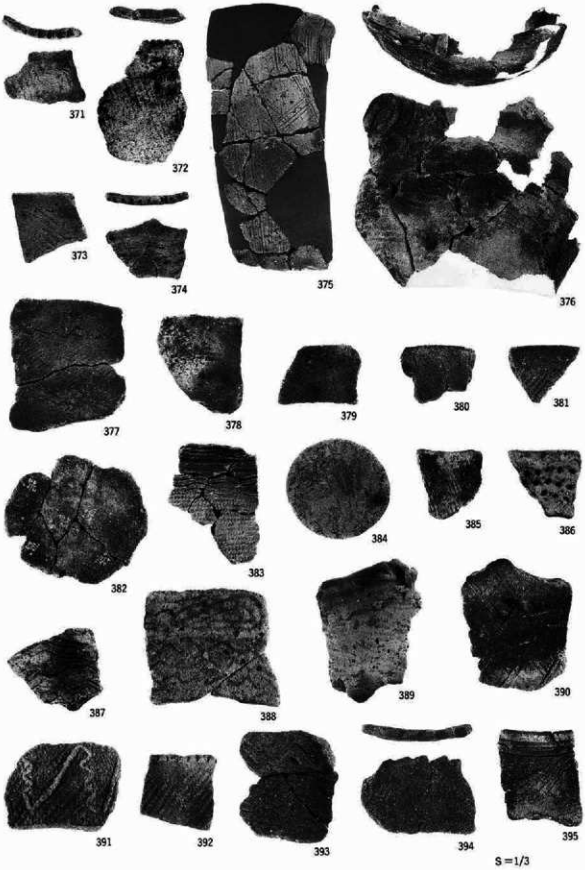
339

S＝1/2(339)
S＝1/3(334～337)

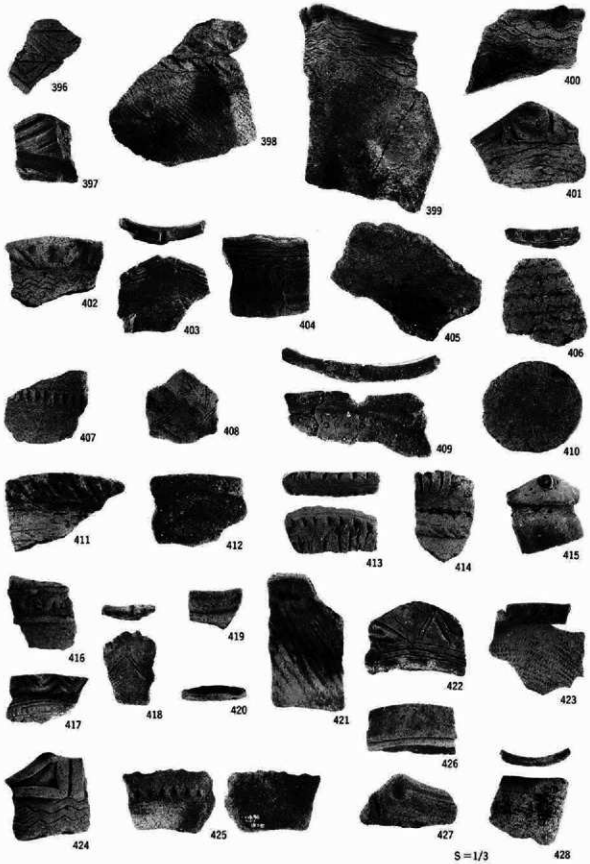
写真図版89　土器(41)


340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
S＝1/3

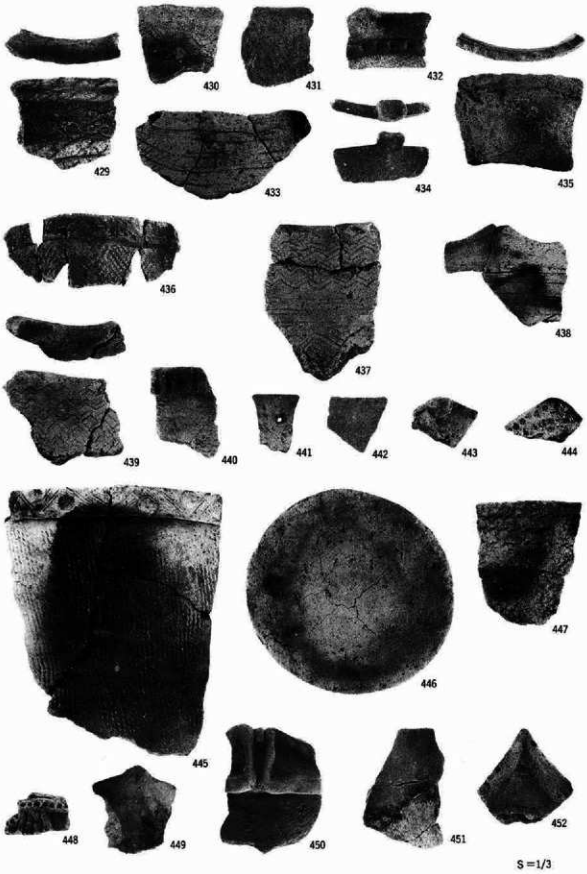
写真図版90　土器(42)


371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
S＝1/3

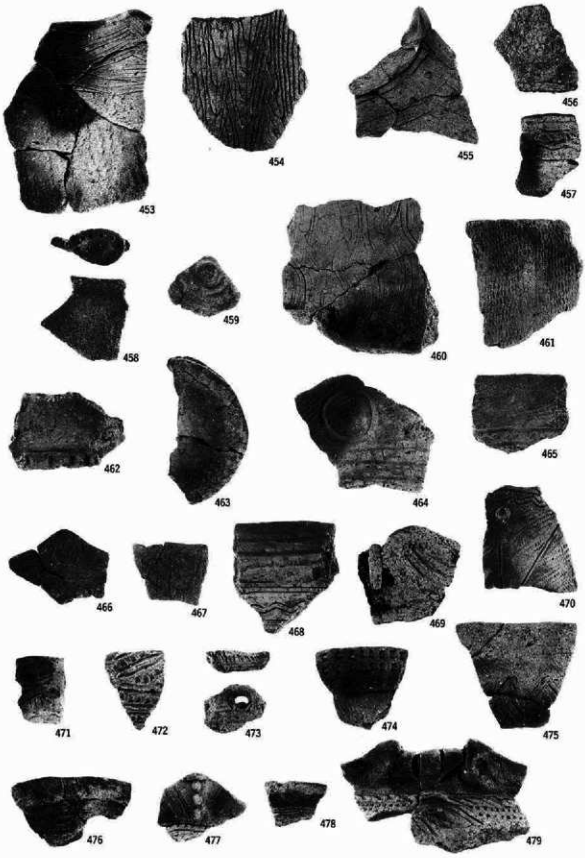
写真図版91　土器(43)


396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
S＝1/3

写真図版92　土器(4)

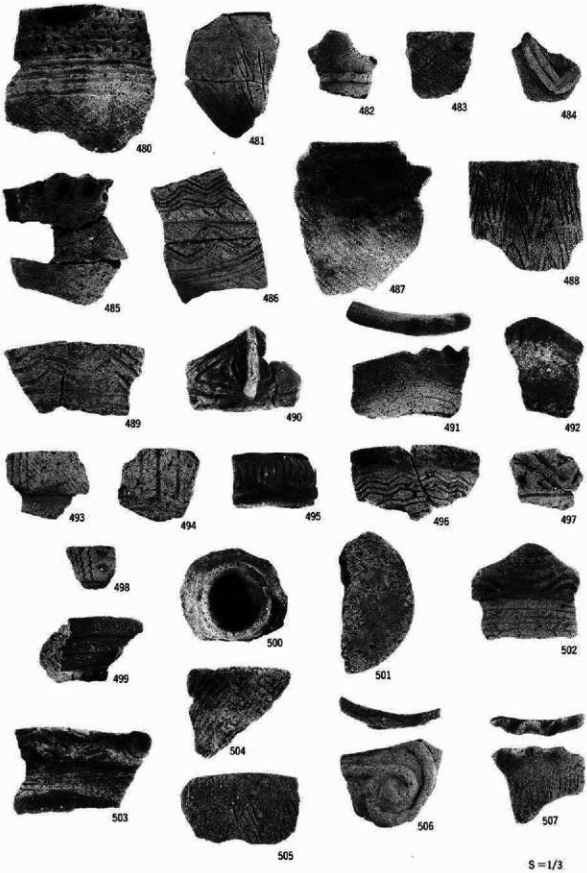

429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
S＝1/3

写真図版93　土器(9)

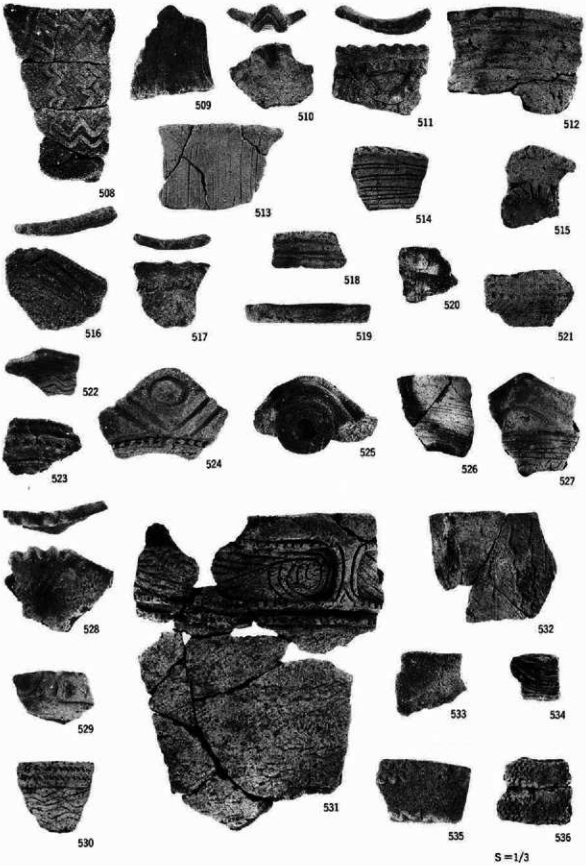


S＝1/3

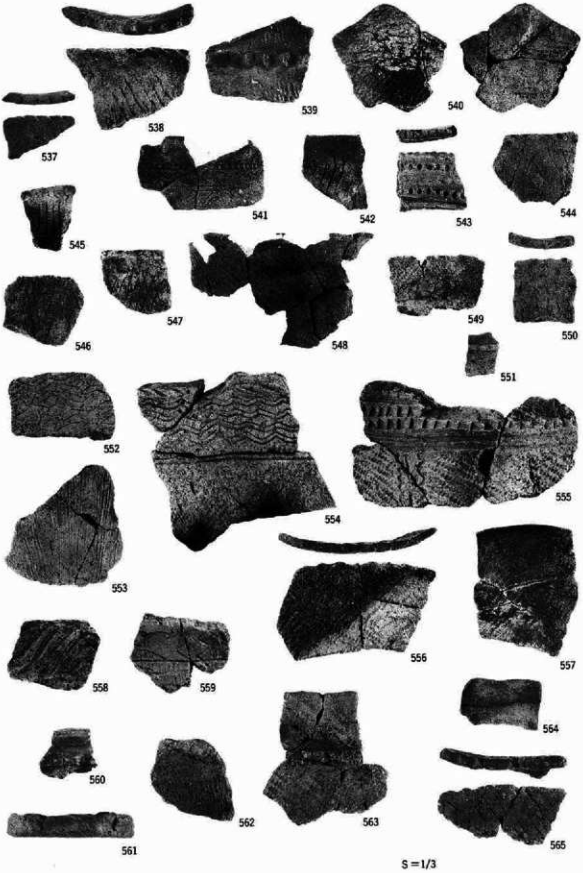
写真図版94　土器(46)


480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
S＝1/3

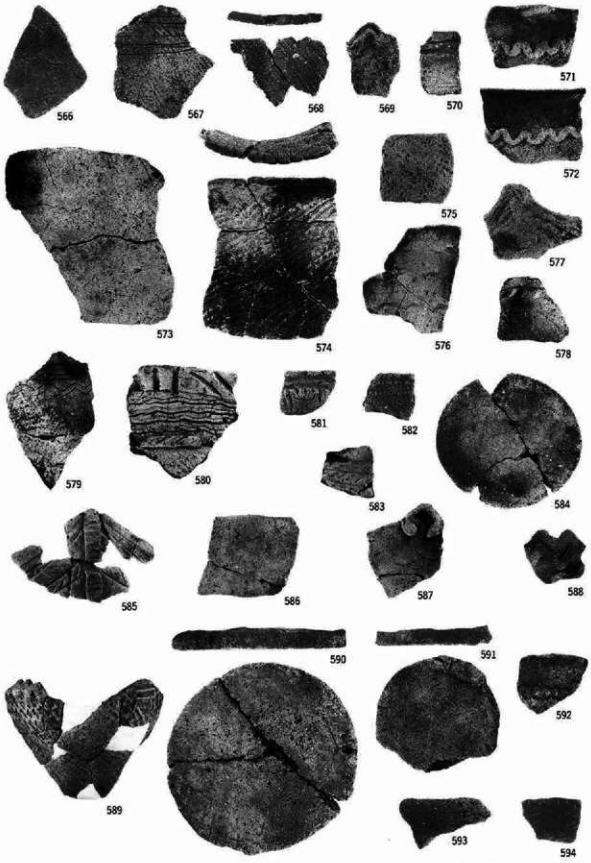
写真図版95　土器(47)


508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
S＝1/3

写真図版96　土器(40)

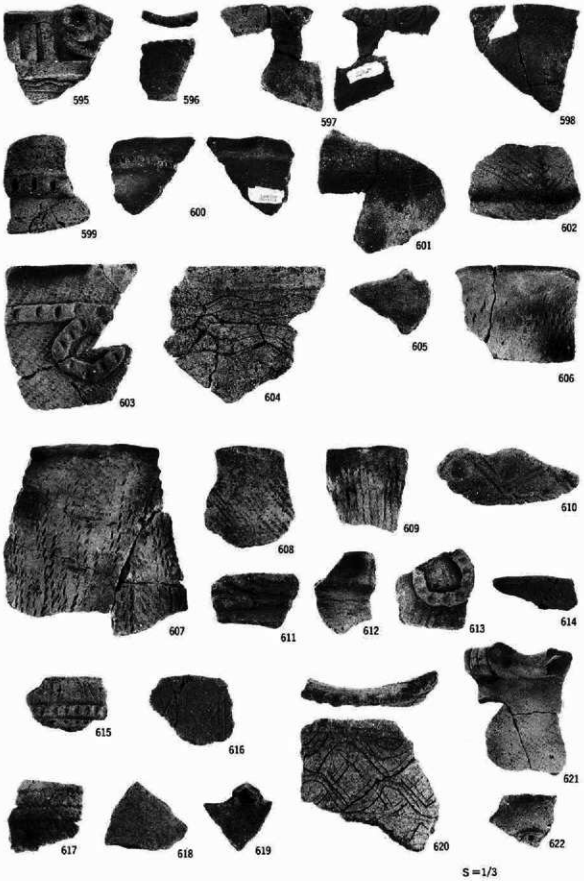

538
539
540
537
541
542
543
544
545
547
548
549
550
546
551
552
554
555
553
556
557
558
559
564
560
562
563
565
561
S＝1/3

写真図版97　土器(4)



S＝1/3

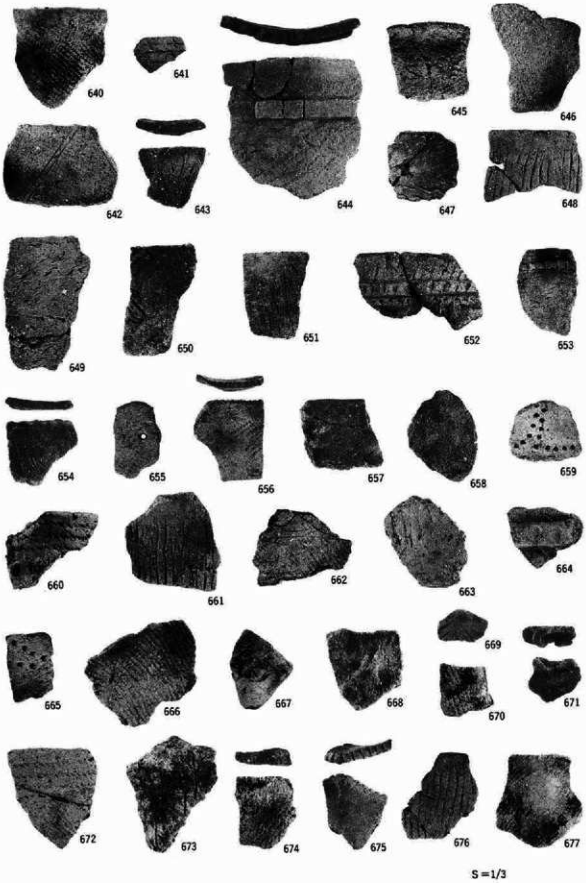
写真図版98　土器50


595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
S＝1/3

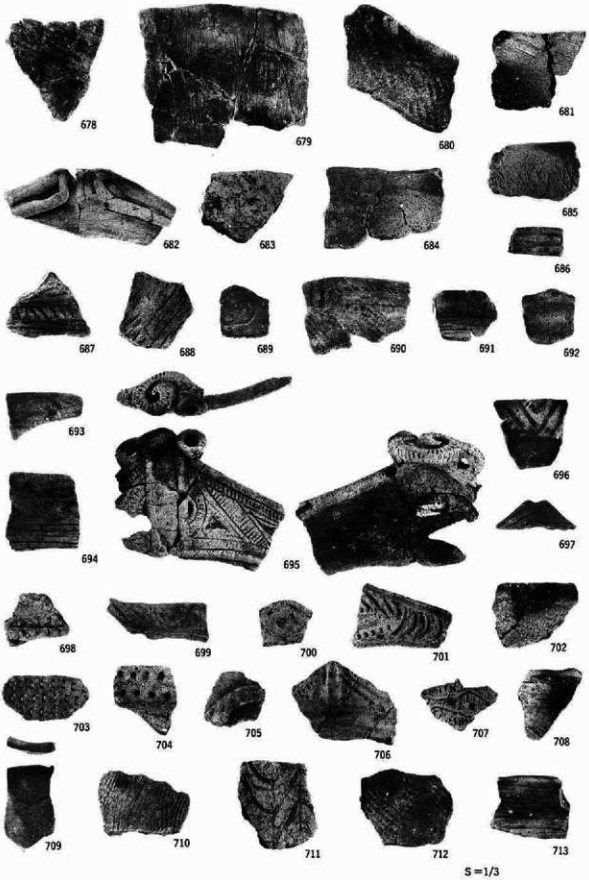
写真図版99　土器51

S＝1/3

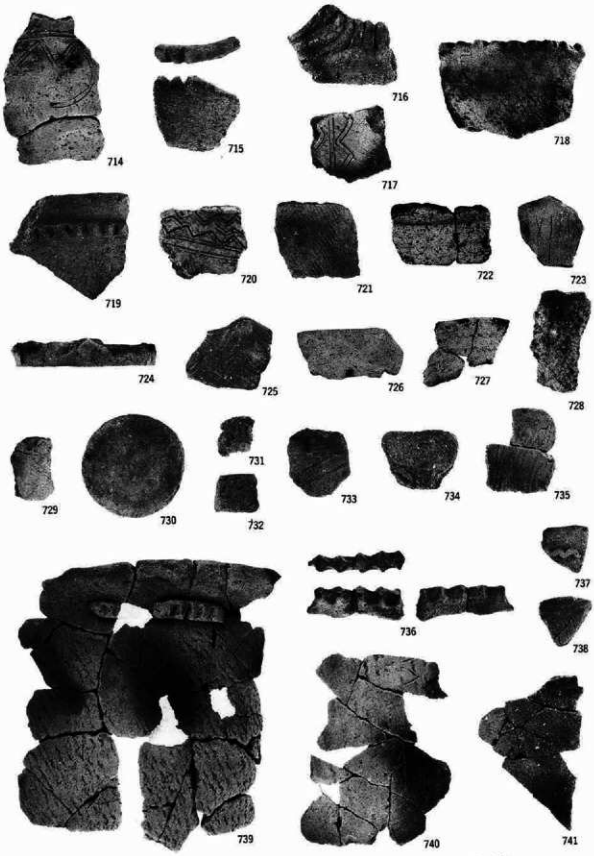
写真図版100　土器(5)


640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
S＝1/3

写真図版101　土器(3)

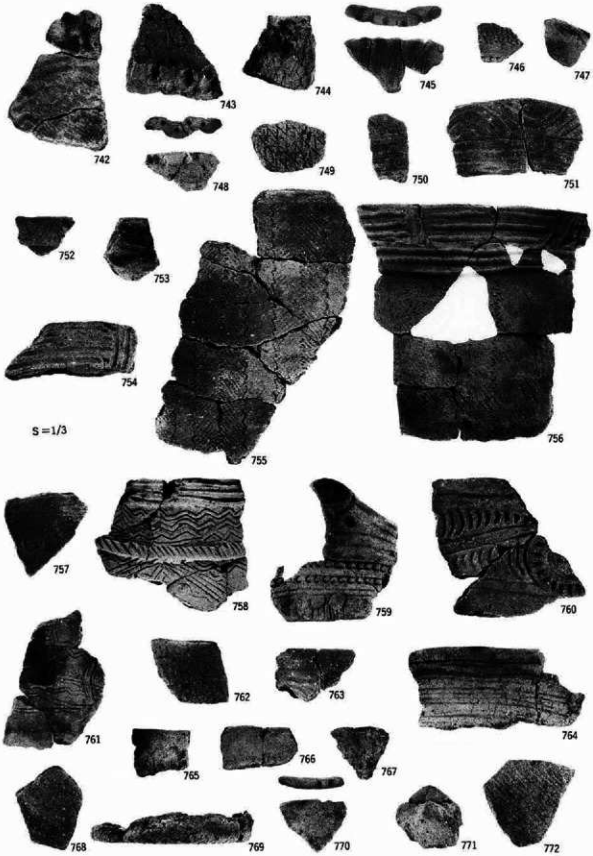


写真図版102　土器50

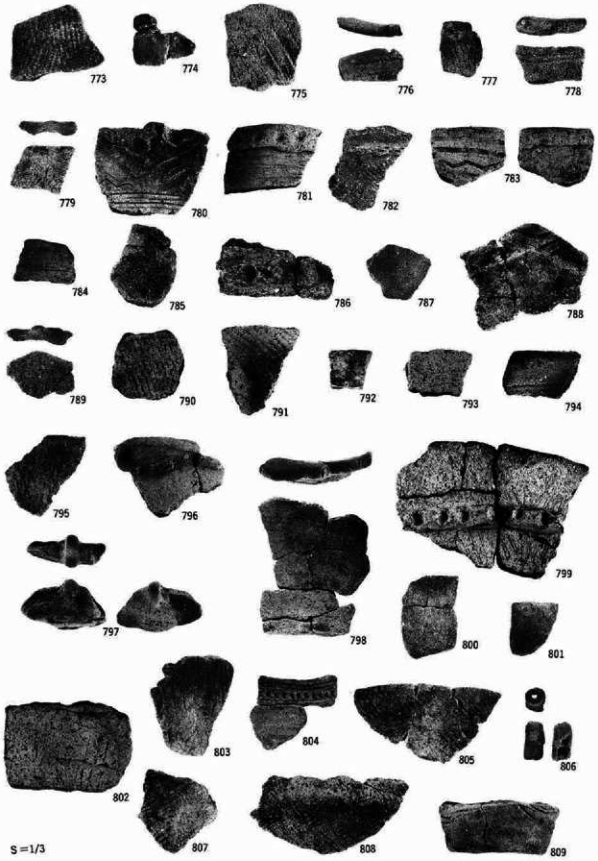


S＝1/3

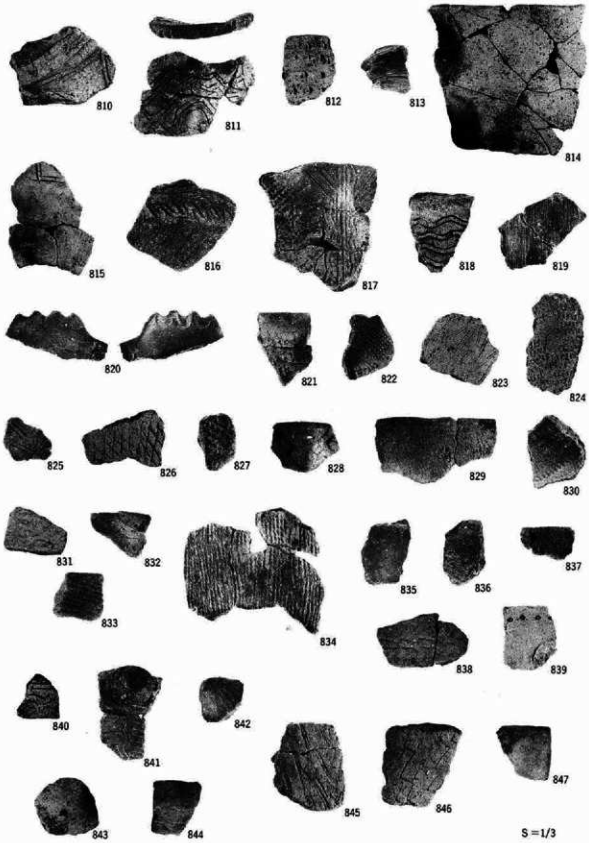
写真図版103　土器(5)



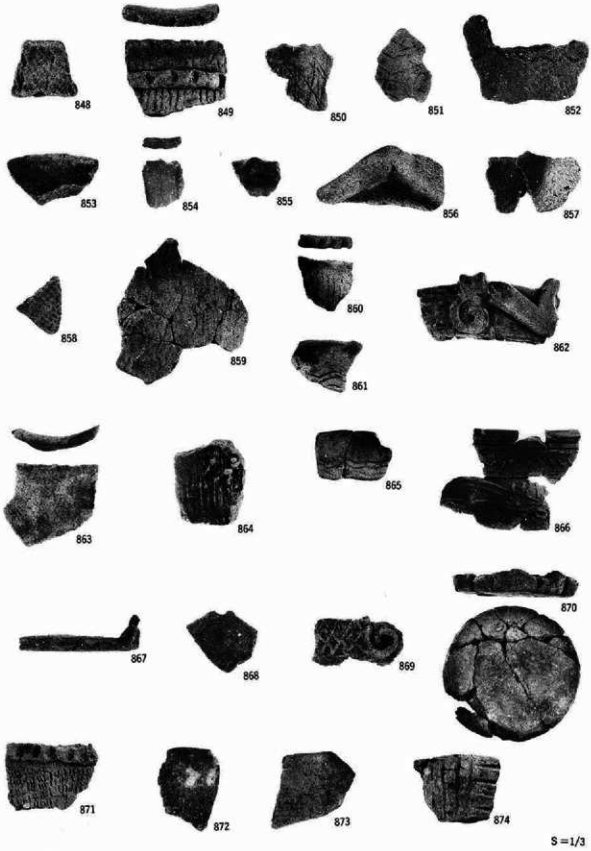
写真図版104　土器50



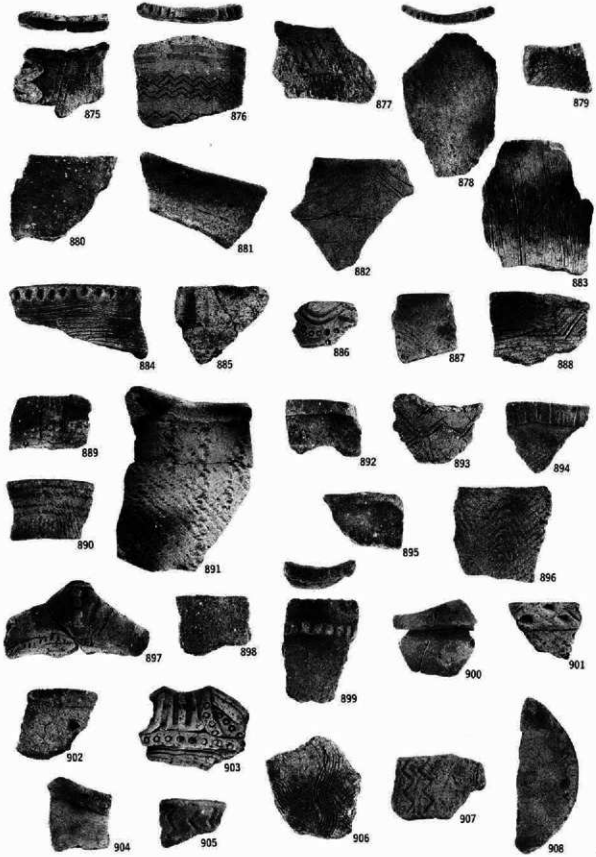
写真図版105　土器57)



写真図版106　土器50

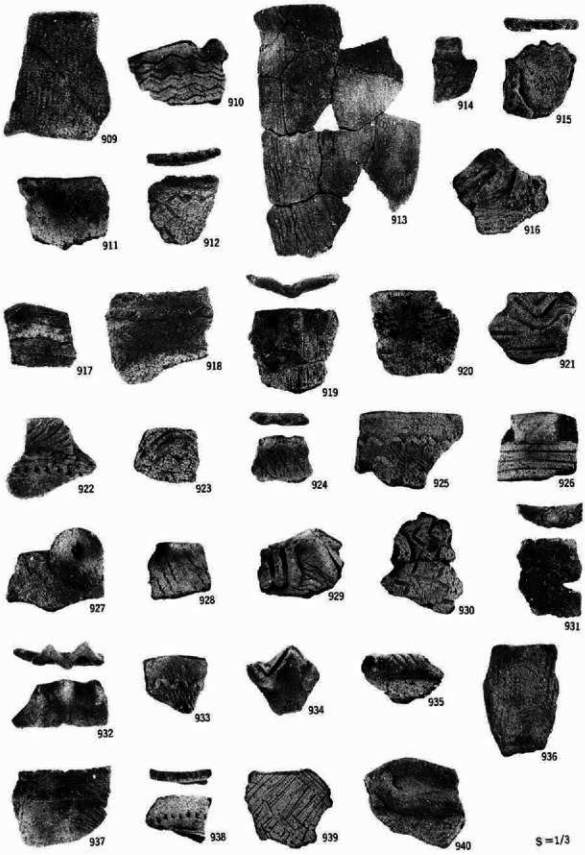


写真図版107　土器59

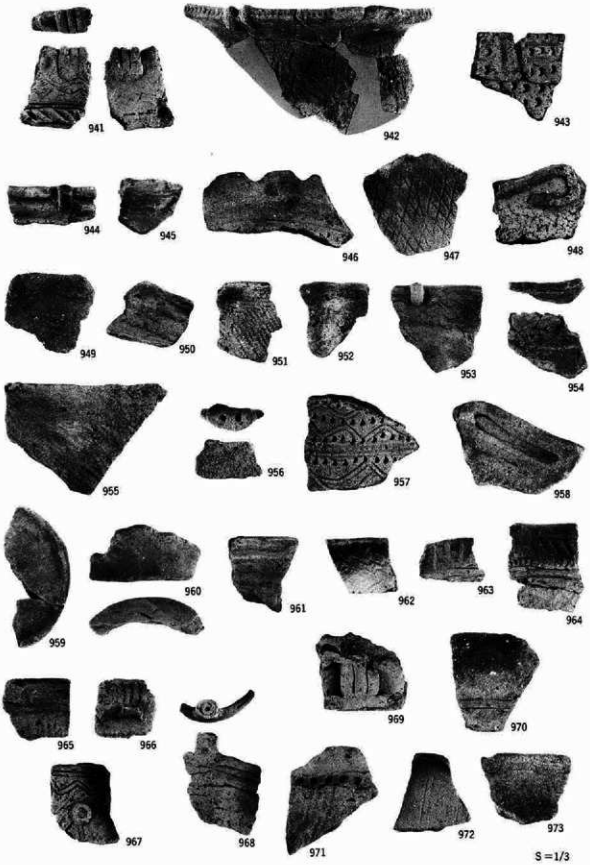


S＝1/3

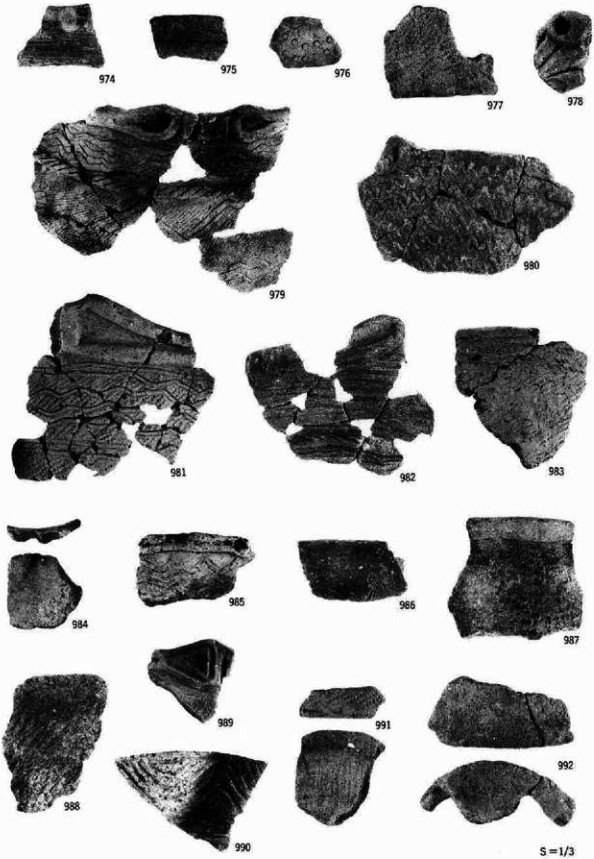
写真図版108　土器(6)


909
910
913
914
915
911
912
916
917
918
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
940
S＝1/3

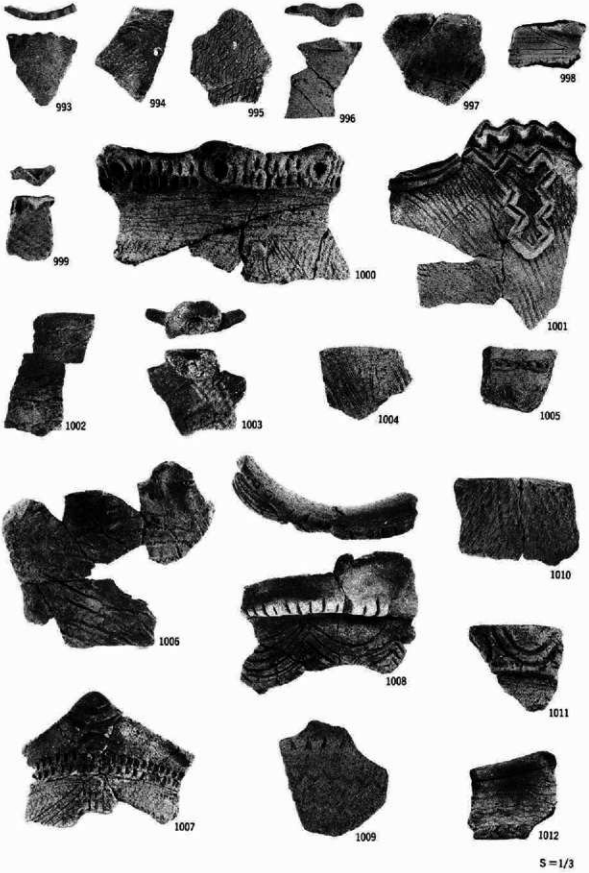
写真図版109　土器(1)


941
942
943
944
945
946
947
948
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
970
971
972
973
S＝1/3

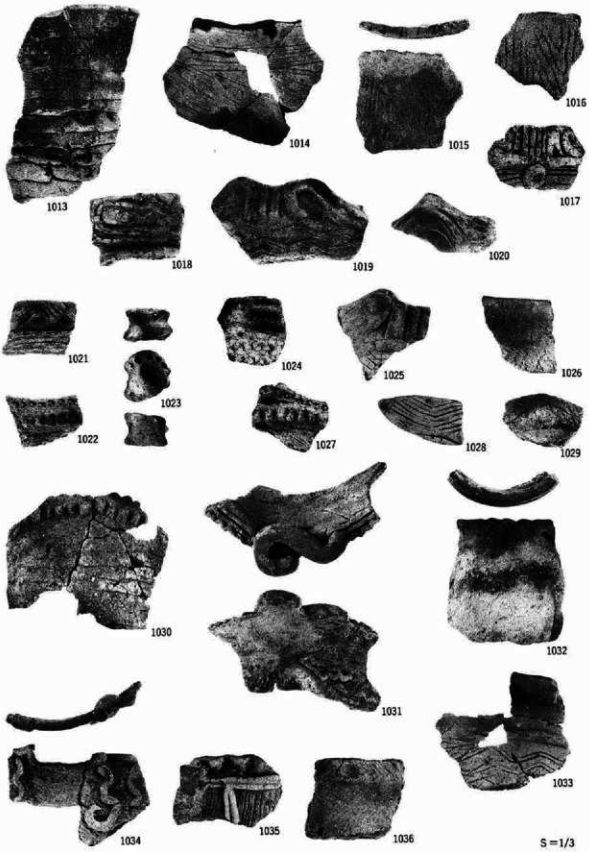
写真図版110　土器(3)


974
975
976
977
978
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
990
991
992
S＝1/3

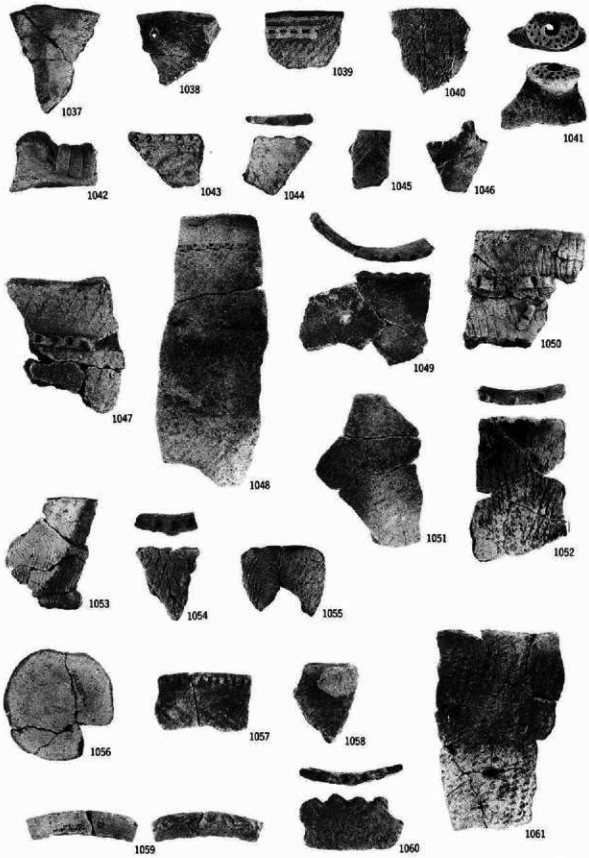
写真図版111　土器(3)



写真図版112　土器40

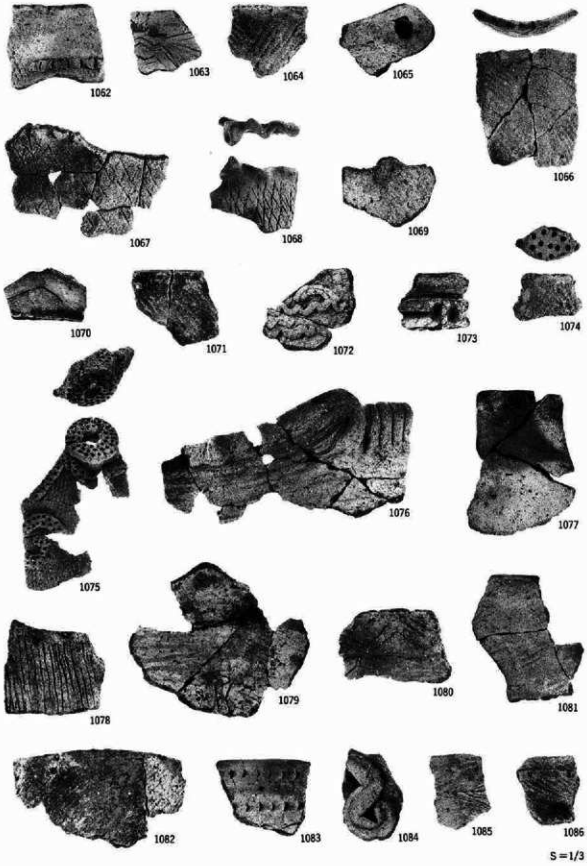

1013
1014
1015
1016
1017
1018
1019
1020
1021
1022
1023
1024
1025
1026
1027
1028
1029
1030
1031
1032
1033
1034
1035
1036
S＝1/3

写真図版113　土器(5)

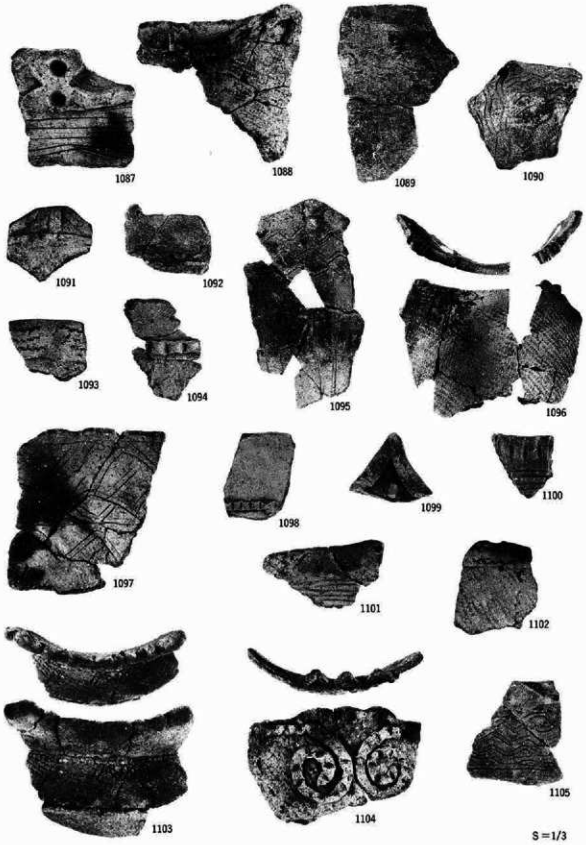


S＝1/3

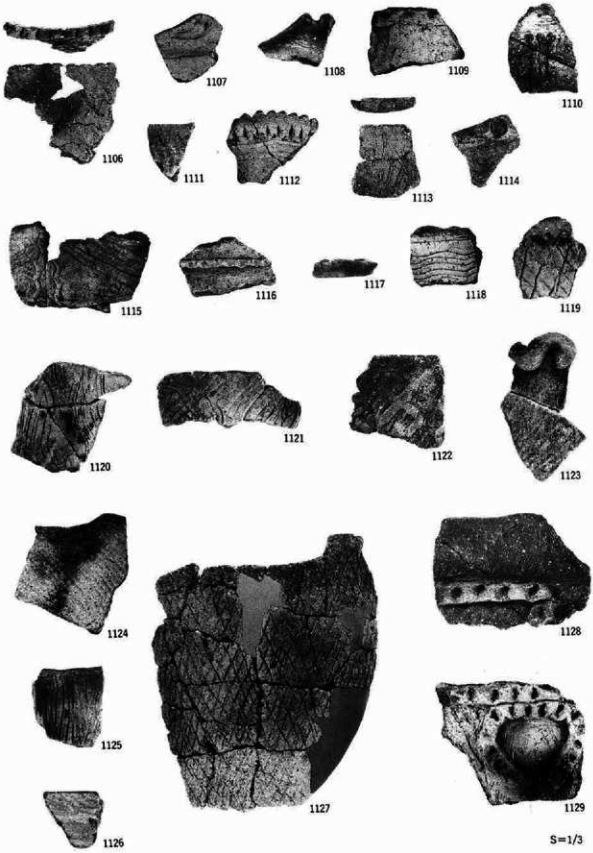
写真図版114　土器(56)


1062
1063
1064
1065
1066
1067
1068
1069
1070
1071
1072
1073
1074
1075
1076
1077
1078
1079
1080
1081
1082
1083
1084
1085
1086
S＝1/3

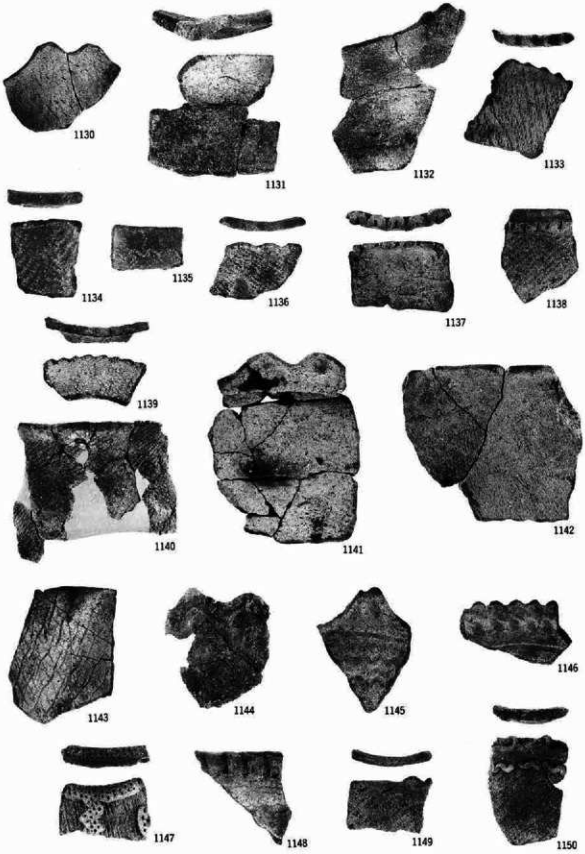
写真図版115　土器(7)


1087
1088
1089
1090
1091
1092
1093
1094
1095
1096
1097
1098
1099
1100
1101
1102
1103
1104
1105
S＝1/3

写真図版116　土器(6)


1106
1107
1108
1109
1110
1111
1112
1113
1114
1115
1116
1117
1118
1119
1120
1121
1122
1123
1124
1125
1126
1127
1128
1129
S=1/3

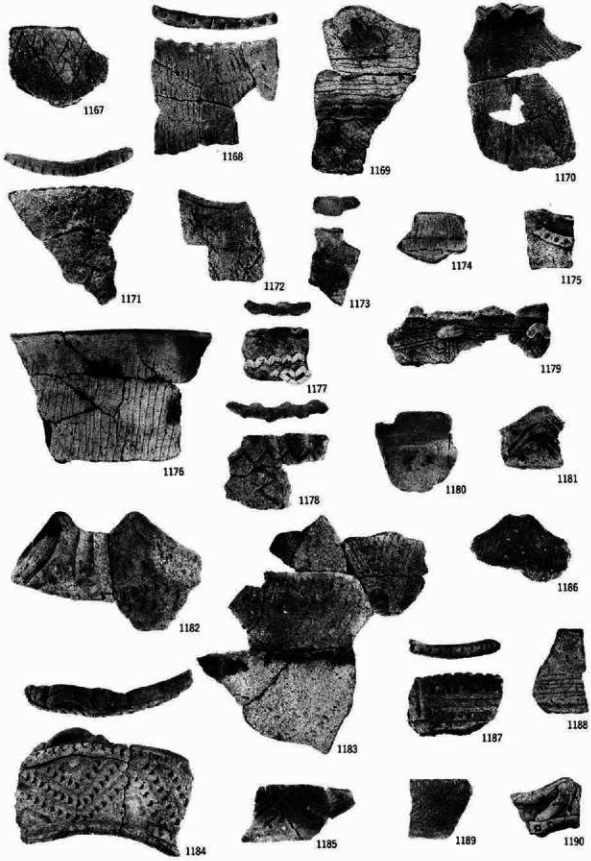
写真図版117　土器(6)



S =1/3

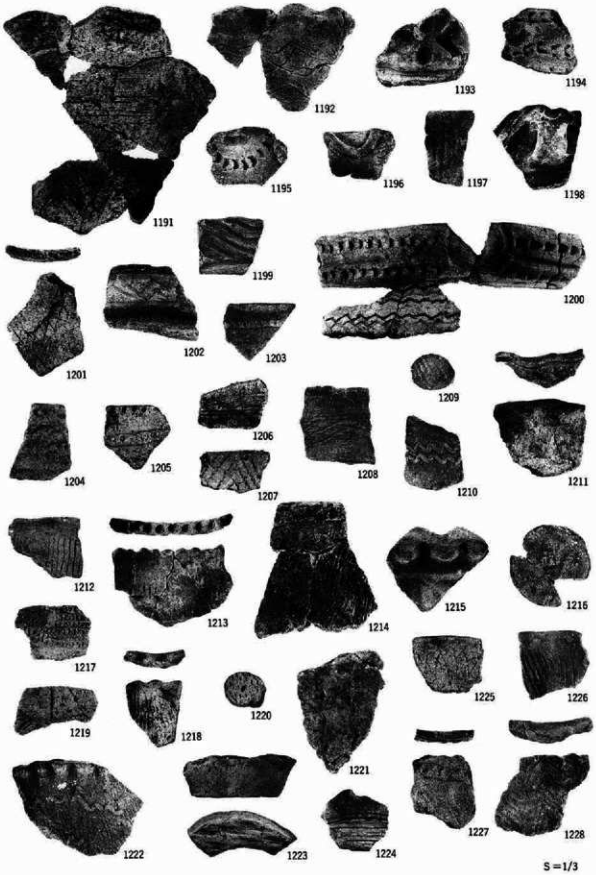
写真図版118　土器(70)

写真図版119　土器(71)

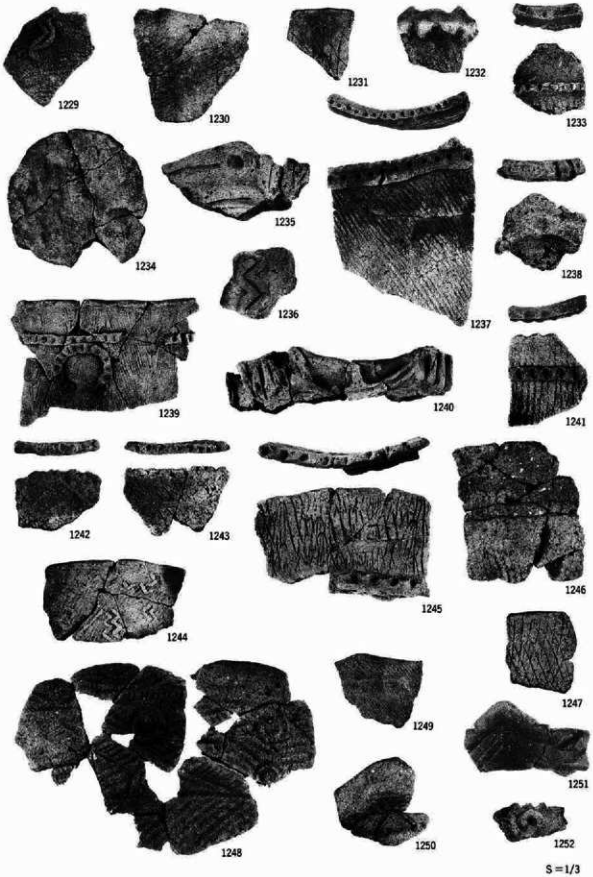


S＝1/3

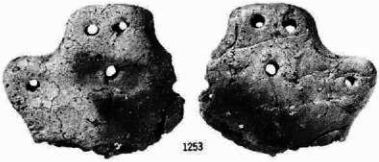
写真図版120　土器(7)



写真図版121　土器(73)



写真図版122　土器(74)



1253

1254

1255

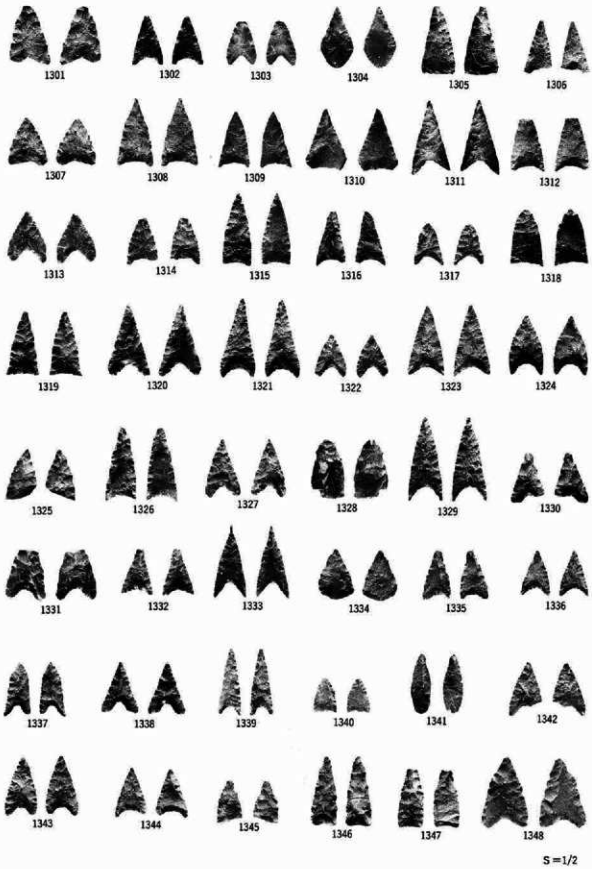
1256

1257

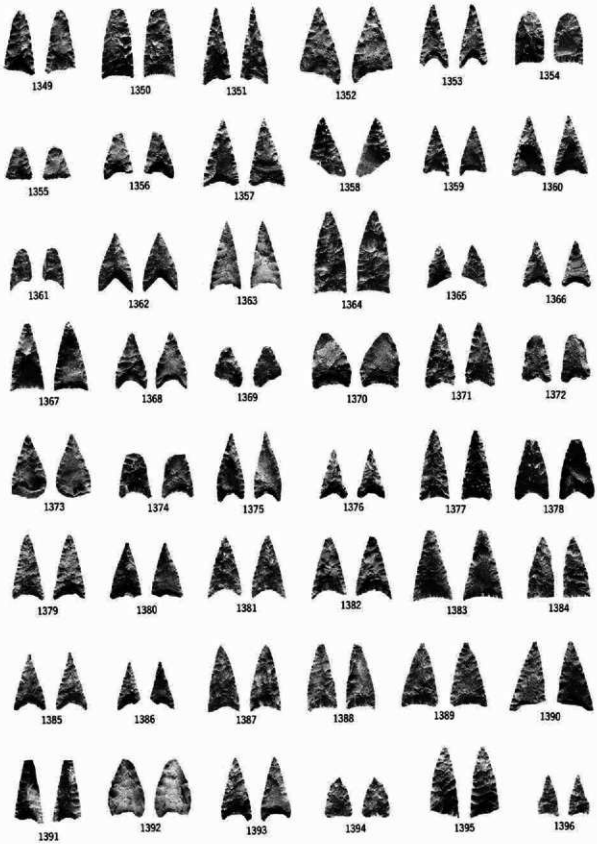
1258

S＝2/3

写真図版123　土製品

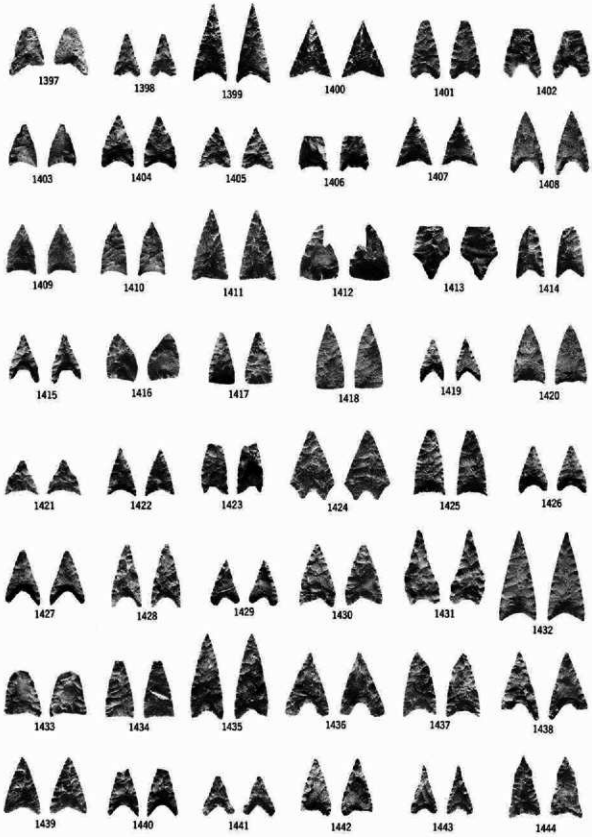

1301
1302
1303
1304
1305
1306
1307
1308
1309
1310
1311
1312
1313
1314
1315
1316
1317
1318
1319
1320
1321
1322
1323
1324
1325
1326
1327
1328
1329
1330
1331
1332
1333
1334
1335
1336
1337
1338
1339
1340
1341
1342
1343
1344
1345
1346
1347
1348
S＝1/2

写真図版124　石器(1)



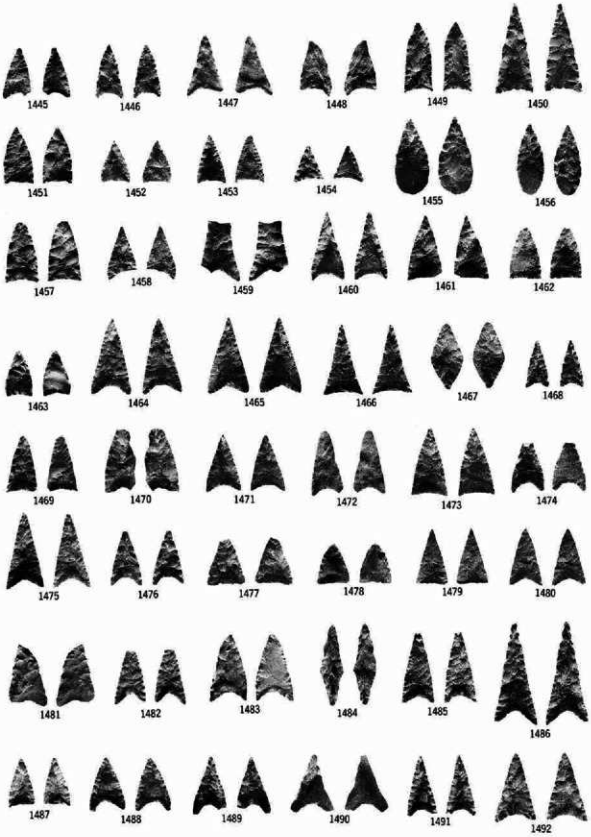
S＝1/2

写真図版125　石器(2)



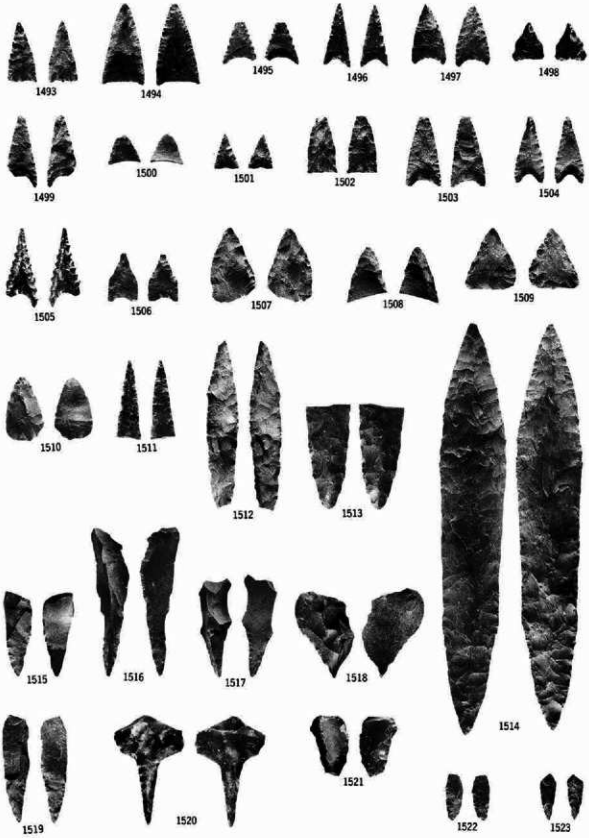
S＝1/2

写真図版126　石器(3)



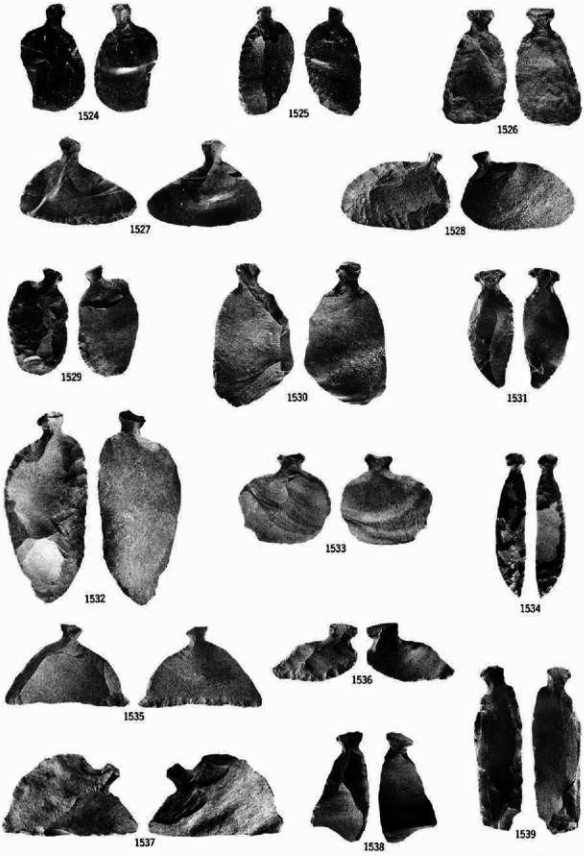
S＝1/2

写真図版127　石器(4)



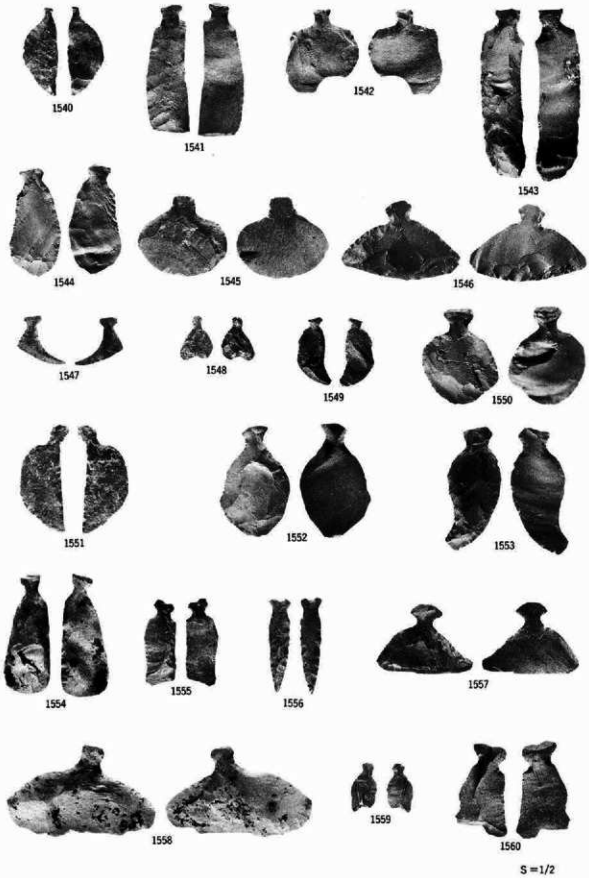
S＝1/2

写真図版128　石器(5)

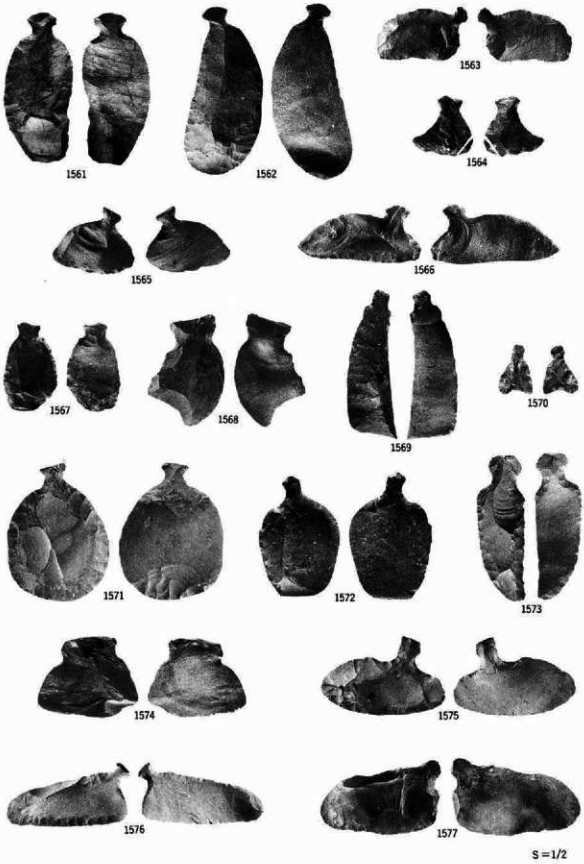


S＝1/2

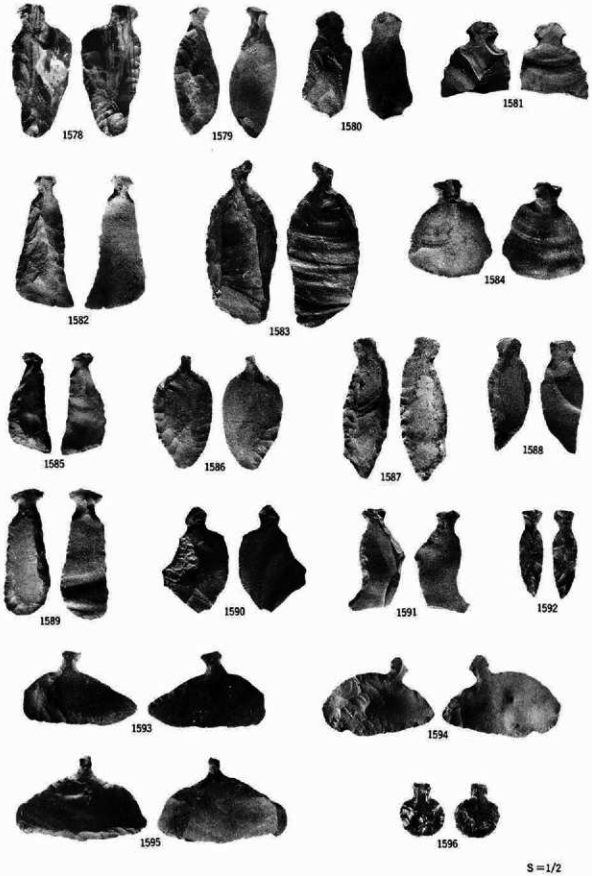
写真図版129　石器(6)


1540
1541
1542
1543
1544
1545
1546
1547
1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
S＝1/2

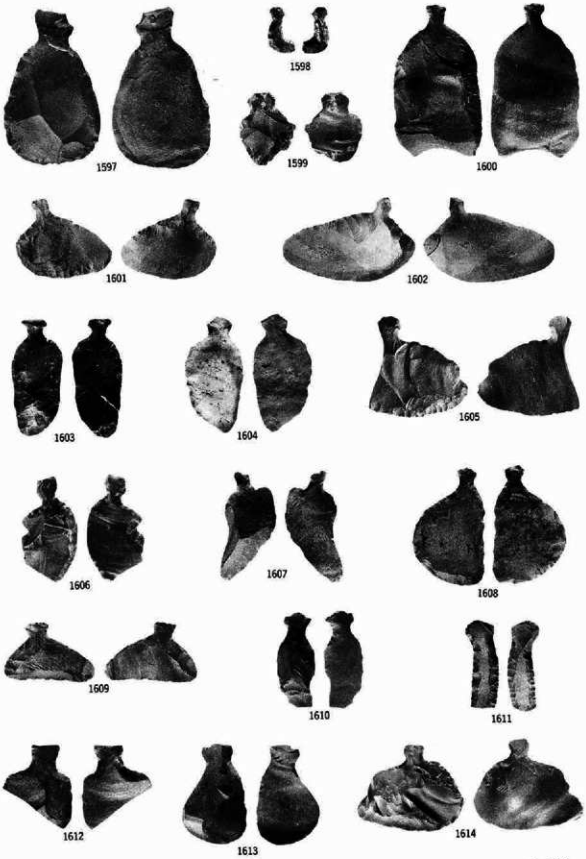
写真図版130　石器(7)


1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571
1572
1573
1574
1575
1576
1577
S＝1/2

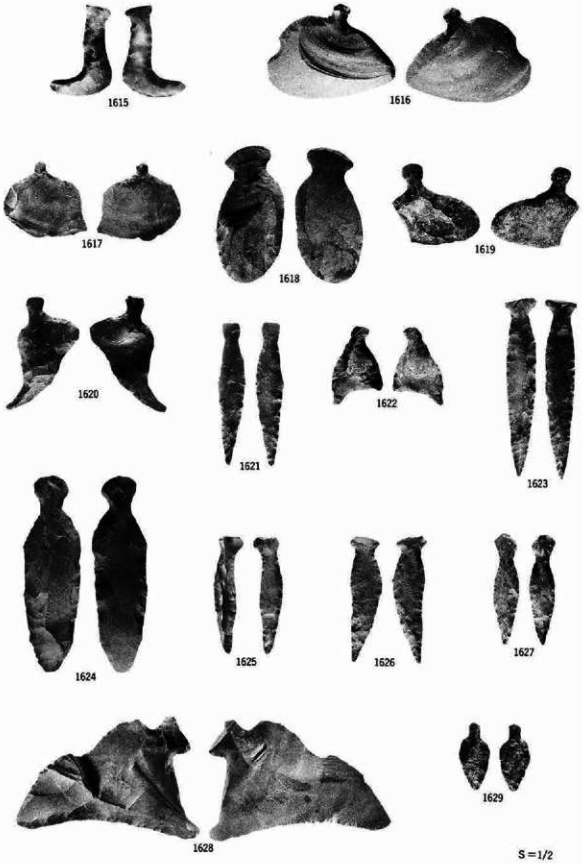
写真図版131　石器(8)


1578
1579
1580
1581
1582
1583
1584
1585
1586
1587
1588
1589
1590
1591
1592
1593
1594
1595
1596
S＝1/2

写真図版132　石器(9)



写真図版133　石器(10)



写真図版134　石器(11)

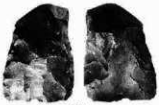
1630

1631

1632

1633

1634


1635

1636

1637

1638

1639

1640

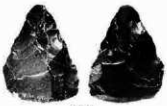
1641

S＝1/2

写真図版135　石器(12)

1642

1643


1644

1645

1646

1647

1648

1649

1650

1651

S＝1/2

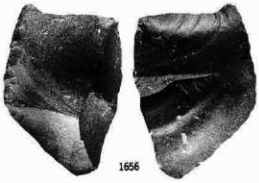
写真図版136　石器(13)

1652

1653

1654

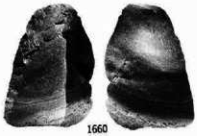
1655


1656

1657

1658

1659


1660

1661

S＝1/2

写真図版137　石器(4)

1662

1663

1664

1665

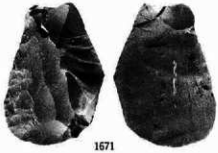
1666

1667

1668

1669

1670

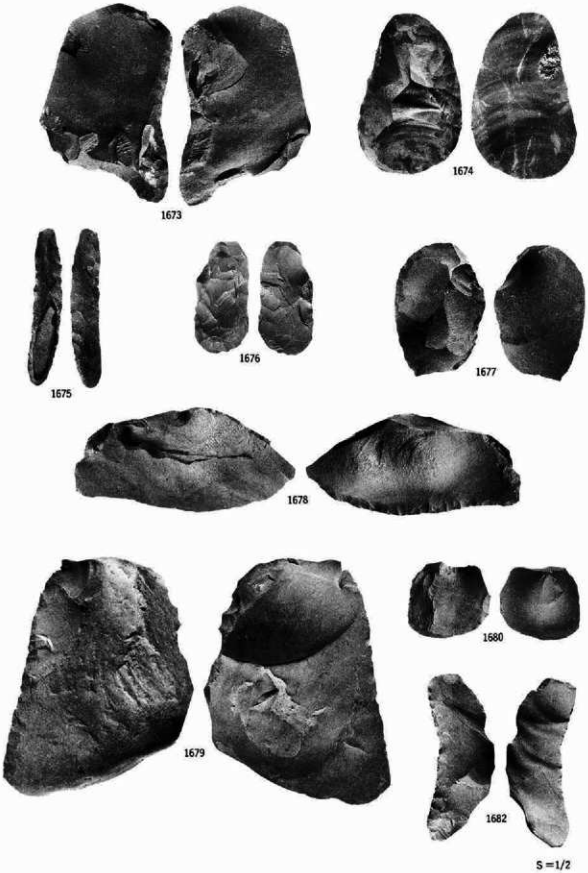


1671

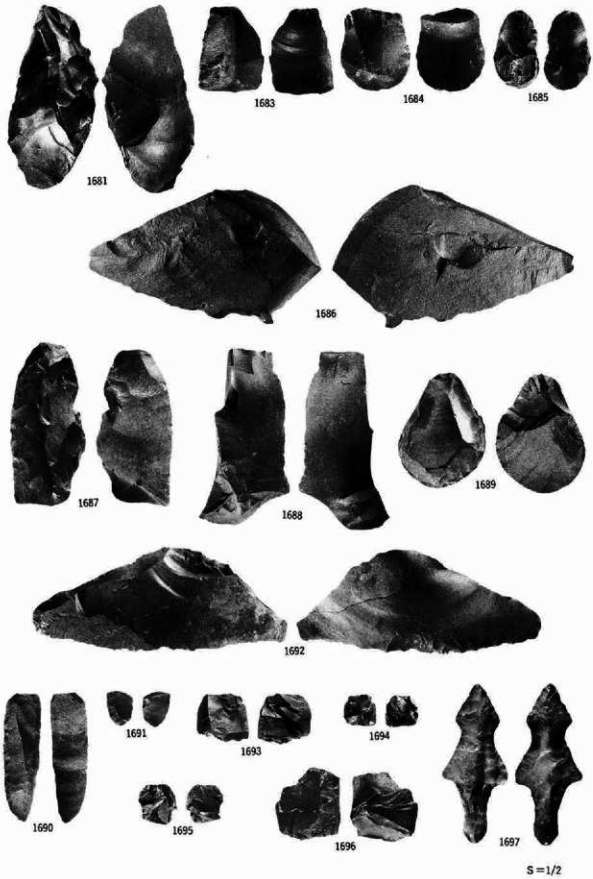
1672

S＝1/2

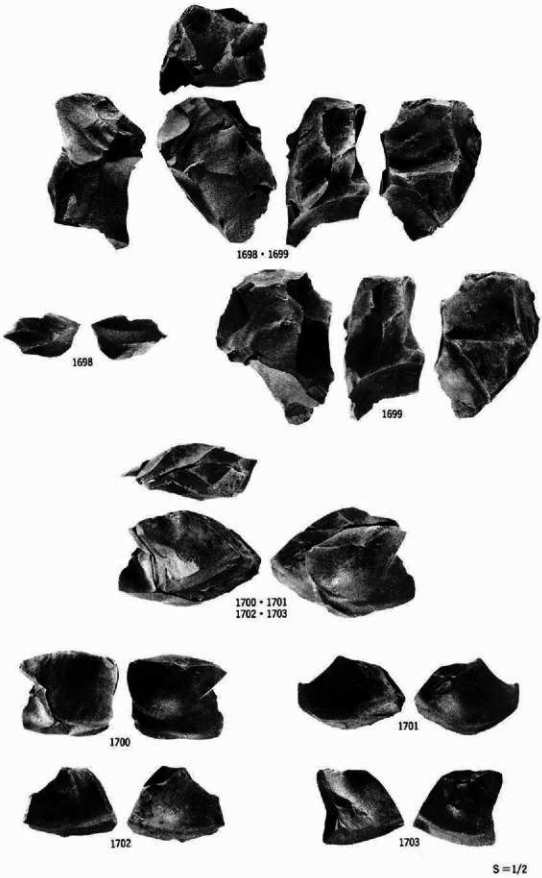
写真図版138　石器(15)



写真図版139　石器⑲



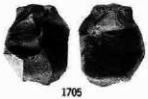
写真図版140　石器(17)


1698・1699
1698
1699
1700・1701
1702・1703
1700
1701
1702
1703
S＝1/2

写真図版141　石器⑩

1704・1705・1706

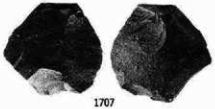
1704



1705

1706

1707・1708

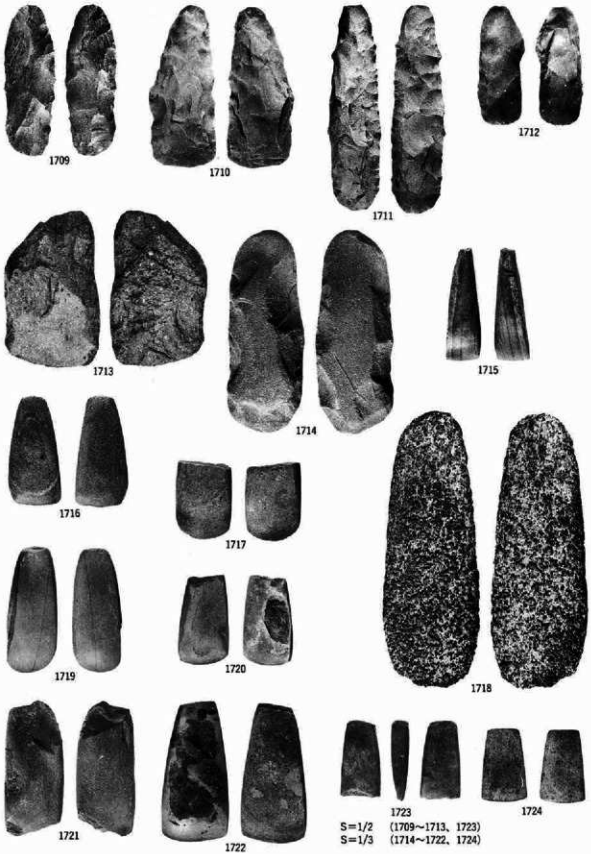


1707

1708

S＝1/2

写真図版142　石器(19)



S=1/2 (1709~1713、1723)
S=1/3 (1714~1722、1724)

写真図版143 石器20

1725

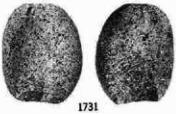
1726

1727

1728

1729

1730

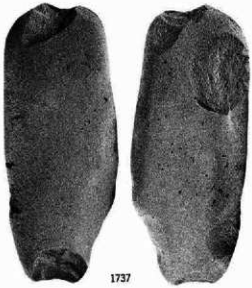

1731

1732

1733

1734

1735


1737

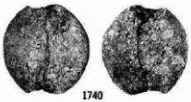
1736

S＝1/3

写真図版144　石器21)

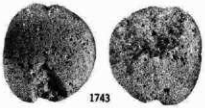
1738

1739


1740

1741

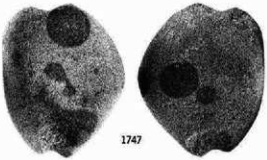
1742


1743

1744

1745

1746


1747

1748

1749

1750

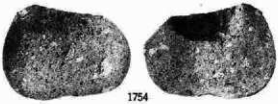
1751

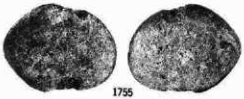
S＝1/3

写真図版145　石器(22)

1752

1753


1754

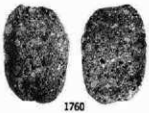

1755

1756

1757

1758

1759


1760

1761

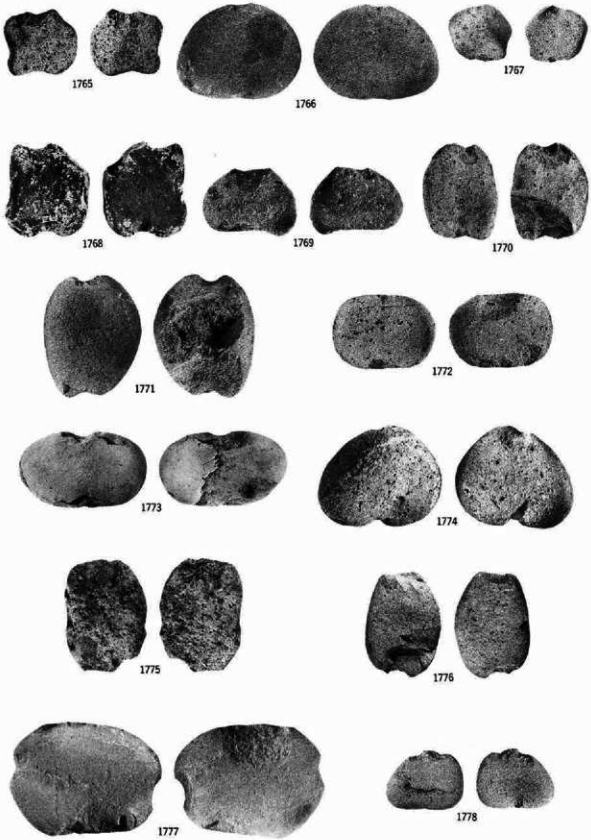
1762

1763

1764

S＝1/3

写真図版146　石器(23)



S＝1/3

写真図版147　石器(24)

1779

1780

1781

1782

1783

1784

1785

1786

1787

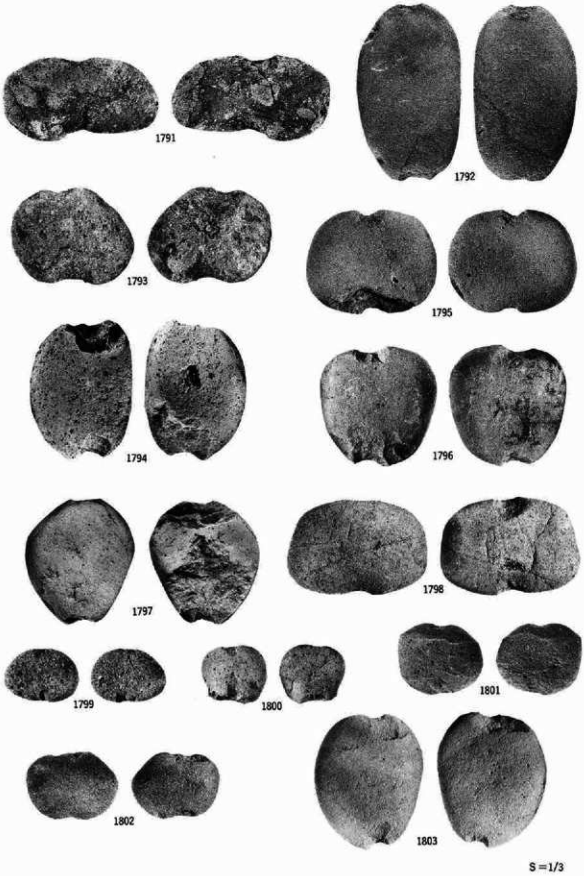
1788

1789

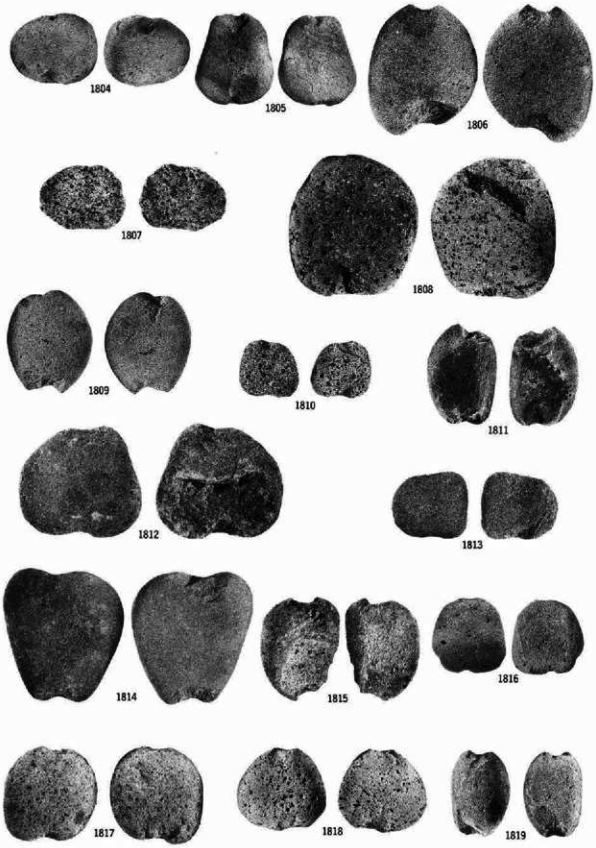
1790

S＝1/3

写真図版148　石器(29)



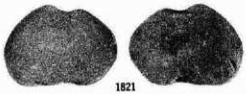
写真図版149　石器(26)



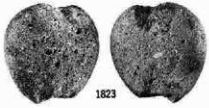
S＝1/3

写真図版150　石器(27)

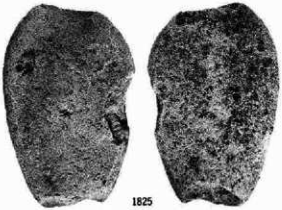
1820


1821

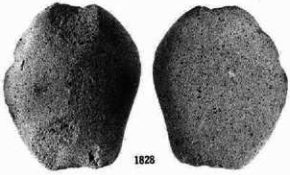
1822


1823

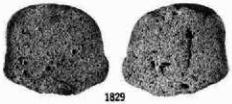
1824


1825

1826


1828

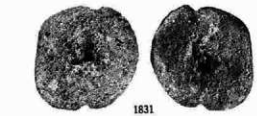
1827


1829

1830

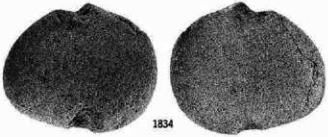
S＝1/3

写真図版151　石器(20)

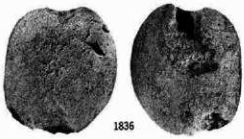

1831

1832

1833


1834

1835


1836

1837

1838

1839

1840

1841

1842

S＝1/3

写真図版152　石器(29)

S＝1/3

写真図版153　石器30

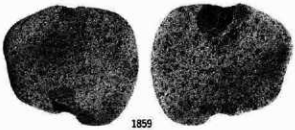
1854

1855

1856

1857

1858

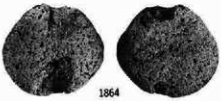

1859

1860

1861

1862

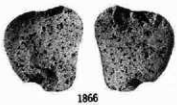
1863


1864

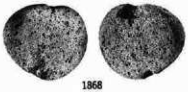
1865

S＝1/3

写真図版154　石器(31)


1866

1867


1868

1869

1870

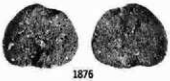
1871

1872

1873

1874

1875


1876

1877

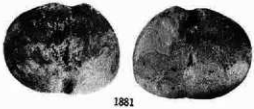
1878

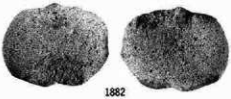
1879

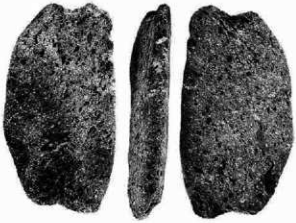
S＝1/3

写真図版155　石器(32)

1880


1881


1882


1883

1884

1885

1886

1887

1888

1889

1890

S＝1/3

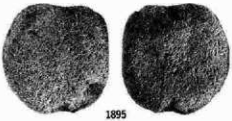
写真図版156　石器(33)

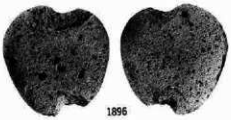
1891

1892

1893

1894

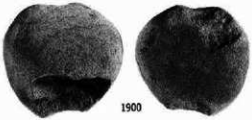

1895


1896

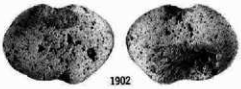
1897

1898

1899


1900

1901


1902

S＝1/3

写真図版157　石器(34)

1903

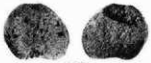
1904

1905

1906

1907

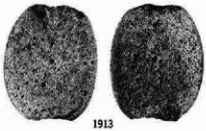
1908


1909

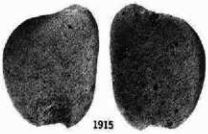
1910

1911

1912


1913

1914


1915

S＝1/3

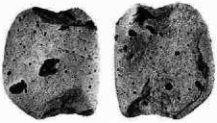
写真図版158　石器(39)

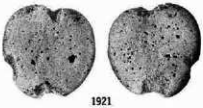
1916

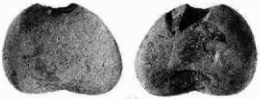
1917

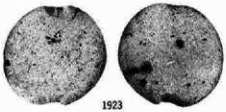
1918

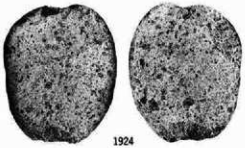
1919


1920

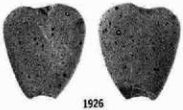

1921

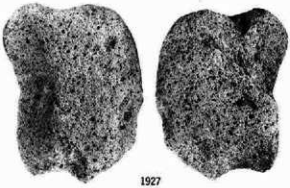

1922


1923


1924

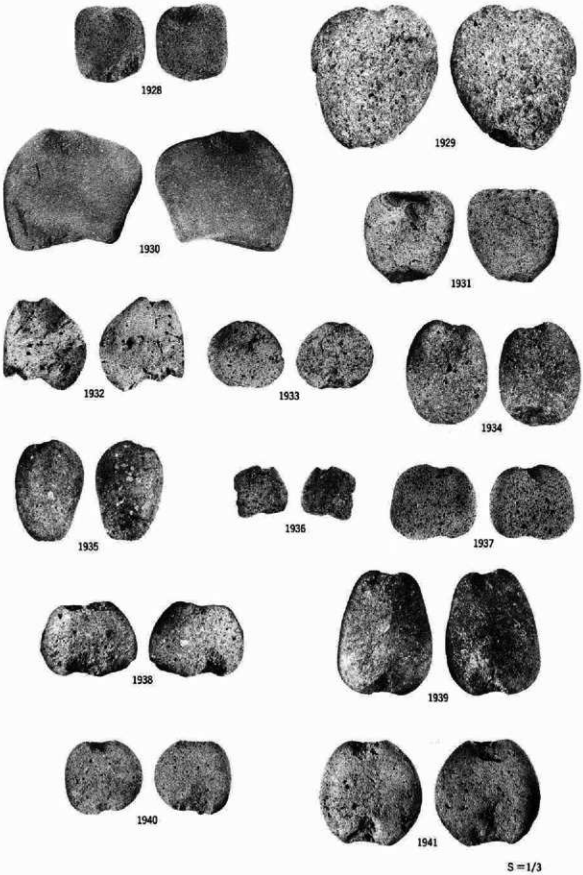
1925


1926

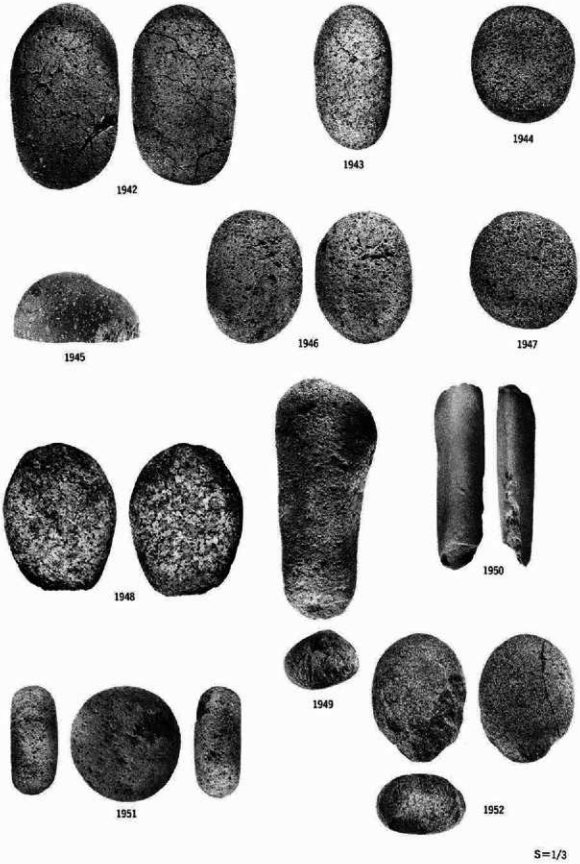

1927

S＝1/3

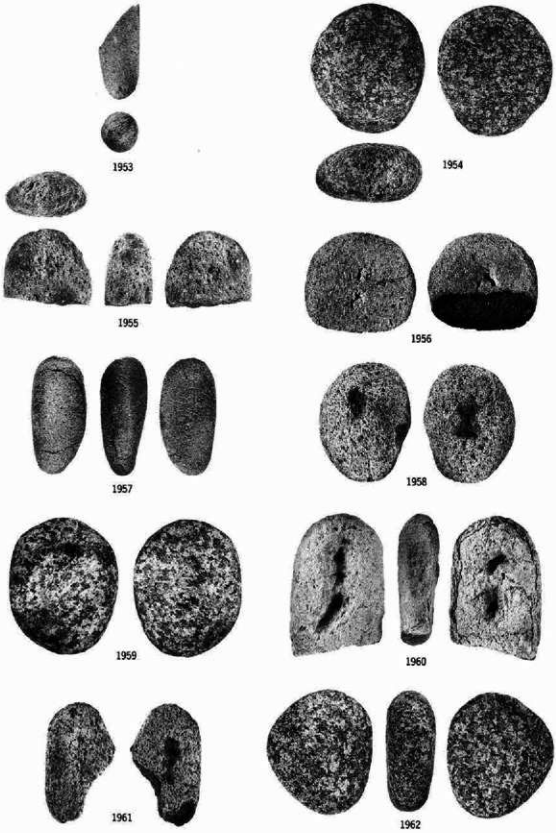
写真図版159　石器30



写真図版160　石器(37)



写真図版161　石器(30)

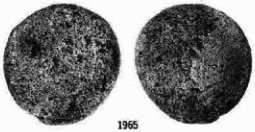


S＝1/3

写真図版162　石器㊴

1963

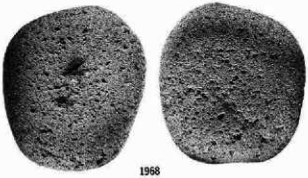
1964



1965

1966

1967

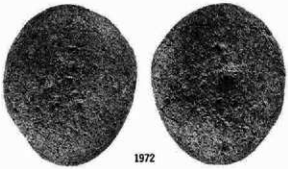


1968

1969

1970

1971



1972

S＝1/3

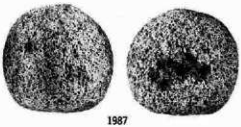
写真図版163　石器440

写真図版164　石器(41)

1984

1985

1986



1987

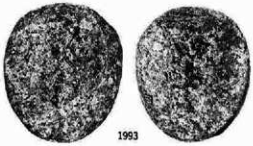
1988

1989

1990

1991

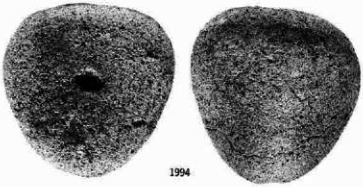
1992



1993

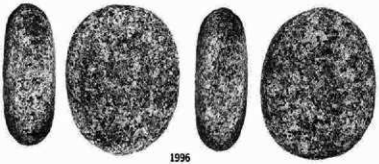
S＝1/3

写真図版165　石器(42)



1994

1995



1996

1997

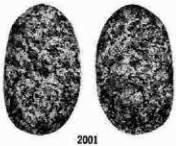
1998

1999

S＝1/3

写真図版166　石器(43)

2000



2001

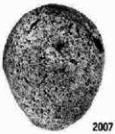
2003

2002

2004

2005

2006



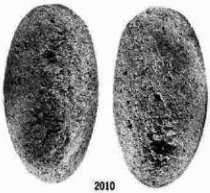
2007

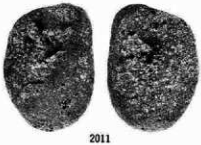
2008

S＝1/3

写真図版167　石器40

2009


2010


2011

2012

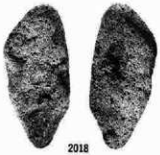
2013

2014

2015

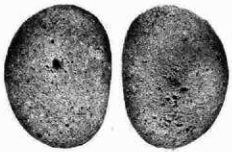
2016

2017


2018

S＝1/3

写真図版168　石器(45)

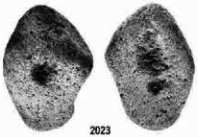


2019

2020

2021

2022

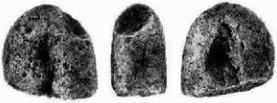


2023

2024

2025

2026

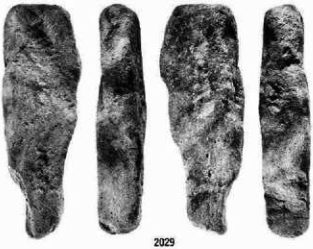


2027

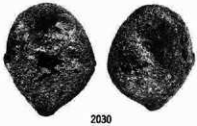
S＝1/3

2028

写真図版169　石器(46)

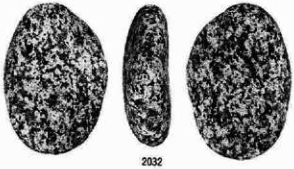


2029



2030

2031



2032

2033

2034

2035

2036

S＝1/3

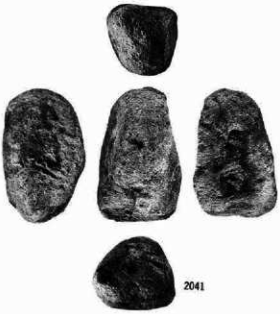
写真図版170　石器(47)

2037

2038

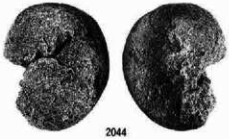
2039

2040

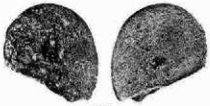

2041

2042

2043


2044

2045


2046

S＝1/3

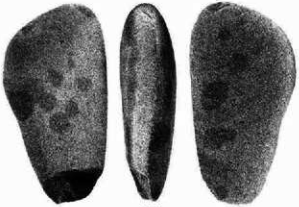
写真図版171　石器(48)

2047

2048

2049

2050



2051

2052

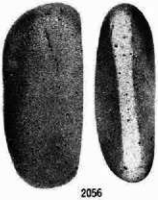
2053

S＝1/3

写真図版172　石器(49)

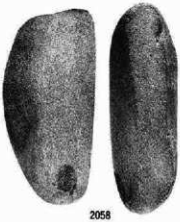
2054

2055



2056

2057



2058

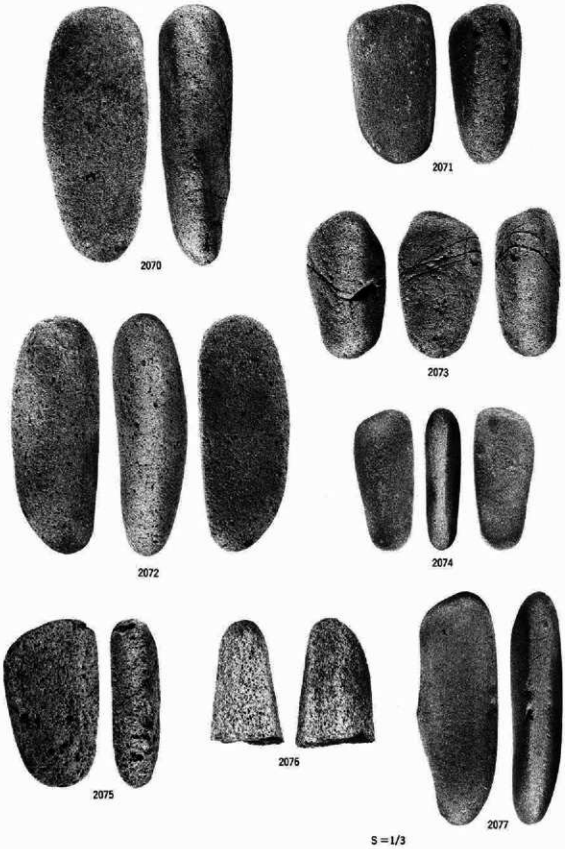
2059

2060

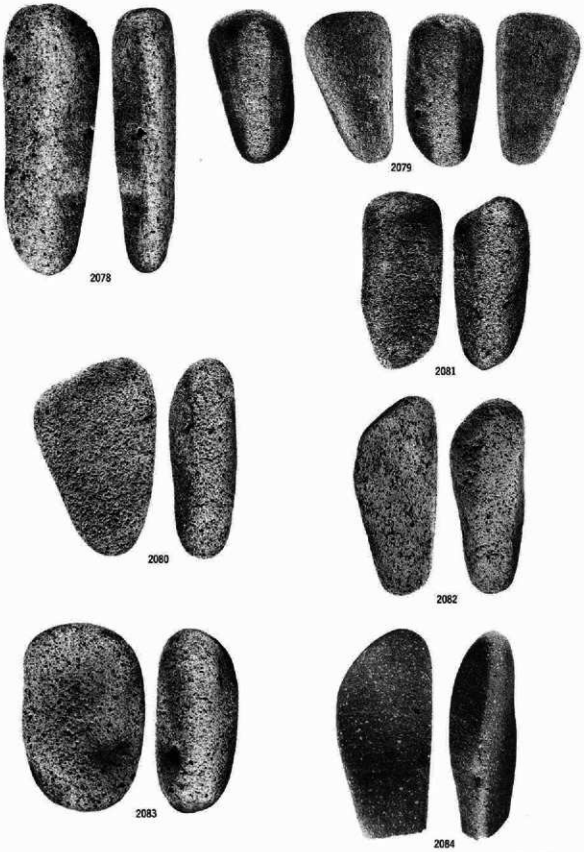
S＝1/3

写真図版173　石器50

写真図版174　石器51)

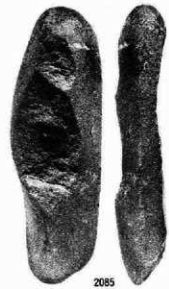


写真図版175　石器図



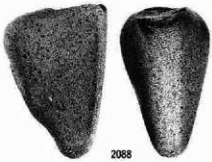
S＝1/3

写真図版176　石器53)



2085

2086



2088

2087

2089

2090

2091

S＝1/3

写真図版177　石器54)

2092

2093

2094

2095

2096

2097

2098

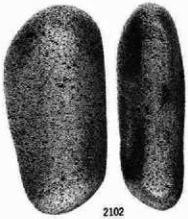
2099

S＝1/3

写真図版178　石器(55)

2100

2101



2102

2103

2104

2105

2106

2107

S＝1/3

写真図版179　石器50

2108

2109

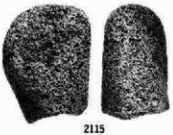
2110

2111

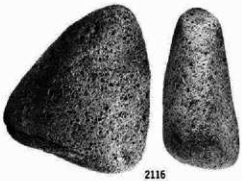
2112

2113

2114



2115



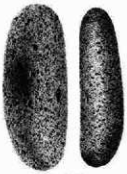
2116

S＝1/3

写真図版180　石器(57)

2117

2118


2119

2120

2121

2122

2123

2124

S＝1/3

写真図版181　石器50

2125

2126

2127

2128

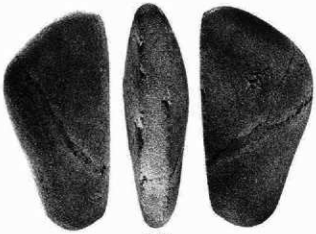
2129

2131

2130

S＝1/3

写真図版182　石器(39)



2132

2133

2134

2135

2136

2137

2138

S＝1/3

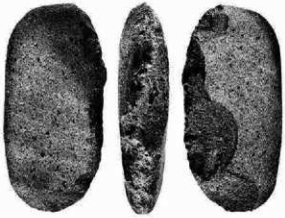
写真図版183　石器60

2139

2140

2141

2142



2144

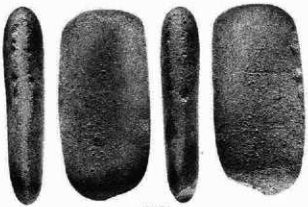
2143

2145

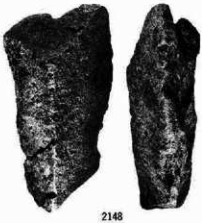
2146

S＝1/3

写真図版184　石器(51)



2147



2148

2149

2150

2151

S＝1/3

写真図版185　石器(2)

2152

2153

2154

2155

2156

2157

S＝1/3

写真図版186　石器(3)

2158

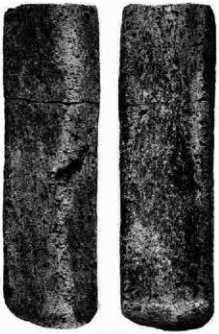
2159

2160

2161

S＝1/4

写真図版187　石器60



2162

2163

2164

2165

2166

S＝1/4

写真図版188　石製品(1)

2167

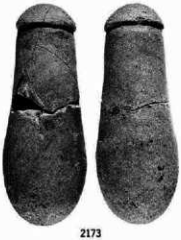
2168

2169

2170

2171

2172



2173

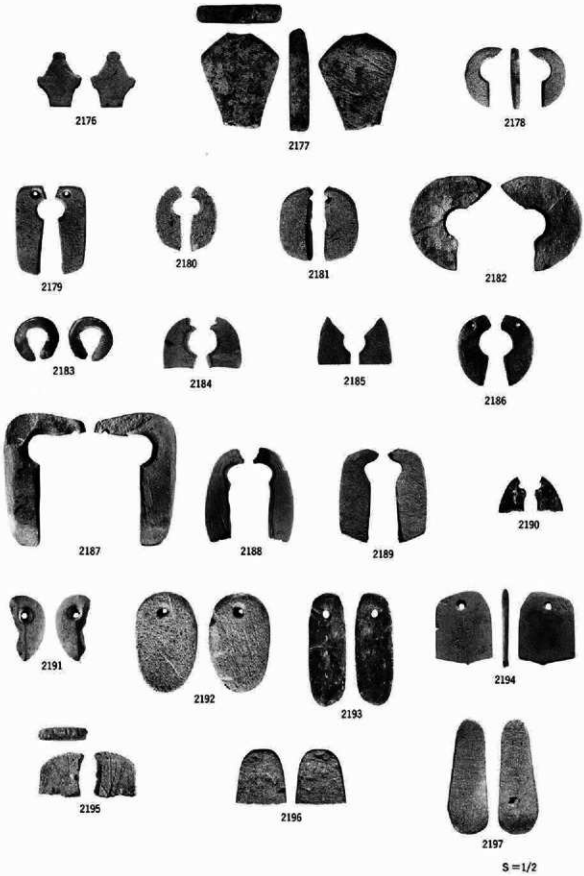
S＝1/2(2167～2173)

線刻部分拡大(原寸)

2174(S＝1/4)

2175(S＝1/3)

写真図版189　石製品(2)



写真図版190　石製品(3)

2198

2199

2200

2201

2202

2203

2204

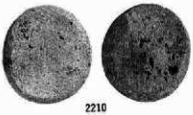
2205

2206

2207

2208

2209


2210

2211

2212

2213

S＝1/2

写真図版191　石製品(4)

報告書抄録

ふりがな	とうげやまぼくじょういちいせきびいちくはっくつちょうさほうこくしょ
書　　名	峠山牧場Ⅰ遺跡B地区発掘調査報告書
副 書 名	東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査
巻　　次	
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第320集
編著者名	阿部勝則
編集機関	財岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
所 在 地	〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡11-185　　TEL　019―638-9001・9002
発行年月日	西暦　2000年3月24日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
峠山牧場Ⅰ遺跡B地区	岩手県和賀郡湯田町第41地割125-25ほか	03363	ME06-0106	39°17′51″	140°50′56″	19960603～19961022	6,120㎡	東北横断自動車道秋田線建設事業に伴う緊急発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
峠山牧場Ⅰ遺跡B地区	集落跡	旧石器時代 縄文時代 前期 中期	旧石器時代 集中区2カ所 縄文時代 竪穴住居跡　31棟 土坑墓　50基 墓壙　1基 陥し穴状遺構　2基 焼土遺構　5基 集石遺構　1基 土器埋設遺構　16基 柱穴群　51基 遺物包含層　1カ所	旧石器　300点 彫刻刀形石器 ナイフ形石器 削器・掻器 縄文土器　100箱 土製品　6点 土偶3点／土玉3点 石器　3950点 石鏃・石匙・石篦・石錘・擦石・凹石が多い 石製品　113点 石棒　5点 石剣類　2点 燕尾形石製品　2点 鯨節形石製品　2点 男根状石製品　1点 線刻礫　2点 块状耳飾り　19点 垂飾り　4点 岩偶　2点 石製模造品　74点	和賀川流域の段丘に立地する旧石器時代と縄文時代の複合遺跡。 放射状の配置を示す大形住居跡を中心とする縄文時代前期後葉～末葉主体の集落跡。

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所長	佐藤　基
副所長	伊藤直司

［管理課］

管理課長	川浪清徳
主査	立花多加志
主事	日影睦夫

〔調査第一課〕

課長	小田野哲憲
課長補佐	佐々木清文
主任文化財専門調査員	酒井宗孝
〃	小山内透
文化財専門調査員	中田迪
〃	吉田充
〃	鎌田勉
〃	小笠原健一郎
〃	烏居達人
〃	濱田宏
〃	佐々木悦
〃	安藤由紀夫
〃	木戸口俊子
〃	小野寺正之
〃	阿部勝則
〃	千葉正彦
〃	羽柴直人
〃	高木晃
〃	佐藤淳一
〃	菅原靖男
〃	半澤武彦
〃	朝倉雄大
〃	菊池貴広
〃	村上多拓
〃	本多準一郎
〃	中村直美
〃	丸山浩治
期限付専門職員	佐藤綾子
〃	平めぐみ
〃	藤原賢徳
〃	江藤敦
〃	小林弘卓
〃	小原広幸

嘱託	藤島恵子
〃	新田トヨ
〃	佐々木光重

〔調査第二課〕

課長	高橋與右衛門
課長補佐	中川重紀
主任文化財専門調査員	高橋義介
文化財専門調査員	古舘貞身
〃	阿部眞澄
〃	松尾芳眞幸
〃	小原眞一
〃	工藤徹
〃	前田稔
〃	金子佐知子
〃	岩渕計
〃	早坂悟
〃	佐々木務
〃	晴山雅光
〃	星雅之
〃	佐々木琢
〃	杉沢昭太郎
〃	溜浩二郎
〃	北村忠昭
〃	金子昭彦
期限付専門職員	鈴木聡
〃	平澤里香
〃	布谷口義彦
〃	山谷俊規
〃	熊谷佳恵
〃	吉田里和
〃	北田熱
〃	吉川徹

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第320集

峠山牧場Ⅰ遺跡B地区発掘調査報告書

東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査

印刷　平成12年3月15日
発行　平成12年3月24日

発行　財団法人　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡11－185
TEL（019）638－9001
FAX（019）638－8563

印刷　山口北州印刷株式会社
〒020-0133　盛岡市青山4丁目10－5
TEL（019）641－0585

©(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2000